OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	手伝うことの依頼に対する断りの日タイ対照研究ー親疎関係・上下関係・依頼の負担度による意味公式の選択に関する分析ー
Author(s)	Poonvongprasert, Thanit
Citation	大阪大学, 2019, 博士論文
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/73542
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

博士論文

題目

手伝うことの依頼に対する断りの
日タイ対照研究
―親疎関係・上下関係・依頼の負担度による意味公式の選択に関する分析―

提出年月　　2019年　6　月

言語文化研究科日本語・日本文化専攻

氏名　POONVONGPRASERT　THANIT
プーンウォンプラサート　タニット

論文要旨

本研究は、日本語教育に応用するための基礎研究として「手伝うことの依頼」に対する断りに焦点を当てたものである。具体的には、上下関係、親疎関係、依頼の負担度の 3 つの要因によって、日本語母語話者とタイ語母語話者が用いる意味公式の使用の共通点と相違点を明らかにすることを目的とした。

断りに関する先行研究では「提案」「勧誘」「物の貸し借りの依頼」に着目した対照研究は数多く見られるが、「手伝ってほしい」という依頼に対する断りを扱った日タイ対照研究はまだなされていない。また、 量的分析・質的分析手法をとった研究は管見の限り少数に留まっている。そこで、本研究では「手伝うことの依頼」に対する断りを取り上げた。

研究方法としては、談話完成テスト(DCT)およびフォローアップインタビューを採用した。調査協力者は、日本語母語話者(JJ)とタイ語母語話者(TT)の大学生、各 100 名である。DCT では、上下関係、親疎関係、依頼の負担度の 3 つの要因に基づき、以下の 8 つの場面を設定した。具体的には、場面 1・2(親/疎・目上・重)がオープンキャンパスの準備の依頼、場面 3・4 が(親/疎・目上・軽)本の返却の依頼、場面 5・6(親/疎・同等・重)が翻訳の手伝いの依頼、場面 7・8(親/疎・同等・軽)が宿題のチェックの依頼である。意味公式を使用して断り文を分析し、それぞれの意味公式の出現率を計算することによってその出現傾向を観察した。さらに、場面ごとに JJ と TT が用いる意味公式の出現率の有意差、およびそれぞれの要因による出現率の有意差について、カイ二乗検定を行った。有意差が見られた場合は、どの意味公式の出現率に有意差が見られるかを検証するために、残差分析を行った。

本研究のデータで使われていた意味公式は、{結論}{行動指示}{詫び}{理由}{積極的代案提示}{消極的代案提示}{条件提示}{約束}{否定的反応}{理解}{驚き}{情報確認}{共感}{冗談}{励まし}{非難}の 16 種類に分類される。分析の対象としたのは意味公式の出現率、意味公式の出現順序のパターン、冒頭の意味公式、最後の意味公式である。さらに、それぞれの意味公式の言語形式とその内容に関する分析、および文化差の観点から考察を行った。その後、日本語教育における教育法に関する提案を行った。結果は以下の通りである。

1.意味公式の出現率

共通点を 2 点にまとめる。

(1)全体的な傾向を見ると、目上に対する場合より同等に対する方が意味公式の種類は多く見られた。JJ と TT は双方ともに目上と同等で使われる意味公式が異なっている。すなわち、いずれも上下関係が意味公式の使用に影響を与えていると言える。

(2)全体的な傾向を見ると、JJ と TT ともに、依頼の負担度による意味公式の出現率の有意差があまり見られなかった。

相違点は以下 10 点である。

(1) JJ は、親疎関係による意味公式の出現率の有意差があまり見られなかった。一方で、TT は親疎関係による有意差が多く見られることが分かった。

(2)すべての場面において 50%以上の JJ が{結論}を使用しているのに対して、TT は JJ よりも{結論}の使用がかなり少ない。

(3)すべての場面において、70%以上の JJ は{詫び}を使用しているのに対して、カイ二乗検定を行った結果によれば、TT については親疎関係によって{詫び}の出現率が左右されることが分かった。具体的には、親しくない人に対する方が親しい人に対してより{詫び}を多く使用している傾向がある。

(4)JJ と TT には{理由}を多く使用するという共通点があるが、その述べ方に大きな違いがある。JJ は[理由の内容]のみを述べる強い傾向が見られる。一方、TT は [理由の内容]と[理由の内容+付加説明]の出現数が同程度見られ、上下関係や親疎関係によって出現率が左右される。具体的には、親しい目上なら [理由の内容+付加説明]を、親しくない目上なら [理由の内容]のみを述べる傾向が見られる。また、同等からの依頼の場面では、[理由の内容]と[理由の内容+付加説明]の出現数が同程度である。

(5)内容の観点からみると、JJ は自分に関係がある理由のみを述べるのに対して、TT は自分以外にも自分と家族に関係がある理由を述べる。また、JJ は明確な理由と、不明確な理由の出現率が同程度である。しかし、TT においては明確な理由の出現率の方が著しく高い。[理由+付加説明]の場合、JJ については「時間的に都合が悪いという説明」の出現率が突出しているのに対して、「理由の大切さを強調するという説明」や、「心理的に負担であるという説明」はほとんど述べられない。一方、TT は「理由の大切さを強調するという説明」、および「心理的に負担であるという説明」が多く述べられる傾向にある。

(6)JJ はほとんど{条件提示}を使用しないのに対して、TT は親しい相手に{条件提示}を多く使用している。内容の観点からみると、TT の{条件提示}の内容には多様性があると言える。また、親疎関係、上下関係、依頼の負担度の 3 つの要因によって{条件提示}の内容と出現率が変わることが明らかになった。

(7){否定的反応}について、JJ と TT で大きく異なる点は、間投詞以外、TT は呼びかけで否定的反応を表すことである。親しい相手には{否定的反応}を多く使用している。しかし、親しくない相手には{否定的反応}をあまり使用せず、代わりに{詫び}を多く使用する。結果から、親疎関係によって TT の{否定的反応}の出現率が左右される傾向が見られた。

(8){冗談}は TT にしか見られない意味公式である。親しい同等に対して使われる傾向がある。具体的には、「手当の要求」に関する冗談が最も出現率が高い。

(9){励まし}は JJ にしか見られない意味公式である。親疎関係にかかわらず使われる。

(10){非難}に関する JJ と TT の相違点は、その対象が異なることである。具体的に言うと、JJ は頼む量に焦点を当てて非難する傾向が強い。分量自体のみならず、他人に重い負担をかけること自体を非難する場合もある。一方、TT は頼む時間の適切性を非難する傾向が強い。

2.意味公式の出現順序のパターン

意味公式の出現順序に関する共通点を以下の 2 点にまとめる。

(1)全体的な傾向を見ると、JJ と TT はともに、{理由}が中間にあるパターンを最も多く使用している。

(2)JJ と TT はともに、目上より同等に対する方が意味公式の出現順序のパターンの数が多く、意味公式の組み合わせも複雑である。つまり、目上の依頼を断る際は限られた意味公式とパターンを使うのに対して、同等の依頼を断る際は相手の親疎関係に応じて意味公式とパターンを様々に使い分けられることが明らかになった。

一方、相違点は以下の 4 点である。

(1)JJ は、すべての場面において{理由}が中間にあるパターンの出現率が 6〜9 割である。一方、TT の中で{理由}が中間にあるパターンを使うのは 5 割程度にとどまっている。残りの半分の TT は、{理由}が冒頭の意味公式であるパターンか、{理由}が最後の意味公式であるパターンを使う。JJ と TT ともに{理由}が中間にあるパターンを最も多く使用しているといっても、JJ と TT の出現率に大きな差がある。

(2)JJ はすべての場面において、パターン{詫び}+{理由}+{結論}の出現率が高い。一方、TT は出現率が目立ったパターンがなく、バラエティに富んでいた。

(3)出現順序のパターンの前半部を見ると、すべての場面において、JJ は{詫び}+{理由}…を最も多く使用しているのに対して、TT は親疎関係によってパターンの使い分ける傾向がある。具体的には、親しい相手に{否定的反応}+{理由}…を、親しくない相手に{詫び}+{理由}…を使用していることが分かった。また、親しい相手に対してはパターンの多様性が見られる。

(4)出現順序のパターンの後半部を見ると、すべての場面において、JJ は　…{理由}+{結論}または…{理由}+{結論}+{他の意味公式{例：消極的代案提示、行動指示、約束など}}を最も多く使用しているのに対して、TT は親疎関係によってパターンのバリエーションが見られる。親しい相手に多く使われるパターンは…{理由}+{積極的代案提示}、…{理由}+{条件提示}で、親しくない相手に多く使われるパターンは…{理由}+{詫び}、…{理由} +{結論}、…{理由}+{消極的代案提示}である。

3.冒頭の意味公式

JJ と TT は{詫び}{理由}{否定的反応}の 3 つの意味公式を断りの冒頭の意味公式として多く使用するという共通点がある。

一方、相違点としては、すべての場面においてJJが{詫び}を使用する傾向が強いことが挙げられる。しかし、TTは親疎関係によって、意味公式を使い分けている。具体的には、親しい相手に{否定的反応}を、親しくない相手に{詫び}を使用する。また、JJに見られなかった{行動指示}{消極的代案提示}{冗談}{非難}の4つの意味公式は、同等からの依頼の場面にしか見られず、上下関係も意味公式の使用に関係していると考えられる。結果から、JJは冒頭の意味公式のバリエーションが少ないのに対して、TTは豊富であるという特徴があることが明らかになった。

4.最後の意味公式

相違点としては、JJは{結論}で発話を終了させる特徴があり、{条件提示}と{消極的代案提示}をほとんど使用しない。一方、TTは意味公式の使用にばらつきが見られ、場面によって各々の出現率は異なっている。

5.親疎関係・上下関係・依頼の負担度による分析

分析の結果、JJよりTTのほうが親疎関係によって意味公式の出現率に有意差が多く見られることが分かった。

また、上下関係による分析の結果では、JJとTTに以下2点の共通点が見られた。

(1)目上より同等のほうが出現率に有意差が見られる意味公式が多く見られる。

(2) JJとTTともに、目上と同等で使われる意味公式が異なっている。すなわち、いずれも上下関係が意味公式の使用に影響を与えていると言える。

最後に、依頼の負担度による分析の結果では、親しくない目上からの依頼の場面(場面2,4)と親しくない同等からの依頼の場面(場面6,8)において、依頼の負担度によって意味公式の出現率に有意差が見られなかった。全体的な傾向を見ると、JJとTTともに、依頼の負担度によって意味公式の出現率に有意差があまり見られなかったことが分かった。

6.言語形式ごとの分析

ここでは、3つの要因がJJとTTが使っている言語形式とその内容に関係しているのかを考察を行った。JJとTTの断りの特徴を表す10種類の意味公式、すなわち<直接的断り>の意味公式{結論}{行動指示}{理由}、<間接的断り>の意味公式{詫び}{積極的代案提示}{条件提示}、<付加表現>の意味公式{否定的反応[呼びかけ]}{冗談}{励まし}{非難}を本分析の対象とする。

7.日本語教育上の提案

外国人日本語学習者向けの日本語教科書を調査した結果、教科書において「手伝うことの依頼に対する断り」がほとんど扱われていないこと、扱われていたとしても会話の数がごく少な

いこと、そして会話としての自然さが不足していることなどの諸問題があることが分かった。ここでは、本研究の結果を踏まえ、各レベルの学習者に「手伝うことの依頼に対する断り」を指導するための会話例と指導の順番を提案した。最後に、タイ人日本語学習者に会話指導を行う際に、注意点および指導のポイントを提案した。

บทคัดย่อ

การศึกษาครั้งนี้มีวัตถุประสงค์เพื่อวิเคราะห์ความเหมือนและความแตกต่างในการเลือกใช้หน่วยความหมาย(Semantic Formulas) ในสถานการณ์การปฏิเสธการขอความช่วยเหลือของชาวญี่ปุ่นและชาวไทย โดยศึกษาปัจจัยด้านความสนิทสนม ความสัมพันธ์แนวดิ่ง และระดับความหนักเบาของเนื้อหาการขอความช่วยเหลือ รวม 3 ปัจจัย

จากการศึกษางานวิจัยที่เกี่ยวข้องกับการปฏิเสธ พบว่างานวิจัยเปรียบเทียบด้านภาษาและวัฒนธรรมส่วนมาก เน้นการศึกษาการปฏิเสธข้อเสนอ การปฏิเสธการชักชวน การปฏิเสธการขอยืมสิ่งของ แต่ยังไม่พบงานวิจัยที่ศึกษาการปฏิเสธการขอความช่วยเหลือระหว่างชาวญี่ปุ่นและชาวไทย ผู้วิจัยจึงหยิบยกประเด็นดังกล่าวขึ้นมาเป็นหัวข้อในการศึกษา

การศึกษาครั้งนี้เก็บข้อมูลโดยใช้แบบสอบถามชนิดเต็มบทสนทนา(Discourse Completion Test: DCT) และการสัมภาษณ์ติดตามผล กลุ่มเป้าหมายในการศึกษาคือ นักศึกษาชาวญี่ปุ่นและนักศึกษาชาวไทย กลุ่มละ 100 คน ผู้วิจัยใช้ปัจจัยทั้ง 3 ปัจจัยที่กล่าวมาข้างต้น เป็นเกณฑ์ในการกำหนดสถานการณ์การขอความช่วยเหลือ รวม 8 สถานกาณ์ดังนี้ สถานการณ์ที่ 1-2 (อาจารย์ที่สนิท/ไม่สนิท, ระดับการขอร้อง:หนัก) อาจารย์ขอร้องให้มาช่วยเตรียมงานนิทรรศการในวันหยุด, สถานการณ์ที่ 3-4 (อาจารย์ที่สนิท/ไม่สนิท, ระดับการขอร้อง:เบา) อาจารย์ขอร้องให้มาเอาหนังสือไปคืนที่ห้องสมุด, สถานการณ์ที่ 5-6 (เพื่อนสนิท/ ไม่สนิท, ระดับการขอร้อง:หนัก) เพื่อนขอร้องให้ช่วยแปลบทความภาษาอังกฤษ, สถานการณ์ที่ 7-8 (เพื่อนสนิท/ไม่สนิท, ระดับการขอร้อง:เบา) เพื่อนขอร้องให้ช่วยตรวจการบ้าน ทั้งนี้ในแบบสอบถาม มีข้อความบรรยายสถานการณ์และบทสนทนา โดยผู้วิจัยให้กลุ่มเป้าหมายเขียนข้อความปฏิเสธการขอความช่วยเหลือในสถานการณ์ต่าง ๆ ในการวิเคราะห์ข้อมูล ผู้วิจัยใช้หน่วยความหมายในการแบ่งข้อความปฏิเสธออกเป็นหน่วยย่อย และนับความถี่ของแต่ละหน่วย จากนั้นสังเกตแนวโน้มความถี่ของหน่วยความหมายที่ปรากฏในแต่ละสถานการณ์ นอกจากนี้ยังคำนวณความถี่โดยเปรียบเทียบระหว่างกลุ่มชาวญี่ปุ่นและชาวไทย รวมถึงคำนวณความถี่แยกตามแต่ละปัจจัย เพื่อหาความแตกต่างอย่างมีนัยยะสำคัญทางสถิติ โดยใช้สูตร Chi-squared test และ Residual Analysis หน่วยความหมายที่ใช้ในการศึกษาแบ่งออกเป็น 16 หน่วย คือ {การตอบปฏิเสธตรงๆ}{การสั่ง}{การขอโทษ}{การอธิบายเหตุผล}{การเสนอความช่วยเหลือ}{การให้คำแนะนำ}{การเสนอเงื่อนไขความช่วยเหลือ}{การให้คำมั่นสัญญา}{การแสดงความลังเลใจ}{การแสดงความเข้าใจ}{การแสดงความรู้สึกตกใจ}{การถามซ้ำ}{การแสดงความเห็นใจ}{การพูดเล่น}{การให้กำลังใจ}{การตำหนิ} ทั้งนี้หัวข้อในการวิเคราะห์แบ่งออกเป็น 4 หัวข้อใหญ่ คือ 1.ความถี่ของการใช้หน่วยความหมาย 2.การเรียงลำดับของหน่วยความหมาย 3.หน่วยความหมายแรกที่ปรากฏในข้อความปฏิเสธ 4.หน่วยความหมายสุดท้ายที่ปรากฏในข้อความปฏิเสธ นอกจากนี้ ผู้วิจัยยังวิเคราะห์รูปแบบภาษาที่ชาวญี่ปุ่นและชาวไทยใช้ในการตอบปฏิเสธ รวมถึงวิเคราะห์เนื้อหาที่ใช้ในการตอบปฏิเสธซึ่งปรากฏอยู่ในแต่ละ

หน่วยความหมาย สุดท้ายผู้วิจัยได้อภิปรายผลการศึกษาจากมุมมองทางด้านสังคมและวัฒนธรรม รวมถึงการให้ข้อเสนอแนะในการสอนภาษาญี่ปุ่นให้แก่ผู้เรียนภาษาญี่ปุ่นชาวต่างชาติ

ความเหมือนและความแตกต่างในการเลือกใช้หน่วยความหมายระหว่างชาวญี่ปุ่นและชาวไทย สรุปได้ดังนี้

1.ความถี่ของการใช้หน่วยความหมาย

ความเหมือนในการใช้หน่วยความหมายของชาวญี่ปุ่นและชาวไทย สรุปได้ 2 ข้อดังนี้ **(1)**ในสถานการณ์การขอความช่วยเหลือของเพื่อน มีการใช้หน่วยความหมายที่หลากหลายมากกว่า ในสถานการณ์การขอความช่วยเหลือของอาจารย์ จึงกล่าวได้ว่าความสัมพันธ์แนวดิ่งส่งผลต่อการเลือกใช้หน่วยความหมาย **(2)**ระดับความหนักเบาของเนื้อหาการขอความช่วยเหลือแทบไม่ได้ส่งผลต่อการตัดสินใจเลือกใช้หน่วยความหมาย

ความแตกต่างในการใช้หน่วยความหมาย สรุปได้ 10 ข้อดังนี้ **(1)**จากการคำนวณทางสถิติเพื่อหาว่าปัจจัยด้านความสนิทสนมส่งผลต่อการเลือกใช้หน่วยความหมายหรือไม่นั้น พบว่าปัจจัยดังกล่าวส่งผล อย่างมากต่อการตัดสินเลือกใช้หน่วยความหมายของชาวไทย กล่าวคือ ชาวไทยจะเลือกใช้หน่วยความหมายที่แตกต่างกันตามระดับความสนิทสนม ซึ่งตรงข้ามกับชาวญี่ปุ่นที่เลือกใช้หน่วยความหมายชนิดเดียวกัน ไม่ว่าจะปฏิเสธคนสนิทหรือไม่สนิทก็ตาม **(2)**ชาวญี่ปุ่นมากกว่าร้อยละ 50 เลือกใช้หน่วยความหมาย {การตอบปฏิเสธตรงๆ}ในทุกสถานการณ์ ซึ่งแตกต่างกับชาวไทยที่แทบไม่ใช้หน่วยความหมายดังกล่าว **(3)**ชาวญี่ปุ่นมากกว่าร้อยละ 70 เลือกใช้หน่วยความหมาย {การขอโทษ}ในทุกสถานการณ์ ซึ่งแตกต่างจาก ชาวไทยที่เลือกการใช้หน่วยความหมายตามปัจจัยด้านความสนิทสนม โดยชาวไทยมีแนวโน้มในการใช้หน่วยความหมาย {การขอโทษ} ต่อคนไม่สนิทมากกว่าคนสนิท **(4)**ชาวญี่ปุ่นและชาวไทยเลือกใช้หน่วยความหมาย{การอธิบายเหตุผล}ในความถี่สูงในทุกสถานการณ์ แต่มีรูปแบบการอธิบายเหตุผลที่แตกต่างกัน กล่าวคือ ชาวญี่ปุ่นมีแนวโน้มสูงในการอธิบายเหตุผลอย่างกระชับในทุกสถานการณ์ ซึ่งแตกต่างกับชาวไทยที่มีการอธิบายเหตุผลอย่างกระชับและการอธิบายเหตุผลอย่างละเอียด แตกต่างกันตามปัจจัยด้านความสนิทสนมและความสัมพันธ์แนวดิ่งในสถานการณ์การขอความช่วยเหลือของอาจารย์ที่สนิท ชาวไทยมักจะอธิบายเหตุผลอย่างละเอียด แต่ในสถานการณ์การขอความช่วยเหลือของอาจารย์ที่ไม่สนิท มักจะอธิบายเหตุผลอย่างกระชับ ส่วนในสถานการณ์การขอความช่วยเหลือของเพื่อนไม่ว่าจะสนิทหรือ ไม่สนิทก็ตาม สัดส่วนของผู้ที่อธิบายเหตุผลอย่างกระชับและสัดส่วนของผู้ที่อธิบายเหตุผลอย่างละเอียด มีสัดส่วนใกล้เคียงกัน **(5)**จากการวิเคราะห์ด้านเนื้อหาในการอธิบายเหตุผล พบว่าชาวญี่ปุ่นจะหยิบยกเหตุผลที่เกี่ยวข้องกับตนเองเป็นหลัก โดยไม่อธิบายเนื้อหาอย่างชัดเจน เช่น มีธุระ ไม่มีเวลา เป็นต้น ซึ่งแตกต่างจากชาวไทยที่มักจะหยิบยกเหตุผลที่เกี่ยวข้องกับตนเองรวมถึงครอบครัว โดยอธิบายเนื้อหาอย่างชัดเจน เช่น มีนัดทานข้าวกับครอบครัว เป็นต้น ในกรณีของการอธิบายเหตุผลอย่างละเอียด เมื่อวิเคราะห์เนื้อหาของคำอธิบาย

ประกอบเหตุผลหลักในการปฏิเสธ พบว่า ชาวญี่ปุ่นมักใช้คำอธิบาย ที่เกี่ยวข้องกับเวลา แต่ชาวไทยมักใช้คำอธิบายที่แสดงความรู้สึกเชิงลบของตนเอง และคำอธิบายที่เน้น ความสำคัญของเหตุผลหลักในการปฏิเสธ **(6)**ชาวญี่ปุ่นแทบไม่ใช้หน่วยความหมาย {การเสนอเงื่อนไข ความช่วยเหลือ} แต่ชาวไทยมีแนวโน้มสูงในการใช้หน่วยความหมายดังกล่าว ในสถานการณ์การปฏิเสธ คนสนิท เมื่อวิเคราะห์เนื้อหาของเงื่อนไขการเสนอความช่วยเหลือ พบว่า ชาวไทยมีการเสนอเงื่อนไข ที่หลากหลายกว่าชาวญี่ปุ่น **(7)**ชาวญี่ปุ่นและชาวไทยมีความแตกต่างในการใช้ หน่วยความหมาย {การแสดงความลังเลใจ} กล่าวคือ ชาวไทยจะใช้ทั้งคำอุทานรวมถึงคำเรียกขานคู่สนทนาเมื่อเริ่มปฏิเสธ จากการศึกษาพบว่า ในสถานการณ์การปฏิเสธคนสนิท ชาวไทยมีแนวโน้มสูงในการใช้หน่วยความหมาย {การแสดงความลังเลใจ} ส่วนในสถานการณ์การปฏิเสธคนไม่สนิท ชาวไทยจะเลือกใช้หน่วยความหมาย {การขอโทษ} จึงสรุปได้ว่าปัจจัยด้านความสนิทสนมส่งผลต่อการเลือกใช้หน่วยความหมายทั้ง 2 หน่วย ที่กล่าวมาข้างต้น **(8)**หน่วยความหมาย{การพูดเล่น} พบเฉพาะในข้อความปฏิเสธของชาวไทยเท่านั้น เมื่อวิเคราะห์เนื้อหา พบว่า การพูดเล่นเกี่ยวกับการขอสิ่งตอบแทนจากการช่วยเหลือปรากฏความถี่มากที่สุด **(9)**หน่วยความหมาย{การให้กำลังใจ} ปรากฏเฉพาะในข้อความปฏิเสธของชาวญี่ปุ่นเท่านั้น **(10)**ชาวญี่ปุ่น และชาวไทยใช้หน่วยข้อความ{การตำหนิ} เฉพาะในสถานการณ์ การขอความช่วยเหลือของเพื่อนเท่านั้น แต่เมื่อวิเคราะห์เนื้อหา พบว่าชาวญี่ปุ่นและชาวไทยมีประเด็นในการตำหนิที่แตกต่างกัน กล่าวคือ ชาวญี่ปุ่น มักจะตำหนิในเรื่องระดับความหนักเบาของเนื้อหาการขอความช่วยเหลือ แต่ชาวไทยมักจะตำหนิในเรื่อง ความไม่เหมาะสมของเวลาที่มาขอความช่วยเหลือ

2.การเรียงลำดับของหน่วยความหมาย

ความเหมือนในการเรียงลำดับของหน่วยความหมาย สรุปได้ 2 ข้อดังนี้ **(1)**เมื่อวิเคราะห์ดูการเรียงลำดับ พบว่า ชาวญี่ปุ่นและชาวไทยมีแนวโน้มสูงในการใช้รูปแบบการเรียงลำดับที่มีหน่วยความหมาย {การอธิบายเหตุผล} ปรากฏระหว่างหน่วยความหมายอื่นๆ **(2)**การเรียงลำดับของหน่วยความหมาย ในสถานการณ์การปฏิเสธการขอความช่วยเหลือของเพื่อน มีความสลับซับซ้อนและมีความหลากหลายมากกว่าสถานการณ์การปฏิเสธการขอความช่วยเหลือของอาจารย์

ความแตกต่างสรุปได้ 4 ข้อดังนี้ **(1)**ในทุกสถานการณ์ ชาวญี่ปุ่นร้อยละ60-90 ใช้รูปแบบการเรียงลำดับที่มีหน่วยความหมาย{การอธิบายเหตุผล} ปรากฏระหว่างหน่วยความหมายอื่นๆ ในทางตรงกันข้ามชาวไทยร้อยละ 50 ใช้รูปแบบดังกล่าว ส่วนที่เหลืออีกร้อยละ 50 เลือกใช้รูปแบบที่มีหน่วยความหมาย {การอธิบายเหตุผล}ปรากฏเป็นหน่วยความหมายแรก หรือเลือกใช้รูปแบบที่มีหน่วยความหมาย {การอธิบายเหตุผล}ปรากฏเป็นหน่วยความหมายสุดท้ายในข้อความปฏิเสธ **(2)**รูปแบบการเรียงหน่วย ความหมาย{การขอโทษ}+{การอธิบายเหตุผล}+{การตอบปฏิเสธตรงๆ} เป็นรูปแบบที่ชาวญี่ปุ่นนิยมใช้ มากที่สุดในเกือบทุกๆ สถานการณ์ ซึ่งแตกต่างกับชาวไทยที่มีรูปแบบการเรียงหน่วยความหมายที่ซับซ้อนและหลากหลาย

จึงไม่สามารถระบุได้ว่ารูปแบบใดเป็นรูปแบบที่มีความถี่ในการใช้มากที่สุด **(3)**เมื่อ วิเคราะห์การเรียงลำดับของหน่วยความหมายอื่นที่ปรากฏก่อนหน้าหน่วยความหมาย{การอธิบายเหตุผล} พบว่า ชาวญี่ปุ่นใช้รูปแบบ{การขอโทษ}+{การอธิบายเหตุผล}+{หน่วยความหมายอื่น} มากที่สุด แต่ชาวไทยมีการใช้รูปแบบการเรียงหน่วยความหมายที่แตกต่างกันตามปัจจัยด้านความสนิทสนม กล่าวคือ ในสถานการณ์การปฏิเสธคนสนิท ชาวไทยมีแนวโน้มสูงในการใช้รูปแบบ {การแสดงความลังเล}+ {การอธิบายเหตุผล} +{หน่วยความหมายอื่น} โดยชาวไทยมีลักษณะเด่นในการแสดงความลังเลด้วยการใช้ คำเรียกขานคู่สนทนา เมื่อเริ่มต้นการปฏิเสธ เช่น อาจารย์ แก มึง เป็นต้น ส่วนในสถานการณ์การปฏิเสธ คนไม่สนิทจะใช้รูปแบบ{การขอโทษ}+{การอธิบายเหตุผล}+{หน่วยความหมายอื่น} **(4)**เมื่อวิเคราะห์ การเรียงลำดับของหน่วยความหมายอื่นที่ปรากฏหลังหน่วยความหมาย{การอธิบายเหตุผล} พบว่า ชาวญี่ปุ่นใช้รูปแบบ{หน่วยความหมายอื่น}+{การอธิบายเหตุผล}+{การตอบปฏิเสธตรงๆ} หรือรูปแบบ {หน่วยความหมายอื่น}+{การอธิบายเหตุผล}+{การตอบปฏิเสธตรงๆ}+{การเสนอความช่วยเหลือ/ การให้คำแนะนำ/การสั่ง/การให้คำมั่นสัญญา} ในทางตรงกันข้ามชาวไทยจะใช้รูปแบบการเรียงลำดับ ของหน่วยความหมายแตกต่างกันตามปัจจัยความสนิทสนม กล่าวคือ ในสถานการณ์การปฏิเสธคนสนิท ชาวไทยมีแนวโน้มสูงในการใช้รูปแบบ{หน่วยความหมายอื่น}+{การอธิบายเหตุผล}+ {การเสนอ ความช่วยเหลือ/ การเสนอเงื่อนไขความช่วยเหลือ} ส่วนในสถานการณ์การปฏิเสธคนไม่สนิท ชาวไทยมักใช้รูปแบบ {หน่วยความหมายอื่น} +{การอธิบายเหตุผล}+ {การขอโทษ/การตอบปฏิเสธตรงๆ/ การให้คำ แนะนำ}

3.หน่วยความหมายแรกที่ปรากฏในข้อความปฏิเสธ

หน่วยความหมายที่ชาวญี่ปุ่นและชาวไทยมีความถี่ในการใช้มากคือ {การขอโทษ}{การอธิบายเหตุผล}{การแสดงความลังเลใจ}ส่วนความแตกต่างระหว่างชาวญี่ปุ่นและชาวไทยคือ ชาวญี่ปุ่นเริ่มปฏิเสธโดยการใช้หน่วยความหมาย{การขอโทษ}เป็นหน่วยความหมายแรก ส่วนชาวไทยแยกการใช้หน่วยความหมาย{การแสดงความลังเลใจ}และ{การขอโทษ}ตามปัจจัยด้านความสนิทสนม นอกจากนี้การใช้หน่วยความหมาย{การสั่ง}{การให้คำแนะนำ}{การพูดเล่น}{การตำหนิ}ในการเริ่มปฏิเสธนั้น พบในข้อความปฏิเสธของชาวไทยเท่านั้น จึงกล่าวได้ว่า ชาวไทยมีการใช้หน่วยความหมายที่หลากหลายมากกว่าชาวญี่ปุ่น

4.หน่วยความหมายสุดท้ายที่ปรากฏในข้อความปฏิเสธ

ชาวญี่ปุ่นมีแนวโน้มสูงในการปิดบทสนทนาด้วยการใช้หน่วยความหมาย{การตอบปฏิเสธตรงๆ}ในเกือบทุกสถานการณ์ แต่แทบไม่ใช้หน่วยความหมาย{การเสนอเงื่อนไขความช่วยเหลือ} และ{การให้คำแนะนำ} ในทางตรงกันข้าม ชาวไทยมีการใช้หน่วยความหมายที่หลากหลาย ไม่มีรูปแบบที่ตายตัว ซึ่งมีความถี่แตกต่างกันไปตามแต่ละสถานการณ์

5.การวิเคราะห์การใช้หน่วยความหมายแยกตามปัจจัยด้านความสนิทสนม ความสัมพันธ์แนวดิ่ง และระดับความหนักเบาของเนื้อหาการขอความช่วยเหลือ

จากผลการวิเคราะห์ พบว่าชาวไทยมีแนวโน้มในการใช้หน่วยความหมายโดยคำนึงถึงปัจจัยด้านความสนิทสนมมากกว่าชาวญี่ปุ่น

ส่วนปัจจัยด้านความสัมพันธ์แนวดิ่งนั้น จากการวิเคราะห์พบว่า ชาวญี่ปุ่นและชาวไทยมีลักษณะร่วมในการใช้หน่วยความหมาย สรุปได้ 2 ข้อดังนี้

(1)ในสถานการณ์การปฏิเสธการขอความช่วยเหลือของเพื่อน มีการใช้หน่วยความหมายที่หลากหลายมากกว่าการปฏิเสธการขอความช่วยเหลือของอาจารย์

(2)ทั้งชาวญี่ปุ่นและชาวไทยมีการใช้หน่วยความหมายที่แตกต่างกันตามความสัมพันธ์แนวดิ่ง

ส่วนการวิเคราะห์การใช้หน่วยความหมายแยกตามระดับความหนักเบาของเนื้อหาการขอความช่วยเหลือนั้น พบว่า ปัจจัยดังกล่าวไม่ค่อยส่งผลต่อการใช้หน่วยความหมายของทั้งชาวญี่ปุ่นและชาวไทย

6.การวิเคราะห์หน่วยความหมาย

ในบทนี้จะกล่าวถึงการวิเคราะห์หน่วยความหมายแต่ละหน่วยที่ชาวญี่ปุ่นและชาวไทยใช้ในแต่ละสถานการณ์ โดยวิเคราะห์ว่าทั้ง 3 ปัจจัยมีความเกี่ยวข้องในการใช้รูปภาษาและเนื้อหาอย่างไรบ้าง โดยการวิเคราะห์ นั้นจะเลือกเฉพาะหน่วยความหมายที่แสดงลักษณะเด่นในการปฏิเสธของชาวญี่ปุ่นและชาวไทย รวม 10 หน่วย คือ{การตอบปฏิเสธตรงๆ}{การสั่ง}{การขอโทษ}{การอธิบายเหตุผล} {การเสนอความช่วยเหลือ} {การเสนอเงื่อนไขความช่วยเหลือ}{การแสดงความลังเลใจ}{การพูดเล่น}{การให้กำลังใจ} {การตำหนิ}

7.การให้คำแนะนำในการสอนผู้เรียนภาษาญี่ปุ่นชาวต่างชาติ

จากการสำรวจตำราเรียนภาษาญี่ปุ่นในหัวข้อการปฏิเสธการขอความช่วยเหลือ พบว่ามีปัญหาหลายประการ อาทิ การปฏิเสธการขอความช่วยเหลือเป็นหัวข้อที่มักไม่ปรากฏในตำราเรียน ตัวอย่างบทสนทนายังมีจำนวนน้อย บทสนทนาที่ปรากฏในตำราเรียนขาดความเป็นธรรมชาติ เป็นต้น ทั้งนี้ ผู้วิจัยได้เสนอแนวทางในการสอนและตัวอย่างบทสนทนาของหัวข้อนี้แยกตามระดับพื้นความรู้ของผู้เรียน โดยอ้างอิงผลการศึกษาในครั้งนี้ สุดท้าย ผู้วิจัยได้ให้ข้อเสนอแนะและข้อความระวังในการสอนหัวข้อการปฏิเสธการขอความช่วยเหลือสำหรับผู้เรียนภาษาญี่ปุ่นชาวไทย

目次

論文要旨 ii

目次 i

第一章 研究の背景 1

1.1 研究動機 1

1.2 論文の構成 3

第二章 先行研究 4

2.1 コミュニケーション能力 4

2.2 ポライトネス理論 5

2.3「依頼」「断り」の定義 6

2.4 依頼に関する研究 7

2.4.1 日本語の依頼に関する研究 7

2.4.2 タイ語の依頼に関する研究 11

2.4.3 依頼に関する対照研究 15

2.5 断りに関する研究 17

2.5.1 日本語の断りに関する研究 17

2.5.2 タイ語の断りに関する研究 17

2.5.3 断りに関する対照研究 17

2.6 意味公式に関する研究 23

2.7 日タイの社会に関する研究 27

2.7.1 タイ社会とタイ人 27

2.7.1.1 タイという国 27

2.7.1.2 社会の在り方 28

2.7.1.3 タイ社会的な価値観 28

2.7.1.4 タイ人のコミュニケーションスタイル 29

2.7.2 日タイの文化差に関する研究 31

2.7.3 日タイの人間関係に対する認識に関する研究 36

2.8 先行研究の問題点と課題 40

第三章 予備調査 42

3.1 予備調査の目的 42

3.2 本研究の依頼と断りの定義 42
3.3 データ収集方法 42
3.3.1 談話完成テスト(DCT) 43
3.3.2 場面設定 43
3.3.3 データ収集地と期間 48
3.3.4 調査手順 48
3.4 予備調査の分析方法 49
3.5 予備調査の結果 55
3.5.1 日本語母語話者とタイ語母語話者が用いた意味公式の全体的な傾向 55
3.5.2 場面 1： 親しい目上からの重い依頼 58
3.5.3 場面 2：親しくない目上からの重い依頼 61
3.5.4 場面 3：親しい目上からの軽い依頼 64
3.5.5 場面 4：親しくない目上からの軽い依頼 68
3.5.6 場面 5：親しい同等からの重い依頼 71
3.5.7 場面 6：親しくない同等からの重い依頼 75
3.5.8 場面 7： 親しい同等からの軽い依頼 78
3.5.9 場面 8： 親しくない同等からの軽い依頼 81
3.5.10 日本語母語話者とタイ語母語話者の断りの特徴 84
3.5.11 予備調査の問題点 86
第四章 本調査の研究方法 87
4.1 本調査の目的 87
4.2 場面設定 87
4.3 データ収集地と期間 89
4.4 本調査の分析方法 96
4.4.1 意味公式 97
4.4.2 分析手順 103
4.5 研究の仮説 110
第五章 本調査の結果 111
5.1 場面 1：親しい目上からの重い依頼 111
5.1.1 場面 1：日本語母語話者の使用した意味公式 111
5.1.1.1 場面 1：意味公式の出現率(JJ) 111

5.1.1.2 場面 1：意味公式の出現順序のパターン(JJ)....115
5.1.1.3 場面 1：冒頭の意味公式(JJ)....118
5.1.1.4 場面 1：最後の意味公式(JJ)....120
5.1.1.5 場面 1：まとめ(JJ)....121
5.1.2 場面 1：タイ語母語話者の使用した意味公式....122
5.1.2.1 場面 1：意味公式の出現率(TT)....122
5.1.2.2 場面 1：意味公式の出現順序のパターン(TT)....128
5.1.2.3 場面 1：冒頭の意味公式(TT)....132
5.1.2.4 場面 1：最後の意味公式(TT)....134
5.1.2.5 場面 1：まとめ(TT)....136
5.1.3 場面 1：日本語母語話者とタイ語母語話者の断りの意味公式の比較....137
5.1.3.1 場面 1：意味公式の出現率の比較 (JJ・TT)....137
5.1.3.2 場面 1：意味公式の出現順序のパターンの比較 (JJ・TT)....139
5.1.3.3 場面 1：冒頭の意味公式の比較 (JJ・TT)....141
5.1.3.4 場面 1：最後の意味公式の比較(JJ・TT)....142
5.1.3.5 場面 1：JJ と TT が用いた意味公式の使用のまとめ....144
5.2 場面 2：親しくない目上からの重い依頼....145
5.2.1 場面 2：日本語母語話者の使用した意味公式....145
5.2.1.1 場面 2：意味公式の出現率(JJ)....145
5.2.1.2 場面 2：意味公式の出現順序のパターン(JJ)....148
5.2.1.3 場面 2：冒頭の意味公式(JJ)....151
5.2.1.4 場面 2：最後の意味公式(JJ)....152
5.2.1.5 場面 2：まとめ(JJ)....154
5.2.2 場面 2：タイ語母語話者の使用した意味公式....155
5.2.2.1 場面 2：意味公式の出現率(TT)....155
5.2.2.2 場面 2：意味公式の出現順序のパターン(TT)....161
5.2.2.3 場面 2：冒頭の意味公式(TT)....164
5.2.2.4 場面 2：最後の意味公式(TT)....165
5.2.2.5 場面 2：まとめ(TT)....167
5.2.3 場面 2：日本語母語話者とタイ語母語話者の断りの意味公式の比較....168
5.2.3.1 場面 2：意味公式の出現率の比較 (JJ・TT)....168

5.2.3.2 場面 2：意味公式の出現順序のパターンの比較 (JJ・TT)....169
5.2.3.3 場面 2：冒頭の意味公式 の比較 (JJ・TT)....172
5.2.3.4 場面 2：最後の意味公式の比較 (JJ・TT)....173
5.2.3.5 場面 2：JJ と TT が用いた意味公式の使用のまとめ....175
5.3 場面 3：親しい目上からの軽い依頼....176
5.3.1 場面 3：日本語母語話者の使用した意味公式....176
5.3.1.1 場面 3：意味公式の出現率(JJ)....176
5.3.1.2 場面 3：意味公式の出現順序のパターン(JJ)....179
5.3.1.3 場面 3：冒頭の意味公式(JJ)....182
5.3.1.4 場面 3：最後の意味公式(JJ)....183
5.3.1.5 場面 3：JJ のまとめ....184
5.3.2 場面 3:タイ語母語話者の使用した意味公式....185
5.3.2.1 場面 3：意味公式の出現率(TT)....185
5.3.2.2 場面 3：意味公式の出現順序のパターン(TT)....190
5.3.2.3 場面 3：冒頭の意味公式(TT)....193
5.3.2.4 場面 3：最後の意味公式(TT)....194
5.3.2.5 場面 3：まとめ(TT)....196
5.3.3 場面 3：日本語母語話者とタイ語母語話者の断りの意味公式の比較....197
5.3.3.1 場面 3：JJ・TT の意味公式の出現率の比較 (JJ・TT)....197
5.3.3.2 場面 3：意味公式の出現順序のパターンの比較 (JJ・TT)....198
5.3.3.3 場面 3：冒頭の意味公式の比較 (JJ・TT)....201
5.3.3.4 場面 3：最後の意味公式の比較 (JJ・TT)....202
5.3.3.5 場面 3：JJ と TT が用いた意味公式の使用のまとめ....204
5.4 場面 4：親しくない目上からの軽い依頼....205
5.4.1 場面 4：日本語母語話者の使用した意味公式....205
5.4.1.1 場面 4：意味公式の出現率(JJ)....205
5.4.1.2 場面 4：意味公式の出現順序のパターン(JJ)....208
5.4.1.3 場面 4：冒頭の意味公式(JJ)....210
5.4.1.4 場面 4：最後の意味公式(JJ)....211
5.4.1.5 場面 4：まとめ(JJ)....212
5.4.2 場面 4:タイ語母語話者の使用した意味公式....213

5.4.2.1 場面 4：意味公式の出現率(TT)....213
5.4.2.2 場面 4：意味公式の出現順序のパターン(TT)....217
5.4.2.3 場面 4：冒頭の意味公式(TT)....219
5.4.2.4 場面 4：最後の意味公式(TT)....221
5.4.2.5 場面 4：まとめ(TT)....223
5.4.3 場面 4：日本語母語話者とタイ語母語話者の断りの意味公式の比較....224
5.4.3.1 場面 4：意味公式の出現率の比較 (JJ・TT)....224
5.4.3.2 場面 4：意味公式の出現順序のパターンの比較 (JJ・TT)....225
5.4.3.3 場面 4：冒頭の意味公式の比較 (JJ・TT)....227
5.4.3.4 場面 4：最後の意味公式の比較 (JJ・TT)....228
5.4.3.5 場面 4：JJ と TT が用いた意味公式の使用のまとめ....230
5.5 場面 5：親しい同等からの重い依頼....231
5.5.1 場面 5：日本語母語話者の使用した意味公式....231
5.5.1.1 場面 5：意味公式の出現率(JJ)....231
5.5.1.2 場面 5：意味公式の出現順序のパターン(JJ)....237
5.5.1.3 場面 5：冒頭の意味公式(JJ)....240
5.5.1.4 場面 5：最後の意味公式(JJ)....242
5.5.1.5 場面 5：まとめ(JJ)....244
5.5.2 場面 5：タイ語母語話者の使用した意味公式....245
5.5.2.1 場面 5：意味公式の出現率(TT)....245
5.5.2.2 場面 5：意味公式の出現順序のパターン(TT)....253
5.5.2.3 場面 5：冒頭の意味公式(TT)....257
5.5.2.4 場面 5：最後の意味公式(TT)....259
5.5.2.5 場面 5：まとめ(TT)....261
5.5.3 場面 5：日本語母語話者とタイ語母語話者の断りの意味公式の比較....262
5.5.3.1 場面 5：JJ・TT の意味公式の出現率の比較 (JJ・TT)....262
5.5.3.2 場面 5：意味公式の出現順序のパターンの比較 (JJ・TT)....264
5.5.3.3 場面 5：冒頭の意味公式の比較 (JJ・TT)....267
5.5.3.4 場面 5：最後の意味公式の比較 (JJ・TT)....268
5.5.3.5 場面 5：JJ と TT が用いた意味公式の使用のまとめ....270
5.6 場面 6：親しくない同等からの重い依頼....271

5.6.1 場面 6:日本語母語話者の使用した意味公式 271
5.6.1.1 場面 6：意味公式の出現率(JJ)....271
5.6.1.2 場面 6：意味公式の出現順序のパターン(JJ)....275
5.6.1.3 場面 6：冒頭の意味公式(JJ)....278
5.6.1.4 場面 6：最後の意味公式(JJ)....279
5.6.1.5 場面 6：まとめ 280
5.6.2 場面 6:タイ語母語話者の使用した意味公式 281
5.6.2.1 場面 6：意味公式の出現率(TT)....281
5.6.2.2 場面 6：意味公式の出現順序のパターン(TT)....288
5.6.2.3 場面 6：冒頭の意味公式(TT)....292
5.6.2.4 場面 6：最後の意味公式(TT)....294
5.6.2.5 場面 6：まとめ(TT)....296
5.6.3 場面 6 の日本語母語話者とタイ語母語話者の断りの意味公式の比較....297
5.6.3.1 場面 6：JJ・TT の意味公式の出現率の比較 (JJ・TT) 297
5.6.3.2 場面 6：意味公式の出現順序のパターンの比較 (JJ・TT)....298
5.6.3.3 場面 6：冒頭の意味公式の比較 (JJ・TT)....301
5.6.3.4 場面 6：最後の意味公式の比較 (JJ・TT)....302
5.6.3.5 場面 6：JJ と TT が用いた意味公式の使用のまとめ 304
5.7 場面 7：親しい同等からの軽い依頼....305
5.7.1 場面 7：日本語母語話者の使用した意味公式....305
5.7.1.1 場面 7：意味公式の出現率(JJ)....305
5.7.1.2 場面 7：意味公式の出現順序のパターン(JJ)....309
5.7.1.3 場面 7：冒頭の意味公式(JJ)....312
5.7.1.4 場面 7：最後の意味公式(JJ)....313
5.7.1.5 場面 7：まとめ(JJ) 314
5.7.2 場面 7：タイ語母語話者の使用した意味公式....315
5.7.2.1 場面 7：意味公式の出現率(TT)....315
5.7.2.2 場面 7：意味公式の出現順序のパターン(TT)....323
5.7.2.3 場面 7：冒頭の意味公式(TT)....327
5.7.2.4 場面 7：最後の意味公式(TT)....329
5.7.2.5 場面 7：まとめ(TT)....331

5.7.3 場面 7：日本語母語話者とタイ語母語話者の断りの意味公式の比較.....332
5.7.3.1 場面 7：JJ・TT の意味公式の出現率の比較 (JJ・TT).....332
5.7.3.2 場面 7：意味公式の出現順序のパターンの比較 (JJ・TT).....334
5.7.3.3 場面 7：冒頭の意味公式の比較 (JJ・TT).....337
5.7.3.4 場面 7：最後の意味公式の比較 (JJ・TT).....338
5.7.3.5 場面 7：JJ と TT が用いた意味公式の使用のまとめ.....340
5.8 場面 8：親しくない同等からの軽い依頼.....341
5.8.1 場面 8:日本語母語話者の使用した意味公式.....341
5.8.1.1 場面 8：意味公式の出現率(JJ).....341
5.8.1.2 場面 8：意味公式の出現順序のパターン(JJ).....345
5.8.1.3 場面 8：冒頭の意味公式(JJ).....348
5.8.1.4 場面 8：最後の意味公式(JJ).....349
5.8.1.5 場面 8：まとめ(JJ).....350
5.8.2 場面 8：タイ語母語話者の使用した意味公式.....351
5.8.2.1 場面 8：意味公式の出現率(TT).....351
5.8.2.2 場面 8：意味公式の出現順序のパターン(TT).....356
5.8.2.3 場面 8：冒頭の意味公式(TT).....360
5.8.2.4 場面 8：最後の意味公式(TT).....361
5.8.2.5 場面 8：まとめ(TT).....363
5.8.3 場面 8：日本語母語話者とタイ語母語話者の断りの意味公式の比較.....364
5.8.3.1 場面 8：JJ・TT の意味公式の出現率の比較 (JJ・TT).....364
5.8.3.2 場面 8：意味公式の出現順序のパターンの比較 (JJ・TT).....365
5.8.3.3 場面 8：冒頭の意味公式の比較 (JJ・TT).....368
5.8.3.4 場面 8：最後の意味公式の比較 (JJ・TT).....369
5.8.3.5 場面 8：JJ と TT が用いた意味公式の使用のまとめ.....370
5.9 場面 1-8 における意味公式の使用のまとめ.....371
5.9.1 場面 1-8：意味公式の出現率.....371
5.9.1.1 場面 1-8：意味公式の出現率(JJ).....371
5.9.1.2 場面 1-8：意味公式の出現率(TT).....374
5.9.1.3 場面 1-8：意味公式の出現率の比較(JJ・TT).....377
5.9.2 場面 1-8：意味公式の出現順序のパターン.....382

5.9.2.1 場面 1-8：意味公式の出現順序のパターン(JJ) 382
5.9.2.2 場面 1-8：意味公式の出現順序のパターン(TT)....383
5.9.2.3 場面 1-8：意味公式の出現順序のパターン(JJ・TT) 384
5.9.3 場面 1-8：冒頭の意味公式....384
5.9.3.1 場面 1-8：冒頭の意味公式(JJ)....384
5.9.3.2 場面 1-8：冒頭の意味公式(TT) 385
5.9.3.3 場面 1-8：冒頭の意味公式(JJ・TT) 387
5.9.4 場面 1-8：最後の意味公式....387
5.9.4.1 場面 1-8：最後の意味公式(JJ)....387
5.9.4.2 場面 1-8：最後の意味公式(TT) 389
5.9.4.3 場面 1-8：最後の意味公式(JJ・TT) 390
第六章 親疎関係、上下関係、依頼の負担度による分析 391
6.1 親疎関係による分析....391
6.1.1 場面 1(親・目上・重)と場面 2(疎・目上・重)....391
6.1.1.1 場面 1・2：日本語母語話者 391
6.1.1.2 場面 1・2：タイ語母語話者 392
6.1.2 場面 3(親・目上・軽)と場面 4(疎・目上・軽)....393
6.1.2.1 場面 3・4：日本語母語話者 393
6.1.2.2 場面 3・4：タイ語母語話者 394
6.1.3 場面 5(親・同等・重)と場面 6(疎・同等・重)....395
6.1.3.1 場面 5・6：日本語母語話者 395
6.1.3.2 場面 5・6：タイ語母語話者 396
6.1.4 場面 7(親・同等・軽)と場面 8(疎・同等・軽)....397
6.1.4.1 場面 7・8：日本語母語話者 397
6.1.4.2 場面 7・8 タイ語母語話者 398
6.1.5 親疎関係による分析のまとめ 399
6.1.5.1 親疎関係による分析のまとめ：日本語母語話者 399
6.1.5.2 親疎関係による分析のまとめ：タイ語母語話者 399
6.1.5.3 親疎関係による分析のまとめ：日本語母語話者とタイ語母語話者の比較....400
6.2 上下関係による分析....402
6.2.1 場面 1(親・目上・重)と場面 5(親・同等・重)....402

6.2.1.1 場面 1・5：日本語母語話者 402
6.2.1.2 場面 1・5：タイ語母語話者 403
6.2.2 場面 2(疎・目上・重)と場面 6(疎・同等・重) 404
6.2.2.1 場面 2・6：日本語母語話者 404
6.2.2.2 場面 2・6：タイ語母語話者 405
6.2.3 場面 3(親・目上・軽)と場面 7(親・同等・軽) 407
6.2.3.1 場面 3・7：日本語母語話者 407
6.2.3.2 場面 3・7：タイ語母語話者 408
6.2.4 場面 4(疎・目上・軽)と場面 8(疎・同等・軽) 409
6.2.4.1 場面 4・8：日本語母語話者 409
6.2.4.2 場面 4・8：タイ語母語話者 410
6.2.5 上下関係による分析のまとめ 411
6.2.5.1 上下関係による分析のまとめ：日本語母語話者 411
6.2.5.2 上下関係による分析のまとめ：タイ語母語話者 411
6.2.5.3 上下関係による分析のまとめ：日本語母語話者とタイ語母語話者の比較.....412
6.3 依頼の負担度による分析.....413
6.3.1 場面 1(親・目上・重)と場面 3(親・目上・軽) 413
6.3.1.1 場面 1・3：日本語母語話者 413
6.3.1.2 場面 1・3：タイ語母語話者 414
6.3.2 場面 2(疎・目上・重)と場面 4(疎・目上・軽) 415
6.3.2.1 場面 2・4：日本語母語話者 415
6.3.2.2 場面 2・4：タイ語母語話者 416
6.3.3 場面 5(親・同等・重)と場面 7(親・同等・軽) 417
6.3.3.1 場面 5・7：日本語母語話者 417
6.3.3.2 場面 5・7：タイ語母語話者 418
6.3.4 場面 6(疎・同等・重)と場面 8(疎・同等・軽) 419
6.3.3.1 場面 6・8：日本語母語話者 419
6.3.3.2 場面 6・8：タイ語母語話者 420
6.3.5 依頼の負担度による分析のまとめ.....421
6.3.5.1 依頼の負担度による分析のまとめ：日本語母語話者.....421
6.3.5.2 依頼の負担度による分析のまとめ：タイ語母語話者.....421

6.3.5.3 依頼の負担度による分析のまとめ：日本語母語話者とタイ語母語話者の比較.....422
6.4 親疎関係・上下関係・依頼の負担度による分析のまとめ.....423
第七章 意味公式ごとの分析.....424
7.1{結論}.....424
7.1.1{結論}：日本語母語話者.....424
7.1.2{結論}：タイ語母語話者.....438
7.2{行動指示}.....446
7.2.1{行動指示}：日本語母語話者.....446
7.2.2{行動指示}：タイ語母語話者.....448
7.3{理由}の言語形式の分析.....451
7.3.1{理由(言語形式)}：日本語母語話者.....451
7.3.1.1{理由(言語形式)}：[理由の内容](JJ).....451
7.3.1.2{理由(言語形式)}：[理由の内容+付加説明](JJ).....464
7.3.2{理由(言語形式)}：タイ語母語話者.....478
7.3.2.1{理由(言語形式)}：[理由の内容](TT).....478
7.2.2.2{理由(言語形式)}：[理由の内容+付加説明](TT).....485
7.4{理由} の内容の分析.....490
7.4.1 場面 1-8 における[理由の内容]と[理由の内容+付加説明]の全体的な傾向.....492
7.4.2[理由の内容]の具体的な回答(場面 1-4).....496
7.4.3[理由の内容+付加説明]の具体的な回答(場面 1-4).....499
7.4.4[理由の内容]の具体的な回答(場面 5-8).....502
7.4.5[理由の内容+付加説明]の具体的な回答(場面 5-8).....504
7.4.6 まとめ.....506
7.5{詫び}.....508
7.5.1{詫び}：日本語母語話者.....508
7.5.2{詫び}：タイ語母語話者.....511
7.6{積極的代案提示}.....515
7.6.1{積極的代案提示}：日本語母語話者.....515
7.6.2{積極的代案提示}：タイ語母語話者.....516
7.6.3{積極的代案提示}：日本語母語話者とタイ語母語話者の比較.....518
7.7 {条件提示}.....519

7.7.1{条件提示}：日本語母語話者 519
7.7.2{条件提示}：タイ語母語話者 521
7.7.3{条件提示}：日本語母語話者とタイ語母語話者の比較....525
7.8{否定的反応 [呼びかけ]}....526
7.9{冗談}....530
7.10{励まし}....532
7.11{非難}....533
7.11.1{非難}：日本語母語話者 533
7.11.2{非難}：タイ語母語話者 534
7.11.3{非難}：日本語母語話者とタイ語母語話者の比較....535
7.12　意味公式ごとの分析のまとめ 536
第八章 おわりに 537
8.1 日タイ母語話者における意味公式の出現順序のパターンのまとめ....537
8.2 日タイ母語話者における意味公式の使用の共通点と相違点....542
8.3 仮説の検証の結果 546
8.4 文化差の観点による考察....550
8.5 日タイ語母語話者の「依頼」と「断り」の概念の捉え方....557
8.6 日本語教育への示唆 558
8.6.1 教科書に扱われている依頼に対する断りの表現....558
8.6.2 教科書に扱われている誘いに対する断りの表現....561
8.6.3 会話指導への提案 563
8.7 今後の課題 570
参考文献 571
付録①予備調査の談話完成テスト
付録②本調査の談話完成テスト
謝辞

第一章

研究の背景

1.1 研究動機

現代社会におけるグローバル化に伴い、異文化間の交流も盛んになり、文化的背景が異なる人との接触機会も珍しくなくなった。外国人と円滑にコミュニケーションできることは実利的な面においても重要であるし、「地球時代」に生きるうえでの思考力や教養を身につけることが強く求められている(伊佐 2007:2)。それぞれの文化・民族には歴史の中で培われてきたコミュニケーションの習慣というものがある。ある文化に生まれた人は、その文化特有の習慣を身につけながら成長する。人は自文化において身につけたコミュニケーションの習慣によって、他者にメッセージを送り、また他者のメッセージを解釈する。そのため、その文化圏内の人々は共通のルールに従って、コミュニケーションを営む(今井 2007:56)。異文化コミュニケーションは、互いに異なる自文化の影響を強く受けている参与者が様々な困難を経験する活動である。コミュニケーションを行うにあたって、参与者は互いに自文化において得た経験に基づく価値観、思考、また言語および非言語記号などによる影響を受けながら、相手のメッセージを解釈する(石井 1997:9-10)。異文化の者同士では、社会的文化背景およびコミュニケーション・スタイルが異なるので、解釈の違いがもとで、文化の相違による様々な摩擦が生じる。

異文化コミュニケーションにおいては、言語能力が中核的な部分であると言われている。しかし、言語能力だけでは、必ずしもコミュニケーションが順調に成り立つとは限らない。Canále &Swain(1980)はコミュニケーションを達成するために、「文法的能力(grammatical competence)、方略的能力(strategic competence)、談話能力(discourse competence)、社会言語能力(sociolinguistic competence)の 4 つの能力が必要である」と述べている。また、小山・川島(2001)によると、「コミュニケーション能力とは、社会的判断を下すことであり、相手やコミュニケーションの目的などの諸要素を考慮した上で、状況に応じた判断を下す能力だ」という。さらに、社会的判断の基準はコミュニケーションの目標を達成する効果性(effectiveness)と文化的・社会的状況に関する適切性(appropriateness)の 2 つの次元が密接に絡み合って成り立っている。 このように、どの言語においてもコミュニケーションを行うにあたっては社会的判断能力が不可欠だと言える。

我々が他者とコミュニケーションを円滑に行うには、人間関係・相手の社会的地位などの社会文化的コンテクストに配慮し、適切な表現を使用しなければならない。特に、断りという行為は、相手の意向に沿わないという点で相手の領域を脅かしかねない行為である(藤森:1995)。日常生活において、断りは我々にとって接触したくない難しい言語行動ではないかと思う。だが、我々の生活において何らかの理由により断らざるを得ない状況は確かに存在する。その時、相

手との良い関係を維持するためにどのような表現を選ぶか、様々な要因について考慮することが必要とされる。

断りは母語話者にとっても好ましくないことで、難しい行動の一つである。特に、文化的背景を異にする外国語学習者が外国語で断りを表明しなければならない場合、誤解を招くことへの恐怖や心配などの感情を抱くことは想像に難くない。異文化コミュニケーションの難しさは、それぞれの文化がそれぞれの語用論的特徴を持つことに起因する。異文化間における断りの対照研究としてグエン(2012)と成田・成田(2010)の研究が挙げられる。両文化における断り方が異なることを示したグエン(2012) は日本語母語話者とベトナム母語話者の依頼に断り意味公式を目的とし、調査を行った。当研究では、断りの意味公式の使用傾向の差の一つとして日本語母語話者が相手の依頼を断る際に、詫びることが特徴であることが挙げられている。日本人の考えでは、詫びは相手との人間関係を維持するために必要なことなので、詫びの言葉を言わないと失礼だと感じられる恐れがあるからである。それに対して、ベトナム母語話者は詫びをあまりしない。というのは、ベトナム人の意見では、親しい相手に詫びることは、相手との距離を置くことに等しく、よそよそしい関係になってしまうと考えるからである。また、成田・成田(2010)は、「申し出に対する断り」について日本語母語話者とタイ語母語話者のコミュニケーションスタイルを研究した。結果は、断りの際に理由を説明する点が日タイ両者に共通しているが、相違点は日本語母語話者が直接的に断るのに対して、タイ語母語話者は間接的に断るという点である。このような文化差により、それぞれ異文化を母文化とする人間同士が接触する際にコミュニケーションの失敗をもたらす危険性がある。

断りに関する先行研究では「提案」「勧誘」「物の貸し借りの依頼」等に着目した対照研究(ルンティーラ 2004、伊藤 2009、成田・成田 2010 等)は数多く見られるが、「手伝ってほしい」という依頼に対する断りを中心にした日タイ対照研究はまだなされていない。「手伝うことの依頼」は恩恵授受関係のある言語行動であり、依頼に対して断りがなされた場合は、依頼者をがっかりさせたり、困らせたりする可能性がある。また、依頼を断った人は思いやりがない人だと判断されるかもしれない。このように「手伝うことの依頼」に対する断りは人間関係に強い影響を与える可能性があることから、研究する必要性があると考える。また、「提案に対する断り」に関して調査を行ったルンティーラ(2004)は、「タイ人は親疎関係を、日本人は上下関係を考慮して断り方を選択する」と述べている。しかし、「手伝うことの依頼」に対する断りの場面においては、親疎関係、上下関係、依頼の負担度が断り方にどのように影響を与えるかについては明らかにされていない。

そこで、本研究では、「手伝うことの依頼」に対する断りに焦点を当て、談話完成テスト(DCT)を研究方法として採用し、上下関係、親疎関係、依頼の負担度の 3 つの要因によって、日本語母語話者とタイ語母語話者が用いる意味公式(Beebe, Takahashi and Uliss-Weltz 1990)の使用の共通点と相違点を明らかにすることを目的とした。さらに、異文化間コミュニケーションの誤

解を減らすために、明らかになった点を踏まえ、日本語教育において留意すべき点を提案したいと考える。

1.2 論文の構成

本研究の各章の構成は以下の通りである。

第 1 章は、研究の背景について述べる。

第 2 章は、先行研究について以下の構成で述べる。2.1 コミュニケーション能力、2.2 ポライトネス理論、2.3「依頼」「断り」の定義、2.4 依頼に関する先行研究、2.5 断りに関する先行研究、2.6 意味公式に関する研究、2.7 日タイの社会に関する研究、2.8 先行研究の問題点と課題

第 3 章は、予備調査について以下の構成で述べる。3.1 予備調査の目的、3.2 本研究の依頼と断りの定義、3.3 データ収集方法(談話完成テスト、場面設定、データ収集地と期間、調査手順)、3.4 予備調査の分析方法、3.5 予備調査の結果

第 4 章は、本調査の研究方法について以下の構成で述べる。4.1 本調査の目的、4.2 場面設定、4.3 データ収集地と期間、4.4 本調査の分析方法、4.5 研究の仮説

第 5 章は、本調査の結果について述べる。5.1-5.8 節で各場面ごとに日本語母語話者とタイ語母語話者に分けてそれぞれ(1)意味公式の出現率、(2)意味公式の出現順序のパターン、(3)冒頭の意味公式、最後の意味公式、(4)意味公式の出現率の 4 つの項目を分析し、その後両言語の母語話者の比較をし、5.9 にまとめる。

第 6 章は、親疎関係、上下関係、依頼の負担度、それぞれの要因による意味公式の出現率を比較する。

第 7 章は、7.1-7.11 節で日本語母語話者とタイ語母語話者が用いた意味公式を言語形式と内容の観点から分析した結果について述べ、最後に 7.12 にまとめる。

第 8 章は、調査の結果のまとめ、考察、および日本語教育への提案について以下の構成で述べる。8.1 日タイ母語話者における意味公式の出現順序のパターンのまとめ、8.2 日タイ母語話者における意味公式の使用の共通点と相違点、8.3 仮説の検証の結果、8.4 文化差の観点による考察、8.5 日タイ母語話者の「依頼」と「断り」の概念の捉え方、8.6 日本語教育への示唆、8.4 今後の課題

第二章

先行研究

本章では、まず本研究の基礎となる考え方としてコミュニケーション能力、発話行為論、ポライトネス理論の基本的な知識を紹介する。次に、本研究で中心的に扱う依頼と断りに関する対照研究をまとめ、日タイの社会に関する研究を紹介する。最後に、データの分析方法として用いる「意味公式」に関する先行研究ついて述べる。

2.1 コミュニケーション能力

コミュニケーション能力という言葉は、言語教育以外でもよく使われるようになり、各分野によって定義が異なる。Chomsky(1965) は言語の原則と呼ばれる言語能力(linguistic competence)と実際に言語を用いる言語運用(linguistic performance) を区別した。言語能力とは正しい文を作り出すための文法の知識なのであり、人間は言語能力によって文法的に正しい文を無限に産出できる。だが、実際の会話においては母語話者さえ文法的に正しい文が作り出せるとは限らない。心理的状況によって誤りの産出が起こることもあるので、正しい言語運用能力をしていなくても言語能力がないとは言えない。Chomsky が文法の知識のみに研究の焦点を当てるのに対して、Hymes(1972)は Chomsky の議論に異議を唱えた。Hymes はコミュニケーション能力という概念は言語の知識のみならず、発話の適切さなどの社会文化的要素も内包していると再定義した。

さて、コミュニケーション能力については Bachman&Palmer(1996), Canále & Swain(1980), Savignon(1997) などの様々な学者によって構成要素が提唱された。本節では代表的な Bachman&Palmer のモデルを紹介する。Bachman&Palmer(1996)によると、コミュニケーション能力は(1)言語能力(language competence) (2)方略的能力(strategic competence) (3)精神生理学的作用(psychophysiological mechanisms) の 3 つの要素で構成されると述べている。

言語能力は(1)構成能力(organizationál competence) (2)語用論的能力(pragmatic competence)という 2 つの要素に分けられる。

(1) 構成能力(organizational competence) ：文法的に発話や文法の産出とその意味の理解、文のまとまりを作るのに必要な能力

1)文法能力(grammatical competence)：音韻、語彙、文法、統語などをもとに文を作る能力

2)テキスト能力(textual competence)：文の結束性、会話的構造に関する能力

(2) 語用論的能力(pragmatic competence)：発話の意図と談話の創造や理解に関する能力

1)発語内能力(illocutionary competence)：発話や文の目的を把握する能力

2)社会言語能力(sociolinguistic competence)：社会的文脈に応じる適切な言語を使う能力

2.2 ポライトネス理論

ポライトネスとは、「円滑なコミュニケーションを図り、会話参与者との円満な関係の構築、維持を行う語用論的な働きのことを指す」(山内:2003)。

山岡(2012:72)によると、Brown&Levinson (1987)は Goffman(1967)が提唱したフェイス(face)という概念に基づいてポライトネス理論を規定した。彼は、人間の誰でも社会的存在を営む上で他人との関係にかかる基本的欲求を持つことをとらえ、人間が普遍的に持っている 2 つのフェイスを提案した。すなわち、他人から自分の行動や願望が好ましく認められたいという欲求に関わる積極的フェイス(positive face)と、他人に自分の領域を邪魔されたくないという消極的フェイス(negative face)である。

実際のコミュニケーションにおいては、互いに自分や相手のフェイスを侵害する可能性(フェイスリスク(face risk)と呼ぶ)があり、さらに相手のフェイスを侵害する危険性が少なくない。例えば、「命令」の場合は相手に行為をさせるので、相手の消極的フェイス(negative face)を脅かす。また「不満表明」の場合は相手の信頼性を損ない、相手の積極的フェイス(positive face)を脅かす。フェイスを脅かす行為を「フェイス侵害行為(face threatening): 以下 FTA」と呼ぶ。

また、Brown&Levinson は FTA の度合いの大きさを算定する方法として計算式を提示した。

$$Wx = D(S,H) + P(H,S) + Rx$$

Wx (weightiness) : 行為 X が相手のフェイスを脅かす度合いの大きさ

D (distance): 話者(speaker)と相手(hearer)

P (power): 相手(hearer)との話者に対する力

Rx (ranking of imposition):文化的内における行為 X の負荷度

話者より立場が高い相手・話者より疎遠な相手に対しては、FTA の度合いが高まるということである。また、それぞれの文化によって負荷度の捉え方が異なるので、文化的差異として考慮しなければならない(山岡 2012:79-80)。

発話の時に、相手のフェイスを侵害することが起こるので、それを軽減するための方策としてポライトネスのストラテジーが使われている。Brown&Levinson (1987)はこれらの方策を 5 つに分類した。

(1) あからさま (without redressive action, baldly) ：相手のフェイスに配慮する必要がない緊急時や相手の利益のためになる場合に用いられる。例：「助けて!」 (危険が迫っている状況)

(2) 積極的ポライトネス(positive politeness) ：人間関係維持が存在していることを相手に伝え、相手との親密な友情関係を強調する積極的フェイスに配慮した補償意味公式である。例：「ペンを貸してくれる？君しか頼める人がいないんだ」 (聞き手との友情を強調する)

(3) 消極的ポライトネス(negative politeness) ：聞き手の領域の侵害を避ける意味公式である。差し控えや距離を置くなどの慣習化された婉曲的表現が用いられる。

(4) ほのめかし(off record) ：発話で用いられる文が発語内行為の意図と一致せず婉曲的に意図を伝える意味公式である。しかし、この方法は発語内行為が意図したのとは別の意図で解釈されてしまう可能性があるので、コミュニケーションの目的が達成されないリスクがあることに配慮しなければならない。

(5) FTA を行わない(Don't do the FTA)：言語表現に全く現れないポライトネスのストラテジーである。

Brown&Levinson のポライトネス理論は英語のみならず、様々な言語が分析対照として扱われているため、異なる言語の表現を対照する時に普遍性を持つと考えられる。本研究は依頼の場面設定およびデータ分析に当たり、Brown&Levinson(1987)のポライトネス理論を採用することにする。

2.3「依頼」「断り」の定義

先行研究において、依頼は様々な研究者によって定義されている。まず山岡(2012)は、「依頼」を「自己あるいは自己と関係する者の利益をもらうために、ある行動をとるよう他者に申し出る発話行為である」と定義している。グエン(2012:182) は「依頼側自身の利益のために、被依頼者側に行動を求める、いわゆる「人を動かす」行為である」と規定している。さらに詳しく定義した頼(2005)は、「依頼主体がある「相手」に実行してもらいたいという意志があり、その「行動」を相手に実行させようとする行為である。行動するかどうかを決める「決定権を「相手」が持ち、行動する。また、「相手の行動」によって「自分」が「利益」を受ける」としている。これらの「依頼」の定義は、依頼者が自分の利益をもらうために、相手に何らかの行動をさせるという点が共通している。

次に「断り」の定義に関して、Gass&Houck (1999)は断りを「ある話者が遂行した依頼や勧誘、申し出などの何らかの行為に対し、否定的な返事をすることである。」と定義している。また、蔡(2005) は「承諾を期待する相手の要求を受け入れず、相手の意向に反することを実行しようとする行為である」と規定している。施(2006)によると「相手の好意や依頼に対して「その意に沿えない」という気持ちを相手に理解してもらう行動であり、その行動自体が相手の心情を害し、人間関係を損なってしまう危険性をともなうものである」ということである。最後に、権(2008:225)は「相手の(依頼者・要求者など)の意図に応じず、断る側の領域(自由にいたい)のような気持を守る発話行為である」と定義している。これらの「断り」の定義は、相手の申し出・依頼などの行動や、相手の意図に応じないという点が共通している。

2.4 依頼に関する研究

本節では日本語、タイ語の依頼に関する研究、および依頼に関する対照研究について述べる。

2.4.1 日本語の依頼に関する研究

日本語の依頼表現に関する研究としては、Dechvijankit(2004)、尾崎(2006)、 相原(2008)、山岡(2012)などがある。本項では、代表的なものとして Dechvijankit(2004)、山岡(2012)、グエン(2014)、グエン(2017)の研究を取り上げる。

まず、日本語の依頼表現について述べていく。山岡(2012)によると、日本語の依頼表現は 5 つの種類に分けられる。

(1) 遂行系依頼表現：文を発話することが、その文が示す行為の遂行に当たるという依頼表現である。例えば「後を頼みます」。Austin(1962)の遂行文に当たる依頼表現であり、命題内容条件としては、主語が第一人称であること、時制が現在である。依頼表現の形式の例は「V よう(N を)頼む」「V よう(N を)お願いします」などである。

(2) 命令系依頼表現：日本語では、動詞命令形を述語とする命令文のうち、聞き手の動作が話し手の利益を含意する場合は命令系依頼表現と呼ぶ。また、授受表現動詞「くれる」が述語に用いられる場合も、話者の利益が構造的に求められることになる。これが命令系依頼の基本表現である。依頼表現の形式の例は「～てくれ」「～て」「～てください」「お～ください」。さらに「～てください」は聞き手の動作が話し手の利益を含意しない場合も多い。例えば、駅員の「白線の内側にお下りください」「落ち着いてください」などは話し手の利益が含意されないため、「てください」は発話状況次第で、丁寧な命令、許可、助言などの多機能的な表現である。

(3) 要求系依頼表現：問いかけ文を用いた依頼表現を要求依頼表現と呼ぶ。要求というのは相手に返答を求めるものであるため、それに応じて協力するかどうかの決定は相手による。押しつけがましくない配慮を表現できる。依頼表現の形式は相手によって変化する。例えば、「～てくれるか」「～てくれませんか」「～てくださいませんか」「～てもらえるか」「～てもらえますか」「～てもらえませんか」「～てもらってもいいか」「～ていただいてもよろしいですか」などである。

(4) 願望表出系依頼表現：文末に「～てほしい、～てもらいたい、～願いたい」のような願望が表れる依頼表現である。さらに、文末に付加表現が加わる場合もある。例えば、言いさし文「～てもらいたいんですが」の「が」は相手の負担に対する遠慮を表現する消極的配慮表現である。

(5) 情意表出系依頼表現：依頼の命題内容を、条件節を用いて婉曲的・仮定的に表現し、主節は自己利益を表す述語を用いた文であるような依頼表現である。例えば、「～てもらえる

とありがたいです」「～ていただければ幸いです」「～てもらえるとありがたいです」「～と、ば、たら、なら」などが使用される。

また、依頼の会話を通して依頼表現ををを分析した Dechvijankit(2004)によると、実際の発話における依頼表現は 3 つの種類に分けられる。

(1) 直接的な依頼表現

1.命令型：聞き手に話し手の要求を通すために命令する依頼表現で、「動詞のテ形」が使われている。

例＜親しい後輩にパソコンを借りる場面＞
A : 栄子ちゃん。ノートパソコン貸して。

2.意思表明型：話し手が自分の意思を聞き手に表明する依頼表現である。

例＜先生に本を借りる場面＞
A : 今憲法の授業取っているんですけれども、今度、レポートを書くことになりまして、で、本を探しているんですけれども。あの…今先生に頼みに来たんですけれども。アメリカの憲法という本をお持ちですか。

3.願望型：聞き手に話し手の願望を達成してもらうように願望を伝える依頼表現である。

例＜親友に図書館に本を返却するように依頼する場面＞
A : ちょっと今日までにね、中央図書館に返さなきゃいけいけない本があるんだけど。あの…、ちょっと急用できちゃって、返しに行く時間がないのね。
で、みっちゃんにちょっとついでに前通る時に、返してもらいたいんだけど。

(2) 間接的な依頼表現

1.可能要求型：依頼に応じてもらえるかどうかという点について、問いかけ文を用いた依頼表現で、授受表現「～てくれる」「～てもらう」、「～てもいいですか」などが使われている。

例＜親友に翻訳の手伝いを依頼する場面＞
A : 栄子ちゃん。
A : 中国語専攻してたよね。
B : うん。
A : [ごめんだけどね。]
A : 今度レポートで使おうと思った論文が中国語で 10 ページぐらいあるんだけど。
A : 訳してもらえない？

2.独り言型：依頼に応じてくれるかどうか独り言のように述べる依頼表現である。「かな」と共起することが多く見られる。

例＜先輩が親しくない先輩に絵展示会の手伝いを依頼する場面＞
A : 来週の月曜から金曜の 5 日間 あたしの展示会があるのね。
B : はい。
A : それのスタッフとしてちょっと手伝ってもらえないかなあって思ってるんだけど。

(3) ほのめかし

この依頼表現は聞き手のフェイスを侵害しないように、話し手が発話の意図を明確に伝えず、依頼に関する情報を提供したり、状況を説明したりするのが特徴である。文脈から話し手の意図を解釈する必要がある。

例＜学生が親しい先生に推薦状を書いてもらうように依頼する場面＞
A : ちょっと今日、頼みたいことあって、来たんですけれども。
B : うん。 何？
A : はい。 ちょっとお忙しいところ申し訳ないですけれども。
B : ええ。
A : あの… 奨学金の申請をちょっとしようと思ってまして。
B : うん。
A : で、どうしても、先生の推薦状が必要なんですね。
B : うん。推薦状。いいよ。書くわよ。

次に、依頼会話の構造に関する研究を述べる。 グエン(2014)によると、依頼会話の全体の構造が 2 つに分けられる。

(1) 雑談部：依頼を行う目的を持って話題を切り出すところから依頼対象となる事柄に関する情報や評価をお互いに交わすやりとりを指す。依頼部は、依頼会話の中心であり、依頼を行う理由を訴え、依頼を行い、依頼を遂行するのに必要な事柄を依頼者と被依頼者が相談しながら決定し依頼会話を終結するまでのやりとりである。
(2) 依頼部：依頼理由を訴える【状況説明】や【状況確認要求】のような発話を含む〈依頼理由〉、依頼を明言したところから承諾するかどうかを決め、依頼者の態度を表す【負担軽減】、【感謝】などを含む部分である〈依頼遂行〉、依頼会話を終了させるための〈依頼相談〉に下位区分されている。

続いて、依頼会話における待遇ストラテジーに関する研究を述べる、グエン(2017)は日本語・ベトナム語の依頼会話における待遇ストラテジーの特徴を分析し、両言語の共通点・相違点を考察した。依頼内容の負担度が軽（場面 1：小説の貸し借り）、中（場面 2：ビデオカメラの貸し借り）、重（場面 3：お金の貸し借り）の 3 つの場面における「依頼」のロール

プレイをしてもらい、録音した会話を文字化し分析した。分析の結果として、依頼を達成し、かつ人間関係を保つための待遇を待遇調整 1(会話開始)→待遇調整 2(説得)→待遇調整 3(働きかけ)→待遇調整 4(相談)→待遇調整 5(会話終了)の 5 段階で行っていた。日本語の各段階における待遇ストラテジーの 使用を以下にまとめる。

(1) 待遇調整 1(会話開始) ：被依頼者とお互いに雑談のような会話を交わしながら被依頼者を目的へと自然な流れで引き込み、人間関係を良好に保とうしてる。依頼者が被依頼者に唐突さを感じさせずかつ会話が依頼目的から離れていかないよう、【依頼対象の情報要求－提供】(場面 1)、【関連情報要求－提供】(場面 2・場面 3)の《場の安定》に関わる待遇ストラテジーを使用することで雑談と依頼目的とのバランスを調整しようとしている。

(2) 待遇調整 2(説得)：負担度が軽い場面 1 では、依頼者は、①被依頼者が置かれている状況を確認する【状況確認要求】と同時に、②依頼を生じさせたいという願望・意思と③依頼を行 う必要性、といった依頼行動の前提を提示する【状況説明】で被依頼者を説得しようとしてい る。負担度が中である場面 2 では、①②③のほか、④被依頼者を頼らざるを得ない状況に あるという前提も見られ、行動前提のバリエーションが場面 1 より多いことが明らかとなっ た。場面 3 では、依頼対象がお金であるため、①は提示されず、また②③より、④と⑤緊急性表明の方が多く使用されていた。さらに、場面 2 と場面 3 では、待遇調整 2 を適切に展開 させた後依頼行動をとる待遇調整 3 を行っても、依頼の妥当性が満たされず、被依頼者を 説得できないこともある。このような場合には、被依頼者が納得するまで待遇調整 2 を工 夫して行う必要があることが見られた。

(3) 待遇調整 3(働きかけ)： 依頼を明示的に行う前に、依頼者が「ちょっとお願いがあるんですけど」な どの【前置き】を用いて被依頼者に心理的な準備をさせようとしている。その後、依頼者は 依頼内容を明示的に伝えるが、【依頼】を受けた被依頼者が明示的に【承諾】あるいは【拒 否】を行うことで、お互いに次の行動を促そうとする。依頼が承諾された後も、人間関係を良好に保つストラテジーとして、【承 諾理由説明】【負担軽減】【約束】【再依頼】が会話参加者によって行われている。【承諾 理由説明】は、負担度が重い依頼であってもその依頼によって迷惑をそれほどかけられてい ないということを依頼者に伝えようとするものである。

(4) 待遇調整 4(相談)：承諾を受けた依頼者は、被依頼者にその依頼遂行における負 担をかけてしまうことになるため、依頼者がその依頼の遂行を促す【問題提起】の使用を避ける傾向にあると思われる。一方、被依頼者は、依頼者に配慮し、「いつ」「どこで」など の行動条件を提示する【問題提示】や【解決案申し出】を行っている。

(5) 待遇調整 5(会話終了)：依頼に承諾がなされたかどうかを問わずいずれの場面においても人間関係を修復する待遇ストラテジーが使用されている。被依頼者が承諾した場合に使 用されている待遇ストラテジーは、①【感謝】②【謝罪】③【関係修復】である。

2.4.2 タイ語の依頼に関する研究

タイ語の依頼に関する研究としては、堀江(1995)、Dechvijankit(2004)などがある。本項では、代表的なものとして堀江(1995)、Dechvijankit(2004)の研究を取り上げる。

堀江(1995)によると、タイ語の依頼表現として「โปรด prood」「กรุณา karunáa」(~ください)が使われ、しばしばに教科書に取り上げられるが、日常会話ではそのような表現はほとんど使われていない。タイ社会において依頼表現は相手との心的距離によって大きく変化するので、親しい間柄であれば、助け合うのは当然のことだとタイ人は思っており、「相手の都合を聞く」ことなどの面倒な前置きを省略し、すぐに本題に入ることが多い。つまり、親しい間柄なら簡略的で直接的な依頼表現が好まれると述べている。

さらに堀江は、一定の距離を置かなければならない目上の人に依頼する時は、丁寧で前置きなどの間接的な表現を使うと指摘している。その場合、まず「お時間はありますか、もしお忙しいようでしたら構いません」と相手の都合を聞き、依頼 すること自体への諾否を求める。相手は肯定も否定もしないまま、まず用件を聞き、 それから時間の有無や依頼をすること自体への諾否を答える。その答えが肯定的なものであればそこから依頼に入るということである。

また、日タイの依頼会話を研究した Dechvijankit(2004)では、タイ語の依頼会話のストラテジーを以下の 8 種類に分類されている。(和訳は筆者)

前置き：依頼の本題に入る前の部分である。「前置き」に分類されるものとしては、自己紹介、都合の問い合わせ、相手のことに関する情報要求、願望表出などが挙げられる。

例＜親友に洗顔料を買うように依頼する場面＞

1 A: เอ้อ แนน

([呼びかけ])

2 B: เดี๋ยวขากลับแนนจะไปที่ไหนอีกป่ะ

(家へ帰る前にどこかへ行く予定がある？)

情報要求

3 B: ไม่อ่ะ

(ないよ。)

4 A: แล้วเดี๋ยวต้องแวะเซ็นทรัลชิดลมใช่ปะ

(帰りに、セントラクシットロームデパートを通るでしょ？)

情報確認

5 B: เออ

(うん)

6 A: เฮ้ย ถ้างั้นแนนช่วยแวะเซ็นทรัลซื้อสบู่ล้างหน้าให้หน่อยดิ

(じゃあ、そこで洗顔料を買ってきてくれる？)

7 B: ตัวไหนอ่ะ

(どれ？)

(1) 理由説明：依頼の必要性を納得してもらうように、状況や理由を説明することである。

例＜親しくない後輩にパソコンを借りる場面＞

5 A: พอดี เออ

(うーん)

6 A: ตอนนี้พี่ต้องส่งอีเมล พอดีพี่ฝากเพื่อนซื้อกล้องไปอ่ะครับ ที่ญี่ปุ่นอะไรอย่างเงี้ยะ พอดีแล้วเพื่อไปแล่วอ่ะครับ แต่ว่าพี่เพิ่งรู้ตัวว่าพี่อ่ะจดรุ่นผิดไปอะไรอย่างเงี้ยะ พี่อยากจะเมลไปบอกเพื่อนอ่ะครับ ซึ่งด่วน ด่วนมากๆเลย พอดีพี่เดินไปห้องคอมฯ คอมฯมหาลัยมัน คอมฯมันเสียอ่ะครับ

(今、友人にメールを送らないといけないんです。実は日本に旅行に行っている友人　にカメラを買うように頼んだのですが、機種を書き間違えてしまいました。だから、メールでそのことを知らせたいんです。急いで、先ほど、コンピュタールームへ行ってきたんですが、コンピューターが壊れてしまいました。)

7 A:พี่เลยอยากจะรบกวนยืมโน้ตบุ๊กน้องเปิ้ลหน่อยได้มั้ย

(だから、パソコンを貸してくれませんか。)

(2) ほめ：相手を称賛することで、依頼を受けてもらいやすくなる。

例＜親しくない後輩に絵画展覧会の準備を手伝うように依頼する場面＞

6 A: ไม่ใช่ พอดีที่คณะเนี่ย เค้าจะจัดแสดงภาพเขียนนะครับ แล้วอยากบอกน้องเปิ้ลตรงๆว่า คือสตาฟที่ทำงานยังไม่ค่อยพออะไรอย่างเงี้ยะ

(実は、学部で絵画展覧会が行われるんですけど、正直に言うと、準備を手伝ってくれるスタッフが足りていません。)

7 A: พี่ก็เห็นว่าน้องเปิ้ลเป็นคนเก่งคนนึงอะไรอย่างเงี้ยะ

(パール後輩(聞き手)が展覧会の準備がよくできると聞いています。)

8 B: เหรอ

(そうですか。)

(3) 報酬の申し出：依頼に対する報酬を申し出る。

例＜友人に英語の履歴書を書いてもらうように依頼する場面＞

3 A: แก ชั้นต้องเขียนเรซูเม่เป็นภาษาอังกฤษอ่ะ เขียนไม่เป็นอ่ะ

([呼びかけ] 実は、英語の履歴書を書かないといけないんだけど、なかなか書けなくて。)

4 A: แก ชั้นแกช่วยชั้นเขียนหน่อยดิ

([呼びかけ] 手伝ってくれる？)

5 A: นะ

(ねえねえ)

5 A: แล้วเดี๋ยวพาไปเลี้ยงไอติมบาสกิ้นส์ถ้วยนึง

(やってくれたら、サーティワンアイスクリームをおごるよ。)

(4) 依頼の強調：一度聞き手に依頼したが、依頼に応じてもらうために、もう一度依頼のことを強調する。

例＜親しい先生に本を借りる場面＞

9 A: คือผมอยากขอยืมอาจารย์หน่อยอ่ะครับ

(先生に本を貸していただきたいのですが。)

10A: คือผมต้องทำรายงาน แต่ผมยังไม่มีหนังสือเรื่องนี้

(実はレポートを書かなければならないんです。それなのに、参考文献がまだ見つからなくて。)

11A: ผมขอยืมไปซีร็อคได้มั้ยครับ

(お借りして、コピーしてもいいでしょうか。)

(5) 約束：依頼のことに関して、話し手が条件を立て、その条件を守ることを約束する。このストラテジーの目的は、聞き手を心配させないことや、依頼に応じる際にそれほど労力がかからないことを強調するためである。

例＜親しい後輩にパソコンの使用の許可を求める場面＞

7 A: เดี๋ยวขอยืมส่งอีเมลแป๊บนึงได้ป่ะ

(メールを送りたいんだけど、ちょっとパソコンを使わせてもらってもいい？)

9 A: เนี่ย ห้องคอมมันปิดเนี่ย

(コンピュタールームがもう閉まっちゃってて。)

9 A:เดี๋ยวพี่ส่งแป๊บเดียวเองเนี่ย

(すぐ終わるから、送らせてくれ。)

(6) 都合の問い合わせ：依頼の後に、聞き手が依頼に応じられるかどうか都合を聞く。

例＜親しい先生に本を借りる場面＞

2 A: พอดีตอนนี้ผมจะเขียนหนังสือ เขียนรายงานอ่ะครับ

(実は本(言い間違い)、レポートを書こうと思ったんですけど。)

3 A: ผมมีความจำเป็นต้องยืมหนังสืออาจารย์เปิ้ลอ่ะครับ หนังสือไซโคโลจีในตู้ของอาจารย์เปิ้ล เล่มสีฟ้าอ่ะครับ

(先生から、本をお借りする必要があります。本棚にある心理学の本、その青い表紙の本です。)

4 A: ไม่ทราบว่าอาจารย์ใช้อยู่รึเปล่า

(恐れ入りますが、先生は今この本を使われていますか。)

(7) 負担軽減：聞き手に迷惑に感じさせないように、負担をかけないということを伝達する。

例＜友人に本代の立替払いを依頼する場面＞

1 A: เฮ้ย วี

([呼びかけ])

2 A: ช่วยออกค่าหนังสือให้เราก่อนได้ป่ะ

(本のお金を立替えておいてくれる？)

3 A: นิดเดียวเอง สองร้อยกว่าบาท

(200バーツちょっとだけだから。)

2.4.3 依頼に関する対照研究

本節では、依頼に関する対照研究を挙げる。日本語と他言語の対照研究は多数あるが、タイ語との対照研究は管見の限りまだ少ない。

タイ語と日本語の依頼の仕方の相違点を研究した堀江(1995)によると、日本語の依頼表現は、定型表現でも、丁寧さのバリエーションが豊かであり、状況や依頼の内容、あるいは相手との関係により、相手に応じる適切な表現が要求される。タイで使用されている日本語教科書では、依頼の表現に関する説明が足りないため、学習者が日本語の依頼表現を十分に理解できないのではないかと指摘している。タイ社会において依頼表現は相手との心的距離によって大きく変化し、前置き抜きの依頼表現が日常生活に頻繁に使われている。日本人にすれば、こうしたタイ人の簡略的で直接的な依頼表現は無礼だと思うことが少なくない。しかし一定の距離を置かなければならない目上の人に依頼するときは、タイ人も日本人同様、丁寧で前置きなどの間接的な表現を使って、都合を聞く。文化・価値観の違いは双方のコミュニケーションのスタイルに大きく影響を与え、誤解の原因になりやすいと述べられている。

張(2004)は日本語と中国語において依頼者と被依頼者の言語行動に焦点を当て、依頼会話の展開パターンを分析している。「5 千円を借りる」「自分の代わりにアルバイトに行く」という場面に沿ってロールプレイでデータを収集し、日本語母語話者と中国語母語話者にとって依頼の展開パターンが違うことを明らかにしている。日本語母語話者の依頼談話展開パターンはまず「情報提供先行発話」から依頼に展開するが、それに対して、中国語日本語母語話者の依頼談話展開パターンは「情報要求先行発話」から依頼に展開する。さらに「予告」の発話は両言語において現れやすい場面とそうではない場面があり、日本語の場合は、依頼者が被依頼者に依頼の情報を提供することで、被依頼者が自ら依頼を申し出ることを期待し、明示的な依頼を避ける機能だと考えられるが、反対に、中国語は被依頼者に依頼遂行ができるかどうか確認することで、依頼を行うかどうかを決めるという機能だと考えられるとしている。

関口(2007)はアンケート調査およびロールプレイを用いて、日本語と中国語の依頼表現を考察した。その結果として、日本語母語話者は依頼をしにくいと感じるのに対し、中国語母語話者は依頼を気軽に行うと述べている。また、依頼の仕方の特徴として、日本語母語話者は間接的に行う傾向があり、予告では詫びが多く、上下関係による違い、すなわち上位者には特別に配慮する傾向があると述べている。それに対し、中国語母語話者は直接的に行う傾向があり、予告では現状説明が多く、上下・親疎関係に違いがあるが、日本人ほどでないと述べている。

相原(2008)は日本語・中国語の依頼表現を比較するのに、日本語母語話者と中国語母語話者の大学生に「写真を撮ってもらう」という場面において、6 種類の人物に依頼すると仮定し、依頼表現を書いてもらうという調査を行っている。結果として、日本語では、どの相手においても直接依頼文より間接依頼文の出現率が高かったのに対して、中国語では、相手との親しさや相

手の地位によって間接依頼文と直接依頼文の使い分けがあること、また、受益表現に関しては、日本語では親疎関係にかかわらず「上」では「いただく」が、「親・同」では「くれる」が、それ以外の相手では「もらう」が一番多く現れることが分かり、相手の違いに大きな影響を受けると指摘している。しかし、中国語の受益表現の出現率は相手が異なっても大きく変わることはなく、受益表現の選択には親疎や地位の影響がほとんど見られなかった。つまり、相手との親しさと相手の地位は日本語でも中国語でも依頼表現の形式に影響を与えるが、日本語と中国語はその影響の現れ方が異なっており、日本語では、受益表現に、中国語では、直接依頼文と間接依頼文の使い分けにはっきり現れることを指摘している。

李(2008)は、日本語母語話者大学生および台湾での中国語母語話者大学生に対して下関係・親疎関係を組み合わせた依頼の場面における意識調査を用いて、各場面でのポライトネスを表す意識について明らかにした。結果は、日中ともに、相手のフェイスの保持に配慮するという「ポライトネスの普遍的な原則」、間接的に表現する「オフ・レコード」、改まりを示す「わきまえのポライトネス」の度合いについて同様の結果が指摘されている。しかし、親近感を示す「ポジティブ・ポライトネス」、距離を置く「ネガティブ・ポライトネス」の度合いに違いが見られたと述べている。中国語において、上下関係より親疎関係が、「ポジティブ・ポライトネス」と「ネガティブ・ポライトネス」の度合いに影響を及ぼしていることが明らかになった。

Leadkitlax (2013) は日本人とタイ人の断りに対する負担の度合いについて調べ、タイ人と日本人の依頼や誘いに対する断りの傾向を比較するためにアンケート調査を行った。アンケートでは、「誘いに対する断り」「物の借用の依頼に対する断り」「手伝うことの依頼に対する断り」のそれぞれを 5 場面に分け、合計 15 場面が設定された。結果では、両者ともが負担の度合いを大きく感じている行為は「手伝うことの依頼に対する断り」だと明らかになった。タイ人にとって最も負担度の大きい行為は親戚の葬式を手伝うことの依頼 に対する 断り 、二番 目は引越しを手伝うことの依頼 に対する 断りであり、日本人にとって最も負担度の大きい行為は結婚式を手伝うことの依頼 に対する 断り 、二番 目は親戚の葬式を手伝うことの依頼 に対する 断りであると述べている。

2.5 断りに関する研究

本節では日本語、タイ語の断りに関する研究、および断りに関する対照研究について述べる。特に意味公式[1]の観点による分析を行った研究を取り上げる。

2.5.1 日本語の断りに関する研究

藤原(2004)は、日本語母語話者とインドネシア語母語話者を対象に、「誘い」と「依頼」に対する断りについて談話完成テスト(以下 DCT)を用いて調査をを行っている。藤原によると、日本語母語話者の断りの特徴は以下の 2 点である。(1)断りの際、理由を説明することが多く見られる。不明確な理由が望まれる(例: 用事があります)。(2)意味公式出現順序に関して、{詫び}+{理由}が結びつく傾向が多く見られる。

また、グエン(2012) は日本語母語話者とベトナム母語話者の依頼(パンを買ってもらうように頼むという軽い依頼と、資料をコンピューターに入力してもらうように頼むという重い依頼)に対する断りにおける意味公式を分析すること目的として、ロールプレイで調査を行った。グエンによると、日本語母語話者の断りの特徴は以下の2点である。(1)日本語母語話者が相手の依頼を断る際に{詫び}を多用している。日本人の考えでは「詫び」を述べることは相手との人間関係を維持するために必要なことなので、詫びの言葉を言わないと失礼だと思われてしまうからである。(2)負担が軽い場面でも、重い場面でも、{詫び}を多用している。(3) 負担が重い場面において、{詫び}と{将来の約束}が多く使われている。

2.5.2 タイ語の断りに関する研究

伊藤(2009)は東南アジア諸言語の母語話者を対象に(ジャワ語、インドネシア語、マレーシア語)を対象に「勧誘に対する断り」における意味公式の出現順序のパターンを明らかにする目的として、DCT でデータを収集した。伊藤によると、タイ語の特徴は以下の 2 点である。(1)親しい目上と親しくない目上の相手に対して、{理由}+{詫び}パターンが多く使われている。(2)親しい同等と親しくない同等の相手に対して、{結論(直接的断り)}+{理由}パターンが多く使われている。上下関係によって、意味公式の出現順序のパターンが異なることが明らかになった。

2.5.3 断りに関する対照研究

まず、カノックワン(1997)は、断りの発話行為について，電話での実際の会話を資料として用い、断りの{理由}と{直接断り(不可)}の文末及びこれらを修飾する形式と、これらの前にある否定的マーカーを観察し、その使用の特徴を日本語母話者と比較しながら日本語学習者の問題点を考察した。その結果、学習者は断りの{理由}の命題に後接する形式「ので」を比較的うまく用いるのに対して、相手に対する心配りを示す終助詞や{直接的断り}の命題に前接及び後接する形

[1] 意味公式とは、「発話行為を分析する際の最小の機能単位」(藤森 1995) である。それに関して「2.6 意味公式に関する研究」で詳述する。なお、意味公式は{}で表示する。

式、そして「断り」の前触れとなる「否定的なマーカー」の使用に問題があることを示している。

ルンティーラ(2004)は、日本語母語話者とタイ語母語話者とタイ人日本語学習者の「提案に対する断り」表現の語用論的特徴に関して、大学 3-4 年生の日本人タイ語学習者 20 名とタイ人日本語学習者 20 名を対象とし、DCT よって調査を行った。{付加詞} {理由}{決意表明}という 3 つの頻出する意味公式を出現順序によりパターン化して分析した結果、(1)タイ人は親疎関係で{付加詞}+{理由} と {理由}2 つのパターンを使い分ける、(2)日本人は親疎関係より上下関係と家族関係を重視し、{付加詞}+{理由}+{決意表明}、{付加詞}+{理由} 、{理由}、{理由}+{決意表明} 4 つのパターンを使い分ける、(3)タイ人が親しい目上と親しくない目上に対して用いる{付加詞}+{理由}と{理由} 2 つのパターンは、日本人が親しい同等と親しくない同等に対して用いるパターンと同じである、(4){決意表明}の使用に日本語とタイ語に大きな差異があることが明らかになったと述べている。

蒙(2008)は、日本人会社員 49 名、在日中国人留学生 107 名、中国で働く中国人会社員 59 名を対象に、「友達に英訳のチェックを頼まれて断る場面」と「友達に借金を頼まれて断る場面」を設定した談話完成テストを用い、意味公式の使用について調査を行った。結果は以下の 3 点である。(1)日本語母語話者はどの場面でも「詫び」を多く使用しているが、中国語母語話者は疎遠な相手にのみ頻度が高い。(2)日本語母語話者は「呼称」を用いないが、中国語母語話者は各場面で使用している。(3)日本語上級学習者による「言いさし」「関係維持」「共感」「条件」「間投詞的表出」「呼称」「非難」「賞賛」「その他」の使用には転移が見られたが、「理由」「詫び」「代案」「ためらい・相づち」に関しては日本語母語話者・中国語母語話者のいずれよりも使用頻度が高く、少なくとも部分的な中間言語の独自性、すなわち、母語でも、目標言語でもない特徴の存在が明らかになった。

成田・成田 (2010)は日本語母語話者とタイ語母語話者の「申し出に対する断り」表現における意味公式使用の違いを明らかにしている。DCT によるデータを分析した結果、(1){理由}が最も多用されている、(2)日本語とタイ語母語話者の意味公式使用の明らかな違いは、間接的表現の使用と発話の複雑さである、日本語が直接的であるのに対してタイ語は間接的である、(3) 日本語は意味公式の組み合わせる複雑さが高いが、タイ語は低いという特徴が指摘されている。

伊藤(2010)は日本語、ジャワ語、インドネシア語、マレーシア語、タイ語母語話者の「依頼(会議の代理出席と翻訳の依頼)に対する断り」における意味公式の出現順序のパターンを明らかにする目的として、DCT でデータを収集した。伊藤によると、日本語母語話者とタイ語母語話者の特徴は以下の 3 点である。(1)親しい相手からの依頼の場面において、日本語では{詫び}+{理由}+(他の意味公式が付加した)パターンの出現率が最も高く、{理由}の後に{結論}が付加した場合が多く見られるのに対して、タイ語では特に目立ったパターンがなかった。つまり、バラエティに富んでいたということである。(2)親しくない相手からの依頼の場面において、日本語も

タイ語も{結論}が用いられるという共通点がある。(3)日本語では典型的なパターンが見られる。しかし、タイ語では親しい相手に対しては多様な言語表現が好まれる。

また、断りに関する対照研究を見ると、断りの際に、日本語母語話者は詫びる傾向が強いのに対して、ベトナム語母語話者(グエン:2012)は詫びをほとんどしない。同様にタイ語母語話者(伊藤:2009)も詫びをせず、その代わりに他の意味公式を用い、パターンの使用に多様性があるという結果が明らかになった。このことから社会的コンテクストによって詫びの仕方が異なるので、誤解を招く恐れがあると考えられる。日タイの謝罪表現と謝罪行動がどのように異なるかについて堀江(1993)の研究を挙げておく。

日本語の謝罪表現

堀江(1993: 405-409)は日本語の謝罪表現、「すみません」「ごめん(なさい)」「申し訳ない」の意味と使い方を以下のように述べている。

(1) 「すみません」には多様な使い方と意味がある。一つ目は、日常生活での挨拶言葉である。挨拶として無意識に使われ、本来の意味が次第に失われている。例えば、見知らぬ人に道を尋ねる時の呼びかけなどである。二つ目は、感謝の言葉である。それはやや距離のある間柄の人同士や、目下から目上に使われる。相手に面倒をかけたり、こちらのせいで相手に不都合なことがあった場合、相手にそこまでしてもらっては自分にふさわしくない、もったいない、と思うときに使う。例えば、席を譲った時である。三つめは、何か悪いことをしてそのことを認め、謝ることに使われる。四つ目は、日本の社会的エチケットとして、悪いか悪いくないかは別にして、とりあえず謝るという時に使われる。

(2) 「ごめんなさい」は自分の家族あるいは友人、目下、子供に対して謝る時に使われ、正式な場面では使われない。一つ目は、呼びかけとして、相手の注意を引くために使われる。二つ目は、相手に迷惑をかけた時に謝罪表現として使われる。三つめは、行儀の悪いことを親に叱られた子が謝る時のように、特に家庭内で誰か何か不適切な行為、または、言葉遣いをした時に求められて使う。

(3) 「申し訳ない」「申し訳ありません」は間柄の遠い人、または社会的地位の開きのある人、年齢的に差の大きい人などに使うことが多い。

タイ語の謝罪表現

堀江(1993: 409-412)はタイ語の謝罪表現「ขอโทษ(khɔ̌ɔthôot)」「ขอประทานโทษ(khɔ̌ɔ prathaan thôot)」「ขออภัย(khɔ̌ɔ aphai)」の意味と使い方を以下のように述べている。

(1) 「ขอโทษ(khɔ̌ɔthôot)」は直訳すると、「罪や罰を乞う」という意味である。日本語と似ている二つの使い方がある。一つ目は、単なる挨拶言葉である。例えば、道を尋ねる時である。二つ目は、謝罪表現として使われる。

(2) 「ขอประทานโทษ(khɔ̌ɔ prathaan thôot)」は直訳すると、「罪や罰を戴きたい」という意味である。本来は、社会的階級が今日より明確に分かれていた時代に、位の低い者が地位のきわめて高い者に対して使う。好きではない人やあまり親しくない相手に対して、皮肉に使われることもある。あるいは、実際以上に上流階級であるように見せたい場合、わざわざ丁寧で改まった言葉を使い、相手との違いを強調することもある。

(3) 「ขออภัย(khɔ̌ɔ aphai)」は直訳すると、「危険がないようにお願いします」という意味である。友人同士などの間では使われず、改まった状況でしか使われない。例えば、会議の開催、結婚式など多くの社会的身分の高い人々が集まっている場である。さらに、改まった手紙などにもよく使われている言葉である。

<u>場面による日タイの謝罪行動</u>

堀江(1993)は日本滞在のタイ人に対して、日タイの謝罪表現についての意識を調査を行った。軽い場面と深刻な場面が設定され、回答者が謝るかどうかについてアンケートでデータを収集した。場面別の日タイの謝罪行動の違いを以下にまとめる。

(1) 意図せず他人の足を踏んでしまった場面：日本では謝る人よりも謝らない人の方が多いという外国人の意見が多かった。特に東京などのラッシュ・アワーの電車の中などで他人の足を踏んでも、ほとんどの人は何も言わない。しかし、タイではほとんどの人は謝る。タイの場合、このような時に謝ることは一つの社会的エチケットであり、相手に対して悪いことをしたと思う人も多いので、たいていは謝る。

(2) 賠償責任がない場面(遅刻)：タイ人が遅刻した場合、謝らない人が多い。その理由は、タイ人にとって遅刻は大したことではないと考えられ、バンコクでは、交通渋滞のために遅刻するので、自らの責任ではないと考え、いちいち謝るのはおかしいし、謝ることを要求する者はささいことにこだわる寛容さのない人と思われるからである。

(3) 賠償責任が伴う場面(交通事故、他人の物を壊した場合など)：他人の物を壊してしまった時、日本人なら、まず、謝り、それから事故後の措置を話し合う。「すみません」と言った理由は、自分の責任を認めたということではなく、緊張したその場の雰囲気を少しでも、和らげ、その後の相手との関係を円滑にするために、その言葉がほとんど無意識に出てしまったということであった。しかし、タイ人は日本人のように簡単に謝ることはしない。もし、謝罪表現を口にすれば、すべて自分の罪だと認め、全部の賠償をし

なければならなくなるのが普通だからである。自分が悪いと思わなければ絶対に謝らないし、どちらに責任があるかはっきりしない場合も謝らない。このように、タイ人には日本人と違って、すぐに相手に謝るという習慣はない。自分が悪かったと思っていても、深刻な場面になればなるほど謝ることはない。

タイ人の謝罪行動

謝らなければならない場面において、謝罪表現を口に出す以外、タイ人は以下のように行動する傾向があると堀江(1993: 423)が指摘している。

(1) 本来、謝らければならないことについて、二度と話題にしない。
(2) 事情を説明し、悪意がなかったことを相手に分かってもらおうとする。
(3) 半ば冗談めかして、どちらにも責任があるということをやんわりと言い、双方とも謝らずに済むようにする。
(4) 自分の過失により、どのように処分されても仕方がないといった意味の冗談を言い、間接的に責任を認める。
(5) 間接的に言い回しで、自分が反省していることを示す。
(6) 自分の失敗をはぐらかすために、作り笑いや苦笑いでごまかし、とぼけて関係のないことを言う。
(7) 明らかに自分に非があり相手から責められた場合、言い訳しようがなくなると、沈黙する。

日タイの謝罪行動の相違

堀江(1993: 426-428)は日タイの謝罪行動の相違を以下のように述べている。

日タイの謝罪表現の違いの原因で、誤解が生じたり、摩擦が起きたりするのは、日本人とタイ人の間で異なった会話の原則によって話をしているからである。日本人が使う謝罪表現は主に社会的エチケットとして使うものであり、人間関係を円滑に保つために使わなければならないものであって、タイ人の場合とは異なった原則によって使われることが多い。タイ人は、謝罪表現を使わずに、日本人とは異なった方法で謝っているので、誤解を招く原因となるし、日本人は挨拶として謝罪表現を使うので、タイ人に誤解される原因ともなり得る。

状況が深刻な場面では、タイ人には日本人のように挨拶として謝る習慣はない。タイ人には、仏教の「業(ごう＝カルム)」の思想の影響により、許し合い、人を恨まず、復讐しないという基本的な考え方があるので、相手に謝ることを要求することはなく、お互いに妥協して耐えることがひとつの解決法であると考えている。タイ人にとっては、謝ることは罪を認めることになり、賠償責任が生じる。賠償しなければならないかもしれない恐怖感から、謝ることを極力避けようとする。さらに、頭を下げて人に謝ることは、タイ人が最も大切にする面子がつぶれ、名誉を失うことになる。そこで、たとえ自分が悪いことをしたと思っても、状況を説明し

て理解してもらおうと試みたり、冗談ではぐらかしたり、二度とそのことを話題にしなかったり、あるいは、沈黙したりして、謝罪表現をつかわないで自図からの体面を保ち、顔がつぶれないように努める。

2.6 意味公式に関する研究

本研究は、断りの発話に関する語用論的特徴を明らかにすることを目的としており、断りの発話の分析には、「意味公式」を用いる。本節ではまず、「意味公式」に関する代表的な研究として、Beebe,takahashi and Uliss-Weltz(1990)、伊藤(2010)と李(2013)の研究を紹介する。

Beebe ら(1990)は、英語母語話者、日本語母語話者、日本人上級英語学習者それぞれ20 名を対象に、勧誘、招待、提案、要求に対する断りに関して、DCTでデータを収集した。Beebeでは、発話に見られた断りの発話の構成を機能別に分類するために、表1の意味公式を用いて分析を行っている。

表 1　Beebe,takahashi and Uliss-Weltz(1990)による断りの意味公式[2]

意味公式の種類	回答例
I Direct(直接的断り)	
A . Performative (遂行表現)	" I refuse." (断る)
B. Non-Performative statement (遂行動詞を使わない直接断り) 1. " No" (否定の副詞だけを使う) 2. Negative willingness/ability (やる気／能力の否定)	 "No" (いいえ) "I can't." (できない) "I don't think so." (そう思わない) "I won't." (するつもりがない)
II Indirect(間接的断り)	
A. Statement of regret (謝罪・遺憾な気持ち)	"I'm sorry…" (ごめんなさい。) "I feel terrible…" (悪いと思っている)
B. Wish(願望)	"I wish I could help you…" (手伝ってあげたいんだけど。)
C. Excuse, Reason, Explanation(言い訳、理由・説明)	"My children will be home that night" (私の息子はその夜に家にいる。) "I have a headache." (私は頭痛がする。)
D. Statement of Alternátive (代案提示) 1. I can do X instead of Y. (Y の代わりにX ができる) 2. Why don't you do X instead of Y? (Y の代わりにX をしたらどう？)	 1. "I'd rather…" (私はむしろ…する) "I'd prefer…" (私は…のほうを好む) 2. "Why don't you ask someone else?" (他の人に聞いてみたらどう？)
E. Set condition for future or Past Acceptance (何々なら将来引き受けるあるいは何々ならある時引き受けたのにという条件を提示すること)	"If you had asked me earlier, I would have…" (もし私に早く聞いてくれていたら、…したのに。)
F. Promise of future acceptance (将来なら受諾するという約束)	"I'll do next time" (今度私はする)

[2] 和訳と例文は権(2008)を参考にした。

	"I promise I'll…" (…すると約束する) "Next time I'll…" (今度私は…する)
G. Statement of principle (信念の陳述)	"I never do business with friends." (私は友人と取引は絶対しないんだ。)
H. Statement of philosophy (決まり文句、人生観の陳述)	"One can't be too careful." (人間はいくら用心しても、しすぎることはない。)
I. Attempt to dissuade interlocutor (相手を思いとどまらせようという試み) 1. Threat or statement of negative consequences to the requester (依頼者にとって悪影響を与えるという脅し、もしくは陳述) 2. Guilt trip(罪悪感を持たせる) 3. Criticize the request/requester, etc. (Statement of negative feeling or opinion ; insult/attack) (否定的な感情や意見の陳述) 4.Request for help, empathy, and assistance by dropping (依頼をあきらめさせることで、助け、共感、援助を要求する) 5. Let interlocutor off the hook (話し手を見逃す) 6. Self-defense(自己防衛)	1. "I won't be any fun tonight. " to refuse an invitation (招待の断りとして、「今夜私がいても面白くないだろう。」) 2. waitress to customers who want to sit a while: "I can't make a living off people who just order coffee." (ゆっくりと座りたい客に対してウェイトレスが「コーヒーだけ注文するお客様だけでは、私は生活できません」) 3. "Who do you think you are?" (あなた何様のつもり？) "That's a terrible idea!" (なんてひどい考えなんだ！) **会話例なし** 5. "Don't worry about it."(心配しないで) "That's okay."(大丈夫) 6."I'm trying my best." (最善を尽くしている。) " I'm doing all I can do." (できるだけのことはやっている。)
J. Acceptance that functions as refusal (断りの機能をする承諾) 1. Unspecific or indefinite reply (曖昧、もしくは不確定な返事) 2. Lack of enthusiasm(熱意の欠如)	**会話例なし**
K. Avoidance(回避) 1. Nonberval(非言語的表現) a.Silence(沈黙) b.Hesitation(躊躇)	**1aから2bまでは会話例なし**

c.Do nothing(何もしない) d.Physical departure(退席) 2. Verbal(言語的表現) a. Topic switch (話題転換) b. Joke(冗談) c. Repetition of part of request,etc. (依頼などの一部の繰り返し) d. Postponement(延期) e. Hedging(ヘッジ)	c. “Monday?”(月曜日？) d.“I’ll think about it.”(考えておく) e.“Gee,Idon’t know.”(うん、分からない) “I’m not sure.”(よく分からない)
3. Pause Filler (間を持たせる表現)	“uhh”(ええと)”well”(ええ) “oh”(おお)”uhm”(あのう)
4. Gratitude/Appreciation (感謝・謝意)	

また伊藤(2010)は、日本語、マレーシア語、ジャワ語、インドネシア語の断りを分析する際に、Beebe ら(1990)の分類をもとにした表 2 の意味公式を用いている。

表 2　伊藤(2010)による断りの意味公式

意味公式	意味機能	回答例
{結論}	直接的な表現の断り	行けない、無理です、できない
{理由}	相手の意向に添えない旨の表明	友達の結婚式に出ますから
{詫び}	相手の意向に添えないことを負担に感じている旨の表明	申し訳ありません、ごめんね 勘弁して、怒らないで
{代案}	相手との関係を維持したい旨の積極的な働きかけ	～さんに頼んでみたらどう？、 代わりを探そうか
{関係維持}	相手との関係を維持したい旨の消極的な働きかけ	次回は行きます、また今度ね、 次回出席します
{共感}	相手の意向に添いたい心情の表明	行きたいけど／残念ですが、 したくないことはないけど
{感謝}	相手の好意により恩恵を受けたことの表明	ありがとうございます、 ありがたいんですが
{情報}	相手の発話内容を確認	今週の土曜日ですか、 何時から？、明日まで？
{条件提示}	断りの留保	レポートを書いてから
{承諾}	明確な承諾	時間があれば、 約束はしないけど ちょっと…、あのう…、えーと
{その他}	上記に該当しないもの	

最後に、李(2013)は Beebe ら(1990)、伊藤(2010)による意味公式の分類に基づき、意味公式を再分類した。李は相手との関係を維持したい旨の働きかけである{代案提示}を、さらに自分から働きかける[積極的代案提示]と、自分が回避する[消極的代案提示]に分けている。また{条件提示}も、[断りの保留]と[積極的な条件提示]に分けている。くわえて、Brown&Levinson (1987)のフェイス理論を適用して、意味公式も誰のどのフェイスに配慮したものであるかに応じて分類している。

表 3　李(2013)による断りの意味公式

意味公式	意味機能（フェイスワーク）		回答例
結論	直接的な表現の断り	BOR（配慮なし）	貸せない
	緩和した結論	H-PF	お金がなくて厳しい
	丁寧な表現の断り	S-NF	失礼させて頂きます
理由説明	よんどころない理由	S/H-PF	就職活動で会社説明会に行かなければなりません
	明確だが個人的な理由	S-PF	お金の貸し借りはしないようにしているから
	不明確な理由	S-NF	忙しい／時間がない／用事がある
詫び	相手の意向に沿えないことを負担に感じている旨の表明	H-PF (私を嫌わないでほしい)	すみません 申し訳ありません
次回への約束	積極的な約束	H-PF (関係を維持するための働きかけ)	今度、必ず参加します
	消極的な約束	S-NF	また、今度ね
共感	相手の意向に添いたい心情の表明	H-PF	本当にお手伝いしたいですが
代案提示	自分から働きかける	H-PF	私の周りの人に聞いてみるわ
	自分は回避する	S-NF	他の人に当たってみて
条件提示	ある条件さえ満たせばできる可能性が高い	H-PF	早く終わったら受け付を手伝います
	断りの保留	S-NF	約束はしないけど

注：話し手(S)、 聞き手(H)、 ポジティブ・フェイス(PF)、 ネガティブ・フェイス(NF),

2.7 日タイの社会に関する研究

本節では、本研究の分析結果の考察の際に考慮すべき社会的な要因を把握するために、タイ社会とタイ人、日タイ社会比較、日タイの人間関係に対する認識についての先行研究をまとめる。

2.7.1 タイ社会とタイ人

2.7.1.1 タイという国

中島(2012: 15-24)は、タイという国について、以下のように述べている。

> タイは東南アジアにあり、立憲君主制の国で、国王が国民の求心力となっている。民族的にはタイ族が最大多数を占めている。この他中国系、ラオス系、カンボジア系、マレー系、ベトナム系、ミャンマー系、さらに山地の小数民族などのタイ人もいて、混血も進んでいる。宗教的には国民の九割が仏教で、そのほかイスラーム教徒とキリスト教徒がいる。
>
> 天気は一年中温暖で、暑季(夏)、雨季と涼季がある。日本のような明確な四季がないため、季節にちなんだしきたりというより、仏教に関するしきたりが多い。タイなどの東南アジアに伝わった仏教は「上座仏教」という宗派である。タイの仏教というのは、その前に普及していたバラモン教の影響を多大に受けている仏教である。タイ人は以前から信仰していたバラモン教を仏教とうまく融合させながら、仏教を取り入れた。多くの神様が存在し、神に祈れば願いが叶うというバラモン教の教えと、因果応報を唱える仏教の教えを同時に信じるようになった。2 つの宗教が融合していることがタイの信仰の特徴である。
>
> 仏教は、タイ人の考え方および世界に対する価値観に強く影響を与えている。タイ人は「業(カルム、行い)」を信じている。良い行いをすれば善徳が積まれ、悪い行いをすれば悪徳が積まれる。人の人生は貯金箱のようなもので、良いことをたくさんすると「ブン」がたくさん貯まっていくし、悪いことばかりすると「バーブ」がたくさん貯まっていくと考えられている。貯まった「ブン」も「バーブ」も因果応報の法則で結果が戻ってくる。現世に戻ってこない結果は来世に持ち越され、永遠にその貯金を使い果たすまで人間は輪廻すると考えられている。

2.7.1.2 社会の在り方

Bunyasing & Sirisawat (1990)は、タイ社会の在り方に関して、以下のように述べている。

> タイは階級的社会で、生まれつきの不平等な身分が社会的に認められている。現世は前世の業の結果である。このことからもわかるように、仏教の訓練は生活に深く関わっている。例えば、布施、恩返し、親孝行、年上を尊敬することなどである。それはタイ人のアイデンティティを形成する大切な要素である。特に、上下関係が重んじられるタイ社会においては、年下の者が年上の者を尊敬したり、年上に従ったりする必要がある。家族内および学校においてもしきたりが決まっている。年上の者とすれ違う時に、頭を少し下げること、年上の者より先に歩かないこと、不同意の場面においても反論や質問をすべきではないこと、年上の者が誤りをしてしまっても、年下の者が大目に見るべきことなどである。しかし、年下の者が過ちを犯した場合、年上の者に酷く非難される。また、大学においても、先輩・後輩の上下関係が強い。先輩は後輩より先に入学しているため、経験を積んだ者だと見なされるからである。立場が高い者に対しては、尊敬の念を払わなければならない。(訳は筆者)

また、Saynu(1990)はタイの家族について以下のように述べている。

> 拡張家族はタイ社会の特徴の一つである。元々、タイは農業社会であったので、畑を作るなどの多くの労働が必要とされる時に、同じ村の人の力を借りる。互いに助け合うことは昔の人の考え方である。同じ血統の人ではなくても、家族メンバーのように親近感がある。家族の概念がタイ人に強く根付いている。その影響で、タイ語には人称代名詞、呼称詞が様々にあるのである。本名のみならず、あだ名も生まれた時から名づけられている。上下関係と親疎関係によって、呼び方が異なる。同じ血統の家族のメンバーに限らず、初対面の人や、見知らぬ人に対して、家族の呼称詞で相手を呼ぶことが基本的である。(訳は筆者)

2.7.1.3 タイ社会的な価値観

続いて、本項では組織の運営に強く関わっている社会的な価値観に焦点を置くKoomin&Samakkarn(1979)において提唱された「9つのタイ社会的な価値観」を参照する。なお、数字が小さい方から順に、タイ人にとっての大切な価値観を挙げている。

(1) 自我志向性(Ego orientation)：タイ人は個人を集団より尊重する傾向がある。自分の利益のために、階級社会における上級の者に頼る。自由のほうが平等より好まれる。人間関係や名誉を大切にする。面目を失うことは恥ずかしいことなので、他人に何かを評価されるのは好ましくない。

(2) 恩義 (Grateful relationship orientation)：互いに利益を授けたり受けたりするのがタイ人の考え方である。恩義の考え方を軸に人間関係が築かれている。忠実性、恩返し、互いに助け合うなどの価値観が恩義の考え方に相当するものである。恩義がある者に気配りを心がけていることを表すために、先生のような尊敬している者に会う際にはお土産を持っていったり、依頼に応じたりする。タイ人は恩返しを尊重している。恩返ししない者は頼りにならない人、悪人だと批判される恐れがある。

(3) 人間関係(social relation)：タイ人は妥協の人だと言われている。遠慮、気配り、思いやり、互いへの尊重が昔からタイ社会には強く根付いている。そのような価値観を持っているため、タイ人は初対面の人とも親しくなる。

(4) 臨機応変 (Opportunity or circumstance adaptation)：場所と時間に適応することがタイ人の性格の一つである。対立より妥協が好ましい。困った状況から抜け出すために、嘘をついたり、相手をおだてたりすることも珍しくない。自分と相手の面目を互いに失わないように、公の場で自分の意見を明言することも、相手に質問することもしする傾向がある。

(5) 仏教(Buddhist value)：タイ人は仏教を強く信仰している。布施を施すことが将来に幸せをもたらす。上述の業(カルム、カルマ)の考え方に基づき、人間の不平等性を認めている。能力のみならず、運が成功の要因の一つであると信じている。

(6) 教育 (impact of being educated)：タイにおいて、教育は社会的身分を表すものの一つである。高学歴を持っている者が高く評価され、社会の人々に尊敬されている。学位証明書がいい仕事、明るい将来への架け橋になる。そのような考え方により、タイ人が学位証明書を獲得することのほうが、教育機関で得た知識より、重んじる傾向が強く見られる。

(7) 権力(powerism)：昔の封建制社会の影響で、タイ人は権力の強い者(お金持ち、高位の公務員など)を尊重する傾向が強い。権力を有すると、上流階級として裕福な生活が送れ、顔が広くなり、人々の助けにもなれる。

(8) 娯楽(enjoyment)：タイ人は娯楽を好む。「貯金より消費」「心が広い」がタイ人の性格を示す言葉である。人生のことを真剣に考えず、宝くじ、旅行、料理などの娯楽で心を癒すことがタイ人の価値観である。

(9) 仕事の成功(achievement)

2.7.1.4 タイ人のコミュニケーションスタイル

Chuatong & Rojanaprapayon(2016)は、「集団主義」「高・低コンテクスト」「権力の格差」「女らしさの社会」「緩く組 織された社会」の 5 つの次元からタイ人のコミュニケーションスタイルについて論じた。以下は、筆者がそれらをまとめたものである。

(1) 集団主義：Hofstede & Minkov(2010)の調査[3]によると、タイは集団主義が強い国であるという。集団、特に家族、親戚を重視している。互いに助け合いが人間関係を結びつけるものである。そういった考え方に基づき、相手の面目を失わないように言葉遣いに十分に気をつけること、直接的な表現を避けること、微笑むことがタイ人のコミュニケーションスタイルである。

(2) 高コンテクスト文化：タイ人が相手との親疎関係と上下関係を考慮した上で、言葉遣いを選択する。親しくない人との会話の場面や、相手の面目を失いそうな場面において、言葉遣いに十分に気をつけ、表情、声色などの非言語行動を併用している。また、相手との関係を保ち、不愉快な思いをさせないように、名前の代わりに、職位で相手を呼称する場合も多くある。

(3) 権力の格差：タイは階級的社会であり、不平等が認められている。それぞれの階級の者に合わせるように、タイ語には王語、丁寧語、人称代名詞、呼称詞などが様々にある。

(4) 女らしさの社会： Rojjanaprapayon(1997)によると、「女らしさの社会」とは「男性も女性も相手の気持ちを考慮すること、気配りすること、対立の回避、妥協を重んじる社会」のことを指す。タイ人のコミュニケーションの特徴として、微笑み、笑い、うなずくこと、慰めること、相談に乗ることが挙げられ、こういった点がタイにおける女らしさの社会を反映している。

(5) 緩く組 織された社会：自己中心がタイ人の性格である。自分の利益を大事にし、他の人を困らせるかどうかについては考えない。例えば、規則を守らないこと、悪いことをしても、責任を負わないことである(Embree 1950：184)。困った状況に落ちた時、タイ人は相手との交渉を行うことで臨機応変に対応する。

[3] その点に関しては、「2.7.2 日タイの文化差に関する研究」で詳説する。

2.7.2 日タイの文化差に関する研究

社会科学の異文化に関する文献は多々存在するが、オランダのホフステード(Hofstede)の研究は古典的で多くの研究に引用されているものである。国際文化間の相違を測定するために、 ホフステードは 1967 年から 1973 年にかけて IBM 調査という文化の国際比較調査を行った。これは、多国籍企業である IBM の 72 ヶ国に所在する 11 万 600 人余りの従業員から、文化の価値観について、権力格差、個人主義と集団主義、男性らしさの社会と女性らしさの社会、不確実性の回避の社会の 4 つの次元から、国民の文化を定期的に測定し、各国の平均的傾向を指標化したものである。また、後には長期志向と短期志向、放縦と抑制の 2 つの次元が追加された(Hofstede & Minkov：2010)。

本節では、Hofstede & Minkov(2010)と Hofstede(2019)を参考に、権力格差、個人主義と集団主義の二つの次元に焦点を当て、日タイの社会の違いを以下の通りにまとめる。

権力格差(power distance)

この次元は、社会における不平等をどのくらい受け入れるかという、上下関係の強さを示す指標である。権力格差指標スコアによって、その国における依存関係に関する情報を提示することが可能である。

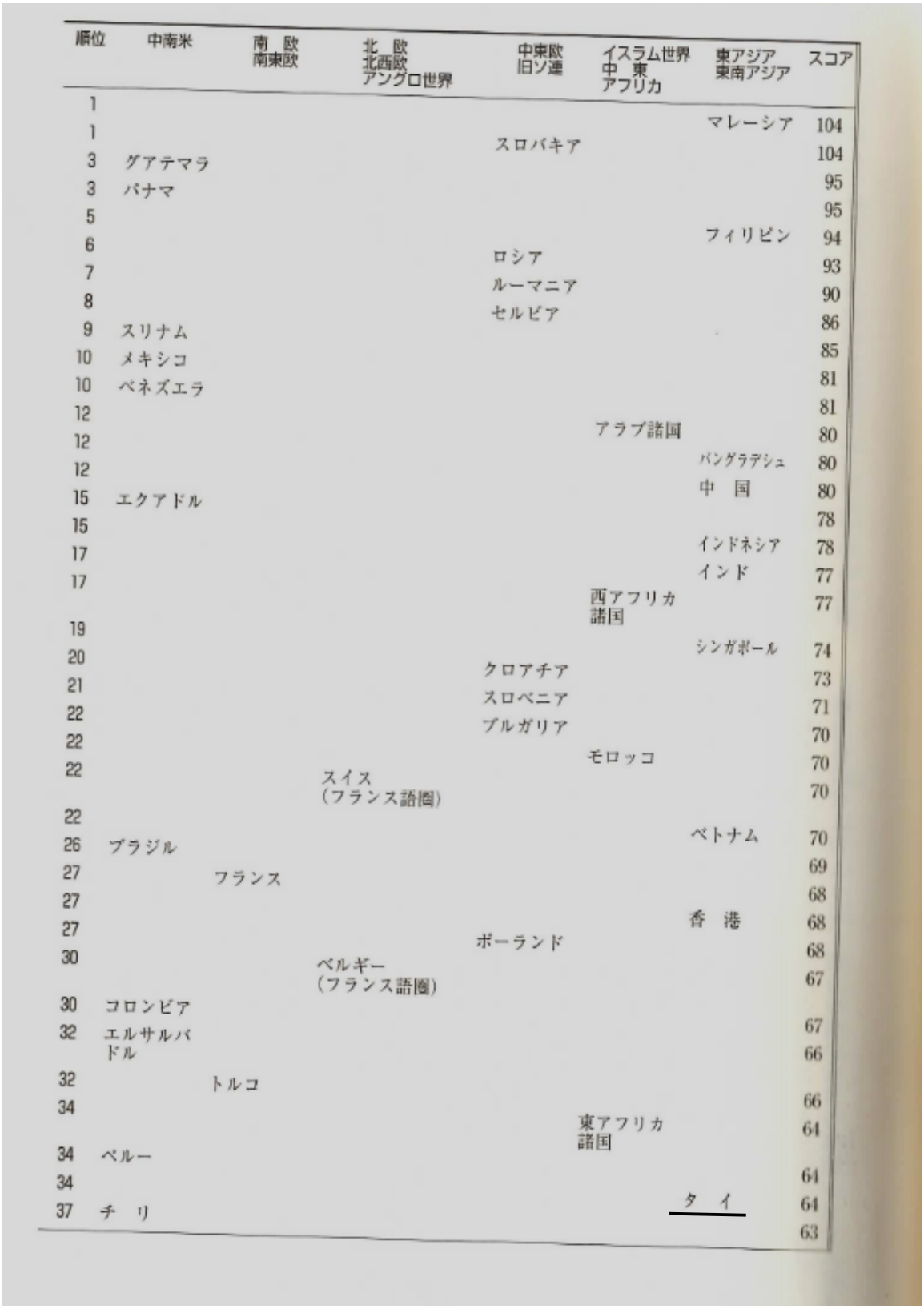
まず、権力格差の小さい(スコアが低い)社会の特徴は、人々の間の不平等を最小限にすることである。そのため、社会関係は慎重に扱う。権力の弱い者と強い者は互いに依存する。職場においては、分権化が一般的である。監督者が比較的少ない。管理職は自分自身の経験と部下を頼りにしている。

一方、権力格差の大きい(スコアが高い)社会の特徴は、人々の間に不平等があることが黙認され、また、望まれてもいるということである。社会的地位のバランスは自制心によって保たれる。権力の弱い者は強い者に依存する。職場においては、中央集権化が一般的である。監督が比較的多い。管理職は上司と公式な規則的を頼りにしている。

スコアが高いのは上下関係が強い国で、スコアが低いのは上下関係が弱い国である。それぞれの国のスコアを次頁の図 1 に示す。

スコア 54 の日本は、世界においては真ん中ぐらいである。アジアの平均点は 71 と比べて、日本はアジアの最も上下関係が弱い国である。上下関係が強い日本の職場において、組織における階層的構造は、上司と部下の間に現実に存在する不平等をを反映している。もう一つの特徴として、管理職は上司と公式な規則を頼りにしている。中央集権化が一般的である。

一方、スコア 64 のタイは、日本と比べて上下関係が強い傾向が見られる。タイにおいて、職場に限らず、家庭、学校、政治などの場においても上下関係が強いことを反映している。各級には特権があり、権力の弱い者は強い者に依存すべきである。人と人が主従関係で強く結びつくことはタイ社会の特徴である。



順位	中南米	南　欧 南東欧	北　欧 北西欧 アングロ世界	中東欧 旧ソ連	イスラム世界 中　東 アフリカ	東アジア 東南アジア	スコア
1							
1						マレーシア	104
3	グアテマラ			スロバキア			104
3	パナマ						95
5							95
6						フィリピン	94
7				ロシア			93
8				ルーマニア			90
9	スリナム			セルビア			86
10	メキシコ						85
10	ベネズエラ						81
12							81
12					アラブ諸国		80
12						バングラデシュ	80
15	エクアドル					中　国	80
15							78
17						インドネシア	78
17						インド	77
					西アフリカ 諸国		77
19							
20						シンガポール	74
21				クロアチア			73
22				スロベニア			71
22				ブルガリア			70
22					モロッコ		70
			スイス （フランス語圏）				70
22							
26	ブラジル					ベトナム	70
27		フランス					69
27							68
27						香　港	68
30				ポーランド			68
			ベルギー （フランス語圏）				67
30	コロンビア						
32	エルサルバドル						67 66
32		トルコ					
34							66
					東アフリカ 諸国		64
34	ペルー						
34							64
37	チ　リ					タ　イ	64
							63

図 1　76 の国と地域における権力格差指標の値(1)

出典：Hofstede & Minkov(2010：53)

注：下線筆者

（IBM データベースおよび追調査などによる３項目の回答に基づき算出）

順位	中南米	南　欧 南東欧	北　欧 北西欧 アングロ世界	中東欧 旧ソ連	イスラム世界 中　東 アフリカ	東アジア 東南アジア	スコア
37		ポルトガル					63
39			ベルギー （オランダ語圏）				61
39	ウルグアイ						61
41		ギリシア					60
41						韓　国	60
43					イラン		58
43						台　湾	58
45				チェコ共和国			57
45		スペイン					57
47		マルタ					56
48					パキスタン		55
49			カナダ （ケベック州）				54
49						日　本	54
51		イタリア					50
52	アルゼンチン						49
52					南アフリカ		49
54	トリニダード・トバゴ						47
55				ハンガリー			46
56	ジャマイカ						45
57				ラトビア			44
58				リトアニア			42
59				エストニア			40
59			ルクセンブルク				40
59			アメリカ				40
62			カナダ（全国）				39
63			オランダ				38
64			オーストラリア				38
65	コスタリカ						35
65			ドイツ				35
65			イギリス				35
68			フィンランド				33
69			ノルウェー				31
69			スウェーデン				31
71			アイルランド共和国				28
72			スイス （ドイツ語圏）				26
73			ニュージーランド				22
74			デンマーク				18
75					イスラエル		13
76			オーストリア				11

図 1　76 の国と地域における権力格差指標の値(2)

出典：Hofstede & Minkov(2010：52)

注：下線筆者

個人主義と集団主義(Individualism and Collectivism)

この次元は、それぞれの社会における個人主義の強さを表すことである。

それぞれの国のスコアを以下の図に示す。

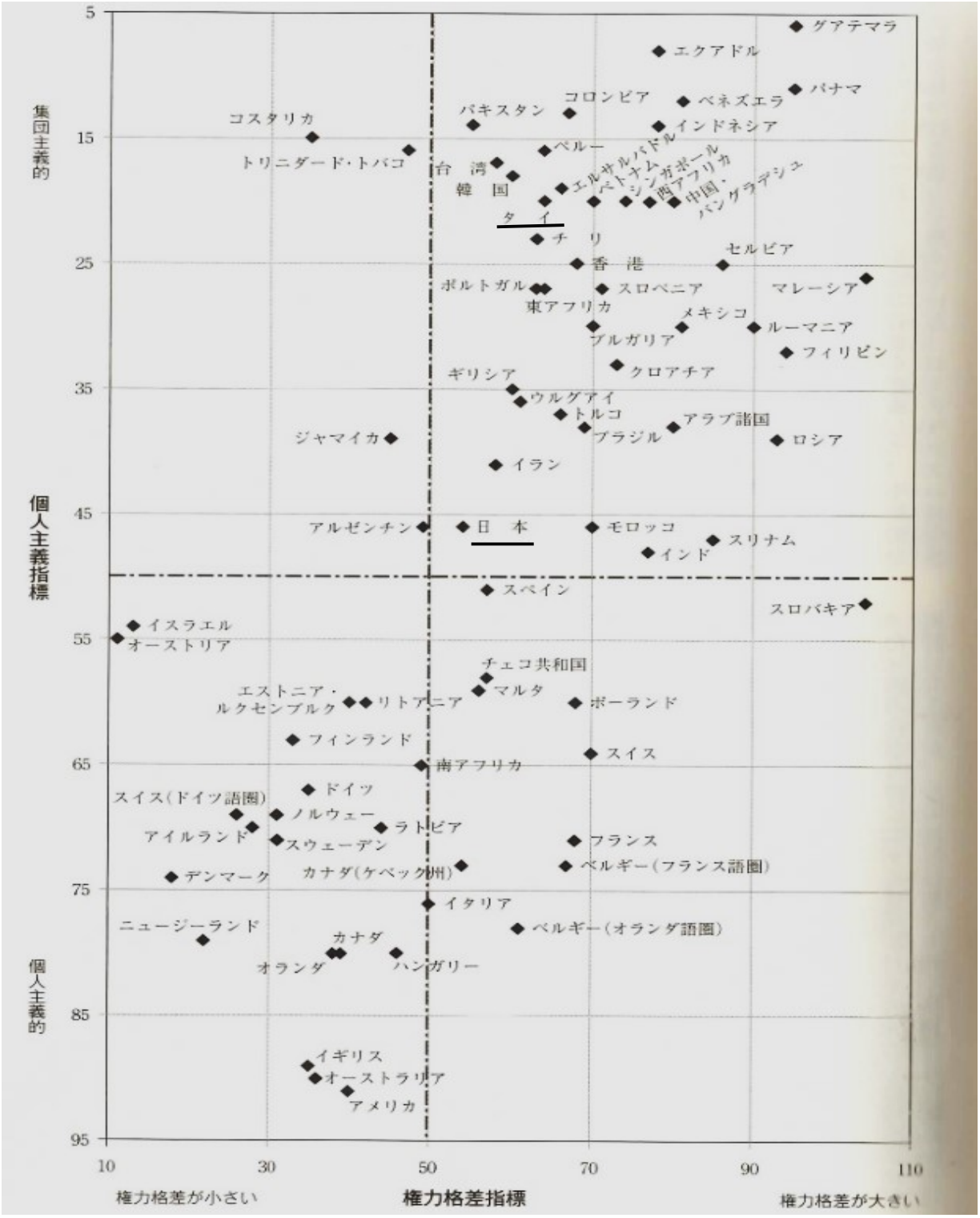


図 2　権力格差指標と個人主義指標

出典：Hofstede & Minkov(2010：93)
注：下線筆者

個人主義の社会の特徴は、個人と個人の結びつきが緩やかで、個人の利害が集団よりも優先される社会である。すべての人に対して同じ価値観が適用される。不法行為を犯すことは、犯罪意識をかきたて、自尊心を傷つけることでもある。

一方、集団主義の社会の特徴は、メンバー同士の結びつきが強く、集団の利害が個人よりも優先される社会である。人々は拡大家族またはほかの内集団のなかに生まれて、その集団に忠誠を誓う代わりに保護される。内集団と外集団とで価値観の基準が異なる。不法行為を犯すことは、本人とその集団にとっては恥であり、面子を失うことである。

スコア 46 の日本は、世界の中では中ぐらいである。集団主義が強い南米とアジア諸国と比べると、個人主義が強い傾向が見られると言える。

日本に見られる集団主義的社会の特徴としては、自分が属している組織内での上下関係を強く意識していること、集団の和を保つことなどが挙げられる。「出る杭は打たれる」という言葉が指し示すように、目立つ言動は集団においては好まれない。

一方で、個人主義的な社会の特徴としては、日本社会はアジア諸国と違い、中核家族制度であるという点が挙げられる。すなわち、日本は父兄社会であり、息子は父親から家族の名を承継し、中核家族を作って生活する。また、日本人はプライベートを尊重する傾向が強いといわれる。内外関係がはっきり分けられる社会のため、外の人と関係を結ぶのに時間がかかる。また、親しくなっても、本音を言わない傾向もある。他文化の人から見ると、心の中のどこかで壁をつくっていると感じてしまうかもしれない。

それに対して、タイのスコアは 20 で、集団主義の強い国だと言える。タイ社会は拡張家族のため、集団のメンバーへの長期間関係を尊重する社会である。集団内への忠誠心が最も重要であり、強い対人関係を育む。また、公の場で自分の面目が保てないような事態が起きると、自分への信頼性に悪影響を与えるので、「恥」に対して非常に敏感である。また、タイ人は、容易に他者と親しむことができるといわれる。初対面の人でも家族における呼称詞を用いて名前を呼ぶことはタイ社会の強い集団主義の特徴の一つだと考えられる。ビジネスを行う上で、タイ人は仕事上の関係より、個人的な関係を重視している。したがって、タイ社会において、人との繋がりが非常に重要視されていると言える。

2.7.3 日タイの人間関係に対する認識に関する研究

本研究は、異なる文化の人が手伝うことの依頼に対してそれぞれどのように断るかという相違点を明らかにすることを目的とするものである。ゆえに、日タイ両文化の文化差を考慮して調査結果を考察することが重要であると考えられる。例えば、日タイの文化差について論じたものには、日本人とタイ人の人間関係に対する認識がどのように異なるかという点に着目した堀江(2000)の研究が挙げられる。

堀江(2000:108-115)は、日本とタイの言語行動の違いを目的として、日本人 144 名[4]とタイ人 185 名[5]を対象に対人関係と上下関係に対する意識についてアンケート(複数回答可能)で調査を行った。以下は質問と回答結果の解釈の一部である。

質問(1)：あなたの親友はどのような集団に属する友人か。(複数回答)

	タイ人の回答率	日本人の回答率
子供の時から知っている近所の友人	27.6%	13.9%
小学校の友人	25.9%	18.8%
中学校の友人	56.2%	28.5%
高校の友人	38.9%	45.1%
大学の友人	55.7%	46.5%
職場の友人	50.8%	31.3%
その他	30.8%	25.7%

出典：堀江(2000:108)

回答結果を比較すると、最も特徴的なのは、タイ人の場合、子供の時から知っている近所の友人まで職場の友人に至るまで非常に幅広い範囲に「親友」がいることであり、日本人の場合、高校の友人と答えた者のポイントがタイ人のそれを上回るのみで、タイ人に比べて日本人は「親友」をもつ範囲が狭く、「親友」と呼ぶべき者が少ないかとも想像できる。

質問(2)あなたにとって親友とはどのような人ですか。(複数回答)

	タイ人の回答率	日本人の回答率
悩みを打ち明けられる友人	75.1%	52.1%
自分のことも家族のことも話し合える友人	77.8%	51.4%
あまり話さなくても理解してくれる友人	57.8%	29.9%
遠慮せずになんでも話せる友人	37.8%	27.9%
気軽に何でも頼める友人	56.2%	18.1%
気を遣わなくても、気楽でいられる友人	65.4%	41.0%
言葉遣いに気を遣わなくてもよい友人	29.7%	18.1%

[4] 日本人 144 名：年齢の内訳(10 代 19 名, 20 代 42 名,30 代 37 名, 40 代 19 名, 50 代 21 名, 60 代 6 名)
職業の内訳(会社員 33 名, 公務員 77 名, 教員 13 名,自営業 3 名, 主婦 15 名, 学生 35 名, その他 24 名,　無職 3 名,無回答 1 名)

[5] タイ人 185 名：年齢の内訳(10 代 3 名, 20 代 94 名, 30 代 58 名, 40 代 26 名, 50 代 1 名,　無回答 3 名)
職業の内訳(会社員 114 名, 公務員 27 名, 教員 1 名, 研究者 5 名, 弁護士 6 名, 医師 1 名, 自営業 13 名,主婦 1 名, 学生 11 名, 無回答 6 名)

長い間連絡を取らなくても、お互いの関係が変わらない友人	74.1%	58.3%
何でも相談できる友人	60.0%	23.6%
その他	10.8	4.9%

出典：堀江(2000:109)

タイ人はすべての項目において日本人よりポイントが高く、何でも話し合えて、悩みを打ち明けられ、長い間連絡を取らなくても変わらない関係を保てるといった、相手との距離の近さを認識できる者を親友と考えていることが明瞭である。これに比べて日本人の場合は、「気軽になんでも頼める友人」はタイ人よりポイントにおいて約 1/3 程度のポイントであり、たとえ親友であっても気楽に頼み事ができないといった特色が窺える。タイ人と日本人の「親友」の概念で異なる点が、「気楽に何でも頼める友人」(タイ人 56.2%、日本人 18.1%)、「何でも相談できる友人」(タイ人 60.0%、日本人 23.6%)などであり、タイ人の場合、「友人」であれば何でも気楽に頼めるし、何でも相談できると考えていることが窺える。結果から言えるのは、タイ人に比べて日本人は「親友」の存在する集団の範囲が限られ、また、「親友」と認識できる友人の概念が狭いという点である。これらのことは、タイ人に比べて日本人の対人距離が遠いことを表している。この対人距離の意識の差が、相手に対する「冷たい」「親しくなれない」等の解釈の相違を生んで、コミュニケーション上のすれ違いや誤解を引き起こす要因となる可能性も十分にあり得ると思われる。

質問(3)親しくない友人と聞いたとき、どのような人を思い浮かべますか。(複数回答)

	タイ人の回答率	日本人の回答率
同じ職場、アルバイト先、またはサークルに属しているが、挨拶しかしない人	71.4%	45.3%
大学の友人	20.5%	8.3%
他の人が紹介してくれた人	65.9%	6.3%
小学校の友人	24.9%	7.6%
子供の時から知っている近所の人	22.7%	2.1%
恋人の友人、夫の友人、妻の友人	41.1%	2.8%
高校の友人	21.6%	5.6%
仕事で連絡をとり合う他の会社の人	43.8%	13.2%
あたりさわりのない話しかしない人	80.0%	72.9%
その他	7.6%	6.9%
無回答	0.0%	0.7%

出典：堀江(2000:111)

「親しくない友人」について、タイ人も日本人も共通して、挨拶しかしない、あるいは、あたりさわりのない話しかしない人を思い浮かべるが、タイ人の場合、誰かから紹介された人や、恋人・配偶者の友人を思い浮かべる者が比較的多い。つまり、タイ人は、たとえ親しくはなくても何らかの関係があれば友人として捉える傾向があると考えられる。これに対して、日本人は、「親しくない友人」の概念の範囲がタイ人より狭く、限られている。

質問(4)年長者または目上の人と聞いたとき、どのような人を思い浮かべますか。(複数回答)

	タイ人の回答率	日本人の回答率
自分の先生	79.5%	25.0%
会社の上司	56.8%	45.1%
先生一般	55.1%	11.1%
友人の両親	78.9%	15.3%
自分の両親	82.2%	18.1%
両親の友人や知り合い	57.3%	15.3%
自分より年上なら誰でも	45.9%	44.4%
その他	15.1%	5.6%
無回答	0.0%	0.7%

出典：堀江(2000:113)

タイ日の回答結果を比較すると、「会社の上司」と「自分より年上なら誰でも」の 2 項目がやや近い点を除き、すべての項目でタイ人は日本人よりポイントが 3 倍以上高い。とりわけ、タイ人の数値を日本人のものと比べると、「自分の先生」「友人の両親」および「自分の両親」について顕著な高ポイントを示している。日本人の「年長者または目上の人」の概念において特徴的なのは、「会社の上司」という職場の上下関係のみを指すという点である。しかし、タイ人は日本人に比較して教師や親に年長者または目上という概念を強くいだく傾向があると考えられる。

質問(5)あなたが持っている年長者または目上の人のイメージとはどのような人ですか。(複数回答)

	タイ人の回答率	日本人の回答率
自分より社会的地位が高く、尊敬している人	38.9%	26.4%
自分より学歴が高く、尊敬している人	56.8%	12.5%
自分より職位、社会的地位が高く、年齢も上の人	52.4%	16.7%
自分より年上で、職位、社会的地位が低い人	71.9%	38.9%
自分より年下で、職位、社会的地位が高い人	13.0%	2.8%
自分より年上で、経験を積んだ人	76.2%	64.6%
助けが必要な時に、頼りになる人	38.4%	8.3%
良いことをするように教えてくれたり、指導してくれたりする人	64.9%	17.4%
畏れ敬わなければいけない人	36.8%	5.6%
なれなれしくてはいけない人	5.4%	7.6%
言うことを聞き、尊敬しなければならない人	44.3%	4.9%
自分が逆らうことのできない人	3.2%	3.5%
道徳のある人	52.4%	13.9%
思いやりがあり、目下を助けてくれる人	60.5%	22.9%
議論してはいけない人	11.9%	1.4%
自分より知識もあり、完璧な人	9.7%	14.6%
その他	5.4%	3.5%
無回答	0.0%	0.0%

出典：堀江(2000:114)

タイ日の回答結果を比較すると、タイ人における「年長者または目上の人」のイメージについては、「自分より年上で、経験を積んだ人」、「自分より年上で、職位、社会的地位が低い人」、「よいことをするように教えてくれたり、指導したりする人」などの項目のポイントが高い。一方、日本のイメージの特徴的は、きわめて概念的な「自分より年上で経験を積んだ人」という単純なステレオタイプ的なものしか挙げられていない。

以上の結果から、日本人とタイ人の対人関係と上下関係に対する意識の違いを 5 点にまとめる。

(1) 日本人における「親友」の指し示す範囲が狭いのに対して、タイ人においては「親友」の範囲が非常に幅広い。
(2) 日本人は対人の距離の「遠さ」を、タイ人は対人の距離の「近さ」を認識している。
(3) 日本人は「親しくない友人」の概念がタイ人より狭く限られている。
(4) 日本人は「会社の上司」という職場の上下関係や不特定の年上の者を考える。一方、タイ人は「自分の先生」「友人の両親」「自分の両親」などの幅広い範囲を考える。
(5) 日本人における「年長者または目上の人」の概念は、タイ人より狭く限られている。

以上のように、堀江(2000)の調査により、日タイの人間関係に対する認識の違いが明らかになった。ただし、堀江の問題点として挙げられるのは、年齢および職業ごとの回答数の分析を行っていない点である。というのは、年齢や職業といった、被調査者のバックグラウンドが回答に影響を与える可能性が存在するからである。

以上、タイ社会の在り方、タイ社会の価値観、日タイ社会の比較などについて述べてきた。なお、分析結果の考察の際には、Koomin & Samakkarn(1979)のタイ社会的な価値観、Hofstede & Minkov(2010)の権力格差と個人主義および集団主義、堀江(2000)の日タイの人間関係に対する認識の概念を援用するものとする。

2.8 先行研究の問題点と課題

依頼と断りに関する先行研究の問題点は以下の 3 点である。

一つ目はタイ人を対象として手伝うことの依頼に対する断りの発話を調査した研究がほとんどないことである。多くの研究は「提案」「申し出」あるいは「勧誘」に対する断りの発話の語用論的特徴に焦点を当てている。例えば、ルンティーラ(2004)、成田・成田(2010)、伊藤(2009)である。「手伝うことの依頼」に対する断りの発話を調査する研究はまだ課題として残っている。

二つ目はこれまで断りの意味公式ごとの出現率と出現順序のパターンが別々に考察されてきたことである。日本語母語話者とタイ語母語話者が断りの発話で使用する意味公式の出現率にのみ着目すると、発話の順序がどのように構成されるか分からなくなる。たとえ、日本語母語話者とタイ語母語話者が使用する意味公式の出現率が同程度であっても、両者の発話の順序が必ずしも同様であるとは限らない。したがって、いずれも考察することが重要であると考えられる。

三つ目は、上下関係、親疎関係、依頼の負担度の 3 つの要因によって依頼の場面ごとに意味公式の使用がどう異なるかについて、まだ詳しく研究されていないことである。上下関係と親疎関係に着目する日タイ対照研究は多く見られるが、依頼の負担度については考察されていないという課題が残っている。

以上の問題点と検討すべき点を踏まえ、日本語母語話者とタイ語母語話者の「手伝うことの依頼」に対する断りの発話における語用論的特徴を明確にしたいと思う。

また、取り上げた意味公式にも以下のような問題点もある。

一つ目に、元(2003)、権(2008)が指摘したとおり、Beebe ら(1990)が分類した意味公式は西洋人向けの分析基準のために作成されたものなので、日本語、韓国語などのアジア言語に当てまらない意味公式も少なくない。例えば、[Self-Defence (自己防衛)]、[Gratitude/Appreciation (感謝/謝意)]などはアジア言語の断り場面において一般的に用いられないとのことである。

二つ目に、意味公式の分類に不明点がある。権(2008)は兄から「ものの買い出し」を頼まれた弟の断りの会話例を挙げ、弟から兄への「自分でいけるよ。」という返事をあげている。この「自分でいけるよ。」自体は2つの意味公式に分類できる。一つ目は、{非難}を用いて、買い物に行きたくない気持ちを表す。二つ目は、「食べたければ自分で買ったほうがいい」という相手へ責任を転嫁する{代案提示}の可能性がある。また、「いやだって」という返事も、{非難}としても{直接的断り}としての分類も可能な場合である。さらに、Beebe ら(1990)が分類した{代案提示}の[条件提示]と[将来なら受諾するという約束]の区別が難しい場合がある。例えば、「レポートを書いてから、やってあげる。」という返事は{条件提示}と{約束}両方に該当するので、より明確な定義が求められる。

三つ目に、意味公式の定義に当てはまらないものがあることである。伊藤(2010)は{代案}を「相手との関係を維持したい旨の積極的な働きかけ」と定義している。しかし伊藤の回答例「～さんに頼んでみたらどう?」を見ると、それは「積極的働きかけ」というより依頼されたことを回避するための行為ではないかと考えられる。したがって、{代案}には相手との関係を維持したい気持ちを表す「話し手から相手への働きかけ」である積極的な代案と、話し手が依頼されたことを回避したい気持ちを表す「相手へのアドバイス」である消極的な代案に分ける必要があると思われる。

四つ目に、意味公式が網羅的に分類されないことである。日常会話において付加詞、情報確認、困惑、驚きなどは頻繁に使われているが、伊藤(2010)、李(2013)の意味公式ではそれらが意味公式の一つとして定められていない。伊藤(2010)の分類によると、意味公式は10種類に分類されており、10種類に当てはまらない場合は全部{その他}に含まれる。だが、{その他}の中でも上記のような様々な断り方をカテゴリー化できるため、さらに細かく分類すべき点があると思われる。

以上のように、意味公式の分類に問題があることが指摘できる。本研究で使用する意味公式については次の第三章で述べる。

第三章

予備調査

本研究では、異なる文化背景をもつ日本語とタイ語における依頼に対する断りの発話について、親疎関係、上下関係、依頼の負担度の 3 つの要因による両言語の断りの異同を分析し、それぞれの言語の社会的背景からの影響を考察するために、日本語母語話者とタイ語母語話者を対象に談話完成テスト(DCT)による調査を行う。

本調査を行う前に調査協力者である日本語母語話者とタイ語母語話者がそれぞれの場面において、断りの発話をどのように使う傾向があるのかということ、そして DCT の問題点を知ることを目的として、予備調査を行った。

3.1 予備調査の目的

本研究の目的はタイ語・日本語母語話者の依頼に対する断りの発話における特徴を明らかにすることである。DCT による調査では、異なる文化をもつ日本語母語話者とタイ語母語話者の断りの発話の親疎関係、上下関係、依頼の負担度の要因において、それぞれの言語の社会文化規範の影響が見られるかどうかという点について、「断り」発話の使用実態、意味公式の出現率、意味公式の出現順序のパターンの相違点・共通点を調べる。

そこで予備調査では、協力者が各場面でどのような断りの発話を使うかという傾向を見ること、および、意味公式の分析方法を確定させることを目的とする。また、その際には場面設定の適切性、場面の説明文や指示の与え方などに関して、分かりにくいところがあるかどうか協力者から意見を聞くこととする。得られた結果およびコメントに基づいて、場面設定を修正し、最終的に本調査で使用する DCT を作成する。

3.2 本研究の依頼と断りの定義

本研究における「手伝うことの依頼」とは、山岡(2012)とグエン(2012:182)の定義に修正を加え「依頼者が、被依頼者(相手)に依頼者の利益になるような手助けをする行動を求めること。その行動は被依頼者に手間をかけさせるものである」と定める。

また、「断り」の定義は蔡(2005)と権(2008:225)による断りの定義を参考にした。「断り」とは「相手(依頼者)の依頼を受け入れないことを、相手に伝達する行為である」と定義する。

3.3 データ収集方法

本節においては、研究方法として使われる談話完成テスト(DCT)、場面設定、調査の協力者、データ収集地と期間、調査手順について述べる。

3.3.1 談話完成テスト(DCT)

断りの発話に関する対照研究において、頻繁に使われる研究方法の一つは談話完成テスト(DCT)である。本研究でも DCT を用い、データを収集することとする。研究目的を達成する上で、DCT には様々なメリットがある。一つ目は、大量のデータが短期間で収集できることである。すなわち、大量のデータを収集することにより、多くの人に共通する特徴は何かという大勢的な傾向を観察できる利点がある。二つ目は、通常、データ収集に際しては効率性や協力者の都合を考慮しなければならないが、DCT にはできるだけ協力者に負担をかけず、統計的分析のためのデータを大量に集めることができるというメリットがある。三つ目は、母語話者および学習者の語用論的特徴の比較に有効であるということだ。

一方、DCT にはデメリットもある。一つ目は、実際の会話で現れる発話とは異なる可能性があるということだ。また、二つ目は、感情、反応および非言語表現などの自然発話で見られる特徴は取り出せないということである。また、なぜそのような回答をしたのかという点も明らかにすることができない。

断りの発話に関する比較対照研究においては、DCT が頻繁に用いられるほか、ロールプレイなど口頭でのやり取りを研究の題材とするものが多い。ロールプレイには DCT より自然な会話に近い発話の収集ができるという長所が存在するが、DCT に比べて大量のデータを短期間に収集することが困難であるという短所も存在する。

また、ロールプレイの数も限られるため、研究対象としたデータが必ずしもその典型例であると言い切ることができない。さらに、本研究では上下関係や親疎関係の異なる様々な状況を設定したため、協力者に現実と違う立場を演じさせることや、親疎関係の希薄なふりをさせることは自然発話の産出を妨げることとなる。くわえて、親しくない人同士をペアでロールプレイをさせることが難点だと思われる。ロールプレイは本研究には適しないと判断した。

DCT は、自然な会話を引き出せないという難点はあるものの、多くの協力者による断りの特徴を観察できるので、本研究の目的の達成には適切な方法だと考えられる。また、DCT の短所を補うために、談話完成テストに加えて、フォローアップインタビューも行う。そのように回答した動機について考察するためには、フォローアップインタビューも不可欠だと考えるためである。

3.3.2 場面設定

Brown&Levinson(1987)によると、フェイス侵害度合いには「親疎関係」(距離)、「上下関係」(権力)、「負担度」3 つの要因が関わっている。本研究は DCT の場面設定において以上の 3 つの変数を設定する。第二章で述べたように、多くの先行研究では研究者が各々の主観的な判断に基づき、日常生活でよく起こる場面を設定している。だが、同じ場面でも言語社会によって負担度の感じ方も異なるし、ある言語社会ではよく起こる場面でも他の言語社会においてあまり起こらないこともある。まず、タイ・日本の両言語社会において頻繁に起こり得る場面であ

り、かつ負担度が重い場面と負担度が軽い場面を客観的に設定するために、それぞれの母語話者が日常でどのような依頼を受けることがあるかという点を明らかにする必要がある。

場面設定に当たり、まずタイ語・日本語母語話者の 18-23 歳の大学生それぞれ 25 名に依頼と断りの経験についてインタビューを行った。両言語の母語話者に「あなたは目上の人、同等の人に何を依頼されたことがありますか」「依頼に対して断りにくい場面と断りやすい場面を挙げてください」という質問に対して自由記述で回答してもらった。タイ語母語話者の意見では、目上の人といえば、大学の教員、学部事務所のスタッフ、学科の先輩を思い浮かべることが分かった。タイ語母語話者が教員によく頼まれることは「ワープロでのタイピング」「図書館への本の返却」「コピー屋へ資料を取りに行く」、たまに頼まれることは「学会やセミナーの係員を務める」「休日、学科の活動の準備を手伝う」である。タイでは学生にとって教員は両親のように、生活・進学の進路・悩みなどの相談にのってもらえる存在であり、日本と比べると、タイの教師・生徒間の関係は親しいといえる

ほかにも、学部事務所のスタッフへ書類を渡すことを依頼される場合がある。タイ人の学生は学部で事務の仕事や教員の仕事を手伝うアルバイトをしている学生が少なくない。学部事務所のスタッフに仕事以外のことを頼まれることもあり、その内容は「飲み物を買う」などである。

学科の先輩の場合は、学部行事の時にのみ顔を見て一緒に活動し、活動がない時は挨拶ぐらいの関係に留まっており、お互いのやりとりはあまりないようである。したがって、先輩から頼みごとをされた経験がないという。

ただ、同じクラスに在籍している学生の場合は親疎関係にかかわらず依頼されることがよくある。タイでは専攻科目以外の科目、すなわち科学、英語、タイ語など一般教養科目と選択科目のクラスでは学部の違う同級生、先輩、後輩と勉強し、一緒にグループワークをすることがよくある。自分が苦手な科目の場合は同じクラスで勉強している専攻の同級生や先輩に「宿題のチェック」「宿題の解答」などの依頼をすることも珍しくはない。

それに対して、日本語母語話者の意見では、目上の人といえば、サークルの先輩、教員、アルバイトの上司が思い浮かぶことが分かった。日本語母語話者の学生の考え方では、教員との関係は、単に知識を教示される/する関係であり、距離を置かなければならない存在である。その反面、サークルの先輩のほうは非常に親しい関係にあり、何でも相談に乗ってもらえる人だと答えた人もいる。学科の友達より、サークルの先輩・友達のほうが会う機会も多い。

一方、サークルにおける上下関係は強く、後輩が先輩に従うべきであるという回答もあった。先輩によく頼まれることは「買い物」である。また暇な時に、アルバイトをしている学生は少なくないようであり、アルバイト先で上司に「休日出勤」「出勤日の交代」などを頼まれたことがあるという回答もあった。そして、日本語母語話者同士の場合、親しい友達なら頼みごとをすることがあるが、親しくない同級生ならば絶対にしない。また、親しくない留学生か

ら何かを依頼されたという日本語母語話者も存在した。以上のように、タイと日本の社会において、人間関係に対する意識や頼み事に相違点があることが分かった。

以上のアンケート結果を考慮して、本研究では、親疎関係、上下関係、依頼の負担度の 3 つの要因に基づいて、8 つの場面を設定した。

日本語母語話者とタイ語母語話者用の DCT での依頼の内容は同じであるが、依頼者と被依頼者についてはタイと日本の社会に応じて設定を変えた。日本語母語話者とタイ語母語話者向けの場面設定は表 4、表 5 に示す。

表 4　日本語母語話者向けの場面設定

場面	親疎関係	上下関係	依頼の負担度	相手	依頼内容
1	親	目上	重い	お世話になっている教員	日曜日に、オープンキャンパスの準備を手伝ってほしい
2	疎	目上	重い	あまり親しくない学科の教員 (2～3 回程度挨拶したことがある)	
3	親	目上	軽い	サークルの親しい先輩	昼間、コンビニで飲み物を買ってほしい
4	疎	目上	軽い	サークルの親しくない先輩 (2～3 回程度挨拶したことがある)	
5	親	同等	重い	親しい友達	いっしょに 3,4 枚ぐらいの英語の文章を日本語に翻訳してほしい
6	疎	同等	重い	親しくない留学生	いっしょに 3,4 枚ぐらいの英語の質問を日本語に翻訳してほしい
7	親	同等	軽い	親しい友達	数学の宿題をチェックしてほしい
8	疎	同等	軽い	親しくない留学生	日本語の作文をチェックしてほしい

表 5　タイ語母語話者向けの場面設定

場面	親疎関係	上下関係	依頼の負担度	相手	依頼内容
1	親	目上	重い	お世話になっている教員	日曜日に、オープンキャンパスの準備を手伝ってほしい
2	疎	目上	重い	あまり親しくない学科の教員 (2〜3回程度挨拶したことがある)	
3	親	目上	軽い	学部事務所の親しいスタッフ	昼間、喫茶店で飲み物を買ってほしい
4	疎	目上	軽い	あまり親しくない学部事務所のスタッフ (2〜3回程度挨拶したことがある)	
5	親	同等	重い	親しい友達	いっしょに3,4枚ぐらいの英語の文章をタイ語に翻訳してほしい
6	疎	同等	重い	親しくない同級生 (2〜3回程度挨拶したことがある)	
7	親	同等	軽い	親しい友達	数学の宿題をチェックしてほしい
8	疎	同等	軽い	親しくない同級生 (2〜3回程度挨拶したことがある)	

目上の人からの重い依頼について

「お世話になっている教員、あるいは2〜3回程度挨拶したことのある、あまり親しくない学科の教員から日曜日にオープンキャンパスの準備を手伝うこと」を依頼される場面を設定した。タイでは教員からいろいろなことを頼まれることが多く、日常生活で起こりやすい場面である。

一方、日本では教師は学生にあまり頼みごとをしないが、オープンキャンパスの準備のように様々な準備が必要な活動であれば、学生に頼みごとをすることもあるため、両文化に共通して起こり得る場面であると考えた。

日本語母語話者とタイ語母語話者が「日曜日にオープンキャンパスの準備を手伝うこと」に対して、重い依頼だと捉える理由は、オープンキャンパスの準備は物の運搬や、展示資料の準備などの疲労を伴う活動であるからである。日本語母語話者と比較すると、タイ語母語話者は休みの日に家族と時間を過ごす傾向が見られるため、手伝いを依頼されたら、かなりの負担を感じるだろう。また、バンコクは渋滞がひどいので、出かけるのに時間がかかり、不便である。一方、多くの日本語母語話者は日曜日に、アルバイトや部活動があるので、手伝いに行くのは大変である。

目上の人からの軽い依頼について

タイ語母語話者向けの場面は、「親しい学部スタッフ、あるいは 2～3 回程度挨拶したことのある、あまり親しくない学部スタッフから昼間、喫茶店で飲み物を買うように依頼される」という場面である。

それに対して、日本語母語話者向けの場面は「サークルの親しい先輩、あるいは親しくない先輩から飲み物を買うように依頼される」というものである。依頼内容は同じであるが、それぞれの文化に合わせて、異なる相手を設定した。

同等の相手からの重い依頼について

タイ語母語話者向けの場面は「親しい友達、あるいは 2～3 回程度挨拶の授業で勉強した同じクラスの同級生からいっしょに 3,4 枚ぐらいの英語の文章をタイ語に翻訳するように依頼される」というものである。

一方、日本語母語話者向けの場面では、依頼者を親しい友達と親しくない留学生の友達に分け、依頼の場面を別々に設定した。というのは、日本語母語話者は親しくない相手には依頼をしないということなので、依頼者を親しくない同級生とすると、不自然な場面になってしまう可能性があるからである。親しい友達の場合は「いっしょに 3,4 枚ぐらいの英語の文章を日本語に翻訳するように依頼される」場面、親しくない留学生の友達の場合はいっしょに 3,4 枚ぐらいの英語の質問を日本語に翻訳するように依頼される」場面を設定した。

日本語母語話者とタイ語母語話者が「翻訳の手伝い」が重い依頼だと考える理由は、翻訳は労力や時間がかかるからである。翻訳する際には、ただ文の翻訳を行うのみならず、翻訳したものを推敲する作業もあり、何時間もかかるため、自分の勉強の時間が削られる恐れがある。1 枚ならなんとか手伝えるが、3,4 枚は量が多いので、非常に負担を感じる依頼であると考える。

同等の相手からの軽い依頼について

タイ語母語話者向けの場面は「親しい友達、あるいは 2～3 回程度挨拶の授業で勉強した同じクラスの同級生から数学の宿題をチェックすることを依頼される」という場面である。

それに対して、日本語母語話者向けの場面では依頼者を親しい友達と親しくない留学生の友達に分けた。親しい友達の場合は「数学の宿題をチェックすること」を依頼される場面、親しくない留学生の友達の場合は「日本語の作文(300 文字ぐらい)をチェックすること」を依頼される場面を設定した。

タイ語母語話者が「宿題のチェック」を軽い依頼だと捉える理由は、宿題の解答が正しいかどうか、間違いがあるかどうかは短時間でチェックできるからである。一方で、日本語母語話者が「作文のチェック」を軽い依頼だと捉える理由は、留学生が書いた作文は日本語初級文法で書かれており、内容も長くないからである。

3.3.3 データ収集地と期間

データ収集地と期間を以下の表にまとめる。

表 6 予備調査のデータ収集地と期間

項目	内容
実施時	2016 年 11 月に実施した。
予備調査の協力者	日本語母語話者それぞれ 10 名の合計 20 名である。
	日本語母語話者：大阪大学のタイ語を専攻していない学生 タイ語母語話者：タイ在住の日本語を専攻としないチェンマイ大学の学生
方法	日本語母語話者：直接会った上で、DCT の記入を依頼した。なお、調査協力者が関西弁で回答を書く可能性があるため、関西弁の文法説明については、岡本・氏原(2006)の『聞いておぼえる関西(大阪)弁入門』を参考にしている。
	タイ語母語話者：メールを通じて DCT を記入させるよう依頼した。

3.3.4 調査手順

調査にあたっては、まず本研究の目的や内容を説明して、調査について理解を得られた大学生を本研究の協力者とした。そして、各依頼の場面を説明した上で、あまり深く考えずに、できるだけ日常会話で言っているとおりに断り文を書くように指示した。その後、協力者の承諾が得られた場合は断りの意味公式の選択基準や理由、断られる相手に対する気持ちなどの質問に関して協力者の母語でフォローアップインタビューを行った。DCT は日本語版とタイ語版があり、以下は日本語母語話者向けの DCT の一部である(付録①予備調査の談話完成テスト参照)。

場面: 来週、大学でオープンキャンパスが行われます。さまざまな高校の教員や高校生など、数多くの方が参加します。そろそろイベントの日が近づいてきたため、先生からあなたに日曜日に準備するのを手伝ってくれないかと依頼されました。あなたは終日都合が悪いので、手伝いに行けません。その時、あなたはどう言いますか。

1.依頼者：いつもお世話になっている先生

先生：　あのう、来週のオープンキャンパスのことなんですけど、
　　ちょっと手伝ってもらいたいことがあるんですが、
あなた：はい、何でしょうか。
先生：　準備がまだできていなくて、学生さんの力を貸してもらいたいんですけど。
あなた：はい。
先生：　もし日曜日、何も予定がなければ準備を手伝ってもらいたいんですが、大丈夫ですか。
あなた：

2.依頼者： 2〜3 回程度挨拶したことがある親しくない学科の先生

あなた：

3.4 予備調査の分析方法

日本語とタイ語の対照にあたっては、普遍的な理論に基づいて分析することが重要である。母語話者と外国人学習者を対象とする断りの多くの先行研究では、断りの意味公式に着目している。Brown&Levinson(1987)のポライトネスの理論は英語に限らず、様々な言語の対照研究に広く用いられている。本研究も Brown&Levinson(1987)のポライトネス理論を採用することとする。

分析方法としては Beebe,Takahashi and Uliss-Weltz(1990)の「意味公式」が用いられる。「意味公式」は「発話を社会の相互作用の中で見た場合の発話行為具現化のための最小の機能単位」(藤森 1995)である。意味公式を用いると、意味公式の出現率、出現順序および出現パターンの組み合わせなど複数の言語を同じ基準で分析して対照することができるという利点がある。したがって、断り文の分析にあたっては「意味公式」を使用する。先行研究で用いられている意味公式の問題点を踏まえ、Beebe, Takahashi and Uliss-Weltz(1990)、伊藤(2010)と李(2013)の意味公式および予備調査を参考に本研究の目的に合った意味公式を設定する。

分析手順としては、まず協力者が書いた断り文を各意味公式に分類する。次に意味公式の種類ごとの出現数を数える。そして、それを全出現数で割ったものを出現率として計算する。予備調査で用いる意味公式は表 7 に示す。

表 7　予備調査で用いる意味公式

カテゴリー	意味公式	定義
直接的断り	①結論	依頼に応じるのが不可能であることを示す。
	②行動指示	被依頼者が依頼者に自分で行動するように言う。
間接的断り	③詫び	相手の意向に沿えないことへの謝罪の気持ちを表す。
	一回	詫びの言葉を一回述べる。
	二回	詫びの言葉を二回述べる。
	④理由	相手の意向に沿えない理由を説明する。
	理由の内容	理由の内容だけを述べる。
	理由の内容+付加説明	理由の内容に加えて、その理由に関して具体的な説明が付加される。
	⑤積極的代案提示	依頼に応じず、被依頼者が問題解決の方法として自分から積極的に働きかけることを提案する。
	⑥消極的代案提示	依頼に応じず、被依頼者が自分以外の人に依頼するように提案する。
	⑦条件提示	依頼を引き受けることのできる条件を提示する。
	⑧約束	次回協力することを述べる。
付加表現	⑨否定的反応	依頼に返答する前に、断りの発話を予想させるような反応をする。
	⑩理解	相手の話を理解したことを示す。
	⑪驚き	驚きの感情を表す。
	⑫情報確認	相手が言ったことを確認する。
	⑬共感	相手の意向に添いたい心情を表明する。
	⑭冗談	相手をからかう。

以下、各意味公式について例を挙げて説明する。回答例は日本語とタイ語の両方で同じ意味の回答があったものを併記したものである。

①{結論}：依頼に応じるのが不可能であることを示す。

日本語の例：無理です/　無理やわ/　行けないです/　手伝えないわ/　力になれません
行けないと思います/　行けない可能性があります/　行けそうにないです
その日は厳しいですね/　厳しいかなあ/　きついなあ

以下のタイ語の回答例の和訳はタイ語から直訳したものである。

タイ語の例：ไปไม่ได้ครับ/ค่ะ(行けません) / ช่วยไม่ได้อะ(手伝えません)
คิดว่าคงไปไม่ได้ครับ/ค่ะ(行けないだろうと思います)
อาจจะไปไม่ได้ครับ/ค่ะ(行けないかもしれません)
ไม่สะดวกครับ/ค่ะ(都合が悪いです)

②{行動指示}：依頼に応じず、被依頼者が依頼者に自分で行動するように言う。

*予備調査では、日本語母語話者にしか見られなかった意味公式である。

日本語の例：自分で頑張ってね。

③{詫び}：相手の意向に沿えないことに謝りの気持ちを表す。

3.1 一回：詫びの言葉を一回述べる。

日本語の例：すみません、今から授業があるので。

タイ語の例：ขอโทษจริงๆนะคะอาจารย์ พอดีมีนัดกับที่บ้านแล้วค่ะ
(本当に申し訳ないんですが、ちょうど家族と約束があります。)

*「ขอโทษ(khɔ̌ɔthôot)」(詫びの言葉)、「จริงๆ(ciŋ ciŋ)」(本当に(強調詞))「นะ(ná)」(文末詞)、「คะ(khá)」(女性の文末丁寧詞)、「อาจารย์(ʔaa caan)」(先生(呼称詞))

なお、女性の文末丁寧詞は คะ/ค่ะ (khá/khâ) の 2 つの音があり、平叙文に用いられるか疑問文に用いられるかという点によって音の変化がある。

タイ語の詫びの構造は{詫びの言葉}+{強調詞}+{文末詞}+{文末丁寧詞}+{呼称詞}である。相手によって、言葉遣いが変わる。また、{詫びの言葉}以外のものは省略されることもある。{詫びの言葉}は、「ขอโทษ(khɔ̌ɔthôot)」(すみません)という動詞を基本形として、上下関係、親疎関係によって様々な派生形が使われる。例えば、「ขอโทษที่(khɔ̌ɔthôot thii) ขอโทษด้วย(khɔ̌ɔthôot dûai) ต้องขอโทษ(tɔ̂ŋ khɔ̌ɔthôot) ต้องขอโทษด้วย (tɔ̂ŋ khɔ̌ɔthôot dûai) โทษที (thôot thii) โทษ (thôot) ซอรี่ (sɔɔrîi)である。(これらについては第七章で詳述する。)

3.2 二回：詫びの言葉を二回述べる。

日本語の例：ごめん、テスト勉強がやばいから、お手伝いできないかな。ごめんね。

タイ語の例：ขอโทษนะ เผอิญมีธุระด่วน คงช่วยไม่ได้อะ ขอโทษด้วย

(ごめん、偶然に急用があります。手伝えないでしょう。ごめんね)

④{理由}：相手の意向に沿えない理由を説明する。

4.1 理由の内容：理由の内容だけを述べる。

日本語の例：時間がない/ 用事があります

タイ語の例：ไม่มีเวลา/ ไม่ว่าง (時間がありません) /ติดธุระ(用事があります)

4.2 理由の内容+付加説明：理由の内容に加えて、その理由に関して具体的な説明が付加される。

日本語の例：中間テストがあって、勉強しなければなりません。

タイ語の例： อาทิตย์เค้ามีสอบ ต้องอ่านหนังสืออะ

(中間テストがあって、勉強しなければなりません)

⑤{積極的代案提示}：依頼に応じず、被依頼者が問題解決の方法として自分から積極的に働きかけることを提案する。

日本語の例：(私が)友達に聞いてみますね。

タイ語の例： เดี๋ยวจะลองถามเพื่อนดูนะครับ/ค่ะ ((私が)友達に聞いてみますね)

⑥{消極的代案提示}：依頼に応じず、被依頼者が自分以外の人に依頼するように提案する。

日本語の例：他の友達に頼んでもらえますか？

タイ語の例： ยังไงอาจารย์ลองหาคนอื่นนะครับ/คะ

(他の友達に聞いてみてもらえませんか)

⑦{条件提示}：依頼を引き受けることのできる条件を提示する。

日本語の例：別の日にもしできることがあれば、お手伝いいたします。

タイ語の例：เปลี่ยนเป็นวันอื่นได้มั้ยครับ (他の日に手伝わせてもらってもいいですか)

⑧{約束}：次回協力することを述べる。

日本語の例：また次の機会があれば、いつでも手伝います。

タイ語の例：ไว้ครั้งหน้าละกันนะ (次回の機会があれば、やるね)

⑨{否定的反応}：依頼に返答する前に、断りの発話を予想させるような反応をする。

日本語の例：ちょっと/　あのう/　うーん/　ああ/　えー

タイ語の例：เอ่อ(ʔəə) / เอ่อคือ(ʔəə khɯɯ) / อื่ม,อื่ม(ʔɯ̀ɯm) / เอิ่ม(ʔəəm) / อ่า (ʔàa)

⑩**{理解}**：相手の話を理解したことを示す。

日本語の例：そうですか/　そうですね。

タイ語の例： เหรอครับ/คะ(rə̌ə khráp/khá) / หรอครับ/คะ (rə̌ɔ khráp/khá)

*タイ語の เหรอ/หรอ (rə̌ə/rə̌ɔ)は、理解を表す間投詞である。目上や親しくない相手に対して「rə̌ə rə̌ɔ」に、文末丁寧詞 ครับ/คะ ค่ะ(khráp/khá khâ)が後続する。「khráp」は男性の文末丁寧詞、「khá khâ」は女性の文末丁寧詞である。

⑪**{驚き}**：驚きの感情を表す。

日本語の例：は？ / へえ？ / 本当？

タイ語の例：หา(hăa) / โห(hŏo) / เอ๊ะ(ʔé) / จริงอะ(ciŋ ʔa)

*場合によっては、驚きの間投詞に呼称詞が後続する場合もある。

例(1)：โหพี่(hŏo phîi)

โห(hŏo)は、驚きを表す間投詞である。พี่(phîi)は、お兄さん、お姉さん、先輩である。

例(2)：หาแก(hăa kɛɛ)

หา(hăa)は、驚きを表す間投詞である。แก(kɛɛ)は、友人同士また親しくない同級生に対して使われる呼称詞である。

⑫**{情報確認}**：相手が言ったことを確認する。

日本語の例：日曜日ですか？

タイ語の例：วันอาทิตย์เหรอครับ/คะ(日曜日ですか？)

⑬**{共感}**：相手の意向に添いたい心情を表明する。

日本語の例：手伝いたい気持ちは山々ですが / 本当に手伝いたいですけど

タイ語の例：อยากช่วยมากๆเลย แต่...(本当に手伝いたいんですけど)

⑭**{冗談}**：相手をからかう。

*予備調査では、日本語母語話者にしか見られなかった意味公式である。

日本語の例：なんぼ出せる？

次に、各意味公式の分析の仕方を説明する。分析の手順は、まず DCT に書いてある断り文を表 7 の意味公式に基づいて分ける。次にある意味公式を使用したら 1、使用しなかったら 0 とカウントする。すべての断り文を同様に分析した後、それぞれの意味公式を使用した人数を全出現数(10 名)で割ったものを出現率として計算する。なお、本研究は紙面調査であるため、意味公式を分析する際、発話者の意図が判断できない場合は、回答者に発話の意図を確認する。

分析の例は以下の通りである。

回答例 1：うーん、明日はちょっと用事があるので、行けないんです。

{否定的反応}　{ 理由}　{結論}

回答例 1 では、3 つの意味公式が用いられている。

また、{理由}は以下の例のように、[理由の内容]と{理由+説明}に分けられる。

回答例 2：ああ、すみません。あした発表があるので、手伝えないかも。

{否定的反応}　{詫び}　{理由}　{結論}

[理由の内容]

回答例 3：ああ、ごめんね。あした発表があって、時間がないんです。手伝うのは難しいかも。

{否定的反応}　{詫び}　{理由}　{結論}

[理由の内容+付加説明]

3.5 予備調査の結果

本節では、DCT のデータを意味公式で分析した結果を場面ごとに述べる。

3.5.1 日本語母語話者とタイ語母語話者が用いた意味公式の全体的な傾向

まず、場面 1-8 で日本語母語話者(JJ)が用いた意味公式の出現率を表 8 に示す。

表 8　日本語母語話者が用いた意味公式の出現率

意味公式	場面 1 親 目上 重	場面 2 疎 目上 重	場面 3 親 目上 軽	場面 4 疎 目上 軽	場面 5 親 同等 重	場面 6 疎 同等 重	場面 7 親 同等 軽	場面 8 疎 同等 軽	合計 (80 名)
結論	**7 (70%)**	**6 (60%)**	**5 (50%)**	**5 (50%)**	**8 (80%)**	**6 (60%)**	**4 (40%)**	**6 (60%)**	**47 (58.8%)**
行動指示	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**1 (10%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**1 (1.3%)**
詫び	**9 (90%)**	**9 (90%)**	**10 (100%)**	**9 (90%)**	**8 (80%)**	**10 (100%)**	**8 (80%)**	**9 (90%)**	**72 (90%)**
一回	5 (50%)	7 (70%)	9 (90%)	8 (80%)	6 (60%)	8 (80%)	6 (60%)	8 (80%)	57 (71.3%)
二回	4 (40%)	2 (20%)	1 (10%)	1 (10%)	2 (20%)	2 (20%)	2 (20%)	1 (10%)	15 (18.7%)
理由	**10 (100%)**	**9 (90%)**	**9 (90%)**	**10 (100%)**	**9 (90%)**	**10 (100%)**	**10 (100%)**	**9 (90%)**	**76 (95%)**
理由の内容	9 (90%)	9 (90%)	8 (80%)	7 (70%)	6 (60%)	5 (50%)	2 (20%)	5 (50%)	51 (63.8%)
理由の内容 +付加説明	1 (10%)	0 (0%)	1 (10%)	3 (30%)	3 (30%)	5 (50%)	8 (80%)	4 (40%)	25 (31.3%)
積極的 代案提示	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**
消極的 代案提示	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**1 (10%)**	**1 (10%)**	**0 (0%)**	**3 (30%)**	**0 (0%)**	**1 (10%)**	**6 (7.5%)**
条件提示	**2 (20%)**	**0 (0%)**	**3 (30%)**	**0 (0%)**	**1 (10%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**2 (20%)**	**8 (10%)**
約束	**1 (10%)**	**1 (10%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**1 (10%)**	**0 (0%)**	**1 (10%)**	**2 (20%)**	**6 (7.5%)**
否定的反応	**2 (20%)**	**2 (20%)**	**5 (50%)**	**5 (50%)**	**8 (80%)**	**4 (40%)**	**3 (30%)**	**0 (0%)**	**29 (36.3%)**
理解	**2 (20%)**	**2 (2%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**1 (10%)**	**5 (6.3%)**
驚き	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**1 (10%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**1 (1.3%)**
情報確認	**1 (10%)**	**1 (10%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**2 (2.5%)**
共感	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**
冗談	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**1 (10%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**1 (1.3%)**

全体的な傾向を見ると、8 場面を合計した出現率が 50 %以上の意味公式は{理由}{詫び}{結論}である。

まず、{理由}は出現率が最も高い意味公式である(95%)。それぞれの場面における理由の説明の仕方を見ると、場面 7(親・同等・軽)を除いて、[理由の内容]の出現率が 50%以上である。全体的に日本語母語話者が[理由の内容]だけを述べる傾向が強い(63.8%)。

次に高いのは、{詫び}の意味公式で、その出現率は 90%である。すべての場面において出現率が 80%以上であるのが特徴的である。

三番目は、{結論}の出現率 58.8%である。場面ごとの出現率を見ると、場面 7(親・同等・軽)においては{結論}の最も出現率が低い(40%)のに対して、場面 5(親・同等・重)においては出現率が最も高い(80%)ことが分かった。

最後に、{消極的代案提示}{条件提示}{約束}それぞれの意味公式の出現率は 10%程度である。<付加表現>のカテゴリーに分類される意味公式の中では{否定的反応}が一番出現率が高い(36.3%)。一方で、{積極的代案提示}と{共感}は全く見られなかった。

次に、タイ語母語話者(TT)が用いた意味公式の出現率を表 9 に示す。

表 9　タイ語母語話者(TT)が用いた意味公式の出現率

意味公式	**場面 1** **親** **目上** **重**	**場面 2** **疎** **目上** **重**	**場面 3** **親** **目上** **軽**	**場面 4** **疎** **目上** **軽**	**場面 5** **親** **同等** **重**	**場面 6** **疎** **同等** **重**	**場面 7** **親** **同等** **軽**	**場面 8** **疎** **同等** **軽**	**合計** **(80 名)**
結論	**1** **(10%)**	**1** **(10%)**	**0** **(0%)**	**0** **(0%)**	**1** **(10%)**	**2** **(20%)**	**1** **(10%)**	**1** **(10%)**	**7** **(8.75%)**
行動指示	**0** **(0%)**	**0** **(0%)**	**0** **(0%)**	**0** **(0%)**	**0** **(0%)**	**0** **(0%)**	**0** **(0%)**	**0** **(0%)**	**0** **(0%)**
詫び	**2** **(20%)**	**6** **(60%)**	**4** **(40%)**	**8** **(80%)**	**2** **(20%)**	**8** **(80%)**	**9** **(90%)**	**7** **(70%)**	**46** **(57.5%)**
一回	2 (20%)	4 (40%)	4 (40%)	6 (60%)	2 (20%)	6 (60%)	9 (90%)	6 (60%)	39 (48.8%)
二回	0 (0%)	2 (20%)	0 (0%)	2 (20%)	0 (0%)	2 (20%)	0 (0%)	1 (10%)	7 (8.7%)
理由	**10** **(100%)**	**10** **(100%)**	**10** **(100%)**	**10** **(100%)**	**10** **(100%)**	**8** **(80%)**	**10** **(100%)**	**10** **(100%)**	**78** **(97.5%)**
理由の内容	6 (60%)	6 (60%)	2 (20%)	2 (20%)	6 (60%)	2 (20%)	4 (40%)	3 (30%)	31 (38.8%)
理由の内容 +付加説明	4 (40%)	4 (40%)	8 (80%)	8 (80%)	4 (40%)	6 (60%)	6 (60%)	7 (70%)	47 (58.8%)
積極的代案提示	**0** **(0%)**	**0** **(0%)**	**0** **(0%)**	**1** **(10%)**	**0** **(0%)**	**2** **(20%)**	**0** **(0%)**	**2** **(20%)**	**5** **(6.3%)**
消極的代案提示	**0** **(0%)**	**0** **(0%)**	**1** **(10%)**	**0** **(0%)**	**2** **(20%)**	**2** **(20%)**	**1** **(10%)**	**0** **(0%)**	**6** **(7.5%)**
条件提示	**7** **(70%)**	**2** **(20%)**	**2** **(20%)**	**0** **(0%)**	**6** **(60%)**	**0** **(0%)**	**2** **(20%)**	**0** **(0%)**	**19** **(23.8%)**
約束	**2** **(20%)**	**0** **(0%)**	**2** **(20%)**	**2** **(20%)**	**0** **(0%)**	**1** **(10%)**	**3** **(30%)**	**0** **(0%)**	**10** **(12.5%)**
否定的反応	**2** **(20%)**	**2** **(20%)**	**4** **(40%)**	**1** **(10%)**	**7** **(70%)**	**3** **(30%)**	**1** **(10%)**	**2** **(20%)**	**22** **(27.5%)**

理解	**0 (0%)**	**1 (10%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**1 (1.3%)**
驚き	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**1 (10%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**1 (1.3%)**
情報確認	**1 (10%)**	**0 (0.0%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**1 (1.3%)**
共感	**2 (20%)**	**1 (10%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**2 (20%)**	**2 (20%)**	**1 (10%)**	**0 (0%)**	**8 (10%)**
冗談	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**	**0 (0%)**

全体的な傾向を見ると、8 場面を合計した出現率が 50 %以上の意味公式は{理由}{詫び}である。

まず、日本語母語話者と同じように、{理由}は出現率が最も高い意味公式である(97.5%)。その説明の仕方を見ると、タイ語母語話者が[理由の内容+付加説明]を述べる傾向が強い(58.8%)。

次に出現率が高いのは、{詫び}であり、その割合は 57.5%である。場面ごとの出現率を見ると、場面 1(親・目上・重)と場面 5(親・同等・重)においては{詫び}が最も出現率が低い(20%)のに対して、場面 2(疎・目上・重)、場面 4(疎・目上・軽)、場面 6(疎・同等・重)、場面 8(疎・同等。軽)においては出現率が高い(60-90%)。親しくない人からの依頼の場面のほうが、親しい人からの依頼の場面より{詫び}の出現率が高いことが分かった。

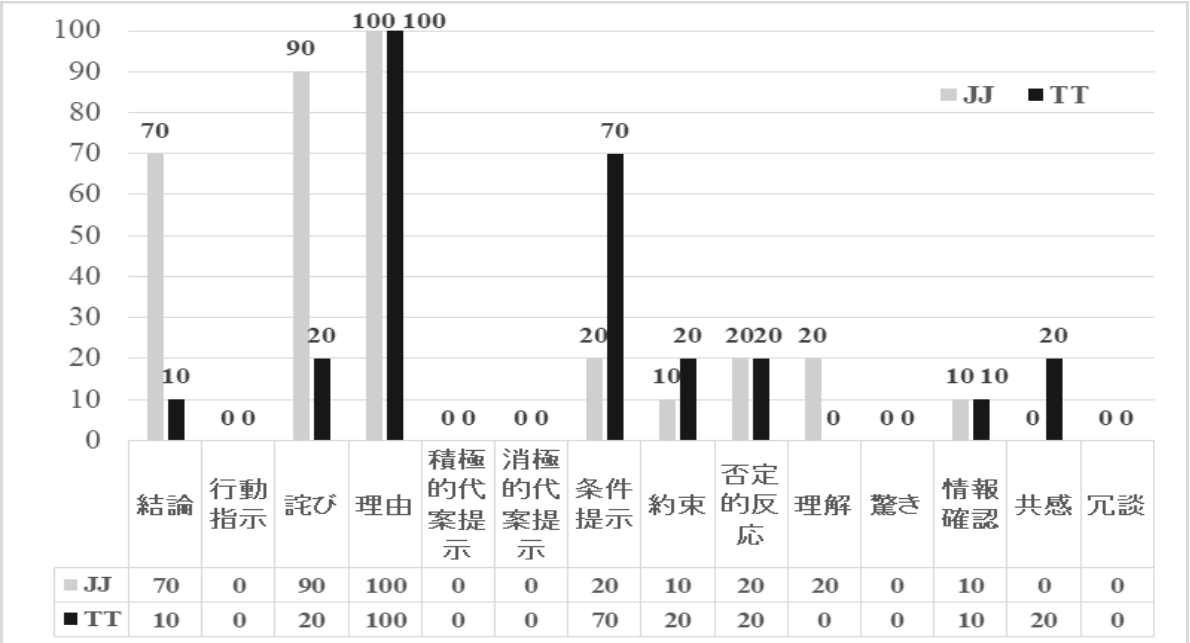
なお、{積極的代案提示}(6.3%)、{消極的代案提示}(7.5%)、{約束}(12.5%)、それぞれの意味公式の出現率は約 10%という結果になった。

また、<付加表現>のカテゴリーに分類される意味公式の中では{否定的反応}が一番出現率が高い(27.5%)。しかし、{行動指示}と{冗談}は全く出現することがなかった。

次節から、各場面ごとの傾向について見ていく。

3.5.2 場面 1： 親しい目上からの重い依頼

この場面は、親しい教員から日曜日にオープンキャンパスの準備をすることを依頼される場面である。日本語母語話者(以下 JJ と略す) とタイ語母語話者(以下 TT と略す) が用いた意味公式の出現率を図 3 に示す。



	結論	行動指示	詫び	理由	積極的代案提示	消極的代案提示	条件提示	約束	否定的反応	理解	驚き	情報確認	共感	冗談
JJ	70	0	90	100	0	0	20	10	20	20	0	10	0	0
TT	10	0	20	100	0	0	70	20	20	0	0	10	20	0

注：JJ{詫び}90% (一回の詫び 50%、二回の詫び 40%)
TT{詫び}20% (一回の詫び 20%、二回の詫び 0%)
JJ{理由}100% (理由の内容 90%、理由の内容+付加説明 10%)
TT{理由}100% (理由の内容 60%、理由の内容+付加説明 40%)

図 3　場面 1(親・目上・重)で JJ と TT が用いた意味公式の出現率

全体的な傾向を見ると、親しい目上からの重い依頼を断る場面において、出現率が 50%以上の項目に焦点を当てると、JJ は出現率の高い順に{理由}(100%)、{詫び}(90%)、{結論}(70%)となっているのに対して、TT は{理由}(100%)と{条件提示}(70%)を多く使用している。JJ も TT も{理由}の使用が多いが、JJ は TT よりも{結論}{詫び}の出現率が著しく高く、それに対して TT のほうが JJ より{条件提示}を多用している。

次に、個々の意味公式について具体的な説明を加える。{結論}は依頼に応じることが不可能なことの表明であり、JJ においてはこの意味公式の使用が目立っている(70%)。JJ の{結論}の言い方は 3 つのパターンに分類される。

(1)イ・ナ形容詞(+終助詞)

回答例：ああ、すみません。その日は実家で用事があるので、厳しいです。すいません。

(2)動詞の可能形の否定形

回答例：すみません。日曜日はアルバイトが入っているので、行けないです。すみません。

(3)副詞+動詞の可能形の否定形+終助詞

回答例：日曜日ですか。日曜日はバイトがあるので、ちょっと行けないですね。

一方、TT の場合{結論}は 10%に過ぎない。TT は語気を和らげるために、動詞の前にモダリティ形式形式[6]「คง(khoŋ だろう)」を付ける。

以下の和訳の回答例はタイ語からの直訳である。

回答例：วันอาทิตย์นี้มีธุระค่ะ *คงมาช่วยไม่ได้ค่ะ

(和訳：日曜日には用事があります。手伝いに行けないでしょう。)

*คง(khoŋ だろう) 、 มาช่วย(maa chûay 手伝いに来る) 、 ไม่ได้(mây dâay できない) 、 ค่ะ(khâ 女性の文末丁寧詞)

{詫び}についても、JJ のほうが TT より大きな差が見られる。JJ は{詫び}の使用が 90%も見られ、そのうち一回の詫びが 50%、二回の詫びが 40%である。詫びの表現としては「すみません」「ごめんなさい」「申し訳ないです」が使われている。それに対して、TT は{詫び}の出現率がわずか 20%で、使用を控えている傾向が見られる。詫びの表現としては「ขอโทษครับ/ค่ะ」(khɔ̌ɔthôot khráp/ khâ)が使われている。

*ขอโทษ(khɔ̌ɔthôot 詫びの言葉)、ครับ/ค่ะ(khráp/ khâ 文末丁寧詞)」

次に{理由}については、JJ と TT の出現率は同じ 100%である。JJ は[理由の内容]が 90%で、[理由の内容+付加説明]がわずか 10%である。回答例は以下の通りである。

[理由の内容]

(1) すみません。ちょっと。。。日曜日はアルバイトが入っているので、行けないです。

(2) ああ、すみません。その日は実家で用事があるので、厳しいです。すいません。

[理由の内容+付加説明]

ああ、すみません。ちょっとその日はバイトの研修があって、休めないんです。

[6] 庵(2001:168-173)によると、「モダリティ」とは、客観的な内容を表す命題に対する話し手の主観を表す表現である。「モダリティ」は命題の内容に関わる話し手の捉え方を表す対事的モダリティと、聞き手に対する話し手の態度を表す対人的モダリティとに分類される。対事的モダリティは(1)当為的モダリティ[命題の内容を義務的、当為的に捉える話し手の気持ちを表すもの]、(2)認識的モダリテイ[命題の真偽に対する話し手の捉え方を表すものであり、意味上で{断定}、{推量}(～と思う)、{可能性}(～だろう、～でしょう、～かもしれない、～可能性がある、～恐れがある)、{確信}(～はずだ)、{証拠}(～かもしれない、～ようだ、～みたい)、{兆候}(～そうだ)に下位分類される]

回答に現れる「モダリティ」の意味を見ると、命題の真偽に対して話し手の捉え方を表すものではなく、断りの断定を和らげるものだと考えられる。本研究の「モダリティ形式」とは「断りの断定を和らげて表現を婉曲的にする認識的モダリティ形式」ということを表している。例えば、「～だろう(でしょう)」「～かもしれない」「～そうだ」「～そうにない」「～可能性がある」「～と思う」などである。

TT は 100%のうち、[理由の内容]が 60%で、[理由の内容+付加説明]が 40%である。回答例は以下の通りである。

[理由の内容]

(1) วันอาทิตย์เหรอคะ มีธุระค่ะอาจารย์ (和訳：日曜日ですか。用事があります。)

(2) อาทิตย์หน้าหนูมีสอบค่ะ (和訳：来週、テストがあります。)

[理由の内容+付加説明]

(1) ไม่ว่างค่ะ พอดีมีนัดกับทางบ้าน
(和訳：時間的に余裕がありません。ちょうど家族と約束があります。)

(2) วันอาทิตย์นี้ติดเรียนพิเศษ ไม่มีเวลาครับ
(和訳：日曜日は塾に行きます。時間的に余裕がありません。)

以上の結果により、理由に加え、TT の方が JJ よりも詳細な説明を述べることが多いことが明らかになった。

ほかにも、{条件提示}の項目については、TT(70％)の方が JJ(20%)よりも出現率が高い。また、どうしても手伝いに行けない場合、TT が問題の解決法を探そうとする場合が多々ある。回答例は以下の通りである。

(1) พอดีวันอาทิตย์ไม่ว่างจริงๆค่ะ มีงานไหนที่หนูพอจะรับไปทำที่บ้านได้มั้ยคะ
(和訳：日曜日はちょうど時間的に余裕が全くないですが、家でお手伝いできることがありますか。)

(2) อาทิตย์หน้าหนูมีสอบอะค่ะ ช่วยวันอื่นได้มั้ยคะ
(和訳：来週テストがあります。他の日に手伝わせてもらってもいいですか。)

また JJ と TT 共に{理解}{約束}{共感}の出現率が低い(0-20%)。回答例は以下の通りである。

JJ {理解}の回答例： そうなんですか。でも、ごめんなさい。日曜日はもう別の用事があって、行けないんです。

JJ{約束}の回答例：日曜日なんですが、実は、先約は入っておりまして都合が悪いです。本当に申し訳ありません。次の機会があれば、お手伝いさせていただきます。

TT{約束}の回答例：พอดีวันอาทิตย์มีธุระกับที่บ้านอะครับ ให้ผมช่วยโอกาสหน้าแล้วกันนะครับ
(和訳：日曜日はちょうど家族と用事があります。
次の機会があれば、ぜひ手伝わせていただきます。)

TT{共感}の回答例：หนูอยากช่วย แต่วันอาทิตย์หนูมีธุระนะคะอาจารย์
(和訳：手伝いたいですが、日曜日は用事があります。)

最後に JJ と TT の{否定的反応}{情報確認}の出現率には差異が表れなかった。回答例は以下の通りである。

JJ {否定的反応}の回答例：ああ、すみません。その日は実家で用事があるので、厳しいです。

JJ {情報確認}の回答例：　ああ、日曜日ですか。日曜日はバイトがあるんですが、
ちょっと行けないですね。

TT{否定的反応}の回答例：อ่า... คือวันอาทิตย์ผมมีธุระอะครับ เป็นวันอื่นได้ไหมครับ

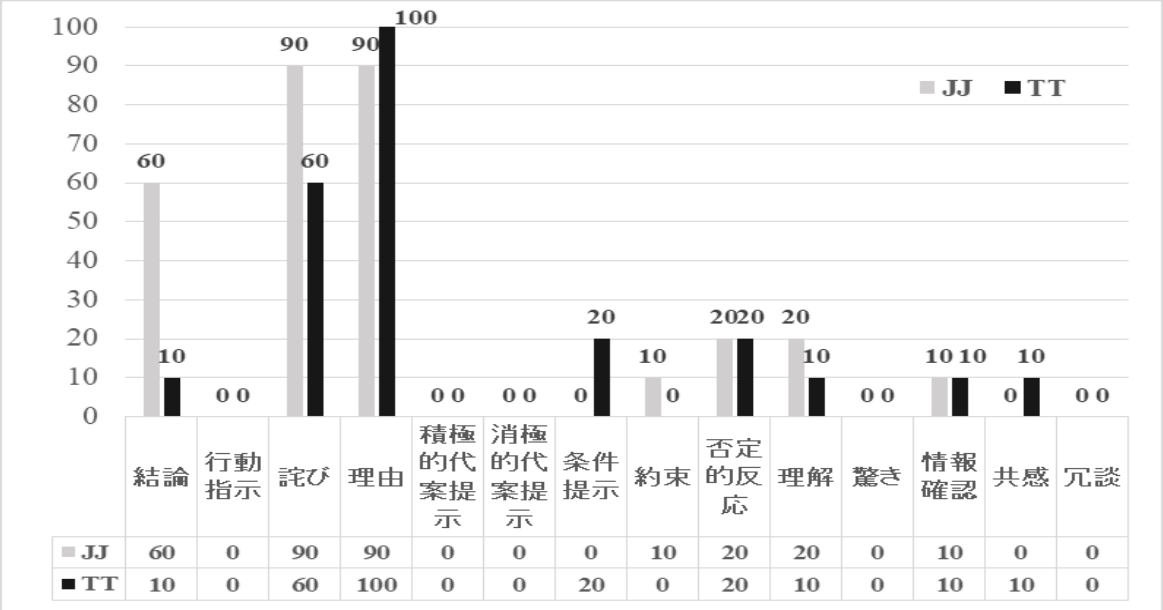
(和訳：{否定的反応}(?àa)、実は日曜日は用事があります。他の日に手伝わせてもらってもいいですか？)

TT{情報確認}の回答例：วันอาทิตย์เหรอคะ　มีธุระค่ะอาจารย์

(和訳：日曜日ですか。用事があります。)

3.5.3 場面 2：親しくない目上からの重い依頼

この場面は、2〜3 回程度挨拶の親しくない学科の教員から日曜日にオープンキャンパスの準備をすることを依頼される場面である。JJ と TT が用いた意味公式の出現率を図 4 に示す。



	結論	行動指示	詫び	理由	積極的代案提示	消極的代案提示	条件提示	約束	否定的反応	理解	驚き	情報確認	共感	冗談
JJ	60	0	90	90	0	0	0	10	20	20	0	10	0	0
TT	10	0	60	100	0	0	20	0	20	10	0	10	10	0

注：JJ{詫び}90% (一回の詫び 70%、二回の詫び 20%)
TT{詫び}60% (一回の詫び 40%、二回の詫び 20%)
JJ{理由}90% (理由の内容 90%、理由の内容+付加説明 0%)
TT{理由}100% (理由の内容 60%、理由の内容+付加説明 40%)

図 4　場面 2(疎・目上・重)で JJ と TT が用いた意味公式の出現率

全体的な傾向を見ると、親しくない目上からの重い依頼を断る場面において、出現率が 50%以上の項目に焦点を当てると、JJ は出現率の高い順に{詫び}{理由}(それぞれ 90%)、{結論}(60%)となっている。TT は{理由} (100%)と{詫び}(60%)である。なお、{理由}{詫び}以外の意味

公式の出現率は 20%以下である。JJ も TT も{詫び}と{理由}の使用が多いが、TT のほうが[理由の内容+付加説明]の出現率が高い。一方、TT に比べ JJ は、{結論}の出現率が著しく高い。

次に、個々の意味公式について具体的な説明を加える。JJ は{結論}の出現率が 60%であるのに対して、TT はわずか 10%である。JJ の{結論}の言い方は 3 つのパターンに分類される。

(1)イ・ナ形容詞(+終助詞)

回答例：ああ、その日は厳しいですね。ごめんなさい。

(2)動詞の可能形の否定形

回答例：申し訳ないです。その日先約が入っていて、行けないです。

(3)(副詞+)動詞の可能形の否定形(+モダリティ形式)

回答例：申し訳ないですが、日曜日はバイトがあるので、ちょっと行けないです。

回答例：そうですね。日曜日は少し都合が悪いので、行けないかもしれません。

それに対して、TT の場合{結論}は 1 回(3.8%)のみであった。親しい目上からの重い依頼の場面と同様に、語気を和らげるために、動詞の前にモダリティ形式「คง(khoŋ だろう)」が付加される。回答は以下の通りである。

回答例：เหรอครับ พอดีวันนั้นผมติดงานด่วนนะครับ คงไปด้วยไม่ได้ ขอโทษด้วยครับ

(和訳：{理解}(rɤ̌ə khráp)。その日はちょうど急用があります。行けないでしょう。すみません)

{詫び}について、JJ は{詫び}が 90%で、そのうち一回の詫びが 70%、二回の詫びが 20%である。詫びの表現としては「すみません」「ごめんなさい」「申し訳ないです」が使われている。TT は{詫び}が 60%で、一回の詫びが 40%、二回の詫びが 20%である。詫びの表現としては場面 1 と同じ表現「ขอโทษนะครับ/คะ」(khɔ̌ɔthôot ná khráp/ khá)「ขอโทษด้วยครับ/ค่ะ」(khɔ̌ɔthôot dûai khráp/ khá)が使われている。*ขอโทษ/ขอโทษด้วย(khɔ̌ɔthôot/詫びの言葉)、นะ(ná 文末詞、日本語の終助詞「ね」に似ている)、ครับ/ค่ะ (khráp/ khá文末丁寧詞)

次に{理由}については、JJ と TT の出現率は 90%である。JJ は[理由の内容]が 90%で、[理由の内容+付加説明]は全く見られなかった。回答例は以下の通りである。

[理由の内容]

(1) ちょっとその日は用事があります。すいません。

(2) ああ、すみません。日曜日は既に予定が入っていて、難しいです。

TT は[理由の内容]が 60%、 [理由の内容+付加説明]が 40%である。TT は理由に加えて、それに関する説明を述べることが JJ よりも多い。回答例は以下の通りである。

[理由の内容]

(1) เอ่อ วันอาทิตย์มีธุระนะคะอาจารย์ (和訳：{否定的反応}(ʔəəə)、日曜日は用事があります。)

(2) ขอโทษนะคะ พอดีมีนัดกับที่บ้านค่ะ (和訳：すみません、ちょうど家族と約束があります。)

[理由の内容+付加説明]

(1) พอดีวันอาทิตย์หนูต้องไปเที่ยวเขมรกับที่บ้าน ต้องออกเดินทางเช้า

(和訳：ちょうど日曜日に家族とカンボジアへ旅行に行かなければなりません。
朝早く出発することになりました。)

(2) วันอาทิตย์นี้ ต้องไปซื้อของกับแม่ครับ ไม่ว่างอะครับ

(和訳：日曜日はお母さんと買い物に行かなければなりません。時間的に余裕がありません。)

最後に JJ と TT の{条件提示}{約束}{否定的反応}{理解}{情報確認}{共感}の出現率は 20%以下である。回答例は以下の通りである。

TT {条件提示}の回答例：พอดีติดธุระค่ะ ไม่ทราบว่าจะมาช่วยงานวันอื่นได้ไหมคะ

(和訳：ちょうど用事があります。他の日にお手伝いさせてもらってもよろしいですか？)

TT {否定的反応}の回答例：เอิ่ม พอดีวันอาทิตย์หนูติดธุระอะค่ะ

(和訳：{否定的反応}(ʔəəm)、日曜日はちょうど用事があります。)

TT {共感}の回答例：น่าสนใจมากเลยครับ แต่พอดีวันนั้นไม่ว่างอะครับ

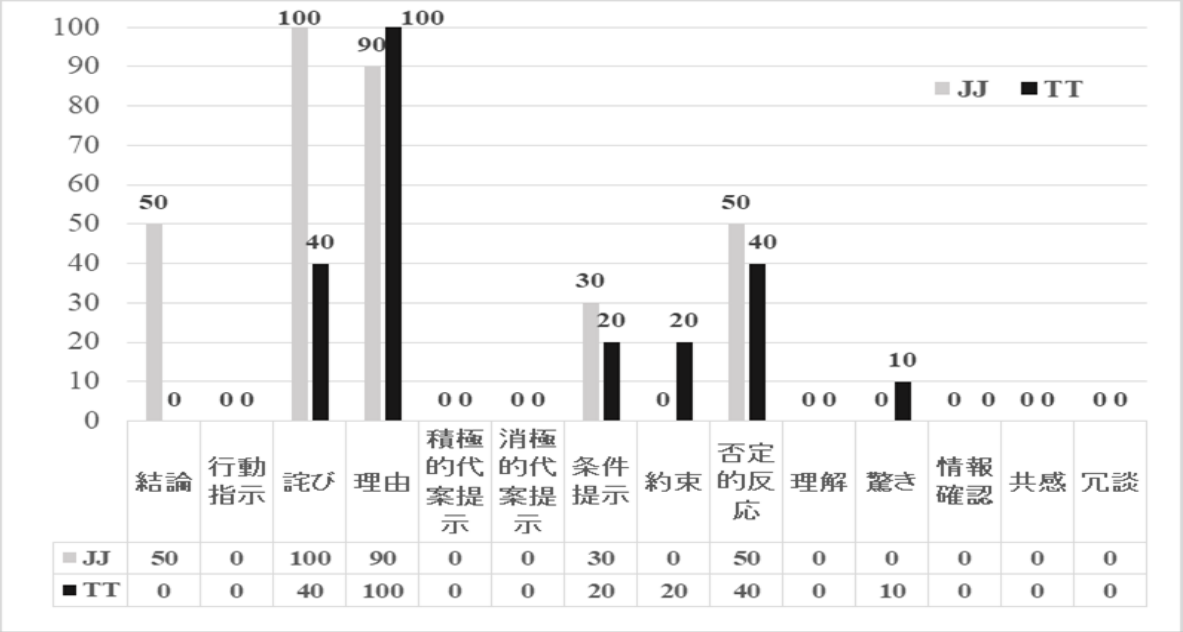
(和訳：面白いですね。残念なんですが、その日はちょうど時間的に余裕がありません。)

JJ {約束}の回答例：申し訳ないです。その日先約が入っていて、行けないです。
次の機会にまたご協力します。

JJ {否定的反応}の回答例：ああ、すみません。日曜日は既に予定が入っていて、難しいです。

3.5.4 場面 3：親しい目上からの軽い依頼

場面 3 における日本語母語話者向けの場面は、サークルの親しい先輩から昼間、飲み物の購入を依頼される場面である。 タイ語母語話者向けの場面は、親しい学部事務所のスタッフから昼間、喫茶店でテイクアウトの飲み物を買うように依頼される場面である。JJ と TT が用いた意味公式の出現率を図 5 に示す。



	結論	行動指示	詫び	理由	積極的代案提示	消極的代案提示	条件提示	約束	否定的反応	理解	驚き	情報確認	共感	冗談
JJ	50	0	100	90	0	0	30	0	50	0	0	0	0	0
TT	0	0	40	100	0	0	20	20	40	0	10	0	0	0

注：JJ{詫び}100% (一回の詫び 90%、二回の詫び 10%)
TT{詫び}40% (一回の詫び 40%、二回の詫び 0%)
JJ{理由}90% (理由の内容 80%、理由の内容+付加説明 10%)
TT{理由}100% (理由の内容 20%、理由の内容+付加説明 80%)

図 5　場面 3(親・目上・軽)で JJ と TT が用いた意味公式の出現率

全体的な傾向を見ると、親しい目上からの軽い依頼を断る場面において、出現率が 50%以上の項目に焦点を当てると、JJ は出現率の高い順に{詫び}(100%)、{理由}(90%)、{結論}と{否定的反応}(50%)となっている。それに対して、TT は{理由}(100%)のみである。JJ も TT も{詫び}と{理由}の使用が多いが、TT(80%)のほうが JJ(10%)より[理由の内容+付加説明]の使用が高い。一方、JJ においては{結論}の出現率が 50%であるのに対して、TT は全く見られなかった。{詫び}は、JJ(100%)の出現率が極めて高い一方で、TT(40%)の出現率はその半分以下である。

次に、個々の意味公式について具体的な説明を加える。まず、JJ は{結論}の出現率が 50%であるのに対して、TT は 1%にも達していない。JJ の{結論}の言い方は 2 つのパターンに分類される。

(1)イ・ナ形容詞(+終助詞)

回答例：すいません、今から授業があるので、今から買いに行くのは難しいです。
　　別の人に頼んでもいいですか？

(2)動詞の可能形の否定形

回答例：すみません。午後は授業があるので、行けないです。

{詫び}について、JJ は{詫び}100%で、そのうち一回の詫びが 90%、二回の詫びが 10%であり、最も出現率が高い意味公式である。「すみません」「すいません」「ごめん」が使われる。それに対して、TT は{詫び}が 40%である。詫びの表現としては「ขอโทษครับ/ค่ะ」(khɔ̌ɔthôot khráp/ khâ)「ขอโทษจริงๆครับ/ค่ะพี่」(khɔ̌ɔthôot ciŋ ciŋ khráp/ khâ phîi)「โทษทีนะพี่」(thôot thii ná phîi) が使われている。*ขอโทษ/โทษที (khɔ̌ɔthôot/ thôot thii すみません)、จริงๆ(ciŋ ciŋ 本当に(強調詞))、นะ(ná 文末詞、日本語の終助詞「ね」に似ている)、ครับ/ค่ะ(khráp/ khâ 文末丁寧詞、พี่(phîi お兄さん、お姉さん、先輩)

TT{詫び}の回答例：ผมมีเรียนคาบหลังพัก น่าจะซื้อไม่ทันอะครับ โทษทีนะพี่

(和訳：僕は午後、授業があって。時間がないはずです。すみません。)

JJ{詫び}の回答例：すみません。午後は授業があるので、行けないです。ごめん。

次に{理由}については、JJ と TT のいずれも{理由}の出現率が 90-100%である。JJ は[理由の内容]が 80%である一方、[理由の内容+付加説明]は 10%しか見られなかった。回答例は以下の通りである。

[理由の内容]

(1) すみません。僕は今から授業があるんです。

(2) ああ、すみません！授業あるんで、無理です。

[理由の内容+付加説明]

すみません。午後から授業が入っていて買い物に行く時間がなさそうです。他の子に頼んでおきますね。

逆に、TT は 100%のうち、[理由の内容]がわずか 20%で、[理由の内容+付加説明]が 80%である。TT が理由だけでなく、それに関する説明も述べる傾向が見られる。

回答例は以下の通りである。

[理由の内容]

(1) ตอนกลางวันคนเยอะนะคะพี่ ขอโทษค่ะ

(和訳：昼休みは、人が大変込んでいますよ。すみません)

(2) พอดีหนูมีเรียนต่ออีกตึกนึงอะ ลองถามคนอื่นละกันนะครับ

(和訳：ちょうど、別の建物で授業があるんですが、別の人に頼んでもらえませんか。)

[理由の内容+付加説明]

(1) โหพี่ อาจารย์คาบบ่ายโหดนะ กว่าจะกินข้าวเสร็จก็แทบจะเข้าเรียนไม่ทันแล้ว

(和訳：{驚き}(hŏo phîi)、午後の授業の先生は厳しいんですよ。食べるのに、時間がかかるので、授業に行くのがぎりぎりになってしまうんですが。)

*โห(hŏo 驚きの間投詞)、พี่(phîi お兄さん、お姉さん、先輩)

(2) ผมมีเรียนคาบบ่าย น่าจะไม่มีเวลาซื้ออะครับ

(和訳：午後は授業があります。買い物する時間がないはずです。)

(3) หนูมีเรียนตอนบ่าย กลัวจะเข้าเรียนไม่ทัน ร้านนี้คนแน่นตลอดด้วยอะ

(和訳：午後は授業があるので、間に合わないかもしれません。それにあの店はいつも人が込んでいますよ。)

{条件提示}について、JJ と TT の出現率が同程度の 20-30%であり、回答例は以下の通りである。

JJ の回答例：

(1) ちょっと授業があるんで今買えないですが、後で行く前にどこかに寄って買っときましょうか？

(2) すみません。午後から授業が入っていて買い物に行く時間がなさそうです。他の子に頼んでおきますね。

TT の回答例：

(1) เอ่อ… ผมมีเรียนคาบหลังพัก เอาไว้ตอนเลิก ผมซื้อมาฝากอีกทีก็ได้นะครับ

(和訳：{否定的反応}(ʔɔ̀ɔ)。昼休みの後に、授業があります。終わってから、買ってもいいですか？)

(2) ช่วงกลางวันคนเยอะนะพี่ ไว้ค่อยไปซื้อตอนอื่นมั้ย

(和訳：昼休みは人が込んでいます。他の時に買いに行ってもいいですか？)

{消極的代案提示}については、JJ と TT 双方とも出現率が 10%程度であった。回答例は以下の通りである。

JJ の回答例：授業あるんできついです。他の子に頼んでくれませんか？

TT の回答例：หนูมีเรียนตอนบ่าย พี่ฝากคนอื่นไปแทนละกันนะ

(和訳：午後は授業があります。別の人に頼んでください。)

最後に TT では{約束}{驚き}の出現率が 10-20%とわずかに見られるが、JJ には全く見られなかった。そして、{否定的反応}の出現率は JJ(50%)TT(40%)であり、大きな差が見られなかった。回答例は以下の通りである。

TT {約束}の回答例：*ขอโทษจริงๆครับพี่ ผมมีเรียนตอนบ่าย ไว้โอกาสหน้าแล้วกันนะครับ

(和訳：本当にすみません。午後は授業があります。次回、また頼んでください。)

*ขอโทษ(khɔ̌ɔthôot/ thôot thii 詫びる)、จริงๆ(ciŋ ciŋ 本当に(強調詞))、ครับ/ค่ะ(khráp 文末丁寧詞、พี่(phîi お兄さん、お姉さん、先輩)

TT {驚き}の回答例：โหพี่ อาจารย์คาบบ่ายโหดนะ กว่าจะกินข้าวเสร็จก็แทบจะเข้าเรียนไม่ทันแล้ว

(和訳：{驚き}(hŏo phîi)、午後の授業の先生は厳しいんですよ。
食べるのに、時間がかかるので、授業にぎりぎりになってしまうんですが)

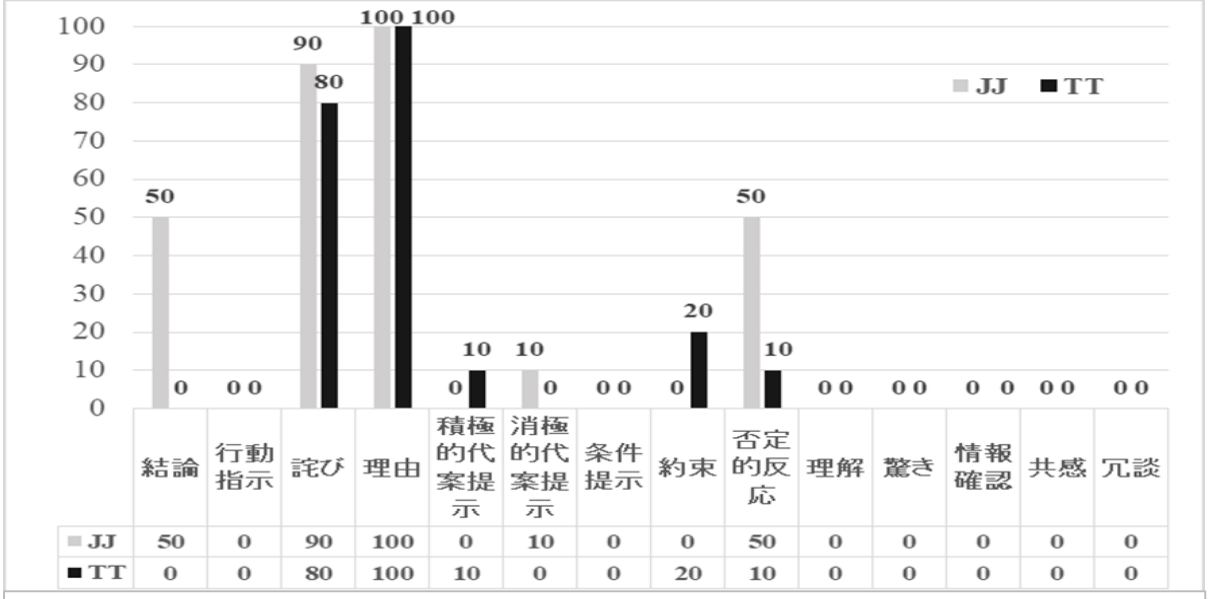
TT {否定的反応}の回答例：เอ่อ... ผมมีเรียนคาบหลังพัก เอาไว้ตอนเลิก ผมซื้อมาฝากอีกทีก็ได้นะครับ

(和訳：{否定的反応}(ʔə̀ə)、昼休みの後に、授業があります。 終わってから、
買いに行ってもいいですか？)

JJ {否定的反応}の回答例：ああ、すみません！授業あるんで、無理です。

3.5.5 場面 4：親しくない目上からの軽い依頼

場面 4 における日本語母語話者向けの場面は、2〜3 回程度挨拶したことがある、親しくないサークルの先輩から飲み物を買うように依頼される場面である。 タイ語母語話者向けの場面は、2〜3 回程度挨拶したことがある、親しくない学部事務所のスタッフから昼間、喫茶店でテイクアウトの飲み物を買うように依頼される場面である。JJ と TT が用いた意味公式の出現率を図 6 に示す。



	結論	行動指示	詫び	理由	積極的代案提示	消極的代案提示	条件提示	約束	否定的反応	理解	驚き	情報確認	共感	冗談
JJ	50	0	90	100	0	10	0	0	50	0	0	0	0	0
TT	0	0	80	100	10	0	0	20	10	0	0	0	0	0

注：JJ{詫び}90% (一回の詫び 80%、二回の詫び 10%)
TT{詫び}80% (一回の詫び 60%、二回の詫び 20%)
JJ{理由}100% (理由の内容 70%、理由の内容+付加説明 30%)
TT{理由}100%((理由の内容 20%、理由の内容+付加説明 80%)

図 6　場面 4(疎・目上・重)で JJ と TT が用いた意味公式の出現率

全体的な傾向を見ると、親しくない目上からの軽い依頼を断る場面において、出現率が 50%以上の項目に焦点を当てると、JJ は出現率の高い順に{理由}(100%)、{詫び}(90%)、{結論}{否定的反応}(それぞれ 50%)となっており、その一方で TT は{理由}(100%)、{詫び}(80%)である。JJ と TT ともに{詫び}と{理由}の使用が多いという共通点が見られるが、TT(80%)のほうが JJ(30%)より[理由の内容+付加説明]の出現率が高い。また、JJ では{結論}の出現率が三番目に高いが、TT には全く見られなかった。

次に、個々の意味公式について具体的な説明を加える。まず、JJ は{結論}の出現率が 50%であるのに対して、TT は 1%にも達していない。JJ の{結論}の言い方は 3 つのパターンに分類される。

(1)イ・ナ形容詞(+終助詞)

回答例：すみません、授業あるんで厳しいです！

(2)動詞の可能形の否定形

回答例：すみません。午後は授業があるので、行けないです。

(3)動詞の可能形の否定形+モダリティ形式

回答例：すいません、授業の時間の関係で行けそうにないです。

{詫び}について、JJ は{詫び}が 90%であり、そのうち一回の詫びが 80%、二回の詫びが 10%である。詫びの表現としては「すみません」「すいません」が使われる。TT は{詫び}80%で、一回の詫びが 60%、二回の詫びが 20%である。詫びの表現としては「ขอโทษครับ/ค่ะ」(khɔ̌ɔthôot khráp/ khá)「ขอโทษจริงๆครับ/ค่ะพี่」(khɔ̌ɔthôot ciŋ ciŋ khráp/ khá phîi)「โทษทีนะพี่」(thôot thii ná phîi) が使われている。*ขอโทษ/โทษที (khɔ̌ɔthôot/ thôot thii 詫びの言葉)、จริงๆ(ciŋ ciŋ 本当に(強調詞))、นะ(ná 文末詞、日本語の終助詞「ね」に似ている。)、ครับ/ค่ะ(khráp/ khá 文末丁寧詞、พี่(phîi お兄さん、お姉さん、先輩)　回答例は以下の通りである。

TT{詫び}の回答例：ขอโทษครับ ช่วงบ่ายมีเรียนต่อเลยอะครับ กลัวจะเข้าเรียนไม่ทัน ขอโทษครับ

(和訳：すみません。午後は授業があって、間に合わない恐れがあります。すみません。)

JJ{詫び}の回答例：すみません、実は、この後授業があって、買い出しに行く時間を取れそうにないです。

最も出現率が高い意味公式{理由}については、JJ と TT ともに出現率が 100%である。JJ は[理由の内容]が 70%、[理由の内容+付加説明]が 30%である。回答例は以下の通りである。

[理由の内容]

(1)　すみません、授業の時間の関係で行けそうにないです。

(2)　すみません。午後は授業があるので、行けないです。

[理由の内容+付加説明]

(1)　すみません、実は、この後授業があって、買い出しに行く時間を取れそうにないです。

(2)　すみません。午後から授業が入っていて買い物に行く時間がなさそうです。本当にすみません。

逆に TT は 100%のうち、[理由の内容]がわずか 20%である一方、[理由の内容+付加説明]が 80%である。回答例は以下の通りである。

[理由の内容]

(1) ขอโทษนะคะ พอดีหนูต้องไปเรียนต่ออะค่ะ

(和訳：すみません。ちょうど、次の授業に出席しなければなりません。)

(2) เดี๋ยวหนูต้องไปแวะทำธุระที่ตึกอื่นด้วยนะคะ ขอโทษนะคะ

(和訳：別の建物で用事があります。すみません。)

[理由の内容+付加説明]

(1) ขอโทษด้วยนะคะ พอดีตอนบ่ายมีเรียนต่ออะค่ะ กลัวไม่ทันเรียนค่ะ

(和訳：すみません。午後はちょうど授業があります。間に合わない恐れがあるので心配です。)

(2) ช่วงบ่ายนี้คนมันเยอะอาจจะทำให้เข้าเรียนไม่ทันคับ

(和訳：午後は人が込んでいるので、授業の時間に間に合わなくなるかもしれません。)

(3) ขอโทษนะคะ คือตอนกลางวันคนเยอะนะคะ หนูยังไม่ได้กินข้าวเลย

(和訳：すみません。実は昼休みは人が大変込んでいるし、ご飯もまだ食べていません。)

{積極的代案提示}について、JJ と TT ともに出現率が低い。TT はわずか 10%、JJ には 1%も見られなかった。{消極的代案提示}も同じ傾向が見られる。JJ はわずか 10%であり、TT には全く見られなかった。

TT{積極的代案提示}の回答例：

พอดีตอนบ่ายมีเรียน อาจจะไม่ทันนะครับ เดี๋ยวผมลองถามเพื่อนให้ไหมครับ

(和訳：午後はちょうど授業があって、間に合わないかもしれません。では、僕が友達に頼んでみましょうか。)

JJ{消極的代案提示}の回答例：

すいません、授業終わってすぐなんで、他の人当たってもらってもいいですか？

最後に{約束}は TT にしか見られなかった(20%)。{否定的反応}は JJ の出現率が 50%であるのに対して、TT は 10%に過ぎない。回答例は以下の通りである。

TT {約束}の回答例：ขอโทษทีค่ะ หนูมีเรียนตอนบ่าย ไว้โอกาสหน้าหนูแวะซื้อมาให้นะคะ

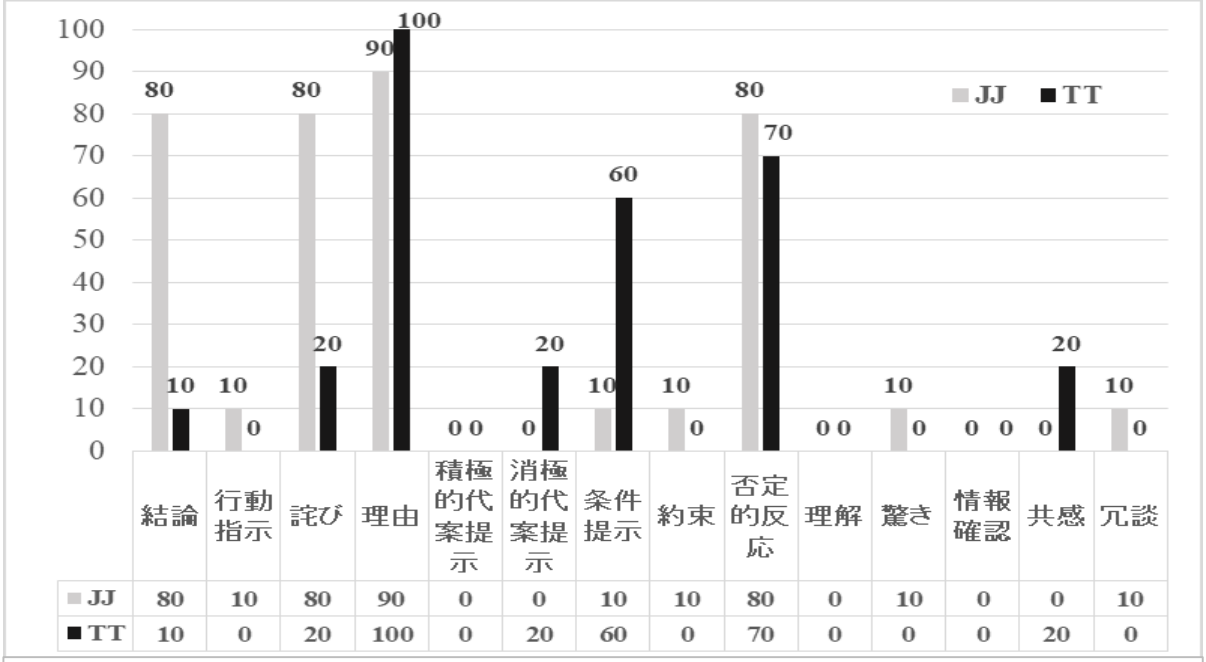
(和訳：すみません。午後は授業があります。次回、ぜひ買ってあげますね。)

JJ {否定的反応}の回答例：ちょっと…授業があるんで行けないんですが、すみません。

TT {否定的反応}の回答例：อื่ม.. พอดีตอนบ่ายมีเรียนต่อ กลัวเดินไปเข้าเรียนไม่ทันนะครับ
(和訳：{否定的反応}(ʔɯ̀ɯm)、午後はちょうど授業があります。間に合わないかもしれません。)

3.5.6 場面 5：親しい同等からの重い依頼

場面 5 における日本語母語話者向けの場面は、親しい友達から 3,4 枚ぐらいの英語の文章を日本語に翻訳することを依頼される場面である。 タイ語母語話者向けの場面は、英語の文章をタイ語に翻訳することを依頼される場面である。JJ と TT が用いた意味公式の出現率を図 7 に示す。



	結論	行動指示	詫び	理由	積極的代案提示	消極的代案提示	条件提示	約束	否定的反応	理解	驚き	情報確認	共感	冗談
JJ	80	10	80	90	0	0	10	10	80	0	10	0	0	10
TT	10	0	20	100	0	20	60	0	70	0	0	0	20	0

注：JJ{詫び}80%(一回の詫び 60%、二回の詫び 20%)
TT{詫び}20%(一回の詫び 20%、二回の詫び 0%)
JJ{理由}90%(理由の内容 60%、理由の内容+付加説明 30%)
TT{理由}100%((理由の内容 60%、理由の内容+付加説明 40%)

図 7　場面 5(親・同等・重)で JJ と TT が用いた意味公式の出現率

全体的な傾向を見ると、親しい同等からの重い依頼を断る場面において、出現率が 50%以上の項目に焦点を当てると、JJ は出現率の高い順に{理由}(90%)、{詫び}{結論}{否定的反応}(ぞれぞれ 80%)、TT は{理由}(100%)と{条件提示}(60%)という結果が見られた。JJ と TT の共通点としては、JJ と TT ともに{理由}の出現率が高いということが挙げられる。一方、相違点は JJ は{結論}{詫び}{否定的反応}の出現率が高い(80%以上)が、TT は低い(20%以下)。また、TT においては{条件提示}の出現率が 60%を超えるが、JJ における出現率はわずか 10%であった。

次に、個々の意味公式について具体的に参照する。まず、JJ においては{結論}の出現率が二番目に高い (80%)のに対して、TT における出現率は 1%にも達していない。{結論}の意味公式に着目すると、JJ の{結論}の言い方は 4 つのパターンに分類される。

(1)イ・ナ形容詞(+終助詞)

回答例：えーほんまに？[7]　来週テストあるし、3,4 枚は無理やわ、ごめん。

(えー本当に？)　(3,4 枚は無理だよ)

(2)イ・ナ形容詞+モダリティ形式

回答例：ほんまごめん、来週俺のテストで忙しくて翻訳を手伝うのは厳しいかも。

(本当にごめん)

(3) 動詞の可能形の否定形(+終助詞)

回答例：テスト勉強ちょっとやばいから、手伝ってあげられないわ。

(手伝ってあげられないよ)

(4)動詞の可能形の否定形+モダリティ形式

回答例：ごめん。俺もテストあって、勉強せなあかんから。手伝ってあげられなさそう。

(勉強しなければならないから)

一方、TT では{結論}の出現率はわずか 10%に過ぎない。{結論}を告げる際も、親しい目上からの重い依頼の場面と同様に、語気を和らげるために、動詞の前にモダリティ形式「คง(khoŋ だろう)」を付ける。

回答例：คือเรามีสอบ คงช่วยไม่ได้อะ

(和訳：実はテストがある。手伝えないだろう。)

{詫び}については、JJ と TT で出現率に大きな差が見られる。JJ は 80%で、そのうち一回の詫びが 60%、二回の詫びが 20%である。詫びの表現としては「ごめん」「ごめんな」「ごめんね」「本当にごめんね」「ほんまごめんね」が使われている。

しかし、TT における出現率はわずか 20%に過ぎない。詫びの表現としては「โทษที」(thôot thii)「ซอรี่นะ」(sɔɔrîi ná)が使われている。*โทษที/ซอรี่(thôot thii /sɔɔrîi 詫びる)、นะ(ná 文末詞、日本語の終助詞「ね」に似ている)

次に、{理由}については JJ と TT ともに出現率が 90-100%で同程度である。また、両者ともに[理由の内容]の出現率が 60%である。JJ と TT の回答例は以下の通りである。

[7] 多くの協力者の出身は近畿地方であるため、関西弁の使用が多く見られる。標準語の訳は原文の下に書いてある。

[理由の内容]

(1) テスト勉強がやばいから。手伝ってあげられないわ。

(2) いや、ちょっと中間結構勉強せなあかんから、厳しいわ。ごめんな。

(ちょっと中間結構勉強しなければならないから、厳しいよ)

(3) อยากช่วยนะแก แต่เราติดสอบ

(和訳：手伝いたいんだけど、テストがある。)

[理由の内容+付加説明]

(1) ごめんね。私、来週中間テストがあってちょっと忙しいんだよね。

(2) ごめん。俺もテストあって、勉強せなあかんから。無理やわ。

(3) ไม่ว่างอะ ต้องอ่านหนังสือก่อน จะสอบสัปดาห์หน้านี้แล้วเนี่ย

(和訳：時間的に余裕がない。テスト勉強しなければならない。来週テストあるんだよ。)

(4) เรามีสอบเหมือนกันอะ ไม่ค่อยว่าง โทษที

(和訳：私もテストがある。時間がなかなか取れないんだ。ごめん)

(5) เอ่อ ยังทำงานไม่เสร็จเลย นี่ยังมีงานหลายอย่างที่ยังไม่ได้ส่งกองเป็นภูเขาเลย

(和訳：{否定的反応}(ʔɔ̀ɔ)、宿題がまだできてなくて、まだ出してない宿題が山のようにあるんだよ。)

JJ における{条件提示}の出現率は 10%である一方、TT は 60%を超えており、両者の間に大きな差が見られた。特に TT の場合は、何か理由があって手伝えなくても、友達を助けるために自分の力の及ぶ範囲で問題解決方法を探そうとすることが多く見られる。TT の回答例は以下の通りである。

TT{条件提示}の回答例：

(1) แกลองทำมาก่อน เดี๋ยวตรวจทานแก้ไขให้เว้ย ช่วงนี้ติดสอบ

(和訳：とりあえず、自分でやってみて、後でチェックするよ。今はテストがある。)

(2) 3,4 หน้าไม่ไหว ถ้าสัก 1-2 หน้า ก็น่าจะพอได้

(和訳：3,4 枚は無理なんだけど、1-2 枚ならできるかも。)

(3) อาทิตย์หน้ากูมีสอบ ถ้าสอบเสร็จ มาช่วยได้มั้ย

(和訳：来週テストがある。終わってから、手伝ってもいい？)

加えて、TT における{消極的代案提示}の出現率は 20%であるが、JJ には全く見られなかった。回答例は以下の通りである。

TT{消極的代案提示}の回答例：เราติดสอบอะ ลองไปถามคนชื่อ...มั้ย น่าจะช่วยได้อยู่

(和訳：テストがあって、○○さんに聞いてみたらどう？たぶん手伝ってくれると思う。)

最後に、{否定的反応}の出現率は、JJ と TT ともに 70-80%であり、ほぼ同程度である。

一方で、{約束}{驚き}{共感}{冗談} {行動指示}はそれぞれ出現率が低い意味公式である(20%以下)。回答例は以下の通りである。

TT{行動指示}の回答例：เขียนเองสิ เราก็ยุ่งเหมือนกัน
(和訳：自分でやろう！！私も忙しい。)

TT{共感}の回答例：อยากช่วยนะแก แต่อาทิตย์หน้าเรามีสอบ กลัวอ่านหนังสือไม่ทันง่ะ
(和訳：手伝いたいんだけど、来週テストがあって、試験勉強に間に合わないかも。)

JJ{約束}の回答例：ごめんね。私、来週中間テストがあってちょっと忙しいんだよね。
本当にごめんね、次回何かあれば何でも言ってね。

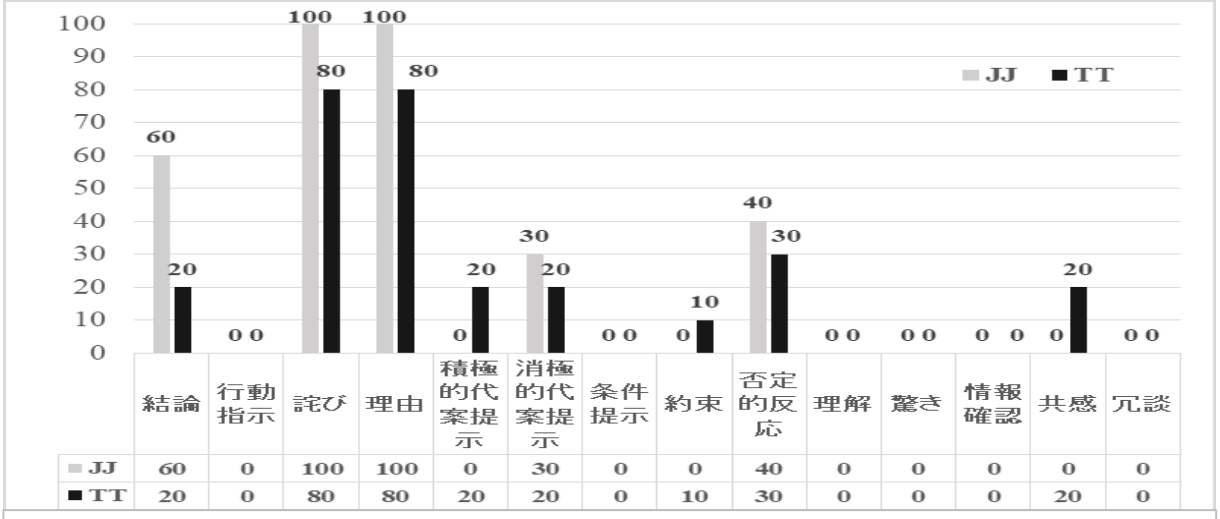
JJ{否定的反応}の回答例：いや、ちょっと中間結構勉強せなあかんから、厳しいわ。ごめんな。

JJ{驚き}の回答例：えーほんまに？来週テストあるし、3,4 枚は無理やわ、ごめん。

JJ{冗談}の回答例：いや、きついなあ。なんぼ出せる？(笑い)
((時給は)いくら払う？)

3.5.7 場面 6：親しくない同等からの重い依頼

場面 6 における日本語母語話者向けの場面は、親しくない留学生の友達から一緒に 3,4 枚ぐらいの英語の質問を日本語に翻訳するように依頼される場面である。 タイ語母語話者向けの場面は、英語の文章をタイ語に翻訳するように依頼される場面である。JJ と TT が用いた意味公式の出現率を図 8 に示す。



	結論	行動指示	詫び	理由	積極的代案提示	消極的代案提示	条件提示	約束	否定的反応	理解	驚き	情報確認	共感	冗談
JJ	60	0	100	100	0	30	0	0	40	0	0	0	0	0
TT	20	0	80	80	20	20	0	10	30	0	0	0	20	0

注：JJ{詫び}100%(一回の詫び 50%、二回の詫び 50%)
TT{詫び}80%(一回の詫び 20%、二回の詫び 60%)
JJ{理由}100%(理由の内容 50%、理由の内容+付加説明 50%)
TT{理由}80%(理由の内容 20%、理由の内容+付加説明 60%)

図 8　場面 6(疎・同等・重)で JJ と TT が用いた意味公式の出現率

全体的な傾向を見ると、親しくない同等からの重い依頼を断る場面において、出現率が 50%以上の項目に焦点を当てると、JJ は出現率の高い順に{詫び}{理由}(それぞれ 100%)、{結論}(60%)となっており、TT も{詫び}{理由}(それぞれ 80%)である。JJ と TT ともに{詫び}と{理由}の使用が多い(80-100%)という共通点が見られる。

次に、個々の意味公式について具体的な説明を加える。まず、JJ は{結論}の出現率が二番目に高い意味公式である (60%)。JJ の{結論}の言い方は 3 つのパターンに分類される。

(1)(副詞+)イ・ナ形容詞(+終助詞)

回答例：そうなんか。でもごめん。手伝ってあげたいけど、ちょっと忙しくて無理かな。

回答例：来週俺も中間テストあるから、ちょっと難しい。

(2)動詞の可能形の否定形

回答例：すいません。来週テストがあるので協力できません。別の人に頼んでみてください。

(3)動詞の可能形の否定形(+モダリティ形式)

回答例：ごめん。俺もテストがあって、忙しいから、手伝えないかも。

TT における{結論}の出現率は 20%である。上述してきたように、他の場面においてもモダリティ形式が散見されたが、ここでは可能性を表す表現が和らげのために用いられている。回答は以下の通りである。

回答例：ขอโทษที พอดีเราติดสอบ เราคงจะช่วยไม่ได้อะ

(和訳：ごめんなさい。ちょうどテストがあります。手伝えないでしょう。)

{詫び}については、JJ と TT ともに出現率が 80-100%であり、頻出の意味公式である。JJ は{詫び}100%で、そのうち一回の詫びが 80%、二回の詫びが 20%である。詫びの表現としては「ごめん」「ごめんな」「ごめんね」「本当にごめんね」「ほんまごめん」が使われている。TT は{詫び}80%で、一回の詫びが 60%、二回の詫びが 20%である。詫びの表現としては「ขอโทษที」(khɔ̌ɔthôot thii)「โทษทีหวะ」(thôot thii wa̋)「โทษทีนะ」(thôot thii ná)が使われている。

*ขอโทษที/โทษที(khɔ̌ɔthôot thii /thôot thii 詫びの言葉)、หวะ(wa̋ 同等に使われる文末詞)、นะ(ná 文末詞、日本語の終助詞「ね」に似ている)

また、{理由}の意味公式についても、JJ と TT のいずれも出現率が 80-100%である。JJ は[理由の内容]と[理由の内容+付加説明]それぞれ 50%である。TT は[理由の内容]がわずか 20%、[理由の内容+付加説明]が 60%である。JJ と TT の回答例は以下の通りである。

[理由の内容]

(1) 来週俺も中間テストあるから、ちょっと難しいな。

(2) ごめん、ちょっとその時期忙しいんよな。とりあえず他の人を探してみてくれる？

(3) อื่ม ช่วงนี้ไม่ค่อยว่าง ขอโทษที

(和訳：{否定的反応}(ʔɯ̀ɯm)、最近は時間的に余裕があまりありません。ごめんなさい。)

[理由の内容+付加説明]

(1) ごめんなさい、私、来週中間テストがあるので、少し忙しいんです。

(2) すいません、来週テストの予定がつまっており、忙しいので、少し厳しいです。

(3) โทษทีนะ คืออาทิตย์หน้าเรามีสอบกลางภาคอะ เราขอไปอ่านหนังสือได้ไหม

(和訳：ごめん。実は来週は中間テストがあります。テスト勉強させてください。)

(4) ขอโทษที พอดีจากนี้มีธุระยาวเลยนะ ต้องไปข้างนอกทุกวัน คงช่วยไม่ได้นะ ขอโทษด้วย

(和訳：すみません。これからちょうど予定がつまっています。毎日外出しなければなりません。手伝えないでしょう。すみません。)

また、{積極的代案提示}{約束}{共感}は TT にしか見られなかった。出現率は 10-20%である。回答例は以下の通りである。

TT{積極的代案提示}の回答例：อาทิตย์หน้าเรามีสอบกลางภาคอะ เดี๋ยวเราแนะนำเพื่อนให้นะ

(和訳：来週は中間テストがあります。じゃあ、手伝えそうな友達を紹介しますね。)

TT{約束}の回答例：ช่วงนี้ใกล้สอบอะ ไว้โอกาสหน้ายังไงมีอะไรก็มาถามได้นะ โทษทีนะๆ

(和訳：テストが迫っています。次回、何か質問があれば、聞きに来てください。ごめん。)

TT{共感}の回答例：อยากช่วยมากๆเลย แต่พอดีช่วงนี้ต้องเตรียมมิดเทอมอะ

(和訳：手伝いたい気持ちは山々ですが、中間テストの勉強をしなければなりません。)

最後に、{消極的代案提示}{否定的反応}については、JJ の出現率は 30-40%、TT は 20-30%と、若干異なる。回答例は以下の通りである。

JJ{消極的代案提示}の回答例：すいません。来週テストがあるので協力できません。

別の人に頼んでみてください。

TT{消極的代案提示}の回答例：ช่วงนี้ไม่ว่างเลย ลองให้เพื่อนเธอที่เก่งอังกฤษช่วยนะ

(和訳：最近は時間的に余裕が全然ありません。英語がよくできる友達に頼んでみてください。)

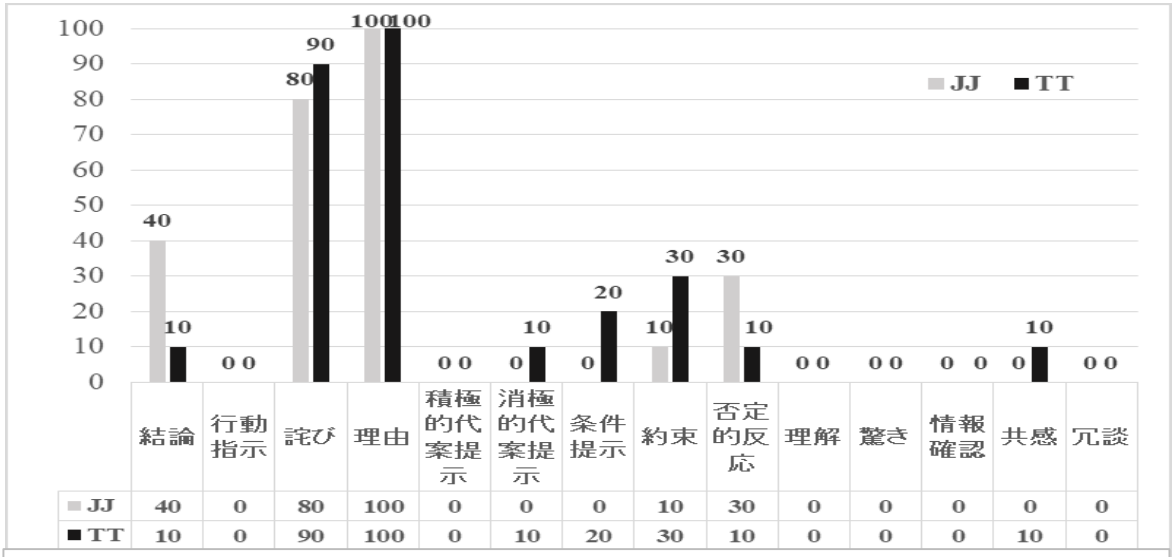
JJ{否定的反応}の回答例：ああ、ごめんなさい。来週中間テストがあるので少し忙しいんです。

TT{否定的反応}の回答例：อื่ม ช่วงนี้ไม่ค่อยว่าง ขอโทษที

(和訳：{否定的反応}(ʔɯ̀ɯm)、最近は時間的に余裕があまりありません。ごめんなさい。)

3.5.8 場面 7： 親しい同等からの軽い依頼

この場面は、親しい友達から数学の宿題のチェックを依頼される場面である。JJ と TT が用いた意味公式の出現率は表 9 に示す。



	結論	行動指示	詫び	理由	積極的代案提示	消極的代案提示	条件提示	約束	否定的反応	理解	驚き	情報確認	共感	冗談
JJ	40	0	80	100	0	0	0	10	30	0	0	0	0	0
TT	10	0	90	100	0	10	20	30	10	0	0	0	10	0

注：JJ{詫び}80% (一回の詫び 60%、二回の詫び 20%)
TT{詫び}90% (一回の詫び 90%、二回の詫び 0%)
JJ{理由}100% (理由の内容 20%、理由の内容+付加説明 80%)
TT{理由}100% (理由の内容 40%、理由の内容+付加説明 60%)

図 9　場面 7(親・同等・軽)で JJ と TT が用いた意味公式の出現率

親しい同等からの軽い依頼を断る場面において、出現率が 50%以上の項目に焦点を当てると、JJ は出現率の高い順に{理由}(100%)、{詫び}(80%)となっており、TT は{理由}(100%)、{詫び}(90%)である。JJ と TT ともに{詫び}と{理由}の出現率が高いという共通点が見られる。

次に、個々の意味公式について具体的な説明を加える。まず、JJ は{結論}の出現率が 40%である。JJ の{結論}の言い方は 2 つのパターンに分類される。

(1)イ・ナ形容詞(+終助詞)

回答例：ごめんやけど、明日発表あるから、無理やわ。

(無理だよ)

(2)(副詞+)動詞の可能形の否定形(+終助詞)

回答例：うーん、プレゼントの準備で全然手放されへんから、

ちょっと見てあげれへんわ。

(うーん、プレゼントの準備で全然手を離せないことができないから、ちょっと見てあげられないよ。)

一方、TT における{結論}の出現率はわずか 10%に過ぎない。他の場面と同様に、語気を和らげるために、動詞の前にモダリティ形式「คง(khoŋ だろう)」を付ける。回答例は以下の通りである。

回答例：พรุ่งนี้ต้องนำเสนองานอะ คงช่วยไม่ได้อะ

(和訳：明日、発表をしなければならない。手伝えないだろう)。

{詫び}については、JJ と TT ともに出現率が高い(80-90%)。JJ は 80%、そのうち一回の詫びが 60%、二回の詫びが 20%である。詫びの表現としては「ごめん」「ごめんな」「ごめんね」「本当にごめんね」「ほんまごめん」が使われている。TT は 90%、一回の詫びしか見られなかった。詫びの表現としては「โทษทีหวะ」(thôot thii wa̋)「 โทษทีนะ」(thôot thii ná)が使われている。

*โทษที(thôot thii 詫びる)、หวะ(wa̋ 同等に使われる文末詞)、นะ(ná 文末詞、日本語の終助詞「ね」に似ている)

次に{理由}については、JJ と TT ともに出現率が 100%であり、[理由の内容+付加説明]を述べる傾向が両者ともに目立つ。JJ は[理由の内容]が 20%、[理由の内容+付加説明]が 80%、TT は[理由の内容]が 40%、[理由の内容+付加説明]が 60%である。JJ と TT の回答例は以下の通りである。

[理由の内容]

(1) ちょっと忙しくて、無理です。

(2) โทษที พรุ่งนี้มีพรีเซนต์งานที่หนักหน่วง ไว้รอบหน้านะ

(和訳：ごめん、明日大変な発表がある。次回機会があれば、手伝うね)

[理由の内容+付加説明]

(1) ごめん！ちょっと今俺もいろいろ立て込んでて見る時間がないかも。

(2) พรุ่งนี้ต้องนำเสนองานอะ ยังไม่เสร็จเลย โทษทีนะ

(和訳：明日は発表をしなければならない。今準備がまだできていないんだ。ごめんね。)

{条件提示}{消極的代案提示}{共感}それぞれの出現率は 20%以下であり、TT にしか見られなかった。そして、{約束}{否定的反応}は出現率が 30%以下である。JJ における出現率は{約束}が 10%、{否定的反応}が 30%である。一方で TT は{約束}が 30%、{否定的反応}が 10%である。このように、この二つの意味公式に関しては JJ と TT の間に大きな差は見られなかった。回答例は以下の通りである。

TT{条件提示}の回答例：

(1) เตรียมนำเสนองานพรุ่งนี้อยู่ว่ะ เดี๋ยวพรุ่งนี้ดูให้มั้ยวะ ตอนเช้าเลยก่อนส่ง

(和訳：明日の発表の準備をしている。朝、宿題を出す前にチェックするね。)

(2) โทษที พรุ่งนี้กูต้องพรีเซนต์งานละ กูยังเตรียมไม่ถึงไหนเลย ลองทำเองก่อน ถ้าไม่ได้จริงๆเขียนโน้ตทิ้งไว้ เดี๋ยวมาดูให้

(和訳：ごめん、明日の発表を準備しなければならない。まだできてないんだ。
とりあえず自分でやってみて。できないことがあれば、メモしておいて。
後で私が手伝う。)

TT{消極的代案提示}{共感}{否定的な反応}の回答例：

เอ่อคือ อยากช่วยอยู่นะ แต่พอดีพรุ่งนี้เรามีพรีเซนต์งาน ตอนเช้าด้วย ต้องเตรียมอะ นายลองไปถาม... ดิ คนนั้นก็เก่ง

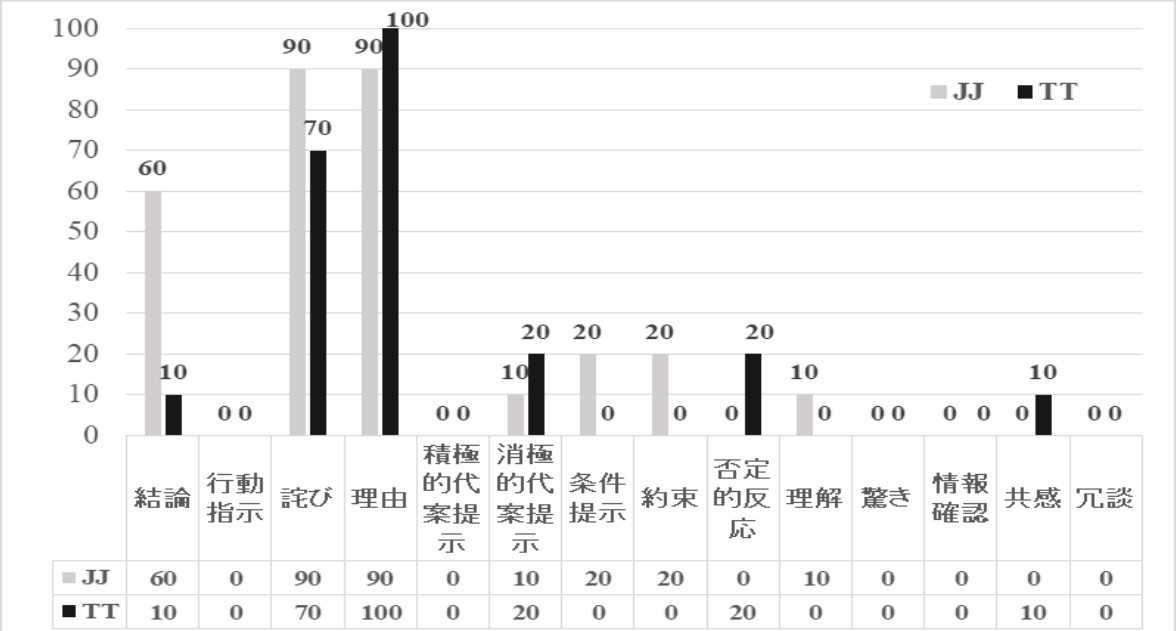
(和訳：{否定的反応}(ʔɔ̀ɔ khɯɯ)、手伝いたい気持ちは山々だけど、ちょうど、明日の朝は発表があって、ちゃんと準備しなければならない。○○さんに聞いてみたらどう？彼は英語がよくできるよ。)

JJ{約束}の回答例：

ごめんね。実は、私も明日発表があって時間があまりないんだよね。本当にごめんね。
次回何かあれば言ってね。

3.5.9 場面 8： 親しくない同等からの軽い依頼

日本語母語話者向けの場面は、親しくない留学生の友達から英語の作文をチェックするように依頼される場面である。 タイ語母語話者向けの場面は数学の宿題をチェックするように依頼される場面である。JJ と TT が用いた意味公式の出現率を図 10 に示す。



	結論	行動指示	詫び	理由	積極的代案提示	消極的代案提示	条件提示	約束	否定的反応	理解	驚き	情報確認	共感	冗談
JJ	60	0	90	90	0	10	20	20	0	10	0	0	0	0
TT	10	0	70	100	0	20	0	0	20	0	0	0	10	0

注：JJ{詫び}90%(一回の詫び 80%、二回の詫び 10%)
TT{詫び}70%(一回の詫び 60%、二回の詫び 10%)
JJ{理由}100% (理由の内容 50%、理由の内容+付加説明 40%)
TT{理由}100% (理由の内容 30%、理由の内容+付加説明 70%)

図 10　場面 8(疎・同等・軽)で JJ と TT が用いた意味公式の出現率

全体的な傾向を見ると、親しくない同等からの軽い依頼を断る場面において、出現率が 50%以上の項目に焦点を当てると、JJ は出現率の高い順に{詫び}{理由}(90%)、{結論}(60%)となっており、TT は{理由}(100%)、{詫び}(70%)である。JJ と TT は、ともに{詫び}と{理由}の出現率が高いという共通点が見られる。一方で、JJ は{結論}の出現率が高い(60%)が、TT は低い(10%)というのが相違点である。

次に、個々の意味公式について具体的な説明を加える。まず、JJ は{結論}の出現率が 60%である。言語形式の違いにより JJ の{結論}の言い方が 3 つのパターンに分類される。

(1)イ・ナ形容詞(+終助詞)

回答例：実は、明日発表があって、忙しいから無理なんだ。違う日ならいけるけど。

(2) 動詞の可能形の否定形

回答例：そうなんか。でもごめん。実は、今俺ちょっと忙しくて手伝えないんだ。

(3)(副詞+)イ・ナ形容詞+モダリティ形式

回答例：ごめんなさい、実は、私、明日発表があって少し厳しそうです。

一方、TT における{結論}の出現率は 10%に過ぎない。語気を和らげるために、動詞の前にモダリティ形式「คง(khoŋ だろう)」を付ける。回答例は以下の通りである。

回答例：เอ่อ ผมก็ไม่ค่อยเข้าใจเหมือนกันนะครับ คงช่วยไม่ได้ ขอโทษทีครับ

(和訳：{否定的反応}(ʔəə)、僕も分かりません。手伝えないでしょう。ごめんなさい。)

次に、{詫び}については、JJ と TT ともに出現率が高い(70-90%)。JJ は 90%で、そのうち一回の詫びが 80%、二回の詫びが 10%である。詫びの表現としては「すみません」「ごめん」「ごめんね」「ほんまごめん」が使われている。TT は 70%で、そのうち一回の詫びが 60%、二回の詫びが 10%である。詫びの表現としては「ขอโทษนะ」(khɔ̌ɔthôot ná)「ขอโทษทีครับ/ค่ะ」(khɔ̌ɔthôot thii khráp/khâ)「โทษทีนะ」(thôot thii ná)が使われている。*ขอโทษ/ขอโทษที(khɔ̌ɔthôot/ khɔ̌ɔthôot thii 詫びる)、นะ(ná 文末詞)、ครับ/ค่ะ(khráp/khâ 文末丁寧詞)

次に、{理由}については、JJ と TT ともに出現率が 90-100%である。JJ は{理由}の出現率が 90%で、そのうち[理由の内容]が 50%、[理由の内容+付加説明]が 40%という内訳になっている。一方、TT における出現率は 100%で、そのうち、[理由の内容]が 30%、[理由の内容+付加説明]が 70%である。JJ と TT の回答例は以下の通りである。

[理由の内容]

(1) ちょっと、今時間ないから、ごめんね。また今度なんかあったら言って。

(2) ごめんなさい、実は、私、明日発表があって少し厳しそうです。

(3) พรุ่งนี้เราติดพรีเซนต์งาน โทษทีนะ

(和訳：明日、発表があります。すみません。)

(4) โทษทีนะ แต่เรามีงานต้องทำเยอะมาก

(和訳：すみません。しなければならないことがたくさんあります。)

[理由の内容+付加説明]

(1) すみません。僕も明日発表があるので、準備しないといけなくて。。

(2) 実は、明日発表があって、忙しいから、無理なんだ。違う日ならいけるけど。どう？

(3) ขอโทษนะ เราไม่ว่างจริง ๆ พรุ่งนี้ต้องมีนำเสนองาน ยังทำไม่เสร็จเลยอะ

(和訳：ごめん、僕は時間が全くありません。明日、発表しなければなりません。
今、準備はまだできていません。)

(4) เอ่อ คือเราไม่ว่างแบบจริงจังเลย พรุ่งนี้มีพรีเซนต์งาน ขอโทษนะ

(和訳：{否定的反応}(ʔəə)、実は時間が全くありません。明日、発表があります。すみません。)

最後に、{消極的代案提示}{約束}{条件提示}{否定的反応}{理解}の各項目については、それぞれの出現率が低い(20%以下)。また、{約束}{条件提示}{理解}は JJ にしか、{否定的反応}は TT にしか見られなかった。回答例は以下の通りである。

JJ{消極的代案提示}の回答例：すみません、明日の準備があって忙しいので、
別の人に頼んでみてください。

TT{消極的代案提示}の回答例：เรามีส่งงานพรุ่งนี้เหมือนกัน ยังไม่เสร็จเลย ลองไปถามคนอื่นดูได้ไหม
(和訳：私も、明日提出のものがあります。まだ、完成していないです。
他の人に聞いてみたらどうですか？).

JJ{約束}の回答例：ごめん！あした発表があるの！また別の時協力するね！

JJ{条件提示提示}の回答例：実は、明日発表があって、忙しいから、無理なんだ。
違う日ならいけるけど、どう？

3.5.10 日本語母語話者とタイ語母語話者の断りの特徴

場面 1(親・目上・重)と場面 2(疎・目上・重)における意味公式の出現率を比較してみると、JJ は親疎関係にかかわらず{結論}{詫び}を多く使用しているが、JJ は親疎関係によって{詫び}{条件提示}の出現率が左右される。{詫び}の出現率は、親しい目上(20%)より親しくない目上(60%)のほうが高い。逆に、{条件提示}の出現率は、親しくない目上(20%)より親しい目上(70%)のほうが高い。

場面 3(親・目上・軽)と場面 4(疎・目上・軽)において、JJ は親疎関係にかかわらず{結論}{詫び}を多く使用しているが、TT は親疎関係によって{詫び}の出現率が左右される。{詫び}の出現率は、親しい目上(40%)より親しくない目上(80%)のほうが高い。そして、JJ は[理由の内容]だけを述べるのに対して、TT は[理由の内容+付加説明]を述べる傾向が見られる。

場面 5(親・同等・重)と場面 6(疎・同等・重) において、JJ は親疎関係にかかわらず{結論}{詫び}を多く使用しているが、TT は親疎関係によって{詫び}{条件提示}の出現率が左右される。すなわち、親しければ親しいほど{詫び}の出現率が低くなるのに対して、{条件提示}の出現率が高くなる。

場面 7(親・同等・軽)と場面 8(疎・同等・軽)において、JJ と TT ともに、親疎関係にかかわらず{詫び}{理由}を多く使用している。そして、両者とも[理由の内容+付加説明]を述べる傾向が見られる。親しい同等・親しくない同等からの軽い依頼に対する断りにおける意味公式の出現率には JJ と TT の間に大きな差が見られなかったことが分かった。

予備調査から明らかになった日本語母語話者とタイ語母語話者の断りの特徴を表 10、11 にまとめる。表中の意味公式は JJ と TT の間に出現率の差が大きい意味公式である。

表 10　JJ の断りにおける意味公式の特徴

JJ 日本語 母語 話者	**{結論}**　親疎関係、上下関係、依頼の負担度にかかわらず、すべての場面において多く用いられる(40%以上)。
	{詫び}　すべての場面において多く用いられる(80%以上)。
	{理由} 目上 ➡ [理由の内容]だけを述べる(70-90%)。 同等 ➡ 親 ➡ 重い依頼 ➡ [理由の内容]だけを述べる(60%)。 軽い依頼 ➡ [理由の内容+付加説明](80%) 疎 ➡ [理由の内容]と[理由の内容+付加説明]の出現率がほぼ同程度(40-50%)
	{条件提示}　すべての場面において、ほとんど用いられない(0-30%)。

表 10 に示すように、JJ は{結論}{詫び}{理由}を多用している。{結論}{詫び}は、すべての場面において多く用いられる。しかし、{理由}は上下関係、親疎関係と依頼の負担度によって、出現率が左右される。目上に対しては、[理由の内容]だけを述べる。しかし、同等の場合は親疎関係と依頼の負担度によって、理由の説明の仕方が異なる。親しい同等ならば、重い依頼の場面では、[理由の内容]、軽い依頼の場面では、[理由の内容+付加説明]を述べる傾向が見られた。親しくない同等ならば、[理由の内容]と[理由の内容+付加説明]のいずれもほぼ同程度の出現率である。最後に、{条件提示}はすべての場面において、ほとんど用いられない。

表 11　TT の断りにおける意味公式の特徴

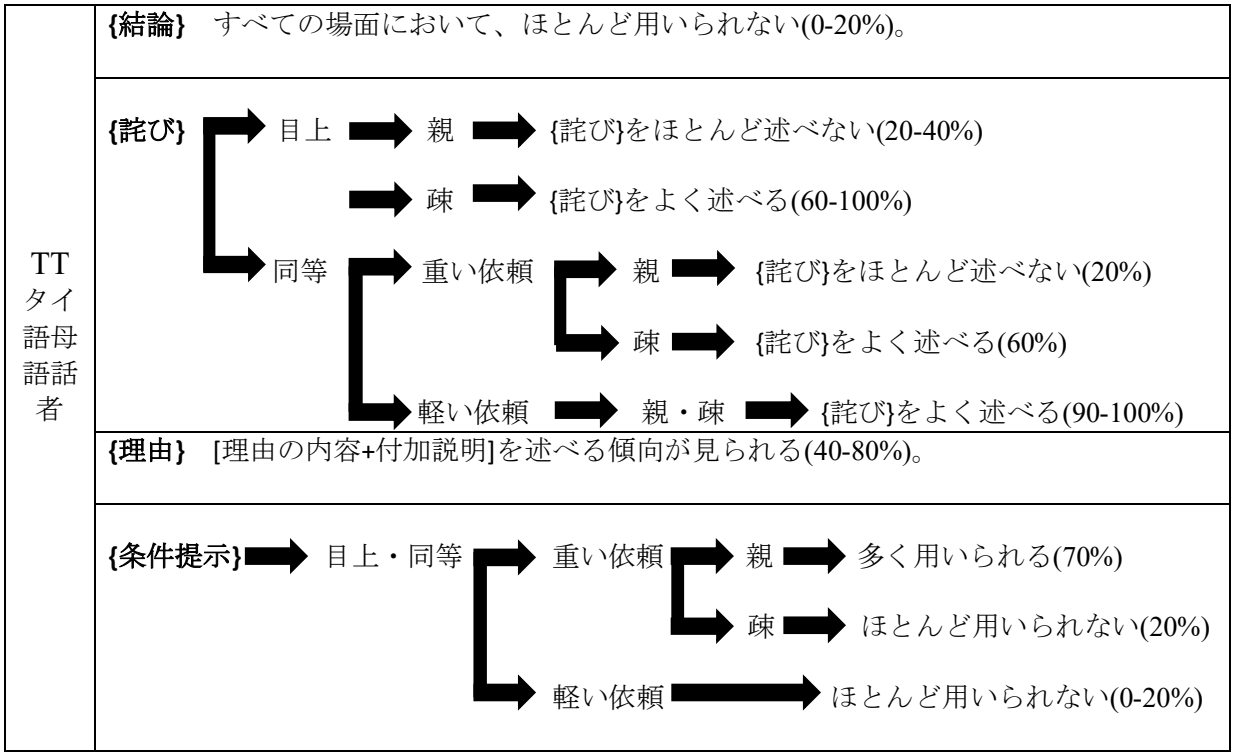


表 11 に示すように、TT は{結論}をほとんど用いない。しかし、{理由}については[理由の内容+付加説明]を述べる特徴が見られる。{詫び}の出現率は上下関係、親疎関係、依頼の負担度によって左右される。親しい目上ならば、{詫び}をほとんど言わないのに対して、親しくない目上ならば、頻繁に用いる。同等の場合は上下関係と依頼の負担度によって出現率が左右される。親しい同等からの重い依頼の場合は、{詫び}をほとんど述べないが、親しい同等からの重い依頼の場合は、{詫び}をよく述べる。しかし、同等からの軽い依頼は親疎関係に関わらず、{詫び}をよく述べる。最後に、{条件提示}は依頼の負担度によって出現率が異なる。親しい人から重い依頼を受けた場合は、{条件提示}をよく使用するが、親しくない人からの重い依頼の場合はほとんど使用しない。一方、軽い依頼の場合は、親疎関係に関わらず、{条件提示}をほとんど使用しない。

調査から明らかになった JJ と TT の相違点を以下の 4 点にまとめる。

(1) JJ はすべての場面において{結論}を述べる傾向が見られるが、TT はほとんど述べない。
(2) JJ はすべての場面において{詫び}の出現率が高いが、TT は{詫び}の出現率が上下関係、親疎関係、依頼の負担度によって左右される。
(3) JJ は上下関係、親疎関係と依頼の負担度によって[理由の内容][理由の内容+付加説明]の使い分けがあるが、TT はすべての場面において、[理由の内容+付加説明]をよく述べる特徴が見られる。
(4) JJ は{条件提示}をほんとんど用いないが、TT は親疎関係と依頼の負担度によって出現率が異なる。

3.5.11 予備調査の問題点

予備調査の場面はタイ・日本の社会に応じて設定したが、いくつかの問題点があった。

一つ目は、DCT に設定された依頼者と依頼の内容が両言語で異なるので比較できない点である。目上からの重い依頼の依頼者は「教員」、軽い依頼の依頼者は「学部のスタッフ」「先輩」である。目上でも、「教員」と「学部のスタッフ」や「先輩」では年齢や相手に対する尊敬の気持ちが違うので、比べるのは適切ではないという問題がある。

二つ目は、依頼者と被依頼者の関係が日本とタイでは異なる。タイ語母語話者向けの DCT の軽い依頼の依頼者は「学部のスタッフ」、日本語母語話者向けの DCT に軽い依頼の依頼者は「先輩」である。「学部のスタッフ」に比べて、「先輩」のほうが被依頼者と同程度の年齢で、より親しみを感じる人もいると考えられる。「学部のスタッフ」は被依頼者との年齢の差が大きく、言い方に十分に気をつけなければならない。すなわち、同様の場面であったとしても、依頼者が異なると結果の比較が困難なのではないかと考えられる。

三つ目は、日本語母語話者向けの場面は「留学生の友達」を親しくない人と設定している。しかし、日本語母語話者の意見によると、親しくない人からの依頼は外国人より同級生のほうが場面を想像しやすく、外国人に対するのと日本人に対するのでは依頼の断り方が違うかもしれないので、外国人を依頼者としないほうがいいという意見があった。これらの問題点を踏まえ、本調査ではより適切な場面を設定し、協力者の人数も増やしてデータ収集を行った。

第四章

本調査の研究方法

4.1 本調査の目的

本調査の目的は日本語母語話者およびタイ語母語話者の依頼に対する断り発話の語用論的特徴を明らかにすることである。異なる文化をもつタイ語母語話者と日本語母語話者による「断り」において、親疎関係、上下関係、負担度などの要因によるそれぞれの社会的・文化的規範の影響が見られるのかという点について、断りの発話の使用傾向を意味公式の出現率や、出現順序のパターンの相違点・共通点の分析を通して明らかにしたいと考える。

4.2 場面設定

本調査では、予備調査と同様に DCT を用いる。予備調査ではタイと日本の社会に応じて場面の設定を変えたが、前章で述べたようにこれにはいくつかの問題点があった。一つ目は、DCT に設定された依頼者と依頼の内容が両言語で異なるので単純比較できない点、二つ目は、設定した依頼者と被依頼者の関係が両言語で異なっていたこと、三つ目は、日本語母語話者向けの場面では「留学生の友達」は場面を想像しにくいという点である。以上の問題点を踏まえ、本調査の場面設定に当たって、予備調査の協力者(日本語母語話者とタイ語母語話者それぞれ 10 名)に、日常生活に起こり得る依頼の場面について意見を聞いた上で、以下のように場面を設定した。

表 12　本調査の場面設定

場面	親疎関係	上下関係	依頼の負担度	相手	依頼内容
1	親	目上	重い	お世話になっている教員	日曜日に、オープンキャンパスの準備を手伝ってほしい
2	疎	目上	重い	あまり親しくない学科の教員 (2〜3 回程度挨拶したことがある)	
3	親	目上	軽い	お世話になっている教員	昼間、教員の部屋へ本を取りに来て、図書館に返却してほしい
4	疎	目上	軽い	あまり親しくない学科の教員 (2〜3 回程度挨拶したことがある)	
5	親	同等	重い	親しい友達	今日、いっしょに 3,4 枚ぐらいの英語の文章をタイ語/日本語に翻訳してほしい
6	疎	同等	重い	親しくない同級生 (2〜3 回程度挨拶の授業で勉強した同じクラスの同級生)	
7	親	同等	軽い	親しい友達	今日、数学の宿題をチェックしてほしい
8	疎	同等	軽い	親しくない同級生 (2〜3 回程度挨拶の授業で勉強した同じクラスの同級生)	

場面設定における修正点は、まず目上の依頼者をすべて「教員」にした。そして、目上の軽い依頼は「飲みものを買うこと」から「本の返却」に変えた。最後に、「留学生の友達」を「同級生」に変えた。以下は日本語母語話者とタイ語母語話者向けの DCT の一部で、依頼の場面は「本の返却」である(付録②本調査の談話完成テスト参照)。

場面 1 限の授業が終わった後、あなたは先生に会いました。先生から、昼休みに先生の部屋へ本を取りに来て、図書館まで返却してくれないかと依頼されました。しかし、あなたは昼休み友達との打ち合わせがあります。午後も用事で外出します。だから、本の返却に行けません。
その時、あなたはどう言いますか。

1.依頼者：いつもお世話になっている先生

先生： あのう、○○さん。ちょっとお願いしたいことがあるんですが、いいですか？
あなた：はい。
先生： 実は今日までに図書館に返さなければならない本があります。5-6 冊ぐらいなんですが。
あなた：はい。
先生： 午後は用事があって、返しに行けないので、時間があれば、昼休みに私の部屋へ本を取りに来て、図書館に返しに行ってくれませんか？
あなた：

2.依頼者：挨拶を 2-3 回ぐらいしたことがある親しくない学科の先生

あなた：

สถานการณ์ : ช่วงเช้าหลังเลิกเรียน คุณพบอาจารย์โดยบังเอิญ อาจารย์ขอร้องให้คุณแวะมาเอาหนังสือที่ห้องอาจารย์ในช่วงพักกลางวัน แล้วเอาไปคืนห้องสมุด แต่ช่วงพักกลางวันคุณมีนัดคุยงานกับเพื่อน และช่วงบ่ายคุณมีธุระต้องออกไปข้างนอก
ในสถานการณ์นี้คุณจะตอบปฏิเสธว่าอย่างไร

1. คู่สนทนา: อาจารย์ที่ปรึกษา(สนิทสนม)

อาจารย์: เอ่อ ครูมีเรื่องรบกวนนิดหน่อย ตอนนี้สะดวกคุยมั้ย

คุณ: ครับ/ค่ะ

อาจารย์: พอดีครูมีหนังสือประมาณ 5-6 เล่ม ต้องคืนห้องสมุดภายในวันนี้

คุณ: ครับ/ค่ะ

อาจารย์: ช่วงบ่ายครูมีธุระด่วน ไม่มีเวลา ช่วงพักกลางวัน รบกวนแวะมาเอาหนังสือแล้วคืนห้องสมุดให้ครูหน่อยได้มั้ย

คุณ:

2. คู่สนทนา: อาจารย์ที่สาขา เคยเห็นหน้า 2-3 ครั้ง ไม่เคยเรียนด้วย (ไม่สนิทสนม)

คุณ:

4.3 データ収集地と期間

本調査は、タイ語母語話者は2017年2月上旬、日本語母語話者は2017年2月上旬から3月中旬にかけて実施した。

タイ語母語話者と日本語母語話者の語用論的特徴を比較するために、できるだけ同じ条件、同じ環境を設定することが必要であると考え、協力者の年齢を18歳から23歳の大学生に限定した。大学生を選んだ理由は、大学生のほうが社会人より年齢・社会的環境などの要因をコントロールしやすいからである。大学生は年齢の幅も限られており、上下関係なども比較的単純である。一方、社会人は、年齢や立場にバリエーションがあり、職位を含めた職場での人間関係も複雑である。これらの要因が断り方に影響を与える可能性があるため調査の実施が難しいと判断した。

日本語母語話者は全員大阪大学の学生である。タイ語を外国語として勉強している学生はいない。協力者の性別が断り方に影響を与える可能性があるかもしれないと考え、男女比を1：1にした。

タイ語母語話者はチェンマイ大学とラジャマンガラ・ラタナコーシン技術大学の学生である。また、いずれの学生も日本語を専攻していない。こちらも男女比は1：1である。多くの協力者の出身地はタイ北部と中部であるが、予備調査ならびに本調査の結果を見ると、タイ語母語話者は全員標準語で断り文を書いたので、方言の使用は見られなかった。

また、学部によるデータの偏りがないように、様々な学部の学生からデータを収集した。本調査協力者の人数は以下の通りである。

表13　本調査協力者の人数

協力者	データ収集地	人数
日本語母語話者	大阪大学	100名(男50名、女50名)
タイ語母語話者	チェンマイ大学　(チェンマイ) ラジャマンガラ・ラタナコーシン技術大学　(バンコク)	50名(男25名、女25名) 50名(男25名、女25名)

日本語母語話者の調査協力者の詳細は以下の通りである。

表 14　調査協力者:日本語母語話者の詳細

番号	性別	年齢	学部	出身地
1	男	19	理学部	愛知
2	男	20	工学部	福岡
3	男	20	人間科学部	和歌山
4	男	19	人間科学部	愛知
5	男	22	経済学部	福井
6	男	19	法学部	大分
7	男	20	外国語学部	石川
8	男	21	工学部	三重
9	男	19	人間科学部	大阪
10	男	21	工学部	広島
11	男	20	理学部	京都
12	男	19	理学部	大阪
13	男	19	法学部	福井
14	男	19	工学部	広島
15	男	18	医学部	熊本
16	男	19	経済学部	長崎
17	男	19	工学部	大阪
18	男	20	経済学部	福岡
19	男	19	理学部	広島
20	男	20	理学部	大阪
21	男	21	理学部	東京
22	男	20	工学部	千葉
23	男	19	人間科学部	福井
24	男	21	工学部	兵庫
25	男	19	工学部	愛知
26	男	21	法学部	奈良
27	男	19	法学部	和歌山
28	男	18	工学部	兵庫
29	男	18	理学部	石川
30	男	21	経済学部	岐阜
31	男	20	理学部	宮崎
32	男	19	人間科学部	福島
33	男	20	工学部	広島
34	男	20	基礎工学部	滋賀
35	男	18	工学部	佐賀
36	男	20	人間科学部	石川
37	男	20	工学部	青森
38	男	20	外国語学部	大阪
39	男	20	経済学部	岐阜
40	男	20	理学部	兵庫
41	男	19	工学部	大分
42	男	21	理学部	大阪

43	男	20	外国語学部	兵庫
44	男	20	法学部	鳥取
45	男	19	法学部	大阪
46	男	19	工学部	宮城
47	男	19	人間科学部	大阪
48	男	21	工学部	富山
49	男	19	工学部	大阪
50	男	20	経済学部	奈良
51	女	18	人間科学部	広島
52	女	20	経済学部	福岡
53	女	18	人間科学部	大阪
54	女	19	医学部	兵庫
55	女	19	経済学部	滋賀
56	女	20	基礎工学部	沖縄
57	女	19	人間科学部	岐阜
58	女	21	法学部	大阪
59	女	21	法学部	京都
60	女	19	工学部	東京
61	女	19	工学部	広島
62	女	20	法学部	滋賀
63	女	19	法学部	福井
64	女	19	医学部	山口
65	女	20	外国語学部	愛媛
66	女	19	医学部	鹿児島
67	女	19	人間科学部	広島
68	女	18	外国語学部	岡山
69	女	19	外国語学部	大阪
70	女	20	基礎工学部	島根
71	女	20	工学部	香川
72	女	20	外国語学部	愛媛
73	女	18	外国語学部	大分
74	女	19	工学部	京都
75	女	19	経済学部	岡山
76	女	19	外国語学部	大阪
77	女	20	外国語学部	大阪
78	女	20	外国語学部	島根
79	女	19	人間学部	宮崎
80	女	19	外国語学部	広島
81	女	20	工学部	山口
82	女	19	人間科学部	鳥取
83	女	21	外国語学部	大阪
84	女	20	外国語学部	宮崎
85	女	21	人間科学部	和歌山
86	女	19	医学部	大阪
87	女	19	外国語学部	兵庫

88	女	20	外国語学部	岐阜
89	女	21	法学部	広島
90	女	19	法学部	三重
91	女	21	人間科学部	熊本
92	女	19	人間科学部	兵庫
93	女	21	工学部	大阪
94	女	19	外国語学部	大阪
95	女	21	人間科学部	奈良
96	女	20	工学部	三重
97	女	21	理学部	福井
98	女	20	基礎工学部	大阪
99	女	19	工学部	大分
100	女	20	理学部	福岡

表 15　調査協力者:日本語母語話者の詳細まとめ

学部	**性別**		**合計**	**出身**	**人数**	**年齢**	**人数**
	男	女					
人間科学部	7	10	17	東北地方	2	18 歳	8
外国語学部	13	4	17	関東地方	3	19 歳	40
法学部	6	6	12	中部地方	17	20 歳	33
経済学部	6	3	9	近畿地方	39	21 歳	19
理学部	10	2	12	中国地方	19		
医学部	1	4	5	四国地方	3		
工学部	16	8	24	九州地方	16		
基礎工学部	1	3	4	沖縄	1		
合計	**50**	**50**	**100**		**100**		**100**

表 15 に示すように、工学部の学生数が最も多く、次に外国語学部と人間科学部が多い。性別では男性が一番多いのは工学部、女性が一番多いのは人間科学部だった。出身に関しては、最も多いのは近畿地方である。年齢は 19 歳の学生数が最も多い。また、日本語母語話者の調査協力者の平均年齢は 19.6 歳である。

なお、近畿地方(大阪を中心に)の調査協力者が多いため、関西弁で回答を書く可能性がある。なお、関西弁の文法説明については、岡本・氏原(2006)の『聞いておぼえる関西(大阪)弁入門』を参考にしている。

続いて、タイ語母語話者の協力者の詳細である。

表 16　調査協力者:タイ語母語話者の詳細

番号	性別	年齢	大学	学部	出身地
1	男	21	チェンマイ	人間学部	北部
2	男	21	チェンマイ	人間学部	北部
3	男	21	チェンマイ	教育学部	北部
4	男	20	チェンマイ	教育学部	北部
5	男	20	チェンマイ	芸術学部	中部
6	男	19	チェンマイ	芸術学部	北部
7	男	20	チェンマイ	社会学部	南部
8	男	19	チェンマイ	社会学部	北部
9	男	19	チェンマイ	理学部	東北部
10	男	20	チェンマイ	理学部	北部
11	男	20	チェンマイ	工学部	北部
12	男	20	チェンマイ	工学部	東北部
13	男	18	チェンマイ	工学部	北部
14	男	19	チェンマイ	農学部	北部
15	男	20	チェンマイ	農学部	北部
16	男	18	チェンマイ	農学部	南部
17	男	19	チェンマイ	経営学部	北部
18	男	20	チェンマイ	経営学部	東北部
19	男	18	チェンマイ	経営学部	北部
20	男	19	チェンマイ	経済学部	東北部
21	男	20	チェンマイ	経済学部	北部
22	男	18	チェンマイ	経済学部	東北部
23	男	19	チェンマイ	政治学部	北部
24	男	21	チェンマイ	政治学部	東北部
25	男	20	チェンマイ	政治学部	北部
26	男	18	ラジャマンガラ	人間学部	中部
27	男	19	ラジャマンガラ	人間学部	中部
28	男	20	ラジャマンガラ	人間学部	北部
29	男	21	ラジャマンガラ	人間学部	中部
30	男	20	ラジャマンガラ	経営学部	中部
31	男	18	ラジャマンガラ	経営学部	中部
32	男	19	ラジャマンガラ	経営学部	北部
33	男	20	ラジャマンガラ	経営学部	南部
34	男	18	ラジャマンガラ	工学部	北部
35	男	19	ラジャマンガラ	工学部	中部
36	男	18	ラジャマンガラ	工学部	南部
37	男	19	ラジャマンガラ	工学部	中部
38	男	18	ラジャマンガラ	工学部	北部
39	男	18	ラジャマンガラ	工学部	中部
40	男	22	ラジャマンガラ	建築学部	中部
41	男	21	ラジャマンガラ	建築学部	南部

42	男	22	ラジャマンガラ	建築学部	中部
43	男	20	ラジャマンガラ	建築学部	南部
44	男	18	ラジャマンガラ	建築学部	中部
45	男	19	ラジャマンガラ	観光学部	東北部
46	男	21	ラジャマンガラ	観光学部	東北部
47	男	20	ラジャマンガラ	観光学部	中部
48	男	19	ラジャマンガラ	観光学部	南部
49	男	20	ラジャマンガラ	観光学部	中部
50	男	19	ラジャマンガラ	観光学部	中部
51	女	18	チェンマイ	人間学部	北部
52	女	19	チェンマイ	教育学部	北部
53	女	20	チェンマイ	教育学部	中部
54	女	19	チェンマイ	芸術学部	北部
55	女	20	チェンマイ	芸術学部	北部
56	女	21	チェンマイ	社会学部	北部
57	女	19	チェンマイ	社会学部	中部
58	女	20	チェンマイ	理学部	南部
59	女	21	チェンマイ	理学部	北部
60	女	22	チェンマイ	理学部	中部
61	女	20	チェンマイ	工学部	北部
62	女	19	チェンマイ	工学部	北部
63	女	20	チェンマイ	工学部	東北部
64	女	21	チェンマイ	農学部	北部
65	女	20	チェンマイ	農学部	中部
66	女	21	チェンマイ	農学部	北部
67	女	19	チェンマイ	経営学部	中部
68	女	20	チェンマイ	経営学部	北部
69	女	21	チェンマイ	経営学部	中部
70	女	22	チェンマイ	経済学部	北部
71	女	19	チェンマイ	経済学部	東北部
72	女	18	チェンマイ	経済学部	北部
73	女	20	チェンマイ	政治学部	東北部
74	女	19	チェンマイ	政治学部	北部
75	女	20	チェンマイ	政治学部	北部
76	女	19	ラジャマンガラ	人間学部	中部
77	女	18	ラジャマンガラ	人間学部	中部
78	女	19	ラジャマンガラ	人間学部	中部
79	女	20	ラジャマンガラ	人間学部	北部
80	女	19	ラジャマンガラ	経営学部	南部
81	女	18	ラジャマンガラ	経営学部	中部
82	女	19	ラジャマンガラ	経営学部	南部
83	女	19	ラジャマンガラ	経営学部	北部
84	女	18	ラジャマンガラ	工学部	中部
85	女	19	ラジャマンガラ	工学部	中部
86	女	20	ラジャマンガラ	工学部	東北部

87	女	21	ラジャマンガラ	建築学部	中部
88	女	22	ラジャマンガラ	建築学部	東北部
89	女	21	ラジャマンガラ	建築学部	中部
90	女	19	ラジャマンガラ	建築学部	南部
91	女	20	ラジャマンガラ	建築学部	中部
92	女	21	ラジャマンガラ	建築学部	北部
93	女	20	ラジャマンガラ	建築学部	南部
94	女	19	ラジャマンガラ	観光学部	中部
95	女	20	ラジャマンガラ	観光学部	東北部
96	女	19	ラジャマンガラ	観光学部	中部
97	女	20	ラジャマンガラ	観光学部	南部
98	女	18	ラジャマンガラ	観光学部	中部
99	女	19	ラジャマンガラ	観光学部	中部
100	女	20	ラジャマンガラ	観光学部	中部

表 17　本調査協力者:タイ語母語話者の詳細まとめ

学部	**性別**		**合計**	**出身**	**人数**	**年齢**	**人数**
	男	女					
チェンマイ大学				北部	38	18 歳	17
人間学部	2	1	3	中部	35	19 歳	31
教育学部	2	2	4	東北部	14	20 歳	32
芸術学部	2	2	4	南部	13	21 歳	15
社会学部	2	2	4			22 歳	5
理学部	2	3	5				
工学部	3	3	6				
農学部	3	3	6				
経営学部	3	3	6				
経済学部	3	3	6				
政治学部	3	3	6				
ラジャマンガラ・ラタナコーシン技術大学	4	4	8				
人間学部	4	4	8				
経営学部	6	3	9				
工学部	5	7	12				
建築学部	6	7	13				
観光学部							
合計	**50**	**50**	**100**		**100**		**100**

表 17 に示すように、北部、中部の協力者が大きな出現率を占めている。年齢で最も多いのは 20 歳で、タイ語母語話者の調査協力者の平均年齢は 19.6 歳である。

TT の各学部における男女比がほぼ 1:1 である一方、JJ における男女比にはそれぞればらつきが見られる。タイの大学では、学生たちは基本的に制服を着用しており、身につけている小物（例えばベルト）などによって、どの学部に所属しているかを判別することが容易である。そのため、調査者が協力者を選別する際に男女比を調整することが可能であった。一方で、日本の大学においては学生の外見から所属学部を判別することが極めて困難であったため、このようなばらつきが存在している。

4.4 本調査の分析方法

本調査の分析手順も、予備調査の分析手順のとおりに行った。まず協力者が書いた断り文を各意味公式に分類する。次に意味公式の種類ごとの頻度を数える。そして、日本語母語話者とタイ語母語話者でそれぞれ使用された意味公式の出現率を計算する。計算方法は「(出現数÷100(人)) x 100＝出現率(%)」である。その後、親疎関係、上下関係、依頼の負担度の 3 つの要因による意味公式の出現率について日本語母語話者とタイ語母語話者を比較する。

予備調査では日本語母語話者とタイ語母語話者の意味公式の出現率を計算したが、本調査では(1)意味公式の出現率に加えて、(2)意味公式の出現順序のパターン、(3)断りの冒頭の意味公式、(4)最後の意味公式、(5) 親疎関係、上下関係、依頼の負担度の 3 つの要因によって意味公式の出現率に有意差があるかどうかを調べる 。断りの冒頭の意味公式と最後の意味公式を調べる理由は、場面ごとにおけるそれぞれの意味公式の出現率のみを参照しても、断りの発話に見られる意味公式の順序が分からないという問題点があるからである。予備調査の結果、日本語母語話者とタイ語母語話者が断りの発話で使用する意味公式の種類や出現率が似通っていたとしても、発話の順序が必ずしも同じであるとは限らないことが明らかになった。例えば、日本語母語話者とタイ語母語話者は、{理由}を説明するという共通点は見られるものの、{理由}の前後に用いられる意味公式の種類が異なることが分かった。ゆえに、意味公式の出現順序が聞き手に与える印象を左右される可能性があるため、意味公式の種類だけでなく、出現順序のパターンを調査することが必要であると考える。断りの発話の意味公式の順序については、これまでの研究では注目されてこなかった。しかし、日本語母語話者とタイ語母語話者が用いた断りの冒頭の意味公式と最後の意味公式の種類の出現率に大きな違いが見られるため、分析する必要性があると考えた。さらに、本研究では、調査結果に基づき日本語の「断り」発話のパターンを提示し、会話の授業などの日本語教育に貢献することを目指す。

4.4.1 意味公式

本調査に用いられた意味公式は、予備調査の意味公式と本調査の結果を参考にして作成したものである。本調査で用いる意味公式を表 18 に示す。

表 18　本調査で用いる意味公式

カテゴリー	意味公式	定義
直接的断り	①結論	依頼に応じるのが不可能であることを示す。
	②行動指示	依頼に応じず、被依頼者が依頼者に自分で行動するように言う。
間接的断り	③詫び	相手の意向に沿えないことへの謝罪の気持ちを表す。
	一回	詫びの言葉を一回述べる。
	二回	詫びの言葉を二回述べる。
	④理由	相手の意向に沿えない理由を説明する。
	理由の内容	理由の内容だけを述べる。
	理由の内容+付加説明	理由の内容に加えて、その理由に関して具体的な説明が付加される。
	⑤積極的代案提示	依頼に応じず、被依頼者が問題解決の方法として自分から積極的に働きかけることを提案する。
	⑥消極的代案提示	依頼に応じず、被依頼者が自分以外の人に依頼するように提案する。
	⑦条件提示	依頼を引き受けることのできる条件を提示する。
	⑧約束	次回協力することを述べる。
付加表現	⑨否定的反応	依頼に返答する前に、断りの発話を予想させるような反応をする。
	間投詞	間投詞で否定的な反応をする。
	呼びかけ	呼びかけの間投詞または呼称詞で否定的な反応をする。
	⑩理解	相手の話を理解したことを示す。
	⑪驚き	驚きの感情を表す。
	⑫情報確認	相手が言ったことを確認する。
	⑬共感	相手の意向に添いたい心情を表明する。
	⑭冗談	相手をからかう。
	⑮励まし	相手を励ます。
	⑯非難	相手を非難する。

以下、各意味公式について例を挙げて説明する。回答例は日本語とタイ語の両方で同じ意味の回答があったものを併記したものである。

①{結論}：依頼に応じるのが不可能であることを示す。

日本語の例：無理です/　無理やわ/　行けないです/　手伝えないわ/　力になれません
行けないと思います/　行けない可能性があります/　行けそうにないです
その日は厳しいですね/　厳しいかなあ/　きついなあ/

*言いさし文「今日はちょっと…」「今回はちょっと…」も、{結論}に含まれる。なぜなら、「ちょっと…」の後の構文を復元するとすれば、「行けません」「無理です」などの形になると考えられる。述語まで言わなくても、言いさし文を発言すると、相手が依頼に応じられないという発話の意図が伝わるからである。

タイ語の例：ไปไม่ได้ครับ/ค่ะ(行けません) / ช่วยไม่ได้อะ(手伝えません)
คิดว่าคงไปไม่ได้ครับ/ค่ะ(行けないだろうと思います)
อาจจะไปไม่ได้ครับ/ค่ะ(行けないかもしれません)
ไม่สะดวกครับ/ค่ะ(都合が悪い)

②{行動指示}：依頼に応じず、被依頼者が依頼者に自分で行動するように言う。

日本語の例：自分で頑張ってね/　自分でやってくれ/　自分の力で頑張って！
課題はなるべく自分の力でやらなあかんで。

タイ語の例：ลองทำเองดูนะ (自分でやってみてください)

③{詫び}：相手の意向に沿えないことへの謝罪の気持ちを表す。

3.1 一回：詫びの言葉を一回述べる

日本語の例：すみません、今から授業があるので。

タイ語の例：ขอโทษจริงๆนะคะอาจารย์ พอดีมีนัดกับที่บ้านแล้วค่ะ
(本当に申し訳ないんですが、ちょうど家族と約束があります。)

*「ขอโทษ(khɔ̌ɔthôot)」(詫びの言葉)、「จริงๆ(ciŋ ciŋ)」(本当に(強調詞))」「นะ(ná)」(文末詞)、「ค่ะ(khá)」(女性の文末丁寧詞)、「อาจารย์(ʔaa caan)」(先生(呼称詞))」

なお、女性の文末丁寧詞は คะ/ค่ะ (khá/khâ) の 2 つの音があり、平叙文か疑問文かと、文末詞によって音の変化がある。

タイ語の詫びの構造は{詫びの言葉}+{強調詞}+{文末詞}+{文末丁寧詞}+{呼称詞}である。相手によって、言葉遣いが変わる。また、{詫びの言葉}以外のものは省略されることもある。

{詫びの言葉}は、「ขอโทษ(khɔ̌ɔthôot)」(詫びる)という動詞を基本形として、 上下関係、親疎関係によって様々な派生形が使われる。例えば、「ขอโทษที่(khɔ̌ɔthôot thii) ขอโทษด้วย (khɔ̌ɔthôot

dûai) ต้องขอโทษ(tɔ̂ŋ khɔ̌ɔthôot) ต้องขอโทษด้วย (tɔ̂ŋ khɔ̌ɔthôot dûai) โทษที (thôot thii) โทษ (thôot) ซอรี่ (sɔɔrîi)である。(これについては第七章で詳述する。)

3.2 二回：詫びの言葉を二回述べる。

日本語の例：すみません、ちょっと日曜日は用事があるんで、手伝えそうにないです。

ごめんなさい。

タイ語の例：ขอโทษค่ะ พอดีหนูติดธุระ ไม่ว่างจริงๆค่ะ ขอโทษด้วยนะคะ

(すみません、ちょうど用事があります。時間的に余裕が全くありません。すみません。)

④{理由}：相手の意向に沿えない理由を説明する。

4.1 理由の内容：理由の内容だけを述べる。

日本語の例：すみません、私もテストがあります。だから、手伝うことができません。

タイ語の例：ขอโทษนะ เราต้องเตรียมนำเสนอวันพรุ่งนี้

(ごめん、明日の発表のために、いろいろ準備しなければなりません。)

4.2 理由の内容+付加説明：理由の内容に加えて、その理由に関して具体的な説明が付加される。

日本語の例：ごめんね、中間のテスト勉強あるので、時間無いわ。

タイ語の例：ขอโทษด้วยครับ วันอาทิตย์หน้าผมติดธุระ ไม่มีเวลาครับ

(すみません。日曜日は用事があります。時間的に余裕がありません。)

⑤{積極的代案提示}：依頼に応じず、被依頼者が問題解決の方法として自分から積極的に働きかけることを提案する。

日本語の例：手伝いに行ける人に聞いてみましょうか。

時間がある友達に聞いてみます。

友達に協力をお願いしてみますね。

タイ語の例：เดี๋ยวจะลองถามเพื่อนดูนะครับ/คะ ((私が)友達に聞いてみます。)

เดี๋ยวจะหาคนช่วยนะครับ ((私が)手伝えそうな人を探してみます。)

เดี๋ยวเราแนะนำเพื่อนให้นะ ((私が)友達を紹介しますね。)

⑥{消極的代案提示}：依頼に応じず、被依頼者が自分以外の人に依頼するように提案する。

日本語の例：他の友達に頼んでもらえませんか？

もし良ければ他の暇な方を頼んでいただけませんか？

タイ語の例：ลองถามเพื่อนคนอื่นดูนะครับ/ค่ะ (友達に聞いてみてください。)

(ชื่อ) เขาเก่งภาษาอังกฤษมากเลย คิดว่าน่าจะช่วยเธอได้

(○○さんは英語が完璧なので、手伝ってくれると思います。)

⑦**{条件提示}**：依頼を引き受けることのできる条件を提示する。

日本語の例：別の日にもしできることがあれば、お手伝いいたします。

暇になったら手伝うわ。

チェックならできるけど。

分からないところは聞いてくれたら、できるかぎり協力するから。

タイ語の例：เปลี่ยนเป็นวันอื่นได้มั้ยครับ

(他の日に手伝わせてもらってももいいですか)

ถ้าว่างจะมาช่วยนะครับ

(もし時間的に余裕があれば、手伝いに来ます)

ลองทำเองก่อน แล้วกูเดี๋ยวเช็คให้

(先に自分でやってみて、後で俺がチェックするから)

⑧**{約束}**：次回協力することを述べる。

日本語の例：また次の機会があれば、いつでも手伝います。

タイ語の例：ไว้ครั้งหน้าละกันนะ

(次回機会があれば、手伝うよ)

⑨**{否定的反応}**：依頼に返答する前に、断りの発話を予想させるような反応をする。

9.1　間投詞：間投詞で否定的な反応をする。

日本語の例：ああ/あのう/いや/うーん/うわー/えー/えっと/ちょっと/わー/んー

タイ語の例：เอ่อ(ʔəə) / เอ่อคือ(ʔəə khɯɯ) / อื่ม,อื่ม(ʔɯ̀ɯm) / เอิ่ม(ʔəəm) / อ่า (ʔà)

9.2　呼びかけ：呼びかけの間投詞または呼称詞で否定的な反応をする。

*本調査では、タイ語母語話者にしか見られなかったものである。

9.2.1 呼びかけの間投詞の例：เฮ้ย/เห้ย (hə́əi)

เฮ้ย(hə́əi)は、人が来るように呼びかける時、けんかを売る時、何かを断る時など様々な場面に使われる。人が来るように呼びかける時、けんかを売る時には高くて短い声で相手を呼ぶ。一方で、何かを断る時には、甘えるような声で相手を呼ぶ。同等に対して使うことが多い。

例：เฮ้ย โทษทีหวะ อาทิตย์หน้ากูมีสอบกลางภาคพอดี

(和訳：[呼びかけの間投詞](hə́əi)、ごめん。俺も来週に試験があるんだ。)

9.2.2 呼称詞の例：อาจารย์ (ʔaa caan) [先生] 、มึง/แก/เธอ (mɯŋ/ kɛɛ/ thəə) [二人称代名詞]

อีสัตว์ (ʔii sàt) [畜生：女性同士が使う親しみを込める蔑称語] など

タイ語の呼称詞は、相手の職業や、二人称代名詞や、蔑称語などがある。発話時に、相手の社会的地位、職業などの上下関係や、親疎関係によって、言葉を使分ける。断りの際、低くて長い声を伸ばし、甘えるような声で相手を呼ぶ。「相手の気持ちが把握でき、依頼に応じられないことに対する残念な気持ちを表すこと」を含め、「これから断りを予想させる」機能を果たしている。(呼びかけについては第七章で詳述する。)

例：มึง กูไม่ว่าง งั้นแปลคริ่งหน้าละกันนะ

(和訳：[呼びかけ](mɯŋ)、時間的に余裕がないよ。じゃあ、1 ページの半分翻訳してあげるね。)

なお、断りの際に、呼びかけの間投詞に呼称詞が後続する場合もある。

例：เฮ้ยมึง พอดีไม่ว่างอะ ถามคนอื่นก่อนได้ไหมอะ

(和訳：[呼びかけの間投詞+呼称詞](hɤ́ɔi mɯŋ)、ちょうど時間的に余裕がない。他の人に聞いてくれる？)

⑩**{理解}**：相手の話を理解したことを示す。

日本語の例：そうですか/　そうですね。

タイ語の例： อ๋อ(ʔɔ̌ɔ) / เหรอ(rə̌ə) / หรอ(rɔ̌ɔ) / งั้นเหรอ(ŋán rə̌ə)

⑪**{驚き}**：驚きの感情を表す。

日本語の例：は？/　えっ？/　本当？/まじか？/ ほんまに(関西弁)

タイ語の例：หา(hăa) / โห(hŏo) / เอ๊ะ(ʔé) / เอ๋(ʔĕe) / จริงอะ(ciŋ ʔa) / จริงดิ (ciŋ dì)

*場合によっては、驚きの間投詞に呼称詞が後続する場合もある。

例(1)：โหพี่(hŏo phîi)

โห(hŏo)は、驚きの間投詞である。 พี่(phîi)は、お兄さん、お姉さん、先輩といった意味を表す呼称詞である。

例(2)：หาแก(hăa kɛɛ)

หา(hăa)は、驚きの間投詞である。 แก(kɛɛ)は、友人同士また親しくない同級生に対して使われる呼称詞である。

⑫**{情報確認}**：相手の発話内容を確認する。

日本語の例：日曜日ですか？

タイ語の例：วันอาทิตย์เหรอครับ/คะ

(日曜日ですか？)

⑬**{共感}**：相手の意向に添いたい心情を表明する。

日本語の例：手伝いたい気持ちは山々ですが/　本当に手伝いたいですけど

タイ語の例：อยากช่วยมากๆเลย แต่..

(本当に手伝いたいんですけど…)

⑭**{冗談}**：相手をからかう。

*本調査では、タイ語母語話者にしか見られなかったため、それに対応する日本語訳を括弧で付している。

タイ語の例：เรารู้จักกันตอนไหน

(知り合いだったっけ？)

ถ้ามึงทำเสร็จแล้ว เอาให้กูลอกด้วย

(宿題ができたら、俺に見せてね。コピーするから。)

พากูไปเลี้ยงข้าวด้วย

(俺にご飯をおごってね。)

⑮**{励まし}：**相手を励ます。

*本調査では、日本語母語話者にしか見られなかった意味公式である。

日本語の例：お互いに頑張ろう/　一緒に頑張りましょう

⑯**{非難}：**相手を非難する。

日本語の例：3,4 枚は人に頼む量じゃないよ！

分量的にも人に頼める量じゃないやろ。それ時給発生するよ。

タイ語の例：กูไม่ได้ว่างตลอดเวลา

(俺だっていつも暇な時間があるわけじゃないよ。)

3,4หน้าเยอะไปนะ

(3,4 枚は多すぎるんよね。)

คิดว่ากูว่างมากใช่ปะ

(いつも暇があると思う？)

次に、分析手順を詳しく説明する。

4.4.2 分析手順

(1)意味公式の出現率　まず DCT における断り文を、意味公式ごとに分類し、次に、それぞれの意味公式を使用した出現数を数える。ある意味公式を使用した場合には 1、使用しなかった場合には 0 とカウントした。その後、それぞれの意味公式を使用した出現数を百分率で換算して出現率とした。出現数が 100 名であるため、出現数＝百分率と考える。なお、本研究は紙面調査であるため、意味公式を分析する際、発話者の意図が判断できない場合は、回答者に発話の意図を確認する。

例①：すみません。この後約束があるので、行けないです。

{詫び}　{理由}　{結論}

[理由の内容]

{詫び}1、{理由}1、{結論}1 と数える。それぞれの出現率は 1%となる。

例②：うーん、明日プレゼンの準備があるから、時間ないんだ。無理やな。また今度。

{否定的反応}　{理由}　{結論}　{約束}

[間投詞]　[理由の内容+付加説明]

{否定的反応}1、{理由}1、{結論}1、{約束}と数える。それぞれの出現率は 1%となる。

例③：เฮ้ยมึง　พอดีไม่ว่างอะ　ถามคนอื่นก่อนได้ไหมอะ

{否定的反応}　{理由}　{消極的代案提示}

(間投詞+呼びかけ)　[理由の内容]

(和訳：呼びかけの間投詞 เฮ้ย(hɔ̀ɔi)、呼称詞 มึง(mɯŋ)、ちょうど時間的に余裕がないよ。他の人に聞いてくれる？)

{否定的反応}1、{理由}1、{消極的代案提示}1 と数える。

場面 1-8 の意味公式の出現率を計算した後、場面ごとに日本語母語話者とタイ語母語話者が用いる意味公式の出現率に有意差があるかどうかカイ二乗検定を行う。有意差が見られた場合は、どの意味公式の出現率に有意差が見られたかを検証するため、さらに残差分析を行う。

(2)意味公式の出現順序のパターン　それぞれの意味公式の出現率を計算した後、意味公式がどのように構成されるか、組み合わせのパターンを考察する。各場面における意味公式の出現順序のパターンを見ると、ほぼ全てのパターンに{理由}が含まれることが分かった。{理由}の出現位置を基準として、意味公式の出現順序のパターンを分類すると、以下の 5 種類となる。
(1){理由}が中間にあるパターン(2){理由}が冒頭の意味公式であるパターン (3){理由} が最後の意味公式であるパターン(4){理由}なしのパターン (5)意味公式が一つしかないパターンに分類される。

全体的な傾向を見ると、5 種類の意味公式の出現順序のパターンのうち、{理由}が中間にあるパターンはバリエーションが一番豊富である。{理由}の前後にいくつかの意味公式が用いられているため、様々な組み合わせが存在する。これらの多数のパターンの共通点を絞り込むために、意味公式の出現順序のパターンを前半部と後半部に分け、分析する。前半部は冒頭の意味公式から{理由}までの部分を指し、後半部は{理由}に後続する意味公式である。…は意味公式の前後に他の意味公式が連続することを表す。前半部と後半部の分析は、{理由}が中間にあるパターンのみである。

{理由}が中間にあるパターン

{否定的反応}+{理由}+{結論}

例①：うーん、来週テスト勉強しないから、難しいかな。

{否定的反応}　{理由}[理由の内容]　　{結論}

前半部　　**後半部**

{否定的反応}+{理由}...　　...{理由}+{結論}

{否定的反応}+{理由}+{条件提示}

例②：เอ่อ กูมีสอบอาทิตย์หน้า งั้นขอแปลหน้าเดียวได้ปะ

(和訳：{否定的反応}(ʔəə)、来週に試験がある。1 ページだけ翻訳していい？

{否定的反応}[間投詞]　{理由}[理由の内容]　　{条件提示}

前半部　　**後半部**

{否定的反応}+{理由}...　　...{理由}+{条件提示}

{理由}が冒頭の意味公式であるパターン

{理由}+{詫び}

例③：試験勉強で余裕がないので、すみません、

{理由}[理由の内容+付加説明]　　{詫び}

{理由}+{結論}

例④：วันอาทิตย์นี้มีธุระค่ะ คงมาช่วยไม่ได้ค่ะ

(和訳：日曜日には用事があります。手伝いに行けないでしょう。)

{理由}[理由の内容+付加説明]　　{結論}

{理由}が最後の意味公式であるパターン

{詫び}+{結論}+{理由}

例⑤：すいません、協力できないんです。用事があるので。
{詫び} {結論} {理由}[理由の内容]

{理解}+{条件提示}+{理由}

例⑥：งั้นหรอ ขอเป็นพรุ่งนี้ช่วงเช้าได้มั้ย พอดีเรามีนำเสนองาน
(和訳：{理解}(ŋán rɤ̌ə)。明日、チェックしてもいい？ ちょうど発表がある。)
{理解} {条件提示} {理由}[理由の内容]

{理由}なしのパターン

{驚き}+{非難}

例⑦：へえ、俺だっていつも暇な時間があるわけじゃないよ。
{驚き} {非難}

{否定的反応}+{非難}+{行動指示}

例⑧：เอ่อ มีงานตอนที่กูไม่ว่างตลอด มึงก็ทำเองดิ
(和訳：{否定的反応}(ʔɤ̀ə)、忙しい時に、いつも頼みにくるよね。自分でやれ！)
{否定的反応}[間投詞] {非難} {行動指示}

意味公式が一つしかないパターン

{理由}

例⑨：実は中間テストがあるから、忙しいんだよね。
{理由}[理由の内容+付加説明]

{条件提示}

例⑩：นายลองทำเองดูก่อน ถ้าถูกผิดเดี๋ยวเราบอก
(和訳：とりあえず、自分でやってみて、後で正しいかどうか私が教える。)
{条件提示}

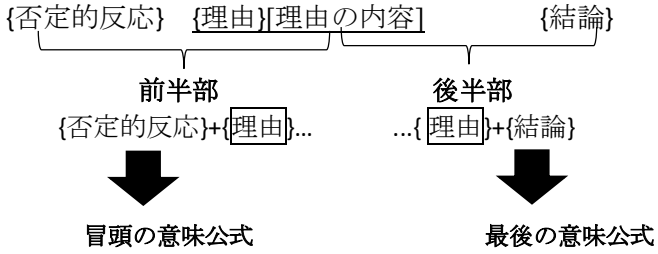
(3)冒頭の意味公式、(4)最後の意味公式

意味公式の出現順序のパターンを分類した後、次に冒頭の意味公式と最後の意味公式を考察する。「冒頭の意味公式」は、断りの冒頭の意味公式である。「最後の意味公式」は、発話を終了させる意味公式である。

{理由}が中間にあるパターン

{否定的反応}+{理由}+{結論}

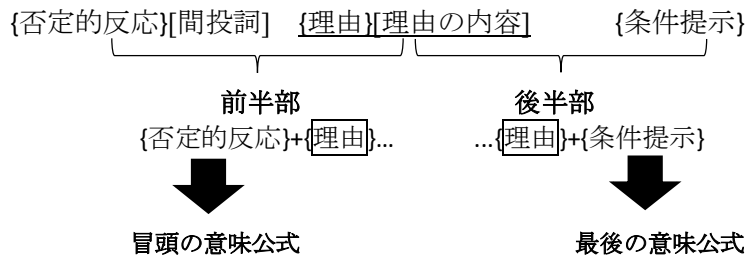
例①：うーん、来週テスト勉強しないから、難しいかな。



{否定的反応}+{理由}+{条件提示}

例②：เอ่อ กูมีสอบอาทิตย์หน้า งั้นขอแปลหน้าเดียวได้ปะ

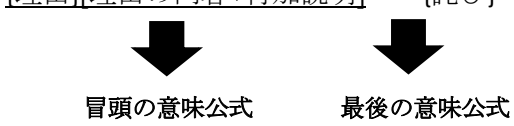
(和訳：{否定的反応}(ʔəə)、来週に試験がある。1 ページだけ翻訳していい？



{理由}が冒頭の意味公式であるパターン

{理由}+{詫び}

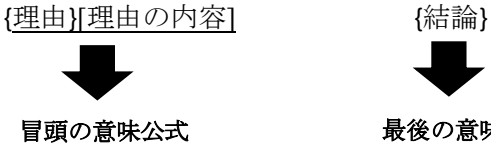
例③：試験勉強で余裕がないので、すみません、



{理由}+{結論}

例④：วันอาทิตย์นี้มีธุระค่ะ คงมาช่วยไม่ได้ค่ะ

(和訳：日曜日には用事があります。手伝いに行けないでしょう。)



{理由}が最後の意味公式であるパターン

{詫び}+{結論}+{理由}

例⑤：すいません、協力できないんです。用事があるので。

{詫び}　{結論}　{理由}[理由の内容]



冒頭の意味公式



最後の意味公式

{理解}+{条件提示}+{理由}

例⑥：งั้นหรอ　ขอเป็นพรุ่งนี้ช่วงเช้าได้มั้ย　พอดีเรามีนำเสนองาน

(和訳：{理解}(ŋán rɔ̌ɔ)、明日、チェックしてもいい？ちょうど発表がある。)

{理解}　{条件提示}　{理由}[理由の内容]



冒頭の意味公式



最後の意味公式

{理由}なしのパターン

{驚き}+{非難}

例⑦：へえ、俺はいつも暇な時間があるんじゃないよ。

{驚き}　{非難}



冒頭の意味公式



最後の意味公式

{否定的反応}+{非難}+{行動指示}

例⑧：เอ่อ มีงานตอนที่กูไม่ว่างตลอด มึงก็ทำเองดิ

(和訳：{否定的反応}(ʔɔ̀ɔ)、忙しい時に、いつも頼みにくるよね。自分でやれ！)

{否定的反応}[間投詞]　{非難}　{行動指示}



冒頭の意味公式



最後の意味公式

意味公式が一つしかないパターン

{理由}

例⑨：実は中間テストがあるから、忙しいんだよね。

{理由}[理由の内容+付加説明]



冒頭の意味公式と最後の意味公式

{条件提示}

例⑩：นายลองทำเองดูก่อน ถ้าถูกผิดเดี๋ยวเราบอก

(和訳：とりあえず、自分でやってみて、正しいかどうか私が教える。)

{条件提示}



冒頭の意味公式と最後の意味公式

(5) 親疎関係、上下関係、依頼の負担度の 3 つの要因による分析　最後に、親疎関係、上下関係、依頼の負担度によって日本語母語話者とタイ語母語話者が用いる意味公式の出現率に有意差があるかどうかカイ二乗検定を行う。有意差が見られた場合は、どの意味公式の出現率に有意差が見られるかを検証するために、さらに残差分析を行う。

親疎関係による分析

組	日本語母語話者		タイ語母語話者	
①	場面 1 (**親**・目上・重)	場面 2 (**疎**・目上・重)	場面 1 (**親**・目上・重)	場面 2 (**疎**・目上・重)
②	場面 3 (**親**・目上・軽)	場面 4 (**疎**・目上・軽)	場面 3 (**親**・目上・軽)	場面 4 (**疎**・目上・軽)
③	場面 5 (**親**・同等・重)	場面 6 (**疎**・同等・重)	場面 5 (**親**・同等・重)	場面 6 (**疎**・同等・重)
④	場面 7 (**親**・同等・軽)	場面 8 (**疎**・同等・軽)	場面 7 (**親**・同等・軽)	場面 8 (**疎**・同等・軽)

上下関係による分析

組	日本語母語話者		タイ語母語話者	
①	場面 1 (親・**目上**・重)	場面 5 (親・**同等**・重)	場面 1 (親・**目上**・重)	場面 5 (親・**同等**・重)
②	場面 2 (疎・**目上**・重)	場面 6 (疎・**同等**・重)	場面 2 (疎・**目上**・重)	場面 6 (疎・**同等**・重)
③	場面 3 (親・**目上**・軽)	場面 7 (親・**同等**・軽)	場面 3 (親・**目上**・軽)	場面 7 (親・**同等**・軽)
④	場面 4 (疎・**目上**・軽)	場面 8 (疎・**同等**・軽)	場面 4 (疎・**目上**・軽)	場面 8 (疎・**同等**・軽)

依頼の負担度による分析

組	日本語母語話者		タイ語母語話者	
①	場面 1 (親・目上・**重**)	場面 3 (親・目上・**軽**)	場面 1 (親・目上・**重**)	場面 3 (親・目上・**軽**)
②	場面 2 (疎・目上・**重**)	場面 4 (疎・目上・**軽**)	場面 2 (疎・目上・**重**)	場面 4 (疎・目上・**軽**)
③	場面 5 (親・同等・**重**)	場面 7 (親・同等・**軽**)	場面 5 (親・同等・**重**)	場面 7 (親・同等・**軽**)
④	場面 6 (疎・同等・**重**)	場面 8 (疎・同等・**軽**)	場面 6 (疎・同等・**重**)	場面 8 (疎・同等・**軽**)

以下は、親疎関係によって日本語母語話者とタイ語母語話者が用いる意味公式の出現率に有意差が見られるかという点について、カイ二乗検定と残差分析を行った例である。表に書いてある数字は出現数である。(出現数＝百分率)

日本語母語話者	場面 7 (親・同等・軽)	場面 8 (疎・同等・軽)
結論	49	51
行動指示	0	3
詫び	87	92
理由の内容	58	56
理由の内容+付加説明	40	42
積極的代案提示	0	1
消極的代案提示	11	14
条件提示	2	1
約束	4	9
否定的反応	8	13
理解	0	0
驚き	1	0
情報確認	1	0
共感	5	7
冗談	0	0
励まし	0	0
非難	0	0

タイ語母語話者	場面 7 (親・同等・軽)	場面 8 (疎・同等・軽)
結論	25	19
行動指示	6	1
詫び	34	**72**
理由の内容	46	56
理由の内容+付加説明	51	43
積極的代案提示	1	1
消極的代案提示	30	32
条件提示	**21**	6
約束	3	3
否定的反応	46	36
理解	3	1
驚き	1	1
情報確認	1	0
共感	3	0
冗談	0	0
励まし	0	0
非難	**11**	0

カイ二乗検定を行った結果、
有意差が見られなかった。
($\chi 2(12)=9.46$, n.s.)

カイ二乗検定を行った結果、
有意差が見られた。
($\chi 2(13)=45.089$, $p<.05$)

結果の解釈

①日本語母語話者は、意味公式の出現率に親疎関係による有意差が見られなかった。

②タイ語母語話者は親疎関係によって、意味公式の出現率に有意差が見られた。親しくない同等に{詫び}を、親しい同等に、{条件提示}{非難}を有意に多く使用している。

親疎関係によって、どの意味公式の出現率に差があるかどうか残差分析を行った。

残差分析を行った結果、{詫び}{条件提示}{非難}の 3 つ意味公式は親疎関係によって、出現率に有意差が見られた。

①親しくない同等に、{詫び}を有意に多く使用している。

②親しい同等に、{条件提示}{非難}を有意に多く使用している。

4.5 研究の仮説

本調査の実施に当たり、予備調査の結果と先行研究を参考にし、以下の仮説を立てた。

(1)意味公式の出現率

JJ と TT は{詫び}{結論}{理由}{条件提示}の使用に大きな差異がある。

仮説(1) JJ は{詫び}と{結論}を多く使用しているのに対して、TT は{詫び}と{結論}をあまり使用しない。

仮説(2) JJ と TT は{理由}の説明の仕方が異なる。具体的には、JJ は[理由の内容]、 TT は[理由の内容+付加説明]を述べる傾向がそれぞれ見られる。

仮説(3) JJ は{条件提示}をほとんど使用しないのに対して、TT は使用する傾向が強い。

(2)意味公式の出現順序のパターン

仮説(4) JJ はすべての場面において、{詫び}+{理由}+{結論}のパターンを多く使用する。しかし、 TT は場面によっては多く使われるパターンが異なり、パターンのバリエーションが多い。

(3)冒頭の意味公式

仮説(5) 冒頭の意味公式については、JJ は{詫び}、TT は{否定的反応}か{理由}を用いる頻度が高い。

(4)最後の意味公式

仮説(6) 最後の意味公式について、JJ は{結論}、TT は{詫び}か{条件提示}を用いる頻度が高い。

(5)親疎関係、上下関係、依頼の負担度の 3 つの要因

仮説(7)JJ は上下関係、TT は親疎関係を強く意識し、それによって意味公式を使い分ける。一方、依頼の負担度は上下関係と親疎関係に比べて意味公式の使用に強く影響を与えない。

以上は本調査の仮説である。(1)(2)(3)(4)は第五章、(5)は第六章で検証する。

第五章

本調査の結果

本章では、場面 1-8 で日本語母語話者(JJ)とタイ語母語話者(TT)が用いた意味公式を考察する。以下 5.1 節-5.8 節で各場面ごとに JJ と TT に分けてそれぞれ(1)意味公式の出現率、(2)意味公式の出現順序のパターン、(3)冒頭の意味公式、(4)最後の意味公式の 4 つの項目を分析し、その後 JJ と TT の比較をし、最後にまとめを述べる。

表 18 に示したように、今回見られた意味公式は<直接的断り>、<間接的断り>、<付加表現>の 3 つのカテゴリーに分類される。以下の分析では、これらのカテゴリーに沿って述べていく。

なお、今回は DCT でデータを収集したため、特に<付加表現>の中の{否定的反応}については、実際の言語使用と異なっている可能性がある。今後は発話データを収集するなどして、さらに分析する必要がある。

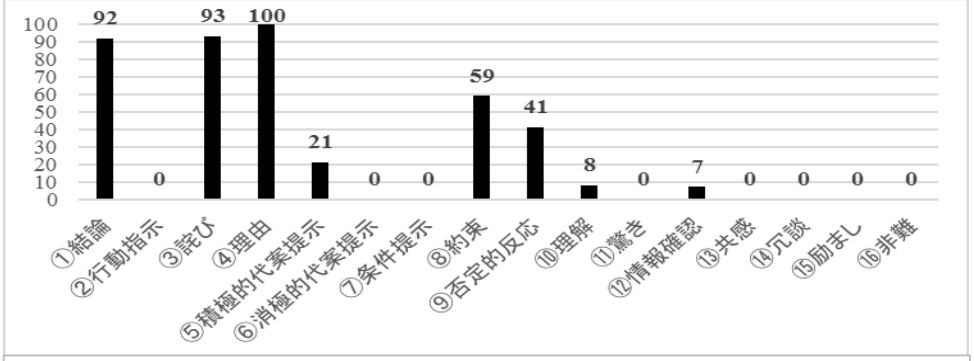
5.1 場面 1：親しい目上からの重い依頼

本節では、場面 1 において JJ と TT が用いた意味公式の出現率のデータを基に考察する。この場面は「親しい教員に日曜日にオープンキャンパスの準備を依頼される」場面を設定した。

5.1.1 場面 1：日本語母語話者の使用した意味公式

5.1.1.1 場面 1：意味公式の出現率(JJ)

まず、意味公式の出現率を考察する。JJ が用いた意味公式の出現率を図 11 に示す。



注：出現率は、協力者が 100 名なので、出現数と同じ数字である。
〈直接的断り〉のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯
JJ{詫び}93%　(一回の詫び 75%、二回の詫び 18%)
JJ{理由}100%　(理由の内容 94%、理由の内容+付加説明 6%)
JJ{否定的反応}41%　(間投詞 41%、呼びかけ 0%)

図 11　JJ: 場面 1(親・目上・重)の断りの意公式の出現率

親しい目上からの重い依頼を断る場面において、出現率が 50%以上の意味公式は、高い順に④{理由}(100%)、③{詫び}(93%)、①{結論}(92%)、⑧{約束}(59%)である。このうち{結論}は<直接的断り>、その他は<間接的断り>のカテゴリーに分類される。

以下、分類したカテゴリーに従って個々の意味公式について具体的な説明を加える。<直接的断り>のカテゴリーに分類される①{結論}については、言語形式の違いにより JJ の{結論}の言い方は 6 つのパターンに分類される。

(1)イ・ナ形容詞(+終助詞)

用いられた表現：「厳しいです」「無理なんです」「行くことが難しいです」

(2)動詞の可能形の否定形

用いられた表現：「行けないです」「手伝えないです」「行くことができません」
「力になれません」「お力添えできません」

(3)(副詞+)動詞の可能形の否定形/イ・ナ形容詞+モダリティ形式

用いられた表現：「行けないと思います」「手伝えない可能性があります」
「無理そうです」「どうしても行けそうにないです」
「準備に参加できそうにないです」

(4) 副詞+動詞の可能形の否定形/イ・ナ形容詞 (+終助詞)

用いられた表現：「ちょっと行けないです」「ちょっと無理です」
「ちょっと難しいですね」

(5)断りの意味を表す動詞

用いられた表現：「お断りします」「断らせていただきます」
「今回は控えさせていただけないでしょうか」

(6)動詞+かねます

用いられた表現：「お手伝いできかねます」

回答例は以下の通りである。

JM 2： 申し訳ないですが、実は、日曜日は用事があります。準備に行くことができません。

JM 14：ああ、日曜日は部活の試合があり、都合が合わないので、今回は控えさせていただけないでしょうか。

JF 33：すいません、日曜日はちょっと大切な用事があります。手伝いに行けなさそうです。

次に<間接的断り>のカテゴリーにおける出現率が二番目に高い③{詫び}の出現率は 93%で、そのうち一回の詫びが 75%、二回の詫びが 18%である。詫びの表現としては「すみません」「すいません」「申し訳ないですが」「申し訳ございません」「すごく申し訳ないですが」「ごめんなさい」が使われている。回答例は以下の通りである。

一回の詫び

JM 31：すいません、その日は予定が入っているので、できないです。別の人に頼んでみましょうか？

JF 42：ああ、すごく申し訳ないですが、その日は予定があって、
次回、都合がよければ、お手伝いさせてください。申し訳ないです。

JF 20：うーん、その日は予定が入っておりまして、手伝いに行けそうにないです。
すみません。他の人に当たってみましょうか？

二回の詫び

JF 8：すみません。日曜日は予定が入っているので、行けないです。次の機会何かお手伝いすることがあれば、協力したいですが、今回はすみません。

JF 36：すみません。その日予定があって行けそうにないです。ごめんなさい。
次回、都合がよければ、お手伝いします。

続いて、④{理由}の出現率は 100%で、すべての回答に表れていた。そのうち[理由の内容]が 94%、[理由の内容+付加説明]が 6%であり、出現率を見ると、JJ が[理由の内容]だけを述べる傾向があることが明らかになった。JJ は「用事」「先約」「バイト」「部活活動」「スポーツの試合」を理由として説明することが見られる。回答例は以下の通りである。

[理由の内容]

JM 2：申し訳ないですが、実は、日曜日は用事があります。準備に行くことができません。

JF 5：申し訳ないですが、その日はちょっと先約が入っているので、お断りします。
次回、機会があれば、またお呼びください。

JF 37：ああ、日曜日ですか？日曜日はテコンドーの大会があって、厳しいです。
本当にすみません。

[理由の内容+付加説明]

JM 1：ああ、すみません。日曜日はバイトがあって、どうしても休めないです。

JF 49：えー、その日バイト入れちゃってて、ちょっと抜けれないんです。すみません。
今度何かあったら手伝わせてください。

次に、⑤{積極的代案提示}については、出現率は 21%である。回答例は以下の通りである。

{積極的代案提示}

JM 20：ああ、すみません。日曜日は用事があるので、行けないかもしれません。
手伝いに行ける人見つけときましょうか？

JF 26： ああ、すみません。日曜日は予定があるんです。ごめんなさい。
手伝いに行ける人に聞いてみましょうか？

それに対して、⑧{約束}の出現率は 59%であり、⑤{積極的代案提示}に比べて 3 倍多く使用される。どうしても自分の都合が悪い時、手伝いたい気持ちの表明や相手との関係を維持するため将来への協力を提示することが多く見られる。回答例は以下の通りである。

{約束}

JM 43：本当にすみません。日曜日は予定があるので。行けないんです。
次回、なにかご協力できることがあれば、お申し付けください。

JF 44：えーと、日曜日はアルバイトがあって、どうしても休めないので、行けません。
ごめんなさい。また今度、なんかあったら、その時はよろしくお願いします。

最後に<付加表現>のカテゴリーについては、最も出現率が高い順に⑨{否定的反応}(41%)、⑩{理解}(8%)、⑫{情報確認}(7%)である。回答例は以下の通りである。

{否定的反応}

用いられた表現：「ああ」「うーん」「えー」「えーと」「ちょっと」

JF 22： ああ、日曜日ですか？申し訳ないですが、予定が入っていたような気がします。
次回、都合がよければ、お手伝いいたします。

JM 44： えー、日曜日はちょっと先約が入ってしまって、行けないです。申し訳ないです。
友達に頼んでみますね。

{理解}

用いられた表現：「そうか」「そうですか」「そうですね」

JF29 ： そうですね。その日は用事があって、手伝うことができません。
本当にすみません。別の人に頼んでみましょうか？

{情報確認}

JM 41： 日曜日ですか？ちょっと先約がありそうです。お手伝いできません。
本当に申し訳ないです。

5.1.1.2 場面 1：意味公式の出現順序のパターン(JJ)

続いて、意味公式の出現順序のパターンを考察する。回答 に見られた意味公式の出現順序のパターンを表 19 に示す。{否定的反応}については、間投詞と呼びかけで否定的な反応とする。間投詞は(間)、呼びかけは(呼)と表記する。なお、呼びかけは TT にしか見られなかったので、以下の表には、(呼)が現れない。

表 19　JJ: 場面 1(親・目上・重)の 意味公式の出現順序のパターン

冒頭の意味公式	{理由}が中間にあるパターン	出現率
{詫び}	{詫び}+{理由}+{結論}+{約束}	29%
	{詫び}+{理由}+{結論}	10%
	{詫び}+{理由}+{結論}+{詫び}+{約束}	3%
	{詫び}+{理由}+{約束}	2%
	{詫び}+{理由}+{結論}+{詫び}+{積極的代案提示}	2%
	小計	**46%**
{否定的反応}	{否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}+{結論}+{詫び}+{積極的代案提示}	12%
	{否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}+{結論}+{約束}	7%
	{否定的反応(間)}+{情報確認}+{詫び}+{理由}+{約束}	5%
	{否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}+{結論}+{積極的代案提示}	4%
	{否定的反応(間)}+{理解}+{詫び}+{理由}+{約束}	4%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{結論}+{詫び}+{約束}	3%
	{否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}+{約束}	2%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{結論}+{詫び}	2%
	{否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}+{結論}+{詫び}	1%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{結論}+{詫び}+{積極的代案提示}	1%
	小計	**41%**
{理解}	{理解}+{理由}+{結論}+{詫び}	4%
	{理解}+{理由}+{結論}+{積極的代案提示}	2%
	{理解}+{理由}+{結論}+{詫び}+{約束}	1%
	小計	**7%**
{情報確認}	{情報確認}+{理由}+{結論}	2%
	小計	**2%**
{結論}	{結論}+{理由}+{詫び}	1%
	小計	**1%**
合計		**97%**
冒頭の意味公式	**{理由}が冒頭の意味公式であるパターン**	**出現率**
{理由}	{理由}+{結論}+{約束}	3%
合計		**3%**
冒頭の意味公式	**{理由}が最後の意味公式であるパターン**	**出現率**
	なし	0%
合計		**0%**
冒頭の意味公式	**{理由}なしのパターン**	**出現率**
	なし	0%
合計		**0%**

冒頭の意味公式	意味公式が一つしかないパターン	出現率
	なし	0%
合計		**0%**
総合計		**100%**

意味公式の出現順序のパターンは、全部で 21 パターンに分類される。{理由}が中間にあるパターンは 20 パターンで、出現率が 97%である。{理由}が冒頭の意味公式であるパターンは 1 パターンで、出現率が 3%である。

意味公式の出現順序のパターンのうち、最も出現率の高い上位 2 位のパターンは{詫び}+{理由} +{結論}+{約束}(29%)、続いて{否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}+{結論}+{詫び}+{積極的代案提示} (12%)である。全体的な傾向を見ると、どのようなパターンでも{詫び}{理由}{結論}{約束}の 4 つの意味公式が頻繁に出現していることが分かった。回答例は以下の通りである。

{詫び}+{理由}+{結論}+{約束}

JM 17：すみません、日曜日はあいにく試合がありますので、行くことができません。

今度、機会があれば、手伝います。

{否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}+{結論}+{詫び}+{積極的代案提示}

JF 6：ああ、すみません。日曜日はちょっと用事があって、お手伝いできないです。

申し訳ございません。では、手伝いに行けそうな人を探してみましょうか。

表 19 に示すように、{理由}が中間にあるパターンが全部で 20 パターンで、出現率が 97%である。{理由}の前後にいくつかの意味公式が構成されるため、様々な組み合わせが存在する。多数存在するこれらのパターンの共通点を絞り込むために、意味公式の出現順序のパターンを前半部と後半部に分けて分析する。表中の…は意味公式の前後に他の意味公式が連続することを表す。

表 20　JJ: 場面 1(親・目上・重)の 意味公式の出現順序のパターンの前半部と後半部

出現順序のパターンの前半部	出現率	出現順序のパターンの後半部	出現率
{詫び}+{理由}...	46%	...{理由}+{結論}+{約束}	36%
{否定的反応}+{詫び}+{理由}... ({否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}...)	26% (26%)	...{理由}+{結論}+{詫び}+{積極的代案提示}	15%
{理解}+{理由}...	7%	...{理由}+{約束}	13%
{否定的反応}+{理由}... ({否定的反応(間)}+{理由}...)	6% (6%)	...{理由}+{結論}	12%
{否定的反応}+{情報確認}+{詫び}+{理由}... ({否定的反応(間)}+{情報確認}+{詫び}+{理由}...)	5% (5%)	...{理由}+{結論}+{詫び}	7%
{否定的反応}+{理解}+{詫び}+{理由}... ({否定的反応(間)}+{理解}+{詫び}+{理由}...)	4% (4%)	...{理由}+{結論}+{詫び}+{約束}	7%
{情報確認}+{理由}...	2%	...{理由}+{結論}+{積極的代案提示}	6%
{結論}+{理由}...	1%	...{理由}+{詫び}	1%
合計	**97%**	**合計**	**97%**

最も出現率の高い出現順序のパターンの前半部は、{詫び}+{理由}…(46%)、出現率が約 5 割を占めている。そして、最も出現率の高い出現順序のパターンの後半部は、...{理由}+{結論}+{約束}(36%)、出現率が約 4 割を占めている。続いて...{理由}+{結論}+{詫び}+{積極的代案提示}(15%)である。回答例は以下の通りである。

{詫び}+{理由}…

JM 48：申し訳ないですが、他の予定が入っておりますので、手伝いに行けません。
　　次回、都合がよければ、お手伝いさせてくだい。

{否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}…

JF 4：ああ、すみません。その日は用事があるので、無理です。手伝いに行けそうな人を探してみましょうか?

…{理由}+{結論}+{約束}

JM 17：すみません、日曜日はあいにく試合がありますので、行くことができません。
　　今度、機会があれば、手伝います。

…{理由}+{結論}+{詫び}+{積極的代案提示}

JF 20：うーん、その日は予定が入っておりまして、手伝いに行けそうにないです。
　　すみません。他の人に当たってみましょうか?

5.1.1.3 場面 1：冒頭の意味公式(JJ)

次に、冒頭に見られる意味公式について考察する。断る際に、依頼者がはじめにどのような反応をするかについて意味公式の出現率から考察する。

会話の冒頭では、{結論}{詫び}{理由}{否定的反応}{理解}{情報確認}が用いられており、全部で 6 種類の意味公式が見られた。各々の出現率を図 12 に示す。

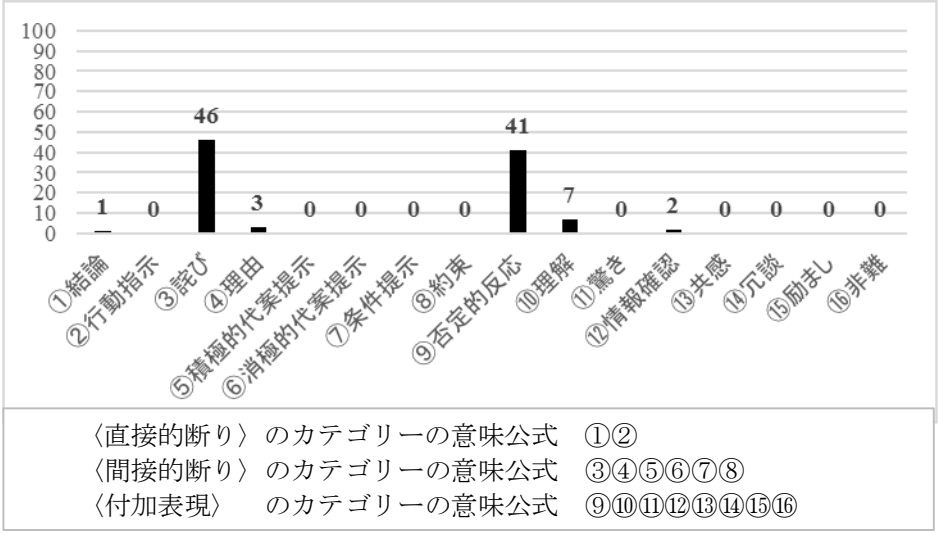


図 12　JJ: 場面 1(親・目上・重)の断りの冒頭の意味公式の出現率

JJ が用いた冒頭の意味公式の中で出現率の最も高いのが③{詫び}(46%)、続いて⑨{否定的反応}(41%)であり、最も出現率が低い冒頭の意味公式は①{結論}(1%)である。このうち{結論}は<直接的断り>、{詫び}は<間接的断り>、その他は<付加表現>のカテゴリーに分類される。

まとめると、親しい目上からの重い依頼に対する断りの場面において、JJ はまず{詫び}{否定的反応}を述べる傾向が見られる。一方、{理解}{理由}{情報確認}{結論}は断りの冒頭における意味公式としてはほとんど使われない。以下は本調査に見られた回答例である。

{詫び}を冒頭の意味公式とする回答例

JM 2：申し訳ないですが、実は、日曜日は用事があります。準備に行くことができません。

JF 17：すみません、日曜日は予定が入っています。行けないです。

今度、是非お手伝いに行きます。

{否定的反応}を冒頭の意味公式とする回答例

JM 47：ああ、すみません。その日は用事があるので、難しいと思います。

JF 25：えー、日曜日はちょっと都合が悪いです。お力添えできず、すみません。

今度、またお願いします。

{理解}を冒頭の意味公式とする回答例

JM 15：そうですか。日曜日は先約がありまして、手伝いに行けないかもしれません。
本当に申し訳ございません。

JF 32：そうですね。その日は先約が入ってしまって、手伝いに行くことができないですが、
次の機会があれば、おっしゃってください。

{理由}を冒頭の意味公式とする回答例

JF 9：日曜日はどうしても外せない用事があるので、準備を手伝うことができないです。
今度、人手が足りなければ、おっしゃってください。

JF 43：その日は用事があって、参加できないです。今度、機会があれば声をかけてください。

{情報確認}を冒頭の意味公式とする回答例

JF 27：日曜日ですか？えーと、本当に申し訳ないのですが、日曜日は予定が入っているので、
行けないです。すみません。

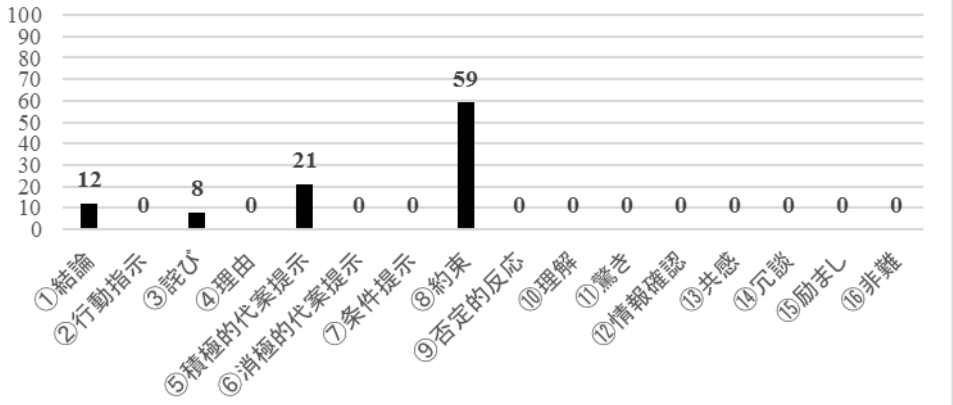
JF 41：日曜日ですか？ちょっと先約がありまして、申し訳ございません。今度お手伝いできる
ことがあれば、おっしゃてください。

{結論}を冒頭の意味公式とする回答例

JM 7：ちょっときついですね。すみません。

5.1.1.4 場面 1：最後の意味公式(JJ)

最後に、断り文の最後の意味公式を考察する。それを調べた理由は、最後に用いられる意味公式は発話を終わらせ、依頼者の印象に残る意味公式だと考えたからである。結果を見ると、最後の意味公式は{結論}{詫び}{積極的代案提示}{約束}が用いられており、全部で 4 種類の意味公式が見られた。出現率を図 13 に示す。



〈直接的断り〉 のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉 のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　 のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯

図 13　JJ: 場面 1(親・目上・重)の断りの最後の意味公式の出現率

JJ が用いた最後の意味公式は出現率の高い順に⑧{約束}(59%)、⑤{積極的代案提示}(21%)、①{結論}(12%)、③{詫び}(8%)となっている。このうち{結論}は<直接的断り>、その他は<間接的断り>のカテゴリーに分類される。以下は本調査に見られた回答例である。

{結論}を最後の意味公式とする回答例

JF 33：すいません、日曜日はちょっと大切な用事があります。手伝いに行けなさそうです。

{詫び}を最後の意味公式とする回答例

JF 8：すみません。日曜日は予定が入っているので、行けないです。次の機会何かお手伝いすることがあれば、協力したいですが、今回はすみません。

{積極的代案提示}を最後の意味公式とする回答例

JF 26： ああ、すみません。日曜日は予定があるんです。ごめんなさい。
手伝いに行ける人に聞いてみましょうか？

{約束}を最後の意味公式とする回答例

JM 43：本当にすみません。日曜日は予定があるので。行けないんです。
次回、なにかご協力できることがあれば、お申し付けください。

意味公式の出現順序のパターンを見ると、{理由}を述べた後、、{結論}を述べ、最後に相手との関係を維持するために{約束}で発話を終了させるパターンが一番多く見られる。

{結論}の使用に関して、JJ の意見をフォローアップインタビューした結果[8]は以下の通りである。「断りの理由を説明した後に、断りを明言するのは大事なことである。そうしないと、手伝いに行けるかどうかはっきりせず、相手に誤解されてしまうかもしれないから」である。しかし、「{結論}で発話を終了させると、相手を手伝えないことの印象が強くて、人間関係が崩れてしまう恐れがあるので、相手との関係をうまく続けるために{約束}で発話を終了させる」ということである。

5.1.1.5 場面 1：まとめ(JJ)

場面 1 の親しい目上からの重い依頼に対する断りの場面において、JJ の使用した意味公式の傾向をまとめる。

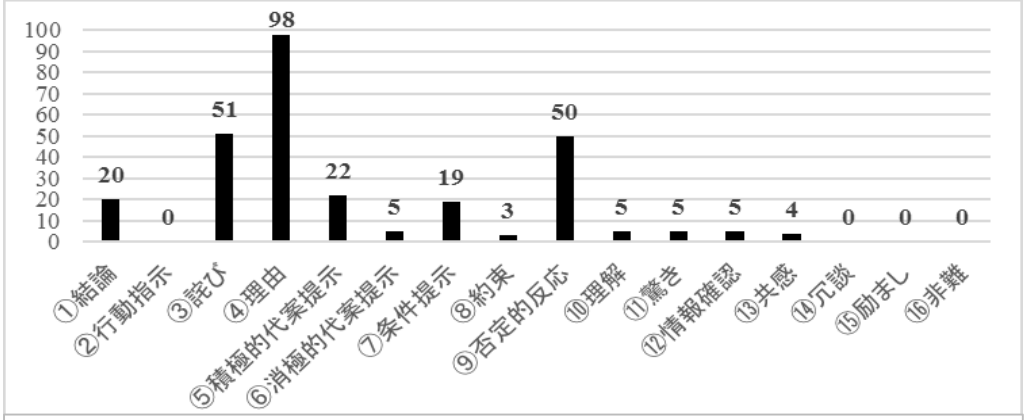
(1) 意味公式の全体における出現率のうち、出現率が 50%以上の意味公式は、高い順に{理由}(100%)、{詫び} (93%)、{結論}(92%)、{約束}(59%)である。
(2) 意味公式の出現順序のパターンについては、{詫び}+{理由}+{結論}+{約束}が最も出現率が高い。そして、{理由}が中間にあるパターンのうち、最も出現率が高い前半部は{詫び}+{理由}…で、後半部は…{理由}+{結論}+{約束}である。
(3) 断りの冒頭の意味公式は、{詫び}と{否定的反応}の出現率が突出している。
(4) 断りの最後の意味公式は、{約束}で発話を終了させるパターンが一番多い。

[8] 意味公式の使用の背景理由および断りに関する個人の意見について、24 名の JJ と 32 名の TT をインタビューした。

5.1.2 場面 1：タイ語母語話者の使用した意味公式

5.1.2.1 場面 1：意味公式の出現率(TT)

まず、意味公式の出現率を考察する。TT が用いた意味公式の出現率を図 14 に示す。



〈直接的断り〉のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯
TT{詫び}51%　　(一回の詫び 50%、二回の詫び 1%)
TT{理由}98%　　(理由の内容 13%、理由の内容+付加説明 85%)
TT{否定的反応}50%　(間投詞 26%、呼びかけ 23%、間投詞+呼びかけ 1%)

図 14　TT: 場面 1(親・目上・重)の断りの意味公式の出現率

親しい目上からの重い依頼を断る場面において、出現率が 50%以上の意味公式は、高い順に④{理由}(98%)、次に③{詫び}(51%)、⑨{否定的反応}(50%)である。一方、最も出現率が低いのは⑧{約束}(3%)であり、JJ の 59%と比べると大幅に少ない。

以下、分類したカテゴリーに従って個々の意味公式について具体的な説明を加える。<直接的断り>のカテゴリーに分類される①{結論}については、出現率が 20%であり、JJ の 92%と比べると大きな差がある。言語形式の違いにより、非断定的表現と断定的表現に分類される。

非断定的表現：動詞の前に、モダリティ形式「คง (khoŋ)」(だろう)、「อาจจะ (ʔàat ca)」(かもしれない) などが付加される。

TM 44：ขอโทษครับจารย์ *ผมคงไปไม่ได้ครับ อาทิตย์นี้คิวเต็มทั้งวันเลย

(和訳：すみません。行けないでしょう。日曜日には用事が立て込んでいます。)

*ผม(phŏm 私(男性))、คง(khoŋ だろう)、ไป(pai 行く)、ไม่ได้(mâi dâi 不可能を表す否定詞)
ครับ(khráp 男性の文末丁寧詞)

TM 46：คือผมมีธุระอะครับอาจารย์ *อาจจะมาช่วยไม่ได้ ต้องขอโทษจริงๆ

(和訳：実は用事があります。手伝いに行けないかもしれません。

本当にすみません。)

*อาจจะ(ʔàat ca かもしれない)、มาช่วย(maa chûai 手伝いに行く)、

ไม่ได้(mâi dâi 不可能を表す否定詞)

断定的表現：動詞に不可能を表す否定詞「ไม่สามารถ... ได้」 (mâi saamaat…dâi) 、「...ไม่ได้」 (...mâi dâi) (することができない) が付加される。回答例は以下の通りである。

TF 38：พอดีติดธุระ ต้องออกไปข้างนอกกับที่บ้านทั้งวัน *เลยไม่สามารถมาช่วยได้ ขอโทษค่ะ

(和訳：ちょうど家族と用事があって、一日中外出しなければなりません。

だから、手伝いに来ることができません。すみません。)

*เลย(ləəi だから)、ไม่สามารถ... ได้(mâi saamaat…dâi 不可能を表す否定詞)

มาช่วย(maa chûai 手伝いに来る)

TM 27：*ไปไม่ได้ครับ วันอาทิตย์ผมต้องพาแม่ไปหาหมอ เปลี่ยนเป็นวันอื่นได้มั้ยครับ

(和訳：行けません。日曜日に母を病院に連れて行かなければなりません。

他の日に手伝わせてもらってもいいですか。)

*ไป(pai 行く)、ไม่ได้(mâi dâi 不可能を表す否定詞)、ครับ(khráp 男性の文末丁寧詞)

ほかにも、TT が「ไม่สะดวก (mâi sadùak) 」(都合が悪い)を多く使っている。それは時間、お金、気分などの個人の都合により、引き受けられないことを丁寧に断るという意味である。

TM 17：*อาจารย์ครับ **ผมไม่สะดวกครับ ขอโทษจริงๆ คือผมมีธุระครับ

(和訳：[呼びかけ](ʔaa caan khráp)、都合が悪いです。本当にすみません。実は用事があります。)

*อาจารย์(ʔaa caan 先生(呼称詞))、 ครับ(khráp 男性の文末丁寧詞)

** ผม(phŏm 私(男性))、ไม่(mâi 否定詞)、สะดวก (sadùak 都合がいい)、

次に＜間接的断り＞のカテゴリーにおける出現率が二番目に高い③{詫び}の出現率が 51% で、そのうち一回の詫びが 50%、二回の詫びが 1% しか見られなかった。JJ の 93%と比べると差が大きい。タイ語の詫びの表現にはいろいろなバリエーションがある。例えば、「ขอโทษนะครับ/คะ」(khɔ̌ɔthôot ná khráp/ khá)「ขอโทษด้วยครับ/ค่ะ」(khɔ̌ɔthôot dûai khráp/ khâ)「ขอโทษครับ/ค่ะ」(khɔ̌ɔthôot khráp/ khâ)「ขอโทษจริงๆครับ/ค่ะ」(khɔ̌ɔthôot ciŋ ciŋ khráp/ khâ)

「ขอโทษทีครับ/ค่ะ」(khɔ̌ɔthôot thii khráp/ khâ) 「ขอโทษครับ/ค่ะอาจารย์」(khɔ̌ɔthôot khráp/ khâ ʔaa caan)が使われている。

これらの表現は、以下の表現の組み合わせからなる。(1)ขอโทษ(khɔ̌ɔthôot) ขอโทษด้วย (khɔ̌ɔthôot dûai) ขอโทษที(khɔ̌ɔthôot thii) (詫びの言葉)、(2)จริงๆ(ciŋ ciŋ 本当に(強調詞))、(3)นะ(ná 文末詞)、(4)ครับ/ คะ ค่ะ(khráp/ khá khâ 文末丁寧詞)(4)อาจารย์(ʔaa caan 先生(呼称詞))

以下、回答例を示す。

TF 5：วันอาทิตย์นี้คงไม่ได้ค่ะ หนูต้องไปเยี่ยมญาติกับที่บ้านทั้งวันเลย ขอโทษค่ะอาจารย์

(和訳：日曜日はだめでしょう。一日中、家族と親戚を訪問しなければなりません。すみません。)

TF 41：ขอโทษนะคะ หนูต้องอ่านหนังสือเตรียมตัวสอบค่ะ หนูกลัวทำข้อสอบไม่ได้ ขอโทษจริงๆค่ะ

(和訳：すみません。テスト勉強をしなければなりません。試験のことが心配です。本当にすみません。)

続いて、出現率が最も高い意味公式、④{理由}の出現率は 98%、そのうち[理由の内容]が 13%、[理由の内容+付加説明]が 85%である。出現率を見ると、[理由+付加説明}を述べる傾向があると言える。TT は JJ と異なり「約束・用事がある」だけではなく、具体的にどのような用事があるか詳しく説明することが多く見られる。「家族・親戚」「自分の学業」に関係がある理由がよく挙げられる。回答例は以下の通りである。

家族・親戚に関係がある理由：親戚の訪問、見舞い、儀式への参加など

TM 5：ไม่ว่างอะจารย์ ผมต้องไปเยี่ยมญาติกับครอบครัว

(和訳：時間的に余裕がありません。家族と親戚を訪問しなければなりません。)

TM 8：เอ่อ ผมต้องพาแมวที่ป่วยไปหาหมอครับ ขอโทษด้วยครับ

(和訳：{否定的反応}(ʔɔ̀ɔ)、その日は病気になった猫を獣医に連れて行かなければなりません。すみません。)

TM 25：เอ่อ ผมต้องไปเยี่ยมยายที่โรงพยาบาล ขอโทษนะครับ

(和訳：{否定的反応}(ʔɔ̀ɔ)、おばあさんの見舞いに病院へ行かなければなりません。すみません。)

TM 28：อาจารย์ ขอโทษครับ ผมต้องไปงานศพกับที่บ้าน คราวหน้าเดี๋ยวผมช่วยครับ

(和訳：[呼びかけ](ʔaa caan)、すみません。家族と葬式に参加しなければなりません。次の機会があれば、お手伝いさせていただきます。)

TF 45：คือว่าวันอาทิตย์หนูไม่ว่างค่ะ พอดีต้องพายายไปทำบุญที่วัด ขอโทษจริงๆค่ะ แต่ถ้าเป็นวันอื่นหนูมาช่วยได้นะคะ

(和訳：実は日曜日は時間的に余裕がありません。ちょうど徳を積みにおばあさんをお寺へ連れて行かなければなりません。本当にすみません。他の日なら、手伝いに来られます。)

自分の学業に関係がある理由

TM 37：อาจารย์ มาไม่ได้ครับ ขอโทษด้วย อาทิตย์นี้ที่ติวเตอร์ผมมีสอบอะครับ

(和訳：[呼びかけ](ʔaa caan)、来られません。すみません。日曜日は塾でテストがあります。)

TM 38：*อ๋อครับ พอดีวันอาทิตย์มีติวสอบให้รุ่นน้องครับ นัดไว้แล้ว

(和訳：{理解}(ʔɔ̌ɔ khráp)。ちょうど、日曜日に後輩にテスト勉強を教えることになっています。もう約束しています。)

*อ๋อ(ʔɔ̌ɔ 理解の間投詞)、 ครับ(khráp 男性の文末丁寧詞)

TM 47：ขอโทษครับ คือผมไม่ว่างเลย เพราะต้องทำสไลด์นำเสนอวันจันทร์ อาจารย์ลองถามเพื่อนคนอื่นดูนะครับ

(和訳：すみません。実は時間的に余裕が全くありません。月曜日の発表のためにスライドを作らなければならないから。別の人に聞いてもらえませんか。)

TF 41：ขอโทษนะคะ หนูต้องอ่านหนังสือเตรียมตัวสอบค่ะ หนูกลัวทำข้อสอบไม่ได้ ขอโทษจริงๆคะ

(和訳：すみません。テスト勉強をしなければなりません。試験のことが心配です。本当にすみません。)

⑤{積極的代案提示}は、出現率が 22%である。一方、⑥{消極的代案提示}の出現率はわずか 5 %である。回答に見られた{積極的代案提示}は「とりあえず、友達に聞きます」「手伝いに行けるかどうか友達に聞きます。」「友達に手伝いの協力をお願いします」などである。

フォローアップインタビューによると、TT の考えでは、「親しい教員だからこそ、手伝わないといけない。自分が手伝えなくても、教員が困らないように、なんとか他の手伝いの方法を提案しなければならない」ということである。回答例は以下の通りである。

TM 7：ไม่ว่างครับ วันอาทิตย์ติดธุระ ขอโทษด้วยครับ ยังไงผมจะลองถามเพื่อนคนอื่นให้นะครับ

(和訳：時間的に余裕がありません。日曜日は用事があります。すみません。とりあえず、私が友達に聞いてみますね。)

TF 12：อาจารย์ วันอาทิตย์หนูไม่ว่างค่ะ หนูต้องไปเรียนพิเศษ อาจารย์ลองถามคนอื่นดูนะคะ

(和訳：[呼びかけ](ʔaa caan)、日曜日は時間的に余裕がありません。塾へテスト勉強に行かなければなりません。他の人に聞いてみてもらえませんか。)

続いて、⑦{条件提示}の出現率は 19%である。しかし、JJ には{条件提示}の使用がまったく見られなかった。回答に見られた{条件提示}は、日時変更の条件、手当支給の条件、時間的余裕の仮定に分類される。

日時変更の条件

TM 1：*โหจารย์ วันอาทิตย์ต้องช่วยงานที่บ้าน ถ้าเป็นวันธรรมดามาช่วยได้ครับ

(和訳：{驚き}(hŏo caan)、日曜日は家族の仕事を手伝わなければなりません。平日なら手伝いに来られます。)

*โห(hŏo 驚きの間投詞)、จารย์(caan 先生(呼称詞))

TM 11：เอ่อ พอดีวันอาทิตย์มีนัดกับทางบ้านแล้วครับอาจารย์ เดี๋ยวผมมาช่วยวันอื่นนะครับ

(和訳：{否定的反応}(ʔɔ̀ɔ)、ちょうど、日曜日に家族と約束があります。他の日に手伝わせていただきます。)

TF 36：คือว่าวันอาทิตย์นี้หนูไม่สะดวกนะคะ ต้องไปทำธุระกับแม่ เอาเป็นหลังเลิกเรียนได้ไหมคะ

(和訳：実は日曜日は都合が悪いです。母と用事で外出しなければなりません。よかった、授業が終わった後の時間はいかがですか？)

手当支給の条件

TM 15：ขอโทษครับ พอดีผมมีธุระ แต่ถ้าจารย์มีเบี้ยเลี้ยงให้ ผมก็ยินดีจะไปช่วยครับ

(和訳：すみません、ちょうど用事があります。もし手当の支給があれば、喜んで手伝いに行きます。)

時間的余裕の仮定：時間があれば手伝いに行くと条件を提示する。だが、手伝いに行けるかどうか確実性が低い条件である。

TM 32：เอ่อ ผมต้องไปเที่ยวกับครอบครัวอะครับ ถ้าว่างจะมาช่วยนะครับ

(和訳：{否定的反応}(ʔɔ̀ɔ) 、家族と旅行に行かなければなりません。もし時間的に余裕があれば、手伝いに来ます。)

次に、{約束}の出現率は 3%であり、JJ の 59%と大きく異なる。回答例は以下の通りである。

TF 3：อาจารย์คะ พอดีหนูต้องไปทำธุระกับครอบครัว ขอโทษค่ะ ไว้คราวหน้ามีงานหนูจะไปช่วยนะคะ

(和訳：[呼びかけ](ʔaa caan khá)、ちょうど、家族と用事で外出しなければなりません。すみません。次回の機会があれば、手伝わせていただきます。)

最後に<付加表現>のカテゴリーにおける最も出現率が高い順に⑨{否定的反応}が 50%、そのうち[間投詞]が 26%、[呼びかけ]が 23%、[間投詞]+[呼びかけ]が 1%である。⑩{理解}⑪{驚き}⑫{情報確認}それぞれの意味公式の出現率が 5%、⑬{共感}が 4%である。回答例は以下の通りである。

{否定的反応}

用いられた表現：間投詞「เอ่อ」(ʔəə̀)、「อืม」(ʔɯɯm)

TM 10： เอ่อ ผมติดธุระครับ
(和訳：{否定的反応}(ʔəə̀)、用事があります。)

TF 10： อืม พอดีหนูมีธุระนะคะ นัดกับคุณพ่อไว้แล้วด้วย ไม่สามารถมาช่วยงานได้จริงๆค่ะ
(和訳：{否定的反応}(ʔɯɯm)、ちょうどお父さんと約束があって、用事があるんですが、どうしても手伝いに来ることができません。)

用いられた表現：呼びかけ 「อาจารย์」(先生)

TF 7： อาจารย์ คือหนูไม่ว่างอะ ติดธุระ
(和訳：[呼びかけ](ʔaa caan)、実は時間的に余裕がありません。用事があります。)

用いられた表現：間投詞+呼びかけ「เอ่อ อาจารย์ครับ」

TM 43： เอ่อ อาจารย์ครับ พอดีผมไม่สะดวก แต่ถ้าทำธุระเสร็จพอทันเวลา จะกลับมาช่วยนะครับ
(和訳：{否定的反応}(ʔəə̀ ʔaa caan khráp)。ちょうど都合が悪いんですが、用事を済ませた後、もし時間的に余裕があれば、手伝いに来ます。)

*เอ่อ(ʔəə̀ 否定的の間投詞)、 อาจารย์(ʔaa caan 先生(呼称詞))、ครับ(khráp 男性の文末丁寧詞)

{理解}

用いられた表現：間投詞「อ๋อ」(ʔɔ̌ɔ)

TM 20： *อ๋อครับ อยากช่วย แต่พอดีวันอาทิตย์ผมต้องไปงานขึ้นบ้านใหม่ที่ต่างจังหวัด
(和訳：{理解}(ʔɔ̌ɔ khráp)、手伝いたいんですけど、ちょうど日曜日は田舎へ新築儀礼に参加に行かなければなりません。)

*อ๋อ(ʔɔ̌ɔ 理解の間投詞)、ครับ(khráp 男性の文末丁寧詞)

{驚き}

用いられた表現：間投詞「เอ๋」(ʔěe)

TF 23： เอ๋ อาทิตย์หรอครับ พอดีติดธุระสำคัญ
(和訳：{驚き}(ʔěe)、日曜日ですか？ちょうど大事な用事があります。)

{情報確認}

TM 34：อาทิตย์นี้หรอครับ ขอโทษครับ ผมติดธุระครับ ถ้ายังไงเดี๋ยวผมลองถามเพื่อนคนอื่นดูให้นะ

(和訳：今週の日曜日ですか？すみません。用事があります。

とりあえず、友達に聞いてみますね。)

{共感}

TF19：คือหนูอยากช่วยนะคะ แต่ว่าหนูติดธุระจริงๆ ลองไปถามคนอื่นดูมั้ยคะ

(和訳：本当に手伝いたいんですが、どうしても外せない用事があります。他の友達に聞いてもらえませんか？)

5.1.2.2 場面 1：意味公式の出現順序のパターン(TT)

続いて、意味公式の出現順序のパターンを考察する。回答 に見られた意味公式の出現順序のパターンを表 21 に示す。{否定的反応}については、間投詞と呼びかけで否定的な反応とする。間投詞は(間)、呼びかけは(呼)と表記する。

表 21　TT: 場面 1(親・目上・重)の 意味公式の出現順序のパターン

冒頭の意味公式	{理由}が中間にあるパターン	出現率
{否定的反応}	{否定的反応(呼)}+{理由}+{詫び}	6%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{結論}	5%
	{否定的反応(呼)}+{理由}+{積極的代案提示}	5%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{詫び}	4%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{条件提示}	4%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{積極的代案提示}	3%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{詫び}+{積極的代案提示}	3%
	{否定的反応(呼)}+{理由}+{詫び}+{約束}	3%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{詫び}+{条件提示}	2%
	{否定的反応(呼)}+{理由}+{消極的代案提示}	2%
	{否定的反応(呼)}+{理由}+{結論}+{詫び}	2%
	{否定的反応(呼)}+{理由}+{条件提示}	1%
	{否定的反応(呼)}+{理由}+{約束}	1%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{消極的代案提示}	1%
	{否定的反応(間)+(呼)}+{理由}+{結論}+{詫び}	1%
	小計	**43%**
{詫び}	{詫び}+{理由}+{積極的代案提示}	4%
	{詫び}+{理由}+{条件提示}	2%
	{詫び}+{理由}+{詫び}	1%
	{詫び}+{理由}+{消極的代案提示}	1%
	小計	**8%**
{結論}	{結論}+{理由}+{条件提示}	2%
	{結論}+{理由}+{詫び}	1%

	{結論}+{理由}+{積極的代案提示}	1%
	小計	**4%**
{驚き}	{驚き}+{理由}+{条件提示}	3%
	小計	**3%**
{情報確認}	{情報確認}+{詫び}+{理由}+{積極的代案提示}	3%
	小計	**3%**
{共感}	{共感}+{理由}+{積極的代案提示}	1%
	{共感}+{理由}+{消極的代案提示}	1%
	小計	**2%**
合計		**63%**
冒頭の意味公式	**{理由}が冒頭の意味公式であるパターン**	**出現率**
{理由}	{理由}+{詫び}	5%
	{理由}+{詫び}+{条件提示}	2%
	{理由}+{結論}+{詫び}	1%
	{理由}+{条件提示}	1%
	{理由}+{積極的代案提示}	1%
合計		**10%**
冒頭の意味公式	**{理由}が最後の意味公式であるパターン**	**出現率**
{詫び}	{詫び}+{結論}+{理由}	5%
	{詫び}+{理由}	2%
	小計	**7%**
{理解}	{理解}+{理由}	3%
	{理解}+{共感}+{理由}	2%
	小計	**5%**
{否定的反応}	{否定的反応(間)}+{理由}	3%
	{否定的反応(呼)}+{理由}	3%
	小計	**6%**
{驚き}	{驚き}+{情報確認}+{理由}	2%
	小計	**2%**
合計		**20%**
冒頭の意味公式	**{理由}なしのパターン**	**出現率**
{詫び}	{詫び}+{結論}	1%
	小計	**1%**
{否定的反応}	{否定的反応(間)+(呼)}+{結論}+{条件提示}	1%
	小計	**1%**
合計		**2%**
冒頭の意味公式	**意味公式が一つしかないパターン**	**出現率**
{理由}	{理由}	5%
合計		**5%**
総合計		**100%**

意味公式の出現順序のパターンは、全部で 41 パターンに分類される。JJ の 21 パターンに比べて、TT のほうがパターンのバリエーションが多いことが分かった。

41 パターンのうち、{理由}が中間にあるパターンは 26 パターンで、出現率が 63%である。続いて、{理由}が最後の意味公式であるパターンは 7 パターンで、出現率が 20%である。{理由}が冒頭の意味公式であるパターンは 5 パターンで、出現率が 10%である。意味公式が一つしかないパターンは 1 パターンで、出現率が 5%である。最後に、{理由}なしのパターンは 2 パターンで、出現率が 2%である。

意味公式の出現順序のパターンのうち、最も出現率の高い上位 2 位のパターンは{否定的反応(呼)}+{理由}+{詫び} (6%)、続いて{否定的反応(間)}+{理由}+{結論} 、{否定的反応(呼)}+{理由}+{積極的代案提示}、{詫び}+{結論}+{理由}、{理由}、{理由}+{詫び}(それぞれ 5%)である。

全体的な傾向を見ると、同じ意味公式で出現順序の異なるパターンがいくつかあり、バリエーションが豊富である。TT は{理由}、{積極的代案提示}、{条件提示}を多用する一方、{結論}、{約束}、{消極的代案提示}の使用が少ないことが分かった。回答例は以下の通りである。

{否定的反応(呼)}+{理由}+{詫び}

TF 8：อาจารย์ วันอาทิตย์หนูไม่ว่างเลย ต้องไปทำธุระกับที่บ้าน ขอโทษนะคะ

(和訳：[呼びかけ](ʔaa caan)、日曜日は時間的に余裕が全くありません。家族と用事で外出しなければなりません。すみません。)

{否定的反応(間)}+{理由}+{結論}

TM 49：เอ่อ คือว่าวันอาทิตย์นี้ต้องไปธุระกับทางบ้านอะครับ เกรงว่าจะมาช่วยงานไม่ได้

(和訳：{否定的反応}(ʔəə)、実は、日曜日は家族と用事で外出しなければなりません。手伝いに来られない恐れがあります。)

表 21 に示すように、{理由}が中間にあるパターンが全部で 26 パターンで、出現率が 63%である。{理由}の前後にいくつかの意味公式が構成されるため、様々な組み合わせが存在する。多数存在するこれらのパターンの共通点を絞り込むために、意味公式の出現順序のパターンを前半部と後半部に分けて分析する。出現順序のパターンの前半部と後半部を表 22 に示す。

表 22　TT: 場面 1(親・目上・重)の 意味公式の出現順序のパターンの前半部と後半部

出現順序のパターンの前半部	出現率	出現順序のパターンの後半部	出現率
{否定的反応}+{理由}... ({否定的反応(間)}+{理由}...) ({否定的反応(呼)}+{理由}...)	43% (22%) (21%)	...{理由}+{積極的代案提示}	17%
{詫び}+{理由}...	8%	...{理由}+{詫び}	12%
{結論}+{理由}...	4%	...{理由}+{条件提示}	12%
{情報確認}+{詫び}+{理由}...	3%	...{理由}+{結論}	5%
{驚き}+{理由}...	3%	...{理由}+{消極的代案提示}	5%
{共感}+{理由}...	2%	...{理由}+{結論}+{詫び}	3%
		...{理由}+{詫び}+{条件提示}	2%
		...{理由}+{詫び}+{積極的代案提示}	3%
		...{理由}+{詫び}+{約束}	3%
		...{理由}+{約束}	1%
合計	**63%**	**合計**	**63%**

最も出現率の高い出現順序のパターンの前半部は、{否定的反応}+{理由}…(43%)である。そのうち、{否定的反応(間)}+{理由}…が 22%、{否定的反応(呼)}+{理由}…が 21%であり、同程度の出現率である。他のパターンは出現率が 10%以下である。

最も出現率の高い出現順序のパターンの後半部は、...{理由}+{積極的代案提示}(17%)、続いて...{理由}+{詫び}+{積極的代案提示}(12%)と…{理由}+{条件提示}(12%)である。他のパターンは出現率が 10%以下である。回答例は以下の通りである。

{否定的反応(間)}+{理由}…

TM 16:　เอ่อ คือว่าวันอาทิตย์นี้ผมไม่ค่อยว่างอะครับ ขอโทษครับ

(和訳：{否定的反応}(ʔəə)、実は、日曜日は時間があまりありません。すみません。)

{否定的反応(呼)}+{理由}…

TF 43:　อาจารย์คะ พอดีว่าหนูมีธุระกับทางบ้านอะค่ะ　หนูขอโทษนะคะ

(和訳：[呼びかけ](ʔaa caan khá)、ちょうど家族と用事があります。すみません。)

…{理由}+{積極的代案提示}

TF 6：ขอโทษค่ะ วันอาทิตย์มีธุระค่ะ เดี๋ยวหนูไปถามเพื่อนคนอื่นนะคะ

(和訳：すみません、日曜日は用事があります。では、友達に聞いてみますね。)

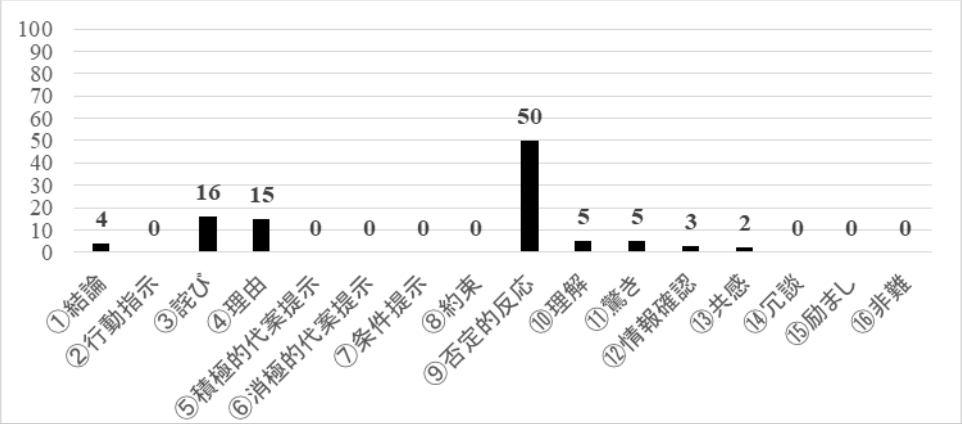
…{理由}+{詫び}

TF 30：อาจารย์คะ วันอาทิตย์ต้องไปทำธุระ ขอโทษนะคะ

(和訳：[呼びかけ](ʔaa caan khá)、日曜日は用事で外出しなければなりません。すみません。)

5.1.2.3 場面 1：冒頭の意味公式(TT)

次に、冒頭の意味公式を考察する。冒頭に見られた意味公式は{結論}{詫び}{理由}{否定的反応}{理解} {驚き}{情報確認} {共感}が用いられており、全部で 8 種類の意味公式が見られた。出現率を図 15 に示す。



〈直接的断り〉 のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉 のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　 のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯
TT{否定的反応}50%　(間投詞 26%、呼びかけ 23%、間投詞+呼びかけ 1%)

図 15　TT: 場面 1(親・目上・重)の断りの冒頭の意味公式の出現率

TT が用いた冒頭の意味公式は、⑨{否定的反応}(50%)の出現率が突出している。そのうち[間投詞]が 26%、[呼びかけ]が 23%、[間投詞]+[呼びかけ]が 1%である。続いて、③{詫び}(16%)、④{理由}(15%)である。他の意味公式は出現率が 5%以下である。{結論}は<直接的断り>、{詫び}と{理由}は<間接的断り>、その他は<付加表現>のカテゴリーに分類される。以下は回答例である。

{否定的反応}を冒頭の意味公式とする回答例

TM41：เอ่อ พอดีว่าต้องรีบกลับต่างจังหวัด ยังไงอาจารย์ลองหาคนอื่นนะครับ
(和訳：[間投詞](ʔəəə)、ちょうど急いで帰郷しなければなりません。
他の人に聞いてもらえませんか。)

TM 3：จารย์ วันอาทิตย์ผมต้องไปทำธุระ เป็นกิจการยิ่งใหญ่เลยครับ แต่เดี๋ยวผมหาคนมาช่วยครับ
(和訳：[呼びかけ](caan)、日曜日には用事で外出しなければなりません。
大事な用事なんです。それでは、私が手伝えそうな人を探してみますね。)

{詫び}を冒頭の意味公式とする回答例

TM 33：ขอโทษครับ อาทิตย์นี้ผมติดธุระ เดี๋ยวจะลองถามเพื่อนนะครับ ว่ามีใครว่างบ้าง
(和訳：すみません、今週の日曜日に用事があります。とりあえず、友達に聞いてみますね。)

{理由}を冒頭の意味公式とする回答例

TF 11：พอดีวันอาทิตย์นี้หนูไม่ว่างค่ะ มีธุระกับครอบครัวค่ะ

(和訳：日曜日は、ちょうど時間的に余裕がありません。家族と用事があります。)

{驚き}を冒頭の意味公式とする回答例

TM 21：*โหจารย์ วันอาทิตย์ผมไม่ว่าง วันอื่นได้มั้ย

(和訳：{驚き}(hŏo caan)、日曜日は時間的に余裕がありません。他の日に手伝わせてもらってもよろしいですか？)

*โห(hŏo 驚きの間投詞)、จารย์(caan 先生)

{理解}を冒頭の意味公式とする回答例

TF 21：อ๋อ อยากช่วยนะคะ แต่หนูไม่ว่าง

(和訳：{理解}(ʔɔ̌ɔ)、手伝いたいですが、時間的に余裕がありません。)

{結論}を冒頭の意味公式とする回答例

TF 32：วันอาทิตย์นี้ไม่สะดวกครับ ต้องไปทำธุระกับแม่ แต่เดี๋ยวจะถามเพื่อนให้นะครับ

(和訳：今週の日曜日は都合が悪いです。母と用事で外出しなければなりません。とりあえず、友達に聞いてみますね。)

{情報確認}を冒頭の意味公式とする回答例

TF 24：วันอาทิตย์นี้หรอคะ รู้สึกว่าหนูจะติดธุระค่ะ คงไม่สามารถมาช่วยได้ ขอโทษด้วยนะคะ

(和訳：日曜日ですか？用事がある気がします。手伝いに来られないでしょう。すみません。)

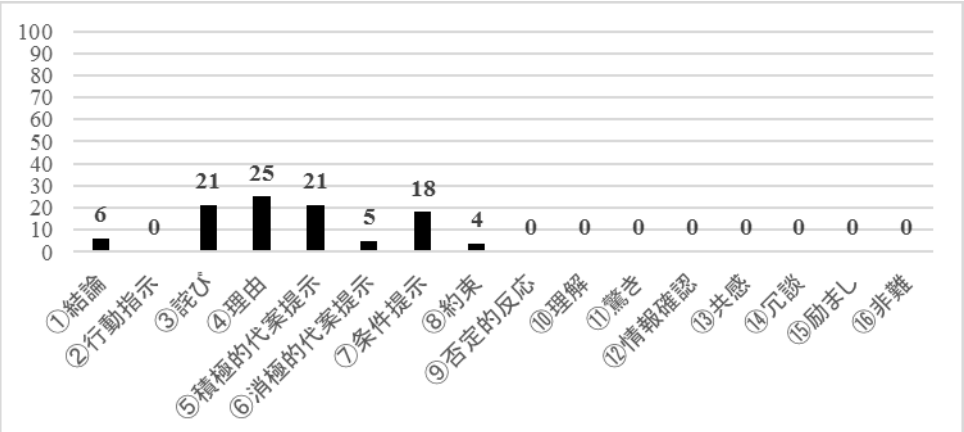
{共感}を冒頭の意味公式とする回答例

TF 48：หนูอยากช่วยนะคะ แต่ไม่ว่างทั้งวันเลย พอดีติดธุระ เดี๋ยวหนูไปถามเพื่อนให้นะคะ

(和訳：本当に手伝いたいですが、時間的に余裕がありません。ちょうど用事があります。とりあえず、友達に聞いてみますね。)

5.1.2.4 場面 1：最後の意味公式(TT)

最後の意味公式は{結論}{詫び}{理由}{積極的代案提示}{消極的代案提示}{条件提示}{約束}が用いられており、全部で 7 種類の意味公式が見られた。出現率を図 16 に示す。



〈直接的断り〉のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯
{理由}25% (理由が最後の意味公式であるパターン 20%)
(意味公式が一つしかないパターン　5%)

図 16　TT: 場面 1(親・目上・重)の断りの最後の意味公式の出現率

TT が用いた最後の意味公式は出現率の高い順に④{理由}(25%)、そのうち{理由}が最後の意味公式であるパターンが 20%、意味公式が一つしかないパターンが 5%である。続いて、⑤{積極的代案}と③{詫び}(それぞれ 21%)、⑦{条件提示}(18%)、①{結論}(6%)、⑥{消極的代案提示}(5%)、⑧{約束}(4%)であり、JJ の 59%と比べると大幅に少ない。このうち{結論}は<直接的断り>、その他は<間接的断り>のカテゴリーに分類される。以下は回答例である。

{結論}を最後の意味公式とする回答例

TM 49：เอ่อ คือว่าวันอาทิตย์นี้ต้องไปธุระกับทางบ้านอะครับ เกรงว่าจะมาช่วยงานไม่ได้

(和訳：{否定的反応}(ʔəə)、実は、日曜日は家族と用事で外出しなければなりません。
手伝いに来られない恐れがあります。)

{詫び}を最後の意味公式とする回答例

TF 24：วันอาทิตย์นี้หรอคะ รู้สึกว่าหนูจะติดธุระค่ะ คงไม่สามารถมาช่วยได้ ขอโทษด้วยนะคะ

(和訳：日曜日ですか？用事がある気がします。手伝いに来られないでしょう。
すみません。)

{理由}を最後の意味公式とする回答例

TF 11：พอดีวันอาทิตย์นี้หนูไม่ว่างค่ะ มีธุระกับครอบครัวค่ะ

(和訳：日曜日は、ちょうど時間的に余裕がありません。家族と用事があります。)

{積極的代案提示}を最後の意味公式とする回答例

TM 33：ขอโทษครับ อาทิตย์นี้ผมติดธุระ เดี๋ยวจะลองถามเพื่อนนะครับ ว่ามีใครว่างบ้าง

(和訳：すみません、今週の日曜日に用事があります。とりあえず、友達に聞いてみますね。)

{消極的代案提示}を最後の意味公式とする回答例

TM41：เอ่อ พอดีว่าต้องรีบกลับต่างจังหวัด ยังไงอาจารย์ลองหาคนอื่นนะครับ

(和訳：[間投詞](ʔəə)、ちょうど急いで帰郷しなければなりません。

他の人に聞いてもらえませんか。)

{条件提示}を最後の意味公式とする回答例

TF 36：คือว่าวันอาทิตย์นี้หนูไม่สะดวกนะคะ ต้องไปทำธุระกับแม่ เอาเป็นหลังเลิกเรียนได้ไหมคะ

(和訳：実は日曜日は都合が悪いです。母と用事で外出しなければなりません。

よかったら、授業が終わった後の時間はいかがですか？)

{約束}を最後の意味公式とする回答例

TF 3：อาจารย์คะ พอดีหนูต้องไปทำธุระกับครอบครัว ขอโทษค่ะ ไว้คราวหน้ามีงานหนูจะไปช่วยนะคะ

(和訳：[呼びかけ](ʔaa caan khá)、ちょうど、家族と用事で外出しなければなりません。

すみません。次回の機会があれば、手伝わせていただきます。)

意味公式の出現パターンを見ると、TT は{結論}をほとんど述べないで、理由の内容に加えて、その理由に関して詳しく説明をする傾向が見られる。フォローアップインタビューによると、「理由を詳しく説明しないと、相手に理由を十分に理解してもらえない恐れがある」という回答が多かった。さらに、{積極的代案提示}で発話を終了させることも少なくない。どうしても手伝いに行けない場合は、手伝いたい気持ちを表すために、自分ができる範囲で「人を探す」などの手伝いの方法を提案する。{詫び}を最後に述べるのは、「相手に謝りの気持ちを伝えたいから」である。ほかにも、「相手に再依頼されたくないので{詫び}の言葉で協力できないことを伝える」と答えた人もいる。また、{条件提示}を最後に述べる理由は、「親しい教員の依頼だから、断ると教員が困るかもしれないので、手伝いたい気持ちを表すために自分ができる条件を提示する」ということである。

5.1.2.5 場面 1：まとめ(TT)

場面 1 の親しい目上からの重い依頼に対する断りの場面において、TT の使用した意味公式の傾向をまとめる。

(1) 意味公式の全体における出現率のうち、出現率が 50%以上の意味公式は、高い順に{理由}(98%)、{詫び}(51%)、{否定的反応}(50%)である。

(2) 意味公式の出現順序のパターンについては、多くのバリエーションが見られたのが特徴である。最も出現率が高い前半部は{否定的反応}+{理由}…である。後半部は…{理由}+{積極的代案提示}、続いて…{理由}+{詫び}と…{理由}+{条件提示}である。

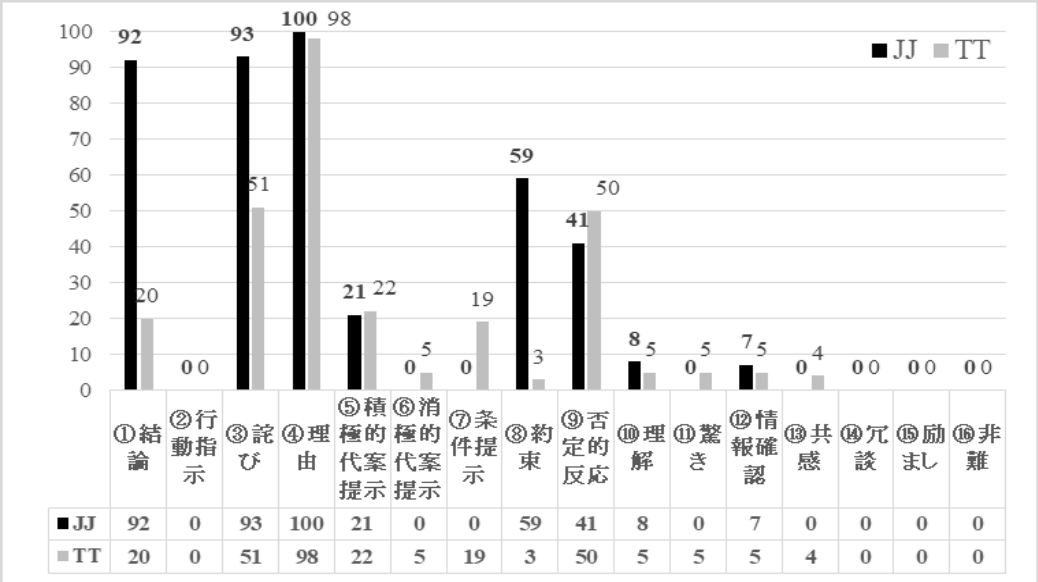
(3) 断りの冒頭の意味公式は、{否定的反応}の出現率が突出している。

(4) 断りの最後の意味公式は、{理由}{詫び}{積極的代案提示}{条件提示}の 4 つの意味公式をほぼ同程度の頻度で使われている。

5.1.3 場面 1：日本語母語話者とタイ語母語話者の断りの意味公式の比較

本項では、場面 1(親・目上・重)での JJ と TT の断りにおける意味公式を比較する。

5.1.3.1 場面 1：意味公式の出現率の比較 (JJ・TT)



	①結論	②行動指示	③詫び	④理由	⑤積極的代案提示	⑥消極的代案提示	⑦条件提示	⑧約束	⑨否定的反応	⑩理解	⑪驚き	⑫情報確認	⑬共感	⑭冗談	⑮励まし	⑯非難
JJ	92	0	93	100	21	0	0	59	41	8	0	7	0	0	0	0
TT	20	0	51	98	22	5	19	3	50	5	5	5	4	0	0	0

〈直接的断り〉のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯
JJ{詫び}93%　(一回の詫び 75%、二回の詫び 18%)
TT{詫び}51% (一回の詫び 50%、二回の詫び 1%)
JJ{理由}100% (理由の内容 94%、理由の内容+付加説明 6%)
TT{理由}98% (理由の内容 13%、理由の内容+付加説明 85%)
JJ{否定的反応}41%　(間投詞 41%)
TT{否定的反応}50%　(間投詞 26%、呼びかけ 23%、間投詞+呼びかけ 1%)

図 17　JJ・TT: 場面 1(親・目上・重)の断りの出現率

親しい目上からの重い依頼を断る場面において、JJ の出現率が 50%以上の意味公式は、高い順に④ {理由}(100%)、そのうち[理由の内容](94%)、[理由の内容+付加説明](6%)、続いて③{詫び}(93%)、①{結論}(92%)、⑧{約束}(59%)である。

一方、TT の出現率が 50%以上の意味公式は、高い順に④{理由}(98%)、そのうち[理由の内容](13%)、[理由の内容+付加説明](85%)、次に③{詫び}(51%)、{否定的反応}(50%)である。最も出現率が低い意味公式は⑧{約束}(3%)であり、JJ の 59%と比べると大幅に少ない。出現率を見ると、JJ は<直接的断り>のカテゴリーの意味公式を使用する傾向が強いことが分かった。

JJ と TT の間に意味公式の出現率に有意差があるかどうかカイ二乗検定を用いて検定した。なお、{理由}については[理由の内容]と[理由の内容+付加説明]に分けて検定した。検定した結果、有意差が見られた ($\chi 2(12)=239.79$, $p<.05$)。残差分析を行ったところ、有意差が見られたのは JJ の{結論}(Z=5.23)、{詫び}(Z=5.41) 、[理由の内容](Z=6.40)、{約束}(Z=5.93)と、TT の[理由の内容+付加説明](Z=10.13)、{条件提示}(Z=5.39)である。

JJ と TT の相違点を以下の 4 点にまとめる。

(1) JJ は{結論}{詫び}{約束}3 つの意味公式を多用しているが、TT は使用が少ない。{結論}の使用に関する JJ のフォローアップインタビューで得られた意見では、「断りの際、誤解されないように手伝えるかどうかについての{結論}を明言することが重要である。」「{結論}だけを述べると、冷たく聞こえるかもしれないので、最後に{詫び}または{約束}で発話を終了させると失礼にならない」ということである。しかし、TT の意見では「{結論}を明言することは相手の気持ちを傷つける言い方である」ということである。 次に、{詫び}の使用に関する TT の意見では、「{詫び}を述べるかどうかは相手との親疎関係による。親しい相手に{詫び}を述べるのは距離を置くことになると感じる」ということである。。最後に、{約束}の使用に関する TT の意見では、 「{約束}は今回協力できない印象が強く、明確な断りだと解釈されるかもしれない。一回約束すると、都合により次回手伝えなければ、自分への信頼性が失われてしまう恐れがある」ということである。以上の意見により、{約束}の使用が少ないことが分かった。

(2) TT における{条件提示}の出現率は約 2 割である。しかし、JJ には全く見られなかった。

(3) JJ は間投詞で否定的な反応をするのに対して、TT は間投詞のほかに、呼びかけで否定的な反応をすることもある。また、間投詞と呼びかけともに否定的な反応をする回答もある。間投詞(26%)と呼びかけ(23%)の使用頻度は同程度である。

(4) 両者とも{理由}の出現率が高い。ただし JJ は[理由の内容]のみを述べる傾向が見られるが、TT は[理由の内容+付加説明]を述べるという特徴がある。TT はどのような用事、約束があるか詳しく説明し、家族・親戚または自分の学業を理由とする場合が多い。TT の意見では、「{理由}を詳しく説明しないと、断りの意志が十分に伝わらず、相手に納得してもらえない恐れがある」という。一方、JJ は理由を簡潔に述べ、スポーツの練習・アルバイトを理由とすることが多い。JJ の意見では、「断りの際に、理由の説明は大事であるが、詳しく説明すると言い訳のように聞こえる」と思うらしい。

フォローアップインタビューからは、両者の考え方の違いが、断り方に影響を与えている可能性が窺える。

5.1.3.2 場面 1：意味公式の出現順序のパターンの比較 (JJ・TT)

次に、JJ と TT の意味公式の出現順序のパターンを比較する。

表 23　JJ・TT: 場面 1(親・目上・重)の 意味公式の出現順序のパターン

*印がついているパターンは、JJ と TT、双方に見られるパターンである。

{理由}が中間にあるパターン			
出現順序のパターンの前半部(JJ)	出現率	出現順序のパターンの前半部(TT)	出現率
*{詫び}+{理由}...	46%	**{否定的反応}+{理由}... {否定的反応(間)}+{理由}... {否定的反応(呼)}+{理由}... {否定的反応(間)+(呼)}+{理由}...	43% (22%) (20%) (1%)
{否定的反応}+{詫び}+{理由}... {否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}...	26% (26%)	*{詫び}+{理由}...	8%
{理解}+{理由}...	7%	***{結論}+{理由}...	4%
**{否定的反応}+{理由}... {否定的反応(間)}+{理由}...	6% (6%)	{情報確認}+{詫び}+{理由}...	3%
{否定的反応}+{情報確認}+{詫び}+{理由}... {否定的反応(間)}+{情報確認}+{詫び}+{理由}...	5% (5%)	{驚き}+{理由}...	3%
{否定的反応}+{理解}+{詫び}+{理由}... {否定的反応(間)}+{理解}+{詫び}+{理由}...	4% (4%)	{共感}+{理由}...	2%
{情報確認}+{理由}...	2%		
***{結論}+{理由}...	1%		
合計	**97%**	合計	**63%**
出現順序のパターンの後半部(JJ)	出現率	出現順序のパターンの後半部(TT)	出現率
...{理由}+{結論}+{約束}	36%	...{理由}+{積極的代案提示}	17%
...{理由}+{結論}+{詫び}+{積極的代案提示}	15%	...{理由}+{詫び}****	12%
...{理由}+{約束}*	13%	...{理由}+{条件提示}	12%
...{理由}+{結論}**	12%	...{理由}+{結論}**	5%
...{理由}+{結論}+{詫び}***	7%	...{理由}+{消極的代案提示}	5%
...{理由}+{結論}+{詫び}+{約束}	7%	...{理由}+{結論}+{詫び}***	3%
...{理由}+{結論}+{積極的代案提示}	6%	...{理由}+{詫び}+{条件提示}	2%
...{理由}+{詫び}****	1%	...{理由}+{詫び}+{積極的代案提示}	3%
		...{理由}+{詫び}+{約束}	3%
		...{理由}+{約束}*	1%
合計	**97%**	合計	**63%**
{理由}が冒頭の意味公式であるパターン			
JJ	出現率	TT	出現率
{理由}+{結論}+{約束}	3%	{理由}+{詫び}	5%
		{理由}+{詫び}+{条件提示}	2%
		{理由}+{結論}+{詫び}	1%
		{理由}+{条件提示}	1%
		{理由}+{積極的代案提示}	1%
合計	**3%**	合計	**10%**

{理由}が最後の意味公式であるパターン			
JJ	**出現率**	**TT**	**出現率**
なし	0%	{詫び}+{結論}+{理由}	5%
		{詫び}+{理由}	2%
		{理解}+{理由}	3%
		{理解}+{共感}+{理由}	2%
		{否定的反応}+{理由} {否定的反応(間)}+{理由} {否定的反応(呼)}+{理由}	6% (3%) (3%)
		{驚き}+{情報確認}+{理由}	2%
合計	**0%**	**合計**	**20%**
{理由}なしのパターン			
JJ	**出現率**	**TT**	**出現率**
なし	0%	{詫び}+{結論}	1%
		{否定的反応} +{結論}+{条件提示} {否定的反応(間)+(呼)} +{結論} +{条件提示}	1% (1%)
合計	**0%**	**合計**	**2%**
意味公式が一つしかないパターン			
JJ	**出現率**	**TT**	**出現率**
なし	0%	{理由}	5%
合計	**0%**	**合計**	**5%**
総合計	**100%**	**総合計**	**100%**

JJ の出現率の高い順に並べると、{理由}が中間にあるパターンが 97%、続いて{理由}が冒頭の意味公式であるパターンが 3%である。一方、TT は{理由}が中間にあるパターンが 63%、{理由}が最後の意味公式であるパターンが 20%、{理由}が冒頭の意味公式であるパターンが 10%、意味公式が一つしかないパターンが 5%、{理由}なしのパターンが 2%である。

JJ と TT の意味公式の出現順序のパターンの相違点を以下の 3 点にまとめる。

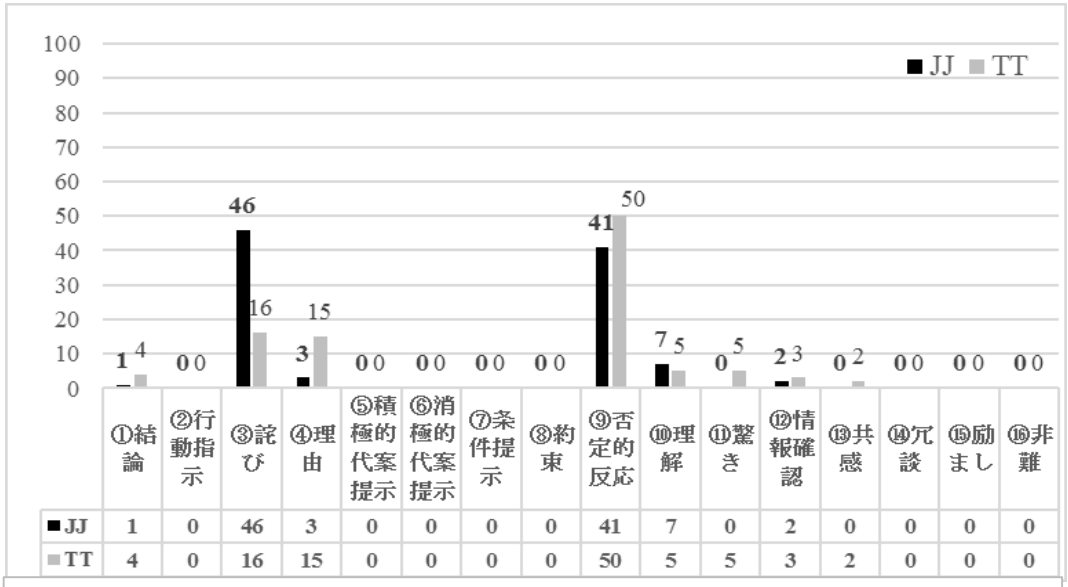
(1) 出現順序のパターンの前半部を見ると、JJ は{詫び}+{理由}..の出現率が最も高い(46%)のに対して、TT は出現率がわずか 8%である。そして、JJ の出現率が二番目に高いパターン{否定的反応}+{詫び}+{理由}..(26%)は、TT には全く見られなかった。逆に、TT の出現率が最も高いパターンは{否定的反応} +{理由}…(43%)である。しかし、JJ の{否定的反応} +{理由}…の出現率はわずか 6%である。

(2) 出現順序のパターンの後半部について、JJ は…{理由}+{結論}+{約束}の出現率が最も高い(36%)のに対して、TT には全く見られなかった。逆に、TT は…{理由}+ {積極的代案提示}の出現率が最も高い(17%)。続いて…{理由} +{詫び}と…{理由}+{条件提示}(それぞれ 12%)の順となっている。

(3) {理由}が中間にあるパターン以外、JJ は{理由}が冒頭の意味公式であるパターンの出現率がわずか 3%に留まっている。一方、TT は{理由}が冒頭の意味公式であるパターンの出現率が 10%である。特に、TT は、{理由}が最後の意味公式であるパターンは出現率が 20%を超える。全体的な傾向を見ると、TT の方が JJ より、意味公式の出現順序のパターンのバリエーションが豊富であることが明らかになった。

5.1.3.3 場面 1：冒頭の意味公式の比較 (JJ・TT)

次に、断りの冒頭の意味公式を考察する。TT と JJ が用いた冒頭の意味公式の出現率を図 18 に示す。



〈直接的断り〉 のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉 のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯
JJ{否定的反応}41%　(間投詞 41%)
TT{否定的反応}50%　(間投詞 26%、呼びかけ 23%、間投詞+呼びかけ 1%)

図 18　JJ・TT: 場面 1(親・目上・重)の断りの冒頭の意味公式の出現率

JJ が用いた冒頭の意味公式の出現率が高いのが③{詫び}(46%)、続いて⑨{否定的反応}(41%)であり、最も出現率が低い冒頭の意味公式は①{結論}(1%)である。しかし、TT は⑨{否定的反応}(50%)の出現率が突出している。そのうち[間投詞]が 26%、[呼びかけ]が 23%、[間投詞]+[呼びかけ]が 1%である。続いて、③{詫び}(16%)、④{理由}(15%)の順になっている。

TT と JJ が用いた冒頭の意味公式の相違点を以下の 2 点にまとめる。

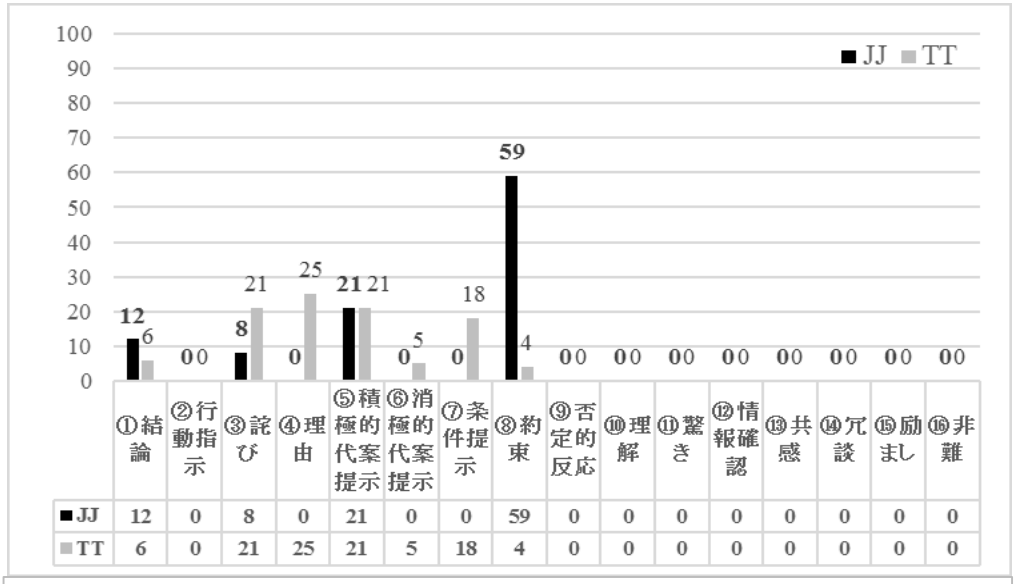
(1) JJ は断りの際に、まず{詫び}や{否定的反応}を言ってから、断りの{理由}を述べる特徴がある。それに対して、TT は{否定的反応}を多く使用する特徴がある。つまり、JJ は<間接的断り>と<付加表現>のカテゴリーの意味公式を、TT は<付加表現>のカテゴリーの意味公式を使用する傾向が見られる。

(2) JJ は断りの際、まず{理由}を説明することがほとんどない(3%)。しかし、TT は JJ より{理由}を 5 倍も多く使用している(15%)。

フォローアップインタビューによると、JJ がまず{詫び}を述べるのは、相手への失礼を避けるためであった。反対に、TT が{詫び}を述べるかどうかは相手との親疎関係が強い影響を及ぼしているようである。親しい目上に対しては{詫び}を述べると、距離があるように感じられるので、{詫び}を先に言う回答が少ないのである。

5.1.3.4 場面 1：最後の意味公式の比較(JJ・TT)

最後に、断りの最後の意味公式を考察する。出現率を図 19 に示す。



〈直接的断り〉 のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉 のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯
TT{理由}25% (理由が最後の意味公式であるパターン 20%)
(意味公式が一つしかないパターン　5%)

図 19　JJ・TT: 場面 1(親・目上・重)の断りの最後の意味公式の出現率

JJ が用いた最後の意味公式は出現率の高い順に⑧{約束}(59%)、⑤{積極的代案提示}(21%)、①{結論}(12%)、③{詫び}(8%)となっている。しかし、TT が用いた最後の意味公式の出現率の高い順に④{理由}(25%)、そのうち{理由}が最後の意味公式であるパターンが 20%、意味公式が一つしかないパターンが 5%である。⑤{積極的代案}と③{詫び}(それぞれ 21%)、⑦{条件提示}(18%)、①{結論}(6%)、⑥{消極的代案提示}(5%)、⑧{約束}(4%)という順になっている。

TT と JJ が用いた最後の意味公式の相違点は、JJ は{約束}で発話を終了させるのが特徴であるのに対して、TT は{約束}の出現率がわずか 4%であり、JJ の 59%と比べると大幅に少ない。そ

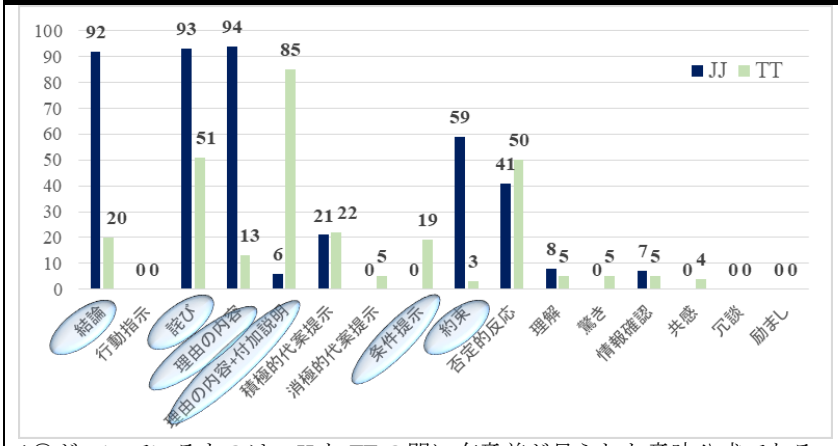
れに対して、TT は{理由}{詫び}{積極的代案提示}{条件提示}の 4 つの意味公式をほぼ同程度の頻度で使っている傾向が見られる。

意味公式の出現パターンを見ると、JJ は{理由}を述べた後、{結論}を述べ、最後に{約束}で発話を終了させる回答が多く見られる。意見を聞いたところ、「{結論}のまま発話を終了させると、相手を手伝えないという印象が強く残るので、相手との関係を維持するために次回への協力を述べる」ということである。

一方、TT の意見では、「断りの時際、理由を詳しく説明することが大事だ」という。「理由を詳しく説明しないと、相手に理由を十分に理解してもらえない恐れがある」ためである。{理由}以外の特徴としては、TT における{条件提示}が挙げられる。「親しい教員の依頼だから、断ると教員が困るかもしれないので、手伝いたい気持ちを表すために自分ができる条件を提示する」という。今回自分ができる条件を提示するのは JJ に見られない特徴である。

5.1.3.5 場面 1：JJ と TT が用いた意味公式の使用のまとめ

意味公式の出現率



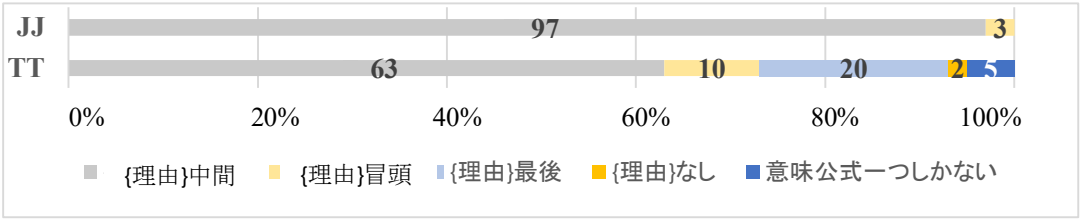
カイ二乗検定を用いて検定した結果、有意差が見られた($\chi2(12)=239.79$, $p<.05$)。

残差分析を行ったところ、有意差が見られたのは
JJ の{結論}(Z=5.23)
{詫び}(Z=5.41)、
[理由の内容](Z=6.40)
{約束}(Z=5.93)

TT の[理由の内容+付加説明](Z=10.13)
{条件提示}(Z=5.39)

*○がついているものは、JJ と TT の間に有意差が見られた意味公式である。

意味公式の出現順序のパターン

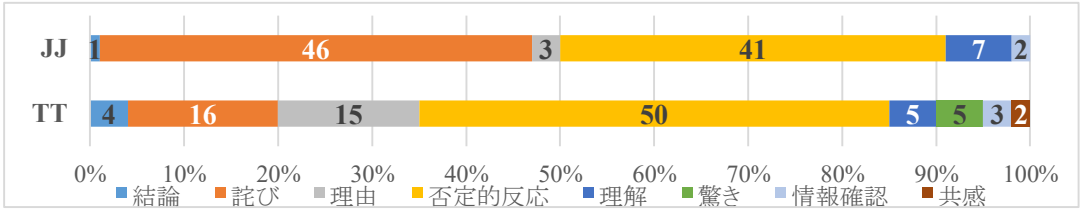


(1) **JJ** は{理由}が中間にあるパターンの出現率が突出している(97%)。一方で、{理由}が冒頭の意味公式であるパターンの出現率はわずか 3%である。また、**TT** の特徴は出現順序のパターンのバリエーションが多いことである。

(2) 出現順序のパターンの前半部を見ると、**JJ** は{詫び}+{理由}..の出現率が最も高い(46%)のに対して、**TT** は{否定的反応}+{理由}..(26%)である。

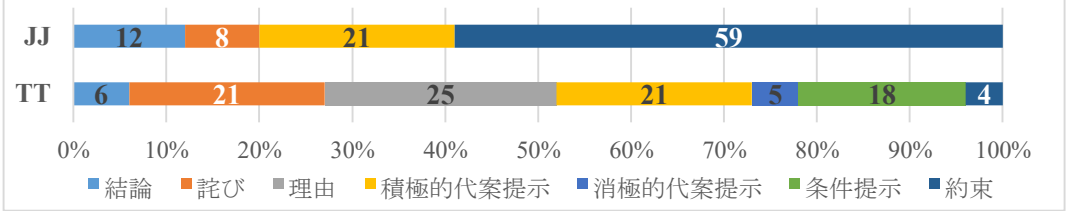
(3) 出現順序のパターンの後半部について、**JJ** は…{理由}+{結論}+{約束}の出現率が最も高い(36%)のに対して、**TT** は…{理由}+ {積極的代案提示}の出現率が最も高い(17%)。

冒頭の意味公式



JJ は{詫び}(46%){否定的反応}(41%)の 2 つの意味公式を多く使用している。一方で、**TT** は{否定的反応}(50%)の使用が目立っている。

最後の意味公式



JJ は{約束}で発話を終了させるパターンが多く見られる。
一方で、**TT** は{理由}{詫び}{積極的代案提示}{条件提示}の 4 つの意味公式を使用する傾向が見られる。

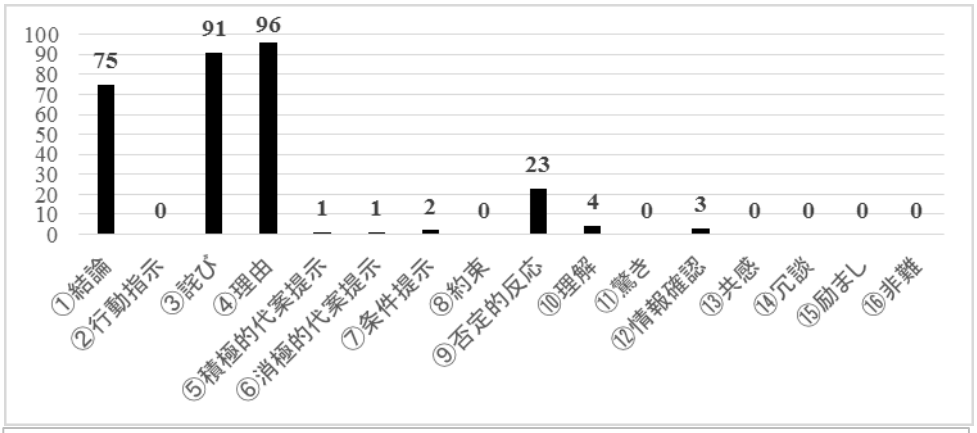
5.2 場面 2：親しくない目上からの重い依頼

本節では、場面 2 において JJ と TT が用いた意味公式の出現率のデータを基に考察する。この場面は「親しくない教員に日曜日にオープンキャンパスの準備を依頼される」場面を設定した。

5.2.1 場面 2：日本語母語話者の使用した意味公式

5.2.1.1 場面 2：意味公式の出現率(JJ)

まず、意味公式の出現率を考察する。JJ が用いた意味公式の出現率を図 20 に示す。



〈直接的断り〉のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯
JJ{詫び}91%　(一回の詫び 72%、二回の詫び 19%)
JJ{理由}96%　(理由の内容 93%、理由の内容+付加説明 3%)
JJ{否定的反応}23%　(間投詞 23%、呼びかけ 0%)

図 20　JJ: 場面 2(疎・目上・重)の断りの意味公式の出現率

親しくない目上からの重い依頼を断る場面において、出現率が 50%以上の意味公式は、高い順に④{理由}(96%)、③{詫び}(91%)、①{結論}(75%)である。このうち{結論}は<直接的断り>、その他は<間接的断り>のカテゴリーに分類される。

以下、分類したカテゴリーに従って個々の意味公式について具体的な説明を加える。<直接的断り>のカテゴリーに分類される①{結論}については、言語形式の違いにより JJ の{結論}の言い方は 6 つのパターンに分類される。

(1)イ・ナ形容詞(+終助詞)

用いられた表現：「無理です」「行くことが難しいです」「厳しいですね」

(2)動詞の可能形の否定形

用いられた表現：「準備に行けません」「お力になれなせん」「手伝えことができません」
「お手伝いすることができないです」

(3)(副詞+)動詞の可能形の否定形/イ・ナ形容詞+モダリティ形式

用いられた表現：「行けないと思います」「行けない可能性があります」
「どうしても行けそうにないです」「手伝えそうにありません」
「準備に参加できそうにないです」「ちょっと行けそうにないです」
「ちょっと無理そうです」「難しそうです」

(4) 副詞+動詞の可能形の否定形/イ・ナ形容詞+モダリティ形式

用いられた表現：「少し無理そうです」「少し難しそうです」

(5) 副詞+動詞の可能形の否定形/イ・ナ形容詞 (+終助詞)

用いられた表現：「ちょっと厳しいです」「ちょっと難しいですね」

(6)断りの意味を表す動詞

用いられた表現：「お断りします」「今回は控えさせていただけないでしょうか」
「断らせていただきます」

回答例は以下の通りである。

JM 19：すいません。日曜日ちょっと予定がありまして、行けそうにないです。
申し訳ないんです。

JF 13：すみません。予定が入っているので、断らせていただきます。

JF 23：申し訳ないのですが、その日は外せない用事が入っておりまして、お力になれず、
すみません。

次に<間接的断り>のカテゴリーにおける出現率が二番目に高い③{詫び}の出現率は 91%で、そのうち一回の詫びが 72%、二回の詫びが 19%である。詫びの表現としては「すみません」「すいません」「本当にすみません」「申し訳ないです」「申し訳ないですが」「申し訳ありません」「申し訳ございません」「ごめんなさい」「ごめんやけど」が使われている。回答例は以下の通りである。

一回の詫び

JF 14：ごめんなさい、日曜日予定入れちゃってるんですが、

JM 18：ああ、すみません。予定があるので、行けません。

JF 37：えーと、日曜日はテコンドーの大会があって、厳しいですね。本当にすみません。

二回の詫び

JF 30：申し訳ありません。その日私は都合が悪いので、お手伝いすることができません。
ごめんなさい。

JF 42：すみません、その日は予定が入っておりまして、無理なんですが。本当にすみません。

続いて、最も出現率が高い意味公式、④{理由}の出現率は 96%で、そのうち[理由の内容]が 93%、[理由の内容+付加説明]が 3%である。出現率を見ると、JJ が[理由の内容]だけを述べる傾向があることが明らかになった。JJ は「用事」「先約」「予定」「都合が悪い」を理由として説明する場合が多い。ただ、どんな「用事」「予定」があるかについての詳しい説明はない。回答例は以下の通りである。

[理由の内容]

JM 10：ああ、すみません。他の予定があるので、日曜日は厳しいです。

JM 17：すみません。日曜日はあいにく用事がありますので、手伝うことができません。申し訳ないです。

JF 6： ああ、申し訳ありません。日曜日は都合が悪くて、行けません。すみません。

[理由の内容+付加説明]

JM 35：申し訳ないですが、その日は用事があって、ちょっと時間がないです。

JF 12：ごめんなさい。予定が入ってしまって、忙しいです。

次に、⑤{積極的代案提示}⑥{消極的代案}のそれぞれの出現率が 1%である。⑦{条件提示}の出現率が 2%である。以上 3 つの意味公式の出現率は非常に低い。つまり、親しくない相手に対して、⑤{積極的代案提示}⑥{消極的代案}⑦{条件提示}はほとんど用いられないと言える。回答例は以下の通りである。

{積極的代案提示}

JF 22：すみません、日曜日は予定がありまして、人手が足りないようでしたら、知り合いに尋ねてみましょうか？

{消極的代案提示}

JM 33：用事があるので、別の人に頼んでいただけますか？

{条件提示}

JM 20：日曜日ですか？日曜日は先約がありまして、申し訳ないですが、お手伝いは他の日にお願いできませんか？

JM 31：すいません、その日は予定が入っているので、できないです。月曜日から金曜日までの間だったら、空いてますけど。

最後に<付加表現>のカテゴリーについては、最も出現率が高い順に⑨{否定的反応}(23%)、⑩{理解}(4%)、⑫{情報確認} (3%)である。回答例に用いられた表現は以下の通りである。

{否定的反応}

用いられた表現：「ああ」「うーん」

JM 14： ああ、日曜日は部活の試合があり、都合が合わないので、今回は控えさせて
いただけないでしょうか。

JM 44： うーん、日曜日は用事があります。手伝いに行けそうにないです。すみません。

{理解}

用いられた表現：「そうですか」

JM 15：そうですか。日曜日は先約があります。ちょっと難しいですね。

{情報確認}

JF 41：日曜日ですか？ちょっと先約があります。

5.2.1.2 場面 2：意味公式の出現順序のパターン(JJ)

続いて、意味公式の出現順序のパターンを考察する。回答 に見られた意味公式の出現順序のパターンを表 24 に示す。

表 24 JJ: 場面 2(疎・目上・重)の 意味公式の出現順序のパターン

冒頭の意味公式	{理由}が中間にあるパターン	出現率
{詫び}	{詫び}+{理由}+{結論}	33%
	{詫び}+{理由}+{結論}+{詫び}	14%
	{詫び}+{理由}+{結論}+{条件提示}	1%
	{詫び}+{理由}+{積極的代案提示}	1%
	小計	**49%**
{否定的反応}	{否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}+{結論}	6%
	{否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}+{結論}+{詫び}	6%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{結論}+{詫び}	6%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{結論}+{詫び}	2%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{結論}	1%
	小計	**21%**
{理解}	{理解}+{理由}+{結論}	2%
	{理解}+{理由}+{結論}+{詫び}	2%
	小計	**4%**
{情報確認}	{情報確認}+{理由}+{詫び}	1%
	{情報確認}+{理由}+{詫び}+{条件提示}	1%
	小計	**2%**
合計		**76%**
冒頭の意味公式	**{理由}が冒頭の意味公式であるパターン**	**出現率**
{理解}	{理由}+{詫び}	2%

	{理由}+{結論}	2%
	{理由}+{結論}+{詫び}	2%
	{理由}+{消極的代案提示}	1%
合計		**7%**
冒頭の意味公式	**{理由}が最後の意味公式であるパターン**	**出現率**
{詫び}	{詫び}+{理由}	13%
	小計	**13%**
{否定的反応}	{否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}	2%
	小計	**2%**
{情報確認}	{情報確認}+{理由}	1%
	小計	**1%**
合計		**16%**
冒頭の意味公式	**{理由}なしのパターン**	**出現率**
{結論}	{結論}+{詫び}	1%
合計		**1%**
冒頭の意味公式	**意味公式が一つしかないパターン**	**出現率**
	なし	0%
総合計		**100%**

意味公式の出現順序のパターンは、全部で 21 パターンに分類される。{理由}が中間にあるパターンは 13 パターンで、出現率が 76%である。続いて、{理由}が最後の意味公式であるパターンは 3 パターンで、出現率が 16%である。{理由}が冒頭の意味公式であるパターンは 4 パターンで、出現率が 7%である。意味公式が一つしかないパターンは 1 パターンで、出現率が 1%である。

意味公式の出現パターンのうち、出現率の高い上位 2 位のパターンは{詫び}+{理由} +{結論} (33%)、続いて{詫び}+{理由}+{結論}+{詫び} (14%)である。全体的な傾向を見ると、どのようなパターンでも{詫び}{理由}{結論}の 3 つの意味公式が頻繁に出現していることが分かった。回答例は以下の通りである。

{詫び}+{理由}+{結論}

JF 10：すみません、予定が入っているので、行けません。

{詫び}+{理由}+{結論}+{詫び}

JM 11：すみません、その日は予定があって、行けません。ごめんなさい。

続いて、{理由}が中間にあるパターンについて、出現順序のパターンの前半部と後半部を表25に示す。

表 25　JJ: 場面 2(疎・目上・重)の 意味公式の出現順序のパターンの前半部と後半部

出現順序のパターンの前半部	出現率	出現順序のパターンの後半部	出現率
{詫び}+{理由}...	49%	…{理由}+{結論}	42%
{否定的反応}+{詫び}+{理由}... ({否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}...)	12% (12%)	…{理由}+{結論}+{詫び}	28%
{否定的反応}+{理由}... ({否定的反応(間)}+{理由}...)	9% (9%)	…{理由}+{詫び}	3%
{理解}+{理由}...	4%	…{理由}+{詫び}+{条件提示}	2%
{情報確認}+{理由}...	2%	…{理由}+{積極的代案提示}	1%
合計	**76%**	**合計**	**76%**

最も出現率の高い意味公式の出現順序のパターンの前半部は{詫び}+{理由}…(49%)であり、約半数の協力者がこのパターンを使うことが明らかになった。後半部は...{理由}+{結論}(42%)が一番出現率が高く、続いて…{理由}+{結論}+{詫び}(28%)である。回答例は以下の通りである。

{詫び}+{理由}…

JM 46：すみませんが、予定がありまして、お手伝いできません。

{否定的反応}+{詫び}+{理由}…

JM 6：ああ、申し訳ございません。その日は用事があります。手伝いに行けません。
すみません。

…{理由}+{結論}

JM 2：申し訳ないですが、日曜日は先約が入ってしまって、準備に行けません。

…{理由}+{結論}+{詫び}

JF 28：すみません。その日は予定が入っているため、厳しいです。すみません。

5.2.1.3 場面 2：冒頭の意味公式(JJ)

次に、冒頭の意味公式を考察する。冒頭に見られた意味公式は{結論}{詫び}{情報確認}{理由}{否定的反応}{理解}が用いられており、全部で 6 種類の意味公式が見られた。出現率を図 21 に示す。

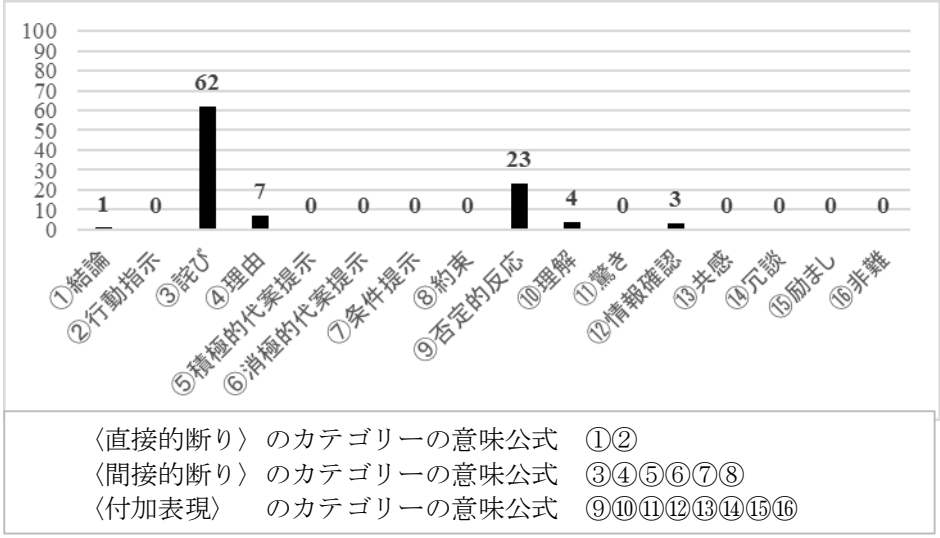


図 21 JJ: 場面 2(疎・目上・重)の断りの冒頭の意味公式の出現率

JJ が用いた冒頭の意味公式の中で、③{詫び}(62%)の出現率が突出している。一方、最も出現率が低い冒頭の意味公式は①{結論}(1%)である。このうち{結論}は<直接的断り>、{詫び}は<間接的断り>、その他は<付加表現>のカテゴリーに分類される。以下は本調査に見られた回答例である。

{詫び}を冒頭の意味公式とする回答例

JM 8： 申し訳ないですが、その日はちょっと都合が悪いので、行けません。

JF 20：すみません、その日は別の用事があります。無理です。

{否定的反応}を冒頭の意味公式とする回答例

JM 10： ああ、すみません。他の予定があるので、日曜日は厳しいです。

JF 44 ：あのう、日曜日は外せない予定があるので、行けないです。申し訳ないです。

{理由}を冒頭の意味公式とする回答例

JM 24：日曜日に予定があるので、行けません。

JF 6 ：日曜日はスポーツの練習があるので、手伝いに行けないと思います。また次の機会があれば、ご協力させていただきます。

{理解}を冒頭の意味公式とする回答例

JM 15：そうなんですか。日曜日は先約があります。ちょっと難しいです。

JF 2　：そうですか。日曜日は用事があります。行けなさそうです。申し訳ございません。

{情報確認}を冒頭の意味公式とする回答例

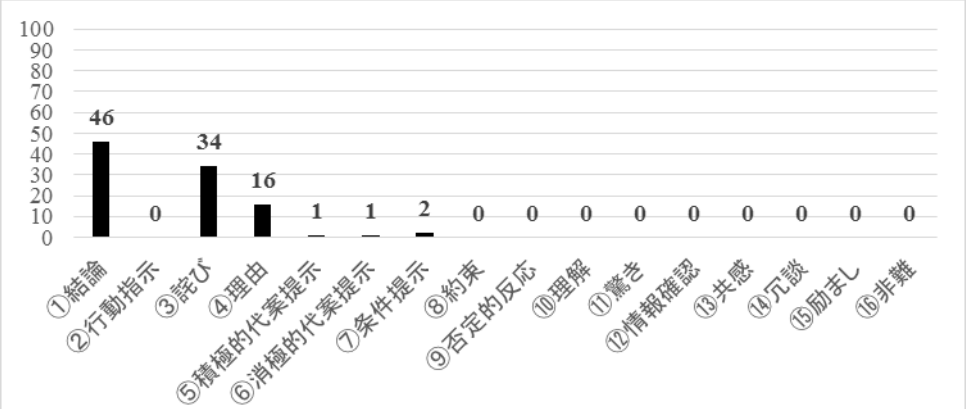
JF 41：日曜日ですか？ちょっと先約があります。

{結論}を冒頭の意味公式とする回答例

JM 40：ちょっときついですね。日曜日は用事があります。すみません。

5.2.1.4 場面 2：最後の意味公式(JJ)

最後の意味公式は{消極的代案提示}{積極的代案提示}{条件提示}{詫び}{約束}{結論}が用いられており、全部で 6 種類の意味公式が見られた。出現率を図 20 に示す。



〈直接的断り〉のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯
{理由}16% (理由が最後の意味公式であるパターン 16%)

図 22　JJ: 場面 2(疎・目上・重)の断りの最後の意味公式の出現率

JJ が用いた最後の意味公式のうち、出現率が高いのは①{結論}(46%)、②{詫び}(34%)、④{理由}(16%)である。このうち{結論}は<直接的断り>、その他は<間接的断り>のカテゴリーに分類される。以下は本調査に見られた回答例である。

{結論}を最後の意味公式とする回答例

JM 18：ああ、すみません。予定があるので、行けません。

{詫び}を最後の意味公式とする回答例

JF 23：申し訳ないのですが、その日は外せない用事が入っておりまして、お力になれず、すみません。

{理由}を最後の意味公式とする回答例

JM 35：申し訳ないですが、その日は用事があって、ちょっと時間がないです。

{積極的代案提示}を最後の意味公式とする回答例

JF 22：すみません、日曜日は予定がありまして、人手が足りないようでしたら、知り合いに尋ねてみましょうか？

{消極的代案提示}を最後の意味公式とする回答例

JM 33：用事があるので、別の人に頼んでいただけますか？

{条件提示}を最後の意味公式とする回答例

JM 31：すいません、その日は予定が入っているので、できないです。月曜日から金曜日までの間だったら、空いてますけど。

JJ は{理由}を述べた後、{結論}で発話を終了させる回答が多く見られる。フォローアップインタビューによると、「{結論}は断りに必須の要素である。断りを明言しないと、手伝ってくれると思われてしまうかもしれない」ということである。

ほかにも、{詫び}で発話を終了させる人も少なくない。回答を見ると、{詫び}を最後に述べる人の半分は、{詫び}を二回述べることが分かった。彼らの意見では、「親しくない人のほうが親しい人より断りに十分気をつかわなければならない。{詫び}を一回だけを述べるのでは{詫び}の気持ちが伝わらないので、最後にもう一度詫びの言葉で誤りの気持ちを表明しないといけない」ということである。

また、{理由}で発話を終了させる人の意見では、「親しい人なら、気をつかわずに{結論}を述べることができるが、親しくない人の場合は{結論}を述べると、相手の気持ちを傷つける可能性がある」と思うので、理由を明確に説明することによって、丁寧になると思った人もいる。

さらに、{消極的代案提示}{積極的代案提示}{条件提示}を述べる人がいるが、頻度は低い。というのは「親しくない人とは関係が薄いので、手伝わなくてもいい」と思ったためである。

5.2.1.5 場面 2：まとめ(JJ)

場面 2 の親しくない目上からの重い依頼に対する断りの場面において、JJ の使用した意味公式の傾向をまとめる。

(1) 意味公式の全体における出現率のうち、出現率が 50%以上の意味公式は、高い順に{理由}(96%)、{詫び}(91%)、{結論}(75%)である。

(2) 意味公式の出現順序のパターンについては、{詫び}+{理由}+{結論}が最も出現率が高い。そして、{理由}が中間にあるパターンのうち、最も出現率が高い前半部は{詫び}+{理由}…で、後半部は…{理由}+{結論}である。さらに、{理由}が冒頭の意味公式であるパターンと、{理由}が最後の意味公式であるパターン、この 2 種類のパターンの出現率が 20%を超える。

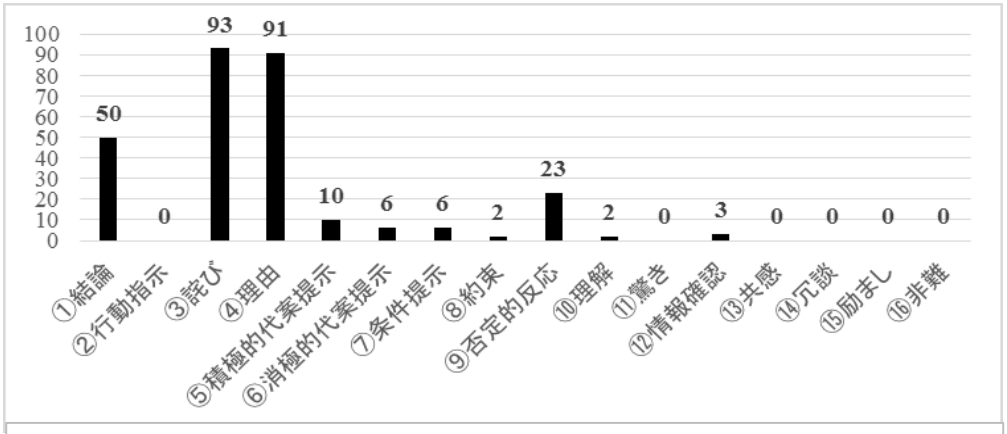
(3) 断りの冒頭の意味公式は{詫び}の出現率が突出している。それに対して、{結論}{情報確認}{理解}{否定的反応}{理由}が先に出現することはほとんど見られない。

(4) 断りの最後の意味公式は、約半数の協力者が{結論}で発話を終了させる傾向がある。

5.2.2 場面 2：タイ語母語話者の使用した意味公式

5.2.2.1 場面 2：意味公式の出現率(TT)

まず、意味公式の出現率を考察する。出現率を図 23 に示す。



〈直接的断り〉のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯
TT{詫び}93%　(一回の詫び 74%、二回の詫び 19%)
TT{理由}91%　(理由の内容 60%、理由の内容+付加説明 31%)
TT{否定的反応}23%　(間投詞 16%、呼びかけ 6%、間投詞+呼びかけ 1%)

図 23　TT: 場面 2(疎・目上・重)の断りの意味公式の出現率

親しくない目上からの重い依頼を断る場面において、出現率が 50%以上の意味公式は、高い順に③{詫び}(93%)、次に④{理由}(91%)、①{結論}(50%)である。一方、最も出現率が低いのは①{理解}⑧{約束}(それぞれ 2%)である。このうち{結論}は<直接的断り>、その他は<間接的断り>のカテゴリーに分類される。

以下、個々の意味公式について具体的な説明を加える。<直接的断り>のカテゴリーに分類される①{結論}の出現率が 50%で、半分の協力者が{結論}を述べることが分かった。言語形式の違いにより TT の{結論}の言い方は非断定的表現と断定的表現に分類される。

非断定的表現：動詞の前に、モダリティ形式「คง (khoŋ)」(だろう)、「อาจจะ (ʔàat ca)」(かもしれない)、「เกรงว่าจะ (kreeŋ wâa ca)」(恐れがある)　が付加される。回答例は以下の通りである。

TM 17：อาจารย์ครับ *ผมคงไปช่วยงานไม่ได้ คือว่าผมมีธุระกับทางบ้านอะครับ ขอโทษด้วยครับ

(和訳：[呼びかけ](ʔaa caan khráp)、準備の手伝いに行けないでしょう。実は家族と用事があります。すみません。)

*ผม(phŏm 私(男性))、คง(khoŋ だろう)、ไปช่วยงาน(pai chûai ŋaan 手伝いに行く)、ไม่ได้(mâi dâi 不可能を表す否定詞)

TF 47：ขอโทษค่ะอาจารย์ *หนูอาจจะมาช่วยไม่ได้ค่ะ ติดธุระกับครอบครัว

(和訳：すみません。準備の手伝いに来られないかもしれません。家族と用事があります。)

*หนู(nŭu 私(女性))、อาจจะ(ʔàat ca かもしれない)、มาช่วย(maa chûai 手伝いに来る)、ไม่ได้(mâi dâi 不可能を表す否定詞)、ค่ะ(khâ 女性の文末丁寧詞)

TM 49：เอ่อ คือว่าวันอาทิตย์นี้ต้องไปธุระกับทางบ้านอะครับ *เกรงว่าจะมาช่วยงานไม่ได้

(和訳：{否定的反応}(ʔəə)、実は日曜日は家族と用事で外出しなければなりません。手伝いに来られない恐れがあります。)

* เกรงว่าจะ (kreeŋ wâa ca 恐れがある)、มาช่วยงาน(maa chûai ŋaan 手伝いに来る)、ไม่ได้(mâi dâi できない(不可能を表す否定詞))

断定的表現：動詞に不可能を表す否定詞「ไม่สามารถ... ได้」 (mâi saamaat…dâi) 、「ไม่ได้」(...mâi dâi) (することができない) が付加される。回答例は以下の通りである。

TF 37：ขอโทษค่ะ *หนูไม่สามารถมาช่วยงานได้ค่ะ เนื่องจากมีธุระกับครอบครัวค่ะ

(和訳：すみません。手伝いに来ることができません。家族と用事があるからです。)

*หนู(nŭu 私(女性))、ไม่สามารถ... ได้(mâi saamaat…dâi 不可能を表す否定詞)、มาช่วยงาน(maa chûai ŋaan 手伝いに来る)、ค่ะ(khâ 女性の文末丁寧詞)

TM 27：ขอโทษครับ *วันนั้นไปไม่ได้ครับ เพราะต้องไปทานข้าวกับที่บ้าน

(和訳：すみません。その日は行けません。家族と食事に行かなければならないからです。)

*วันนั้น(wan nán その日)、ไป(pai 行く)、ไม่ได้(mâi dâi 不可能を表す否定詞)、ครับ(khráp 男性の文末丁寧詞)

ほかにも、TT は「ไม่สะดวก (mâi sadùak) 」(都合が悪い)を多く使っている。

TF 32：ขอโทษค่ะ *ไม่สะดวกจริงๆ

(和訳：すみません。どうしても都合が悪いです。)

*ไม่(mâi 否定詞)、สะดวก (sadùak 都合がいい)、 จริงๆ(ciŋ ciŋ どうしても(強調詞))

次に＜間接的断り＞のカテゴリーの中で最も出現率が高い意味公式は③{詫び}(93%)であり、そのうち一回の詫びが 74%、二回の詫びが 19%である。詫びの表現として、タイ語にはいろいろなバリエーションがある。例えば、「ขอโทษนะครับ/คะ」(khɔ̌ɔthôot ná khráp/ khá)「ขอโทษด้วยครับ/ค่ะ」(khɔ̌ɔthôot dûai khráp/ khâ)「ขอโทษครับ/ค่ะ」(khɔ̌ɔthôot khráp/ khâ)「ขอโทษจริงๆครับ/

ค่ะ」(khɔ̌ɔthôot ciŋ ciŋ khráp/ khâ)「ขอโทษทีครับ/ค่ะ」(khɔ̌ɔthôot thii khráp/ khâ)「ขอโทษครับ/ค่ะ อาจารย์」(khɔ̌ɔthôot khráp/ khâ ʔaa caan)「ต้องขอโทษจริงๆครับ/ค่ะ」(tɔ̂ŋ khɔ̌ɔthôot ciŋ ciŋ khráp/ khâ)が使われている。

これらの表現は、以下の表現の組み合わせからなる。(1)ขอโทษ(khɔ̌ɔthôot) ขอโทษด้วย (khɔ̌ɔthôot dûai) ขอโทษที(khɔ̌ɔthôot thii) ต้องขอโทษ(tɔ̂ŋ khɔ̌ɔthôot) (詫びの言葉) 、(2)จริงๆ(ciŋ ciŋ 本当に(強調詞))、(3)นะ(ná 文末詞)、(4)ครับ/ คะ ค่ะ(khráp/ khá khâ 文末丁寧詞)、(5)อาจารย์(ʔaa caan 先生(呼称詞))

一回の詫び

TF 47：ขอโทษค่ะอาจารย์ พอดีหนูติดธุระ ขอช่วยงานวันอื่นแทนได้มั้ยค่ะ

(和訳：すみません、ちょうど用事があります。他の日に手伝わせてもらってもいいですか。)

TM 46：ต้องขอโทษจริงๆนะครับ พอดีวันอาทิตย์หนูมีธุระจริงๆ ผมคงมาช่วยงานไม่ได้

(和訳：本当に申し訳ないですが、日曜日はちょうど用事があります。手伝いに来られないでしょう。)

二回の詫び

TM 26：ต้องขอโทษจริงๆครับ พอดีผมติดธุระด่วน ขอโทษด้วยครับ

(和訳：本当に申し訳ないですが、ちょうど急用があります。すみません。)

続いて、④{理由}は出現率が 91%、そのうち[理由の内容]が 60%、[理由の内容+付加説明]が 31%である。ただし、[理由の内容]だけを述べる場合も、[理由の内容+付加説明]を述べる場合も、どのような用事があるか詳しく説明することが多く見られる。よく挙げられた理由は「家族・親戚」「自分の学業」に関係があることである。回答例は以下の通りである。

[理由の内容] (家族・親戚に関係がある理由)

TM 4：วันอาทิตย์หรอครับ ผมต้องไปเยี่ยมญาติกับครอบครัวอะครับ อาจารย์ลองถามคนอื่นดูนะครับ ผมต้องขอโทษด้วยครับ

(和訳：日曜日ですか？家族と親戚を訪問しなければなりません。
他の友達に聞いてみてもらえませんか？申し訳ございません。)

TM 6：ขอโทษจริงๆครับ พอดีผมต้องไปขายของช่วยแม่ที่ตลาด จึงมาไม่ได้จริงๆครับ

(和訳：本当にすみません。ちょうど市場で母の物売りを手伝わなければなりません。
だから、どうしても手伝いに来られません。)

TM 12：วันอาทิตย์นี้หรอครับ ผมไม่สะดวกครับ มีธุระต้องพาพ่อแม่ไปโรงพยาบาล

(和訳：今週の日曜日ですか？都合が悪いです。両親を病院へ連れて行かなければなりません。)

TM 33：พอดีวันอาทิตย์ต้องพายายไปทำบุญอะครับ

(和訳：ちょうど日曜日に徳を積みに、おばあさんを連れてお寺へ行かなければなりません。)

TM 34：พอดีวันอาทิตย์นี้ ต้องไปช่วยญาติขนของครับ ขอโทษนะครับ

(和訳：ちょうど今週の日曜日には、親戚の引っ越しを手伝いに行かなければなりません。すみません。)

TF 3：อาจารย์คะ คือต้องกลับต่างจังหวัดวันอาทิตย์นี้ค่ะ ขอโทษจริงๆนะคะ

(和訳：[呼びかけ](ʔaa caan khá)、実は日曜日に、帰郷しなければなりません。本当にすみません。)

[理由の内容] (自分の学業に関係がある理由)

TM 37：อาจารย์ครับ ผมมีเรียนภาษาอังกฤษทุกวันอาทิตย์ครับ นี่ก็อาทิตย์สุดท้ายแล้วด้วย จะมีสอบก่อนปิดคอร์สอะครับ ขอโทษนะครับ

(和訳：[呼びかけ](ʔaa caan khráp)、毎週日曜日に英語を勉強しています。今週は授業の最後ですが、期末テストがあります。すみません。)

TM 38：อ๋อครับ พอดีวันอาทิตย์มีติวสอบให้รุ่นน้องครับ นัดไว้แล้ว

(和訳：{理解}(ʔɔ̌ɔ khráp)。ちょうど、日曜日に後輩にテスト勉強を教えることになっています。もう約束しています。)

TM 47: ขอโทษด้วยนะครับ ผมไม่สะดวก เนื่องจากมีการบ้านเยอะ และต้องส่งวันจันทร์ ต้องขอโทษจริงๆ

(和訳：すみません。都合が悪いです。月曜日に出さなければならない宿題がたくさんあるからです。本当に申し訳ございません。)

TF 41：ขอโทษนะคะอาจารย์ หนูมีนัดติวหนังสือกับเพื่อนคะ หนูเรียนไม่ค่อยรู้เรื่อง ขอโทษจริงๆนะคะ

(和訳：すみません。友達とテスト勉強の約束があります。勉強があまりできていません。本当にすみません。)

また、出現率の低い意味公式については、⑤{積極的代案提示}の出現率は 10%、⑥{消極的代案提示}と⑦{条件提示}はそれぞれ 6%、⑧{約束}は 2%である。回答例は以下の通りである。

{積極的代案提示}

TM 3：ขอโทษครับ พอดีผมมีธุระ แต่เดี๋ยวผมจะถามเพื่อนๆให้นะครับ

(和訳：すみません。ちょうど用事があります。とりあえず、僕が友達に聞いてみますね。)

{消極的代案提示}

TF 12：ขอโทษนะคะอาจารย์ พอดีวันอาทิตย์หนูมีธุระ อาจารย์ลองไปถามเพื่อนคนอื่นดูมั้ยคะ

(和訳：すみません。日曜日はちょうど用事があります。他の人に聞いてみてもらえませんか。)

{条件提示}

TF 33：ขอโทษค่ะอาจารย์ พอดีหนูติดธุระ ขอช่วยงานวันอื่นแทนได้มั้ยคะ

(和訳：すみません。ちょうど用事があります。よかったら、別の日に手伝わせてもらってもいいですか。)

TM 10：ผมไม่ว่างอะครับ ช่วยทำตอนเย็นหลังเลิกเรียนได้ไหมครับ

(和訳： 時間的に余裕がありません。よかったら、授業が終わった後の時間、手伝わせてもらってもいいですか。)

{約束}

TM 28：ขอโทษครับ เนื่องจากมีธุระทางบ้านครับ งั้นปีหน้าผมมาช่วยละกันนะครับ

(和訳：すみません。家族と用事があるからです。また、来年手伝わせていただきます。)

TF 18：ต้องขอโทษจริงๆค่ะ หนูไม่สามารถมาช่วยงานได้ เนื่องจากมีธุระจำเป็นจริงๆ ขอโทษค่ะ ถ้ามีโอกาสครั้งหน้า สามารถมาช่วยเรื่องงานได้ค่ะ

(和訳：本当に申し訳ないですが、手伝いに来ることができません。大切な用事があるからです。すみません。次回機会があれば、よろしくお願いします。)

最後に<付加表現>のカテゴリーについては、最も出現率が高い順に、最も出現率が高い順に⑨{否定的反応}が 23%であり、そのうち[間投詞]が 16%、[呼びかけ]が 6%、[間投詞]+[呼びかけ]が 1%、⑫{情報確認}が 3%、⑩{理解}が 2%である。回答例は以下の通りである。

{否定的反応}

用いられた表現：間投詞「คือ..」(khɯɯ)、「เอ่อ」(ʔəə)

TM 20： คือ...คงไปช่วยไม่ได้จริงๆ ครับ วันนั้นผมมีธุระพอดีอะครับ ขอโทษนะครับ

(和訳：{否定的反応}(khɯɯ)、どうしても手伝いに行けないでしょう。
その日はちょうど用事があります。すみません。)

TF 21： เอ่อ พอดีมีธุระกับทางบ้าน ขอโทษด้วยนะคะ

(和訳：{否定的反応}(ʔəə)、ちょうど家族と用事があります。すみません

用いられた表現：呼びかけ 「อาจารย์」(先生)

TF 43： *อาจารย์คะ พอดีว่าวันนั้นหนูมีธุระกับครอบครัวค่ะ หนูขอโทษนะคะ

(和訳：[呼びかけ](ʔaa caan khá)、その日はちょうど家族と用事があります。すみません。)

* อาจารย์(ʔaa caan 先生)、คะ(khá女性の文末丁寧詞)

用いられた表現：間投詞+呼びかけ「เอ่อ อาจารย์ครับ 」

TM 39：*เอ่อ อาจารย์ครับ พรุ่งนี้ผมมาไม่ได้อะครับ ต้องไปทำธุระกับแม่ ขอโทษด้วยนะครับ

(和訳：{否定的反応}(ʔəə̀ ʔaa caan khráp)、明日は来られません。お母さんと用事で外出しなければなりません。すみません。)

*เอ่อ(ʔəə̀ 否定的の間投詞)、 อาจารย์(ʔaa caan 先生)、ครับ(khráp 男性の文末丁寧詞)

{理解}

用いられた表現：間投詞「อ่อ」(ɔ̀ɔ)「อ๋อ」(ʔɔ̌ɔ)

TM 19：อ่อ..ขอโทษครับ ผมไม่ว่างจริงๆ มีธุระครับ

(和訳：{理解}(ʔɔ̀ɔ)。すみません。時間的に余裕が全くありません。用事があります。)

TM 38：อ๋อ ขอโทษครับ พอดีติดธุระพอดีครับ

(和訳：{理解}(ʔɔ̌ɔ)。すみません。ちょうど用事があります。)

{情報確認}

TF 36：วันอาทิตย์หรอคะ คือหนูมีธุระค่ะอาจารย์

(和訳：日曜日ですか？実は用事があります。)

5.2.2.2 場面 2：意味公式の出現順序のパターン(TT)

続いて、意味公式の出現順序のパターンを考察する。回答 に見られた意味公式の出現順序のパターンを表 26 に示す。

表 26　TT: 場面 2(疎・目上・重)の 意味公式の出現順序のパターン

冒頭の意味公式	{理由}が中間にあるパターン	出現率
{詫び}	{詫び}+{理由}+{結論}+{詫び}	8%
	{詫び}+{理由}+{結論}	7%
	{詫び}+{理由}+{詫び}	6%
	{詫び}+{理由}+{積極的代案提示}	5%
	{詫び}+{理由}+{条件提示}	2%
	{詫び}+{理由}+{消極的代案提示}	2%
	{詫び}+{理由}+{結論}+{積極的代案提示}	2%
	{詫び}+{結論}+{理由}+{詫び}	2%
	{詫び}+{理由}+{約束}	1%
	{詫び}+{結論}+{理由}+{詫び}+{約束}	1%
	小計	**36%**
{否定的反応}	{否定的反応(間)}+{理由}+{詫び}	5%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{詫び}+{条件提示}	2%
	{否定的反応(呼)}+{理由}+{詫び}	3%
	{否定的反応(呼)}+{結論}+{理由}+{詫び}	3%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{消極的代案提示} +{詫び}	2%
	{否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}+{結論}	2%
	{否定的反応(間)}+{結論}+{理由}+{詫び}	2%
	{否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}+{詫び}	1%
	{否定的反応(間)+(呼)}+{結論}+{理由}+{詫び}	1%
	{否定的反応(間)}+{情報確認}+{結論}+{理由}+{詫び}	1%
	小計	**22%**
{結論}	{結論}+{理由}+{詫び}	4%
	小計	**4%**
{情報確認}	{情報確認}+{理由}+{消極的代案提示}+{詫び}	1%
	小計	**1%**
合計		**63%**
冒頭の意味公式	**{理由}が冒頭の意味公式であるパターン**	**出現率**
{理由}	{理由}+{詫び}	3%
	{理由}+{詫び}+{積極的代案提示}	2%
	{理由}+{条件提示}	1%
	{理由}+{消極的代案提示}	1%
	{理由}+{結論}+{詫び}	1%
合計		**8%**
冒頭の意味公式	**{理由}が最後の意味公式であるパターン**	**出現率**
{詫び}	{詫び}+{理由}	7%
	{詫び}+{結論}+{理由}	6%
	小計	**13%**

{情報確認}	{情報確認}+{理由}	1%
	{情報確認}+{結論}+{理由}	1%
	小計	**2%**
{理解}	{理解}+{詫び}+{理由}	2%
	小計	**2%**
合計		**17%**
冒頭の意味公式	**{理由}なしのパターン**	**出現率**
{詫び}	{詫び}+{結論}	4%
	{詫び}+{結論}+{詫び}	1%
	{詫び}+{結論}+{条件提示}	1%
	{詫び}+{結論}+{積極的代案提示}	1%
	小計	**7%**
{結論}	{結論}+{詫び}	2%
	小計	**2%**
合計		**9%**
冒頭の意味公式	**意味公式が一つしかないパターン**	**出現率**
{理由}	{理由}	3%
合計		**3%**
総合計		**100%**

意味公式の出現順序のパターンは、全部で 38 パターンに分類される。JJ の 21 パターンに比べて、TT のほうがパターンのバリエーションが多いことが分かった。

38 パターンのうち、{理由}が中間にあるパターンは 22 パターンで、出現率が 63%である。続いて、{理由}が最後の意味公式であるパターンは 17 パターンで、出現率が 17%である。{理由}なしのパターンは 5 パターンで、出現率が 9%である。{理由}が冒頭の意味公式であるパターンは 5 パターンで、出現率が 8%である。最後に、意味公式が一つしかないパターンは 1 パターンで、出現率が 3%である。

意味公式の出現順序のパターンのうち、最も出現率の高い上位 2 位のパターンは{詫び} +{理由}+{結論}+{詫び}(8%)、続いて{詫び}+{理由}と{詫び}+{理由}+{結論}(それぞれ 7%)である。全体的な傾向を見ると、各々のパターンの出現率が平均して低い一方で、多くのバリエーションが見られたのが特徴である。回答例は以下の通りである。

{詫び}+{理由}+{結論}+{詫び}

TM 24：ขอโทษครับ ผมไม่ว่าง คงมาไม่ได้ ขอโทษจริงๆครับ

(和訳：すみません、時間的に余裕がありません。来られないでしょう。本当にすみません。)

{詫び}+{理由}

TM 7：ขอโทษครับ ไม่ว่างครับ มีธุระ

(和訳：すみません。時間的に余裕がありません。用事があります。)

{詫び}+{結論}+{理由}

TF 47：ขอโทษค่ะอาจารย์ หนูอาจจะมาช่วยไม่ได้ค่ะ ติดธุระกับครอบครัว

(和訳：すみません。準備の手伝いに来られないかもしれません。

家族と用事があります。)

続いて、{理由}が中間にあるパターンについて、出現順序のパターンの前半部と後半部を表27に示す。

表 27　TT: 場面 2(疎・目上・重)の 意味公式の出現順序のパターンの前半部と後半部

出現順序のパターンの前半部	出現率	出現順序のパターンの後半部	出現率
{詫び}+{理由}...	33%	…{理由}+{詫び}	28%
{否定的反応}+{理由}... ({否定的反応(間)}+{理由}...) ({否定的反応(呼)}+{理由}...)	12% (9%) (3%)	…{理由}+{結論}	9%
{否定的反応}+{結論}+{理由}... ({否定的反応(呼)}+{結論}+{理由}...) ({否定的反応(間)}+{結論}+{理由}...) ({否定的反応(間)+(呼)}+{結論}+{理由}...)	6% (3%) (2%) (1%)	…{理由}+{結論}+{詫び}	8%
{結論}+{理由}...	4%	…{理由}+{積極的代案提示}	5%
{詫び}+{結論}+{理由}...	3%	…{理由}+{消極的代案提示} +{詫び}	3%
{否定的反応}+{詫び}+{理由}... ({否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}...)	3% (3%)	…{理由}+{消極的代案提示}	2%
{否定的反応(間)}+{情報確認}+{結論}+{理由}...	1%	…{理由}+{条件提示}	2%
{情報確認}+{理由}...	1%	…{理由}+{詫び}+{条件提示}	2%
		…{理由}+{結論} +{積極的代案提示}	2%
		…{理由}+{詫び}+{約束}	1%
		…{理由}+{約束}	1%
合計	**63%**	**合計**	**63%**

最も出現率の高い意味公式の出現順序のパターンの前半部は{詫び}+{理由}…(33%)、後半部は...{理由}+{詫び}(28%)である。回答例は以下の通りである。

{詫び}+{理由}…

TF 48：ขอโทษจริงๆค่ะอาจารย์ วันอาทิตย์หนูติดธุระทั้งวันเลยค่ะ ยังไงเดี๋ยวหนูลองถามเพื่อนๆให้ค่ะ

(和訳：本当に申し訳ございません。日曜日は一日中用事があります。

とりあえず、私が友達に聞いてみますね。)

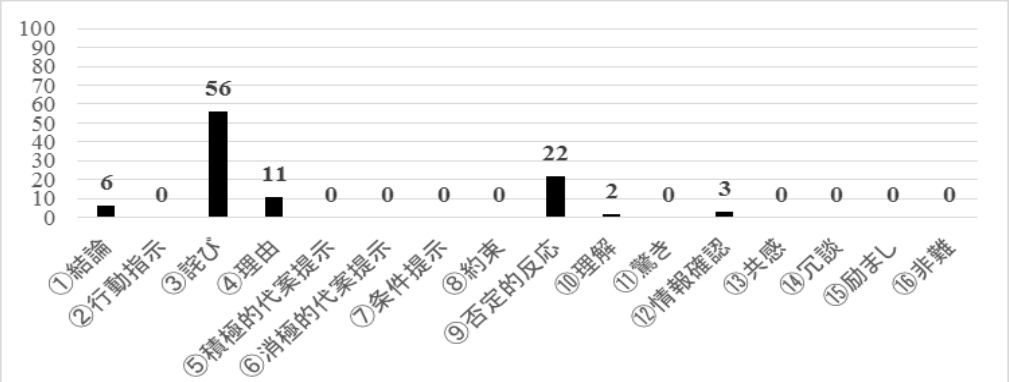
…{理由}+{詫び}

TM 40：เอ่อ.. วันนั้นผมมีธุระพอดี ต้องขอโทษจริงๆ

(和訳：{否定的反応}(ʔəə)、その日はちょうど用事があります。本当にすみません。)

5.2.2.3 場面 2：冒頭の意味公式(TT)

次に、冒頭の意味公式を考察する。冒頭に見られた意味公式は{結論}{詫び}{理由}{否定的反応}{理解}{情報確認}が用いられており、全部で 6 種類の意味公式が見られた。出現率を図 22 に示す。



〈直接的断り〉のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯
TT{否定的反応}22%　(間投詞 15%、呼びかけ 6%、間投詞+呼びかけ 1%)

図 24　TT: 場面 2(疎・目上・重)の断りの冒頭の意味公式の出現率

TT が用いた冒頭の意味公式は、③{詫び}(56%)の出現率が突出している。続いて、⑨{否定的反応}22%である。そのうち[間投詞]が 15%、[呼びかけ]が 6%、[間投詞]+[呼びかけ]が 1%である。次に、④{理由}(11%)である。他の意味公式は出現率が 10%以下である。{結論}は<直接的断り>、{詫び}と{理由}は<間接的断り>、その他は<付加表現>のカテゴリーに分類される。以下は回答例である。

{詫び}を冒頭の意味公式とする回答例

TM 7：ขอโทษครับ ผมมีธุระครับ ไม่สะดวก

(和訳：すみません、用事があります。都合が悪いです。)

{否定的反応}を冒頭の意味公式とする回答例

TF 44：อาจารย์คะ วันอาทิตย์หนูไม่สะดวกค่ะ เพราะไปธุระกับที่บ้าน ขอโทษจริงๆ ค่ะ

(和訳：[呼びかけ](ʔaa caan khá)、日曜日は都合が悪いです。家族と用事があるから。
本当にすみません)

{理由}を冒頭の意味公式とする回答例

TF 6： พอดีวันอาทิตย์มีธุระค่ะ ต้องขอโทษด้วยนะคะ

(和訳：ちょうど日曜日に用事があります。申し訳ございません。)

{結論}を冒頭の意味公式とする回答例

TF 26：ไม่สะดวกค่ะ ขอโทษด้วยค่ะ

(和訳：都合が悪いです。すみません。)

{情報確認}を冒頭の意味公式とする回答例

TF36：วันอาทิตย์นี้หรอคะ คือหนูมีธุระค่ะอาจารย์

(和訳：日曜日ですか？実は用事があります。)

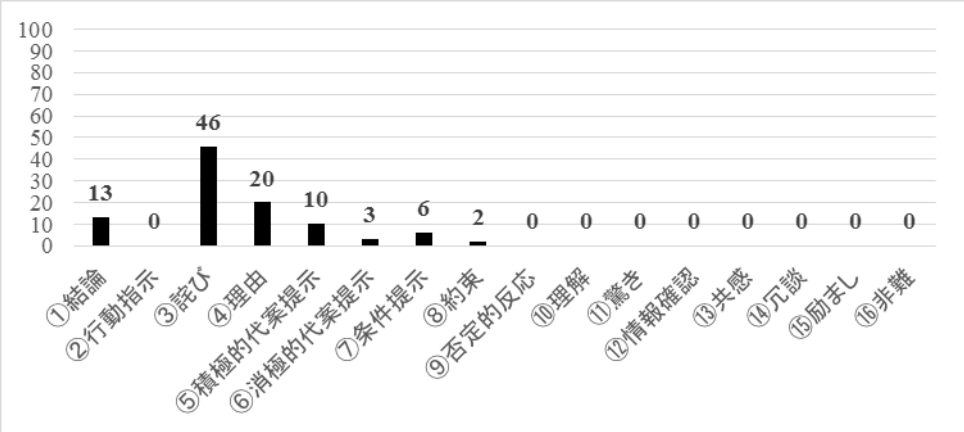
{理解}を冒頭の意味公式とする回答例

TM 38： อ๋อ ขอโทษครับ พอดีติดธุระครับ

(和訳：{理解}(ʔɔ̌ɔ)。すみません。ちょうど用事があります。)

5.2.2.4 場面 2：最後の意味公式(TT)

最後の意味公式は{結論}{詫び}{理由}{積極的代案提示}{消極的代案提示}{条件提示}{約束}が用いられており、全部で 7 種類の意味公式が見られた。出現率を図 25 に示す。



〈直接的断り〉のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯
{理由}20% (理由が最後の意味公式であるパターン 17%)
(意味公式が一つしかないパターン　　3%)

図 25　TT: 場面 2(疎・目上・重)の断りの最後の意味公式の出現率

TT が用いた最後の意味公式は、③{詫び}(46%)の出現率が突出している。続いて、④{理由}は20%である。そのうち{理由}が最後の意味公式であるパターンが 17%、意味公式が一つしかないパターンが 3%である。次に、①{結論}は 13%、JJ の 46%と比べると使用がかなり少ない。⑤{積極的代案提示}は 10%である。他の意味公式は出現率が 10%以下である。このうち{結論}は<直接的断り>、その他は<間接的断り>のカテゴリーに分類される。回答例は以下の通りである。

{結論}を最後の意味公式とする回答例

TF 32：ขอโทษค่ะ ไม่สะดวกจริงๆ

(和訳：すみません。どうしても都合が悪いです。)

{詫び}を最後の意味公式とする回答例

TM 26：ต้องขอโทษจริงๆครับ พอดีผมติดธุระด่วน ขอโทษด้วยครับ

(和訳：本当に申し訳ないですが、ちょうど急用があります。すみません。)

{理由}を最後の意味公式とする回答例

TM 27：ขอโทษครับ วันนั้นไปไม่ได้ครับ เพราะต้องไปทานข้าวกับที่บ้าน

(和訳：すみません。その日は行けません。家族と食事に行かなければならないからです。)

{積極的代案提示}を最後の意味公式とする回答例

TM 3：ขอโทษครับ พอดีผมมีธุระ แต่เดี๋ยวผมจะถามเพื่อนๆให้นะครับ

(和訳：すみません。ちょうど用事があります。とりあえず、僕が友達に聞いてみますね。)

{消極的代案提示}を最後の意味公式とする回答例

TF 12：ขอโทษนะคะอาจารย์ พอดีวันอาทิตย์หนูมีธุระ อาจารย์ลองไปถามเพื่อนคนอื่นดูมั้ยคะ

(和訳：すみません。日曜日はちょうど用事があります。他の人に聞いてみてもらえませんか。)

{条件提示}を最後の意味公式とする回答例

TM 10：ผมไม่ว่างอะครับ ช่วยทำตอนเย็นหลังเลิกเรียนได้ไหมครับ

(和訳： 時間的に余裕がありません。授業が終わった後の時間、手伝わせてもらってもいいですか。)

{約束}を最後の意味公式とする回答例

TM 28：ขอโทษครับ เนื่องจากมีธุระทางบ้านครับ งั้นปีหน้าผมมาช่วยละกันนะครับ

(和訳：すみません。家族と用事があるからです。また、来年手伝わせていただきます。)

フォローアップインタビューによると、断りの最後に{詫び}を述べる理由として次の 3 つの理由が挙げられた。

(1)「相手に礼儀正しい」と思われるためである。

(2){結論}を述べる代わりに{詫び}を用いることによって、協力できないことを婉曲的に伝えるためである。協力できないことをはっきりいうと、相手の気持ちを傷つけたり、相手に思いやりがないと思われたりするかもしれないので、{結論}のかわりに、{詫び}を述べるほうが柔らかく聞こえる。

(3)「相手に再依頼されたくない」ためである。

なお、{消極的代案提示}{積極的代案提示}{条件提示}を述べる人もいるが、その頻度は低い。というのは、「親しくない人とは関係が薄いので、手伝わなくてもいい」と考えるためである。

5.2.2.5 場面 2：まとめ(TT)

場面 2 の親しくない目上からの重い依頼に対する断りの場面において、TT の使用した意味公式の傾向をまとめる。

(1) 意味公式の全体における出現率のうち、出現率が 50%以上の意味公式は、高い順に{詫び}(93%)、次に{理由}(91%)、{結論}(50%)である。

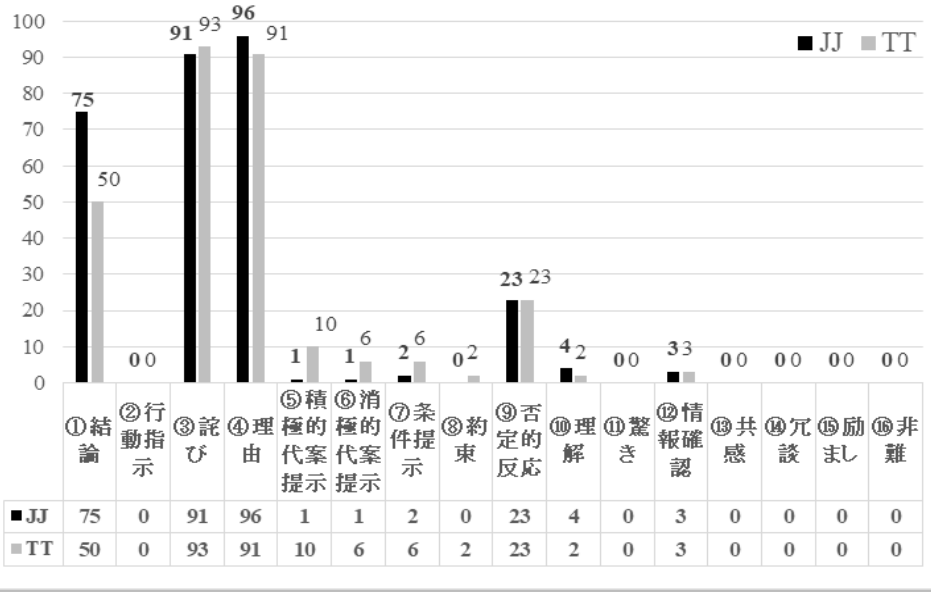
(2) 意味公式の出現順序のパターンについては、多くのバリエーションが見られたのが特徴である。最も出現率が高い前半部は{詫び}+{理由}…である。後半部は…{理由}+{詫び}である。

(3) 断りの冒頭の意味公式と最後の意味公式は、{詫び}の出現率が突出している。

5.2.3 場面 2：日本語母語話者とタイ語母語話者の断りの意味公式の比較

本項では、場面 2(疎・目上・重)での JJ と TT の断りにおける意味公式を比較する。

5.2.3.1 場面 2：意味公式の出現率の比較 (JJ・TT)



	①結論	②行動指示	③詫び	④理由	⑤積極的代案提示	⑥消極的代案提示	⑦条件提示	⑧約束	⑨否定的反応	⑩理解	⑪驚き	⑫情報確認	⑬共感	⑭冗談	⑮励まし	⑯非難
JJ	75	0	91	96	1	1	2	0	23	4	0	3	0	0	0	0
TT	50	0	93	91	10	6	6	2	23	2	0	3	0	0	0	0

〈直接的断り〉のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯
JJ{詫び}91%　(一回の詫び 72%、二回の詫び 19%)
TT{詫び}93%　(一回の詫び 74%、二回の詫び 19%)
JJ{理由}96%　(理由の内容 93%、理由の内容+付加説明 3%)
TT{理由}91%　(理由の内容 60%、理由の内容+付加説明 31%)
JJ{否定的反応}23%　(間投詞 23%、呼びかけ 0%)
TT{否定的反応}23%　(間投詞 16%、呼びかけ 6%、間投詞+呼びかけ 1%)

図 26　JJ・TT: 場面 2(疎・目上・重)の断りの出現率

親しくない目上からの重い依頼を断る場面において、JJ の出現率が 50%以上の意味公式は、高い順に④{理由}(96%)、そのうち[理由の内容](93%)、[理由の内容+付加説明](3%)、続いて③{詫び} (91%)、①{結論}(75%)である。TT において最も出現率が高いのは、③{詫び} (93%)、続いて④{理由}(91%)、そのうち[理由の内容](60%)、[理由の内容+付加説明](31%)、最後に①{結論}(50%)であり、JJ の 75%と比べると使用が少ない。

出現率を見ると、JJ と TT ともに<直接的断り>のカテゴリーに分類される{結論}と、<間接的断り>のカテゴリーに分類される{詫び}{理由}を多く使用することが共通点である。

JJ と TT の間に意味公式の出現率に有意差があるかどうかカイ二乗検定を用いて検定した結果、有意差が見られた ($\chi 2(10)=50.64, p<.05$)。残差分析を行ったところ、有意差が見られたのは JJ の{結論}(Z=2.30)、[理由の内容](Z=2.86)と、TT の[理由の内容+付加説明](Z=5.05)である。

フォローアップインタビューによると、JJ は「直接的断りは相手に誤解されないように大事なこと」である。「断りを明言しないと、手伝ってくれるかどうか分からない。」「{結論}だけを述べると、相手の気持ちを傷つけるかもしれないので、{理由}を説明してから、最後に{結論}を述べるのが丁寧な言い方」だという。一方、TT の意見では「{結論}を述べるかどうかは相手との親疎関係と上下関係によって決まる。親しい目上に対して{結論}を述べると、相手との関係を壊す恐れがあるので、できるだけ直接的断りを避ける」ということである。しかし、「親しくない目上は関係が薄いので、関係悪化を心配することがないため、直接的に断りやすい」ということである。

さらに、JJ と TT では{理由}の出現率に違いがある。JJ は「約束・用事があります」のような[理由の内容]のみを述べる傾向が見られる。一方、TT は相手に理由を納得してもらえるように、どのような用事、約束があるか詳しく説明することが多い。例えば、「月曜日に出す宿題がたくさんあります」「友達とテスト勉強の約束があります。勉強があまりできていないので、友達に教えてもらうことになっています」「約束があります。今、友達が待っています」「宿題がたくさんあります。ちょっと大変です」

5.2.3.2 場面 2：意味公式の出現順序のパターンの比較 (JJ・TT)

次に、JJ と TT の意味公式の出現順序のパターンを比較する。

表 28　JJ・TT: 場面 2(疎・目上・重)の 意味公式の出現順序のパターン

{理由}が中間にあるパターン			
出現順序のパターンの前半部(JJ)	出現率	出現順序のパターンの前半部(TT)	出現率
*{詫び}+{理由}...	49%	*{詫び}+{理由}...	33%
**{否定的反応}+{詫び}+{理由}... ({否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}...)	12% (12%)	***{否定的反応}+{理由}... ({否定的反応(間)}+{理由}...) ({否定的反応(呼)}+{理由}...)	12% (9%) (3%)
***{否定的反応}+{理由}... ({否定的反応(間)}+{理由}...)	9% (9%)	{否定的反応}+{結論}+{理由}... ({否定的反応(呼)}+{結論}+{理由}...) ({否定的反応(間)}+{結論}+{理由}...) ({否定的反応(間)+(呼)}+{結論}+{理由}...)	6% (3%) (2%) (1%)
{理解}+{理由}...	4%	{結論}+{理由}...	4%
{情報確認}+{理由}...	2%	{詫び}+{結論}+{理由}...	3%
		**{否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}... ({否定的反応}+{詫び}+{理由}...)	3% (3%)
		{否定的反応(間)}+{情報確認}+{結論}+{理由}...	1%
		{情報確認}+{理由}...	1%
合計	**76%**	合計	**63%**

出現順序のパターンの後半部(JJ)	出現率	出現順序のパターンの後半部(TT)	出現率
...{理由}+{結論}*	42%	...{理由}+{詫び}***	28%
...{理由}+{結論}+{詫び}**	28%	...{理由}+{結論}*	9%
...{理由}+{詫び}***	3%	...{理由}+{結論}+{詫び}**	8%
...{理由}+{詫び}+{条件提示}****	2%	...{理由}+{積極的代案提示}*****	5%
...{理由}+{積極的代案提示}*****	1%	...{理由}+{消極的代案提示}+{詫び}	3%
		...{理由}+{消極的代案提示}	2%
		...{理由}+{条件提示}	2%
		...{理由}+{詫び}+{条件提示}****	2%
		...{理由}+{結論}+{積極的代案提示}	2%
		...{理由}+{詫び}+{約束}	1%
		...{理由}+{約束}	1%
合計	**76%**	合計	**63%**
{理由}が冒頭の意味公式であるパターン			
JJ	**出現率**	**TT**	**出現率**
{理由}+{詫び}*	2%	{理由}+{詫び}*	3%
{理由}+{結論}	2%	{理由}+{詫び}+{積極的代案提示}	2%
{理由}+{結論}+{詫び}	2%	{理由}+{条件提示}	1%
{理由}+{消極的代案提示}**	1%	{理由}+{消極的代案提示}**	1%
		{理由}+{結論}+{詫び}	1%
合計	**7%**	合計	**8%**
{理由}が最後の意味公式であるパターン			
JJ	**出現率**	**TT**	**出現率**
*{詫び}+{理由}	13%	*{詫び}+{理由}	7%
{否定的反応}+{詫び}+{理由} ({否定的反応(間)}+{詫び}+{理由})	2% (2%)	{詫び}+{結論}+{理由}	6%
**{情報確認}+{理由}	1%	{理解}+{詫び}+{理由}	2%
		{情報確認}+{結論}+{理由}	1%
		**{情報確認}+{理由}	1%
合計	**16%**	合計	**17%**
{理由}なしのパターン			
JJ	**出現率**	**TT**	**出現率**
{結論}+{詫び}*	1%	{詫び}+{結論}	4%
		{詫び}+{結論}+{詫び}	1%
		{詫び}+{結論}+{条件提示}	1%
		{詫び}+{結論}+{積極的代案提示}	1%
		{結論}+{詫び}*	2%
合計	**1%**	合計	**9%**
意味公式が一つしかないパターン			
JJ	**出現率**	**TT**	**出現率**
なし	0%	{理由}	3%
合計	**0%**	合計	**3%**
総合計	**100%**	総合計	**100%**

JJ の出現率の高い順に並べると、{理由}が中間にあるパターンが 76%、続いて{理由}が最後の意味公式であるパターンが 16%、{理由}が冒頭の意味公式であるパターンの出現率が 7%、{理由}なしのパターンの出現率が 1%である。一方、TT は{理由}が中間にあるパターンの出現率が 63%、{理由}が最後の意味公式であるパターンが 17%、{理由}なしのパターンが 9%、{理由}が冒頭の意味公式であるパターンが 8%である。TT では、意味公式が一つしかないパターンの出現率が 3%であるが、JJ には見られなかった。全体的な傾向を見ると、JJ より TT の方が意味公式の出現順序のパターンのバリエーションが豊富であることが明らかになった。

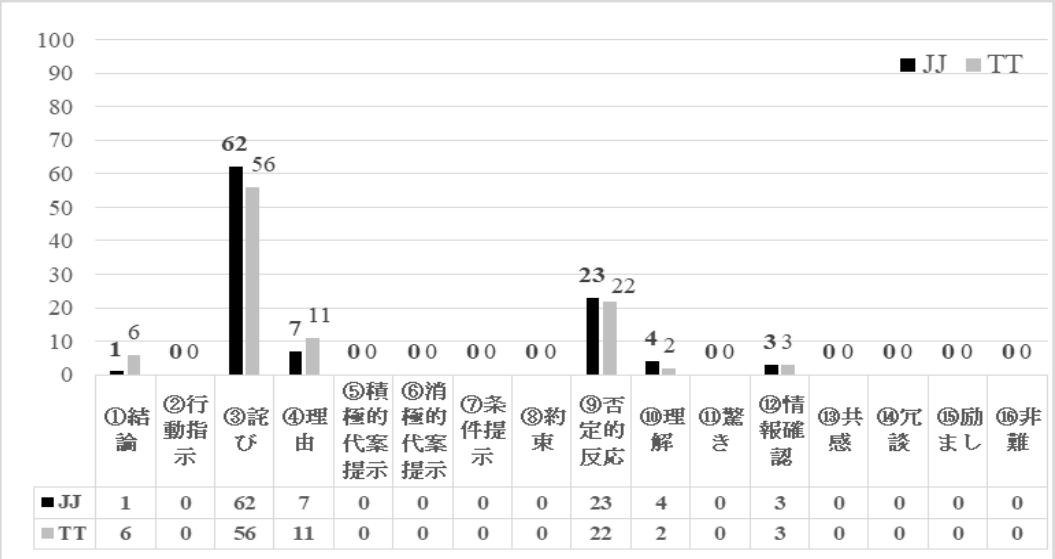
JJ と TT の意味公式の出現順序のパターンの共通点と相違点を以下の 2 点にまとめる。

(1) 出現順序のパターンの前半部は、JJ と TT ともに{詫び}+{理由}…の出現率が最も高いという共通点が見られる。そして、{理由}が冒頭の意味公式であるパターンの出現率(JJ:7%、TT:8%)と最後の意味公式であるパターンの出現率(JJ:16%, TT:17%)は、JJ と TT ともに同程度である。

(2) 出現順序パターンの後半部は、JJ は…{理由}+{結論}の出現率が最も高い(42%)であるのに対して、TT はわずか 9%である。一方、TT は…{理由}+{詫び}の出現率が最も高い(28%)が、JJ は 3%に過ぎない。

5.2.3.3 場面 2：冒頭の意味公式 の比較 (JJ・TT)

次に、断りの冒頭の意味公式を考察する。TT と JJ が用いた冒頭の意味公式の出現率を図 27 に示す。



	①結論	②行動指示	③詫び	④理由	⑤積極的代案提示	⑥消極的代案提示	⑦条件提示	⑧約束	⑨否定的反応	⑩理解	⑪驚き	⑫情報確認	⑬共感	⑭冗談	⑮励まし	⑯非難
JJ	1	0	62	7	0	0	0	0	23	4	0	3	0	0	0	0
TT	6	0	56	11	0	0	0	0	22	2	0	3	0	0	0	0

〈直接的断り〉 のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉 のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯

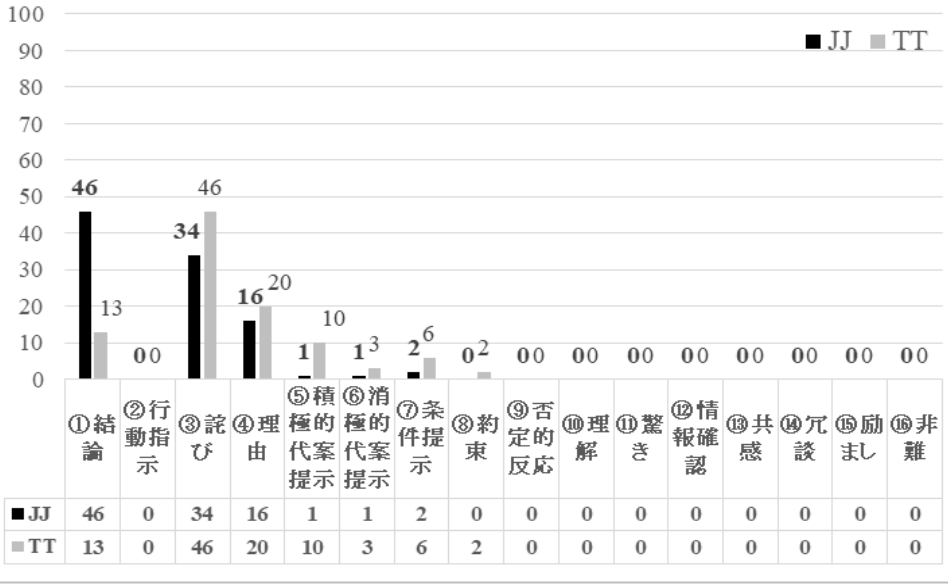
JJ{否定的反応}23%　(間投詞 23%)
TT{否定的反応}22%　(間投詞 15%、呼びかけ 6%、間投詞+呼びかけ 1%)

図 27　JJ・TT: 場面 2(疎・目上・重)の断りの冒頭の意味公式の出現率

JJ が用いた冒頭の意味公式の中では、③{詫び}(62%)の出現率が突出している。続いて⑨{否定的反応}が 23%である。同じように、TT は、③{詫び}(56%)の出現率が最も高い。続いて⑨{否定的反応}が 22%であり、そのうち[間投詞]が 15%、[呼びかけ]が 6%、[間投詞]+[呼びかけ]が 1%である。結果から、JJ と TT ともに、断りの際、まず{詫び}を述べるのが共通点であることが分かった。

5.2.3.4 場面 2：最後の意味公式の比較 (JJ・TT)

次に、断りの最後の意味公式を考察する。出現率を図 28 に示す。



〈直接的断り〉のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯
JJ{理由}16%　(理由が最後の意味公式であるパターン 16%)
TT{理由}20%　(理由が最後の意味公式であるパターン 17%)
(意味公式が一つしかないパターン　3%)

図 28　JJ・TT: 場面 2(疎・目上・重)の断りの最後の意味公式の出現率

JJ が用いた最後の意味公式の出現率が高い順に①{結論}(46%)、③{詫び}(34%)、④{理由}(16%)となっている。一方、TT は③{詫び}が 46%、続いて④{理由}が 20%、①{結論}が 13%であり、JJ の 46%と比べると{結論}の使用がかなり少ない。このうち{結論}は<直接的断り>、その他は<間接的断り>のカテゴリーに分類される。

JJ と TT の相違点を以下の 2 点にまとめる。

(1) ほぼ半分の JJ は断りの最後に{結論}を述べるのに対して、TT の中で断りの最後に{結論}を述べる割合は約 1 割に過ぎない。全体から見ると TT の{結論}の出現率は 50%であるが、意味公式の出現順序のパターンを見ると、TT は{結論}を述べた後に{理由}や{詫び}などを述べる傾向が見られると言える。

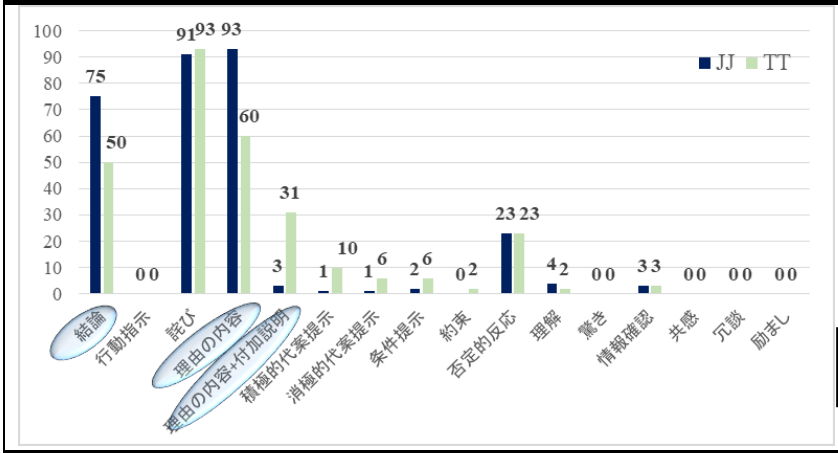
(2) JJ は、手伝いを提案する 3 つの意味公式{積極的代案提示}{消極的代案提示}{条件提示}の合計の出現率が 4%に過ぎないが、TT における出現率は合計で 19%である。JJ と TT ともに、親しくない目上に、あまり手伝いを提案しないという共通点がある。しかしながら、TT の方が JJ より代替案を提案する傾向が見られる。

意味公式の出現順序のパターンを見ると、{詫び}を最後に述べる JJ と TT のうち、半分の人は{詫び}を二回述べることが分かった。JJ の意見では、「親しくない人のほうが断りに十分気をつかわなければならない」、「{詫び}一回だけでは{詫び}の気持ちが伝わらないので、最後にもう一度詫びの言葉で誤りの気持ちを表明しないといけない」という。一方、TT の意見では、「最後に{詫び}を述べるのは相手に丁寧に対応するためだと思った」人もいるし、「相手に再依頼されたくないので、{詫び}で発話を終了させると考えた」人もいる。さらに、断りを和らげるため、{結論}の代わりに{詫び}を述べることもある。フォローアップインタビューの結果、JJ と TT の{詫び}に対する考え方が異なることが分かった。

また、手伝いを提案する意味公式{積極的代案提示}{消極的代案提示}{条件提示}に関して、JJ の意見では、「親しくない人とは関係が薄いので、手伝わなくてもいい」という。一方、TT の意見では、「教員は尊敬すべき目上の人なので、親疎にかかわらず、手伝わなければならない。手伝えなくても、自分ができることを提示する」という回答が見られる。TT のほうが JJ より代替案を提示する傾向がある背景として、このような考え方の違いがあると思われる。

5.2.3.5 場面 2：JJ と TT が用いた意味公式の使用のまとめ

意味公式の出現率

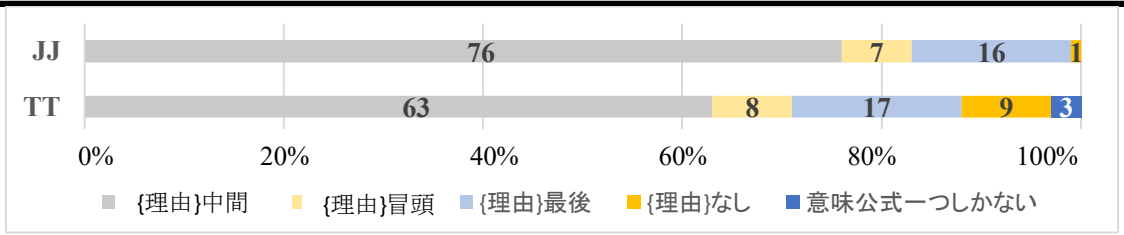


カイ二乗検定を用いて検定した結果、有意差が見られた ($\chi 2(10)=50.64$, $p<.05$)。

残差分析を行ったところ、有意差が見られたのは
JJ の{結論}(Z=2.30)
[理由の内容](Z=2.86)

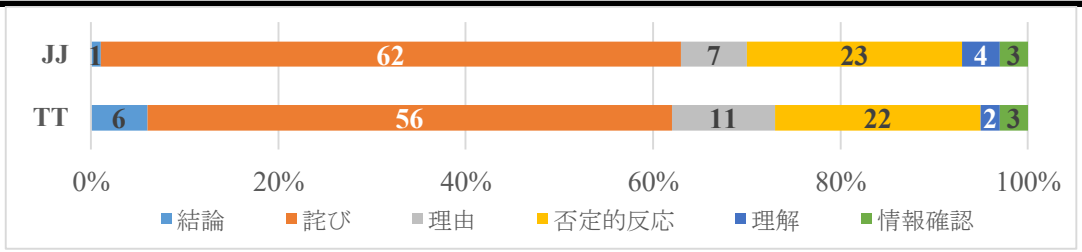
TT の[理由の内容+付加説明] (Z=5.05)

意味公式の出現順序のパターン



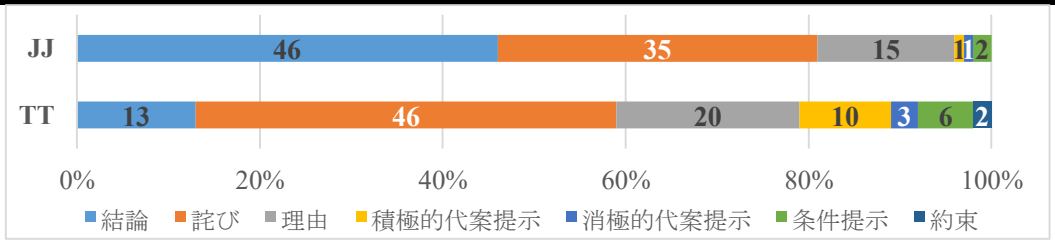
(1) **JJ** と **TT** には{理由}が中間にあるパターンの出現率が突出しているという共通点が見られる。
(2) 出現順序のパターンの前半部を見ると、**JJ** と **TT** ともに{詫び}+{理由}…の出現率が最も高いという共通点が見られる。
(3)後半部は、**JJ** と **TT** の出現率が異なる。**JJ** は…{理由}+{結論}の出現率が最も高い(42%)であるのに対して、TT は…{理由}+{詫び}の出現率が最も高い(28%)。

冒頭の意味公式



約 6 割の **JJ** と **TT** ともに、まず{詫び}を述べる共通点が見られる。続いては{否定的反応}の使用が約 2 割である。

最後の意味公式



JJ は{結論}と{詫び}で発話を終了させる特徴が見られる。この 2 つの意味公式の出現率を合わせると、約 8 割になる。一方、**TT** は{詫び}を最も多く使用している。

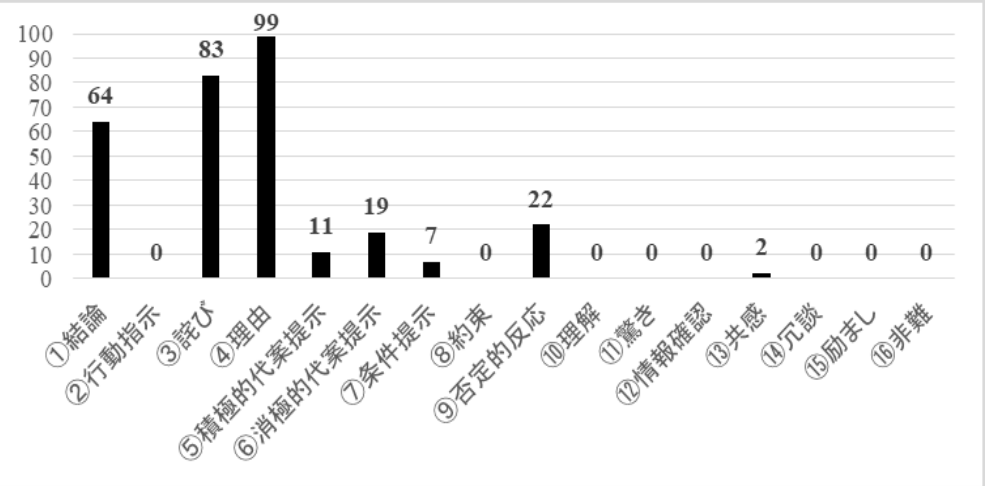
5.3 場面 3：親しい目上からの軽い依頼

本節では、場面 3 において JJ と TT が用いた意味公式の出現率のデータを基に考察する。この場面は「親しい教員に昼間、教員の部屋へ本を取りに来て、図書館に本を返却すること」を依頼される場面を設定した。

5.3.1 場面 3：日本語母語話者の使用した意味公式

5.3.1.1 場面 3：意味公式の出現率(JJ)

まず、意味公式の出現率を考察する。出現率を図 29 に示す。



〈直接的断り〉のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯
JJ{詫び}83%　(一回の詫び 77%、二回の詫び 6%)
JJ{理由}99% (理由の内容 72%、理由の内容+付加説明 27%)
JJ{否定的反応}22%　(間投詞 22%、呼びかけ 0%)

図 29　JJ: 場面 3(親・目上・軽)の断りの意味公式の出現率

親しい目上からの軽い依頼を断る場面において、JJ の出現率が 50%以上の意味公式は、高い順に④{理由}(99%)、③{詫び}(83%)、①{結論}(64%)である。このうち{結論}は<直接的断り>、その他は<間接的断り>のカテゴリーに分類される。

以下、分類したカテゴリーに従って個々の意味公式について具体的な説明を加える。<直接的断り>のカテゴリーに分類される①{結論}については、言語形式の違いにより 4 つのパターンに分類される。

(1)イ・ナ形容詞(+終助詞)

用いられた表現：「厳しいです」「無理です」「難しいです」「大変です」「無理ですね」

(2)動詞の可能形の否定形

用いられた表現：「行けないです」「行くことができません」

(3)動詞の可能形の否定形+モダリティ形式

用いられた表現：「返しに行けそうにないです」「返しに行くことができそうにないです」「返しに行けないかもしれません」「行けないと思います」

(4) 副詞+イ・ナ形容詞 (+終助詞)

用いられた表現：「少し厳しいです」「ちょっと厳しいですねー」「ちょっと厳しいかな」

回答例は以下の通りである。

JM 37：すみません。午後は用事があって、大変です。

JM 12：うーん、午後は約束があります。ちょっと時間ないんですが、行けません。

JF 14：すいません。私も午後から用事があって、返しに行けそうにないです。

JF 47：すみません。午後は打ち合わせがあるので、少し難しいです。

次に<間接的断り>のカテゴリーにおける出現率が二番目に高い③{詫び}の出現率が 83%、そのうち一回の詫びが 77%、二回の詫びが 6%である。詫びの表現としては「すみません」「すいません」「すんません」「ごめんなさい」は多く使われているが、「申し訳ないです」「申し訳ございません」の使用は見られなかった。回答例は以下の通りである。

一回の詫び

JF 20：ごめんなさい。午後は用事です。

JF 49：ああ、すみません。私も用事があるので、厳しいかもしれません。

JM 41：午後は約束あるので、本を取りに行けそうにないです。すみません。

二回の詫び

JM 21：ごめんなさい。約束あるんで、厳しいです。すみません。

JF18 ：すいません。用事があって、本を取りに行けそうにないです。すいません。

続いて、出現率が最も高い意味公式、④{理由}の出現率は 99%で、そのうち[理由の内容]が 72%、[理由の内容+付加説明]が 27%である。JJ における出現率を見ると、[理由の内容]だけを述べる傾向が強い。この場面は DCT に「友達との打ち合わせ」を理由とすることを予め設定してあるが、「友達と打ち合わせがある」とはっきり言うのを控え、「用事・先約・約束がある」という回答が多く見られる。理由を説明した 99 名のうち、「打ち合わせがある」と答えた人が 18 人であるのに対して、「用事・先約・約束がある・時間がない」と述べたのは 81 名であった。つまり、JJ ははっきりとした理由を述べない傾向があると言える。回答例は以下の通りである。

[理由の内容]

JM 19：すみません。ちょっと時間ないので、難しいです。

JM 28：すみません。僕は用事あるんで、できないですね。

JF 33：ごめん、午後は打ち合わせがあります。他の方にお願いします。

[理由の内容+付加説明]

JF 11：すみません。午後は打ち合わせで、時間がないです。

別の人に頼んでいただけませんか？

JF 23：すみません。遅刻できない約束があるので、時間が取れそうにないです。

返しに行けません。

⑤{積極的代案提示}、⑥{消極的代案提示}⑦{条件提示}については、⑤{積極的代案提示}の出現率が 11%、⑥{消極的代案提示}が 19%、⑦{条件提示}の出現率がわずか 7%である。回答例は以下の通りである。

{積極的代案提示}

JM6：すいません、僕も授業があって、返しに行けないかもしれません。

では、時間がある友達に聞いてみます。

JM 13：ああ、午後は予定が立て込んでいる。ちょっと行けそうにないです。すみません。

○○君が空いてると思うので、僕が頼んでみます。

{消極的代案提示}

JM 8：すみませんが、午後は用事があるので、別の人に頼んでもらえませんか？

{条件提示}

JM 34：授業があるので、難しいです。明日、返してもいいですか？

JF 9：午後は打ち合わせがあって、急ぎです。

他の時間なら、行くことができますが、どうでしょうか？

最後に<付加表現>のカテゴリーについては、最も出現率が高い順に⑨{否定的反応}(22%)、⑬{共感}(2%)である。回答例は以下の通りである。

{否定的反応}

用いられた表現：「ああ」「うーん」「えー」「え―と」「ちょっと・・・」「んー」

JM 48：うーん、午後は授業があるので、ちょっと難しいかな。

JF 19：ちょっと・・・用事あるんですよねー。すいません。

{共感}

JF 36： ごめんなさい。行きたいのですが、用事があって、本を取りに行くと間に合わないので、行けないと思います。

5.3.1.2 場面 3：意味公式の出現順序のパターン(JJ)

続いて、意味公式の出現順序のパターンを考察する。回答 に見られた意味公式の出現順序のパターンを表 29 に示す。

表 29 JJ: 場面 3(親・目上・軽)の 意味公式の出現順序のパターン

冒頭の意味公式	{理由}が中間にあるパターン	出現率
{詫び}	{詫び}+{理由}+{結論}	23%
	{詫び}+{理由}+{結論}+{積極的代案提示}	7%
	{詫び}+{理由}+{結論}+{消極的代案提示}	6%
	{詫び}+{理由}+{消極的代案提示}	5%
	{詫び}+{理由}+{条件提示}	5%
	{詫び}+{理由}+{積極的代案提示}	3%
	{詫び}+{理由}+{結論}+{条件提示}	2%
	{詫び}+{理由}+{結論}+{詫び}	1%
	{詫び}+{共感}+{理由}+{結論}	1%
	小計	**53%**
{否定的反応}	{否定的反応(間)}+{理由}+{結論}	4%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{詫び}	3%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{消極的代案提示}	2%
	{否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}+{結論}	2%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{詫び}+{消極的代案提示}	1%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{積極的代案提示}	1%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{結論}+{積極的代案提示}	1%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{結論}+{条件提示}	1%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{結論}+{詫び}	1%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{結論}+{詫び}+{積極的代案提示}	1%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{結論}+{詫び}+{消極的代案提示}	1%
	{否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}+{結論}+{消極的代案提示}	1%
	{否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}+{詫び}	1%
	{否定的反応(間)}+{共感}+{理由}+{結論}	1%
	小計	**21%**
合計		**74%**
冒頭の意味公式	**{理由}が冒頭の意味公式であるパターン**	**出現率**
{理由}	{理由}+{結論}+{詫び}	4%
	{理由}+{結論}	2%
	{理由}+{結論}+{条件提示}	1%
	{理由}+{詫び}	1%

	{理由}+{詫び}+{消極的代案提示}	1%
	{理由}+{条件提示}	1%
	{理由}+{消極的代案提示}	1%
合計		**11%**
冒頭の意味公式	**{理由}が最後の意味公式であるパターン**	**出現率**
{詫び}	{詫び}+{理由}	13%
	小計	**13%**
{否定的反応}	{否定的反応(間)}+{理由}	1%
	小計	**1%**
合計		**14%**
冒頭の意味公式	**{理由}なしのパターン**	**出現率**
{詫び}	{詫び}+{結論}	1%
合計		**1%**
冒頭の意味公式	**意味公式が一つしかないパターン**	**出現率**
	なし	0%
合計		**0%**
総合計		**100%**

意味公式の出現順序のパターンは、全部で 33 パターンに分類される。{理由}が中間にあるパターンは 24 パターンで、出現率が 74%である。続いて、{理由}が最後の意味公式であるパターンは 2 パターンで、出現率が 14%である。{理由}が冒頭の意味公式であるパターンは 7 パターンで、出現率が 11%である。意味公式が一つしかないパターンは 1 パターンで、出現率は 1%である。

意味公式の出現パターンのうち、最も出現率の高い上位 2 位のパターンは{詫び}+{理由} +{結論}(23%)、続いて{詫び}+{理由}(13%)である。全体的な傾向を見ると、出現率が 1%に過ぎないパターンがいくつかあり、多くのバリエーションが見られる。回答例は以下の通りである。

{詫び}+{理由}+{結論}

JM 9：すんません。約束あるんで、ちょっと無理なんですが。

{詫び}+{理由}

JM 5：ごめんなさい。午後は用事があります。

続いて、{理由}が中間にあるパターンについて、出現順序のパターンの前半部と後半部を表30に示す。

表 30　JJ: 場面 3(親・目上・軽)の 意味公式の出現順序のパターンの前半部と後半部

出現順序のパターンの前半部	出現率	出現順序のパターンの後半部	出現率
{詫び}+{理由}...	52%	...{理由}+{結論}	31%
{否定的反応}+{理由}... ({否定的反応(間)}+{理由}...)	16% (16%)	...{理由}+{結論}+{積極的代案提示}	8%
{否定的反応}+{詫び}+{理由}... ({否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}...)	4% (4%)	...{理由}+{消極的代案提示}	7%
{詫び}+{共感}+{理由}...	1%	...{理由}+{結論}+{消極的代案提示}	7%
{否定的反応}+{共感}+{理由}... ({否定的反応(間)}+{共感}+{理由}...)	1% (1%)	...{理由}+{結論}+{詫び}	6%
		...{理由}+{詫び}	4%
		...{理由}+{条件提示}	3%
		...{理由}+{積極的代案提示}	3%
		...{理由}+{結論}+{条件提示}	2%
		...{理由}+{結論}+{詫び}+{消極的代案提示}	2%
		...{理由}+{結論}+{詫び}+{積極的代案提示}	1%
合計	**74%**	**合計**	**74%**

最も出現率の高い意味公式の出現順序のパターンの前半部は{詫び}+{理由}…(52%)であり、半分以上の協力者がこのパターンを使うことが分かった。後半部は...{理由}+{結論}(31%)が一番出現率が高く、その他の後半部は出現率が低い(10%以下)。出現率を見ると、理由を説明してから{結論}を述べる傾向が強い。それに対して、{条件提示}{消極的代案提示}{積極的代案提示}を言うパターンの出現率は低い。前半部より後半部のほうが意味公式の組み合わせのパターンにバリエーションが見られる。回答例は以下の通りである。

{詫び}+{理由}…

JF 22：すみません。用事があるんですが、返しに行けそうにないです。

{否定的反応}+{理由}…

JM 48：うーん、午後は授業があるので、ちょっと難しいかな。

..{理由}+{結論}

JM 28：すみません。僕は用事あるんで、できないですね。

..{理由}+{結論}+{積極的代案提示}

JF 42：ごめんなさい。実は約束があって、行けないと思います。では、時間がある友達に聞いてみますね。

5.3.1.3 場面 3：冒頭の意味公式(JJ)

次に、冒頭の意味公式を考察する。冒頭に見られた意味公式は{詫び}{理由}{否定的反応}が用いられており、全部で 3 種類の意味公式が見られた。出現率を図 30 に示す。

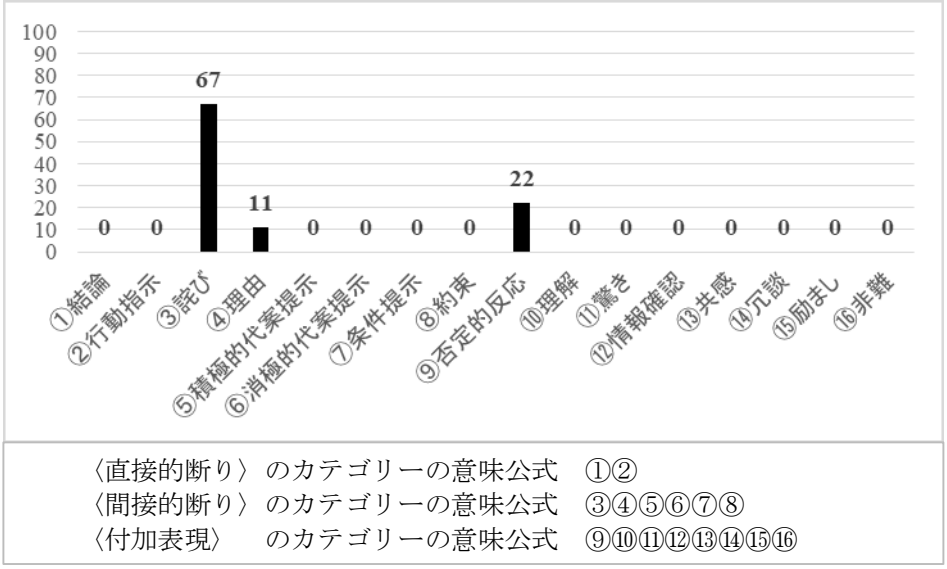


図 30 JJ: 場面 3(親・目上・軽)の断りの冒頭の意味公式の出現率

JJ が用いた冒頭の意味公式は③{詫び}の出現率が目立っている(67%)。続いて、⑨{否定的反応}が 22%、④{理由}が 11%である。このうち{詫び}と{理由}は<間接的断り>、{否定的反応}は<付加表現>のカテゴリーに分類される。以下は本調査に見られた回答例である。

{詫び}を冒頭の意味公式とする回答例

JM 18：すみません。午後は約束あるんで、返しに行くことができそうにないです。

JF 13：ごめんなさい。午後は用事があって、時間がないんです。

{否定的反応}を冒頭の意味公式とする回答例

JM 5：ああ、本当に申し訳ないのですが、その日はどうしてもはずせない用事が入っておりまして、手伝いできそうにないです。

JF 19：ちょっと・・用事あるんですよねー。すみません。

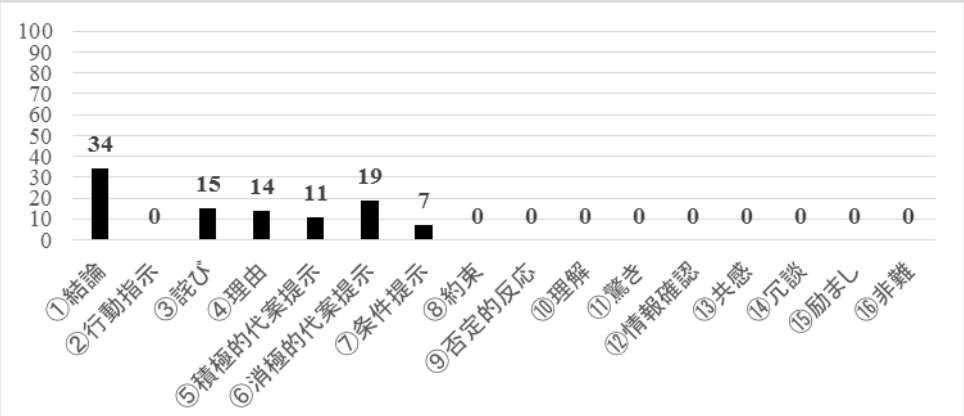
{理由}を冒頭の意味公式とする回答例

JM 47：授業あるんで、ちょっと無理なんですが、すみません。

JF 29:：午後は外せない用事があって、時間がないですが、すみません。

5.3.1.4 場面 3：最後の意味公式(JJ)

最後の意味公式は{結論}{詫び}{理由}{積極的代案提示}{消極的代案提示}{条件提示}が用いられており、全部で 6 種類の意味公式が見られた。出現率を図 31 に示す。



〈直接的断り〉のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯
{理由}14% (理由が最後の意味公式であるパターン 14%)

図 31　JJ: 場面 3(親・目上・軽)の断りの最後の意味公式の出現率

JJ が用いた最後の意味公式は、<直接的断り>のカテゴリーに分類される①{結論}(34%)の出現率が最も高い。続いて、<間接的断り>のカテゴリーに分類され⑥{消極的代案提示}(19%)、③{詫び}(15%)、④{理由}(14%)、⑤{積極的代案提示}(11%)、⑦{条件提示}(7%)となっている。回答例は以下の通りである。

{結論}を最後の意味公式とする回答例

JF 47：すみません。午後は打ち合わせがあるので、少し難しいです。

{詫び}を最後の意味公式とする回答例

JM 41：午後は約束あるので、本を取りに行けそうにないです。すみません。

{理由}を最後の意味公式とする回答例

JM 5：ごめんなさい。午後は用事があります。

{積極的代案提示}を最後の意味公式とする回答例

JM6：すいません、僕も授業があって、返しに行けないかもしれません。
　　では、時間がある友達に聞いてみます。

{消極的代案提示}を最後の意味公式とする回答例

JM 8：すみませんが、午後は用事があるので、別の人に頼んでもらえませんか？

{条件提示}を最後の意味公式とする回答例

JM 34：授業があるので、難しいです。明日、返してもいいですか？

結果から、JJ が{理由}を述べた後には{結論}の意味公式が多く見られる。フォローアップインタビューによると、「断りを明言しないと、相手に誤解される恐れがある」ということである。{結論}に次いでは、{消極的代案提示}が 2 割である。JJ の意見では、「{消極的代案提示}を述べるのは相手に協力が不可能であることをはっきり伝えるためであり、間接的断りだと解釈できると考えられる」という。さらに、{結論}の後に、{消極的代案提示}を述べる場合が多く見られる。これは、相手に協力できないことを強調するためであると考えられる。一方、{条件提示}を述べた人の意見では、「軽い依頼は被依頼者に負担をかけないので、都合が悪くても自分ができる条件を提示したい」という。

5.3.1.5 場面 3：JJ のまとめ

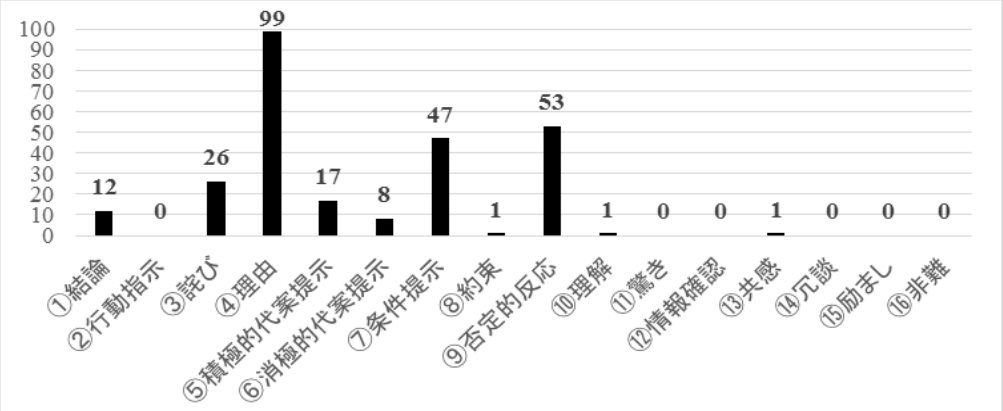
場面 3 の親しい目上からの軽い依頼に対する断りの場面において、JJ の使用した意味公式の傾向をまとめる。

(1) 意味公式の全体における出現率のうち、出現率が 50%以上の意味公式は、高い順に{理由}(99%)、{詫び}(83%)、{結論}(64%)である。
(2) 意味公式の出現順序のパターンについては、多くのバリエーションが見られたのが特徴である。中でも最も多用されるパターンは、{詫び}+{理由}+{結論}である。また、{理由}が中間にあるパターンのうち、最も出現率が高い前半部は{詫び}+{理由}…で、後半部は…{理由}+{結論}である。
(3) 断りの冒頭の意味公式は、{詫び}の出現率が突出している。
(4) 断りの最後の意味公式は、{結論}の使用が最も多く見られる。

5.3.2 場面 3:タイ語母語話者の使用した意味公式

5.3.2.1 場面 3：意味公式の出現率(TT)

まず、意味公式の出現率を考察する。出現率を図 32 に示す。



〈直接的断り〉のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯
TT{詫び}26%　　(一回の詫び 26%、二回の詫び 0%)
TT{理由}99%　　(理由の内容 36%、理由の内容+付加説明 63%)
TT{否定的反応}53%　(間投詞 29%、呼びかけ 24%)

図 32　TT: 場面 3(親・目上・軽)の断りの意味公式の出現率

親しい目上からの軽い依頼を断る場面において、出現率が 50%以上の意味公式に着目すると、<間接的断り>のカテゴリーに分類される④{理由}(99%)、<付加表現>のカテゴリーに分類される⑨{否定的反応}(53%)が該当し、{否定的反応}は JJ(22%)と比べると出現率が 2 倍である。

以下、個々の意味公式について具体的な説明を加える。<直接的断り>のカテゴリーに分類される①{結論}の出現率はわずか 12%であり、JJ の 75%と比べると大きな差がある。言語形式の違いにより TT の{結論}の言い方は非断定的表現と断定的表現に分類される。

非断定的表現：動詞の前に、モダリティ形式「น่าจะ(nâa ca)」(はずだ)が付加される。回答例は以下の通りである。

TF 29：ตอนเที่ยงผมต้องไปคุยงานกับเพื่อน คุยกันนานเลย *น่าจะไม่สะดวก
(和訳：昼休みは授業の課題について友達と打ち合わせしなければなりません。
時間が長くかかりそうです。都合が悪いはずです。)

* น่าจะ(nâa ca はずだ)、ไม่(mâi 否定詞)、สะดวก(sadùak 都合がいい)

断定的表現：動詞の後ろに「ไม่ได้(mâi dâi)」(～することが無理だ)が付加される。さらに、動詞が省略され、否定形「ไม่ได้ (mâi dâi)」(無理だ)のみが用いられる場合もある。回答例は以下の通りである。

TM 30：ขอโทษครับอาจารย์ ผมกำลังแก้ไขงานกลุ่มกับเพื่อนๆ *ผมไปไม่ได้ครับ

(和訳：すみません。今、友達と授業のレポートを修正しています。
行けません。)

* ผม(phŏm 私(男性))、ไป(pai 行く)、ไม่ได้(mâi dâi 不可能を表す否定詞)
ครับ(khráp 男性の文末丁寧詞)

TF 26：*ไม่ได้ค่ะ เพราะช่วงพักกลางวันหนูมีนัดคุยงานกับเพื่อนค่ะ ขอเป็นช่วงบ่ายได้มั้ยคะ

(和訳：無理です。昼休みは友達と打ち合わせがあるからです。
午後なら大丈夫なんですが、よろしいでしょうか？)

* ไม่ได้(mâi dâi 不可能を表す否定詞)、ค่ะ(khâ 女性の文末丁寧詞)

次に＜間接的断り＞のカテゴリー、③{詫び}の出現率は 26%であり、JJ の 91%と比べると大きな差がある。なお、回答に見られた{詫び}は一回の詫びのみであり、二回の詫びは全く見られなかった。半数以上の TT の意見では、「目上の軽い依頼を断るのは、大したことではないので{詫び}を言わなくてもいい。{詫び}を言わない代わりに、{条件提示}{積極的代案提示}などの手伝いを提示すれば、失礼には当たらない」という。

詫びの表現として「ขอโทษนะครับ/คะ」(khɔ̌ɔthôot ná khráp/ khá)「ขอโทษด้วยครับ/ค่ะ」(khɔ̌ɔthôot dûai khráp/ khâ)「ขอโทษครับ/ค่ะ」(khɔ̌ɔthôot khráp/ khâ)「ขอโทษทีครับ/ค่ะ」(khɔ̌ɔthôot thii khráp/ khâ)が使われている。また、より丁寧な詫びの言葉も使われている。
例えば、「ขอโทษจริงๆครับ/ค่ะ」(khɔ̌ɔthôot ciŋ ciŋ khráp/ khâ)「อภัยด้วยครับ/ค่ะ」(ʔaphai dûai khráp/ khâ)である。詫びの言葉の後に呼称詞が付く場合もある。回答例は以下のとおりである。

一回の詫び

TM 19：เอ่อ ผมมีนัดคุยงานช่วงพักกลางวันพอดี *อภัยด้วยครับจารย์

(和訳：{否定的反応}(ʔɤ̀ɤ)、昼休みはちょうど打ち合わせがあります。大変申し訳ございません。)

*อภัยด้วย(ʔaphai dûai より丁寧な詫びの言葉)、ครับ(khráp 男性の文末丁寧詞)、
จารย์(caan 先生(呼称詞))

TF 40：*ขอโทษนะคะอาจารย์ หนูมีงานที่ต้องคุยกับเพื่อน พรุ่งนี้นำเสนองานแล้ว

(和訳：すみません、友達と打ち合わせしなければなりません。明日、発表の予定です。)

*ขอโทษ(khɔ̌ɔthôot 詫びの言葉)、นะ(ná 文末詞)、คะ(khá女性の文末丁寧詞)　　อาจารย์(ʔaa caan 先生(呼称詞))

続いて、出現率が最も高い意味公式である④{理由}の出現率は 99%(うち[理由の内容]が 36%、[理由の内容+付加説明]が 63%)である。この場面は DCT に「友達との打ち合わせ」を理由と設定しているので、「家族・親戚」に関係がある理由は見られなかったが、理由に加えて、時間的に都合が悪いという付加説明と、理由の大切さを強調する付加説明が多く見られる。

TM 29：ตอนเที่ยงผมต้องไปคุยงานกับเพื่อน คุยกันนานเลย น่าจะไม่สะดวก

(和訳：昼休みは授業の課題について友達と打ち合わせしなければなりません。時間が長くかかりそうです。都合が悪いはずです。)

TM 35：ขอโทษครับ ตอนบ่ายผมมีคุยเรื่องนำเสนองานกับเพื่อน ยุ่งมากๆ ไม่สะดวกครับ

(和訳：すみません、午後は友達と打ち合わせがあって、とても忙しいです。都合が悪いです。)

TF 1：ขอโทษค่ะ ช่วงนั้นหนูต้องคุยงานกับเพื่อนเรื่องงาน สำคัญมากๆค่ะ

(和訳：すみません、その時間は友達と打ち合わせしなければなりません。非常に大事なことなんです。)

TF 9：เอ่อ.คือหนูไม่ว่างอะค่ะ วันนี้มีนัดคุยงาน เลื่อนไม่ได้ด้วย

(和訳：{否定的反応}(ʔɔ̀ɔ)、実は時間的に余裕がありません。今日、キャンセルができない打ち合わせがあります。)

TF 38：อาจารย์ พอดีหนูมีนัดคุยงานกับเพื่อน ต้องรีบไปละค่ะ เพื่อนรอตั้งครึ่งชั่วโมงแล้ว อาจารย์ฝากคนอื่นไปแทนได้มั้ย

(和訳：[呼びかけ](ʔaa caan)、ちょうど、授業の課題について友達と打ち合わせがあって、急がなければなりません。友達がもう 30 分も私を待っています。別の人に頼んでもらえませんか？)

TF 31：ขอโทษค่ะ พอดีช่วงพักกลางวันหนูต้องไปคุยงานกับเพื่อน เดี๋ยวเข้าใจงานไม่ตรงกัน

(和訳：すみません、ちょうど昼休みは授業の課題について、友達との打ち合わせに行かなければなりません。行かないと、何をやるか分からなくなります。)

次に、相手との関係を維持する機能を持つ意味公式については、⑤{積極的代案提示}の出現率が 17%、⑥{消極的代案提示}が 8%、⑧{約束}がわずか 1%となっており、これらの出現率が低いのに対して、⑦{条件提示}の出現率は高い(47%)。回答例は以下の通りである。

{積極的代案提示}

TM 27：เที่ยงนี้ต้องทำงานที่ยังทำไม่เสร็จครับ เดี๋ยวผมเรียกคนอื่นพอมีเวลาว่างให้มาช่วยนะครับ

(和訳：昼休みはまだできていない授業の課題があって、それをやらなければなりません。
では、時間的に余裕がありそうな人を呼んできますね。)

TF 47：เอ่อ..พอดีตอนพักหนูมีนัดคุยงานกับเพื่อนค่ะ เดี๋ยวหนูเรียกเพื่อนให้มาช่วยแทนละกันนะคะ

(和訳：{否定的反応}(ʔəə)、ちょうど昼休みは友達と打ち合わせがあります。よかったら、
私が手伝いの人を探しておきます。)

{消極的代案提示}

TM 36：ขอโทษครับ ตอนนี้ผมไม่ว่างจริงๆ อาจารย์ลองถามคนอื่นดูมั้ยครับ

(和訳：すみません、今とても忙しいです。他の方に聞いてみてくれませんか。)

TF 13：อาจารย์คะ พอดีหนูมีนัดก่อนแล้วอะ งั้นอาจารย์บอกคนอื่นละกันนะคะ

(和訳：[呼びかけ](ʔaa caan khá)、ちょうど先約があります。別の方に頼んでください。)

{約束}

TF 23： อืม หนูอยากช่วยนะคะ แต่วันนี้ติดธุระ ไว้โอกาสหน้าละกันค่ะ

(和訳：{否定的反応}(ʔɯɯm)、本当に手伝いたいんですけど、今日は用事があります。
次の機会があれば、よろしくお願いします。)

{条件提示}

時間変更の条件

TM 14：เอ่อ ตอนเที่ยงผมต้องไปคุยงานกับเพื่อน เพราะผมนัดพวกเขาไว้แล้ว คืนพรุ่งนี้ได้มั้ยครับ

(和訳：{否定的反応}(ʔəə)、午後は友達と打ち合わせがあって、もう約束しているから。
明日返してもいいですか。)

TM 31：ช่วงพักกลางวันผมมีคุยงานกับเพื่อนครับ เป็นช่วงเย็นได้มั้ยครับ

(和訳：昼休みに友達と打ち合わせがあります。夕方はいかがですか？)

時間的余裕の仮定

TM 10：ผมมีนัดกับเพื่อนครับ ช่วงบ่ายถ้าเสร็จธุระไว จะเอาไปคืนให้นะครับ

(和訳：友達と約束がありますが、用事を済ませた後、もし時間的に余裕があれば、
返しに行きます。)

最後に<付加表現>のカテゴリーについては、最も出現率が高いのが⑨{否定的反応}(53%)、そのうち[間投詞]が 29%、[呼びかけ]が 24%である。続いて⑩{理解}と⑬{共感}(それぞれ 1%)である。回答例は以下の通りである。

{否定的反応}

用いられた表現：間投詞「เอ่อ..」(ʔəə̀)、「อืม」(ʔɯɯm)、「คือ..」(khɯɯ)

TM 38： เอ่อ.. พอดีตอนเที่ยงต้องออกไปธุระข้างนอกครับ
(和訳：{否定的反応}(ʔəə̀)、ちょうど昼休みは用事で出かけなければなりません。)

TF 23： อืม หนูอยากช่วยนะคะ แต่วันนี้ติดธุระ ไว้โอกาสหน้าละกันค่ะ
(和訳：{否定的反応}(ʔɯɯm)、本当に手伝いたいんですが、今日は用事があります。
次の機会があれば、よろしくお願いします。)

TF 49： คือ.. พอดีหนูมีนัดคุยงานกับเพื่อนไว้ค่ะ ขอเป็นช่วงเย็นได้มั้ยคะ
(和訳：{否定的反応}(khɯɯ)、ちょうど、友達と授業の課題について打ち合わせがあります。夕方なら、大丈夫なんですけど。よろしいですか。)

用いられた表現：呼びかけ 「จารย์、อาจารย์(caan, ʔaa caan 先生)
*「ʔaa caan」より「caan」のほうが、親しみが深く感じられる言葉である。

TM 1：จารย์ ผมมีพรีเซนต์งานตอนบ่าย งั้นเดี๋ยวผมหาคนมาแทนนะครับ
(和訳：[呼びかけ](caan)、午後は発表があります。よかったら、私の代わりに、
手伝いに行けそうな人を探します。)

TF 30：อาจารย์ คืนพรุ่งนี้ได้มั้ยคะ หนูมีนัดกับเพื่อนตอนกลางวัน ต้องคุยงาน
(和訳：[呼びかけ](ʔaa caan)、明日返してもいいですか？　昼休みは授業の課題について
友達と打ち合わせしなければなりません。)

また、呼びかけに文末丁寧詞が付く場合もある。

TF 48：*อาจารย์คะ หนูมีนัดคุยงานกับเพื่อน ขอเป็นช่วงเย็นได้มั้ยคะ
(和訳：[呼びかけ](ʔaa caan khá)、友達と打ち合わせがあります。よかったら、夕方をお願いできますか。)

*อาจารย์(ʔaa caan 先生)、คะ(khá女性の文末丁寧詞)

{理解}

用いられた表現：間投詞「อ่อ」(ʔɔ̀ɔ)

TF 15：อ่อ ขอโทษนะคะ พอดีว่าหนูไม่ว่าง ขอเป็นวันอื่นได้มั้ยคะ

(和訳：[間投詞](ʔɔ̀ɔ)。すみません。ちょうど時間的に余裕がありません。

よかったら、別の日に返してもいいですか？)

{共感}

TF 23：อืม หนูอยากช่วยนะคะ แต่วันนี้ติดธุระ ไว้โอกาสหน้าละกันค่ะ

(和訳：{否定的反応}(ʔɯɯm)、本当に手伝いたいんですが、今日は用事があります。

次の機会があれば、よろしくお願いします。)

5.3.2.2 場面 3：意味公式の出現順序のパターン(TT)

続いて、意味公式の出現順序のパターンを考察する。回答 に見られた意味公式の出現順序のパターンを表 31 に示す。

表 31　TT: 場面 3(親・目上・軽)の 意味公式の出現順序のパターン

冒頭の意味公式	{理由}が中間にあるパターン	出現率
{否定的反応}	{否定的反応(間)}+{理由}+{条件提示}	9%
	{否定的反応(呼)}+{理由}+{条件代案提示}	7%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{積極的代案提示}	6%
	{否定的反応(呼)}+{理由}+{積極的代案提示}	3%
	{否定的反応(呼)}+{理由}+{消極的代案提示}	3%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{詫び}	3%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{消極的代案提示}	1%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{結論}+{詫び}	1%
	{否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}+{積極的代案提示}	1%
	{否定的反応(間)}+{共感}+{理由}+{約束}	1%
	小計	**35%**
{詫び}	{詫び}+{理由}+{結論}	5%
	{詫び}+{理由}+{消極的代案提示}	2%
	{詫び}+{理由}+{積極的代案提示}	2%
	{詫び}+{理由}+{条件提示}	1%
	小計	**10%**
{結論}	{結論}+{理由}+{条件提示}	3%
	小計	**3%**
{理解}	{理解}+{詫び}+{理由}+{条件提示}	1%
	小計	**1%**
合計		**49%**
冒頭の意味公式	**{理由}が冒頭の意味公式であるパターン**	**出現率**
{理由}	{理由}+{条件提示}	14%
	{理由}+{積極的代案提示}	4%

	{理由}+{消極的代案提示}	2%
	{理由}+{結論}	2%
合計		**22%**
冒頭の意味公式	**{理由}が最後の意味公式であるパターン**	**出現率**
{否定的反応}	{否定的反応(呼)}+{条件提示}+{理由}	11%
	{否定的反応(間)}+{理由}	5%
	{否定的反応(間)}+{条件提示}+{理由}	2%
	小計	**18%**
{詫び}	{詫び}+{理由}	10%
	小計	**10%**
合計		**28%**
冒頭の意味公式	**{理由}なしのパターン**	**出現率**
{結論}	{結論}+{積極的代案提示}	1%
合計		**1%**
冒頭の意味公式	**意味公式が一つしかないパターン**	**出現率**
	なし	0%
合計		**0%**
総合計		**100%**

意味公式の出現順序のパターンは、全部で 25 パターンに分類される。25 パターンのうち、{理由}が中間にあるパターンは 16 パターンで、出現率が 49%である。続いて、{理由}が最後の意味公式であるパターンは 4 パターンで、出現率が 28%である。{理由}が冒頭の意味公式であるパターンは 4 パターンで、出現率が 22%である。最後に、{理由}なしのパターンは 1 パターンで、出現率が 1%である。

意味公式の出現順序のパターンのうち、最も出現率の高い上位 2 位のパターンは{理由}+{条件提示}(14%)、続いて{否定的反応(呼)}+{条件提示}+{理由} (11%)である。回答例は以下の通りである。

{理由}+{条件提示}

TM 24：ตอนเที่ยงมีนัดคุยงานกับเพื่อนครับ ช่วงเย็นๆได้มั้ยครับ

(和訳：昼休みに授業の課題について友達と打ち合わせがあります。
夕方返してもいいですか？)

{否定的反応(呼)}+{条件提示}+{理由}

TF 11：อาจารย์คะ คืนตอนเย็นมั้ยคะ พอดีหนูมีนัดคุยเรื่องงานกับเพื่อนอ่ะค่ะ ตอนนี้เพื่อนก็รออยู่ด้วย

(和訳：[呼びかけ](ʔaa caan khá)、明日返してもいいですか？ 昼休みはちょうど授業の課題について友達と打ち合わせがあるんですが、今友達が私を待っています。)

続いて、{理由}が中間にあるパターンについて、出現順序のパターンの前半部と後半部を表32に示す。

表 32　TT: 場面 3(親・目上・軽)の 意味公式の出現順序のパターンの前半部と後半部

出現順序のパターンの前半部	出現率	出現順序のパターンの後半部	出現率
{否定的反応}+{理由}... {否定的反応(間)}+{理由}... {否定的反応(呼)}+{理由}...	33% (20%) (13%)	...{理由}+{条件提示}	21%
{詫び}+{理由}...	10%	...{理由}+{積極的代案提示}	12%
{結論}+{理由}...	3%	...{理由}+{消極的代案提示}	6%
{否定的反応}+{詫び}+{理由}... {否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}...	1% (1%)	...{理由}+{結論}	5%
{否定的反応}+{共感}+{理由}... {否定的反応(間)}+{共感}+{理由}...	1% (1%)	...{理由}+{詫び}	3%
{理解}+{詫び}+{理由}...	1%	...{理由}+{結論}+{詫び}	1%
		...{理由}+{約束}	1%
合計	**49%**	**合計**	**49%**

最も出現率の高い意味公式の出現順序のパターンの前半部は{否定的反応}+{理由}…(33%)、続いて{詫び}+{理由}…(13%)である。後半部は...{理由}+{条件提示}(21%)、続いて、...{理由}+{積極的代案提示}(12%)である。回答例は以下の通りである。

{否定的反応}+{理由}…

TM 43：เอ่อ พอดีผมมีเรียนครับ ขอไปช่วงเย็นได้มั้ยครับ

(和訳：{否定的反応}(ʔɔ̀ɔ)、ちょうど授業があります。夕方はいかがですか。)

{詫び}+{理由}…

TF 7：ขอโทษค่ะ พอดีมีนัดคุยงานกับเพื่อนค่ะ เปลี่ยนเป็นช่วงเย็นได้ไหมคะ

(和訳：すみません、昼休みはちょうど授業の課題について友達と打ち合わせがあります。よかったら、夕方をお願いできますか。)

…{理由}+{条件提示}

TM 5：จารย์ครับ พอดีผมมีนัดคุยงานกับเพื่อน ถ้างั้นตอนเย็นไปคืนให้ได้มั้ยครับ

(和訳：[呼びかけ](caan khráp)、ちょうど友達と打ち合わせがあります。夕方は、いかがですか。)

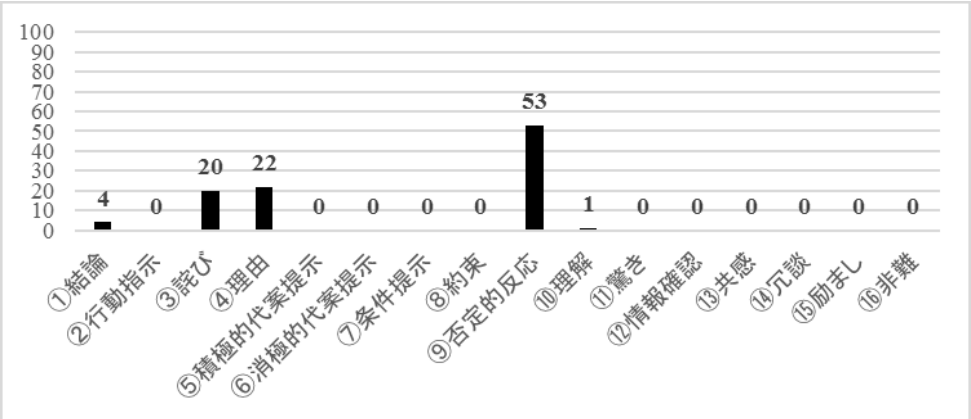
…{理由}+{積極的代案提示}

TF 17：เอ่อ พอดีช่วงพักกลางวันมีนัดคุยธุระกับเพื่อน งานด่วนจริงๆ เดี๋ยวหนูให้เพื่อนที่ว่างมาแทนนะคะ

(和訳：{否定的反応}(ʔɔ̀ɔ)、昼休みはちょうど授業の課題について友達と打ち合わせがあります。急ぎの用事なんです。よかったら、余裕がある友達に頼んでおきますね。)

5.3.2.3 場面 3：冒頭の意味公式(TT)

次に、冒頭の意味公式を考察する。冒頭に見られた意味公式は{結論}{詫び}{理由}{理解}{否定的反応}が用いられており、全部で 5 種類の意味公式が見られた。出現率を図 33 に示す。



〈直接的断り〉のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯
TT{否定的反応}53%　(間投詞 29%、呼びかけ 24%)

図 33　TT: 場面 3(親・目上・軽)の断りの冒頭の意味公式の出現率

TT が用いた冒頭の意味公式に着目すると、⑨{否定的反応}(53%)の出現率が突出していることがわかる。そのうち[間投詞]が 29%、[呼びかけ]が 24%である。続いて、③{詫び}(22%)、④{理由}(20%)である。他の意味公式は出現率が 5%以下である。{結論}は<直接的断り>、{詫び}と{理由}は<間接的断り>、その他は<付加表現>のカテゴリーに分類される。以下は回答例である。

{否定的反応}を冒頭の意味公式とする回答例

TF 43：เอ่อ...หนูมีธุระต้องคุยกับเพื่อนช่วงพักกลางวัน เป็นวันพรุ่งนี้แทนได้มั้ยคะ

(和訳：{否定的反応}(ʔəə)、昼休みに友達と打ち合わせがあります。よかったら、明日返してもいいですか？)

TM 47：อาจารย์ครับ คืนพรุ่งนี้ได้มั้ยครับ ผมมีนัดทำงานกลุ่มกับเพื่อนบ่ายนี้

(和訳：[呼びかけ](ʔaa caan khráp)、よかったら、明日返してもいいですか？午後、友達と授業の課題ついて打ち合わせがあります。)

{理由}を冒頭の意味公式とする回答例

TM 33：ผมมีคุยงานกับเพื่อน งั้นเดี๋ยวผมเรียกคนอื่นที่ว่างมาให้นะครับ

(和訳：友達との打ち合わせがあります。では、時間的に余裕がありそうな人を呼んできますね。)

{詫び}を冒頭の意味公式とする回答例

TF 28：ขอโทษค่ะ พอดีหนูมีนัดกับเพื่อน ต้องรีบไปละค่ะ

(和訳：すみません、ちょうど友達と約束があります。急がなければなりません。)

{結論}を冒頭の意味公式とする回答例

TM 12：ช่วงพักผมไม่สะดวกครับ ต้องไปคุยกับเพื่อน ขอเป็นช่วงเย็นได้มั้ยครับ

(和訳：昼休みは都合が悪いです。友達と打ち合わせしなければなりません。
よかったら、夕方をお願いできますか？)

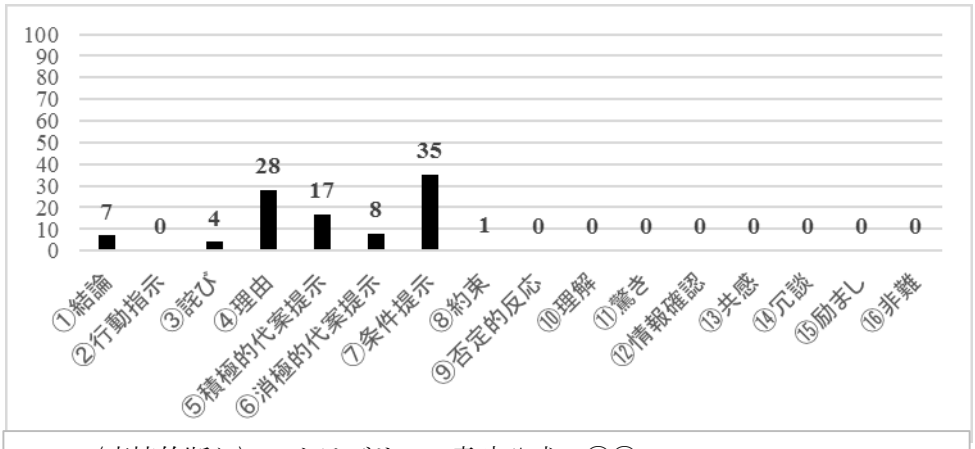
{理解}を冒頭の意味公式とする回答例

TF 15：อ่อ ขอโทษนะคะ พอดีว่าหนูไม่ว่าง ขอเป็นวันอื่นได้มั้ยคะ

(和訳：{理解}(ʔɔ̀ɔ)。すみません。ちょうど時間的に余裕がありません。
よかったら、別の日に返してもいいですか？)

5.3.2.4 場面 3：最後の意味公式(TT)

最後の意味公式は{結論}{詫び}{理由}{積極的代案提示}{消極的代案提示}{条件提示}{約束}が用いられており、全部で 7 種類の意味公式が見られた。出現率を図 34 に示す。



〈直接的断り〉のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯
{理由}28% (理由が最後の意味公式であるパターン 28%)

図 34　TT: 場面 3(親・目上・軽)の断りの最後の意味公式の出現率

TT が用いた最後の意味公式の中で出現率が最も高いのが⑦{条件提示}(35%)であり、JJ の 7%と比べると使用が多い。続いて④{理由}(28%)、⑤{積極的代案提示}(17%)という順になっている。しかし、③{詫び}①{結論}⑥{消極的代案提示}⑧{約束}のそれぞれの出現率は 10%に達しておらず、特に⑧{約束}は 1%しか出現していない。また、①{結論}の出現率がわずか 7%である

のに対して、JJ における出現率は 34%と比べると使用がかなり少ない。すなわち、目上から軽い依頼をされた時、都合が悪くて手伝えない場合は、TT は依頼を引き受けることのできる条件を提示する傾向が見られる。回答例は以下の通りである。

{結論}を最後の意味公式とする回答例

TM 30：ขอโทษครับอาจารย์ ผมกำลังแก้ไขงานกลุ่มกับเพื่อนๆ ผมไปไม่ได้ครับ

(和訳：すみません。今、友達と授業のレポートを修正しています。行けません。)

{詫び}を最後の意味公式とする回答例

TM 19：เอ่อ ผมมีนัดคุยงานช่วงพักกลางวันพอดี อภัยด้วยครับจารย์

(和訳：{否定的反応}(ʔəə)、昼休みはちょうど打ち合わせがあります。大変申し訳ございません。)

{理由}を最後の意味公式とする回答例

TF 40：ขอโทษนะคะอาจารย์ หนูมีงานที่ต้องคุยกับเพื่อน พรุ่งนี้นำเสนองานแล้ว

(和訳：すみません、友達と打ち合わせしなければなりません。明日、発表の予定です。)

{積極的代案提示}を最後の意味公式とする回答例

TM 27：เที่ยงนี้ต้องทำงานที่ยังทำไม่เสร็จครับ เดี๋ยวผมเรียกคนอื่นพอมีเวลาว่างให้มาช่วยนะครับ

(和訳：昼休みはまだできていない授業の課題があって、それをやらなければなりません。では、時間的に余裕がありそうな人を呼んできますね。)

{消極的代案提示}を最後の意味公式とする回答例

TM 36：ขอโทษครับ ตอนนี้ผมไม่ว่างจริงๆ อาจารย์ลองถามคนอื่นดูมั้ยครับ

(和訳：すみません、今とても忙しいです。別の方に聞いてみてくれませんか。)

{条件提示}を最後の意味公式とする回答例

TM 10：ผมมีนัดกับเพื่อนครับ ช่วงบ่ายถ้าเสร็จธุระไว จะเอาไปคืนให้นะครับ

(和訳：友達と約束がありますが、用事を済ませた後、もし時間的に余裕があれば、返しに行きます。)

{約束}を最後の意味公式とする回答例

TF 23： อืม หนูอยากช่วยนะคะ แต่วันนี้ติดธุระ ไว้โอกาสหน้าละกันค่ะ

(和訳：{否定的反応}(ʔɯɯm)、本当に手伝いたいんですけど、今日は用事があります。次の機会があれば、よろしくお願いします。)

フォローアップインタビューによると、TT の意見では、「軽い依頼は大変なことではないので、手伝わないと落ち着かない」ということである。しかも、「依頼者が親しい教員だから、断ると教員が困るかもしれない」「軽い依頼を頼まれたら、都合がよければできるだけ引き受けたい」そうである。しかし、「どうしても手伝えない場合は、手伝いたい気持ちを表すために、相手に自分ができる条件を提示したり、自分ができる範囲で「人を探す」などの{積極的代案提示}を述べる」という。また、{理由}で発話を終了させる人の意見は「親しい相手に対して{結論}を述べることは失礼だと思った」ので、「その代わり、{理由}を詳しく説明することで、断りだと相手に理解してもらえるようにした」という。

5.3.2.5 場面 3：まとめ(TT)

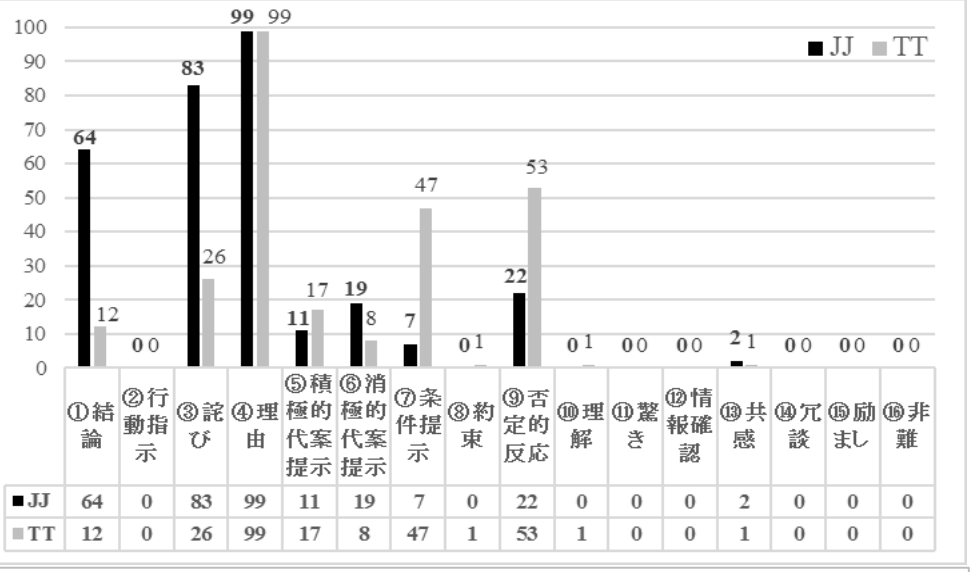
場面 3 の親しい目上からの軽い依頼に対する断りの場面において、TT の使用した意味公式の傾向をまとめる。

(1) 意味公式の全体における出現率のうち、出現率が 50%以上の意味公式は、高い順に{理由}(99%)、次に{否定的反応}(53%)である。
(2) 意味公式の出現順序のパターンについては、多くのバリエーションが見られたのが特徴である。中でも、最も多用されるパターンは{理由}+{条件提示}である。また、{理由}が中間にあるパターンのうち、最も出現率が高い前半部は{否定的反応}+{理由}…で、後半部は…{理由}+{条件提示}である。
(3) 断りの冒頭の意味公式は、{否定的反応}の出現率が突出している。
(4) 断りの最後の意味公式の中で最も多用されるのは、{条件提示}である。

5.3.3 場面 3：日本語母語話者とタイ語母語話者の断りの意味公式の比較

本項では、場面 3(親・目上・軽)での JJ と TT の断りにおける意味公式を比較する。

5.3.3.1 場面 3：JJ・TT の意味公式の出現率の比較 (JJ・TT)



	①結論	②行動指示	③詫び	④理由	⑤積極的代案提示	⑥消極的代案提示	⑦条件提示	⑧約束	⑨否定的反応	⑩理解	⑪驚き	⑫情報確認	⑬共感	⑭冗談	⑮励まし	⑯非難
JJ	64	0	83	99	11	19	7	0	22	0	0	0	2	0	0	0
TT	12	0	26	99	17	8	47	1	53	1	0	0	1	0	0	0

〈直接的断り〉 のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉 のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯

JJ{詫び}83%　(一回の詫び 77%、二回の詫び 6%)
TT{詫び}26%　(一回の詫び 26%、二回の詫び 0%)
JJ{理由}99%　(理由の内容 72%、理由の内容+付加説明 27%)
TT{理由}99%　(理由の内容 36%、理由の内容+付加説明 63%)
JJ{否定的反応}22%　(間投詞 22%、呼びかけ 0%)
TT{否定的反応}53%　(間投詞 29%、呼びかけ 24%)

図 35　JJ・TT: 場面 3(親・目上・軽)の断りの出現率

親しい目上からの軽い依頼を断る場面において、JJ における出現率が 50%以上の意味公式は、高い順に④{理由} (99%)(うち[理由の内容]が 72%、[理由の内容+付加説明]が 27%)、③{詫び}(83%)、①{結論}(64%)となっている。一方、TT における出現率が 50%以上の意味公式は④{理由} (99%)(うち[理由の内容]が 36%、[理由の内容+付加説明]が 63%)、⑨{否定的反応}(53%)である。また、①{結論}③{詫び}⑦{条件提示}⑨{否定的反応}の 4 つの意味公式の出現率は、JJ と TT の間に大きな差がある。

JJ と TT の間に意味公式の出現率に有意差があるかどうかカイ二乗検定を用いて検定した結果、有意差が見られた ($\chi 2(10)=140.00, p<.05$)。残差分析を行ったところ、有意差が見られたのは JJ の{結論}(Z=5.73)、{詫び} (Z=5.23)、[理由の内容](Z=3.00)と、TT の[理由の内容+付加説明](Z=4.90)、{条件提示}(Z=6.30)、{否定的反応}(Z=4.53)である。

JJ と TT の相違点を以下の 5 点にまとめる。

(1) JJ における{結論}の出現率が 6 割(64%)であるのに対して、TT は 1 割(12%)に過ぎない。

(2) JJ は{詫び}を多く使用しており(83%)、TT の 26%と比べると大きな差がある。

(3) {理由}の説明に関しては、JJ は[理由の内容]のみを述べる傾向が見られるが、[理由の内容+付加説明]が TT の特徴である。また、TT においては、どのような用事、約束があるか詳しく説明してから、相手に理由を述べる場合が多く見られる。例えば、「大事なことです」「急がないといけません」「長い時間がかかりそうです」「友達が 30 分も待っています」「本当に忙しいです」「約束がキャンセルできません」などである。一方、JJ はどのような用事、約束があるか、はっきりとした理由を説明しない傾向が著しい。[理由の内容]に加えて、詳しい説明として「時間がない」が多く見られるが、TT と同じように理由を説明する場合は存在しなかった。

(4) JJ は{条件提示}をほとんど使用しない(7%)のに対して、ほぼ半数の TT は{条件提示}(47%)を使用している。

(5) JJ における{否定的反応}の出現率は 22%であり、間投詞しか見られなかった。しかし、TT における{否定的反応}の出現率は 53%であり、JJ の 22%と比べると出現率が約 2 倍である。そのうち、間投詞が 29%、呼びかけが 24%である。間投詞と呼びかけで否定的な反応をするのが TT の特徴である。

5.3.3.2 場面 3：意味公式の出現順序のパターンの比較 (JJ・TT)

次に、JJ と TT の意味公式の出現順序のパターンを比較する。

表 33　JJ・TT: 場面 3(親・目上・軽)の 意味公式の出現順序のパターン

{理由}が中間にあるパターン			
出現順序のパターンの前半部(JJ)	**出現率**	**出現順序のパターンの前半部 (TT)**	**出現率**
*{詫び}+{理由}...	52%	**{否定的反応}+{理由}... ({否定的反応(間)}+{理由}...) ({否定的反応(呼)}+{理由}...)	33% (20%) (13%)
**{否定的反応}+{理由}... ({否定的反応(間)}+{理由}...)	16% (16%)	*{詫び}+{理由}...	10%
*** {否定的反応}+{詫び}+{理由}... ({否定的反応(間)}+{詫び}{理由}...)	4% (4%)	{結論}+{理由}...	3%
{詫び}+{共感}+{理由}...	1%	***{否定的反応}+{詫び}+{理由}... ({否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}...)	1% (1%)
****{否定的反応}+{共感}+{理由}... ({否定的反応(間)}+{共感}+{理由}...)	1% (1%)	****{否定的反応}+{共感}+{理由}... ({否定的反応(間)}+{共感}+{理由}...)	1% (1%)
		{理解}+{詫び}+{理由}...	1%
合計	**74%**	合計	**49%**

出現順序のパターンの後半部(JJ)	出現率	出現順序のパターンの後半部(TT)	出現率
...{理由}+{結論}*	31%	...{理由}+{条件提示}*****	21%
...{理由}+{結論}+{積極的代案提示}	8%	...{理由}+{積極的代案提示}******	12%
...{理由}+{消極的代案提示}**	7%	...{理由}+{消極的代案提示}**	6%
...{理由}+{結論}+{消極的代案提示}	7%	...{理由}+{結論}*	5%
...{理由}+{結論}+{詫び}***	6%	...{理由}+{詫び}****	3%
...{理由}+{詫び}****	4%	...{理由}+{結論}+{詫び}***	1%
...{理由}+{条件提示}*****	3%	...{理由}+{約束}	1%
...{理由}+{積極的代案提示}******	3%		
...{理由}+{結論}+{条件提示}	2%		
...{理由}+{結論}+{詫び}+{消極的代案提示}	2%		
...{理由}+{結論}+{詫び}+{積極的代案提示}	1%		
合計	**74%**	合計	**49%**
{理由}が冒頭の意味公式であるパターン			
JJ	**出現率**	**TT**	**出現率**
{理由}+{結論}+{詫び}	4%	{理由}+{条件提示}**	14%
{理由}+{結論}*	2%	{理由}+{積極的代案提示}	4%
{理由}+{結論}+{条件提示}	1%	{理由}+{消極的代案提示}***	2%
{理由}+{詫び}	1%	{理由}+{結論}*	2%
{理由}+{詫び}+{消極的代案提示}	1%		
{理由}+{条件提示} **	1%		
{理由}+{消極的代案提示}***	1%		
合計	**11%**	合計	**22%**
{理由}が最後の意味公式であるパターン			
JJ	**出現率**	**TT**	**出現率**
{詫び}+{理由}	13%	{否定的反応}+{条件提示} +{理由} ({否定的反応(呼)}+{条件提示} +{理由}) ({否定的反応(間)}+{条件提示} +{理由})	13% (11%) (2%)
*{否定的反応}+{理由} ({否定的反応(間)}+{理由})	1% (1%)	*{否定的反応}+{理由} ({否定的反応(間)}+{理由})	5% (5%)
合計	**14%**	合計	**18%**
{理由}なしのパターン			
JJ	**出現率**	**TT**	**出現率**
{詫び}+{結論}	1%	{結論}+{積極的代案提示}	1%
合計	**1%**	合計	**1%**
意味公式が一つしかないパターン			
JJ	**出現率**	**TT**	**出現率**
なし	0%	なし	0%
合計	**0%**	合計	**0%**
総合計	**100%**	総合計	**100%**

JJ の出現率の高い順に並べると、{理由}が中間にあるパターンの出現率が 74%、続いて{理由}が最後の意味公式であるパターンの出現率が 14%、{理由}が冒頭の意味公式であるパターンの出

現率が 11%、{理由}なしのパターンの出現率が 1%である。一方、TT は{理由}が中間にあるパターンの出現率が 49%、続いて{理由}が最後の意味公式であるパターンの出現率が 28%、{理由}が冒頭の意味公式であるパターンの出現率が 22%、{理由}なしのパターンの出現率が 1%である。

JJ と TT の意味公式の出現順序のパターンの相違点を以下の 3 点にまとめる。

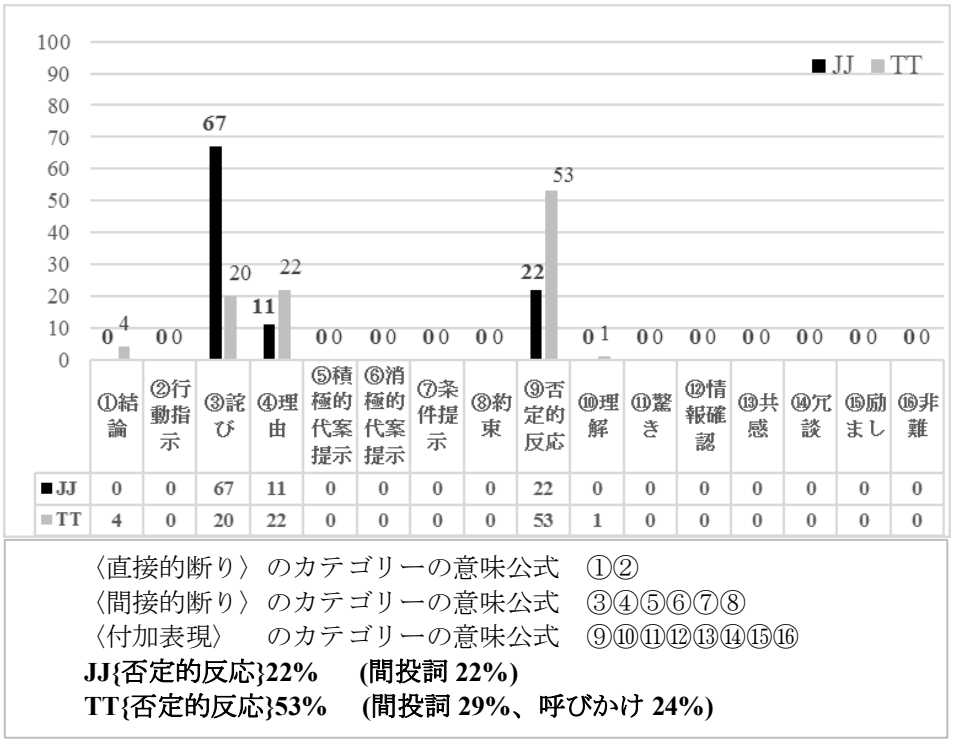
(1) JJ における{理由}が中間にあるパターンの出現率は約 7 割を超えるが、TT における出現率は約 5 割に過ぎない。{理由}が中間にあるパターン以外、TT は{理由}が最後の意味公式であるパターンの出現率が約 3 割で、{理由}が冒頭の意味公式であるパターンの出現率は約 2 割である。つまり、TT における{理由}の出現場所の内訳に着目すると、{理由}が中間にあるパターンが約 5 割、{理由}が最初か最後にあるパターンが約 5 割の出現率となる。

(2) 出現順序のパターンの前半部を見ると、JJ は{詫び}+{理由}..の出現率が著しく高い(52%)のに対して、TT における出現率はわずか 10%である。TT の出現率が最も高いパターンは{否定的反応} +{理由}…(33%)であり、JJ の 16%に比べると使用が多い。出現順序のパターンの後半部について、JJ は…{理由}+{結論}の出現率が最も高い(31%)のに対して、TT は 5%に過ぎない。TT における出現率が最も高いパターンは…{理由}+{条件提示}21%であるが、JJ は 3%に過ぎない。

(3) {理由}が冒頭の意味公式であるパターンのうち、JJ において最も出現率が高いパターンは{理由}+{結論}+{詫び}(4%)である。これは TT には全く見られないパターンである。一方、TT における最も出現率が高いパターンは{理由}+{条件提示}(14%)であるが、JJ においては 1%しか出現していない。

5.3.3.3 場面 3：冒頭の意味公式の比較 (JJ・TT)

TT と JJ が用いた冒頭の意味公式の出現率を図 36 に示す。



	①結論	②行動指示	③詫び	④理由	⑤積極的代案提示	⑥消極的代案提示	⑦条件提示	⑧約束	⑨否定的反応	⑩理解	⑪驚き	⑫情報確認	⑬共感	⑭冗談	⑮励まし	⑯非難
JJ	0	0	67	11	0	0	0	0	22	0	0	0	0	0	0	0
TT	4	0	20	22	0	0	0	0	53	1	0	0	0	0	0	0

〈直接的断り〉のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯
JJ{否定的反応}22%　(間投詞 22%)
TT{否定的反応}53%　(間投詞 29%、呼びかけ 24%)

図 36　JJ・TT: 場面 3(親・目上・軽)の断りの冒頭の意味公式の出現率

JJ が用いた冒頭の意味公式に着目すると、<間接的断り>のカテゴリーに分類される③{詫び}の出現率が突出している(67%)。続いて、⑨{否定的反応}が 22%、④{理由}が 11%という順序になっている。一方、TT においては、<付加表現>のカテゴリーに分類される⑨{否定的反応}(53%)の出現率が最も高い。続いて、④{理由}(22%)、③{詫び}(22%)という順序である。また、他の意味公式は出現率が 5%以下である。

JJ と TT の相違点を以下の 2 点にまとめる。

(1)JJ は{詫び}の出現率が 67%であり、TT の 20%と比べると大きな差がある。

(2)JJ における{否定的反応}の出現率は 22%であり、間投詞しか見られなかった。しかし、TT における{否定的反応}の出現率は 53%であり、JJ の 22%と比べると出現率が約 2 倍となっている。そのうち、間投詞が 29%、呼びかけが 24%である。間投詞と呼びかけで否定的な反応をするのが TT の特徴であると言える。

5.3.3.4 場面 3：最後の意味公式の比較 (JJ・TT)

次に、最後の意味公式を考察する。出現率を図 37 に示す。

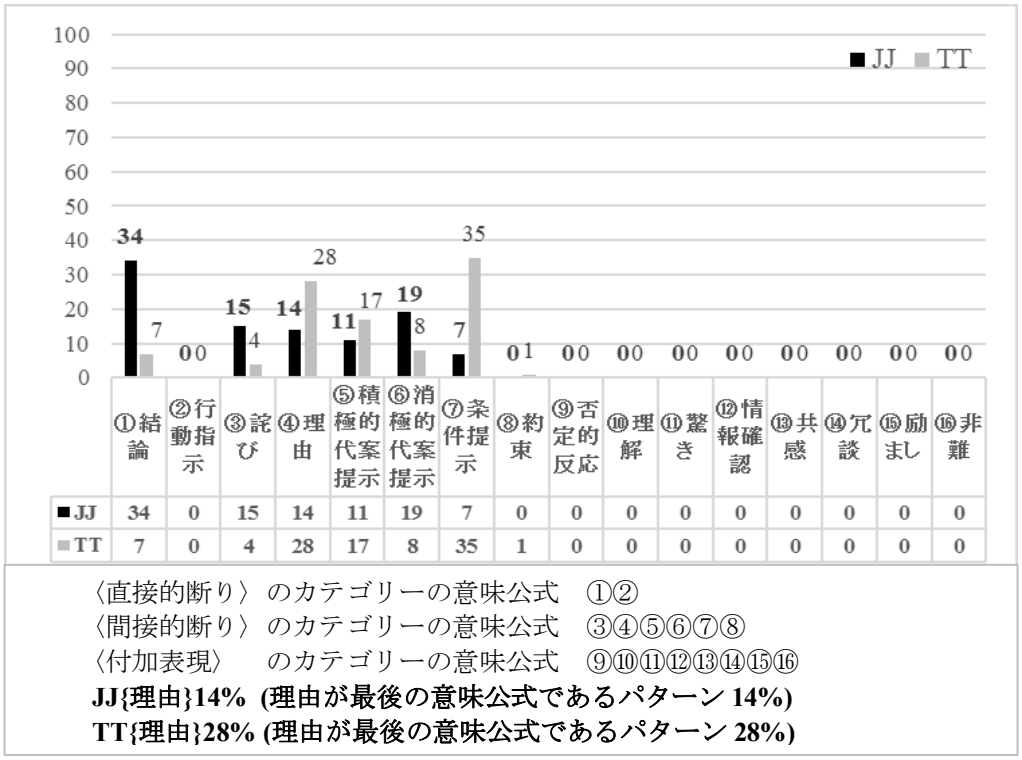


図 37 JJ・TT: 場面 3(親・目上・軽)の断りの最後の意味公式の出現率

JJ が用いた最後の意味公式は出現率の高い順に、<直接的断り>のカテゴリーに分類される ①{結論}(34%)、続いて<間接的断り>のカテゴリーに分類される⑥{消極的代案提示}(19%)、③{詫び}(15%)、④{理由}(14%)、⑤{積極的代案提示}(11%)、⑦{条件提示}(7%)である。一方、TT が用いた最後の意味公式は出現率の高い順に、<間接的断り>のカテゴリーに分類される⑦{条件提示}(35%)、続いて、④{理由}(28%)、⑤{積極的代案提示} (17%)、⑥{消極的代案提示} (8%)、①{結論}(7%)、③{詫び}(4%)、⑧{約束}(1%)である。

JJ と TT が用いた最後の意味公式の相違点を以下の 3 点にまとめる。

(1) JJ の最も出現率が高い意味公式は{結論}で、34%であるが、TT における出現率はわずか 7%である。

(2) TT における最も出現率が高い意味公式は{条件提示}35%であるが、JJ に見られた{条件提示}の出現率はわずか 7%である。

(3) JJ は TT と比較すると{消極的代案提示}(JJ:19% 、TT:8%)の出現率が 2 倍強、{詫び} (JJ:15%、 TT: 4%)の出現率が 4 倍弱高い。

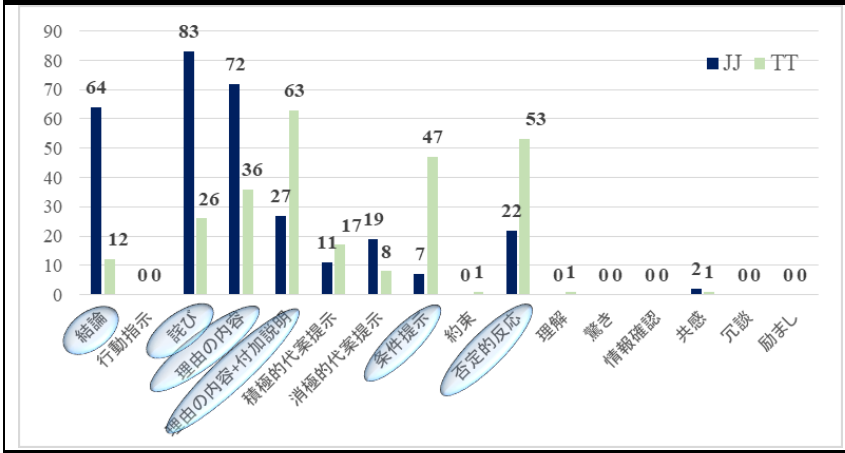
JJ と TT の意味公式の使用についての意見を以下の 2 点にまとめる。

(1) {結論}については、TT の意見では、「目上に対して{結論}を述べるのが失礼だと思った」という。しかし、JJ の意見では「{結論}を述べるのは大事なことである。明確に断らないと、相手に誤解されるかもしれない。{結論}だけを述べるのは相手に失礼だと思われてしまうので、{結論}の前に{理由}を説明すれば、失礼にならない」という意見である。

(2) 手伝いを提案する{積極的代案提示}{消極的代案提示}{条件提示}について、TT の意見では、「{消極的代案提示}は相手に手伝いの人を探す負担をかける行為であるし、間接的断りだと解釈されると思った」ので、使用を避けるのである。一方、TT における{積極的代案提示}の出現率は 35%（JJ の約 5 倍）であり、TT が多用している傾向が見られる。TT の意見によると、「軽い依頼を頼まれたら、できるだけ引き受けたい」という。すなわち、依頼を完全に引き受けることが不可能であっても、相手が提案した条件を断り、自分ができる条件を提案する。どうしても自分ができない場合は、手伝える人間を積極的に探そうとする傾向が見られる。反対に、JJ における{条件提示}の出現率が少ない理由の一つは、サークル、アルバイトなどの予定が立て込んでいることである。授業以外の時間においては、半分以上の協力者がスポーツの練習またアルバイトをしており、自由な時間が少ない傾向がある。ほかにも、軽い依頼については、手伝いの条件を提示しなくても、依頼者が自分自身で依頼内容を完遂できると考える傾向が見られた。すなわち、TT のほうが JJ より手伝いの代案を提示する傾向があるのは、このような考え方の違いによるものであることが分かった。

5.3.3.5 場面 3：JJ と TT が用いた意味公式の使用のまとめ

意味公式の出現率

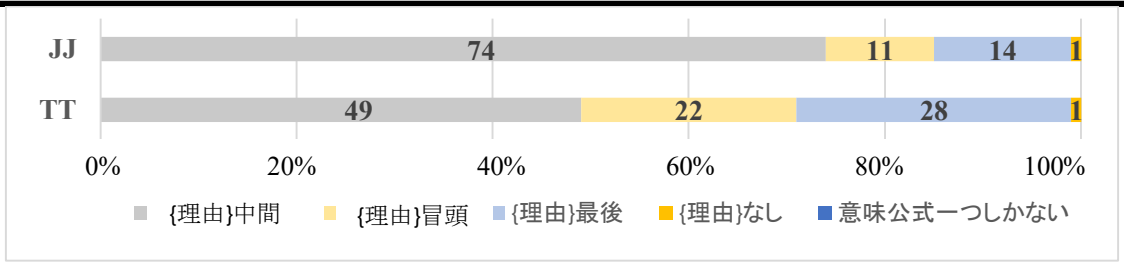


カイ二乗検定を用いて検定した結果、有意差が見られた($\chi 2(10)=140.00$, $p<.05$)。

残差分析を行ったところ、有意差が見られたのは
JJ の{結論}(Z=5.73)
{詫び}(Z=5.23)
[理由の内容](Z=3.00)

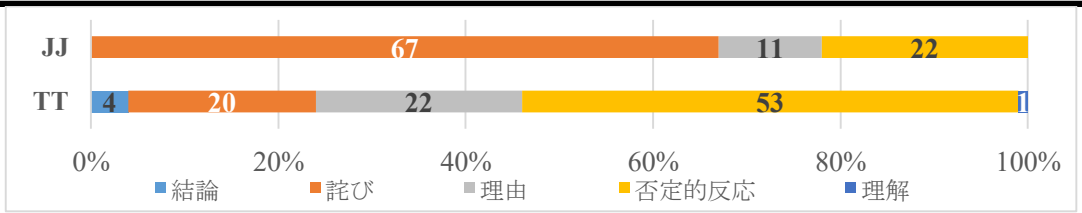
TT の[理由の内容+付加説明](Z=4.90)
{条件提示}(Z=6.30)
{否定的反応}(Z=4.53)

意味公式の出現順序のパターン



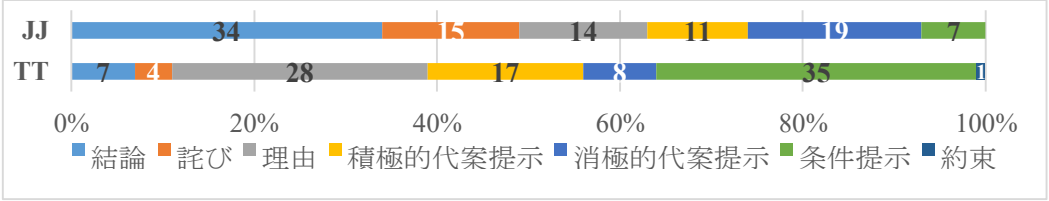
(1) **JJ** は{理由}が中間にあるパターンを使う強い傾向が見られる(74%)。
(2) **TT** の半数は{理由}が中間にあるパターンを使っている。また、残りの **TT** に関しては、{理由}が冒頭の意味公式であるパターンか、{理由}が最後の意味公式であるパターンを使っている。
(3)出現順序のパターンの前半部を見ると、**JJ** は{詫び}+{理由}..の出現率が著しく高い(52%)のに対して、**TT** は{否定的反応} +{理由}…(33%)である。
(4)出現順序のパターンの後半部について、**JJ** は…{理由}+{結論}の出現率が最も高い(31%)のに対して、**TT** は…{理由}+{条件提示}21%である。

冒頭の意味公式



JJ は{詫び}を多用する (67%)のに対して、TT の約半数は{否定的反応}(53%)、残りの半数は{詫び}(20%)と{理由}(22%)を使用する傾向が見られる。

最後の意味公式



(1)**JJ** においては{結論}の使用が最も多いのに対して、**TT** はわずか 7%である。
(2)**TT** は{条件提示}{理由}を多用する傾向が見られる。なお、TT においては {条件提示}の使用が一番多いのに対して、**JJ** の使用は 7%に過ぎない。

5.4 場面 4：親しくない目上からの軽い依頼

本節では、場面 4 において JJ と TT が用いた意味公式の出現率のデータを基に考察する。この場面は「親しくない教員に昼間、教員の部屋へ本を取りに来て、図書館に本を返却すること」を依頼される場面を設定した。

5.4.1 場面 4：日本語母語話者の使用した意味公式

5.4.1.1 場面 4：意味公式の出現率(JJ)

まず、意味公式の出現率を考察する。出現率を図 38 に示す。

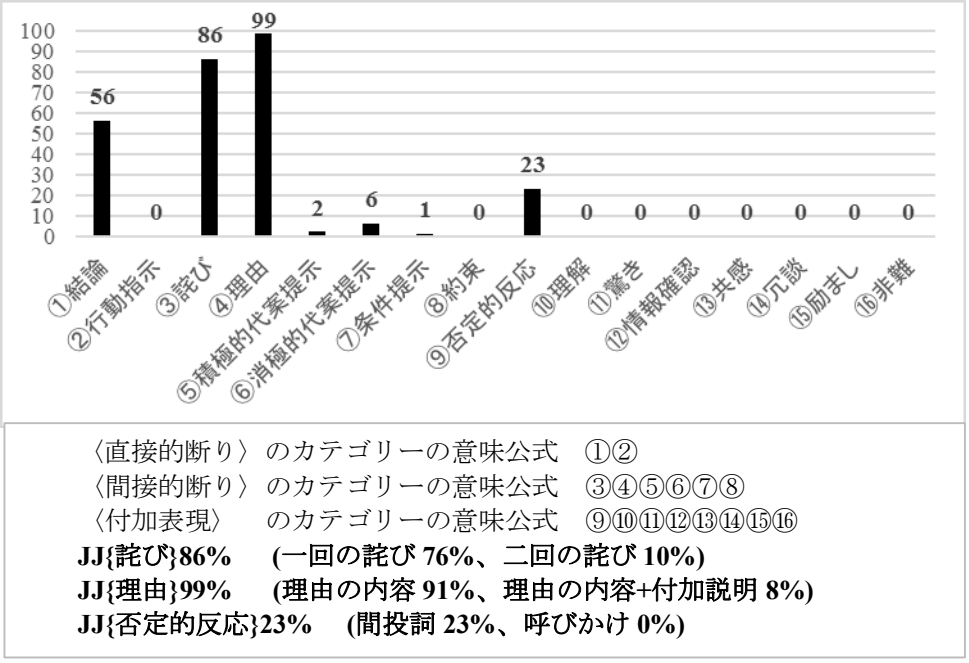


図 38 JJ: 場面 4(疎・目上・軽)の断りの意味公式の出現率

親しくない目上からの軽い依頼を断る場面において、出現率が 50%以上の意味公式に着目して見ると、高い順に④{理由}(99%)、③{詫び}(86%)、①{結論}(56%)という順序になっている。このうち{結論}については<直接的断り>、その他は<間接的断り>のカテゴリーに分類される。

以下、分類したカテゴリーに従って個々の意味公式について具体的な説明を加える。<直接的断り>のカテゴリーに分類される①{結論}については、言語形式の違いにより JJ の{結論}の言い方は 4 つのパターンに分類される。

(1)イ・ナ形容詞(+終助詞)

用いられた表現：「厳しいです」「無理です」「難しいです」

(2)動詞の可能形の否定形

用いられた表現：「行けないです」「行くことができません」「返しに行けません」

(3)動詞の可能形の否定形/イ・ナ形容詞+モダリティ形式

用いられた表現：「返しに行けそうにないです」「返しに行くことができそうにないです」「行けなさそうです」「無理そうです」「行けないと思います」

(4) 副詞+動詞の可能形の否定形/イ・ナ形容詞 (+モダリティ形式)(+終助詞)

用いられた表現：「ちょっと無理です」「ちょっと難しいです」「少し難しいです」「ちょっと行けないです」「ちょっと難しそうですね」

回答例は以下の通りである。

JF 18：約束があるので、本を返しに行くのは厳しいです。

JM 1： ああ、すみません。午後は用事があって、行けないです。

JM 12：すみません。僕は用事で、行けそうにないです。

JF 50：すみません。午後は用事で、ちょっと無理です。

次に<間接的断り>のカテゴリーにおける出現率が二番目に高い③{詫び}の出現率は 86%、そのうち一回の詫びが 76%、二回の詫びが 10%である。詫びの表現としては「すみません」、「すいません」、「申し訳ないです」、「申し訳ありません」、「ごめんなさい」が使われている。回答例は以下の通りである。

一回の詫び

JM 5： 本当にすみません。午後は用事が入っております。

JF 32： ああ、すみません。午後は先約が入ってしまって、無理そうです。

JM 34：約束あるんで、難しいです。すみません。

二回の詫び

JM 28：すいません。この後は約束があるんで、行けないです。すいません。

JF 46： すいません。時間がないので、ちょっと無理そうです。ごめんなさい。

続いて、最も出現率が高い意味公式である④{理由}の出現率は 99%（うち[理由の内容]が 91%、[理由の内容+付加説明]が 8%）である。出現率を見ると、JJ においては理由の内容のみを述べる傾向が見られることが明らかになった。この場面は DCT に「友達との打ち合わせ」を理由に使うよう設定しているが、「友達との打ち合わせがある」とはっきり言うのを控え、「用事・先約・約束」といった回答が多く見られる。回答例は以下の通りである。

[理由の内容]

JM 7： すいません。今から約束があるんで。

JM 39：すみません。時間無いです。

JF 29： すみません。午後は用事があります。

[理由の内容+付加説明]

JM 19：ああ、午後は用事があって、時間がとれません。本当にすみません。

JF 39：申し訳ありませんが、午後は先約があるので、間に合わないです。

JF 47：すいません。これから打ち合わせがあるので、時間がなさそうです。

⑤{積極的代案提示}⑥{消極的代案}⑦{条件提示}について、⑤{積極的代案提示}の出現率は2%、⑥{消極的代案提示}は 6%、⑦{条件提示}は 1%に過ぎない。出現率を見ると、JJ においては手伝いの代案を提示することが非常に少数であることが明らかになった。以下は回答例である。

{積極的代案提示}

JM 6：すいません、僕も授業があって、返しに行けないかもしれません。
　　では、時間がある友達に聞いてみます。

JF 11：すみません。行く時間がないです。他の 1 回生に聞いてみますね。

{消極的代案提示}

JM 8： ああ、午後は用事があって行けないです。他の人にお願いしてもらってもよろしいですか。

JM 36： 午後の約束に遅れてしまうので、ごめんなさい。
　　別の人を当たってくれると嬉しいです。

{条件提示}

JF34：ああ、午後は用事が入っちゃってるんですよねー。夕方でもいいなら行けますが、

最後に<付加表現>のカテゴリーに分類される⑨{否定的反応}の出現率は 23%である。用いられた表現と回答例は以下の通りである。

{否定的反応}

用いられた表現：「ああ」「うーん」「えー」「え―と」「ちょっと…」

JF 27： ああ、午後は約束があるので、すみません。

JM 48： うーん、午後は約束があるので、ちょっと難しいです。

JF 2： えー、午後は約束があって、行けないです。

5.4.1.2 場面 4：意味公式の出現順序のパターン(JJ)

続いて、意味公式の出現順序のパターンを考察する。回答 に見られた意味公式の出現順序のパターンを表 34 に示す。

表 34　JJ: 場面 4(疎・目上・軽)の 意味公式の出現順序のパターン

冒頭の意味公式	{理由}が中間にあるパターン	出現率
{詫び}	{詫び}+{理由}+{結論}	29%
	{詫び}+{理由}+{結論}+{詫び}	6%
	{詫び}+{理由}+{詫び}	3%
	{詫び}+{理由}+{積極的代案提示}	2%
	小計	**40%**
{否定的反応}	{否定的反応(間)}+{理由}+{結論}	5%
	{否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}+{結論}	4%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{詫び}	3%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{結論}+{詫び}	2%
	{否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}+{消極的代案提示}	2%
	{否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}+{結論}+{詫び}	1%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{結論}+{消極的代案提示}	1%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{条件提示}	1%
	小計	**19%**
合計		**59%**
冒頭の意味公式	**{理由}が冒頭の意味公式であるパターン**	**出現率**
{理由}	{理由}+{結論}+{詫び}	6%
	{理由}+{結論}	4%
	{理由}+{詫び}	3%
	{理由}+{消極的代案提示}	2%
	{理由}+{詫び}+{消極的代案提示}	1%
合計		**16%**
冒頭の意味公式	**{理由}が最後の意味公式であるパターン**	**出現率**
{詫び}	{詫び}+{理由}	20%
	小計	**20%**
{否定的反応}	{否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}	3%
	{否定的反応(間)}+{理由}	1%
	小計	**4%**
合計		**24%**
冒頭の意味公式	**{理由}なしのパターン**	**出現率**
{詫び}	{詫び}+{結論}	1%
合計		**1%**
冒頭の意味公式	**意味公式が一つしかないパターン**	**出現率**
	なし	0%
合計		**0%**
総合計		**100%**

意味公式の出現順序のパターンは、全部で 21 パターンに分類される。{理由}が中間にあるパターンは 12 パターンで、出現率が 59%である。続いて、{理由}が最後の意味公式であるパターンは 3 パターンで、出現率が 24%である。{理由}が冒頭の意味公式であるパターンは 5 パターンで、出現率が 16%である。{理由}なしのパターンは 1 パターンで、出現率が 1%である。

意味公式の出現パターンのうち、最も出現率の高い上位 2 位のパターンは{詫び}+{理由} +{結論}(29%)、{詫び}+{理由}(20%)である。全体的な傾向を見ると、どのようなパターンでも{詫び}{理由}{結論}の 3 つの意味公式が頻繁に出現していることが分かった。回答例は以下の通りである。

{詫び}+{理由}+{結論}

JM 6:　すいません。午後、用事があります。本を返しに行けません。

{詫び}+{理由}

JM 39:　すみません。時間無いです。

続いて、{理由}が中間にあるパターンについて、出現順序のパターンの前半部と後半部を表 35 に示す。

表 35　JJ: 場面 4(疎・目上・軽)の 意味公式の出現順序のパターンの前半部と後半部

出現順序のパターンの前半部	出現率	出現順序のパターンの後半部	出現率
{詫び}+{理由}…	40%	…{理由}+{結論}	38%
{否定的反応}+{理由}… ({否定的反応(間)}+{理由}…)	12% (12%)	…{理由}+{結論}+{詫び}	9%
{否定的反応}+{詫び}+{理由}… ({否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}…)	7% (7%)	…{理由}+{詫び}	6%
		…{理由}+{消極的代案提示}	2%
		…{理由}+{積極的代案提示}	2%
		…{理由}+{条件提示}	1%
		…{理由}+{結論}+{消極的代案提示}	1%
合計	**59%**	**合計**	**59%**

最も出現率の高い意味公式の出現順序のパターンの前半部は{詫び}+{理由}…(40%)である。後半部は...{理由}+{結論}(38%)である。回答例は以下の通りである。

{詫び}+{理由}…

JM 35：ごめんなさい。約束があって、行けません。

…{理由}+{結論}

JF 32：ああ、すみません。午後は先約が入ってしまって、無理そうです。

5.4.1.3 場面 4：冒頭の意味公式(JJ)

次に、冒頭の意味公式を考察する。冒頭に見られた意味公式は{理由}{否定的反応}{詫び}が用いられており、全部で 3 種類の意味公式が見られた。出現率を図 39 に示す。

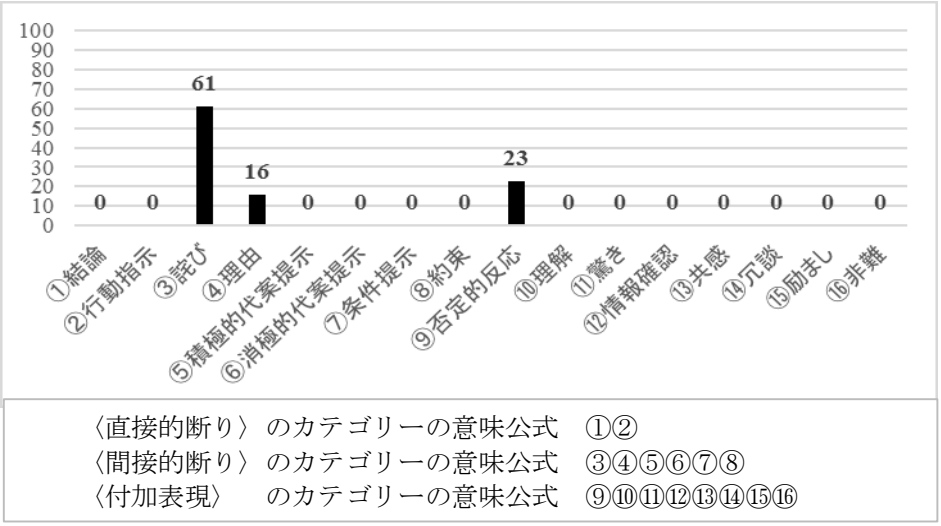


図 39 JJ: 場面 4(疎・目上・軽)の断りの冒頭の意味公式の出現率

JJ が用いた冒頭の意味公式のうち、出現率の最も高いのが③{詫び}(61%)であり、突出して出現率が高い。続いて⑨{否定的反応}(23%)の出現率が高く、最も出現率が低い冒頭の意味公式は④{理由}(16%)である。このうち{結論}は<直接的断り>、{詫び}は{間接的断り}、その他は<付加表現>のカテゴリーに分類される。以下は本調査に見られた回答例である。

{詫び}を冒頭の意味公式とする回答例

JM 25：すみません。この後約束があるので、行けないです。

JF 33： ごめんなさい。午後は約束があります。

{理由}を冒頭の意味公式とする回答例

JM 14：用事があるから、他の方に頼んでいただけませんか。

JF 41：午後は約束があって、すみません。

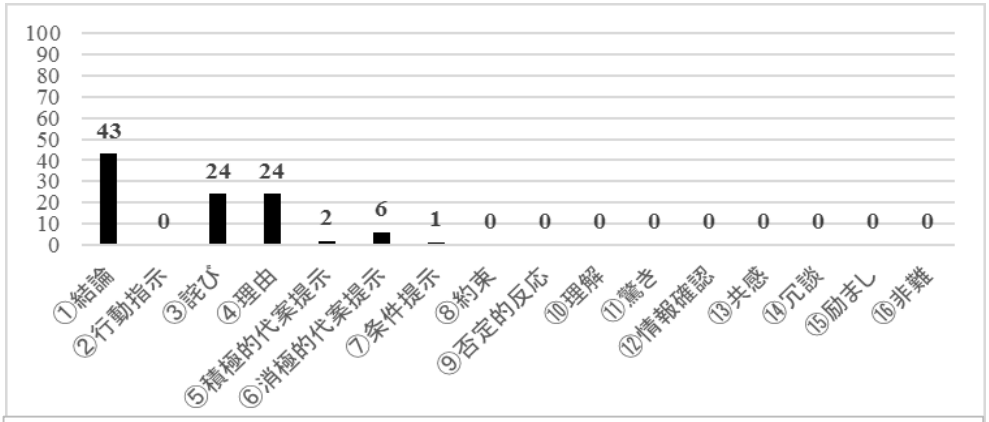
{否定的反応}を冒頭の意味公式とする回答例

JM 12：うーん、午後は約束があって、すみません。

JF 37： えーと、本を取りに行ったら、約束、多分間に合わないので、ちょっと厳しそうですね。 すみません。

5.4.1.4 場面 4：最後の意味公式(JJ)

最後の意味公式は{条件提示}{積極的代案提示}{消極的代案提示}{理由}{詫び}{結論}が用いられており、全部で 6 種類の意味公式が見られた。出現率を図 40 に示す。



〈直接的断り〉のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯
{理由}24% (理由が最後の意味公式であるパターン 24%)

図 40　JJ: 場面 4(疎・目上・軽)の断りの最後の意味公式の出現率

JJ が用いた最後の意味公式を出現率の高い順番に並べると、<直接的断り>のカテゴリーに分類される①{結論}(43%)、<間接的断り>のカテゴリーに分類される③{詫び}と④{理由}(それぞれ 24%)という順になる。その他の意味公式は出現率が低い。回答例は以下の通りである。

{結論}を最後の意味公式とする回答例

JF 18：約束があるので、本を返しに行くのは厳しいです。

{詫び}を最後の意味公式とする回答例

JM 34：約束あるんで、難しいです。すみません。

{理由}を最後の意味公式とする回答例

JM 7： すいません。今から約束があるんで。

{積極的代案提示}を最後の意味公式とする回答例

JM 6：すいません、僕も授業があって、返しに行けないかも。
　　では、時間がある友達に聞いてみます。

{消極的代案提示}を最後の意味公式とする回答例

JM 8： ああ、午後は用事があって行けないです。他の人にお願いしてもらってもよろしいですか。

{条件提示}を最後の意味公式とする回答例

JF34：ああ、午後は用事が入っちゃってるんですよねー。夕方でもいいなら行けますが、

フォローアップインタビューによると、{結論}で発話を終了させる人は、「断りを明言しないと、相手に誤解される恐れがある」と答えた。そして、{詫び}を最後に述べる人の意見では、「{結論}で発話を終了させると、手伝えない印象が強くなるから、相手の気持ちを傷つけるかもしれないので、{結論}を述べた後、相手との良好な関係を保てるように、{詫び}で発話を終了させる」と答えた。また、{理由}で発話を終了させる人は「{結論}の使用を避ける」ことが分かった。意味公式の出現順序のパターンを見ると、まず{否定的反応}または{詫び}を述べてから{理由}を説明する傾向が見られる。{理由}で発話を終了させる人の意見では、「目上に、{結論}を述べるのは失礼だと思った」というものが見られた。

JJ は、{消極的代案提示}{積極的代案提示}{条件提示}を最後の意味公式としてほとんど使わない。なぜその 3 種の意味公式を使わないか意見を聞いたところ、「親しくない人は関係が薄く、良好な関係を保つ必要がないので、代案を提示しなくてもいい」という意見が見られた。一方、手伝いの代案を提示する人の意見では、「軽い依頼は被依頼者に負担をかけないので、都合が悪くても手伝いの方法を提示したい」といった意見も見られた。

まとめると、JJ は親しくない目上の軽い依頼に対して、最後に手伝いの代案提示をほとんど行わない一方、{結論}を述べる傾向があるという特徴が見られる(4 割以上)。

5.4.1.5 場面 4：まとめ(JJ)

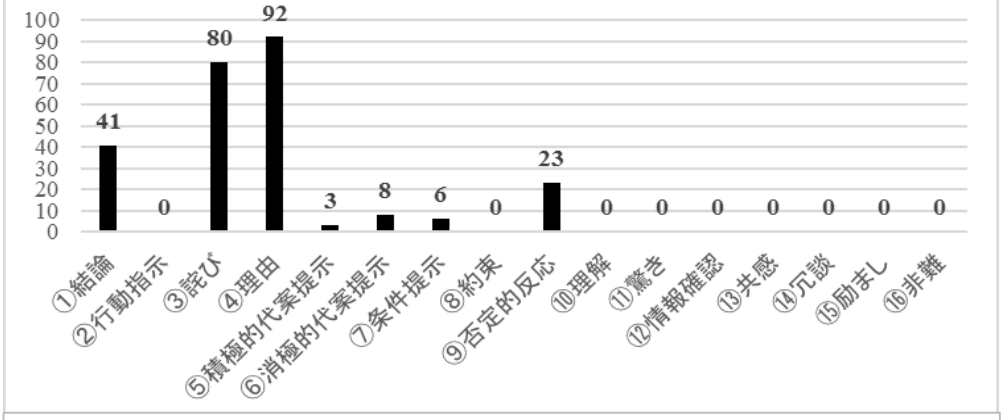
場面 4 の親しくない目上からの軽い依頼に対する断りの場面において、JJ の使用した意味公式の傾向をまとめる。

(1) 意味公式の全体における出現率のうち、出現率が 50%以上の意味公式は、高い順に{理由}(99%)、{詫び}(86%)、{結論}(56%)である。
(2) 意味公式の出現順序のパターンについては、{詫び}+{理由}+{結論}が最も多用されるパターンである。そして、{理由}が中間にあるパターンのうち、最も出現率が高い前半部は{詫び}+{理由}…で、後半部は…{理由}+{結論}である。
(3) 断りの冒頭の意味公式は{詫び}の出現率が突出している。
(4) 断りの最後の意味公式に{結論}を用いて発話を終了させる傾向が見られる。

5.4.2 場面 4:タイ語母語話者の使用した意味公式

5.4.2.1 場面 4：意味公式の出現率(TT)

まず、意味公式の出現率を考察する。出現率を図 41 に示す。



〈直接的断り〉のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯
TT{詫び}80%　　(一回の詫び 67%、二回の詫び 13%)
TT{理由}92%　　(理由の内容 76%、理由の内容+付加説明 16%)
TT{否定的反応}23%　(間投詞 19%、呼びかけ 4%)

図 41　TT: 場面 4(疎・目上・軽)の断りの意味公式の出現率

親しくない目上からの軽い依頼を断る場面において、TT の出現率が 50%以上の意味公式は高い順に④{理由}(92%)、次に③{詫び}(80%)である。2 つの意味公式は<間接的断り>のカテゴリーに分類される。

以下、個々の意味公式について具体的な説明を加える。<直接的断り>のカテゴリーに分類される①{結論}の出現率が 41%である。言語形式の違いにより TT の{結論}の言い方は非断定的表現と断定的表現に分類される。

非断定的表現：動詞の前に、モダリティ形式「คง (khoŋ)」(だろう)、「อาจจะ (ʔàat ca)」(かもしれない)が付加される。回答例は以下の通りである。

TF 24：ช่วงบ่ายหนูติดธุระ พอดีมีนัดคุยงานกับเพื่อน *คงไม่สามารถมาได้

(和訳：午後は用事があります。ちょうど友達と授業の課題について打ち合わせがあります。来られないでしょう)

*คง(khoŋ だろう)、ไม่สามารถ... ได้(mâi saamaat…dâi 不可能を表す否定詞)、มา(maa 来る)

断定的表現：動詞に不可能を表す否定詞「ไม่สามารถ... ได้」(mâi saamaat…dâi)、「...ไม่ได้」(...mâi dâi) (することができない) が付加される。回答例は以下の通りである。

TM 16：ต้องขอโทษด้วยนะครับ พอดีผมมีธุระครับ *ไปไม่ได้จริงๆ

(和訳：申し訳ございません。ちょうど用事があります。どうしても行けません。)

*ไป(pai 行く)、ไม่ได้(mâi dâi 不可能を表す否定詞)、จริงๆ(ciŋ ciŋ どうしても(強調詞))

ほかにも、TT が「ไม่สะดวก (mâi sadùak) 」(都合が悪い)を多く使っている。

TM 6：เอ่อ　*ไม่สะดวกเลยครับ ผมต้องไปคุยเกี่ยวกับรายงานกลุ่มกับเพื่อน

(和訳：否定的反応(ʔəə)、全く都合が悪いです。午後は授業のレポートについて友達との打ち合わせに行かなければなりません。)

*ไม่(mâi 否定詞)、สะดวก (sadùak 都合がいい)、เลย(ləəi 全く(強調詞))

ครับ(khráp 男性の文末丁寧詞)

次に＜間接的断り＞のカテゴリー、最も出現率が二番目に高い意味公式{詫び}の出現率は80%（うち一回の詫びが 67%、二回の詫びが 13%）である。詫びの表現として、「ขอโทษนะครับ/คะ」(khɔ̌ɔthôot ná khráp/ khá)「ขอโทษด้วยครับ/ค่ะ」(khɔ̌ɔthôot dûai khráp/ khâ)「ขอโทษครับ/ค่ะ」(khɔ̌ɔthôot khráp/khâ)「ขอโทษจริงๆครับ/ค่ะ」(khɔ̌ɔthôot ciŋ ciŋ khráp/ khâ)「ขอโทษทีครับ/ค่ะ」(khɔ̌ɔthôot thii khráp/ khâ) 「ขอโทษครับ/ค่ะอาจารย์」(khɔ̌ɔthôot khrápkhâ ʔaa caan) 「ต้องขอโทษจริงๆครับ/ค่ะ」(tôŋ khɔ̌ɔthôot ciŋ ciŋ khráp/ khâ)が使われている。以下、回答例を示す。

一回の詫び

TF 48：ขอโทษนะคะอาจารย์ พอดีช่วงกลางวันหนูมีธุระอะค่ะ

(和訳：すみません、昼休みはちょうど用事があります。)

二回の詫び

TM 13：ขอโทษครับ ผมจะไปทำธุระข้างนอก ขอโทษทีนะครับ

(和訳：すみません。用事で外出します。すみません。)

続いて、最も出現率が高い意味公式、④{理由}の出現率は 92%、そのうち[理由の内容]が

76%、[理由の内容+付加説明]が 16%である。[理由の内容+付加説明]の場合、TT は大きな理由を述べてから、相手に説得力のある詳しい付加理由を述べることが多く見られる。[理由の内容+付加説明]の回答例は以下の通りである。

TM 2：ขอโทษครับ พอดีผมติดธุระตอนเที่ยง กำลังรีบด้วยครับ

(和訳：すみません。昼休みはちょうど用事があります。今、急いでいます。)

TM 3：ขอโทษครับ พอดีผมต้องไปช่วยงานเพื่อน นัดไว้แล้วด้วย อาจารย์ลองถามเพื่อนๆคนอื่นดูนะครับ

(和訳：すみません。ちょうど友達に授業の課題を手伝いに行かなければなりません。
もう約束しています。他の方に聞いてみていただけませんか？)

TM 8：เอ่อ ผมมีนัดคุยงานกับเพื่อนอะครับ เพื่อนรออยู่ที่โรงอาหาร ขอโทษด้วยครับ

(和訳：{否定的反応}(ʔəə)、授業の課題についての打ち合わせがあって、
今、友達が食堂で待っています。すみません。)

TM 29：ขอโทษครับ พอดีตอนเที่ยงผมต้องไปคุยงานกับเพื่อนครับ ต้องส่งงานภายในสัปดาห์นี้ครับ

(和訳：すみません。ちょうど、昼休みは友達と打ち合わせに行かなければなりません。
今週までにレポートを出さなければなりません。)

TM 34：ขอโทษครับ พอดีตอนกลางวันต้องไปปริ้นท์งาน ต้องส่งภายในวันพรุ่งนี้ ไม่สะดวกจริงๆครับ

(和訳：すみません。ちょうど、昼休みは明日までに提出する宿題の印刷に行かなければ
なりません。どうしても都合が悪いです。)

TM 35：ขอโทษครับอาจารย์ ตอนบ่ายผมมีนัดคุยงานสำคัญกับเพื่อน ไม่รีบไปตอนนี้ งานจะไม่เสร็จครับ

(和訳：すみません。午後は友達と大切な打ち合わせがあります。
今急がないと、課題ができません。)

TF 40：คือหนูมีนัดคุยงานกับเพื่อนอะค่ะ ต้องรีบกลับ ขอโทษด้วยนะคะ

(和訳：実は、友達と打ち合わせがあります。急いで帰らなければなりません。
すみません。)

TF41：ขอโทษนะคะ หนูต้องคุยกับเพื่อนเรื่องงาน ต้องส่งวันพรุ่งนี้แล้ว เลยไม่สามารถช่วยอาจารย์ได้
ขอโทษค่ะ

(和訳：すみません。明日出す授業の課題について打ち合わせしなければなりません。
だから、手伝うことができないんです。すみません。)

また、出現率の低い意味公式について述べると、⑤{積極的代案提示}の出現率は 3%、⑥{消極的代案提示}は 8%、⑦{条件提示}は 6%である。回答例は以下の通りである。

{積極的代案提示}

TM 21：ต้องขอโทษจริงๆครับอาจารย์ ตอนเที่ยงผมมีนัดคุยงานกับเพื่อน เดี๋ยวผมให้เพื่อนอีกคนเอาไปคืนให้นะครับ

(和訳：本当に申し訳ありません。昼休みは友達と打ち合わせがあります。
では、僕の代わりに、友達が返しに行きます。)

TF 44：ช่วงพักกลางวันหนูไม่สะดวกค่ะ เดี๋ยวหนูหาคนอื่นมาช่วยแทนได้ไหมคะ

(和訳：昼休みは都合が悪いです。よかったら、手伝いの人を探しておきましょうか。)

{消極的代案提示}

TM 31：ขอโทษนะครับ บังเอิญตอนบ่ายผมมีนัดคุยงานกับเพื่อนครับ อาจารย์ลองถามคนอื่นดูนะครับ

(和訳：すみません。午後は偶然に友達と打ち合わせがあります。他の方に聞いてみてください。)

{条件提示}

TF 35：ขอโทษค่ะ พอดีช่วงพักกลางวันติดคุยงานกับเพื่อนอะค่ะ ขอเป็นช่วงเย็นได้มั้ยคะ

(和訳：すみません。昼休みはちょうど授業の課題について打ち合わせがあります。
よかったら、夕方返してもいいですか？)

最後に<付加表現>のカテゴリーに分類される⑨{否定的反応}の出現率は 23%、そのうち[間投詞]が 19%、[呼びかけ]が 4%である。回答例は以下の通りである。

{否定的反応}

用いられた表現：「เอ่อ」(ʔəə)、「เอ่อคือ..」(ʔəə khɯɯ)

TF 3： เอ่อ..พอดีหนูมีนัดคุยงานแล้วอะค่ะ ขอโทษจริงๆ

(和訳：{否定的反応}(ʔəə)、ちょうど授業の課題について打ち合わせがあります。本当にすみません。)

TM 43：เอ่อคือ... ขอโทษด้วยนะครับ ผมมีธุระต้องรีบไปครับ แต่เดี๋ยวผมให้เพื่อนที่ว่างไปคืนให้นะครับ

(和訳：{否定的反応}(ʔəə khɯɯ)、すみません。用事で急がなければなりません。
では、僕が時間がある友達に頼んでおきます。)

用いられた表現：呼びかけ 「อาจารย์ครับ/อาจารย์คะ」(先生)

*อาจารย์(ʔaa caan 先生)、ครับ(khráp 男性の文末丁寧詞) คะ(khá女性の文末丁寧詞)

TM 5：อาจารย์ครับ ผมมีนัดคุยงานกับเพื่อนตอนบ่าย ขอโทษครับ

(和訳：[呼びかけ](ʔaa caan khráp)、午後は友達と打ち合わせがあります。すみません。)

TF 12：อาจารย์คะ พอดีหนูมีนัดคุยเรื่องรายงานแล้วอะค่ะ อาจารย์ลองถามคนอื่นดูนะคะ

(和訳：[呼びかけ](ʔaa caan khá)、ちょうど、レポートについて打ち合わせがあります。
他の方に聞いてみてください。)

5.4.2.2 場面 4：意味公式の出現順序のパターン(TT)

続いて、意味公式の出現順序のパターンを考察する。回答 に見られた意味公式の出現順序のパターンを表 36 に示す。

表 36 TT: 場面 4(疎・目上・軽)の 意味公式の出現順序のパターン

冒頭の意味公式	{理由}が中間にあるパターン	出現率
{詫び}	{詫び}+{理由}+{結論}	16%
	{詫び}+{理由}+{詫び}	8%
	{詫び}+{理由}+{消極的代案提示}	6%
	{詫び}+{理由}+{条件提示}	2%
	{詫び}+{理由}+{結論}+{詫び}	2%
	{詫び}+{理由}+{積極的代案提示}	1%
	小計	**35%**
{否定的反応}	{否定的反応(間)}+{理由}+{詫び}	4%
	{否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}+{結論}	3%
	{否定的反応(呼)}+{理由}+{詫び}	3%
	{否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}+{詫び}	2%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{条件提示}	2%
	{否定的反応(呼)}+{理由}+{消極的代案提示}	1%
	{否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}+{積極的代案提示}	1%
	小計	**16%**
合計		**51%**
冒頭の意味公式	**{理由}が冒頭の意味公式であるパターン**	**出現率**
{理由}	{理由}+{詫び}	8%
	{理由}+{結論}	2%
	{理由}+{消極的代案提示}	1%
	{理由}+{条件提示}	1%
合計		**12%**
冒頭の意味公式	**{理由}が最後の意味公式であるパターン**	**出現率**
{詫び}	{詫び}+{理由}	13%
	{詫び}+{結論}+{理由}	3%
	小計	**16%**
{結論}	{結論}+{理由}	5%
	小計	**5%**
{否定的反応}	{否定的反応(間)}+{理由}	3%
	{否定的反応(間)}+{結論}+{理由}	3%
	小計	**6%**

合計		**27%**
冒頭の意味公式	**{理由}なしのパターン**	**出現率**
{否定的反応}	{否定的反応(間)}+{詫び}+{結論}	1%
	小計	**1%**
{詫び}	{詫び}+{結論}	3%
	{詫び}+{結論}+{詫び}	2%
	{詫び}+{結論}+{条件提示}	1%
	小計	**6%**
{結論}	{結論}+{積極的代案提示}	1%
	小計	**1%**
合計		**8%**
冒頭の意味公式	**意味公式が一つしかないパターン**	**出現率**
{理由}	{理由}	2%
合計		**2%**
総合計		**100%**

意味公式の出現順序のパターンは、全部で 28 パターンに分類される。{理由}が中間にあるパターンは 13 パターンで、出現率が 51%である。続いて、{理由}が最後の意味公式であるパターンは 5 パターンで、出現率が 27%である。{理由}が冒頭の意味公式であるパターンは 4 パターンで、出現率が 12%である。{理由}なしのパターンは 5 パターンで、出現率が 8%である。最後に、意味公式が一つしかないパターンは 1 パターンで、出現率が 2%である。

意味公式の出現順序のパターンのうち、最も出現率の高い上位 2 位のパターンは{詫び}+{理由}+{結論}(16%)、続いて{詫び}+{理由}(13%)である。回答例は以下の通りである。

{詫び}+{理由}+{結論}

TM 48：ขอโทษด้วยครับ ผมมีนัดคุยกับเพื่อนตอนกลางวัน ไม่สะดวกจริงๆครับ

(和訳：すみません。昼休みは友達と打ち合わせがあります。どうしても都合が悪いです。)

{詫び}+{理由}

TF 42：ขอโทษค่ะอาจารย์ หนูมีนัดคุยงานกับเพื่อนอะค่ะ

(和訳：すみません。友達と打ち合わせがあります。)

続いて、{理由}が中間にあるパターンについて、出現順序のパターンの前半部と後半部を表 37 に示す。

表 37　TT: 場面 4(疎・目上・軽)の 意味公式の出現順序のパターンの前半部と後半部

出現順序のパターンの前半部	出現率	出現順序のパターンの後半部	出現率

{詫び}+{理由}…	35%	…{理由}+{詫び}	18%
{否定的反応}+{理由}… {否定的反応(間)}+{理由}… {否定的反応(呼)}+{理由}…	10% (6%) (4%)	…{理由}+{結論}	18%
{否定的反応}+{詫び}+{理由}… {否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}…	6% (6%)	…{理由}+{消極的代案提示}	7%
		…{理由}+{条件提示}	4%
		…{理由}+{積極的代案提示}	2%
		…{理由}+{結論}+{詫び}	2%
合計	**51%**	**合計**	**51%**

最も出現率の高い意味公式の出現順序のパターンの前半部は{詫び}+{理由}…(35%)、後半部は...{理由}+{詫び}と、...{理由}+{結論}(それぞれ 18%)である。回答例は以下の通りである。

{詫び}+{理由}…

TF 30：ขอโทษนะคะ คือกลางวันนี้มีนัดคุยงานกับเพื่อน คงเอาไปคืนให้ไม่ได้

(和訳：すみません。実は、昼休みに友達と打ち合わせがあります。
本を取りに行けないでしょう。)

{否定的反応}+{理由}…

TM 39：เอ่อคือ...ตอนเที่ยงผมมีนัดคุยงานกับเพื่อนครับ ถ้าเป็นตอนเย็นได้มั้ยครับ

(和訳：{否定的反応}(ʔəə̀ khɯɯ)、昼休みは友達と打ち合わせがあります。
夕方なら、いかがですか？)

…{理由}+{詫び}

TF 3： เอ่อ..พอดีหนูมีนัดคุยงานแล้วอะค่ะ ขอโทษจริงๆ

(和訳：{否定的反応}(ʔəə̀)、ちょうど授業の課題について打ち合わせがあります。
本当にすみません。)

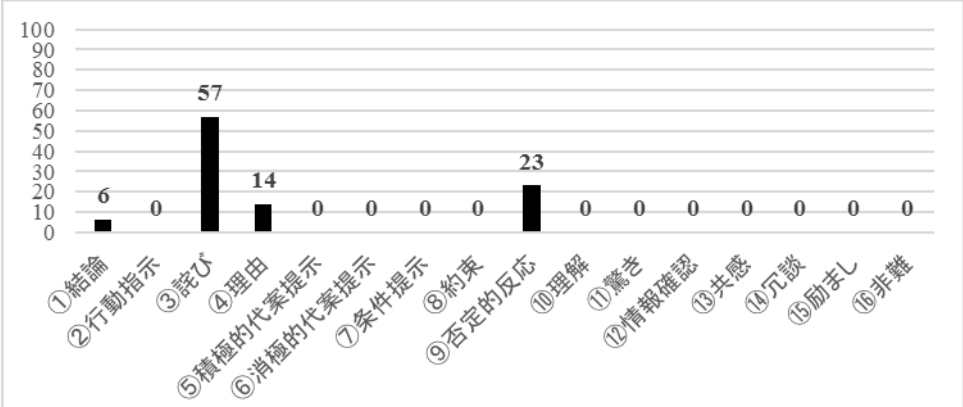
…{理由}+{結論}

TM 33：ขอโทษนะครับ ผมมีนัดคุยงานกับเพื่อน ไม่สะดวกจริงๆ

(和訳：すみません。友達と打ち合わせがあります。どうしても都合が悪いです。)

5.4.2.3 場面 4：冒頭の意味公式(TT)

次に、冒頭の意味公式を考察する。冒頭に見られた意味公式は{結論}{詫び}{理由}{否定的反応}が用いられており、全部で 4 種類の意味公式が見られた。出現率を図 42 に示す。



〈直接的断り〉のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯
TT{否定的反応}23%　(間投詞 19%、呼びかけ 4%)

図 42　TT: 場面 4(疎・目上・軽)の断りの冒頭の意味公式の出現率

TT が用いた冒頭の意味公式の中では、③{詫び}(57%)の出現率が突出している。続いて、⑨{否定的反応}(23%)、④{理由}(14%)、①{結論}(6%)という順序になっている。このうち{結論}は<直接的断り>、{詫び}は{間接的断り}、その他は<付加表現>のカテゴリーに分類される。以下は本調査に見られた回答例である。

{詫び}を冒頭の意味公式とする回答例

TF 25：ขอโทษด้วยค่ะ หนูไม่สะดวกจริงๆ
(和訳：すみません。どうしても都合が悪いです。)

{否定的反応}を冒頭の意味公式とする回答例

TF 43：เอ่อ...หนูมีธุระต้องคุยกับเพื่อนช่วงพักกลางวัน เป็นวันพรุ่งนี้แทนได้มั้ยคะ
(和訳：{否定的反応}(ʔəə)、昼休みに友達と打ち合わせしなければならない用事があります　明日返してもいいですか？)

TM 17：อาจารย์ครับ ผมมีธุระครับ ขอโทษจริงๆครับ
(和訳：[呼びかけ](ʔaa caan khráp)、用事があります。本当にすみません。)

{理由}を冒頭の意味公式とする回答例

TF 36：พอดีช่วงบ่ายหนูมีธุระแล้วนะคะ ไม่สะดวกจริงๆค่ะ
(和訳：午後はちょうど用事があります。どうしても都合が悪いです。)

{結論}を冒頭の意味公式とする回答例

TF 29：ไม่สะดวกจริงๆค่ะ มีติวสอบในช่วงบ่ายค่ะ

(和訳：どうしても都合が悪いです。午後、テスト勉強があります。)

5.4.2.4 場面 4：最後の意味公式(TT)

最後の意味公式は{結論}{詫び}{理由}{積極的代案提示}{消極的代案提示}{条件提示}が用いられており、全部で 6 種類の意味公式が見られた。出現率を図 43 に示す。

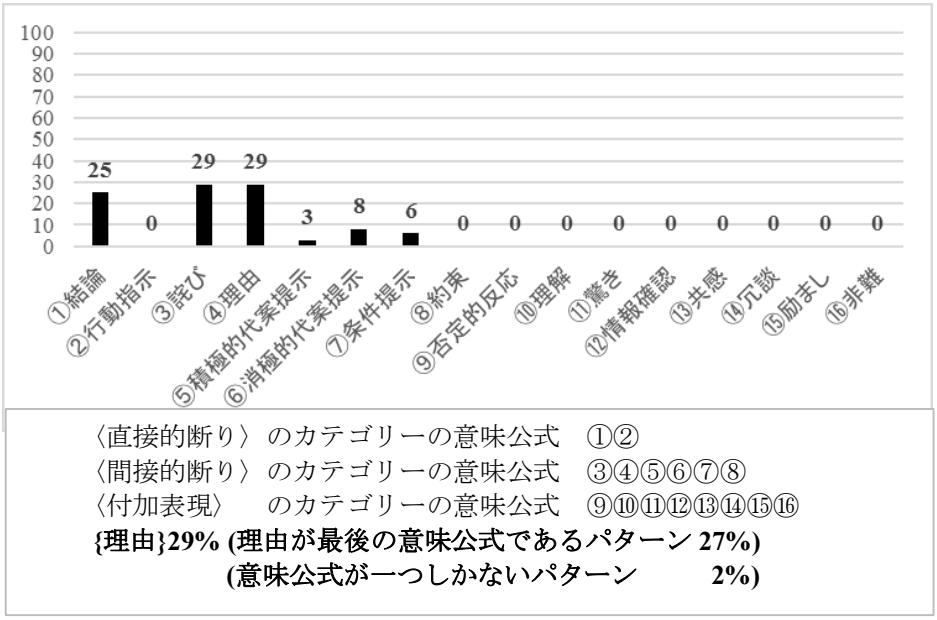


図 43 TT: 場面 4(疎・目上・軽)の断りの最後の意味公式の出現率

TT が用いた最後の意味公式は出現率の高い順に③{詫び}と④{理由}(それぞれ 29%)、そして①{結論}(25%)という順序である。この 3 種類の合計が全体の約 8 割を占めるのに対して、⑥{消極的代案提示}(8%)、⑦{条件提示}(6%)、⑤{積極的代案提示}(3%)は出現率が低い。この 3 種類を合計しても、全体の約 2 割に過ぎない。一方で、全体的な傾向を見ると、TT は{詫び}{理由}{結論}の 3 つの意味公式を同じぐらいの頻度で使用することが分かった。回答例は以下の通りである。

{結論}を最後の意味公式とする回答例

TM 16：ต้องขอโทษด้วยนะครับ พอดีผมมีธุระครับ ไปไม่ได้จริงๆ

(和訳：申し訳ございません。ちょうど用事があります。どうしても行けません。)

{詫び}を最後の意味公式とする回答例

TM 13：ขอโทษครับ ผมจะไปทำธุระข้างนอก ขอโทษทีนะครับ

(和訳：すみません。用事で外出します。すみません。)

{理由}を最後の意味公式とする回答例

TM 29：ขอโทษครับ พอดีตอนเที่ยงผมต้องไปคุยงานกับเพื่อนครับ ต้องส่งงานภายในสัปดาห์นี้ครับ

(和訳：すみません。ちょうど、昼休みは友達と打ち合わせに行かなければなりません。
今週までにレポートを出さなければなりません。)

{積極的代案提示}を最後の意味公式とする回答例

TF 44：ช่วงพักกลางวันหนูไม่สะดวกค่ะ เดี๋ยวหนูหาคนอื่นมาช่วยแทนได้ไหมคะ

(和訳：昼休みは都合が悪いです。よかったら、手伝いの人を探しておきましょうか。)

{消極的代案提示}を最後の意味公式とする回答例

TM 31：ขอโทษนะครับ บังเอิญตอนบ่ายผมมีนัดคุยงานกับเพื่อนครับ อาจารย์ลองถามคนอื่นดูนะครับ

(和訳：すみません。午後は偶然に友達と打ち合わせがあります。他の方に聞いてみてください。)

{条件提示}を最後の意味公式とする回答例

TF 35：ขอโทษค่ะ พอดีช่วงพักกลางวันติดคุยงานกับเพื่อนอะค่ะ ขอเป็นช่วงเย็นได้มั้ยคะ

(和訳：すみません。昼休みはちょうど授業の課題について打ち合わせがあります。
夕方返してもいいですか？)

フォローアップインタビューによると、断りの最後に{詫び}を述べるのには 2 つの理由が挙げられた。一つ目は、「相手に自分が礼儀正しいと思ってもらう」ためである。二つ目は、「{結論}の代わりに、{詫び}を述べて協力できないことを伝える」ためである。「協力できないことをはっきりいうことによって相手の気持ちを傷つけたり、思いやりがないと思われたりするかもしれないので、{結論}のかわりに、{詫び}を述べるほうが断りを和らげるという意味ではよい」と考えている。

また、{理由}で発話を終了させる人の半分は{結論}を用いるのを避けることが分かった。というのは、「{結論}を目上に対して用いるのは失礼だと考えるから」である。それに対して、{結論}を最後に述べる人の意見では、「断りを明言しないと、手伝ってくれると誤解されてしまうかもしれない」と答えた。

一方、{消極的代案提示}{積極的代案提示}{条件提示}は最後に用いられる意味公式としてあまり使われない。なぜその 3 種の意味公式を使わないのかという点について意見を聞いたところ、「親しくない人は関係が薄く、良好な関係を保つ必要がないので、代案を提示しなくてもいい」と答えた。一方、手伝いの代案を提示する人の中には、「軽い依頼は被依頼者に負担をかけないので、都合が悪くても手伝いの方法を提示したい」という意見が見られた。

TT の特徴をまとめると、親しくない目上の軽い依頼に対して、最後に{詫び}{理由}{結論}を頻繁に用いることが明らかになった。

5.4.2.5 場面 4：まとめ(TT)

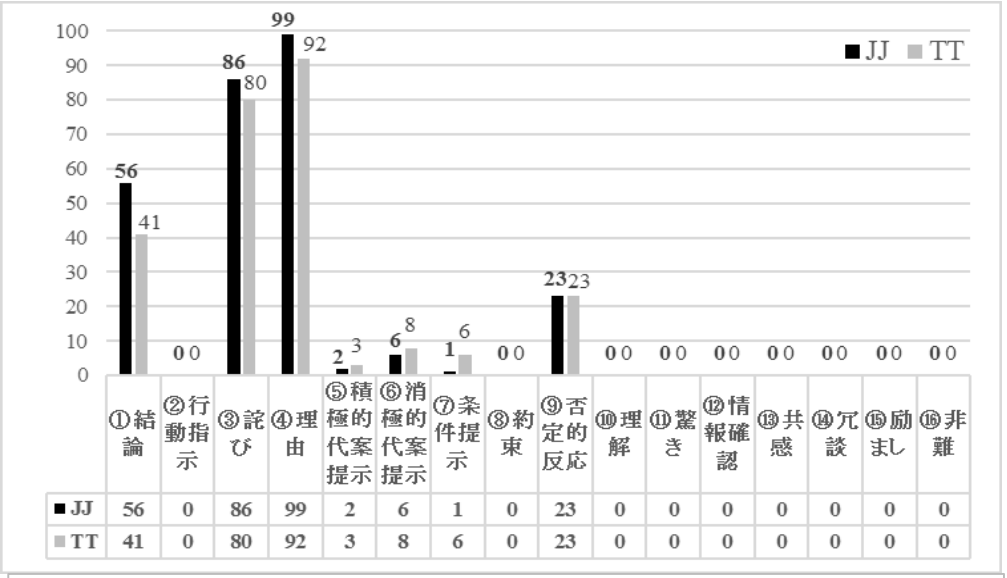
場面 4 の親しくない目上からの軽い依頼に対する断りの場面において、TT が使用した意味公式の傾向をまとめる。

(1) 意味公式の全体における出現率のうち、出現率が 50%以上の意味公式は、高い順に{理由}(92%)、次に{詫び}(80%)である。
(2) 意味公式の出現順序のパターンについては、{詫び}+{理由}+{結論}が最も多用されるパターンである。そして、{理由}が中間にあるパターンのうち、最も出現率が高い前半部は{詫び}+{理由}…で、後半部は…{理由}+{詫び}と、…{理由}+{結論}である。さらに、{理由}が冒頭の意味公式であるパターンと、{理由}が最後の意味公式であるパターン、この 2 種類のパターンの出現率が 40%である。
(3) 断りの冒頭の意味公式は、{詫び}の出現率が突出している。
(4) 断りの最後の意味公式には、{詫び}{理由}{結論}の 3 つの意味公式が同程度の頻度で使われている。

5.4.3 場面 4：日本語母語話者とタイ語母語話者の断りの意味公式の比較

本項では、場面 4(疎・目上・軽)での JJ と TT の断りにおける意味公式を比較する。

5.4.3.1 場面 4：意味公式の出現率の比較 (JJ・TT)



〈直接的断り〉のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯

JJ{詫び}86%　(一回の詫び 76%、二回の詫び 10%)
TT{詫び}80%　(一回の詫び 67%、二回の詫び 13%)
JJ{理由}99%　(理由の内容 91%、理由の内容+付加説明 8%)
TT{理由}92%　(理由の内容 76%、理由の内容+付加説明 16%)
JJ{否定的反応}23%　(間投詞 23%、呼びかけ 0%)
TT{否定的反応}23%　(間投詞 19%、呼びかけ 4%)

図 44　JJ・TT: 場面 4(疎・目上・軽)の断りの出現率

親しくない目上からの軽い依頼を断る場面において、JJ の出現率が 50%以上の意味公式は、高い順に④{理由}(99%)（うち[理由の内容]が 91%、[理由の内容+付加説明]が 8%）、次に③{詫び}(86%)、①{結論}(56%)という順になっている。TT の出現率が 50%以上の意味公式は、高い順に④{理由}(92%)、そのうち[理由の内容](76%)、[理由の内容+付加説明](16%)、次に③{詫び}(80%)である。⑤{積極的代案提示}⑥{消極的代案提示}⑦{条件提示}それぞれの出現率が 10%以下で、JJ と同程度である。JJ と TT の間に意味公式の出現率に有意差があるかどうかカイ二乗検定を用いて検定した結果、有意差は見られなかった ($\chi 2(7)=9.861$, n.s.)。

出現率を見ると、JJ と TT ともに<間接的断り>のカテゴリーの{詫び}{理由}を多く使用することが共通点である。

5.4.3.2 場面 4：意味公式の出現順序のパターンの比較 (JJ・TT)

次に、JJ と TT の意味公式の出現順序のパターンを比較する。

表 38　JJ・TT: 場面 4(疎・目上・軽)の 意味公式の出現順序のパターン

{理由}が中間にあるパターン			
出現順序のパターンの前半部(JJ)	出現率	出現順序のパターンの前半部 (TT)	出現率
*{詫び}+{理由}…	40%	*{詫び}+{理由}…	35%
**{否定的反応}+{理由}… ({否定的反応(間)}+{理由}…)	12% (12%)	**{否定的反応}+{理由}… ({否定的反応(間)}+{理由}…) ({否定的反応(呼)}+{理由}…)	10% (6%) (4%)
***{否定的反応}+{詫び}+{理由}… ({否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}…)	7% (7%)	***{否定的反応}+{詫び}+{理由}… ({否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}…)	6% (6%)
合計	**59%**	合計	**51%**
出現順序のパターンの後半部(JJ)	出現率	出現順序のパターンの後半部 (TT)	出現率
…{理由}+{結論}*	38%	…{理由}+{詫び}***	18%
…{理由}+{結論}+{詫び}**	9%	…{理由}+{結論}*	18%
…{理由}+{詫び}***	6%	…{理由}+{消極的代案提示}****	7%
…{理由}+{消極的代案提示}****	2%	…{理由}+{条件提示}******	4%
…{理由}+{積極的代案提示}*****	2%	…{理由}+{積極的代案提示}*****	2%
…{理由}+{条件提示}******	1%	…{理由}+{結論}+{詫び}**	2%
…{理由}+{結論}+{消極的代案提示}	1%		
合計	**59%**	合計	**51%**
{理由}が冒頭の意味公式であるパターン			
JJ	出現率	TT	出現率
{理由}+{結論}+{詫び}	6%	{理由}+{詫び}**	8%
{理由}+{結論}*	4%	{理由}+{結論}*	2%
{理由}+{詫び}**	3%	{理由}+{消極的代案提示}***	1%
{理由}+{消極的代案提示}***	2%	{理由}+{条件提示}	1%
{理由}+{詫び}+{消極的代案提示}	1%		
合計	**16%**	合計	**12%**
{理由}が最後の意味公式であるパターン			
JJ	出現率	TT	出現率
{詫び}+{理由}*	20%	{詫び}+{理由}*	13%
{否定的反応}+{詫び}+{理由} ({否定的反応(間)}+{詫び}+{理由})	3% (3%)	{詫び}+{結論}+{理由}	3%
{否定的反応}+{理由}** ({否定的反応(間)}+{理由})	1% (1%)	{結論}+{理由}	5%
		{否定的反応}+{理由}** ({否定的反応(間)}+{理由})	3% (3%)
		{否定的反応}+{結論}+{理由} ({否定的反応(間)}+{結論}+{理由})	3% (3%)
合計	**24%**	合計	**27%**

{理由}なしのパターン			
JJ	**出現率**	**TT**	**出現率**
{詫び}+{結論}*	**1%**	{否定的反応}+{詫び}+{結論} ({否定的反応(間)}+{詫び}+{結論})	1% (1%)
		{詫び}+{結論}*	3%
		{詫び}+{結論}+{詫び}	2%
		{詫び}+{結論}+{条件提示}	1%
		{結論}+{積極的代案提示}	1%
合計	**1%**	合計	**8%**
意味公式が一つしかないパターン			
JJ	**出現率**	**TT**	**出現率**
なし	0%	{理由}	2%
合計	**0%**	合計	**2%**
総合計	**100%**	総合計	**100%**

JJ の出現率の高い順に並べると、{理由}が中間にあるパターンの出現率が 59%、続いて{理由}が最後の意味公式であるパターンの出現率が 24%、{理由}が冒頭の意味公式であるパターンの出現率が 16%、{理由}なしのパターンの出現率が 1%である。一方、TT は{理由}が中間にあるパターンの出現率が 51%、続いて、{理由}が最後の意味公式であるパターンの出現率が 27%、{理由}が冒頭の意味公式であるパターンの出現率が 12%、{理由}なしのパターンの出現率が 8%、意味公式が一つしかないパターンの出現率が 2%である。

JJ と TT の意味公式の出現順序のパターンの共通点と相違点を以下にまとめる。

意味公式の出現順序のパターンの前半部と後半部を見ると、JJ と TT ともに{詫び}+{理由}…と、…{理由}+{結論}の出現率が最も高いという共通点が見られる。

相違点としては、JJ は{理由}なしのパターンの出現率がわずか 1%であることが挙げられる。意味公式が一つしかないパターンは全くない。一方、TT は{理由}なしのパターンの出現率が約 1 割で、意味公式が一つしかないパターンの出現率が 2%である。

5.4.3.3 場面 4：冒頭の意味公式の比較 (JJ・TT)

次に、断りの冒頭の意味公式を考察する。TT と JJ が用いた冒頭の意味公式の出現率を図 45 に示す。

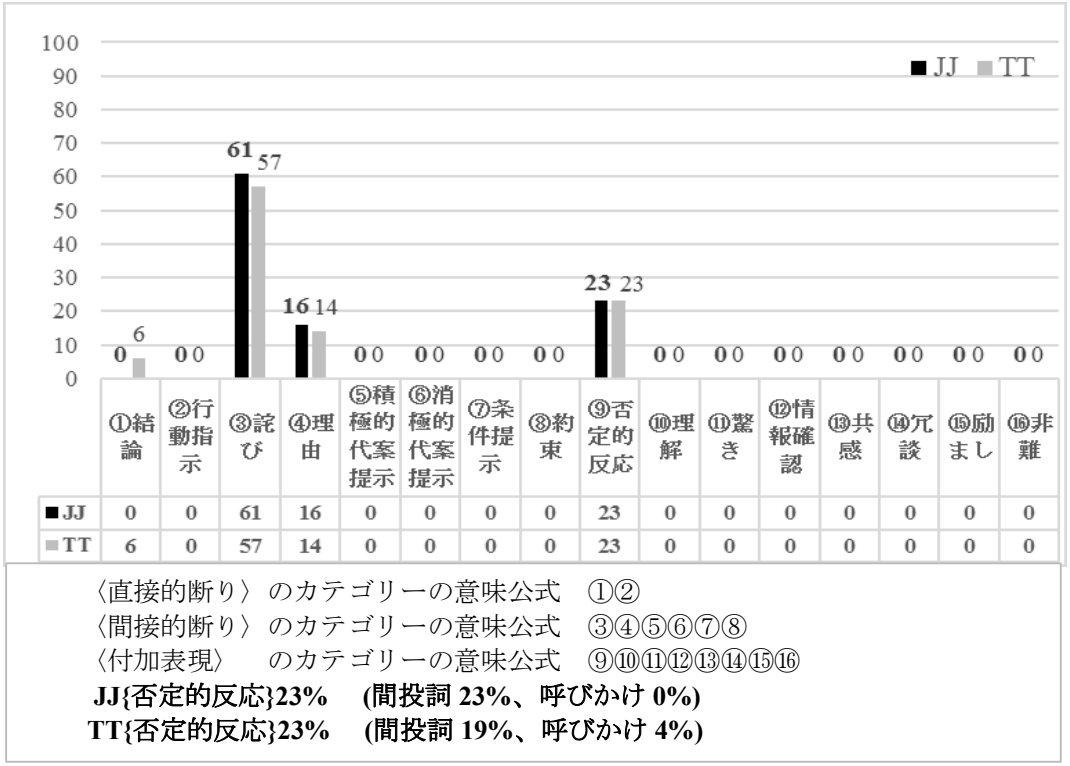


図 45 JJ・TT: 場面 4(疎・目上・軽)の断りの冒頭の意味公式の出現率

JJ が用いた冒頭の意味公式の中では③{詫び}(61%)の出現率が突出している。続いて⑨{否定的反応}が 23%、④{理由}が 16%である。同じように、TT は③{詫び}(57%)の出現率が最も高い。続いて⑨{否定的反応}が 23%（うち[間投詞]が 19%、[呼びかけ]が 4%）である。続いて④{理由}が 14%、①{結論}が 6%である。結果から、JJ と TT ともに、断りの際、まず{詫び}を述べるのが共通点であることが分かった。

フォローアップインタビューによると、JJ・TT の意見で、まず{詫び}を述べるのは、「相手に対して失礼にならないようにという配慮する」意味合いを持つ。特に、「親しくない目上は関係が薄いので、初対面の印象が今後の関係性に強い影響を与える」と答えた。「{詫び}を述べないと礼儀正しくないと思われてしまう」という意見も見られた。ほかにも、「軽い依頼は被依頼者に負担をかけないので、できるだけ手伝いたいという気持ちがある。ゆえに、落ち着かないと感じる」人もいる。その場合の{詫び}は「自分が手伝えないことに対する謝罪の気持ちを表明するため」である。

{結論}の使用に関して、多くの JJ と TT は、「目上に言うのは失礼な表現である」と考えている。特に、「親しくない目上に対して{結論}を述べるのは悪い印象を与え、礼儀正しくない人だと思われる可能性がある」と答えた。しかし、{結論}を述べる人の意見は、「親しくない人は良好な関係を保つ必要がないので、手伝えないなら、はっきり断るのは大事なことである」という意見だった。

5.4.3.4 場面 4：最後の意味公式の比較 (JJ・TT)

次に、断りの最後の意味公式を考察する。出現率を図 46 に示す。

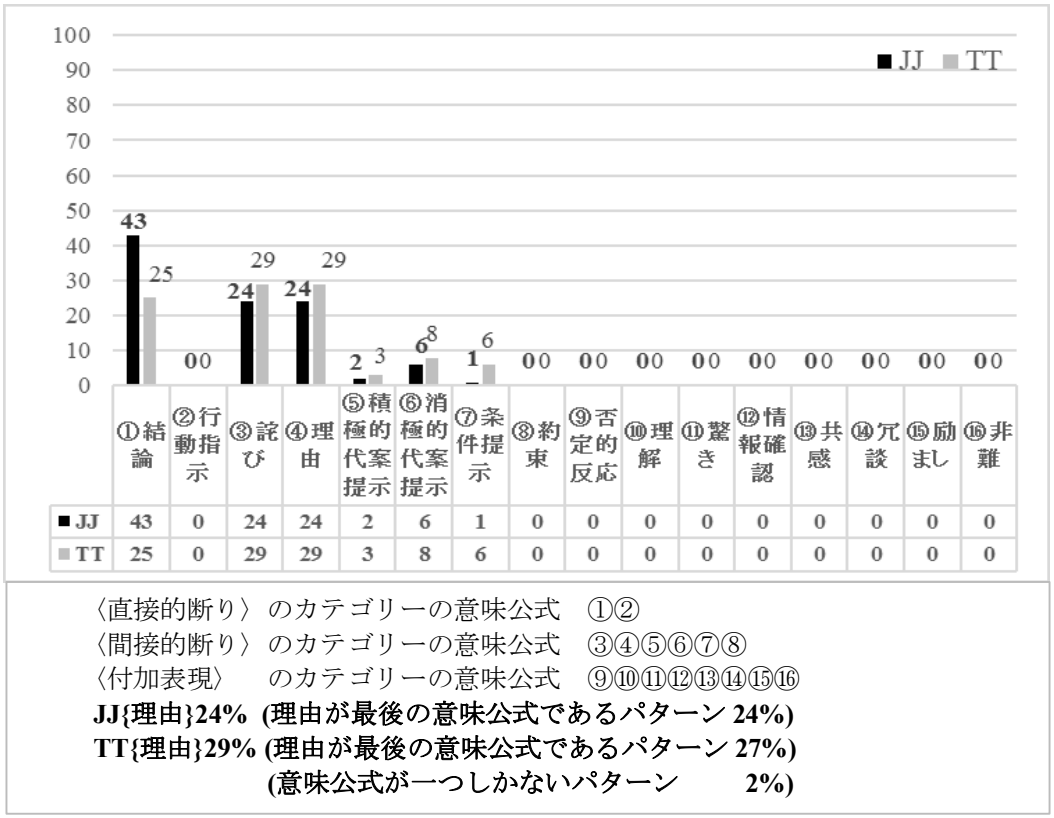


図 46 JJ・TT: 場面 4(疎・目上・軽)の断りの最後の意味公式の出現率

JJ が用いた最後の意味公式の出現率が高いのは①{結論}(43%)、続いて③{詫び}と④{理由}(それぞれ 24%)である。一方、TT が用いた最後の意味公式の出現率が高いのは③{詫び}と④{理由}(それぞれ 29%)、続いて①{結論} (25%) である。

JJ と TT の共通点は、親しくない目上に{条件提示}{積極的代案提示}{消極的代案提示}をあまり使用していないことである。

一方で、相違点を以下の 2 点まとめる。

(1) JJ の中で最も出現率が高いのは<直接的断り>に分類される{結論}であるのに対して、TT では、<間接的断り>に分類される{詫び}と{理由}である。

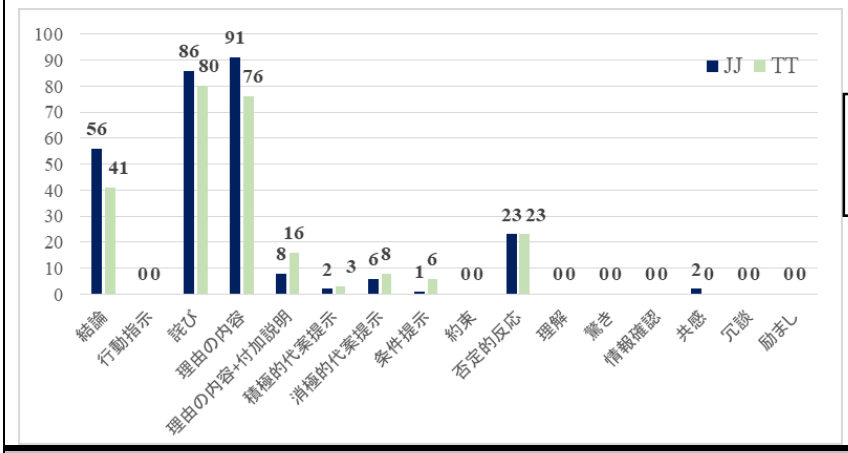
(2) JJ においては{結論}の使用が目立っている。しかし、TT は{結論}の出現率が二番目に高く、{詫び}と{理由}が同じ出現率である。

JJ と TT の意見では、{結論}を述べる背景の理由は、「相手に誤解されないようにするため」である。また{詫び}を最後に述べる JJ と TT は、「協力できないことをはっきり言うのは相手の気持ちを傷つけたり、相手に思いやりがないと思われたりするかもしれないので、相手との良好な関係を保つため、{詫び}で発話を終了させる」という意見だった。さらに、TT は「相手に礼儀正しいと思ってもらいたいため」という答えもあった。

一方、{消極的代案提示}{積極的代案提示}{条件提示}は断りの最後にあまり使われない。JJ と TT の意見では、「親しくない人は関係が薄く、良好な関係を保つ必要がないので、代案を提示しなくてもいい」と答えた。ほかにも、TT の中には「親しくないので、手伝いたくない」という意見も見られた。

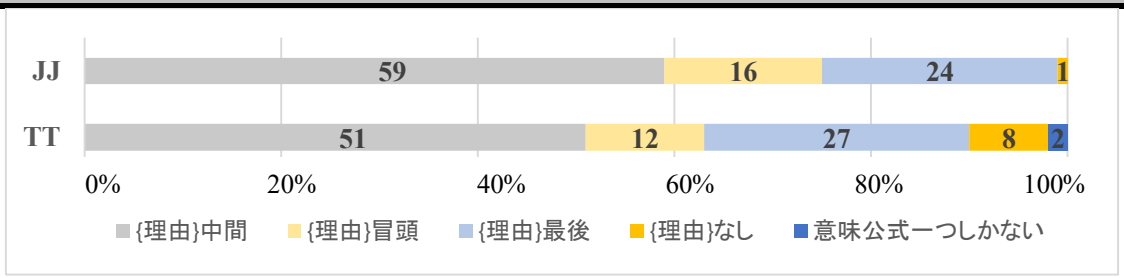
5.4.3.5 場面 4：JJ と TT が用いた意味公式の使用のまとめ

意味公式の出現率



カイ二乗検定を用いて検定した結果、有意差が見られなかった ($\chi 2(7)=9.861$, n.s.。

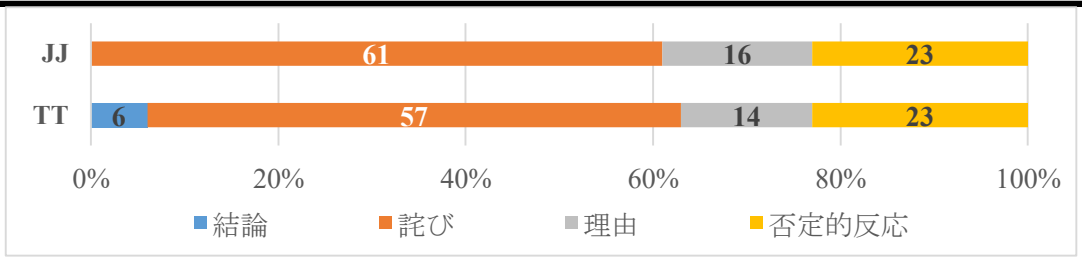
意味公式の出現順序のパターン



(1) **JJ** と **TT** ともに、{理由}が中間にあるパターンを使う傾向が見られる。その他のパターンは出現率が同程度である。

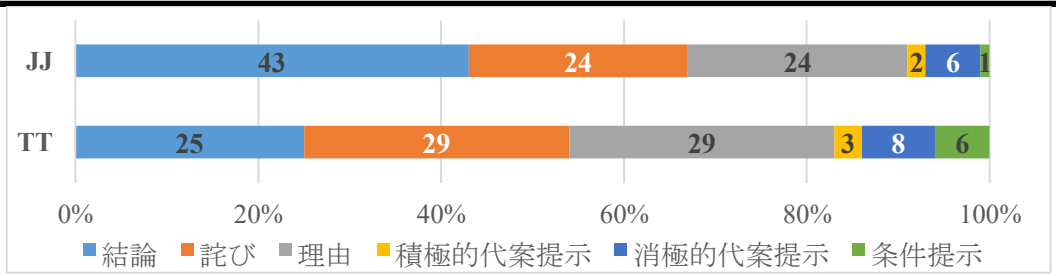
(2) 意味公式の出現順序のパターンの前半部と後半部を見ると、**JJ** と **TT** は、ともに{詫び}+{理由}…と、…{理由}+{結論}の出現率が最も高いという共通点が見られる。

冒頭の意味公式



JJ と **TT** 共にまず{詫び}を述べる特徴が多く見られる。

最後の意味公式



半分の **JJ** は{結論}(43%)を、後半分は{詫び}(24%)と{理由}(24%)を使う。一方、**TT** は{詫び}(29%)、{理由}(29%)、{結論}(25%)の 3 つの意味公式をほぼ同程度の出現率で用いる。

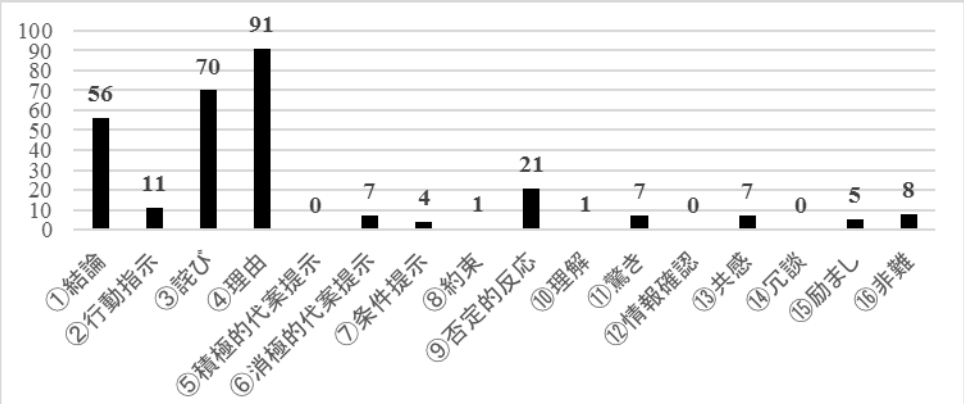
5.5 場面 5：親しい同等からの重い依頼

本節では、場面 5 において JJ と TT が用いた意味公式の出現率のデータを基に考察する。JJ 向けの場面には「親しい友達にいっしょに 3,4 枚ぐらいの英語の文章を日本語に翻訳する」依頼場面を設定した。TT 向けの場面には「親しい友達にいっしょに 3,4 枚ぐらいの英語の文章をタイ語に翻訳する」場面を設定した。

5.5.1 場面 5：日本語母語話者の使用した意味公式

5.5.1.1 場面 5：意味公式の出現率(JJ)

まず、意味公式の出現率を考察する。JJ が用いた意味公式の出現率を図 47 に示す。



〈直接的断り〉のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯
JJ{詫び}70% (一回の詫び 65%、二回の詫び 5%)
JJ{理由}91% (理由の内容 71%、理由の内容+付加説明 20%)
JJ{否定的反応}21%　(間投詞 21%、呼びかけ 0%)

図 47　JJ: 場面 5(親・同等・重)の断りの意味公式の出現率

親しい同等からの重い依頼を断る場面において、出現率が 50%以上の意味公式は、高い順に④{理由}(91%)、③{詫び}(70%)、①{結論}(56%)である。このうち{結論}は<直接的断り>、その他は<間接的断り>のカテゴリーに分類される。

以下、分類したカテゴリーに従って個々の意味公式について具体的な説明を加える。<直接的断り>のカテゴリーに分類される①{結論}については、言語形式の違いにより JJ の{結論}の言い方は 4 つのパターンに分類される。

(1)イ・ナ形容詞(+終助詞)

用いられた表現：「無理だよ」「無理やわ」[9]「無理だわあ」「無理かなあ」「きついわ」

[9]関西弁の「や」は標準語の「だ」、関西弁の「わ」は標準語の「よ」と同じように使う。

JM 48：ごめん。テスト勉強で忙しいから、無理やわ。

(無理だよ)

JM 28：俺も中間あるから、きついわ。

(きついよ)

(2)動詞の可能形の否定形(+終助詞)

用いられた表現：「手伝えないわ」「手伝えへん」[10]
「できない」「できないよ」「でけへん」[11]「できひんわ」

JM 26：ごめん。僕も中間テストあるから、できひんわ。ほんまごめんな。

JF 4： ごめん、自分も忙しいから、手伝えへん。ごめんな。

(3)動詞の可能形の否定形/イ・ナ形容詞(+モダリティ形式/終助詞)

用いられた表現：「手伝えそうにない」「できないかも」「できやんかも」
「力添えできないかも」「厳しいかな」

JM 23：ごめん、俺も中間テストがあって、力添えできないかも。

JF 23： 本当にごめんやけど、私、来週厳しめの中間テストがあって、本気で勉強しな あかんで、時間的に余裕がなくて、手伝えそうにない！！ごめんよ！

(4) 副詞+動詞の可能形の否定形/イ・ナ形容詞 (+終助詞)

用いられた表現：「ちょっと厳しい」「ちょっと無理」「ちょっと厳しいわ」
「ちょっと無理やわ」「ちょっと難しいかな」「ちょっとできないなあ」
「少しきついなあ」

JM 45：いや、ほんまにごめん。俺もテスト勉強あるから、ちょっと厳しいわ。

JF 49：ごめん、来週中間あるから、ちょっと無理かな。

{結論}以外にも、<直接的断り>のカテゴリーに分類される②{行動指示}の出現率は 11%であり、目上からの依頼の場面に見られなかった意味公式である。命令文と授受表現が使われ、回答例は以下の通りである。

JM 3： すまん、俺はテスト勉強したい。自分の課題は自分でやろ！

JM 30： ごめん。俺も来週テストあって、自分で頑張ってくれる？

[10] 関西弁の可能の否定形は、①「可能の形」+へん、②「受け身の形」+へん、は大阪を中心に使われる形式である。
①「可能の形」+へん　例：手伝えない（標準語）手伝えへん　（関西弁）
②「受け身の形」+へん　例：手伝えない（標準語）手伝われへん（関西弁）

[11] 「できない」の場合は、「できひん」「でけへん」「できやん」である。

JM47： ごめん。自分でやってくれ。

JF3： 私も来週テストあってさ、めっちゃやばいんやんか。今勉強しなちょっと危ないんよ。
課題はなるべく自分の力でやらなあかんで。
(私も来週テストあってさ、大変やばいよね。今勉強しないと危ないんだよ。
課題はなるべく自分の力でやらないといけないよ。)

JF7： へえ、私もテストがあって、自分で頑張ってね。

JF 15： 中間テストで忙しい。無理！自分の力で頑張って！

JF 43： えー、自分でやらなあかんやろ！！
(自分でやらないといけないだろう)

次に<間接的断り>のカテゴリーにおける出現率が二番目に高い③{詫び}の出現率は 70%であり、そのうち一回の詫びが 65%、二回の詫びが 5%である。標準語以外にも関西弁の使用が多く見られる。全体を通じ、詫びの表現としては「すまん」「ほんまにすまん」「ごめんなさい」「ごめん」「ごめんな」「ごめんね」「ごめんよ」「ほんとごめん」「ほんとうにごめん」「すいません」が使われている。回答例は以下の通りである。

一回の詫び

JM 5： ほんまにすまん。中間テストで、でけへん。

JM18： 俺も中間テストがあるから、無理だよ。本当にごめんね。

JF 2 ：テストがあって、キツイなあ。ごめんね。

JF50：ごめん、テストあって時間ない！

二回の詫び

JM 49：すまんけど、中間のテスト勉強あるから、無理やわ。ごめんな。

JF4 ： ごめん、自分も忙しいから、手伝えへん。ごめんな。

続いて、最も出現率が高い意味公式、④{理由}の出現率は 91%で、そのうち[理由の内容]が 70%、[理由の内容+付加説明]が 21%である。回答例は以下の通りである。

[理由の内容]

JM 25：中間テストの勉強しないあかんから、無理だわあ。
(中間テストの勉強しないといけないから、無理だよ。)

JM39：ごめん。俺もテストあるから、無理かな。

[理由の内容+付加説明]

JM12：ああ、ごめん。俺もテストがあって、時間無いわ。

JM20：ごめん、俺もテストがあって、しっかり勉強しないと。

JF19： ああ、ごめん。私も中間あるから、勉強しなあかんねん。

(私も中間あるから、勉強しないといけないんだ。)

JF32： ごめん、来週テストがあるから、時間取れないわ。

⑥{消極的代案}⑦{条件提示}⑧{約束}について、⑥{消極的代案提示}の出現率は 7%、⑦{条件提示}は 4%、⑧{約束}は 1%である。断りの際には、JJ が手伝いの代案をほとんど用いないことが明らかになった。以下は回答例である。

{消極的代案提示}

JM 37： んー、来週のテストはヤバイ。他の人に当たってみて。

JM 42： んー、ちょっと来週のテストで死にそうだから。他あたって。

JF 46： できないよ。他の人に当たってみ？

{条件提示}：回答に見られた{条件提示}は依頼の内容を変更する条件と、時間的余裕の仮定に分類される。

依頼の内容を変更する条件：翻訳の依頼に応じず、「翻訳もののチェック」「助言」など自分ができる別の条件を提示する。

JF 39：中間試験の勉強があるから、ごめんね。分からないところは聞いてくれたら、
できるかぎり協力するから。

JF 41：私もテストあって、できないかも。チェックならできるけど。

時間的余裕の仮定：時間的に余裕があれば、手伝うことの条件を提示する。

JM 32：ごめん。来週テストあるから。無理やわ。暇になったら手伝うわ。

{約束}

JM 40：今はテスト勉強したいから、手伝えへん。また今度時間があれば手伝う。

<付加表現>のカテゴリーについては、最も出現率が高い順に⑨{否定的反応}21%、⑪{驚き}⑬{共感}それぞれ 7%、⑩{理解}1%である。回答例に用いられた表現は以下の通りである。

{否定的反応}

用いられた表現：「ああ」「いや」「うーん」「えー」「ええ」「んー」

JM 12： ああ、ごめん。俺もテストがあって、時間無いわ。

JM 45： いや、ほんまにごめん。俺もテスト勉強あるから、ちょっと厳しいわ。

JF 13： うーん、テスト勉強しないといけない。時間に余裕がないわ。ごめんね。

JF 22： ええ、うちも中間あって、時間無いわ。ごめん。

{驚き}：用いられた表現は「へえ」[12]のみである。

JF 40： へえ、3,4 枚は多すぎるんじゃない。無理やわ。

JM 8： へえ、俺は来週のテストあるんで。他の人に当たってくれる？

JF7： へえ、私もテストがあって。自分で頑張ってね。

JF 34： へえ、俺はいつも暇な時間があるんじゃないよ。

{共感}

JM 35：ほんとごめん。協力したいけど、中間テストの勉強しないかんから、無理や。

JF34： 手伝いたいんやけど、試験勉強せなあかんのよねー。

{理解}

JM 27：そうか。ちょっと時間無いなあ。俺もテスト勉強。ごめんね。

[12]調査協力者以外の日本語母語話者の大学院生 4 名に 場面 5 の回答に見られた「へえ」の機能について、意見を聞いたところ、{驚き}のほかに、すべて「納得」「了解」を示すものであると考えられるということであった。すなわち、「へえ」の後に「そうなんだ」というニュアンスが包含されたものである。しかし、これらの発話における「へえ」について言えば、確かに「冷たさ」「無関心」「皮肉」を示す機能が内在していると考えられる。つまり、無関心さや相手の申し出に対する消極的な態度も示すことが分かった。

母語話者の意見によると、回答者 JF40 の「へえ」は、頼まれた量に対する驚きを示す。

回答者 JM8, JF7 の「へえ」は、相手の依頼に対する無関心を示す。母語話者の意見の中には、たとえ依頼を断る場面であったとしても、話し手に対して反応しないのは失礼なことだという意見があった。

回答者 JF34 の「へえ」は、相手に対する冷たい態度や、相手と関わりたくないことを示す。意味公式の出現順序のパターンを見ると、「へえ」の後に{非難}がつくので、話し手が不満を持った姿勢で発話しているのではないかと考えられるそうである。

母語話者の見解を示すと、これは DCT を用いたから出てきた結果であって、実際の「親しい友達」との発話場面で用いられることは稀であるということである。なぜなら、こういった場面で用いられる「へえ」は「冷たさ」「無関心さ」に加え、「皮肉を言う」「相手を威圧する」などの効果があると考えられるからだ。すなわち、こういった場面で「へえ」を用いることは友人との人間関係を破壊することにつながりかねない。

ただ、本研究は紙面調査であるため、「へえ」の機能を詳しく分析することが不可能である。今後の課題として、その点を音声データで分析する必要がある。

最後に、⑯{非難}の出現率は 8%、⑮{励まし}は 5%である。回答例は以下の通りである。

{非難}

JM 9： いや、自分の課題やねんから自分でやれ! 俺がいつでも暇だと思ったら、
大間違いやぞ。(自分の課題だから自分でやれ)

JM 10：いや！3,4 枚は人に頼む量じゃないよ。俺もテストがあるので、手伝えないわ。

JF 34：へえ、俺はいつも暇な時間があるんじゃないよ。

JF 38：テストあるで、自分でやって、分量的にも人に頼める量じゃないやろ。
それ時給発生するよ。

JF 40：へえ、3,4 枚は多すぎるんじゃない。無理やわ。

{励まし}

JF 18：ごめん、自分も中間テストがある、勉強せんといけんのよー。お互い頑張ろう！！

JF25：ああ、私も中間テストがあるから、手伝えないわ。一緒に頑張ろう！

5.5.1.2 場面 5：意味公式の出現順序のパターン(JJ)

続いて、意味公式の出現順序のパターンを考察する。回答 に見られた意味公式の出現順序のパターンを表 39 に示す。

表 39　JJ: 場面 5(親・同等・重)の 意味公式の出現順序のパターン

冒頭の意味公式	{理由}が中間にあるパターン	出現率
{詫び}	{詫び}+{理由}+{結論}	16%
	{詫び}+{理由}+{結論}+{詫び}	5%
	{詫び}+{共感}+{理由}+{結論}	3%
	{詫び}+{理由}+{行動指示}	3%
	{詫び}+{理由}+{結論}+{条件提示}	2%
	{詫び}+{理由}+{結論}+{消極的代案提示}	2%
	{詫び}+{理由}+{励まし}	1%
	{詫び}+{結論}+{理由}+{消極的代案提示}	1%
	小計	**33%**
{否定的反応}	{否定的反応(間)}+{理由}+{詫び}	7%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{結論}+{励まし}	3%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{消極的代案提示}	2%
	{否定的反応(間)}+{非難}+{理由}+{結論}	1%
	{否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}+{結論}	1%
	{否定的反応(間)}+{共感}+{理由}+{結論}+{詫び}	1%
	小計	**15%**
{驚き}	{驚き}+{非難}+{理由}+{結論}+{詫び}	1%
	{驚き}+{理由}+{行動指示}	1%
	{驚き}+{理由}+{消極的代案提示}	1%
	小計	**3%**
{結論}	{結論}+{理由}+{詫び}	2%
	小計	**2%**
{共感}	{共感}+{理由}+{結論}+{詫び}	1%
	小計	**1%**
{理解}	{理解}+{理由}+{詫び}	1%
	小計	**1%**
合計		**55%**
冒頭の意味公式	**{理由}が冒頭の意味公式であるパターン**	**出現率**
{理由}	{理由}+{結論}	6%
	{理由}+{結論}+{詫び}	6%
	{理由}+{詫び}	2%
	{理由}+{行動指示}	1%
	{理由}+{励まし}	1%
	{理由}+{結論}+{約束}	1%
	{理由}+{結論}+{条件提示}	1%
	{理由}+{結論}+{行動指示}	1%
	{理由}+{詫び}+{条件提示}	1%
	{理由}+{行動指示}+{非難}	1%

合計		21%
冒頭の意味公式	{理由}が最後の意味公式であるパターン	出現率
{詫び}	{詫び}+{理由}	10%
	小計	10%
{否定的反応}	{否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}	3%
	小計	3%
{共感}	{共感}+{理由}	2%
	小計	2%
合計		15%
冒頭の意味公式	{理由}なしのパターン	出現率
{驚き}	{驚き}+{非難}	2%
	{驚き}+{非難}+{結論}	2%
	小計	4%
{否定的反応}	{否定的反応(間)}+{行動指示}	2%
	{否定的反応(間)}+{行動指示}+{非難}	1%
	小計	3%
{結論}	{結論}+{消極的代案提示}	1%
	小計	1%
{詫び}	{詫び}+{行動指示}	1%
	小計	1%
合計		9%
冒頭の意味公式	意味公式が一つしかないパターン	出現率
	なし	0%
合計		0%
総合計		100%

意味公式の出現順序のパターンは、全部で 39 パターンに分類される。{理由}が中間にあるパターンは 27 パターンで、出現率が 55%である。{理由}が冒頭の意味公式であるパターンは 3 パターンで、出現率が 21%である。{理由}が最後の意味公式であるパターンは 3 パターンで、出現率が 15%である。{理由}なしのパターンは 6 パターンで、出現率が 9%である。目上からの重い依頼の場面(場面 1)と比べると、同等からの依頼の場面(場面 5)のほうが、出現率が 1%に過ぎないパターンが頻繁に見られ、より多くのバリエーションが見られる。場面 1 では、{理由}が中間にあるパターンの出現率が 97%であるのに対して、場面 5 では、55%に留まっており、両者の間には大きな差がある。意味公式の出現パターンのうち、最も出現率の高い上位 2 位のパターンは{詫び}+{理由} +{結論}(16%)、続いて{詫び}+{理由} (10%)である。

{詫び}+{理由}+{結論}

JF 47：ごめん。テストがあって、無理です。

{詫び}+{理由}

JM 33：ごめん。テスト勉強せんといけん。

(テスト勉強しないといけない)

意味公式の出現順序のパターンを見ると、目上からの依頼の場面に見られなかった意味公式{行動指示}{非難}{励まし}を含んだパターンがいくつか見られる。回答例は以下の通りである。

{否定的反応}+{行動指示}+{非難}

JM 9: いや、自分の課題やねんから自分でやれ、俺がいつでも暇だと思ったら、

大間違いやぞ。

{驚き}+{非難}

JM 34: へえ、俺はいつも暇な時間があるんじゃないよ。

{詫び}+{理由}+{励まし}

JF 18: ごめん、自分も中間テストがある。勉強せんといけんのよ。お互いがんばろう！！

(自分も中間テストがある。勉強しないといけないんだよ。)

続いて、{理由}が中間にあるパターンについて、出現順序のパターンの前半部と後半部を表40に示す。

表 40 JJ: 場面 5(親・同等・重)の 意味公式の出現順序のパターンの前半部と後半部

出現順序のパターンの前半部	出現率	出現順序のパターンの後半部	出現率
{詫び}+{理由}…	29%	…{理由}+{結論}	21%
{否定的反応}+{理由}… {否定的反応(間)}+{理由}…	12% (12%)	…{理由}+{詫び}	10%
{詫び}+{共感}+{理由}…	3%	…{理由}+{結論}+{詫び}	8%
{共感}+{理由}…	2%	…{理由}+{消極的代案提示}	4%
{驚き}+{理由}…	2%	…{理由}+{行動指示}	4%
{結論}+{理由}…	1%	…{理由}+{結論}+{励まし}	3%
{理解}+{理由}…	1%	…{理由}+{結論}+{条件提示}	2%
{驚き}+{非難}+{理由}…	1%	…{理由}+{結論}+{消極的代案提示}	2%
{否定的反応}+{非難}+{理由}… {否定的反応(間)}+{非難}+{理由}…	1% (1%)	…{理由}+{励まし}	1%
{否定的反応}+{詫び}+{理由}… {否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}…	1% (1%)		
{否定的反応}+{共感}+{理由}… {否定的反応(間)}+{共感}+{理由}…	1% (1%)		
{詫び}+{結論}+{理由}…	1%		
合計	**55%**	**合計**	**55%**

最も出現率の高い意味公式の出現順序のパターンの前半部は{詫び}+{理由}…(29%)、続いては{否定的反応}+{理由}…(12%)である。後半部は...{理由}+{結論}(21%)が一番出現率が高く、続いては……{理由}+{詫び}(10%)である。回答例は以下の通りである。

{詫び}+{理由}…

JM 36：ごめん。僕もテストがあって、厳しいんだよね。

{否定的反応}+{理由}…

JF 1：うーん、中間テストがあるし、3-4 枚は少しキツイなあ。頑張ってね。

(中間テストがあるから)

…{理由}+{結論}

JM 50：ごめん、僕も中間テストがあって、忙しいんだ。手伝えへん。

(手伝えない)

…{理由}+{詫び}

JM 15：へえ、3-4 枚はひどいなあ。俺も中間テストがあるから、ごめんね。

5.5.1.3 場面 5：冒頭の意味公式(JJ)

次に、冒頭の意味公式を考察する。冒頭に見られた意味公式は{結論}{詫び}{理由}{否定的反応}{理解}{驚き}{共感}が用いられており、全部で 7 種類の意味公式が見られた。出現率を図 48 に示す。

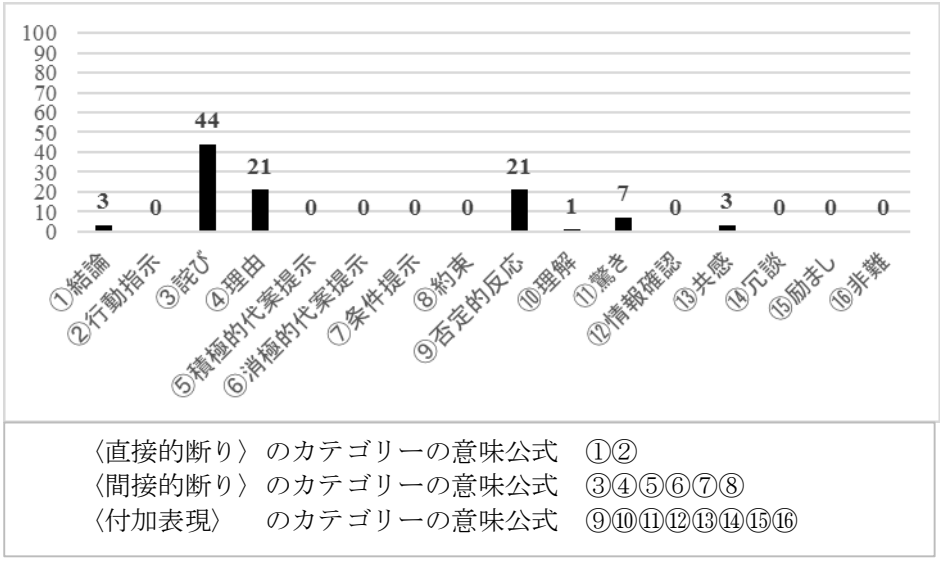


図 48 JJ: 場面 5(親・同等・重)の断りの冒頭の意味公式の出現率

JJ が用いた冒頭の意味公式の中では、③{詫び}(44%)の出現率が目立っている。続いて、④{理由}と⑨{否定的反応}(それぞれ 21%)である。このうち{詫び}{理由}は<直接的断り>、{否定的反応}は<付加表現>のカテゴリーに分類される。以下は本調査に見られた回答例である。

{詫び}を冒頭の意味公式とする回答例

JM 23：ごめん、俺も中間テスあって、力添えできないかも。

JF 21： ごめん、来週テストがあって。自分で頑張ってね。

{理由}を冒頭の意味公式とする回答例

JM 1：俺も中間テストがあるので、ちょっと厳しい。

JF 41：私もテストあって、できないかも。チェックならできるけど。

{否定的反応}を冒頭の意味公式とする回答例

JM 2：いや、俺もテストがあって、よくテスト勉強しないと死にそう。ごめんね。

JF6： んー、ちょっと忙しくて、時間あまり取れそうにないんだ。ごめんね。

{驚き}を冒頭の意味公式とする回答例

JM 8： へえ、俺は来週のテストあるんで、他の人に当たってくれる？

JF 40： へえ、3,4 枚は多すぎるんじゃない。無理やわ。

{結論}を冒頭の意味公式とする回答例

JM 6：難しいなあ。俺もテストで忙しくて、時間がない。ごめんね。

JF 22：無理！！私の英語はちょっと。すまんね。

{共感}を冒頭の意味公式とする回答例

JM 4：手伝いたいんだけど、来週のテストは大変だ。

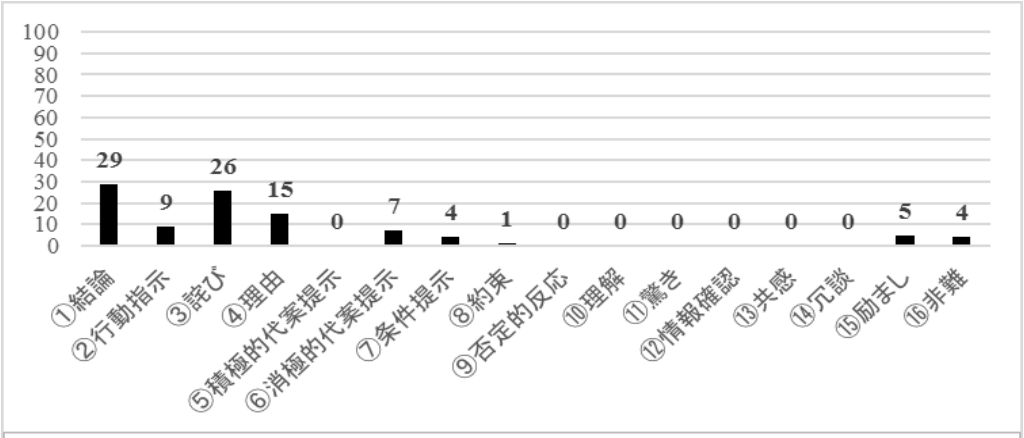
JF 36：手伝ってあげたいのは山々やけど、私も中間テストの勉強があるから、出来やんかも。ごめんね。 (できないかも)

{理解}を冒頭の意味公式とする回答例

JM 27：そうか。ちょっと時間無いなあ。俺もテスト勉強。ごめんね。

5.5.1.4 場面 5：最後の意味公式(JJ)

最後の意味公式は{結論}{行動指示}{詫び}{理由}{消極的代案提示}{条件提示}{約束}{励まし}{非難}が用いられており、全部で 9 種類の意味公式が見られた。出現率を図 49 に示す。



〈直接的断り〉のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯
{理由}15% (理由が最後の意味公式であるパターン 15%)

図 49　JJ: 場面 5(親・同等・重)の断りの最後の意味公式の出現率

JJ が用いた最後の意味公式の出現率が高いのは<直接的断り>のカテゴリーに分類される①{結論}(29%)、続いて、<関節的断り>のカテゴリーに分類される③{詫び}(26%)、④{理由}(15%)である。その他の意味公式は、出現率が低い。回答例は以下の通りである。

{結論}を最後の意味公式とする回答例

JM 23：ごめん、俺も中間テストがあって、力添えできないかも。

{行動指示}を最後の意味公式とする回答例

JM 3： すまん、俺はテスト勉強したい。自分の課題は自分でやろ！

{詫び}を最後の意味公式とする回答例

JF4 ： ごめん、自分も忙しいから、手伝えへん。ごめんな。

{理由}を最後の意味公式とする回答例

JM20：ごめん、俺もテストがあって、しっかり勉強しないと。

{消極的代案提示}を最後の意味公式とする回答例

JM 37： んー、来週のテストはヤバイ。他の人に当たってみて。

{条件提示}を最後の意味公式とする回答例

JF 41：私もテストあって、できないかも。チェックならできるけど。

{約束}を最後の意味公式とする回答例

JM 40：今はテスト勉強したいから、手伝えへん。また今度時間があれば手伝う。

{励まし}を最後の意味公式とする回答例

JF 18：ごめん、自分も中間テストがある、勉強せんといけんのよー。お互い頑張ろう！！

{非難}を最後の意味公式とする回答例

JF 34：へえ、俺はいつも暇な時間があるんじゃないよ。

フォローアップインタビューによると、{結論}を述べる理由は次の 2 点である。

(1)「断りの{理由}を説明した後に、手伝えるかどうか{結論}を述べるのは大事なことだ」そうである。「断りを明言しないと、手伝いに行けるかどうかはっきりせず、相手に誤解されてしまう恐れがあるから」である。

(2)「{結論}を述べることによって、発話を終了させたいから」である。「忙しい時にどうしても手伝えない場合は、断りを明言しないと、会話が長く続き、相手に手伝うことを再依頼されるかもしれない」という意見も見られた。

また{詫び}を最後に述べるのは、「相手との良好な関係を維持するため」である。ほかにも、「相手に再依頼されたくないので{詫び}の言葉で協力できないことを伝える」と考えた人もいる。

{詫び}以外、{条件提示}{励まし}{消極的代案提示}{約束}を述べることによって相手との関係を維持することがあるが、それぞれ出現率が低い。依頼されて手伝えない場合、{条件提示}{励まし}などの関係を維持する意味公式をあまり使用しないことについて、JJ の意見を見ると「授業の課題は自分でやるべきである」「どんな頼みごとでも、相手に迷惑をかけ、負担を感じさせる行為である」「依頼者が被依頼者に迷惑をかける側なので、被依頼者が{条件提示}{消極的代案提示}{約束}をする必要がない」と考えるからである。さらに、断られた人は友達で、「{条件提示}{消極的代案提示}{約束}をしなくても関係が悪くならない」という意見が多かった。

また、{励まし}で発話を終了させる場合もあるが、その出現率は非常に低い。意味公式の出現順序のパターンを見ると、{励まし}の前に、{結論}を述べるパターンが多いことが分かった。「断りを明言すると、断られた人をがっかりさせるかもしれないので、良好な関係を維持するため、相手を励ます」と答えた。

5.5.1.5 場面 5：まとめ(JJ)

場面 5 の親しい同等からの重い依頼に対する断りの場面において、JJ の使用した意味公式の傾向をまとめる。

(1) 意味公式の全体における出現率のうち、出現率が 50%以上の意味公式は、高い順に{理由}(91%)、{詫び}(70%)、{結論}(56%)である。

(2) 意味公式の出現順序のパターンについては、場面 1(親・目上・重)と比べて多くのバリエーションが見られたのが特徴である。{詫び}+{理由}+{結論}が最も多用されるパターンである。そして、{理由}が中間にあるパターンのうち、最も出現率が高い前半部は{詫び}+{理由}…で、後半部は…{理由}+{結論}である。

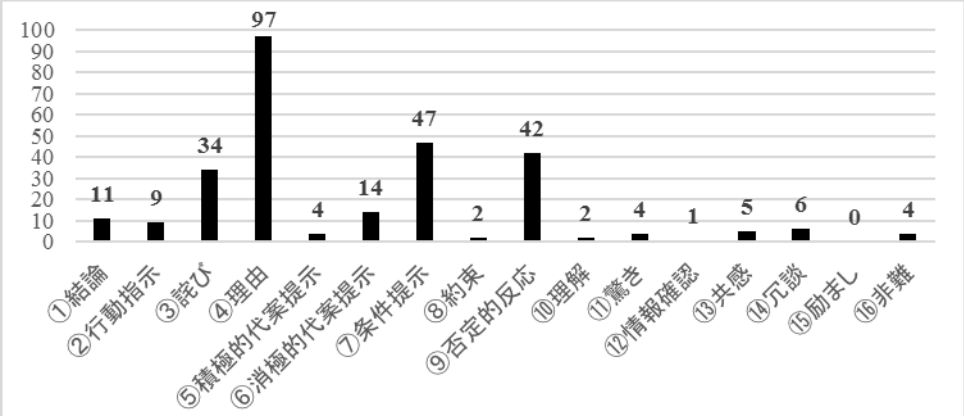
(3) 断りの冒頭の意味公式は、{詫び}の出現率が最も高い。

(4) 断りの最後の意味公式は、{結論}や{詫び}で発話を終了させることが多い。

5.5.2 場面 5：タイ語母語話者の使用した意味公式

5.5.2.1 場面 5：意味公式の出現率(TT)

まず、意味公式の出現率を考察する。出現率を図 50 に示す。



〈直接的断り〉のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯
TT{詫び}34%　　(一回の詫び 33%、二回の詫び 1%)
TT{理由}97%　　(理由の内容 54%、理由の内容+付加説明 43%)
TT{否定的反応}42%　(間投詞 18%、呼びかけ 24%)

図 50　TT: 場面 5(親・同等・重)の断りの意味公式の出現率

親しい同等からの重い依頼を断る場面において、最も出現率が 50%以上の意味公式は<間接的断り>のカテゴリーに分類される④{理由}(97%)のみである。ほかにも、目上からの依頼の場面に見られなかった意味公式②{行動指示}、⑯{非難}も出現している。

以下、分類したカテゴリーに従って個々の意味公式について具体的な説明を加える。<直接的断り>のカテゴリーに分類される①{結論}については、出現率が 11%であり、JJ の 56%と比べると大幅に少ない。言語形式の違いにより、非断定的表現と断定的表現に分類される。

非断定的表現：動詞の前に、モダリティ形式「คง (khoŋ)」(だろう)が付加される。場合によっては、動詞が省略されることがある。

TF 38：พอดีวันอาทิตย์หน้ามีสอบ *คงช่วยไม่ได้ แต่ช่วยตรวจให้ได้นะ ขอโทษที

(和訳：ちょうど来週に試験がある。(翻訳の)手伝いはできないだろう。
でも、チェックなら、できるよ。ごめんね。)

*คง (khoŋ だろう)、ช่วย(chûai 手伝う)、 ไม่ได้(mâi dâi 不可能を表す否定詞)

TF 34：*คงไม่ได้อะ พอดีช่วงนี้ต้องอ่านหนังสือ โทษทีนะ

(和訳：無理だろう。ちょうどテスト勉強しなくちゃ。ごめんね。)

*คง (khoŋ だろう)、ไม่ได้(mâi dâi 不可能を表す否定詞)、อะ(ʔa 文末詞)

断定的表現：動詞に不可能を表す否定詞「...ไม่ได้」 (...mâi dâi) (することができない) が付加される。さらに、動詞が省略され、否定形「ไม่ได้ (mâi dâi)」(無理だ)のみ用いられる場合もある。回答例は以下の通りである。

TF 41：ขอโทษทีนะ กูมีสอบอะ ต้องอ่านหนังสือ *ช่วยไม่ได้จริงๆ

(和訳：ごめんね。試験がある。テスト勉強しなくちゃ。どうしても手伝えない。)

*ช่วย(chûai 手伝う)、 ไม่ได้(mâi dâi 不可能を表す否定詞) 、 จริงๆ (ciŋ ciŋ どうしても(強調詞))

TF 1：*ไม่ได้หวะ อาทิตย์หน้ากูมีสอบกลางภาค มึงลองแปลเอง แล้วเดี๋ยวกูจะตรวจให้

(和訳：無理だ。来週に試験がある。翻訳してみて。私が後でチェックしてあげる。)

* ไม่ได้(mâi dâi 不可能を表す否定詞)、 หวะ(wà親しい同等に対して使われる文末詞)

②{行動指示}の出現率が 9%、{結論}と同じぐらいの出現率である。回答例は以下の通りである。

TM 13：ช่วงนี้ติดสอบอะ กูไม่ว่างจริงๆ แปลเองดิ

(和訳：試験があって、時間的に全く余裕がない。自分でやれ！)

TF 36：ช่วงนี้ไม่ว่างหวะ อาทิตย์หน้ามีสอบ มึงแปลเองนะ

(和訳：最近時間的に全く余裕がないなあ。来週に試験がある。自分で翻訳してね。)

TF 23：ไม่ได้หวะ พอดีเราต้องอ่านหนังสือสอบกลางภาค ทำเองละกันนะ

(和訳：無理だ。ちょうど試験のために勉強しなくちゃ。自分でやってね。)

次に＜間接的断り＞のカテゴリーでは、③{詫び}は出現率が 34%で、そのうち一回の詫びが 33%、二回の詫びが 1%に過ぎない。JJ の 77%と比べると大きな差がある。詫びの表現として、タイ語には様々なバリエーションがある。

「ขอโทษด้วย」(khɔ̌ɔthôot dûai) 「ขอโทษที」(khɔ̌ɔthôot thii) 「ขอโทษนะ」(khɔ̌ɔthôot ná) 「โทษที」(thôot thii) 「โทษทีนะ」(thôot thii ná) 「โทษทีหวะ」(thôot thii wà) 「โทษหวะ」(thôot wà)「ซอรี่」(sɔɔrîi)が使われている。

また、詫びの言葉の後に、親しい同等に対して使われる呼称詞「มึง(mɯŋ)」が付く場合もある。例えば、「โทษทีหวะมึง」(thôot thii wà mɯŋ) 「โทษทีนะมึง」(thôot thii ná mɯŋ) である。友達

に対する詫びの言葉の特徴は、文末丁寧詞「ครับ/ค่ะ」(khráp/ khá)」がなく、親しい同等に対して使われる文末詞「หวะ/ว่ะ」(wà)が付加されることである。

これらの表現は、以下の表現の組み合わせからなる。(1)ขอโทษด้วย (khɔ̌ɔthôot dûai) ขอโทษที (khɔ̌ɔthôot thii) โทษ(thôot) โทษที(khɔ̌ɔthôot thii) ซอรี่(sɔɔrîi) (詫びの言葉) 、(2)นะ(ná 文末詞)、(3)หวะ/ว่ะ(wà 親しい同等に対して使われる文末詞)、(4)มึง(mɯŋ 親しい同等に対して使われる呼称詞)

以下、回答例を示す。

一回の詫び

TM 37：โทษทีหวะมึง ของกูยังไม่เสร็จเลย

(和訳：ごめん。俺の(宿題/授業の課題)もまだできていない。)

TF 24：พอดีมีสอบหวะ ขอโทษทีนะ

(和訳：ちょうど試験があるよ。ごめんね。)

二回の詫び

TM 14：ขอโทษหวะ ตอนนี้ต้องอ่านหนังสือ โทษทีว่ะ

(和訳：ごめん。今、テスト勉強しなくちゃ。ごめん。)

続いて、出現率が最も高い意味公式、④{理由}は出現率が 97%（うち[理由の内容]が 54%、[理由の内容+付加説明]が 43%）である。[理由の内容]と[理由の内容+付加説明]の出現率はほぼ同程度である。回答例は以下の通りである。

[理由の内容]

TM 30：โทษทีหวะ กูมีสอบเก็บคะแนน

(和訳：ごめんね。試験がある。)

TM 46：เอ่อ โทษทีหวะ กูก็ไม่เก่งภาษาอังกฤษเหมือนกัน

(和訳：{否定的反応}(ʔɔ̀ɔ)、ごめん。俺も英語が得意じゃないの。)

[理由の内容+付加説明]

TM 6：ไม่ว่างอะแก ต้องอ่านหนังสือ ขอโทษด้วย

(和訳：時間的に余裕がないよ。テスト勉強しなくちゃ。ごめんね。)

TM 22：โทษทีมึง กูต้องอ่านหนังสือสอบ ถ้าไม่อ่านตอนนี้ วิชานี้กูตกแน่ๆ

(和訳：ごめん。俺は今、テスト勉強しないと、きっと落ちるんだ。)

TM 32：อาทิตย์หน้ากูมีสอบ ยังไม่ได้อ่านเลย มึงลองแปลเองก่อน แล้วเดี๋ยวกูเช็คให้

(和訳：来週に試験がある。まだテスト勉強を始めていない。
とりあえず、翻訳してみて、後で私がチェックしてあげる。)

TM 42：เอ่อ กูก็มีสอบกลางภาคเหมือนกันนะ ถ้าคะแนนไม่ดีนี่ยุ่งเลย โทษทีนะ มึงทำเองละกัน

(和訳：{否定的反応}(ʔɔ̀ɔ)、俺もテスト試験がある。点数が悪かったら困るよ。
悪いけど、自分で頑張ってね。)

TF 28：ขอโทษนะมึง กูมีสอบอาทิตย์หน้า ต้องอ่านหนังสือ มันเยอะมาก กลัวอ่านไม่ทัน

(和訳：ごめん。来週に試験があって、テスト勉強しなくちゃ。読む内容が多くて、
急がないと間に合わないと心配している。)

回答例を見ると、TT においては「テストがある」という理由に加えて、「時間がない」「テスト勉強しないといけない」という説明が多く見受けられる。ほかにも、相手に「試験勉強を始めていない」「点数が悪かったら困るよ」などのような説得力のある理由を付け加えて、自分の時間を取られたくないことを強調する回答も多かった。

⑤{積極的代案提示}⑥{消極的代案提示}⑦{条件提示}⑧{約束}について、⑤{積極的代案提示}の出現率は 4%、⑥{消極的代案提示}は 14%、⑦{条件提示}は 47%で、JJ の 4%と大きく異なる。最後に⑧{約束}は 2%である。回答例は以下の通りである。

{積極的代案提示}

TM 28：กูก็ไม่ว่างเหมือนกัน อาทิตย์หน้ามีสอบกลางภาคละ เดี๋ยวกูจะลองถามคนอื่นให้ละกันนะ

(和訳：俺も時間的に余裕がないよ。来週、テストがある。では、他の人に聞いてみてあげるね。)

TM 31：*จริงดิ ขอโทษนะ พอดีอาทิตย์หน้ากูมีสอบเก็บคะแนน กลัวตกอะ เดี๋ยวกูแนะนำเพื่อนคนอื่นให้ละกันนะ

(和訳：{驚き}(ciŋ dì)、ごめんね。ちょうど来週に試験があって、準備しないと落ちるかもしれないから心配だ。じゃ、手伝いできそうな友達を紹介するね。)

*จริงดิ(ciŋ dì 本当？)

{消極的代案提示}

TM 29：กูไม่ว่างอะ มึงเอาไปให้คนอื่นช่วยละกัน

(和訳：俺も時間的に余裕がないよ。別の人に頼んで。)

{条件提示}：回答に見られた{条件提示}は依頼の内容を変更する条件と、時間的余裕の仮定に分類される。。

依頼の内容を変更する条件：翻訳の依頼に応じず、「翻訳の枚数を交渉する」「翻訳したものをチェックする」「翻訳ができないところを教える」「Line で翻訳について助言する」「電子辞書を貸す」などの自分ができる別の条件を提示する。

TM 1：เอ่อ...อาทิตย์หน้ามีสอบเก็บคะแนน　ตอนนี้ขออ่านหนังสือก่อน มึงลองหาคำศัพท์ดู แล้วแปลเองก่อน เดี๋ยวกูช่วยตรวจดูให้

(和訳：{否定的反応}(ʔəəə)、来週に試験がある。勉強させて。とりあえず意味を調べて自分で翻訳してみろ。後でチェックしてあげるから。)

TM 2：*มึง กูมีสอบอาทิตย์หน้า ต้องอ่านหนังสือก่อนนะ ขอโทษด้วย มึงแปลไปก่อน เดี๋ยวกูมาดูให้อีกที

(和訳：[呼びかけ](mɯŋ)、来週に試験がある。テスト勉強しなくちゃ。
ごめん。先に自分で翻訳して、俺が後でチェックしてあげる。)

* มึง(mɯŋ 友人同士に対して使われる呼称詞)

TM 34：คือ... กูต้องอ่านหนังสือสอบหวะ งั้นลองแปลเองก่อน ตรงไหนไม่ได้เดี๋ยวกูบอกมึง

(和訳：{否定的反応}(khɯɯ)、テスト勉強しなくちゃ。自分で翻訳してみて、
できない部分があったら、俺が教える。)

TM 35：มึง กูเกิลทรานสเลทมีก็โยนเข้าไปดิ อันไหนแปลกๆ เดี๋ยวกูช่วยดูให้

(和訳：[呼びかけ](mɯŋ)、google translateもあるでしょ。使ってみろ。
おかしい言葉が出たら、俺がチェックしてあげる。)

TM 44：โทษทีว่ะมึง กูมีสอบเหมือนกัน ยุ่งมาก เดี๋ยวกูให้ยืมทอล์คกิ้งดิกละกัน

(和訳：ごめん。俺も試験がある。とても忙しい。じゃあ、電子辞書を貸してあげるね。)

TF 32：คือกูอยากช่วยนะ แต่กูไม่ว่างจริงๆ กำลังอ่านหนังสือ ลองแปลเองก่อน ไม่ได้ค่อยถามกูในไลน์นะ

(和訳：実は手伝いたいんだけど、どうしても時間がない。テスト勉強している。
とりあえず、自分でやってみて、できないことがあれば　Lineで聞いてね。)

TF 49：หา อาทิตย์หน้าต้องสอบแล้ว งั้นกูช่วยแปล 2 บรรทัดละกัน

(和訳：{驚き}(hăa)、私、来週に試験を受けなくちゃ。では、内容を2行翻訳するね。)

時間的余裕の仮定

TF 18：โทษทีหวะ ทิตย์หน้ากูมีสอบอะ ขออ่านหนังสือก่อน ถ้าเสร็จทัน เดี๋ยวไปช่วย

(和訳：ごめん。来週に試験ある。テスト勉強させて。
テスト勉強が終わった後、もし時間的に余裕があれば、翻訳を手伝う。)

TF 45：*อ่าวจริงดิ กูไม่ว่างอะ อาทิตย์หน้ากูมีสอบ โทษทีนะมึง ครั้งนี้ถ้ากูมีเวลา กูจะช่วยมึงแปลนะ

(和訳：{驚き}(ʔàaw ciŋ dí)、暇じゃないのよ。来週に試験がある。ごめんね、
今回、もし時間的に余裕があれば、手伝うよ。)

*อ่าวจริงดิ(ʔàaw ciŋ dì 本当？)

{約束}

TM 26：เฮ้ย โทษทีหวะ อาทิตย์หน้ากูมีสอบ ต้องอ่านหนังสือ เอาไว้ครั้งหน้าละกัน

(和訳：[呼びかけの間投詞](hɔ̀ɔi)、ごめん。来週に試験ある。テスト勉強しなくちゃ。
今度ならいいけど。)

TF 20：ช่วงนี้ไม่ว่างหวะ อาทิตย์หน้ากูมีสอบ ต้องอ่านหนังสือ ไว้งานหน้ากูจะช่วยนะ

(和訳：最近、時間的に余裕がないよ。来週に試験がある。テスト勉強しなくちゃ。今度手伝うよ。)

最後に<付加表現>のカテゴリーについては、最も出現率が高い順に⑨{否定的反応}(42%)、このうち、[間投詞]が 18%、[呼びかけ]が 24%である。次に⑭{冗談}(6%)、⑬{共感}(5%)、⑪{驚き}⑯{非難}(それぞれ 4%)、⑩{理解}(2%)、⑫{情報確認} (1%) という順である。

{否定的反応}

用いられた表現：間投詞「เอ่อ」(ʔəə̀)、「อืม」(ʔɯɯm)、「คือ」(khɯɯ)、「อ่า」(ʔàa)、
「โอ๊ย」(ʔóoi)、「เอิ่ม」(ʔə̀əm)

TM 9：โอ๊ย งานกูกองเท่าภูเขา ให้คนอื่นช่วยละกัน

(和訳：{否定的反応}(ʔóoi)、授業の課題が山のように積みあがっている。別の人に頼んでね。)

TF 43：อ่า ไม่ได้หวะมึง กูต้องอ่านหนังสือ อาทิตย์หน้าสอบละมึง

(和訳：{否定的反応}(ʔàa)、無理だよ。テスト勉強しなくちゃ。来週に試験がある。)

用いられた表現：呼びかけの間投詞 เฮ้ย/เห้ย (hɔ́ɔi)

TM 7：เฮ้ย โทษทีหวะ พอดีอาทิตย์หน้ากูมีสอบกลางภาค ขออ่านหนังสือก่อนนะ

(和訳：[呼びかけの間投詞](hɔ́ɔi)、ごめん。俺も来週にちょうど試験がある。
テスト勉強させて。)

用いられた表現：呼称詞

場面 1-4 において、TT が用いる呼びかけは「อาจารย์ (ʔaa caan)」(先生)」であるが、場面 5 に見られる呼びかけは同等に対して使われる呼称詞[13]「แก (kɛɛ) 」「มึง(mɯŋ)」である。また、女性同士が使う親しみを込める蔑称語「อีดอก (ʔii dɔ̀ɔk)」[売春婦]「อีสัตว์ (ʔii sàt)」[畜生] も使われている。

TF 13：มึง ของกูยังไม่ได้ทำเลย เวลากูก็ไม่ค่อยมี มึงไปให้คนอื่นช่วยก่อนดิ

(和訳：[呼びかけ](mɯŋ)、俺のもまだだよ。時間もあまりないし、別の人に頼んでね。)

TF 6：อีดอก กูมีสอบ ต้องอ่านหนังสือ ไว้อ่านเสร็จกูค่อยช่วยมึงแปลบางส่วนละกันนะ

(和訳：[呼びかけ](ʔii dɔ̀ɔk)、試験がある。テスト勉強しなくちゃ。

勉強が終わったら、翻訳を少し手伝うね。)

TF 22：อีสัตว์ กูต้องอ่านหนังสือ อาทิตย์หน้ามีสอบ มึงก็ใช้อากู๋ช่วยแปลไปก่อนละกัน ซอรี่อย่างแรง

(和訳：[呼びかけ](ʔii sàt)、テスト勉強しなくちゃ。来週に試験がある。

とりあえず、グーグルを使って翻訳してね。本当にごめん。

{冗談}[14]

TM 11：เอ่อ กูมีสอบอาทิตย์หน้า ช่วยแปลสัก1หน้าก็ได้ แปลเสร็จเลี้ยงเหล้ากูด้วย

(和訳：{否定的反応}(ʔɔ̀ɔ)、俺は試験がある。

じゃあ、1 ページぐらいしてあげるね。できたら、お酒をおごってくれ。)

TM 15： ช่วงนี้กูไม่ค่อยว่าง มีสอบอาทิตย์หน้าเหมือนกัน ขอแปลหน้าเดียวละกันนะ เลี้ยงข้าวกูด้วย

(和訳：最近は時間的に余裕があまりない。俺も来週に試験があるよ。じゃあ、

1 ページ翻訳してあげるね。できたら、ご飯をおごってくれ。)

TM 24：กูอ่านไม่ออกเหมือนกันหวะ มึงแปลเองนะ ถ้าเสร็จแล้วบอกด้วย กูจะลอก

(和訳：俺にも分からない。自分でやってくれ。出来たら、見せてね。コピーするから。)

{共感}

TF 19：กูก็อยากช่วยอะนะ แต่คงไม่ได้อะ กูก็มีสอบเหมือนกัน อยากทบทวนหนังสือ มึงลองถามคนอื่นดูนะ

(和訳：手伝いたいんだけど、無理だろう。俺も試験がある。テスト勉強したい。

他の人に聞いてみてね。)

[13] 同等に対して使われる呼称詞に関しては、第七章の 7.8{否定的反応[呼びかけ]}で詳述する。
[14]{冗談}に関しては、第七章の 7.9{冗談}で詳述する。

TF 39：อยากช่วยนะ แต่ไม่ว่างจริงๆ อาทิตย์หน้ามีสอบเก็บคะแนน โทษนะเพื่อน

(和訳：手伝いたいな。でも、時間的に余裕が全くない。来週に試験がある。
ごめんね。)

{驚き}

用いられた表現：「หา」(hăa)、「จริงดิ」(ciŋ dí)、「อ่าวจริงดิ」(ʔàaw ciŋ dí)

TM 31：หา อาทิตย์หน้ากูมีสอบ งั้นขอแปล 2บรรทัดละกัน

(和訳：{驚き}(hăa)！俺、来週にテストがあるよ。じゃあ、2行翻訳してあげるね。)

TF 45：อ่าวจริงดิ กูไม่ว่างอะ อาทิตย์หน้ากูมีสอบ โทษทีนะมึง ถ้ากูมีเวลา กูจะช่วยมึงแปลนะ

(和訳：{驚き}(ʔàaw ciŋ dí)、暇じゃないのよ。来週に試験がある。ごめんね、
もし時間的に余裕があれば、手伝うね。)

{非難}

TM 47：เอ่อ มีงานตอนที่กูไม่ว่างตลอด มึงก็ทำเองดิ

(和訳：{否定的反応}(ʔɔ̀ɔ)、忙しい時に、いつも頼みにくるよね。自分でやれ。)

TM 49：เอ่อ 3,4หน้าเยอะไปนะ ตอนนี้กูไม่ว่าง ต้องอ่านหนังสือ

(和訳：{否定的反応}(ʔɔ̀ɔ)、3,4は枚多すぎる。今は時間無いよ。テスト勉強しなくちゃ。)

TF 7：คิดว่ากูว่างมากใช่ปะ กูมีสอบอาทิตย์หน้า งั้นมึงไปถามคนอื่นละกัน

(和訳：いつも暇があると思う？来週に試験がある。じゃ、別の人に頼んで。)

{理解}

用いられた表現：間投詞「เหรอ」(rɤ̌ə)の後に、呼称詞「มึง(mɯŋ)」や、親しさを表す文末詞
「วะ」(wá)が付く。

TM 8：เหรอมึง พอดีกูมีสอบว่ะ ต้องอ่านหนังสือ กูขอแปลหน้านึงนะ เสร็จแล้วเลี้ยงข้าวกูด้วย

(和訳：{理解}(rɤ̌ə mɯŋ)、ちょうど試験がある。テスト勉強しなくちゃ。
じゃあ、1ページ翻訳してあげるね。できたら、ご飯をおごってくれ。)

TF 17：เหรอวะ กูมีสอบวันอาทิตย์หน้าพอดีเลย ต้องอ่านหนังสือ ลองใช้กูเกิลแล้วค่อยให้เราดูได้ปะ

(和訳：{理解}(rɤ̌ə wá)、来週にちょうど試験がある。テスト勉強しなくちゃ。
とりあえず、グーグルを使ってみて、後で見せてくれない？)

{情報確認}

TM 5：มึง อาทิตย์หน้าหรอ กูมีสอบกลางภาคพอดี กูคงไม่ว่างช่วยแปลอะ

(和訳：[呼びかけ](mɯŋ)、来週？俺はちょうど試験がある。翻訳する時間がないだろう。)

5.5.2.2 場面 5：意味公式の出現順序のパターン(TT)

続いて、意味公式の出現順序のパターンを考察する。タイ語母語話者の回答 に見られた意味公式の出現順序のパターンを表 41 に示す。

表 41　TT: 場面 5(親・同等・重)の 意味公式の出現順序のパターン

冒頭の意味公式	{理由}が中間にあるパターン	出現率
{否定的反応}	{否定的反応(呼)}+{理由}+{条件提示}	8%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{条件提示}	6%
	{否定的反応(呼)}+{理由}+{消極的代案提示}	2%
	{否定的反応(呼)}+{理由}+{消極的代案提示}+{詫び}	2%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{条件提示}+{冗談}	2%
	{否定的反応(呼)}+{理由}+{行動指示}	1%
	{否定的反応(呼)}+{理由}+{条件提示}+{冗談}	1%
	{否定的反応(呼)}+{理由}+{詫び}+{条件提示}	1%
	{否定的反応(呼)}+{詫び}+{理由}+{詫び}	1%
	{否定的反応(呼)}+{詫び}+{理由}+{約束}	1%
	{否定的反応(呼)}+{非難}+{理由}+{行動指示}	1%
	{否定的反応(呼)}+{非難}+{理由}+{消極的代案提示}	1%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{詫び}	1%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{詫び}+{行動指示}	1%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{結論}+{条件提示}	1%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{消極的代案提示}	1%
	{否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}+{条件提示}	1%
	小計	**32%**
{詫び}	{詫び}+{理由}+{条件提示}	3%
	{詫び}+{理由}+{積極的代案提示}	2%
	{詫び}+{理由}+{消極的代案提示}	1%
	{詫び}+{理由}+{結論}	1%
	{詫び}+{理由}+{条件提示}+{冗談}	1%
	{詫び}+{理由}+{行動指示}	1%
	小計	**9%**
{結論}	{結論}+{理由}+{詫び}	2%
	{結論}+{理由}+{条件提示}	2%
	{結論}+{理由}+{行動指示}	1%
	{結論}+{理由}+{消極的代案提示}	1%
	小計	**6%**
{共感}	{共感}+{理由}+{詫び}	2%
	{共感}+{理由}+{条件提示}	2%
	{共感}+{結論}+{理由}+{消極的代案提示}	1%
	小計	**5%**
{驚き}	{驚き}+ {理由}+{条件提示}	2%
	{驚き}+{理由}+{詫び}+{条件提示}	1%
	{驚き}+{詫び}+{理由}+{積極的代案提示}	1%
	小計	**4%**

{条件提示}	{条件提示}+{理由}+{詫び}	1%
	小計	**1%**
{理解}	{理解}+{理由}+{条件提示}	1%
	{理解}+{理由}+{条件提示}+{冗談}	1%
	小計	**2%**
合計		**59%**
冒頭の意味公式	**{理由}が冒頭の意味公式であるパターン**	**出現率**
{理由}	{理由}+{条件提示}	10%
	{理由}+{消極的代案提示}	4%
	{理由}+{詫び}	2%
	{理由}+{行動指示}	2%
	{理由}+{行動指示}+{冗談}	1%
	{理由}+{結論}+{条件提示}+{詫び}	1%
	{理由}+{積極的代案提示}	1%
	{理由}+{約束}	1%
合計		**22%**
冒頭の意味公式	**{理由}が最後の意味公式であるパターン**	**出現率**
{否定的反応}	{否定的反応(呼)}+{詫び}+{理由}	2%
	{否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}	1%
	{否定的反応(間)}+{結論}+{理由}	1%
	{否定的反応(間)}+{非難}+{理由}	1%
	{否定的反応(間)}+{理由}	1%
	{否定的反応(呼)}+{消極的代案提示}+{理由}	1%
	{否定的反応(呼)}+{情報確認}+{理由}	1%
	小計	**8%**
{詫び}	{詫び}+{理由}	4%
	小計	**4%**
合計		**12%**
冒頭の意味公式	**{理由}なしのパターン**	**出現率**
{否定的反応}	{否定的反応(呼)}+{条件提示}	1%
	{否定的反応(間)}+{非難}+{行動指示}	1%
合計		**2%**
冒頭の意味公式	**意味公式が一つしかないパターン**	**出現率**
{理由}	{理由}	4%
	小計	**4%**
{条件提示}	{条件提示}	1%
	小計	**1%**
合計		**5%**
総合計		**100%**

意味公式の出現順序のパターンは、全部で 56 パターンに分類される。JJ の 39 パターンに比べて、TT のほうがパターンのバリエーションが多いことが分かった。

56 パターンのうち、{理由}が中間にあるパターンは 39 パターンで、出現率が 59%である。続いて、{理由}が冒頭の意味公式であるパターンは 8 パターンで、出現率が 22%である。{理由}が

最後の意味公式であるパターンは 8 パターンで、出現率が 12%である。意味公式が一つしかないパターンは 2 パターンで、出現率が 5%である。{理由}なしのパターンは 2 パターンで、出現率が 2%である。

意味公式の出現順序のパターンのうち、最も出現率の高い上位 2 位のパターンは{理由}+{条件提示}(10%)、そして{否定的反応(呼)}+{理由}+{条件提示}(8%)である。全体的な傾向を見ると、同じ意味公式で出現順序の異なるパターンがいくつかあり、バリエーションが豊富であることが TT の特徴である。回答例は以下の通りである。

{理由}+{条件提示}

TM 10：ช่วงนี้ไม่ค่อยว่างอะ ต้องอ่านหนังสือ ถ้ายังไงแปลเสร็จแล้ว เราก็พอที่จะช่วยตรวจให้ได้นะ

(和訳：最近は時間的に余裕があまりない。テスト勉強しなくちゃ。
とりあえず、自分でやってみて。できたら、私がチェックするよ。)

{否定的反応(呼)}+{理由}+{条件提示}

TF 12：มึง กูไม่ว่าง งั้นแปลครึ่งหน้าละกันนะ

(和訳： [呼びかけ](mɯŋ)、時間的に余裕がないよ。じゃあ、1 ページの半分翻訳するね。)

さらに、目上からの依頼の場面には見られなかった意味公式である、{行動指示}{非難}{冗談}を含んだパターンがいくつか見られる。回答例は以下の通りである。

{理由}+{行動指示}

TM 36：ช่วงนี้ไม่ว่างหวะ อาทิตย์หน้ามีสอบ มึงแปลเองนะ

(和訳：最近時間的に余裕がないなあ。来週に試験がある。自分で頑張ってね。)

{否定的反応}+{理由}+{条件提示}+{冗談}

TF 23：เอ่อ กูมีสอบอาทิตย์หน้า งั้นขอแปลหน้าเดียวได้ปะ เลี้ยงข้าวกูด้วย

(和訳：{否定的反応}(ʔɔ̀ɔ)、来週に試験がある。1 ページだけ翻訳していい？
できたら、ご飯をおごってくれ。)

{否定的反応(間)}+{非難}+{行動指示}

TM 47：เอ่อ มีงานตอนที่กูไม่ว่างตลอด มึงก็ทำเองดิ

(和訳：{否定的反応}(ʔɔ̀ɔ)、忙しい時に、いつも頼みにくるよね。自分でやれ！)

続いて、{理由}が中間にあるパターンについて、出現順序のパターンの前半部と後半部を表42に示す。

表 42　TT: 場面 5(親・同等・重)の 意味公式の出現順序のパターンの前半部と後半部

出現順序のパターンの前半部	出現率	出現順序のパターンの後半部	出現率
{否定的反応}+{理由}… ({否定的反応(呼)}+{理由}…) ({否定的反応(間)}+{理由}…)	27% (15%) (12%)	…{理由}+{条件提示}	25%
{詫び}+{理由}…	9%	…{理由}+{消極的代案提示}	7%
{結論}+{理由}…	6%	…{理由}+{詫び}	7%
{共感}+{理由}…	4%	…{理由}+{条件提示}+{冗談}	5%
{驚き}+{理由}…	3%	…{理由}+{行動指示}	4%
{否定的反応}+{詫び}+{理由}… ({否定的反応(呼)}+{詫び}+{理由}…) ({否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}…)	3% (2%) (1%)	…{理由}+{積極的代案提示}	3%
{理解}+{理由}…	2%	…{理由}+{消極的代案提示}+{詫び}	2%
{否定的反応}+{非難}+{理由}… ({否定的反応(呼)}+{非難}+{理由}…)	2% (2%)	…{理由}+{詫び}+{条件提示}	2%
{条件提示}+{理由}…	1%	…{理由}+{詫び}+{行動指示}	1%
{驚き}+{詫び}+{理由}…	1%	…{理由}+{結論}	1%
{共感}+{結論}+{理由}…	1%	…{理由}+{約束}	1%
		…{理由}+{結論}+{条件提示}	1%
合計	**59%**	**合計**	**59%**

最も出現率の高い意味公式の出現順序のパターンの前半部は{否定的反応}+{理由}…(27%)である。そのうち{否定的反応(呼)}+{理由}…が 15%、{否定的反応(間)}+{理由}…が 12%である。後半部においては、…{理由}+{条件提示}が 25%見られる。回答例は以下の通りである。

{否定的反応(呼)}+{理由}…

TF42：มึง กูมีสอบอาทิตย์หน้า ต้องอ่านหนังสือ แปลเองไปก่อนนะ

(和訳：[呼びかけ]mɯŋ、来週に試験がある。テスト勉強しなくちゃ。
先に自分で翻訳してね。)

{否定的反応(間)}+{理由}…

TF9：เอิ่ม ตอนนี้กูยังไม่ว่างเลย ถ้าเสร็จงานแล้วเดี๋ยวช่วยนะ

(和訳：{否定的反応}(ʔəəm)。今は、時間的に余裕がないよ。宿題ができたら、手伝うよ。)

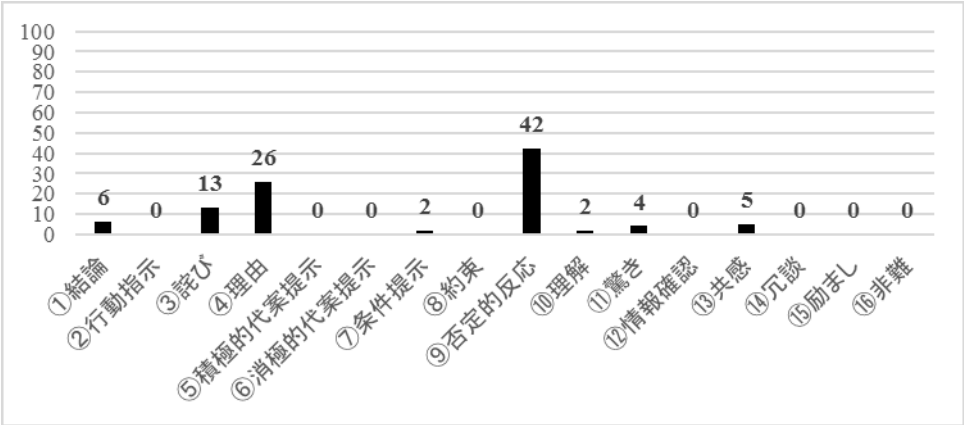
…{理由}+{条件提示}

TM 16：โทษทีหวะมึง อาทิตย์หน้ากูมีสอบ กำลังเตรียมสอบอยู่อะ มึงแปลเองไปก่อน แล้วเดี๋ยวกูเช็คให้ก่อนส่ง

(和訳：ごめん。来週に試験がある。テスト勉強しなくちゃ。
とりあえず、自分でやって、後で俺がチェックする。)

5.5.2.3 場面 5：冒頭の意味公式(TT)

次に、冒頭の意味公式を考察する。冒頭に見られた意味公式は{結論}{詫び}{理由}{条件提示}{否定的反応}{理解}{驚き}{共感}が用いられており、全部で 8 種類の意味公式が見られた。出現率を図 51 に示す。



〈直接的断り〉のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯
TT{否定的反応}42%　(間投詞 18%、呼びかけ 24%)

図 51　TT: 場面 5(親・同等・重)の断りの冒頭の意味公式の出現率

TT が用いた冒頭の意味公式は、<付加表現>のカテゴリーに分類される⑨{否定的反応}(42%)の出現率が突出しており、そのうち[間投詞]が 18%、[呼びかけ]が 24%である。続いて、<間接的断り>のカテゴリーに分類される④{理由}(26%)、③{詫び}(13%)という順である。他の意味公式は出現率が低い。以下は回答例である。

{否定的反応(間)}を冒頭の意味公式とする回答例

TM18：อืม เค้ามีสอบเก็บคะแนนอาทิตย์หน้าอะ ต้องไปทบทวนบทเรียนก่อนสอบ

(和訳：{否定的反応}(ʔɯ̀ɯm)、来週に試験があるから、その前に復習するんだ。)

{否定的反応(呼)}を冒頭の意味公式とする回答例

TF 48：มึง กูมีสอบเก็บคะแนน มึงแปลเองเลย อันไหนไม่ได้จริงๆ ค่อยมาถามกู

(和訳：[呼びかけ](mɯŋ)、試験があるのよ。自分で翻訳して。本当にできない部分があれば、聞いてね。)

{理由}を冒頭の意味公式とする回答例

TM 6：ไม่ว่างอะแก ต้องอ่านหนังสือ ขอโทษด้วย

(和訳：時間がないよ。テスト勉強しなくちゃ。ごめんね。)

{詫び}を冒頭の意味公式とする回答例

TF25：โทษทีนะ ฉันไม่ว่างอะ อาทิตย์หน้ามีสอบ แปลเองไปก่อนนะ

(和訳：ごめんね。今、時間がない。来週に試験がある。自分で翻訳してね。)

{結論}を冒頭の意味公式とする回答例

TF 14：ไม่ได้มึง กูไม่ว่างเลย งานล้นมือละเนี่ย ไว้กูว่าง จะช่วยมึงนะ

(和訳：無理だよ。時間的に余裕が全くない。猫の手を借りたいほど、とても忙しい。もし余裕があれば、手伝うよ。)

{共感}を冒頭の意味公式とする回答例

TF 50：อยากช่วยนะแก แต่อาทิตย์หน้าเรามีสอบอะดิ งั้นแปลให้หน้านึงละกัน

(和訳：手伝いたいんだけど、来週に試験がある。じゃあ、1 枚翻訳してあげるわ。)

{驚き}を冒頭の意味公式とする回答例

TF 49：หา อาทิตย์หน้าต้องสอบแล้ว งั้นกูช่วยแปล 2 บรรทัดละกัน

(和訳：{驚き}(hăa)、来週に試験がある。では、内容を 2 行翻訳するね。)

{条件提示}を冒頭の意味公式とする回答例

TM 45：แปลให้หมดคงไม่ไหว งั้นขอสัก 2 หน้าละกัน วันอาทิตย์หน้ามีสอบด้วยสิ โทษที

(和訳：全部翻訳するのは無理だけど、2 ページならできるよ。
来週に試験もある。ごめんね。)

{理解}を冒頭の意味公式とする回答例

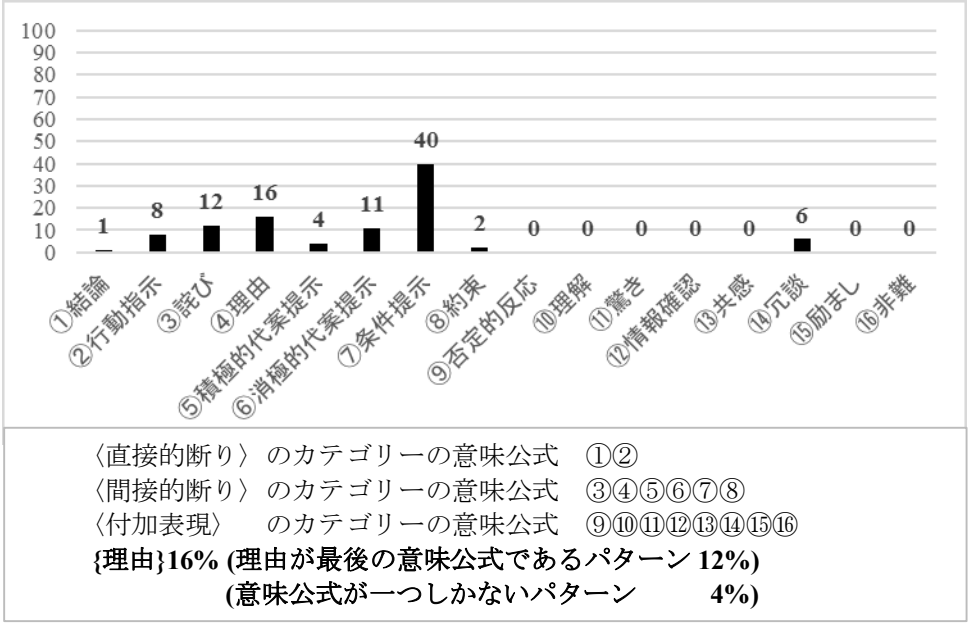
TM 8：*เหรอมึง พอดีกูมีสอบว่ะ ต้องอ่านหนังสือ กูขอแปลหน้านึงนะ

(和訳：{理解}(rə̌ə mɯŋ)。でも、ちょうど試験がある。テスト勉強しなくちゃ。1 ページだけ翻訳してもいい？)

*เหรอ(rə̌ə 理解の間投詞)　มึง(mɯŋ　友人同士に対して使われる呼称詞)

5.5.2.4 場面 5：最後の意味公式(TT)

最後の意味公式は{結論}{行動指示}{詫び}{理由}{積極的代案提示}{消極的代案提示}{条件提示}{約束} {非難}が用いられており、全部で 9 種類の意味公式が見られた。



〈直接的断り〉 のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉 のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　 のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯
{理由}16% (理由が最後の意味公式であるパターン 12%)
(意味公式が一つしかないパターン　　4%)

図 52　TT: 場面 5(親・同等・重)の断りの最後の意味公式の出現率

TT が用いた最後の意味公式は⑦{条件提示}の出現率が突出している一方で(40%)、それ以外の意味公式の出現率は 1-16%に留まっている。特に、①{結論}⑧{約束}それぞれの出現率は 1-2%に過ぎない。出現率を見ると、TT が{条件提示}を使用する傾向が強いことが明らかになった。回答例は以下の通りである。

{結論}を最後の意味公式とする回答例

TF 41：ขอโทษทีนะ กูมีสอบอะ ต้องอ่านหนังสือ ช่วยไม่ได้จริงๆ

(和訳：ごめんね。試験がある。テスト勉強しなくちゃ。どうしても手伝えない。)

{行動指示}を最後の意味公式とする回答例

TM 13：ช่วงนี้ติดสอบอะ กูไม่ว่างจริงๆ แปลเองดิ

(和訳：試験があって、時間的に全く余裕がない。自分でやれ！)

{詫び}を最後の意味公式とする回答例

TF 34： คงไม่ได้อะ พอดีช่วงนี้ต้องอ่านหนังสือ โทษทีนะ

(和訳：無理だろう。ちょうどテスト勉強しなくちゃ。ごめんね。)

{理由}を最後の意味公式とする回答例

TM 30：โทษทีหวะ กูมีสอบเก็บคะแนน

(和訳：ごめんね。試験がある。)

{積極的代案提示}を最後の意味公式とする回答例

TM 28：กูก็ไม่ว่างเหมือนกัน อาทิตย์หน้ามีสอบกลางภาคละ เดี๋ยวกูจะลองถามคนอื่นให้ละกันนะ

(和訳：俺も時間的に余裕がないよ。来週、テストがある。では、他の人に聞いてみてあげるね。)

{消極的代案提示}を最後の意味公式とする回答例

TM 29：กูไม่ว่างอะ มึงเอาไปให้คนอื่นช่วยละกัน

(和訳：俺も時間的に余裕がないよ。別の人に頼んで。)

{条件提示}を最後の意味公式とする回答例

TM 44：โทษทีว่ะมึง กูมีสอบเหมือนกัน ยุ่งมาก เดี๋ยวกูให้ยืมทอล์คกิ้งดิกละกัน

(和訳：ごめん。俺も試験がある。とても忙しい。じゃあ、電子辞書を貸してあげるね。)

{約束}を最後の意味公式とする回答例

TF 20：อาทิตย์หน้ากูมีสอบ ต้องอ่านหนังสือ ไว้งานหน้ากูจะช่วยนะ

(和訳：来週に試験がある。テスト勉強しなくちゃ。今度手伝うよ。)

{冗談}を最後の意味公式とする回答例

TM 15： ช่วงนี้กูไม่ค่อยว่าง มีสอบอาทิตย์หน้าเหมือนกัน ขอแปลหน้าเดียวละกันนะ เลี้ยงข้าวกูด้วย

(和訳：最近は時間的に余裕があまりない。俺も来週に試験があるよ。じゃあ、1ページ翻訳してあげるね。できたら、ご飯をおごってくれ。)

フォローアップインタビューによると、「友達は人生の大切な人の一人である」と考える人が多いことが分かった。「友達だからこそ、互いに助け合うのは当たり前のことである」「友達から受けたものであればどんな依頼でも、都合が良ければ、できるだけ助けてあげる」「授業の課題を自分でするのは基本的なことであるが、友達が自分の能力で課題を達成できそうにない場合は、友達を手伝うべきである」「依頼を断ると、友達がレポートを提出できず、成績が悪くなるかもしれない」「手伝わない場合には友達のことが心配になり、落ち着かなくなるのがいやだ」と言う意見もあった。「それに、友達を手伝わないと、思いやりがないと言われたり、怒られたりする恐れがある」と答えた人もいる。したがって、どうしても手伝えない場合は、手伝いたい気持ちを表すために、「翻訳の代わりに翻訳したものをチェックする」「アドバイスする」「辞書を貸す」など、自分が手伝える別の方法を提示する方法を取る人もいる。

{理由}や{詫び}で発話を終了させる人の意見では、「{結論}や{行動指示}は良好な関係を損ねる言い方だと思ったので、できるだけ使用を控える」「手伝えない方法が提示できない場合は、{理由}を細かく説明するのは大事なことである」「{理由}を簡潔に述べると、断りの意志が十分に伝わらない」という。ほかにも、「依頼を断ると、人間関係が悪くなるかもしれないと不安を感じる」「良好な関係を維持するために、{詫び}で発話を終了させる」と言う意見もあった。

5.5.2.5 場面 5：まとめ(TT)

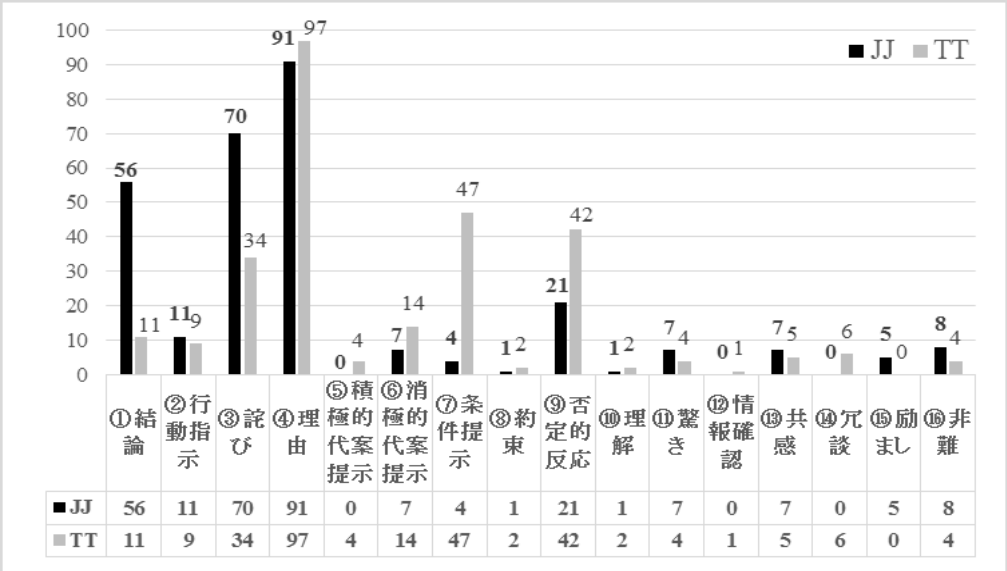
場面 5 の親しい同等からの重い依頼に対する断りの場面において、TT の使用した意味公式の傾向をまとめる。

(1) 意味公式の全体における出現率を見ると、出現率が 50%以上の意味公式は{理由}(97%)のみである。
(2) 意味公式の出現順序のパターンについては、{理由}+{条件提示}が最も多用されるパターンである。そして、{理由}が中間にあるパターンのうち、最も出現率が高い前半部は{否定的反応}+{理由}…で、後半部は…{理由}+{条件提示}である。
(3) 断りの冒頭の意味公式は、{否定的反応}の出現率が突出している。
(4) 断りの最後の意味公式、{条件提示}が多く使われている。

5.5.3 場面 5：日本語母語話者とタイ語母語話者の断りの意味公式の比較

本項では、場面 5(親・同等・重)での JJ と TT の断りにおける意味公式を比較する。

5.5.3.1 場面 5：JJ・TT の意味公式の出現率の比較 (JJ・TT)



〈直接的断り〉のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯

JJ{詫び}70%　(一回の詫び 65%、二回の詫び 5%)
TT{詫び}34%　(一回の詫び 33%、二回の詫び 1%)
JJ{理由}91%　(理由の内容 71%、理由の内容+付加説明 20%)
TT{理由}97%　(理由の内容 54%、理由の内容+付加説明 43%)
JJ{否定的反応}21%　(間投詞 21%、呼びかけ 0%)
TT{否定的反応}42%　(間投詞 18%、呼びかけ 24%)

図 53　JJ・TT: 場面 5(親・同等・重)の断りの意味公式の出現率

親しい友達からの重い依頼を断る場面において JJ の出現率が 50%以上の意味公式は、高い順に④{理由}(91%)（うち[理由の内容]が 71%、[理由の内容+付加説明]が 20%）、続いて③{詫び}(70%)、①{結論}(56%)という順になっている。一方、TT は④{理由}(97%)のみである。そのうち[理由の内容]が 54%、[理由の内容+付加説明]が 43%である。

JJ と TT の間に意味公式の出現率に有意差があるかどうかカイ二乗検定を用いて検定した結果、有意差が見られた ($\chi 2(14)=113.79$, $p<.05$)。残差分析を行ったところ、有意差が見られたのは JJ の{結論}(Z=3.66)、{詫び} (Z=3.66)、[理由の内容](Z=2.42)、{励まし} (Z=2.11)と、TT の[理由の内容+付加説明](Z=3.25)、{条件提示}(Z=6.47)、{否定的反応}(Z=2.98)、{冗談}(Z=2.51)である。

JJ と TT の意味公式使用の相違点を以下の 5 点にまとめる。

(1) JJ は{結論}を多用しているが、TT は使用を控えている。JJ の意見では、断りの時、誤解されないように手伝えるかどうかについて断りを明言することは重要であるという。しかし、TT の意見では、{結論}を述べるのは相手の気持ちを傷付けてしまう言い方であるという。また、{理由}を明確に説明すれば、手伝えないことが伝わると考える。{結論}以外の直接的断りとしては{行動指示}の使用が見られる。JJ と TT における出現率は同程度である(JJ 11%, TT 9%)。この 2 種類の意味公式の出現率を合わせると、JJ が 67%、 TT が 19%である。これらの結果から、JJ については直接的断りを用いる傾向が強いことが明らかになった。

(2) JJ は{詫び}の出現率が高い(70%)。しかし、TT の出現率は JJ の半分である。JJ は断りの前に、{詫び}を述べることが多い。JJ の意見では、「{詫び}は相手との良好な関係を維持したり、相手の気持ちを配慮したりする」ために用いるという。ほかにも、「相手に再依頼されたくないので{詫び}を述べることによって協力できないことを伝える」と考えた人もいる。ところが、TT の意見は、「{詫び}を述べることはすなわち距離を置くことであると感じる。依頼は相手に迷惑をかける行為で、{詫び}を述べるべき人は被依頼者ではなく依頼者であるため、{詫び}なくてもいいと思う」という意見が多かった。

(3) JJ と TT の共通点として、{理由}の出現率が高いという点が挙げられる。しかし、出現率を見ると、JJ は[理由の内容](71%)のほうが、[理由の内容+付加説明](20%)より、出現率が圧倒的に多い。一方、TT においては[理由の内容](54%)の出現率と[理由の内容+付加説明](43%)の出現率を比較しても大差ない。また、JJ と TT は理由の説明の内容が異なる点がある。理由を説明する場合、JJ は「テストがある」という理由を述べてから、「時間がない」「しっかり勉強しないと」という詳しい説明をする。一方、TT は理由の必然性を強調するために、説得力のある理由を細かく説明する傾向が見られる。例えば、「試験勉強しないと、きっと落ちる」「まだ試験勉強を始めていない」「点数が悪かったら困るよ」「読む内容が多くて、急がないと間に合わない」などである。

(4) JJ は{条件提示}の使用を控えているのに対して、TT は多く使用している。JJ の意見では、「どんな頼みごとでも、相手に迷惑をかけ、負担を感じさせる行為である」「友達は、いつも互いに助け合う関係性ではない。自分のことなら、他人に頼まず自分でやる。したがって、手伝えない場合は、自分ができる条件を提示する必要がない」という意見が多かった。しかし、TT の意見では、「互いに助け合うのは当たり前のことである」「友達を手伝わないと、思いやりがないと言われたり、怒られたりする恐れがある」と答えた人がいる。協力したい気持ちを表すため、{詫び}を言わずに、「翻訳の枚数を交渉する」「翻訳したものをチェックする」「電子辞書を貸す」のような自分が手伝える方法を提示する。

(5) TT は{冗談}を言う特徴がある。内容を見ると、「ごはんをおごってほしい」という冗談が多く見られる。「友達だから互いに助け合うのは当然なことである。しかし、翻訳のような重い依頼は、自分の時間と努力がかかる作業である。無料で手伝ってあげるのは大変でも、思いやりはお金で買えないので、友達から時給を頼むのはよくないことだと思う。時給の代わりに「ごはん」や「お酒」をおごってもらうことを頼む」「本当におごってもらいたい気持ちではなく、おごってもらったら、ありがたく感じる」という意見がある。一方、JJ の意見では、「翻訳の依頼は被依頼者の時間がかかる。アルバイトと同じように時給の支払いをしないと、失礼になると思った」という意見もあり、時給の支払いで手伝うのは JJ と TT の意見が違うことが明らかになった。ほかにも、以下の TT の回答例のように依頼された側が依頼した側になってしまう冗談も見られる。例えば、「俺にも分からない。自分でやってくれ。出来たら、教えてね。コピーするから。」である。

以上の意見から、両者の考え方の違いが、断り方に影響を与えているのではないかと考えられる。

5.5.3.2 場面 5：意味公式の出現順序のパターンの比較 (JJ・TT)

次に、JJ と TT の意味公式の出現順序のパターンを比較する。

表 43　JJ・TT: 場面 5(親・同等・重)の 意味公式の出現順序のパターン

{理由}が中間にあるパターン			
出現順序のパターンの前半部(JJ)	出現率	出現順序のパターンの前半部(TT)	出現率
*{詫び}+{理由}…	29%	**{否定的反応}+{理由}… ({否定的反応(呼)}+{理由}…) ({否定的反応(間)}+{理由}…)	27% (15%) (12%)
**{否定的反応}+{理由}… ({否定的反応(間)}+{理由}…)	12% (12%)	*{詫び}+{理由}…	9%
{詫び}+{共感}+{理由}…	3%	*****{結論}+{理由}…	6%
***{共感}+{理由}…	2%	***{共感}+{理由}…	4%
****{驚き}+{理由}…	2%	****{驚き}+{理由}…	3%
*****{結論}+{理由}…	1%	*******{否定的反応}+{詫び}+{理由}… ({否定的反応(呼)}+{詫び}+{理由}…) ({否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}…)	3% (2%) (1%)
{理解}+{理由}…	1%	{理解}+{理由}…	2%
{驚き}+{非難}+{理由}…	1%	******{否定的反応}+{非難}+{理由}… ({否定的反応(呼)}+{非難}+{理由}…)	2% (2%)
******{否定的反応}+{非難}+{理由}… ({否定的反応(間)}+{非難}+{理由}…)	1% (1%)	{条件提示}+{理由}…	1%
*******{否定的反応}+{詫び}+{理由}… ({否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}…)	1% (1%)	{驚き}+{詫び}+{理由}…	1%
{否定的反応}+{共感}+{理由}… ({否定的反応(間)}+{共感}+{理由}…)	1% (1%)	{共感}+{結論}+{理由}…	1%

{詫び}+{結論}+{理由}…	1%		
合計	**55%**	合計	**59%**
出現順序のパターンの後半部(JJ)	**出現率**	**出現順序のパターンの後半部(TT)**	**出現率**
…{理由}+{結論}*	21%	…{理由}+{条件提示}	25%
…{理由}+{詫び}**	10%	…{理由}+{消極的代案提示}****	7%
…{理由}+{結論}+{詫び}	8%	…{理由}+{詫び}**	7%
…{理由}+{行動指示}***	4%	…{理由}+{条件提示}+{冗談}	5%
…{理由}+{消極的代案提示}****	4%	…{理由}+{行動指示}***	4%
…{理由}+{結論}+{励まし}	3%	…{理由}+{積極的代案提示}	3%
…{理由}+{結論}+{条件提示}*****	2%	…{理由}+{消極的代案提示}+{詫び}	2%
…{理由}+{結論}+{消極的代案提示}	2%	…{理由}+{約束}	1%
…{理由}+{励まし}	1%	…{理由}+{詫び}+{条件提示}	2%
		…{理由}+{詫び}+{行動指示}	1%
		…{理由}+{結論}*	1%
		…{理由}+{結論}+{条件提示}*****	1%
合計	**55%**	合計	**59%**
{理由}が冒頭の意味公式であるパターン			
JJ	**出現率**	**TT**	**出現率**
{理由}+{結論}	6%	{理由}+{条件提示}	10%
{理由}+{結論}+{詫び}	6%	{理由}+{消極的代案提示}	4%
{理由}+{詫び}*	2%	{理由}+{詫び}*	2%
{理由}+{行動指示}**	1%	{理由}+{行動指示}**	2%
{理由}+{励まし}	1%	{理由}+{行動指示}+{冗談}	1%
{理由}+{結論}+{約束}	1%	{理由}+{結論}+{条件提示}+{詫び}	1%
{理由}+{結論}+{条件提示}	1%	{理由}+{積極的代案提示}	1%
{理由}+{結論}+{行動指示}	1%	{理由}+{約束}	1%
{理由}+{詫び}+{条件提示}	1%		
{理由}+{行動指示}+{非難}	1%		
合計	**21%**	合計	**22%**
{理由}が最後の意味公式であるパターン			
JJ	**出現率**	**TT**	**出現率**
*{詫び}+{理由}	10%	*{詫び}+{理由}	4%
**{否定的反応}+{詫び}+{理由} ({否定的反応(間)}+{詫び}+{理由})	3% (3%)	**{否定的反応}+{詫び}+{理由} ({否定的反応(呼)}+{詫び}+{理由}) ({否定的反応(間)}+{詫び}+{理由})	3% (2%) (1%)
{共感}+{理由}	2%	{否定的反応(間)}+{結論}+{理由} ({否定的反応}+{結論}+{理由})	1% (1%)
		{否定的反応}+{非難}+{理由} ({否定的反応(間)}+{非難}+{理由})	1% (1%)
		{否定的反応}+{情報確認}+{理由} ({否定的反応(呼)}+{情報確認}+{理由})	1% (1%)
		{否定的反応}+{理由} ({否定的反応(間)}+{理由})	1% (1%)

		{否定的反応}+{消極的代案提示} +{理由} ({否定的反応(呼)}+{消極的代案提示} +{理由})	1% (1%)
合計	**15%**	合計	**12%**
{理由}なしのパターン			
JJ	**出現率**	**TT**	**出現率**
{驚き}+{非難}	2%	{否定的反応}+{条件提示} ({否定的反応(呼)}+{条件提示}	1% (1%)
{驚き}+{非難}+{結論}	2%	{否定的反応}+{非難}+{行動指示} ({否定的反応(間)}+{非難}+{行動指示})	1% (1%)
{否定的反応}+{行動指示} ({否定的反応(間)}+{行動指示})	2% (2%)		
{否定的反応}+{行動指示}+{非難} ({否定的反応(間)}+{行動指示}+{非難})	1% (1%)		
{結論}+{消極的代案提示}	1%		
{詫び}+{行動指示}	1%		
合計	**9%**	合計	**2%**
意味公式が一つしかないパターン			
JJ	**出現率**	**TT**	**出現率**
なし		{理由}	4%
		{条件提示}	1%
合計	**0%**	合計	**5%**
総合計	**100%**	総合計	**100%**

まず、JJ における出現率の高い順に、{理由}が中間にあるパターンの出現率が 55%、続いて{理由}が冒頭の意味公式であるパターンの出現率が 21%、{理由}が最後の意味公式であるパターンの出現率が 15%、{理由}なしのパターンの出現率が 9%である。一方、TT は{理由}が中間にあるパターンの出現率が 59%、続いて、{理由}が冒頭の意味公式であるパターンの出現率が 22%、{理由}が最後の意味公式であるパターンの出現率 12%、意味公式が一つしかないパターンの出現率が 5%、{理由}なしのパターンの出現率が 2%である。

JJ と TT の意味公式の出現順序のパターンの相違点を以下の 3 点にまとめる。

(1) {理由}が中間にあるパターンのうち、各出現順序パターンの前半部を見ると、JJ は{詫び}+{理由}..の出現率が最も高い(29%)のに対して、TT は出現率がわずか 9%である。TT の出現率が最も高いパターンは{否定的反応} +{理由}…(27%)であるが、JJ にはわずか 12%である。

(2) 出現順序パターンの後半部について、JJ は…{理由}+{結論}の出現率が最も高い(21%)のに対して、TT はわずか 1%である。TT の出現率が最も高いパターンは…{理由}+{条件提示}25%であるが、JJ には全く見られなかった。

(3) JJ には、意味公式が一つしかないパターンが全く見られなかったのに対して、TT における出現率は 5%である。

5.5.3.3 場面 5：冒頭の意味公式の比較 (JJ・TT)

TT と JJ が用いた冒頭の意味公式の出現率を図 54 に示す。

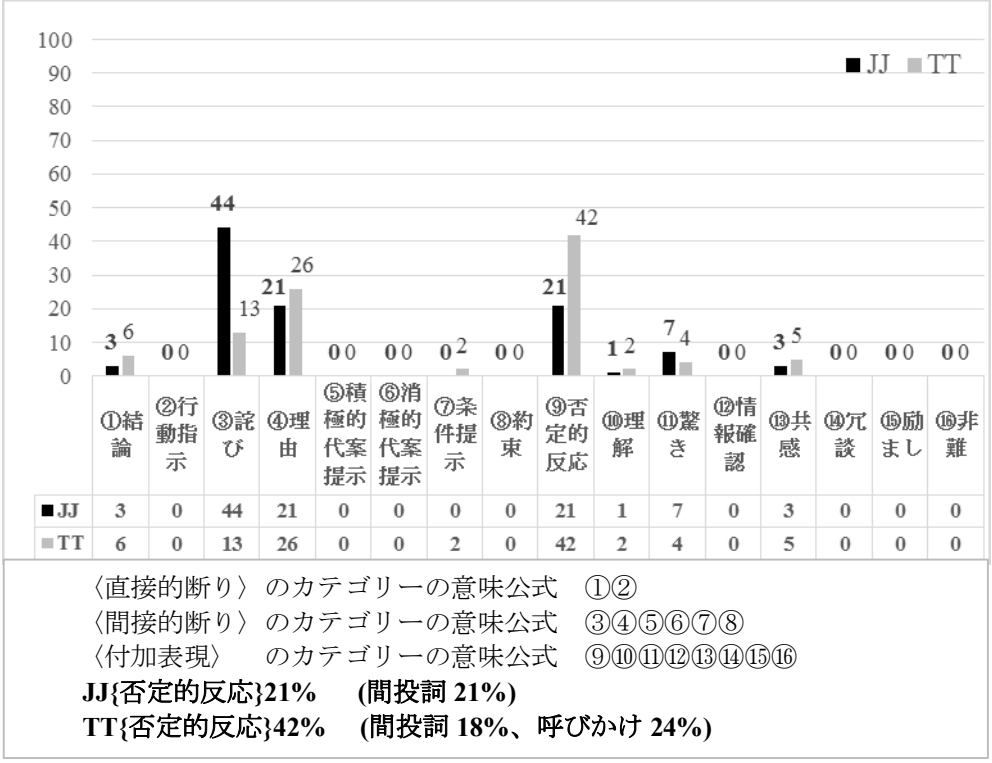


図 54 JJ・TT: 場面 5(親・同等・重)の断りの冒頭の意味公式の出現率

JJ が用いた冒頭の意味公式は、<間接的断り>のカテゴリーに分類される③{詫び}の出現率が最も高い(44%)。続いて、④{理由}と⑨{否定的反応}がそれぞれ 21%である。他の意味公式は出現率が 10%以下である。一方、TT は、<付加表現>のカテゴリーに分類される⑨{否定的反応}(42%)の出現率が最も高い。続いて<間接的断り>のカテゴリーに分類される④{理由}(26%)と、③{詫び}(13%)である。他の意味公式は出現率が 5%以下である。

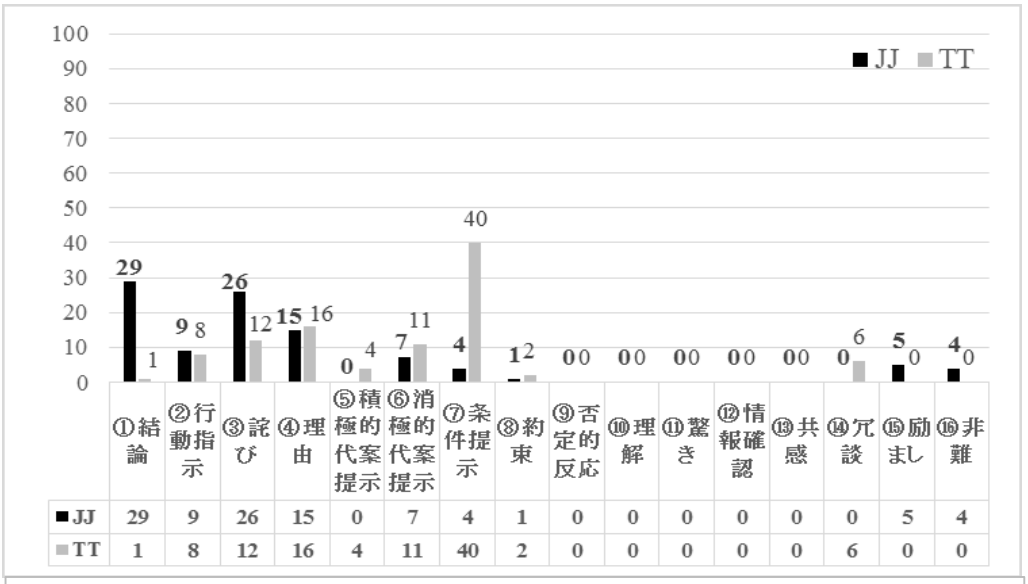
TT と JJ が用いた意味公式の使用の相違点を以下の 2 点にまとめる。

(1) JJ は{詫び}の出現率が最も高い(44%)のに対して、TT は出現率が 13%に過ぎない。

(2) JJ における{否定的反応}の出現率が 21%であるのに対して、TT においてはその出現率が最も高いものであり、JJ の 21%と比べると使用頻度が二倍程度である。

5.5.3.4 場面 5：最後の意味公式の比較 (JJ・TT)

次に、最後の意味公式を考察する。出現率を図 55 に示す。



	①結論	②行動指示	③詫び	④理由	⑤積極的代案提示	⑥消極的代案提示	⑦条件提示	⑧約束	⑨否定的反応	⑩理解	⑪驚き	⑫情報確認	⑬共感	⑭冗談	⑮励まし	⑯非難
JJ	29	9	26	15	0	7	4	1	0	0	0	0	0	0	5	4
TT	1	8	12	16	4	11	40	2	0	0	0	0	0	6	0	0

〈直接的断り〉のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯
JJ{理由}15%　(理由が最後の意味公式であるパターン 15%)
TT{理由}16%　(理由が最後の意味公式であるパターン 12%)
(意味公式が一つしかないパターン　4%)

図 55　JJ・TT: 場面 5(親・同等・重)の断りの最後の意味公式の出現率

JJ が用いた最後の意味公式は出現率の高い順に、①{結論}(29%)、続いて③{詫び}(26%)、④{理由}(15%)という順になっており、その他の意味公式は、出現率が低い。しかし、TT においては⑦{条件提示}の出現率が目立っている(40%)。それ以外の意味公式の出現率は 20%以下である。特に、①{結論}と⑧{約束}それぞれの出現率は 1-2%に過ぎない。出現率を見ると、TT が⑦{条件提示}を使用する傾向が強いことが明らかになった。

JJ と TT の相違点を以下の 4 点にまとめる。

(1)JJ で最も出現率が高いのは{結論}であるが、TT はわずか 1%である。

(2)TT は{条件提示}の使用が目立っているが、JJ はわずか 4%である。

(3){非難}{励まし}は JJ にしか、{冗談}は TT にしか見られなかった。

(4)JJ は{詫び}の出現率が二番目に高く(26%)、TT の二倍程度使用している。

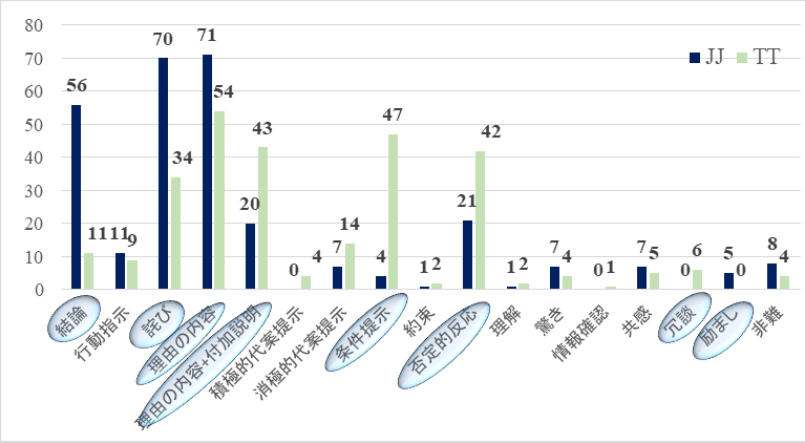
出現率を見ると、JJ は{結論}の出現率が非常に高い。JJ の意見を聞いたところ、「{結論}を明示しないと、手伝いに行けるかどうかはっきりせず、相手に誤解されてしまう恐れがある」と思ったそうである。また、「断りを明言しないと、会話が長く続き、相手に手伝うことを再依頼されるかもしれない」と言う意見もある。一方、{結論}で発話を終了させるのは、「相手の気

持ちを傷付けてしまう言い方」だと思った TT は少なくない。「{結論}を明言すると、相手に思いやりがないと批判されてしまう恐れがある」という。以上の理由から、TT においては{結論}の使用を控え、{条件提示}{理由}{詫び}を多用する傾向が見られた。

反対に、TT においては{条件提示}の出現率が目立っている。TT の意見では「友達だからこそ、互いに助け合うのは当たり前のことである。依頼に応じられなくても、相手の気持ちを配慮することを表明するために、自分ができる条件を提示するべきである」という。しかし、JJ の意見では、「自分のことなら、自分でやるべきである。どんな頼みごとでも、相手に迷惑をかけ、負担を感じさせる行為である。依頼者が被依頼者に迷惑をかける側なので、{条件提示}をする必要がない」ということである。

5.5.3.5 場面 5：JJ と TT が用いた意味公式の使用のまとめ

意味公式の出現率

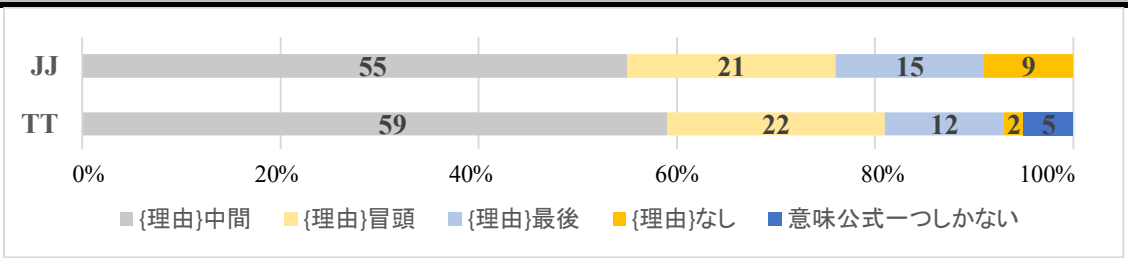


カイ二乗検定を用いて検定した結果、有意差が見られた ($\chi 2(14)=113.79, p<.05$)。

残差分析を行ったところ、有意差が見られたのは
JJ の{結論}(Z=3.66)
{詫び} (Z=3.66)
[理由の内容](Z=2.42)
{励まし} (Z=2.11)

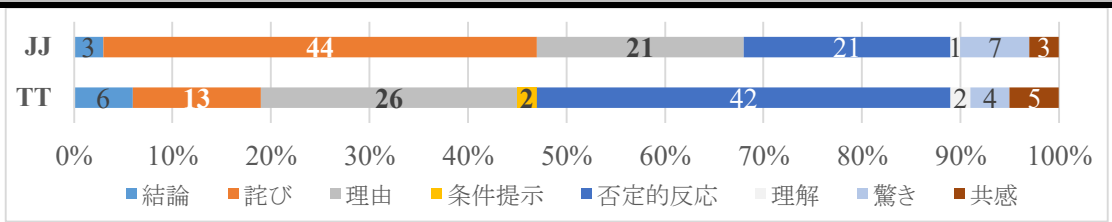
TT の[理由の内容+付加説明] (Z=3.25)
{条件提示}(Z=6.47)
{否定的反応}(Z=2.98)
{冗談}(Z=2.51)

意味公式の出現順序のパターン



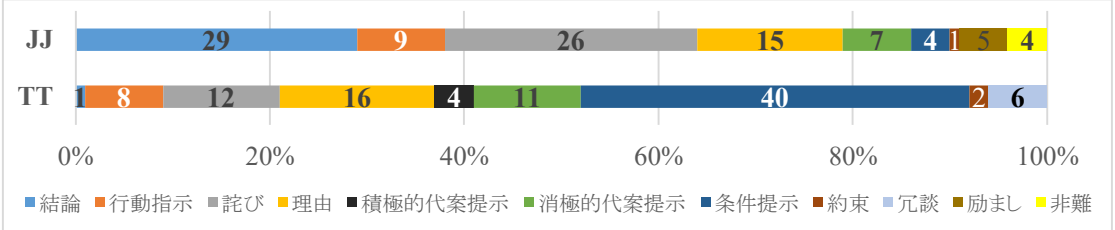
(1) **JJ と TT ともに、**{理由}が中間にあるパターンを使う傾向が見られる。その他のパターンは出現率がほぼ同程度である。しかし、意味公式一つしかないパターンは、**TT** にしか見られなかった。
(2) 出現順序のパターンの前半部について、**JJ** は{詫び}+{理由}…、**TT** は{否定的反応} +{理由}…の出現率が最も高い。
(4)出現順序のパターンの後半部について、**JJ** は…{理由}+{結論}、**TT** は…{理由}+{条件提示}の出現率が最も高い。

冒頭の意味公式



JJ は{詫び}(44%)を使う強い傾向が見られる。次点で、{理由}と{否定的反応}(それぞれ 21%)である。
TT は{否定的反応}(42%)を使う強い傾向が見られる。次点で、{理由}(26%){詫び}(13%)である。

最後の意味公式



JJ は{結論}(29%)と{詫び}(26%)の 2 つの意味公式を使用する傾向が見られる。

TT は{条件提示}(40%)を使用する傾向が見られる。

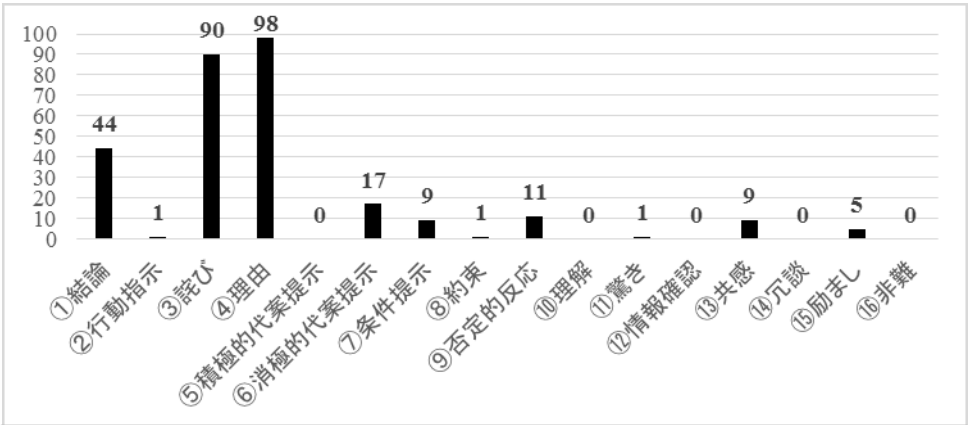
5.6 場面 6：親しくない同等からの重い依頼

本節では、場面 6 において JJ と TT が用いた意味公式の出現率のデータを基に考察する。JJ 向けの場面には「親しくない同級生にいっしょに 3,4 枚ぐらいの英語の文章を日本語に翻訳する」依頼の場面を設定した。TT 向けの場面には「親しくない同級生にいっしょに 3,4 枚ぐらいの英語の文章をタイ語に翻訳する」依頼の場面を設定した。

5.6.1 場面 6: 日本語母語話者の使用した意味公式

5.6.1.1 場面 6：意味公式の出現率(JJ)

まず、意味公式の出現率を考察する。JJ が用いた意味公式の出現率を図 56 に示す。



〈直接的断り〉のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯
JJ{詫び}90% (**一回の詫び 74%、二回の詫び 16%**)
JJ{理由}98% (**理由の内容 54%、理由の内容+付加説明 44%**)

図 56　JJ: 場面 6(疎・同等・重)の断りの意味公式の出現率

親しくない同等からの重い依頼を断る場面において、出現率が 50%以上の意味公式は、高い順に④{理由}(98%)、続いて③{詫び}(90%)である。

以下、分類したカテゴリーに従って個々の意味公式について具体的な説明を加える。<直接的断り>のカテゴリーに分類される①{結論}については、言語形式の違いにより JJ の{結論}の言い方は 6 つのパターンに分類される。

(1)イ・ナ形容詞(+終助詞)

用いられた表現：「難しい」「無理」「難しいですね」「無理やわ」

JF 37：すいません、テスト前なので、難しいですね。ごめん。

(2)動詞の可能形の否定形(+終助詞)

用いられた表現：「できない」「でけへん」「できひんわ」「でけへんわ」「行けません」
「力になれません」「手伝うことができません」「手伝えません」
「応じられない」「協力できません」「お役に立てず」

JM 30：ごめんなさい、来週のテストは大変だ。依頼に応じられないです。

JM 26：ごめん、僕も中間テストあるから、できひんわ。ほんまごめんな！！

(3)動詞の可能形の否定形/イ・ナ形容詞+モダリティ形式

用いられた表現：「無理そうです」「協力できそうにないです」「協力できないかも」

JF 32：すみません、来週テストがあります。協力できそうにないです。

(4) 副詞+動詞の可能形の否定形/イ・ナ形容詞 (+終助詞)

用いられた表現：「ちょっと難しい」「ちょっとできない」「ちょっと手伝えない」
「ちょっときついわ」「ちょっと難しいかなあ」

JM 6：ごめんなさい。来週テストがあって、翻訳はちょっとできないです。すみません。

JF 24：すみません、今時間がないので、ちょっと手伝えないです。

(5)断りの意味を表す動詞

用いられた表現：「お断りします」

JM 46：すみませんが、今は忙しいので、お断りします。

(6)言いさし

用いられた表現：「名詞+はちょっと」

JM 3：それはすごく手伝いたいんですけど、来週にテストがあって、
その勉強で今いっぱいいっぱいで、今回はちょっと、ごめんなさい。

{結論}以外にも、<直接的断り>である②{行動指示}の出現率が 1%に過ぎない。回答例は以下の通りである。

JM 3： すみません、私もテストが迫ってて、困る。自分で頑張ってね。

次に<間接的断り>のカテゴリーにおける出現率が二番目に高い③{詫び}の出現率は 90%、そのうち一回の詫びが 74%、二回の詫びが 16%である。標準語以外にも関西弁の使用が多く見られる。詫びの表現としては「ごめんなさい」「ごめん」「ごめんね」「本当にごめんね」「すいません」「すみません」「すまんけど」が使われている。回答例は以下の通りである。

一回の詫び

JM 3： すみません。中間テストがあります。

JF 33：ごめんね、来週テストがあるから、ちょっとできないなあ。

二回の詫び

JM 28：ごめん、来週テストがあって、その勉強したいから、手伝われへんわ。ごめんな。

JF 44：すみません、私はテストが控えてて、時間取れそうにないです。ごめんなさい。

続いて、最も出現率が高い意味公式、④{理由}の出現率は 98%で、そのうち[理由の内容]が 54%、[理由の内容+付加説明]が 44%である。回答例は以下の通りである。

[理由の内容]

JM 32：すみません。僕も忙しいんだ。

JM 41：すみません、時間ないので、手伝うことができません。

JF 18：すいません、自分も中間テストがあるので、他の人にお願いします。

JF 29：ごめんなさい、テスト前なので、ちょっと難しいです。別の人に頼んでくれませんか。

[理由の内容+付加説明]

JM 37：すみません、私もテストが迫ってて、困る。自分で頑張ってね。

JM 47：えっと、ごめん。来週、中間あるから、勉強せんといけんのよ。

(勉強しないといけないんだよ)

JF 8： すみません、私も中間テストで、ギリギリで。

JF 20： ごめんなさい。テストがひどいです。手伝う時間がないです。

少しチェックならいいけど。

⑥{消極的代案}⑦{条件提示}⑧{約束}について、⑥{消極的代案提示}の出現率は 17%、⑦{条件提示}は 9%、⑧{約束}は 1%である。回答例は以下の通りである。

{消極的代案提示}

JM16：すみません。私も中間テストがあるので、時間がないんです。

別の人に頼んでください。

JM23：ごめん、来週中間テストがあります。他の人を当たってみて。

JF1： すみません、その時期は中間テストの勉強があるので、

別の人に頼んでくれると嬉しいです。

JF29：ごめんなさい、テスト前なので、ちょっと難しいです。別の人に頼んでくれませんか。

{条件提示}：回答に見られた{条件提示}は依頼の内容を変更する条件と、過去の条件に分類される。

依頼の内容を変更する条件：翻訳の依頼に応じず、「翻訳もののチェック」「助言」など自分ができる別の条件を提示する。

JM 2：ごめんなさい。来週テストがあるので、手伝う時間がなさそうです。
もし何かできなかったことがあったら、言ってください。

JF38：時間がないから、できない。もしまず自分で訳したら、後でチェックはできるよ。

JF39：中間試験の勉強があるから、ごめんね。分からないところは聞いてくれたら、
できるかぎり協力するから。

時間的余裕の仮定

JF　22：わー、ごめんなさい。中間が思ったより大変で、勉強しなくちゃいけないので、
○日以降ならいいんですけど。

{約束}

JM 42：ごめんね、実は、来週中間テストがあって、全然勉強できてないからやばいんだ。
今度テストがない時に、できる限り協力するね。

<付加表現>のカテゴリーについては、最も出現率が高い順に⑨{否定的反応}(11%)、⑬{共感}(9%)、⑪{驚き}(1%)である。回答例に用いられた表現は以下の通りである。

{否定的反応}

用いられた表現：「ああ」「いや」「うーん」「うわー」「えっと」「わー」「んー」

回答例　JM12　ああ、来週テストやから、そんな時間無いわ。
JM39　うーん、来週テストがあるから、手伝うことができない。本当にごめんね。
JF 19　うわー、ごめん。私も中間あるから、やばいねん。ごめん。頑張って。
(やばいんだ)

{驚き}：用いられた表現は「へえ」のみである。

JF7：　へえ、私もテストがあって、ごめんなさい。

{共感}

JM9：　んー、手伝いたいのは山々やねんけど。中間の勉強せなあかんし、でけへんわ。
ごめん。

JM35：ごめんなさい。協力して力になりたいですが、来週の中間テストの勉強をしなければならないので、できません。

JM45：いや、ほんまにごめん。めっちゃ手伝ってあげたい気持ちは山々やけど、俺もテスト勉強あるから、ちょっと厳しいわ。

JF 34：手伝いたいんやけど、試験勉強せなあかんのよねー。

(試験勉強しないといけないんだよね)

最後に、⑮{励まし}の出現率は 5%である。回答例は以下の通りである。

{励まし}

JM4：ごめんなさい。俺もテストがあるので、一緒に頑張ろう。

JM11：すみません。私も中間テストがあります。一緒に頑張りましょう。

JF 48：ごめんなさい、私もテストが迫ってて、勉強しなくちゃいけないのよ。互いに頑張ろう！

5.6.1.2 場面 6：意味公式の出現順序のパターン(JJ)

続いて、意味公式の出現順序のパターンを考察する。回答 に見られた意味公式の出現順序のパターンを表 44 に示す。

表 44　JJ: 場面 6(疎・同等・重)の 意味公式の出現順序のパターン

冒頭の意味公式	{理由}が中間にあるパターン	出現率
{詫び}	{詫び}+{理由}+{結論}	22%
	{詫び}+{理由}+{消極的代案提示}	12%
	{詫び}+{理由}+{条件提示}	6%
	{詫び}+{理由}+{詫び}	6%
	{詫び}+{理由}+{結論}+{詫び}	6%
	{詫び}+{理由}+{励まし}	4%
	{詫び}+{理由}+{結論}+{消極的代案提示}	3%
	{詫び}+{理由}+{行動指示}	1%
	{詫び}+{理由}+{約束}	1%
	{詫び}+{理由}+{消極的代案提示}+{詫び}	1%
	{詫び}+{共感}+{理由}+{結論}	1%
	小計	**63%**
{否定的反応}	{否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}+{結論}+{詫び}	2%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{結論}	1%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{結論}+{詫び}	1%
	{否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}+{条件提示}	1%
	{否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}+{詫び}+{励まし}	1%
	{否定的反応(間)}+{詫び}+{共感}+{理由}+{結論}	1%

	{否定的反応(間)}+{共感}+{理由}+{結論}+{詫び}	1%
	小計	**8%**
{共感}	{共感}+{理由}+{詫び}	1%
	{共感}+{理由}+{結論}+{詫び}	1%
	小計	**2%**
{驚き}	{驚き}+{理由}+{詫び}	1%
	小計	**1%**
合計		**74%**
冒頭の意味公式	**{理由}が冒頭の意味公式であるパターン**	**出現率**
{理由}	{理由}+{結論}	2%
	{理由}+{結論}+{詫び}	2%
	{理由}+{結論}+{条件提示}	1%
	{理由}+{消極的代案提示}	1%
	{理由}+{詫び}	1%
	{理由}+{詫び}+{条件提示}	1%
合計		**8%**
冒頭の意味公式	**{理由}が最後の意味公式であるパターン**	**出現率**
{詫び}	{詫び}+{理由}	9%
	小計	**9%**
{否定的反応}	{否定的反応(間)}+{理由}	1%
	{否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}	1%
	{否定的反応(間)}+{結論}+{詫び}+{理由}	1%
	小計	**3%**
{共感}	{共感}+{理由}	2%
	小計	**2%**
{詫び}	{詫び}+{共感}+{理由}	1%
	小計	**1%**
合計		**15%**
冒頭の意味公式	**{理由}なしのパターン**	**出現率**
{共感}	{共感}+{結論}	1%
	小計	**1%**
{詫び}	{詫び}+{消極的代案提示}	1%
	小計	**1%**
合計		**2%**
冒頭の意味公式	**意味公式が一つしかないパターン**	**出現率**
{理由}	{理由}	1%
合計		**1%**
総合計		**100%**

意味公式の出現順序のパターンは、全部で 36 パターンに分類される。{理由}が中間にあるパターンは 21 パターンで、出現率が 74%、{理由}が最後の意味公式であるパターンは 6 パターンで、出現率が 15%、{理由}が冒頭の意味公式であるパターンは 6 パターンで、出現率が 8%、意味公式が一つしかないパターンは 1 パターンで、出現率が 1%である。

意味公式の出現パターンのうち、最も出現率の高い上位 2 位のパターンは{詫び}+{理由} +{結論}(22%)、続いて{詫び}+{消極的代案提示}(12%)である。回答例は以下の通りである。

{詫び}+{理由}+{結論}

JF 46：すみません、テスト勉強で忙しいので、手伝えそうにないです。

{詫び}+{理由}+{消極的代案提示}

JM 36：ごめんなさい。僕も中間テストがあって、忙しいんだ。他を当たってくれない？。

続いて、{理由}が中間にあるパターンについて、出現順序のパターンの前半部と後半部を表 45 に示す。

表 45　JJ: 場面 6(疎・同等・重)の 意味公式の出現順序のパターンの前半部と後半部

出現順序のパターンの前半部	出現率	出現順序のパターンの後半部	出現率
{詫び}+{理由}…	62%	…{理由}+{結論}	25%
{否定的反応}+{詫び}+{理由}… {否定的反応}(間)}+{詫び}+{理由}…	4% (4%)	…{理由}+{消極的代案提示}	12%
{共感}+{理由}…	2%	…{理由}+{結論}+{詫び}	11%
{否定的反応}+{理由}… {否定的反応(間)}+{理由}…	2% (2%)	…{理由}+{詫び}	8%
{否定的反応}+{詫び}+{共感}+{理由}… {否定的反応(間)}+{詫び}+{共感}+{理由}…	1% (1%)	…{理由}+{条件提示}	7%
{否定的反応}+{共感}+{理由}… {否定的反応(間)}+{共感}+{理由}…	1% (1%)	…{理由}+{励まし}	4%
{詫び}+{共感}+{理由}…	1%	…{理由}+{結論}+{消極的代案提示}	3%
{驚き}+{理由}…	1%	…{理由}+{消極的代案提示}+{詫び}	1%
		…{理由}+{約束}	1%
		…{理由}+{詫び}+{励まし}	1%
		…{理由}+{行動指示}	1%
合計	**74%**		**74%**

前半部においては{詫び}+{理由}…(62%)の出現率が突出している。後半部は...{理由}+{結論}(25%)である。一方、{励まし}{行動指示}{約束}を含んだパターンの出現率は低い。回答例は以下の通りである。

{詫び}+{理由}…

JF47：すみません、試験勉強で余裕がないので、他の人にお願いしてください。

…{理由}+{結論}

JF 45：すみません、時間ないので、ちょっとできません。

5.6.1.3 場面 6：冒頭の意味公式(JJ)

次に、冒頭の意味公式を考察する。冒頭に見られた意味公式は{詫び}{理由}{否定的反応}{驚き}{共感}が用いられており、全部で 5 種類の意味公式が見られた。出現率を図 57 に示す。

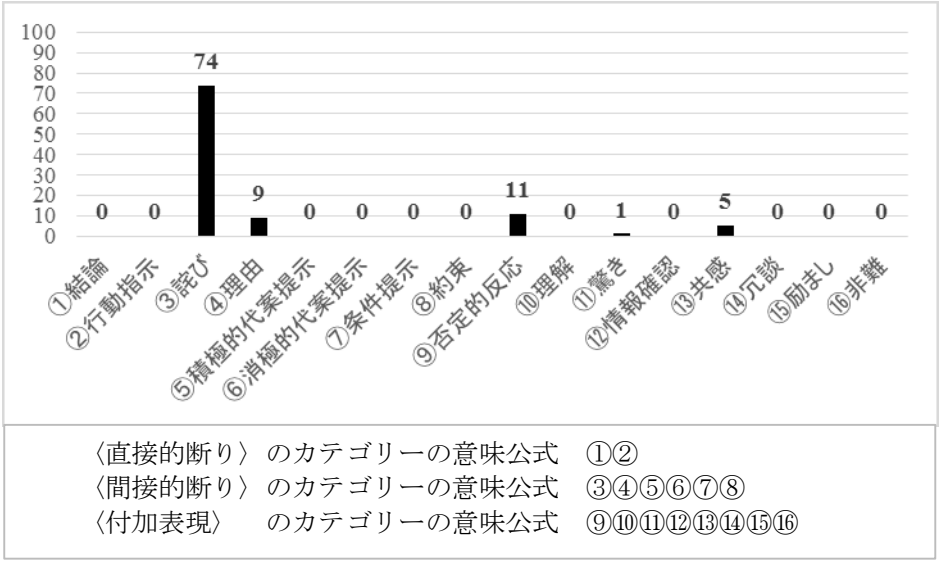


図 57 JJ: 場面 6(疎・同等・重)の断りの冒頭の意味公式の出現率

JJ が用いた冒頭の意味公式は<間接的断り>のカテゴリーに分類される③{詫び}(74%)の出現率が突出している。次に、⑨{否定的反応}(11%)と④{理由}(9%)はそれぞれ 1 割ぐらいである。一方、⑪{驚き}⑬{共感}は断りの冒頭の意味公式としてほとんど使われないことが明らかになった。以下は回答例である。

{詫び}を冒頭の意味公式とする回答例

JM 1：すいません。テストがあるので、難しいんだ。他の人に当たってくれる？

JF 26：ごめんなさい、来週テストがあるので、できないです。

{否定的反応}を冒頭の意味公式とする回答例

JM 22：うーん、来週テスト勉強しないから、難しいかな。

JF 6： ああ、ごめんなさい、ちょっと今週忙しいんです。時間とれそうになくて、
手伝えません。ごめんなさい。

{理由}を冒頭の意味公式とする回答例

JM 25：中間テストの勉強があるから、できないな。

JF 16：テスト前で、余裕ないから、無理そうです。ごめんなさい。

{共感}を冒頭の意味公式とする回答例

JM 5： ほんまに行きたい気持ちでいっぱいですが、でけへん。

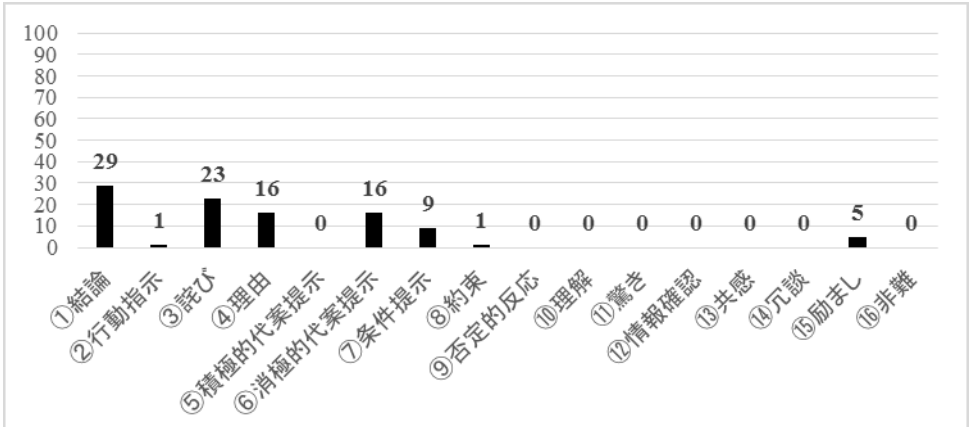
JF 50：すごく協力したいんやけど、来週テストがあって、試験勉強で余裕なさそうです。

{驚き}を冒頭の意味公式とする回答例

JF 7：へえ、私もテストがあって、ごめんなさい。

5.6.1.4 場面 6：最後の意味公式(JJ)

最後の意味公式は{結論}{行動指示}{詫び}{理由}{消極的代案提示}{条件提示}{約束}{励まし}が用いられており、全部で 8 種類の意味公式が見られた。出現率を図 58 に示す。



〈直接的断り〉のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯
{理由}16% (理由が最後の意味公式であるパターン 15%)
(意味公式が一つしかないパターン　　1%)

図 58　JJ: 場面 6(疎・同等・重)の断りの最後の意味公式の出現率

JJ が用いた最後の意味公式は出現率の高い順に①{結論}(29%)、③{詫び}(23%)、続いて④{理由}と⑥{消極的代案提示} (それぞれ 16%)である。他の意味公式の出現率は 10%以下である。結果から、JJ は{結論}{詫び}の 2 つの意味公式を使用する傾向が見られる。回答例は以下の通りである。

{結論}を最後の意味公式とする回答例

JM 30：ごめんなさい、来週のテストは大変だ。依頼に応じられないです。

{行動指示}を最後の意味公式とする回答例

JM 3： すみません、私もテストが迫ってて、困る。自分で頑張ってね。

{詫び}を最後の意味公式とする回答例

JM 28：ごめん、来週テストがあって、その勉強したいから、手伝われへんわ。ごめんな。

{理由}を最後の意味公式とする回答例

JM 32：すみません。僕も忙しいんだ。

{消極的代案提示}を最後の意味公式とする回答例

JF29：ごめんなさい、テスト前なので、ちょっと難しいです。別の人に頼んでくれませんか。

{条件提示}を最後の意味公式とする回答例

JF38：時間がないから、できない。もしまず自分で訳したら、後でチェックはできるよ。

{約束}を最後の意味公式とする回答例

JM 42：ごめんね、実は、来週中間テストがあって、全然勉強できてないからやばいんだ。
今度テストがない時に、できる限り協力するね。

{励まし}を最後の意味公式とする回答例

JM4：ごめんなさい。俺もテストがあるので、一緒に頑張ろう。

フォローアップインタビューによると、{結論}で発話を終了させる人は、「相手に誤解されないようにするためである」という。そして、{詫び}{消極的代案提示}を最後に述べる人の意見では、「相手との良好な関係を保つためである」という。

5.6.1.5 場面 6：まとめ

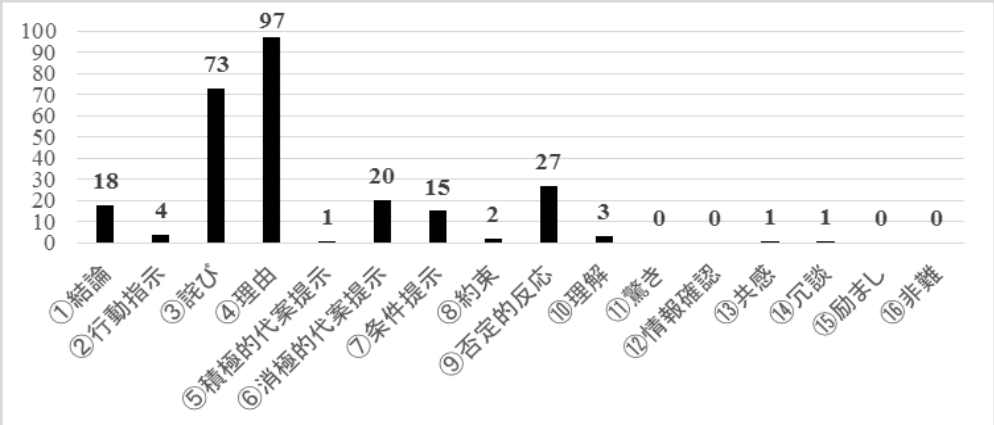
場面 6 の親しくない同等からの重い依頼に対する断りの場面において、JJ の使用した意味公式の傾向をまとめる。

(1) 意味公式の全体における出現率のうち、出現率が 50%以上の意味公式は、高い順に{理由}(98%)、{詫び} (90%)、{結論}(92%)である。
(2) 意味公式の出現順序のパターンについては、最も出現率が高い前半部は{詫び}+{理由}…である。後半部は…{理由}+{結論}である。
(3) 断りの冒頭の意味公式は、{詫び}の出現率が突出している。
(4) 断りの最後の意味公式は、JJ は{結論}{詫び}の 2 つの意味公式を使用する傾向が見られる。

5.6.2 場面 6:タイ語母語話者の使用した意味公式

5.6.2.1 場面 6：意味公式の出現率(TT)

まず、意味公式の出現率を考察する。出現率を図 59 に示す。



〈直接的断り〉のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯
TT{詫び}73%　　(一回の詫び 60%、二回の詫び 13%)
TT{理由}97%　　(理由の内容 55%、理由の内容+付加説明 42%)
TT{否定的反応}27%　(間投詞 21%、呼びかけ 5%、間投詞+呼びかけ 1%)

図 59　TT: 場面 6(疎・同等・軽)の断りの意味公式の出現率

親しくない同等からの重い依頼を断る場面において、出現率が 50%以上の意味公式は、高い順に④{理由}(97%)、次に③{詫び}(73%)である。2 つの意味公式は<間接的断り>のカテゴリーに分類される。

以下、個々の意味公式について具体的な説明を加える。<直接的断り>のカテゴリーに分類される①{結論}の出現率が 18%であり、JJ の 44%と比べると使用がかなり少ない。言語形式の違いにより TT の{結論}の言い方は非断定的表現と断定的表現に分類される。

非断定的表現：動詞の前に、モダリティ形式「คง (khoŋ)」(だろう)が付加される。

TF 31：ขอโทษนะแก พอดีเราติดสอบกลางภาค *คงช่วยไม่ได้จริงๆ ขอโทษด้วยนะ
(和訳：悪いけど、ちょうど試験がある。どうしても手伝えないだろう。ごめんなさい。)

*คง(khoŋ だろう)、ช่วย(chûai 手伝う)、 ไม่ได้(mâi dâi 不可能を表す否定詞)
จริงๆ(ciŋ ciŋ どうしても(強調詞)

TM 46：แก พอดีอาทิตย์หน้าเค้ามีสอบพอดี *คงช่วยไม่ได้อะ แกลองแปลเองก่อนนะ
ถ้าประโยคไหนแปลไม่ได้จริงๆเดี๋ยวช่วย
(和訳：[呼びかけ](kɛɛ)、私、来週ちょうど試験がある。手伝えないだろう。とりあえず、自分で翻訳してみて。翻訳できない文章があれば、翻訳を手伝ってあげるよ)
*คง(khoŋ だろう)、ช่วย(chûai 手伝う)、ไม่ได้(mâi dâi 不可能を表す否定詞)
อะ(ʔa 文末詞)

断定的表現：動詞に不可能を表す否定詞「...ไม่ได้」 (...mâi dâi) (することができない) が付加される。さらに、動詞が省略され、否定形「ไม่ได้ (mâi dâi)」(無理だ)のみ用いられる場合もある。

TM 15：เอ่อ ยากจังเลย *เราก็แปลไม่ได้ ขอโทษนะ
(和訳：{否定的反応}(ʔɔ̀ɔ)、難しいな。僕も英語の翻訳できないよ。ごめんね。)
*เรา(raw 私)、ก็(kɔ̂ɔ も)、แปล(plɛɛ 翻訳する) 、ไม่ได้(mâi dâi 不可能を表す否定詞)

TM 43：เอ่อคือ *ไม่ได้หวะเพื่อน กูมีสอบ ขอโทษด้วย
(和訳：{否定的反応}(ʔɔ̀ɔ khɯɯ)、無理だな。試験がある。ごめんね。)
*ไม่ได้(mâi dâi 不可能を表す否定詞)、หวะ(文末詞)、เพื่อน(phûan 友達(呼称詞))

ほかにも、TT が「ไม่สะดวก (mâi sadùak)」(都合が悪い)を多く使っている。
TF 11：เอ่อ อาทิตย์หน้าเราก็มีสอบเก็บคะแนน ขอโทษจริงๆ *เราไม่สะดวกเลย ขอโทษนะ
(和訳：{否定的反応}(ʔɔ̀ɔ)、来週試験がある。本当にすみません。どうしても都合が悪い。ごめんなさい。)
*เรา(raw 私)、ไม่(mâi 否定詞)、สะดวก (sadùak 都合がいい)、 เลย(lɔ̀ɔi どうしても、全然(強調詞))

くわえて、断りの意味を表す動詞「ปฏิเสธ(patìsèet)」(断る)の使用も見られる。
TM 6：ขอโทษนะ คือเราไม่ค่อยว่างอะ อาทิตย์หน้ามีสอบ กลัวสอบไม่ผ่านอะ *ขอปฏิเสธละกันนะ
(和訳：ごめん、実は時間的に余裕があまりない。来週テストがある。
不合格になったら、困るよ。依頼を断らせてるね。)
*ขอ(khɔ̌ɔ ～させてください)、ปฏิเสธ(patìsèet 断る)
ละกันนะ(lá kan ná そうしましょう)

②{行動指示}の出現率は 4%に過ぎない。回答例は以下の通りである。

TM 13：โทษทีนะ เราเองก็ไม่ค่อยเข้าใจเหมือนกัน ลองทำด้วยตนเองละกัน

(和訳：ごめん、僕も分からない。自分でやってみて。)

TF 29：ลองแปลเองนะ เราก็ไม่ค่อยรู้ภาษาอังกฤษ

(和訳：自分で翻訳してみてね。私も英語があまりできない。)

次に＜間接的断り＞のカテゴリーに分類される③{詫び}の出現率は 73%で、そのうち一回の詫びが 60%、二回の詫びが 13%である。詫びの表現として「เราขอโทษ」(rao khɔ̌ɔthôot)「เราขอโทษนะ」(rao khɔ̌ɔthôot ná)「ขอโทษด้วย」(khɔ̌ɔthôot dûai)「ขอโทษด้วยนะ」(khɔ̌ɔthôot dûai ná)「ขอโทษด้วยจริงๆ」(khɔ̌ɔthôot dûai ciŋ ciŋ)「ขอโทษที」(khɔ̌ɔthôot thii)「ขอโทษนะ」(khɔ̌ɔthôot ná)「โทษที」(thôot thii)「โทษทีนะ」(thôot thii ná)「โทษทีหวะ」(thôot thii wà)「ซอรี่นะ」(sɔɔrîi ná)が使われている。また、詫びの言葉の後に、同等に対して使われる呼称詞「แก(kɛɛ)」「เธอ(thəə)」「เพื่อน(phûan)」が付く場合もある。例えば、「ขอโทษนะเพื่อน」(khɔ̌ɔthôot ná phûan)「โทษทีนะแก」(thôot thii ná kɛɛ) である。ほかにも、文末丁寧詞「ครับ/คะ」(khráp/ khá)」が付加される場合がある。例えば、「ขอโทษนะครับ」(khɔ̌ɔthôot ná khráp)

* เรา(raw同等に対して使われる一人称代名詞)、ขอโทษ(khɔ̌ɔthôot) ขอโทษด้วย (khɔ̌ɔthôot dûai) ขอโทษที(khɔ̌ɔthôot thii) โทษ(thôot) โทษที(khɔ̌ɔthôot thii) ซอรี่(sɔɔrîi) (詫びの言葉) 、นะ(ná 文末詞)、หวะ/ว่ะ(wà 親しい同等に対して使われる文末詞)、มึง(mɯŋ 親しい同等に対して使われる呼称詞)

一回の詫び

TM 32：โทษทีนะ เราไม่ค่อยเก่งเท่าไหร่ ลองหาคนอื่นช่วยดูดิ

(和訳：ごめんね。僕は英語が得意じゃないの。別の方に当たってみて。)

TF24：โทษทีหวะแก ช่วงนี้ไม่ว่างจริงๆ

(和訳：ごめん、最近は時間的に余裕が全くない。)

二回の詫び

TM 36：โทษทีหวะแก นี่ก็มีสอบอาทิตย์หน้าอะ ยังไม่ได้อ่านเลย โทษทีนะ

(和訳：ごめん、僕は来週試験がある。まだ勉強を読み始めていない。ごめんね。)

TF6：เราขอโทษ เราไม่ว่างเลย อาทิตย์หน้าเรามีสอบอะ ขอโทษจริงๆ

(和訳：ごめんなさい、時間的に余裕が全くない。来週テストがあるよ。本当にごめん。)

④{理由}の出現率は 97%、そのうち[理由の内容]が 55%、[理由の内容+付加説明]が 42%であ

る。回答例は以下の通りである。

[理由の内容]

TM 20：ขอโทษนะ ไม่ว่างจริงๆอะ ลองให้คนอื่นดูนะ

(和訳：ごめんね。時間的に余裕が全くない。別の人に頼んでみて。)

TF 50：พอดีอาทิตย์หน้าเรามีสอบอะ เธอให้คนอื่นช่วยเถอะ

(和訳：来週、ちょうど試験がある。他の人に当たって。)

[理由の内容+付加説明]

TM 12： อาทิตย์หน้ามีสอบ เนื้อหายากมาก

(和訳：来週、難しいテストがある。)

TM 26：คือตอนนี้เราค้างงานเยอะอะ ต้องขอทำก่อนนะ

(和訳：実は、まだできていない宿題がたくさんあるんだ。そっちをやらせて。)

TM 31： อาทิตย์หน้ามีสอบ ต้องอ่านหนังสือ ซอรี่นะ

(和訳：来週、テストがある。勉強しないと。ごめんね。)

TM 35：โทษทีวะแก อาทิตย์หน้าเรามีสอบเก็บคะแนนอะ คะแนนครั้งก่อนไม่ค่อยดีด้วย ขอโทษนะ

(和訳：ごめん、来週テストもあるし、前回のテストの成績も悪かったし。ごめんね。)

TM 39：เอ่อ อาทิตย์หน้าเรามีสอบเหมือนกันอ่า แล้วเราก็ยังไม่ได้อ่านหนังสือเลย ขอโทษด้วยนะ

(和訳：{否定的反応}(ʔə̀ə)、僕も来週テストがあるよ。まだ、勉強していない。ごめんね。)

TF 8：ขอโทษนะ เราไม่ว่าง ต้องทำงานส่งอาจารย์พรุ่งนี้อะ

(和訳：ごめん、時間的に余裕がない。明日提出の宿題をしないといけなくて。)

TF 9：โทษทีนะ ช่วงนี้เราไม่ค่อยว่างเลยอะ การบ้านเราเยอะมากๆ ขอโทษนะ

(和訳：ごめん、最近時間的に余裕があまりない。宿題がたくさんある。ごめんね。)

TF 23：เอ่อคือว่า เรามีสอบเก็บคะแนน ขอเราอ่านหนังสือดีกว่า

(和訳：{否定的反応}(ʔə̀ə khɯɯ wâa)、試験がある。そっちをやらせて。)

回答例を見ると、TT が「時間がない」「テスト勉強しないといけない」「宿題がたくさんある」という理由が多く見受けられる。さらに、相手に「試験勉強を始めていない」「点数が悪

かった」などのような説得力のある理由を付け加えて、自分の時間を取られたくないことを強調する回答も見られる。最後に「自分の勉強をやらせて」で、発話を終了させる場合もある。

⑤{積極的代案提示}⑥{消極的代案提示}⑦{条件提示}⑧{約束}について、⑧{積極的代案提示}の出現率は 1%、⑥{消極的代案提示}は 20%、⑦{条件提示}15%、⑧{約束}2%である。回答例は以下の通りである。

{積極的代案提示}

TM 28：ขอโทษนะครับ เดี๋ยวผมจะลองหาคนช่วยนะครับ

(和訳：ごめんなさい。とりあえず、私が手伝えそうな人を探してみるね。)

{消極的代案提示}

TM 24：มีสอบด้วย ต้องอ่านหนังสือ หาคนอื่นแทนละกันเนาะ โทษที

(和訳：テストがある。勉強しなくちゃ。他の人に当たって。ごめん。)

TF 2：โทษที อาทิตย์หน้าเรามีสอบเก็บคะแนนกลางภาคอะ เราต้องอ่านหนังสือ ให้คนอื่นช่วยไปก่อนได้มั้ย

(和訳：ごめん、来週中間テストがあって、勉強しないと。別の人に頼んでくれる？)

{条件提示}：回答に見られた{条件提示}は依頼の内容を変更する条件と、時間的余裕の仮定に分類される。。

依頼の内容を変更する条件：翻訳の依頼に応じず、「翻訳もののチェック」「助言」など自分ができる別の条件を提示する。

TM 8：เอ่อ เราก็ต้องสอบเก็บคะแนนเหมือนกันอะ คงไม่มีเวลา ลองทำเองก่อน แล้วค่อยถามเราในไลน์ละกันนะ

(和訳：{否定的反応}(ʔəə)、私も試験がある。時間がないだろう。とりあえず、自分で翻訳してみて。後で Line で僕にに聞いてくれてもいいよ。)

TM 10：อาทิตย์หน้ามีสอบอะ ยังไม่ได้อ่านเลย โทษทีนะ แต่ถ้าอันไหนไม่เข้าใจ มาถามเราได้นะ

(和訳：来週テストがあるけど、まだ勉強をはじめていない。ごめんね。分からないことがあれば、僕に聞いてくれてもいいよ。)

TM 30：ขอโทษนะ เรามีสอบอะ ลองทำเองไปก่อนนะ ถ้าไม่ได้ตรงไหนทักเราทางเฟตบุคละกัน

(和訳：ごめん、試験がある。とりあえず、自分でやってみて。できないところがあれば、Facebook で聞いてくれてもいいよ。)

TM 50：แก ตอนนี้เค้าไม่ว่างอะ ลองหาคำศัพท์ดูก่อน เดี๋ยวช่วยดูให้อีกที

(和訳：[呼びかけ](kɛɛ)、今は時間がない。先に単語の意味を調べておいて。
後で僕がチェックしてあげる。)

TF 4：เค้าขอโทษนะ ช่วงนี้เค้าไม่ค่อยว่างเลย ลองแปลเองก่อน ถ้าไม่ได้ ส่งไลน์ทิ้งไว้ เดี๋ยวเค้าจะตอบไปนะ

(和訳：ごめん、最近時間的に余裕があまりない。とりあえず、自分でやってみて。翻訳ができないところがあれば、Line でメッセージを送ってくれる？余裕があったら、後で答えてあげるよ。)

TF 34：คงไม่ได้อะ เพราะช่วงนี้ติดสอบเก็บคะแนน ต้องทบทวนบทเรียน เดี๋ยวเราให้เบอร์ไว้ ถ้าไม่ได้จริงๆ ติดต่อมาถามได้ตลอดนะ

(和訳：無理だろう。テストがあるので、勉強しなくちゃ。じゃあ、私が電話番号を教えるので、翻訳ができないところがあれば、いつでも連絡してもいいよ。)

TF 46：ขอโทษนะแก เราต้องเตรียมตัวสอบอะ แต่ถ้าแกมีอะไรอยากถาม ก็ทักไลน์มาถามได้ตลอดเลยนะ

(和訳：ごめん、テスト勉強しなくちゃ。もし聞きたいことがあれば、私に Line でいつでも連絡してもいいよ。)

時間的余裕の仮定

TM 48：พอดีว่าตอนนี้ยังไม่ว่างอะแก ต้องทบทวนบทเรียน ถ้าอ่านเสร็จเดี๋ยวไปช่วยแปลทีหลังได้มั้ย

(和訳：今、ちょうど時間がないよ。テスト勉強しなくちゃ。
勉強が終わってから、手伝ってもいいかな？。)

回答例を見ると、TT が様々な手伝い方を提示する傾向が見られることが分かった。また、TT は親しくない相手にでも電話番号、Line、Facebook のような個人の連絡先を教えるという特徴が見られた。

{約束}

TM 33：โทษที อาทิตย์หน้าเรามีสอบ ไว้ครั้งหน้านะ

(和訳：ごめん、来週試験がある。また、次の機会に手伝うよ。)

TF 25：ขอโทษด้วยนะ ต้องอ่านหนังสือเตรียมสอบอะ ไว้ครั้งหน้าละกันนะ

(和訳：ごめんね。テスト勉強しなくちゃ。また、次の機会に手伝うよ。)

最後に<付加表現>のカテゴリーについては、最も出現率が高い順に⑨{否定的反応}27%、このうち、[間投詞]が 22%、[呼びかけ]が 5%である。⑩{理解}3%、⑬{共感}と⑭{冗談}それぞれ 1%である。回答例は以下の通りである。

{否定的反応}

用いられた表現：間投詞「เอ่อ」(ʔəə̀) 、「เอ่อคือ」(ʔəə̀ khɯɯ) 、「เอ่อคือว่า」(ʔəə̀ khɯɯ wâa)

TF 30：เอ่อ ขอโทษนะ อาทิตย์หน้ามีสอบ ต้องอ่านหนังสือ คงไม่สะดวก ขอโทษด้วยนะ

(和訳：{否定的反応}(ʔəə̀)、ごめん。来週試験がある。テスト勉強しなくちゃ。都合が悪いだろう。ごめんね。)

TF 23：เอ่อคือว่า เรามีสอบเก็บคะแนน ขอเราอ่านหนังสือดีกว่า

(和訳：{否定的反応}(ʔəə̀ khɯɯ wâa)、試験がある。そっちをやらせて。)

用いられた表現：呼称詞「แก」(kɛɛ 同等に対して使われる呼称詞)

TF13：แก พอดีเราไม่ว่างอะ ถามคนอื่นก่อนได้ไหมอะ

(和訳：[呼びかけ](kɛɛ)、ちょうど時間的に余裕がない。先に他の人に聞いてくれる？)

用いられた表現：呼びかけの間投詞 เฮ้ย/เห้ย (hə́əi)

TF43：เห้ย ไม่ว่างอะ เราต้องรีบทำการบ้าน เราขอโทษนะ

(和訳：[間投詞](hə́əi)、時間がない。急いで宿題をしないと。ごめんね。)

用いられた表現：間投詞+呼びかけ「เอ่อ แก」(ʔəə̀ kɛɛ)

TM37：เอ่อแก..ขอโทษทีนะ ช่วงนี้เราไม่มีเวลาเลย ต้องรีบสรุปก่อนสอบ ลองไปถามอาจารย์ก่อนก็ดีนะ

(和訳：{否定的反応}(ʔəə̀ kɛɛ)、ごめん。最近、時間があまりなくて、しっかり勉強しないと。とりあえず、先生に聞いてみたら、どう？)

{理解}

用いられた表現：間投詞「อ่อ」(ʔɔ̀ɔ)、「งั้นเหรอ」(ŋán rə̌ə)

TM19：อ่อ...ลองทำเองดูก่อน เรายังไม่ได้ทำเลย

(和訳：{理解}(ʔɔ̀ɔ)、自分でやってみてね。僕の課題もまだできていない。)

TF10：งั้นเหรอ เราอยากช่วยนะ แต่เราก็มีงานของเรา โทษทีนะ

(和訳：{理解}(ŋán rə̌ə)、手伝いたいんだけど、自分も宿題がある。ごめん。)

{共感}

TF10：งั้นเหรอ เราอยากช่วยนะ แต่เราก็มีงานของเรา โทษทีนะ

(和訳：{理解}(ŋán rə̌ə) 、手伝いたいんだけど、自分も宿題がある。ごめん。)

{冗談}

TM 3：เดี๋ยวๆเรารู้จักกันหรอ ล้อเล่น เอ่อ.. เราไม่ค่อยว่างอะ ทำเองละกันนะ

(和訳：君、知り合いだったっけ？冗談だよ。{否定的反応}(ʔə̀ə)、俺は時間的に余裕があまりない。自分で頑張ってね。)

5.6.2.2 場面 6：意味公式の出現順序のパターン(TT)

続いて、意味公式の出現順序のパターンを考察する。回答 に見られた意味公式の出現順序のパターンを表 46 に示す。

表 46 TT: 場面 6(疎・同等・重)の 意味公式の出現順序のパターン

冒頭の意味公式	{理由}が中間にあるパターン	出現率
	{詫び}+{理由}+{消極的代案提示}	8%
	{詫び}+{理由}+{詫び}	7%
	{詫び}+{理由}+{結論}	3%
	{詫び}+{理由}+{条件提示}	3%
	{詫び}+{理由}+{約束}	2%
	{詫び}+{理由}+{結論}+{詫び}	2%
	{詫び}+{理由}+{消極的代案提示}+{結論}+{詫び}	1%
	{詫び}+{理由}+{結論}+{条件提示}	1%
	{詫び}+{理由}+{行動指示}	1%
	小計	**28%**
{否定的反応}	{否定的反応(間)}+{理由}+{詫び}	4%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{結論}+{詫び}	4%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{詫び}+{消極的代案提示}	1%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{詫び}+{結論}+{詫び}	1%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{条件提示}	1%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{消極的代案提示}	1%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{詫び}+{条件提示}	1%
	{否定的反応(間)}+{結論}+{理由}+{詫び}	1%
	{否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}+{詫び}	1%
	{否定的反応(間)+(呼)}+{詫び}+{理由}+{消極的代案提示}	1%
	{否定的反応(呼)}+{理由}+{条件提示}	1%
	{否定的反応(呼)}+{理由}+{消極的代案提示}	1%
	{否定的反応(呼)}+{理由}+{詫び}	1%
	{否定的反応(呼)}+{理由}+{結論}+{条件提示}	1%
	{否定的反応(呼)}+{詫び}+{理由}+{詫び}	1%
	小計	**21%**

{理解}	{理解}+{共感}+{理由}+{詫び}	1%
	小計	**1%**
{結論}	{結論}+{理由}+{条件提示}	1%
	小計	**1%**
{冗談}	{冗談}+{否定的反応(間)}+{理由}+{行動指示}	1%
	小計	**1%**
合計		**52%**
冒頭の意味公式	**{理由}が冒頭の意味公式であるパターン**	**出現率**
{理由}	{理由}+{詫び}	12%
	{理由}+{消極的代案提示}+{詫び}	5%
	{理由}+{条件提示}	3%
	{理由}+{詫び}+{消極的代案提示}	2%
	{理由}+{結論}+{条件提示}	1%
	{理由}+{消極的代案提示}	1%
	{理由}+{詫び}+{条件提示}	1%
合計		**25%**
冒頭の意味公式	**{理由}が最後の意味公式であるパターン**	**出現率**
{詫び}	{詫び}+{理由}	9%
	小計	**9%**
{否定的反応}	{否定的反応(間)}+{理由}	4%
	小計	**4%**
{理解}	{理解}+{行動指示}+{理由}	1%
	{理解}+{詫び}+{理由}	1%
	小計	**2%**
{行動指示}	{行動指示}+{理由}	1%
	小計	**1%**
{結論}	{結論}+{理由}	1%
	小計	**1%**
合計		**17%**
冒頭の意味公式	**{理由}なしのパターン**	**出現率**
{否定的反応}	{否定的反応(間)}+{結論}+{詫び}	1%
	小計	**1%**
{詫び}	{詫び}+{積極的代案提示}	1%
	小計	**1%**
合計		**2%**
冒頭の意味公式	**意味公式が一つしかないパターン**	**出現率**
{理由}	{理由}	3%
	小計	**3%**
{条件提示}	{条件提示}	1%
	小計	**1%**
合計		**4%**
総合計		**100%**

意味公式の出現順序のパターンは、全部で 44 パターンに分類される。{理由}が中間にあるパターンは 27 パターンで、出現率が 52%、{理由}が冒頭の意味公式であるパターンは 7 パターン

で、出現率が 25%、{理由}が最後の意味公式であるパターンは 6 パターンで、出現率が 17%、意味公式が一つしかないパターンは 2 パターンで、出現率が 4%、最後に、{理由}なしのパターンは 2 パターンで、出現率が 2%である。

意味公式の出現順序のパターンのうち、最も出現率の高い上位 2 位のパターンは{理由} +{詫び}(12%)、続いて{詫び}+{理由}(9%)である。全体的な傾向を見ると、同じ意味公式で出現順序の異なるパターンがいくつかあり、バリエーションが豊富であることが分かった。回答例は以下の通りである。

{理由}+{詫び}

TF 47：ช่วงนี้ไม่ว่างเลย มีสอบอาทิตย์หน้า ขอโทษนะ

(和訳：最近、時間的に余裕が全くない。来週テストがある。ごめんね。)

{詫び}+{理由}

TM 10：โทษทีนะ พอดีเราไม่มีเวลาพอ เนื่องจากเราใกล้สอบแล้วอะ

(和訳：ごめん、ちょうど時間的に余裕がない。試験期間が近づいているから。)

続いて、{理由}が中間にあるパターンについて、出現順序のパターンの前半部と後半部を表 47 に示す。

表 47　TT: 場面 6(疎・同等・重)の 意味公式の出現順序のパターンの前半部と後半部

出現順序のパターンの前半部	出現率	出現順序のパターンの後半部	出現率
{詫び}+{理由}…	28%	…{理由}+{詫び}	16%
{否定的反応}+{理由}… ({否定的反応(間)}+{理由}…) ({否定的反応(呼)}+{理由}…)	17% (13%) (4%)	…{理由}+{消極的代案提示}	11%
{否定的反応}+{詫び}+{理由}… ({否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}…) ({否定的反応(呼)}+{詫び}+{理由}…)	3% (2%) (1%)	…{理由}+{条件提示}	6%
{否定的反応}+{結論}+{理由}… ({否定的反応(間)}+{結論}+{理由}…)	1% (1%)	…{理由}+{結論}+{詫び}	5%
{結論}+{理由}…	1%	…{理由}+{結論}	3%
{理解}+{共感}+{理由}…	1%	…{理由}+{結論}+{条件提示}	2%
{冗談}+{否定的反応(間)}+{理由}…	1%	…{理由}+{詫び}+{条件提示}	2%
		…{理由}+{詫び}+{結論}+{詫び}	2%
		…{理由}+{約束}	2%
		…{理由}+{行動指示}	2%
		…{理由}+{消極的代案提示}+{結論}+{詫び}	1%
合計	**52%**	**合計**	**52%**

最も出現率の高い上位 2 位の前半部は{詫び}+{理由}…(28%)、続いて、{否定的反応}+{理由}…(13%)である。そして、最も出現率の高い上位 2 位の後半部は...{理由}+{詫び}(16%)、続いて...{理由}+{消極的代案提示}(11%)である。他のパターンは出現率が 10%以下である。一方、{行動指示}{約束}を含んだパターンの出現率は低い(5%以下)。回答例は以下の通りである。

{詫び}+{理由}…

TF 36：ขอโทษนะ เราไม่มีเวลา ลองไปหาคนอื่นดูนะ

(和訳：ごめん、時間がない。他の人に聞いてみて。)

{否定的反応}+{理由}…

TM 42：เอ่อ..พอดีเราไม่ว่างอะ ให้คนอื่นช่วยเถอะ

(和訳：{否定的反応}(ʔəə)、ちょうど時間がない。別に人に頼んでみて。)

…{理由}+{詫び}

TF 37：เอ่อ พอดีว่าวันอาทิตย์หน้าเราสอบมิดเทอมแล้วอะ ขอโทษนะ

(和訳：{否定的反応}(ʔəə)、ちょうど来週に試験がある。ごめんね。)

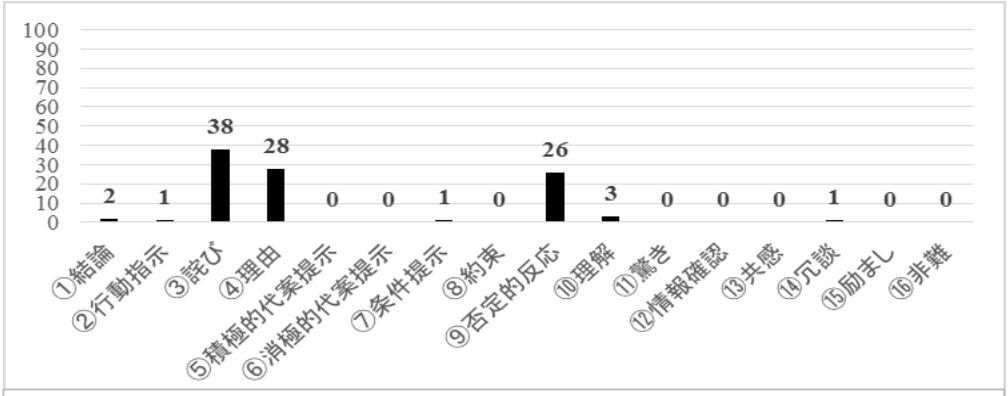
…{理由}+{消極的代案提示}

TM 47：ขอโทษนะแก คือเราไม่ว่าง ต้องอ่านหนังสือ แกไปให้คนอื่นช่วยแปลก่อนก็ได้นะ

(和訳：すみません、実は時間がない。テスト勉強しなくちゃ。別の人に頼んで。)

5.6.2.3 場面 6：冒頭の意味公式(TT)

次に、冒頭の意味公式を考察する。冒頭に見られた意味公式は{結論}{行動指示}{詫び}{理由}{条件提示}{否定的反応}{理解}{冗談}が用いられており、全部で 8 種類の意味公式が見られた。出現率を図 60 に示す。



〈直接的断り〉 のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉 のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯
TT{否定的反応}26%　(間投詞 20%、呼びかけ 5%、間投詞+呼びかけ 1%)

図 60　TT: 場面 6(疎・目上・重)の断りの冒頭の意味公式の出現率

TT が用いた冒頭の意味公式の出現率が高いのは③{詫び}(38%)、続いて④{理由}(28%)、⑨{否定的反応}(26%)という順である。他の意味公式は出現率が低い。このうち{詫び}と{理由}は<間接的断り>、{否定的反応}は<付加表現>のカテゴリーに分類される。それ以外の意味公式は出現率は 5%以下であり、断りの冒頭の意味公式としてはほとんど使われないことが明らかになった。以下は本調査に見られた回答例である。

{詫び}を冒頭の意味公式とする回答例

TF 38：ขอโทษนะ อาทิตย์หน้าติดสอบพอดี ต้องอ่านหนังสืออะ ขอโทษทีนะ

(和訳：ごめんなさい。来週、ちょうどテストがある。勉強しなくちゃ。ごめんね。)

{理由}を冒頭の意味公式とする回答例

TM 13：ไม่ว่างอะ ขอโทษด้วยนะ

(和訳：忙しい。ごめんね。)

{否定的反応(間)}を冒頭の意味公式とする回答例

TF 16：เอ่อ ช่วงนี้เราต้องอ่านหนังสือสอบนะ ไม่ว่างจริงๆ ขอโทษด้วย

(和訳：{否定的反応}(ʔəə)、テスト勉強しなくちゃいけなくて。時間的に余裕が全くない。ごめんなさい。)

{否定的反応(呼)}を冒頭の意味公式とする回答例

TF 13：*แก พอดีเราไม่ว่างอะ ถามคนอื่นก่อนได้ไหมอะ

(和訳：[呼びかけ](kɛɛ)、ちょうど時間的に余裕がない。先に別の人に聞いてもらえない？)

*แก (kɛɛ 同等に対して使われる二人称名詞)

{否定的反応(間)+(呼)}を冒頭の意味公式とする回答例

TM37：เอ่อแก..ขอโทษทีนะ ช่วงนี้เราไม่มีเวลาเลย ต้องรีบสรุปก่อนสอบ ลองไปถามอาจารย์ก่อนก็ดีนะ

(和訳：{否定的反応}(ʔəə kɛɛ)、ごめん。最近、時間があまりなくて、しっかり勉強しないと。とりあえず、先生に聞いてみたら、どう？)

{理解}を冒頭の意味公式とする回答例

TM 19：อ่อ...ลองทำเองดูก่อน เรายังไม่ได้ทำเลย

(和訳：{理解}(ʔɔɔ)、自分でやって。僕の課題もまだできていないんだ。)

{結論}を冒頭の意味公式とする回答例

TM 5：คงไม่สะดวกอะแก เราต้องอ่านหนังสือ จะสอบอาทิตย์หน้าละ

(和訳：都合が悪いかも。テスト勉強しなくちゃ。来週、テストがある。)

{条件提示}を冒頭の意味公式とする回答例

TM 9：นายลองทำเองดูก่อน ถ้าถูกผิดเดี๋ยวเราบอก

(和訳：とりあえず、自分でやってみて。その後でチェックしてあげる。)

{行動指示}を冒頭の意味公式とする回答例

TF 29：ลองแปลเองนะ เราก็ไม่ค่อยรู้ภาษาอังกฤษ

(和訳：自分で翻訳してみてね。私も英語が得意じゃないの。)

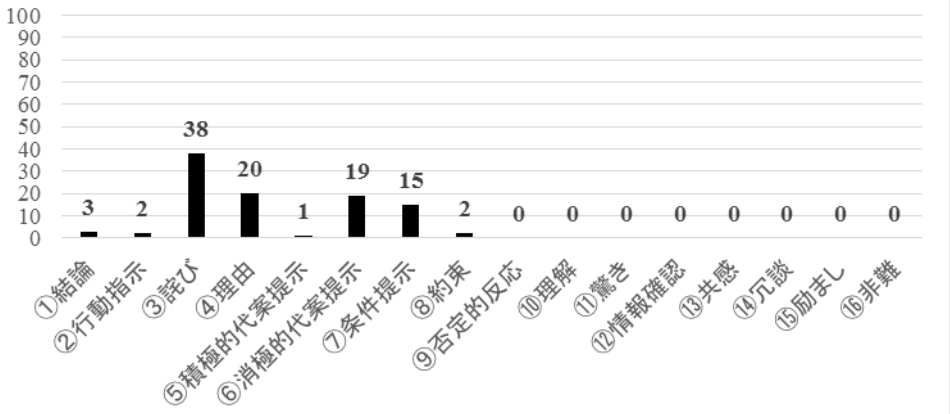
{冗談}を冒頭の意味公式とする回答例

TM 3：เดี๋ยวๆเรารู้จักกันหรอ ล้อเล่น เอ่อ.. เราไม่ค่อยว่างอะ ทำเองละกันนะ

(和訳：君、知り合いだったっけ？冗談だよ。{否定的反応}(ʔəə)、俺は時間的に余裕があまりない。自分で頑張ってね。)

5.6.2.4 場面 6：最後の意味公式(TT)

次に、最後の意味公式を考察する。最後の意味公式は{結論}{行動指示}{詫び}{理由}{積極的代案提示}{消極的代案提示}{条件提示}{約束}が用いられており、全部で 8 種類の意味公式が見られた。出現率を図 61 に示す。



〈直接的断り〉 のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉 のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　 のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯
{理由}20% (理由が最後の意味公式であるパターン 17%)
(意味公式が一つしかないパターン　　3%)

図 61　TT: 場面 6(疎・同等・重)の断りの最後の意味公式の出現率

TT が用いた最後の意味公式は出現率の高い順に③{詫び}(38%)、続いて④{理由}(20%)、⑥{消極的代案提示}(19%)、⑦{条件提示}(15%)である。それ以外の意味公式の出現率が 10%以下である。出現率を見ると、TT が<間接的断り>のカテゴリーに分類される意味公式を使用する傾向が強いことが明らかになった。回答例は以下の通りである。

{結論}を最後の意味公式とする回答例

TM 6：ขอโทษนะ อาทิตย์หน้ามีสอบ กลัวสอบไม่ผ่านอะ *ขอปฏิเสธละกันนะ

(和訳：ごめん、来週テストがある。不合格になったら、困るよ。依頼を断らせてね。)

{行動指示}を最後の意味公式とする回答例

TM 13：โทษทีนะ เราเองก็ไม่ค่อยเข้าใจเหมือนกัน ลองทำด้วยตนเองละกัน

(和訳：ごめん、僕も分からない。自分でやってみて。)

{詫び}を最後の意味公式とする回答例

TF 31：ขอโทษนะแก พอดีเราติดสอบกลางภาค คงช่วยไม่ได้จริงๆ ขอโทษด้วยนะ

(和訳：悪いけど、ちょうど試験がある。どうしても手伝えないだろう。ごめんなさい。)

{理由}を最後の意味公式とする回答例

TM 12：อาทิตย์หน้ามีสอบ เนื้อหายากมาก

(和訳：来週、難しいテストがある。)

{積極的代案提示}を最後の意味公式とする回答例

TM 28：ขอโทษนะครับ เดี๋ยวผมจะลองหาคนช่วยนะครับ

(和訳：ごめんなさい。とりあえず、私が手伝えそうな人を探してみるね。)

{消極的代案提示}を最後の意味公式とする回答例

TF 2：โทษที อาทิตย์หน้าเรามีสอบเก็บคะแนนกลางภาคอะ เราต้องอ่านหนังสือ ให้คนอื่นช่วยไปก่อนได้มั้ย

(和訳：ごめん、来週中間テストがあって、勉強しないと。別の人に頼んでくれる？)

{条件提示}を最後の意味公式とする回答例

TM 50：แก ตอนนี้เค้าไม่ว่างอะ ลองหาคำศัพท์ดูก่อน เดี๋ยวช่วยดูให้อีกที

(和訳：[呼びかけ](kɛɛ)、今は時間がない。先に単語の意味を調べておいて。
後で僕がチェックしてあげる。)

{約束}を最後の意味公式とする回答例

TF 25：ขอโทษด้วยนะ ต้องอ่านหนังสือเตรียมสอบอะ ไว้ครั้งหน้าละกันนะ

(和訳：ごめんね。テスト勉強しなくちゃ。また、次の機会に手伝うよ。)

フォローアップインタビューによると、「依頼するということは、被依頼者の能力を高く評価しているということである(例：英語ができる)」「依頼者の自分に対する肯定的な評価が変わらないように、相手の気持ちを配慮する{詫び}の言葉で発話を終了させる」「親しくない相手に{結論}を述べるのは、相手の気持ちを傷付けたり、初対面の印象が悪くなったりする恐れがあるので、避けるべきである」と考える人が多い。

ほかにも、相手との良好な関係を保つために、{消極的代案提示}{条件提示}{積極的代案提示}{約束}で発話を終了させることも見られる。この 4 種類の意味公式で出現率が 37%である。依頼に応じられなくても、自分が手伝える条件を提示したり、助言したりする。

全体的な傾向を見ると、TT が{行動指示}{結論}のような直接的断りの使用を避け、{詫び}で発話を終了させる傾向が強いことが分かった。

5.6.2.5 場面 6：まとめ(TT)

場面 6 の親しくない同等からの重い依頼に対する断り場面において、TT の使用した意味公式の傾向をまとめる。

(1) 意味公式の全体における出現率のうち、出現率が 50%以上の意味公式は、高い順に{理由}(97%)、次に{詫び}(73%)である。

(2) 意味公式の出現順序のパターンについては、{理由}+{詫び}は最も多用されるパターンである。そして、{理由}が中間にあるパターンのうち、最も出現率が高い前半部は{詫び}+{理由}…で、後半部は…{理由}+{詫び}である。

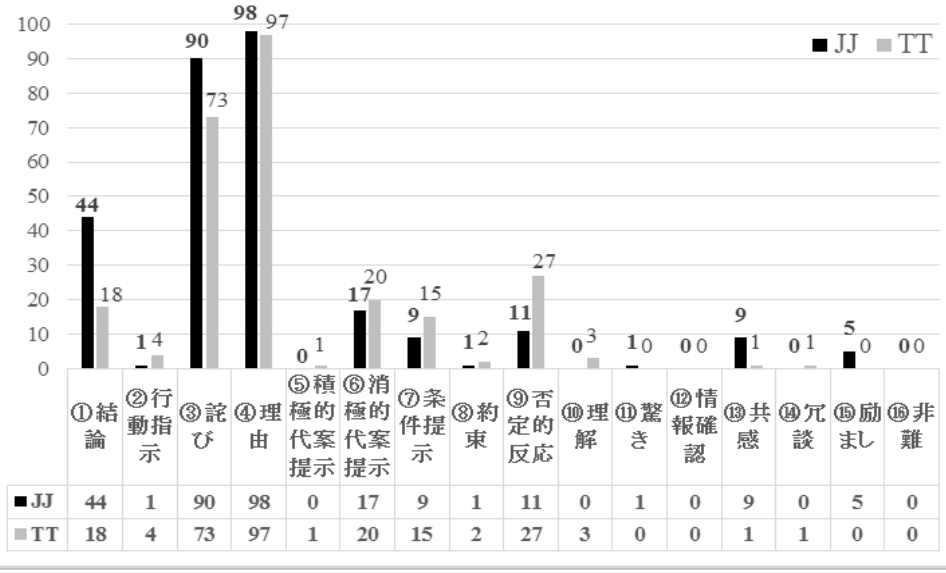
(3) 断りの冒頭の意味公式は、{詫び}の出現率が最も高い。

(4) 断りの最後の意味公式、{詫び}の出現率が最も高い。

5.6.3 場面 6 の日本語母語話者とタイ語母語話者の断りの意味公式の比較

本項では、場面 6(疎・同等・重)での JJ と TT の断りにおける意味公式を比較する。

5.6.3.1 場面 6：JJ・TT の意味公式の出現率の比較 (JJ・TT)



	①結論	②行動指示	③詫び	④理由	⑤積極的代案提示	⑥消極的代案提示	⑦条件提示	⑧約束	⑨否定的反応	⑩理解	⑪驚き	⑫情報確認	⑬共感	⑭冗談	⑮励まし	⑯非難
JJ	44	1	90	98	0	17	9	1	11	0	1	0	9	0	5	0
TT	18	4	73	97	1	20	15	2	27	3	0	0	1	1	0	0

〈直接的断り〉 のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉 のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯

JJ{詫び}90%　(一回の詫び 74%、二回の詫び 16%)
TT{詫び}73%　(一回の詫び 60%、二回の詫び 13%)
JJ{理由}98%　(理由の内容 54%、理由の内容+付加説明 44%)
TT{理由}97%　(理由の内容 55%、理由の内容+付加説明 42%)
JJ{否定的反応}11%　(間投詞 11%、呼びかけ 0%)
TT{否定的反応}27%　(間投詞 21%、呼びかけ 5%、間投詞+呼びかけ 1%)

図 62　JJ・TT: 場面 6(疎・同等・重) の断りの意味公式の出現率

親しくない同等からの重い依頼を断る場面における JJ の出現率が 50%以上の意味公式は④{理由}(98%)、そのうち[理由の内容]が 54%、[理由の内容+付加説明]が 44%である。続いて③{詫び}(90%)という順である。一方、TT の出現率が 50%以上の意味公式は④{理由}(97%)(うち[理由の内容]が 55%、[理由の内容+付加説明]が 42%)である。続いて④{詫び}(73%)という順である。

JJ と TT の間に意味公式の出現率に有意差があるかどうかカイ二乗検定を用いて検定した結果、有意差が見られた ($\chi 2(14)=39.77, p<.05$)。残差分析を行ったところ、有意差が見られたのは JJ の{結論}(Z=3.14)、{共感}(Z=2.41)、{励まし}(Z=2.15)と、TT の{否定的反応}(Z=2.97)である。

JJ と TT の共通点は、JJ と TT ともに、{詫び}と{理由}を多く使用していることである。

相違点を以下の 4 点にまとめる。

(1) JJ は{結論}の出現率が 44%であるのに対して、TT はわずか 18%である。30%近い差が見られ、JJ は直接的断りの傾向が TT に比べ強いことが明らかになった。

(2) JJ と TT ともに、{条件提示}の出現率は同程度である。しかし、提示される条件の内容が異なる。翻訳ができなくても、「翻訳もののチェック」「翻訳について助言する」等の条件を提示するが、TT が親しくない相手に電話番号、Line、Facebook のような個人の連絡先を教えるところまで、協力できる限りの方法を提案するのに対して、JJ においてはこのような提案の方法は全く見られなかった。

(3) {驚き}{励まし}は JJ にしか見られず、出現率が低い。JJ は相手の気持ちに配慮していることを表すために、{励まし}で発話を終了させる。しかし、TT は親しい同等でも、親しくない同等でも{励まし}の言葉を言わない。{励まし}の代わりに、{消極的代案提示}{条件提示}をする傾向が見られる。

(4) {冗談}は TT の断りの特徴である。この場面に見られた冗談は「君、知り合いだったっけ？冗談だよ」である。親しくない人なのに、重い依頼をすることに非難の気持ちが含まれる冗談だと考えられる。

5.6.3.2 場面 6：意味公式の出現順序のパターンの比較 (JJ・TT)

次に、JJ と TT の意味公式の出現順序のパターンを比較する。

表 48　JJ・TT: 場面 6(疎・同等・重)の 意味公式の出現順序のパターン

{理由}が中間にあるパターン			
出現順序のパターンの前半部(JJ)	**出現率**	**出現順序のパターンの前半部(TT)**	**出現率**
*{詫び}+{理由}…	62%	*{詫び}+{理由}…	28%
**{否定的反応}+{詫び}+{理由}… {否定的反応}(間)}+{詫び}+{理由}…	4% (4%)	***{否定的反応}+{理由}… {否定的反応(間)}+{理由}… {否定的反応(呼)}+{理由}…	17% (13%) (4%)
{共感}+{理由}…	2%	**{否定的反応}+{詫び}+{理由}… {否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}… {否定的反応(呼)}+{詫び}+{理由}…	3% (2%) (1%)
***{否定的反応}+{理由}… {否定的反応(間)}+{理由}…	2% (2%)	{否定的反応}+{結論}+{理由}… {否定的反応(間)}+{結論}+{理由}…	1% (1%)
{否定的反応}+{詫び}+{共感}+{理由}… {否定的反応(間)}+{詫び}+{共感}+{理由}…	1% (1%)	{結論}+{理由}…	1%
{否定的反応}+{共感}+{理由}… {否定的反応(間)}+{共感}+{理由}…	1% (1%)	{理解}+{共感}+{理由}…	1%
{詫び}+{共感}+{理由}…	1%	{冗談}+{否定的反応(間)}+{理由}…	1%
{驚き}+{理由}…	1%		
合計	**74%**	**合計**	**52%**

出現順序のパターンの後半部(JJ)	出現率	出現順序のパターンの後半部(TT)	出現率
…{理由}+{結論}*	25%	…{理由}+{詫び}****	16%
…{理由}+{消極的代案提示}**	12%	…{理由}+{消極的代案提示}**	11%
…{理由}+{結論}+{詫び}***	11%	…{理由}+{条件提示}*****	6%
…{理由}+{詫び}****	8%	…{理由}+{結論}+{詫び}***	5%
…{理由}+{条件提示}*****	7%	…{理由}+{結論}*	3%
…{理由}+{励まし}	4%	…{理由}+{結論}+{条件提示}	2%
…{理由}+{結論}+{消極的代案提示}	3%	…{理由}+{詫び}+{条件提示}	2%
…{理由}+{消極的代案提示}+{詫び}	1%	…{理由}+{詫び}+{結論}+{詫び}	2%
…{理由}+{約束}	1%	…{理由}+{約束}	2%
…{理由}+{詫び}+{励まし}	1%	…{理由}+{行動指示}******	2%
…{理由}+{行動指示}******	1%	…{理由}+{消極的代案提示} +{結論} +{詫び}	1%
合計	**74%**	合計	**52%**

{理由}が冒頭の意味公式であるパターン

JJ	出現率	TT	出現率
{理由}+{結論}	2%	{理由}+{詫び}***	12%
{理由}+{結論}+{詫び}	2%	{理由}+{消極的代案提示}+{詫び}	5%
{理由}+{結論}+{条件提示}*	1%	{理由}+{条件提示}	3%
{理由}+{消極的代案提示}**	1%	{理由}+{詫び}+{消極的代案提示}	2%
{理由}+{詫び}***	1%	{理由}+{結論}+{条件提示}*	1%
{理由}+{詫び}+{条件提示}****	1%	{理由}+{消極的代案提示}**	1%
		{理由}+{詫び}+{条件提示}****	1%
合計	**8%**	合計	**25%**

{理由}が最後の意味公式であるパターン

JJ	出現率	TT	出現率
*{詫び}+{理由}	9%	*{詫び}+{理由}	9%
**{否定的反応}+{理由} {否定的反応(間)}+{理由}	1% (1%)	**{否定的反応}+{理由} {否定的反応(間)}+{理由}	4% (4%)
{否定的反応}+{詫び}+{理由} {否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}	1% (1%)	{理解}+{行動指示}+{理由}	1%
{否定的反応}+{結論}+{詫び}+{理由} {否定的反応(間)}+{結論}+{詫び}+{理由}	1% (1%)	{理解}+{詫び}+{理由}	1%
{共感}+{理由}	2%	{行動指示}+{理由}	1%
{詫び}+{共感}+{理由}	1%	{結論}+{理由}	1%
合計	**15%**	合計	**17%**

{理由}なしのパターン

JJ	出現率	TT	出現率
{共感}+{結論}	1%	{否定的反応}+{結論}+{詫び} {否定的反応(間)}+{結論}+{詫び}	1% (1%)
{詫び}+{消極的代案提示}	1%	{詫び}+{積極的代案提示}	1%
合計	**2%**	合計	**2%**

意味公式が一つしかないパターン			
JJ	**出現率**	**TT**	**出現率**
{理由}*	1%	{理由}*	3%
		{条件提示}	1%
合計	**1%**	合計	**4%**
総合計	**100%**	総合計	**100%**

まず、JJ における出現率の高い順に、{理由}が中間にあるパターンの出現率が 74%、続いて{理由}が最後の意味公式であるパターンの出現率が 15%、{理由}が冒頭の意味公式であるパターンの出現率が 8%、{理由}なしのパターンの出現率が 2%、意味公式が一つしかないパターンの出現率が 1%という順である。一方、TT は{理由}が中間にあるパターンの出現率が 52%、{理由}が冒頭の意味公式であるパターンの出現率が 25%、{理由}が最後の意味公式であるパターンの出現率が 17%、意味公式が一つしかないパターンの出現率が 4%、{理由}なしのパターンの出現率が 2%である。

JJ と TT の意味公式の出現順序のパターンの相違点を以下の 3 点にまとめる。

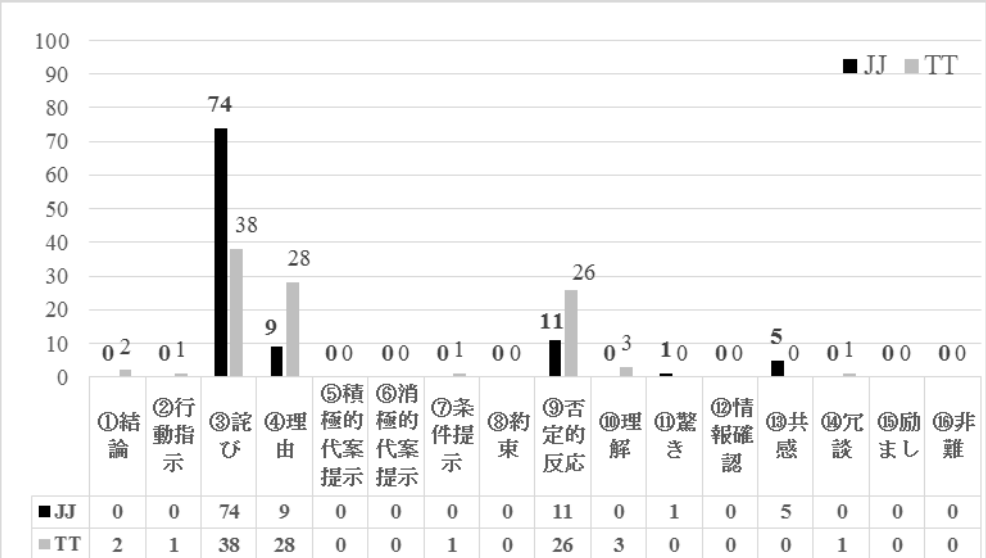
(1) JJ は{理由}が中間にあるパターンの出現率が 74%を超えるが、TT は 52%に過ぎない。{理由}が中間にあるパターン以外、TT は{理由}が冒頭の意味公式であるパターンの出現率が 25%で、{理由}が最後の意味公式であるパターンの出現率が 17%である。つまり、TT は{理由}が中間にあるパターンが 5 割、{理由}が最初と最後にあるパターンを合わせた出現率が 4 割と、それぞれ半数程度を占める。

(2) 出現順序パターンの後半部を見ると、JJ は…{理由}+{結論}の出現率が最も高く、25%であるのに対して、TT における出現率はわずか 3%である。TT の出現率が最も高いパターンは…{理由}+{詫び}で 16%であるが、JJ は 8%である。

(3) {理由}が冒頭の意味公式であるパターンのうち、TT は{理由}+{詫び}が最も出現率が高く、12%であるが、JJ はわずか 1%である。

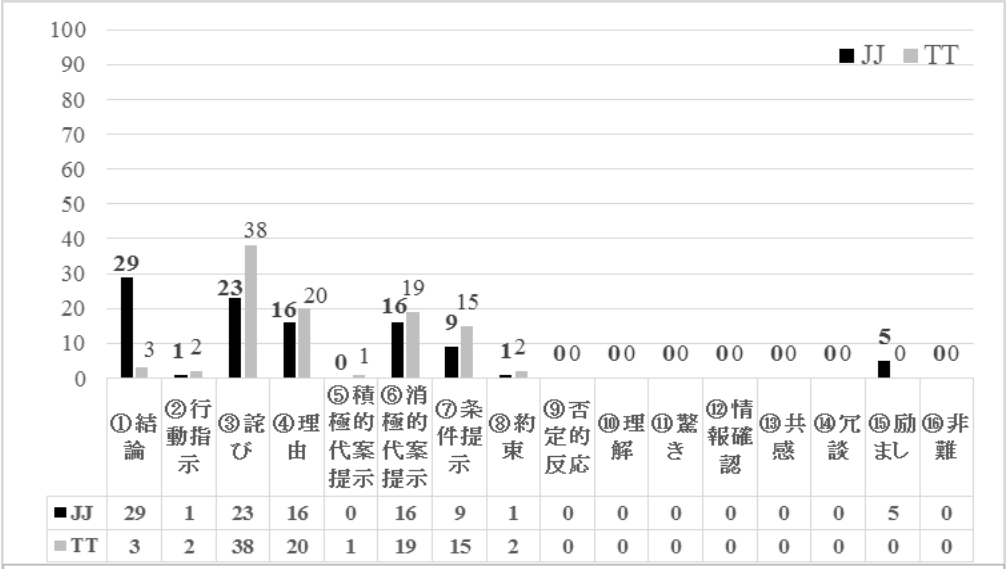
5.6.3.3 場面 6：冒頭の意味公式の比較 (JJ・TT)

TT と JJ が用いた冒頭の意味公式の出現率を図 63 に示す。


100
90
80
70
60
50
40
30
20
10
0
JJ
TT
74
38
28
26
11
9
5
2
1
3
1
0
0
0

5.6.3.4 場面 6：最後の意味公式の比較 (JJ・TT)

次に、最後の意味公式を考察する。出現率を図 64 に示す。



〈直接的断り〉 のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉 のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯
JJ{理由}16%　(理由が最後の意味公式であるパターン 15%)
(意味公式が一つしかないパターン　1%)
TT{理由}20% (理由が最後の意味公式であるパターン 17%)
(意味公式が一つしかないパターン　8%)

図 64　JJ・TT: 場面 6(疎・同等・重)の断りの最後の意味公式の出現率

JJ が用いた意味公式の最も出現率が高いのは①{結論}(29%)、続いて③{詫び} (23%)、④{理由}と⑥{消極的代案提示}(それぞれ 16%)という順である。一方、TT が用いた意味公式の中で最も出現率が高いのは③{詫び}(38%)、続いて④{理由}(20%)、⑥{消極的代案提示}(19%)である。JJ は①{結論}③{詫び}④{理由}⑥{消極的代案提示}の 4 つの意味公式を、TT は③{詫び}④{理由}⑥{消極的代案提示}⑦{条件提示}の 4 つの意味公式を使用する傾向が見られる。

JJ と TT が用いた最後の意味公式の相違点を以下の 3 点にまとめる。

(1) JJ で最も出現率が高いのは{結論}であるが、TT では、{詫び}である。

(2) JJ は{結論}の使用が目立っている。しかし、TT は{結論}の出現率が非常に低い(3%)。

(3) {励まし}は JJ、{積極的代案提示}は TT にしか見られず、出現率が低い。

JJ の意見を聞いたところ、「{結論}を明示しないと相手に誤解されてしまう恐れがある」と思ったそうである。また、「相手に手伝いを再依頼されないように、{結論}で手伝えないことを明言する」という意見もあった。

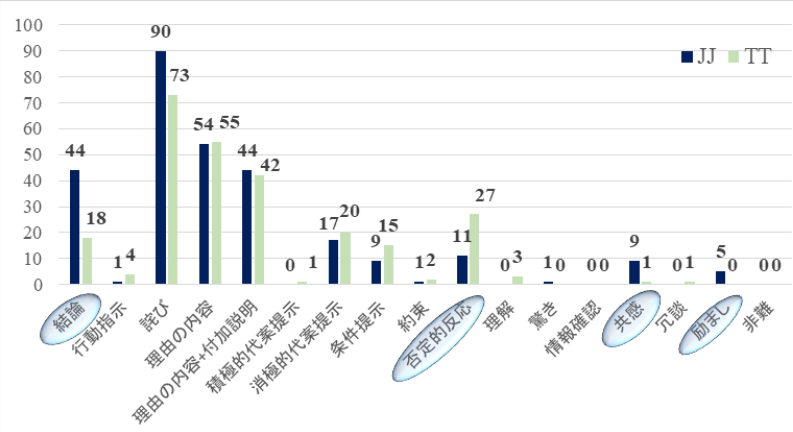
しかし、TT の意見では、「{結論}を述べるのは、相手の気持ちを傷付けたり、初対面の印象が悪くなったりする恐れがあるので、使用を控えるべきである」と感じた人が多い。「相手と

の良好な関係を保つため、{詫び}や{理由}を述べたほうが丁寧な断り方」だと考えた回答者も少なくない。

そして、{消極的代案提示}{積極的代案提示}{条件提示}で発話を終了させる JJ と TT の意見では、「せっかく依頼したのに、何も手伝わないと、依頼者をがっかりさせたり、困らせたりするかもしれない。すると、断る人に対する印象が悪くなる可能性がある。協力したい気持ちを表すために、手伝えなくても、自分が手伝える別の条件や、助言をする」という意見があった。

5.6.3.5 場面 6：JJ と TT が用いた意味公式の使用のまとめ

意味公式の出現率

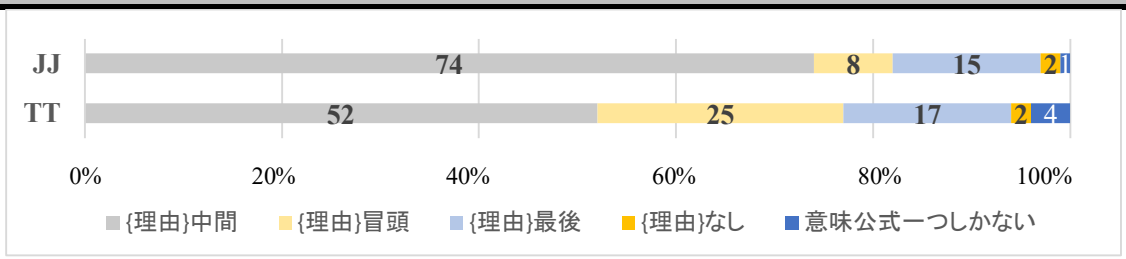


カイ二乗検定を用いて検定した結果、有意差が見られた ($\chi 2(14)=39.77, p<.05$)。

残差分析を行ったところ、有意差が見られたのは
JJ の{結論}(Z=3.16)
{共感} (Z=3.14)
{励まし} (Z=2.15)

TT の{否定的反応}(Z=2.97)

意味公式の出現順序のパターン

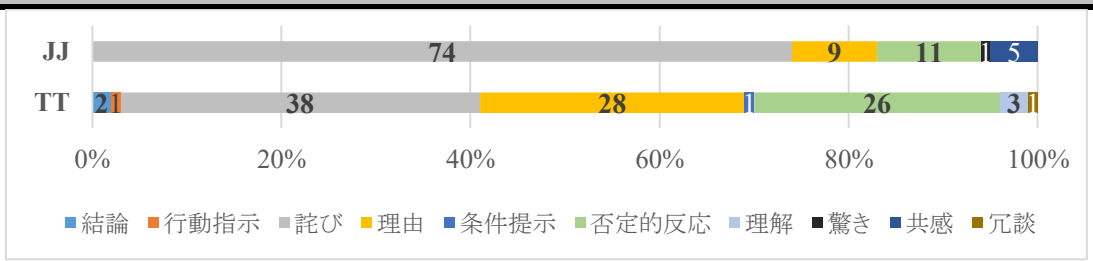


(1) **JJ** は{理由}が中間にあるパターンを使用する傾向が強い(74%)。しかし、**TT** はそのパターンを使用したのはわずか 52%であり、後半分の TT は{理由}が冒頭の意味公式であるパターンと、{理由}が最後の意味公式であるパターンを多く使用する傾向が見られる。

(2) 出現順序のパターンの前半部について、**JJ** と **TT** はともに{詫び}+{理由}…の出現率が最も高いという共通点が見られる。

(3)出現順序のパターンの後半部について、**JJ** は…{理由}+{結論}、**TT** は…{理由}+{詫び}の出現率が最も高い。

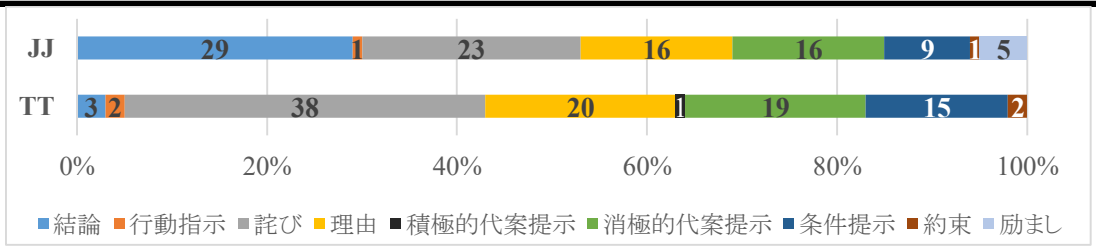
冒頭の意味公式



JJ においては{詫び}(74%)の使用が目立っている。

TT は{詫び}(38%)、{理由}(28%)、{否定的反応}(26%)の 3 つの意味公式を使用する傾向が見られる。

最後の意味公式



JJ は{結論}{詫び}{理由}{消極的代案提示}の 4 つの意味公式を、**TT** は{詫び}を多用する傾向が見られる。

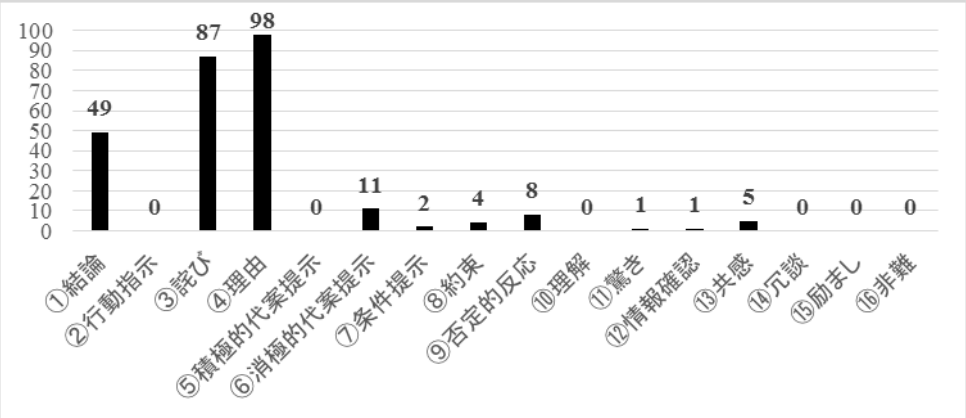
5.7 場面 7：親しい同等からの軽い依頼

本節では、場面 7 で日本語母語話者(JJ)とタイ語母語話者(TT) が用いた意味公式の出現率のデータを基に考察する。この場面は「親しい友達に数学の宿題をチェックすることを頼まれる」場面を設定した。

5.7.1 場面 7：日本語母語話者の使用した意味公式

5.7.1.1 場面 7：意味公式の出現率(JJ)

まず、意味公式の出現率を考察する。JJ が用いた意味公式の出現率を図 65 に示す。



〈直接的断り〉のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯
JJ{詫び}87% (**一回の詫び 67%、二回の詫び 20%**)
JJ{理由}98% (**理由の内容 58%、理由の内容+付加説明 40%**)
JJ{否定的反応}8%　(間投詞 8%、呼びかけ 0%)

図 65　JJ: 場面 7(親・同等・軽)の断りの意味公式の出現率

親しい同等からの軽い依頼を断る場面において、出現率が 50%以上の意味公式は、高い順に④{理由}(98%)、続いて③{詫び}(87%)である。

以下、分類したカテゴリーに従って個々の意味公式について具体的な説明を加える。<直接的断り>のカテゴリーに分類される①{結論}については、言語形式の違いにより JJ の{結論}の言い方は 4 つのパターンに分類される。

(1)イ・ナ形容詞(+終助詞)

用いられた表現：「難しいわ」「きついわ」「無理や」「無理やわ」「難しいですね」

JM 5：すまん、難しいわ。

JM31：ごめん、明日発表あるから、無理やわ。

(2)動詞の可能形の否定形(+終助詞)

用いられた表現：「できない」「チェックできない」「手伝ってあげられない」
「応じられない」「手伝えないわ」「手伝えへんわ」

JM 39：ああ、明日発表があるから、依頼に応じられなくて、ごめんね。

JF 44：ごめん、明日の発表ほんまにヤバいから、手伝えへんわ。ごめん。
(明日の発表本当にヤバいから、手伝えないよ)

(3)動詞の可能形の否定形/イ・ナ形容詞(+モダリティ形式)

用いられた表現：「無理」「無理そう」「難しいかも」「チェックできないかも」
「手伝えないかも」「協力できないかも」「手伝えなさそう」
「手伝えそうにない」「お願いは聞きそうにない」

JM 36：ごめん、明日プレゼンあるから、そのお願いは聞けそうにないかな。

JF 32：すみません、来週テストがあるので、協力できそうにないんだ。

(4) 副詞+動詞の可能形の否定形/イ・ナ形容詞 (+終助詞)

用いられた表現：「ちょっと難しい」「ちょっと手伝えない」「ちょっと厳しいよね」
「ちょっと無理かなあ」「ちょっと難しいかなあ」

JM 15：ごめんね、明日発表の準備があるから、時間無いよ。ちょっと手伝えない。

次に<間接的断り>のカテゴリーに分類される出現率が二番目に高い③{詫び}の出現率は 87%で、そのうち一回の詫びが 67%、二回の詫びが 20%である。詫びの表現としては「ごめん」「ごめんね」「ごめんな」「ごめんやけど」「ごめんよ」「ごめんなさい」「本当にごめん」「ほんまにごめん」「ほんまごめんな」「すまん」「すまん」「すまんけど」「悪いな」が使われている。回答例は以下の通りである。

一回の詫び

JM 28：俺明日発表あるから、無理や！すまん。

JF 2 ：ごめん、今日忙しくて、時間無いわ。

二回の詫び

JM 20：ごめん、発表準備せなあかんから、あんまり時間取れてないわ。申し訳ない。
(発表準備しなければならないから)

JM 29：悪いな！時間ないよ。手伝ってあげられない。ごめんね。

JF 19：ごめん、私明日発表あって、やばいねん。ほんまにごめん。

続いて、最も出現率が高い意味公式、④{理由}の出現率は 98%(うち[理由の内容]が 58%、[理由の内容+付加説明]が 40%)である。出現率を見ると、JJ においては[理由の内容]だけを述べる傾向が見られることが明らかになった。回答例は以下の通りである。

[理由の内容]

JM 4： ごめん、明日の発表は苦労だから、手伝えないわ。

JM 17： ごめん、明日発表があって、無理やわ。

JM 22：ごめん、明日の発表練習したから、無理。

JF 22：ごめん、予定が迫ってきてるから、手伝えないかも。

[理由の内容+付加説明]

JM 11：ごめんやけど、明日発表があるので、いろいろ準備せなあかん。ごめんね。
(いろいろ準備しなければならない)

JF 12：明日、発表があって、資料はまだできてない。ごめんね。

JF 16：ごめん、時間無いわ。発表が思ったより、めっちゃ大変。ごめんね。

JF 27：ごめんね、明日発表があって、忙しいから、見ることができないよ。申し訳ないけど。

JF 42：ごめん、明日の発表の準備全然終わってなくて、中途半端になっちゃいそうやから、
他の人にお願いしてもらってもいい？

⑥{消極的代案}⑦{条件提示}⑧{約束}に関して、⑥{消極的代案提示}の出現率は 11%、⑦{条件提示}は 2%、⑧{約束}は 5%である。断りの際に、JJ が手伝いの代案をほとんど用いないことが明らかになった。以下は回答例である。

{消極的代案提示}

JM 41：ごめん、今時間取れないわ。他の人に当たってみて。

JM 42：俺も明日発表だから、他あたってもらえる？

JF 37：ごめん、今プレゼン作りだから、無理やわ。他の人に言ってみてね。

{条件提示}

JM 43：明日の発表の準備忙しくて、時間ないわ。ごめんな。本当にできなかったら、言って！

JF 15：ごめん、今時間ない。もしどうしても分からないことがあったら、言って！

{約束}

JM 9：えー、俺明日発表あるから、忙しいねんけど。まあ、また今度テスト終わった後に
教えたげるわ。 (忙しいんだけど)

JF 11：ごめん、本当に時間がないんだ。また今度頼んで。

<付加表現>のカテゴリーについては、最も出現率が高い順に⑨{否定的反応}8%、⑬{共感}5%、⑪{驚き}⑫{情報確認}それぞれ 1%である。回答例に用いられた表現は以下の通りである。

{否定的反応}

用いられた表現：「ああ」「うーん」「えー」

JF 6： ああ、ごめん、明日発表で、全然できてなくて。

JM 14：うーん、明日プレゼンの準備があるから、無理やな。また今度。

JM 9：えー、俺明日発表あるから、忙しいねんけど。まあ、また今度テスト終わった後に教えたげるわ。

{共感}

JM 30：ごめん、手伝いたい気持ちは山々だけど、明日の発表で死にそうだから、手伝えないよ。

JM 47：残念、時間無いわ。手伝えないかも。

JF 25：手伝いたいんだけど、明日の発表はヤバいなあ。

{驚き}

用いられた表現：「まじか」

JM 35：まじか、俺明日の発表の準備せないかんから、無理や。

(俺明日の発表の準備しなければならないから)

{情報確認}

JF 8　明日か？私も発表あって、今日の夜はかなりやばいかも。ごめん。

5.7.1.2 場面 7：意味公式の出現順序のパターン(JJ)

続いて、意味公式の出現順序のパターンを考察する。回答 に見られた意味公式の出現順序のパターンを表 49 に示す。

表 49　JJ: 場面 7(親・同等・軽)の 意味公式の出現順序のパターン

冒頭の意味公式	{理由}が中間にあるパターン	出現率
{詫び}	{詫び}+{理由}+{結論}	24%
	{詫び}+{理由}+{詫び}	11%
	{詫び}+{理由}+{結論}+{詫び}	9%
	{詫び}+{理由}+{消極的代案提示}	9%
	{詫び}+{理由}+{結論}+{消極的代案提示}	1%
	{詫び}+{理由}+{約束}	1%
	{詫び}+{理由}+{条件提示}	1%
	{詫び}+{共感}+{理由}+{結論}	1%
	小計	**57%**
{否定的反応}	{否定的反応(間)}+{理由}+{結論}	2%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{結論}+{詫び}	1%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{結論}+{約束}	1%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{約束}	1%
	小計	**5%**
{共感}	{共感}+{理由}+{結論}	2%
	{共感}+{理由}+{結論}+{約束}	1%
	小計	**3%**
{情報確認}	{情報確認}+{理由}+{詫び}	1%
	小計	**1%**
{驚き}	{驚き}+{理由}+{結論}	1%
	小計	**1%**
合計		**67%**
冒頭の意味公式	**{理由}が冒頭の意味公式であるパターン**	**出現率**
{理由}	{理由}+{詫び}	6%
	{理由}+{結論}+{詫び}	3%
	{理由}+{結論}	2%
	{理由}+{詫び}+{条件提示}	1%
	{理由}+{消極的代案提示}	1%
	{理由}+{消極的代案提示}+{詫び}	1%
合計		**14%**
冒頭の意味公式	**{理由}が最後の意味公式であるパターン**	**出現率**
{詫び}	{詫び}+{理由}	14%
	小計	**14%**
{否定的反応}	{否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}	2%
	小計	**2%**
{共感}	{共感}+{理由}	1%
	小計	**1%**

合計		**17%**
冒頭の意味公式	**{理由}なしのパターン**	**出現率**
{否定的反応}	{否定的反応(間)}+{結論}	1%
	小計	**1%**
{詫び}	{詫び}+{結論}	1%
	小計	**1%**
合計		**2%**
冒頭の意味公式	**意味公式が一つしかないパターン**	**出現率**
	なし	0%
合計		**0%**
総合計		**100%**

意味公式の出現順序のパターンは、全部で 27 パターンに分類される。{理由}が中間にあるパターンは 16 パターンで、出現率が 67%、{理由}が最後の意味公式であるパターンは 3 パターンで、出現率が 17%、{理由}が冒頭の意味公式であるパターンは 6 パターンで、出現率が 14%、{理由}なしのパターンは 2 パターンで、出現率が 2%である。目上からの軽い依頼の場面(場面 3)と比べると、目上からの依頼の場面(場面 3)のほうがバリエーションが豊富である(39 パターン)。

意味公式の出現パターンのうち、最も出現率の高い上位 2 位のパターンは{詫び}+{理由} +{結論}(24%)、続いて{詫び}+{理由} (14%)である。回答例は以下の通りである。

{詫び}+{理由}+{結論}

JF 46：ごめん、明日の発表準備が忙しいので、できないのよ。

{詫び}+{理由}

JM 2：ごめんね、明日の発表はとても大変なんだ。

続いて、{理由}が中間にあるパターンについて、出現順序のパターンの前半部と後半部を表50に示す。

表 50　JJ: 場面 7(親・同等・軽)の 意味公式の出現順序のパターンの前半部と後半部

出現順序のパターンの前半部	出現率	出現順序のパターンの後半部	出現率
{詫び}+{理由}…	56%	…{理由}+{結論}	30%
{否定的反応}+{理由}… {否定的反応(間)}+{理由}…	5% (5%)	…{理由}+{詫び}	12%
{共感}+{理由}…	3%	…{理由}+{結論}+{詫び}	10%
{驚き}+{理由}…	1%	…{理由}+{消極的代案提示}	8%
{情報確認}+{理由}…	1%	…{理由}+{結論}+{約束}	2%
{詫び}+{共感}+{理由}…	1%	…{理由}+{約束}	2%
		…{理由}+{条件提示}	2%
		…{理由}+{結論}+{消極的代案提示}	1%
合計	**67%**	**合計**	**67%**

最も出現率の高い意味公式の出現順序のパターンの前半部は{詫び}+{理由}…(56%)であり、半分以上の協力者がこのパターンを使うことが分かった。後半部は...{理由}+{結論}(30%)が一番出現率が高い。回答例は以下の通りである。

{詫び}+{理由}…

JM 16：ごめん、明日発表があって、難しいかも。

{否定的反応}+{理由}…

JF 34：うーん、明日の発表の準備あるんよなー。手伝うことができないかも。

…{理由}+{結論}

JF 40：ごめん、明日の発表がめっちゃ大変だ。協力できないかも。

…{理由}+{詫び}

JM 20：ごめん、発表準備せなあかんから、あんまり時間取れてないわ。申し訳ない。

5.7.1.3 場面 7：冒頭の意味公式(JJ)

次に、冒頭の意味公式を考察する。冒頭に見られた意味公式は{理由}{詫び}{否定的反応}{驚き}{情報確認}{共感}が用いられており、全部で 6 種類の意味公式が見られた。出現率を図 66 に示す。

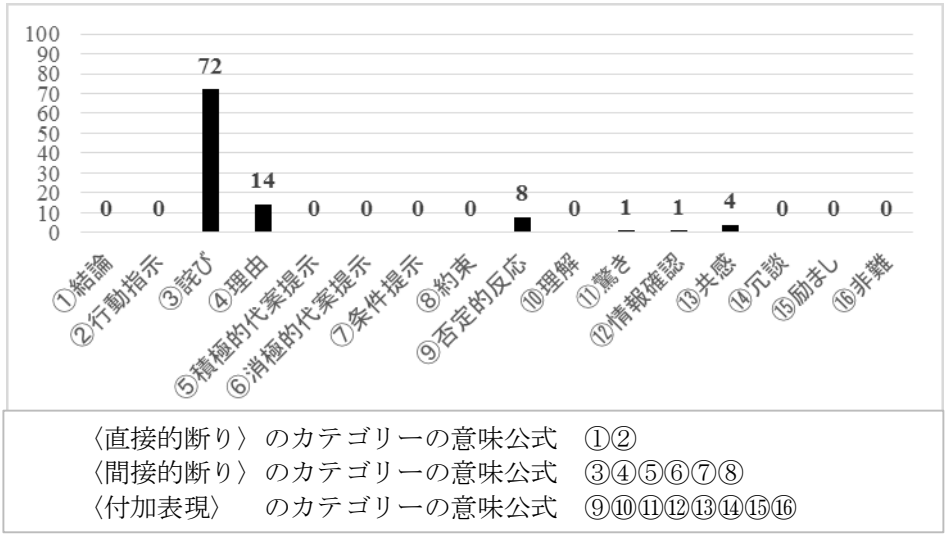


図 66 JJ: 場面 7(親・同等・軽)の断りの冒頭の意味公式の出現率

JJ が用いた冒頭の意味公式は③{詫び}の出現率が突出している(72%)。続いて、④{理由}が 14%、他の意味公式は出現率が 10%以下である。以下は本調査に見られた回答例である。

{詫び}を冒頭の意味公式とする回答例

JM 3：ごめん、明日発表があるから、無理そう。

JF 31：ごめんなさい、今日は時間がない。

{理由}を冒頭の意味公式とする回答例

JM 23：俺も、明日発表あるんで、チェックができないかも。

JF 7： 今日は忙しくて、ごめんね。

{否定的反応}を冒頭の意味公式とする回答例

JM8：うーん、ちょっときついなあ。

JF4： ああ、ごめん、今時間なくて。

{共感}を冒頭の意味公式とする回答例

JM44：手伝いたいんだけど、俺も発表の準備をしないとやばいから、手伝えない。

JF21：本当に手伝いたいんだけど、明日発表があるから、ちょっと無理かなあ。

今度、なんかあったら、ゆって！

{驚き}を冒頭の意味公式とする回答例

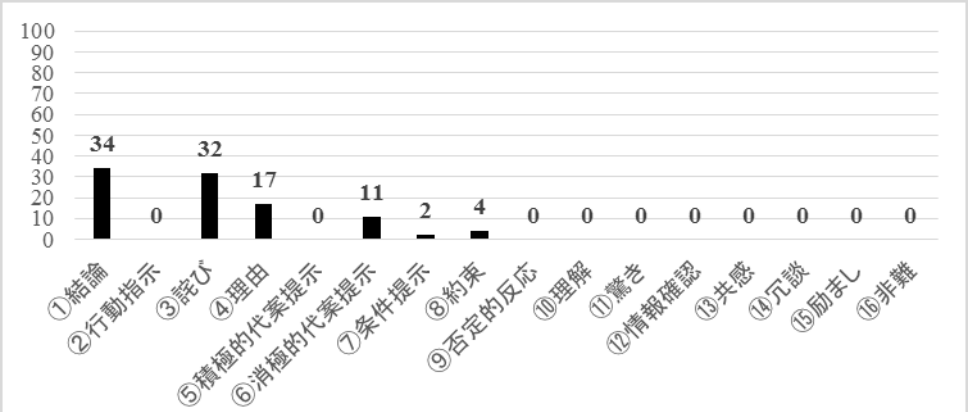
JM 35：まじか、俺明日の発表の準備せないかんから、無理や。

{情報確認}を冒頭の意味公式とする回答例

JF8： 明日か？私も発表あって、今日の夜はかなりやばいかも。ごめん。

5.7.1.4 場面 7：最後の意味公式(JJ)

最後の意味公式を考察する。最後の意味公式は{結論}{詫び}{理由}{消極的代案提示}{条件提示}{約束}が用いられており、全部で 6 種類の意味公式が見られた。出現率を図 67 に示す。



〈直接的断り〉のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯
{理由}17% (理由が最後の意味公式であるパターン 17%)

図 67　JJ: 場面 7(親・同等・軽)の断りの最後の意味公式の出現率

JJ が用いた最後の意味公式は、<直接的断り>のカテゴリーに分類される①{結論}(34%)の出現率が最も高く、続いて、<間接的断り>のカテゴリーに分類される③{詫び}(32%)、④{理由}(17%)、⑥{消極的代案提示}(11%)である。他の意味公式は出現率が 10%以下である。全体的な傾向を見ると、JJ は③{詫び}や①{結論}を多く使用することが分かった。回答例は以下の通りである。

{結論}を最後の意味公式とする回答例

JM 36：ごめん、明日プレゼンあるから、そのお願いは聞けそうにないかな。

{詫び}を最後の意味公式とする回答例

JM 28：俺明日発表あるから、無理や！すまん。

{理由}を最後の意味公式とする回答例

JM 2：ごめんね、明日の発表はとても大変なんだ。

{消極的代案提示}を最後の意味公式とする回答例

JF 42：ごめん、明日の発表の準備全然終わってなくて、中途半端になっちゃいそうやから、他の人にお願いしてもらってもいい？

{条件提示}を最後の意味公式とする回答例

JF 15：ごめん、今時間ない。もしどうしても分からないことがあったら、言って！

{約束}を最後の意味公式とする回答例

JF 11：ごめん、本当に時間がないんだ。また今度頼んで。

フォローアップインタビューによると、{結論}を述べる理由は 2 点が挙げられる。

(1) 「自分の時間を邪魔されたくない」からである。「断りを明言しないと、相手に再依頼される可能性がある。」「プレゼンを準備している間、時間を大切にしなければならない。」「チェックくらいの軽い依頼でも手伝うと、やっていることが決まった時間に完成できないかもしれない。」 という。

(2) 「中途半端に手伝いたくない」からである。「軽い依頼は都合が良ければ、できるだけ協力したい。しかし、時間が足りなく、最後まで手伝えそうにない場合は、最初から断ったほうがいいと思った」という回答者が少なからずいた。

また{詫び}で発話を終了させるのは、「相手との良好な関係を維持する」ためである。さらに、「相手に再依頼されたくないので{詫び}の言葉で協力できないことを伝える」と考えた人もいる。

5.7.1.5 場面 7：まとめ(JJ)

場面 7 の親しい同等からの軽い依頼に対する断りの場面において、JJ の使用した意味公式の傾向をまとめる。

(1) 意味公式の全体における出現率のうち、出現率が 50%以上の意味公式は、高い順に{理由}(98%)、{詫び}(87%)である。

(2) 意味公式の出現順序のパターンについては、{詫び}+{理由}+{結論}は最も出現率が高い。そして、{理由}が中間にあるパターンのうち、最も出現率が高い前半部は{詫び}+{理由}…で、後半部は…{理由}+{結論}である。

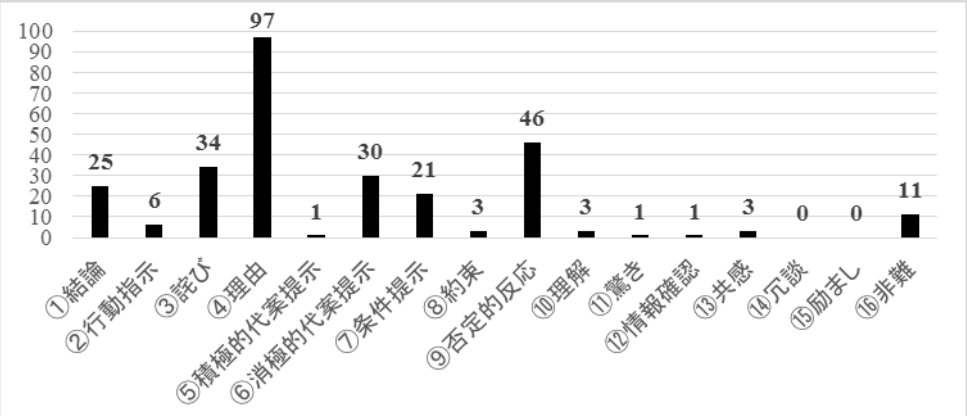
(3) 断りの冒頭の意味公式は、{詫び}の出現率が突出している。

(4) 断りの最後の意味公式は、{詫び}や{結論}が多く使われている。

5.7.2 場面 7：タイ語母語話者の使用した意味公式

5.7.2.1 場面 7：意味公式の出現率(TT)

まず、意味公式の出現率を考察する。出現率を図 68 に示す。



〈直接的断り〉のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯
TT{詫び}34% (**一回の詫び 30%、二回の詫び 4%**)
TT{理由}97% (**理由の内容 46%、理由の内容+付加説明 51%**)
TT{否定的反応}46%　(間投詞 16%、呼びかけ 30%)

図 68　TT: 場面 7(親・同等・軽)の断りの意味公式の出現率

親しい同等からの軽い依頼を断る場面において、出現率が 50%以上の意味公式は<間接的断り>のカテゴリーに分類される④{理由}97%のみである。

以下、分類したカテゴリーに従って個々の意味公式について具体的な説明を加える。<直接的断り>のカテゴリーに分類される①{結論}の出現率は 25%であり、JJ の 49%と比べると、半分である。言語形式の違いにより TT の{結論}の言い方は非断定的表現と断定的表現に分類される。

非断定的表現：動詞の前に、モダリティ形式「คง (khoŋ)」(だろう)が付加される。場合によっては、動詞が省略されることがある。

TM 49：มึง กูมีนำเสนอพรุ่งนี้เหมือนกัน *คงช่วยมึงไม่ได้อะ ขอโทษด้วยนะ

(和訳：[呼びかけ](mɯŋ)、明日俺も発表がある。手伝えないだろう。
ごめんね。)

*คง (khoŋ だろう)、ช่วย(chûai 手伝う)、 มึง(mɯŋ 二人称代名詞)

ไม่ได้(mâi dâi 不可能を表す否定詞) 、อะ(ʔa 文末詞)

TF 24：*คงไม่ได้อะ พรุ่งนี้เราต้องเตรียมตัวนำเสนองานอะแก

(和訳：無理だろう。明日の発表を準備しなくちゃ。)

*คง (khoŋ だろう)、ไม่ได้(mâi dâi 不可能を表す否定詞) 、อะ(ʔa 文末詞)

断定的表現：動詞に不可能を表す否定詞「...ไม่ได้」 (...mâi dâi) (することができない) が付加される。さらに、動詞が省略され、否定形「ไม่ได้ (mâi dâi)」(無理だ)のみ用いられる場合もある。

TM 11：*ไม่ได้อะแก ลองถามคนอื่นดูละกัน ขอโทษที

(和訳：無理だよ。別の人に聞いてね。ごめん。)

*ไม่ได้(mâi dâi 不可能を表す否定詞) 、อะ(ʔa 文末詞)、แก(kɛɛ 呼称詞)

TF 3：คือพรุ่งนี้กูมีนำเสนองาน โทษที *กูช่วยมึงไม่ได้ ไว้ครั้งหน้าละกันนะ

(和訳：実は明日発表がある。ごめんね。手伝えない。今度ならいいよ。)

*กู (kuu 私(友人同士に対して使われる一人称代名詞))、ช่วย(chûai 手伝う)、
มึง(mɯŋ 二人称代名詞)、ไม่ได้(mâi dâi 不可能を表す否定詞)

ほかにも、TT が「ไม่สะดวก (mâi sadùak)」(都合が悪い)を多く使っている。

TM 17：มึง กูขอโทษจริงๆ *ไม่สะดวกมากๆ กูติดงานอะ

(和訳：[呼びかけ]mɯŋ、本当にごめんなさい。大変都合が悪い。
授業の課題がある。)

*ไม่(mâi 否定詞)、สะดวก (sadùak 都合がいい)、 มากๆ(maak maak 大変(強調詞))

TM 28：เอ่อ กูต้องนำเสนองานวันพรุ่งนี้ *ไม่สะดวกอะ

(和訳：{否定的反応}(ʔəə)、明日発表しなくちゃ。都合が悪いよ。)

*ไม่(mâi 否定詞)、สะดวก (sadùak 都合がいい)、 อะ(ʔa 文末詞)

②{行動指示}の出現率は 4%に過ぎない。回答例は以下の通りである。

TF 12：งานพรีเซนต์กูยังไม่เสร็จเลย นำเสนอพรุ่งนี้แล้ว ทำเองสิ

(和訳：発表の準備はまだできてない。明日発表する。自分でやって。)

TF 14：กูไม่ว่าง ทำเองละกันนะ

(和訳：時間的に余裕がない。自分でやってね。)

次に＜間接的断り＞のカテゴリーに分類される③{詫び}の出現率は 34%で、そのうち一回の詫びが 30%、二回の詫びが 4%に過ぎない。JJ の 87%と比べると大きな差がある。詫びの表現として、タイ語にはいろいろなバリエーションがある。

「ขอโทษด้วย」(khɔ̌ɔthôot dûai) 「ขอโทษที」(khɔ̌ɔthôot thii) 「ขอโทษนะ」(khɔ̌ɔthôot ná) 「โทษที」(thôot thii) 「โทษทีนะ」(thôot thii ná) 「โทษทีหวะ」(thôot thii wà) 「โทษหวะ」(thôot wà)「ซอรี่」(sɔɔrîi)が使われている。また、詫びの言葉の後に、親しい同等に対して使われる呼称詞「มึง(mɯŋ)」が付く場合もある。例えば、「โทษทีหวะมึง」(thôot thii wà mɯŋ) 「โทษทีนะมึง」(thôot thii ná mɯŋ) である。友達に対する詫びの言葉の特徴は、文末丁寧詞「ครับ/ค่ะ」(khráp/ khá)」がなく、親しい同等に対して使われる文末詞「หวะ」(wà)が付加されることである。

これらの表現は、以下の表現の組み合わせからなる。(1)ขอโทษด้วย (khɔ̌ɔthôot dûai) ขอโทษที (khɔ̌ɔthôot thii) โทษ(thôot) โทษที(khɔ̌ɔthôot thii) ซอรี่(sɔɔrîi) (詫びの言葉) 、(2)นะ(ná 文末詞)、(3)หวะ/ว่ะ(wà 親しい同等に対して使われる文末詞)、(4)มึง(mɯŋ 親しい同等に対して使われる呼称詞)

一回の詫び

TM 40：ขอโทษนะ พรุ่งนี้กูมีนำเสนองาน ลองให้คนอื่นช่วยดูนะ

(和訳：ごめん。明日、俺は発表がある。別の人に頼んでみてね。)

TF 6：มึง พรุ่งนี้กูมีนำเสนองานอะ กูไม่ว่าง มึงลองให้เพื่อนคนอื่นดูให้ดิ ขอโทษนะมึง

(和訳：[呼びかけ](mɯŋ)、明日発表があって、時間がない。別の友達に頼んでみて。ごめん。)

二回の詫び

TF 25：เอ่อ ขอโทษนะแก พรุ่งนี้เรามีงานที่ต้องนำเสนออะ โทษทีนะ

(和訳：{否定的反応}(ʔɤ̀ɤ̀)、ごめん。明日発表がある。ごめんね。)

続いて、出現率が最も高い意味公式、④{理由}の出現率は 97%で、そのうち[理由の内容]が 46%、[理由の内容+付加説明]が 51%である。[理由の内容]と[理由の内容+付加説明]の出現率は同程度である。回答例は以下の通りである。

[理由の内容]

TM 19：เอ่อ กูเตรียมนำเสนองานวันพรุ่งนี้อะ ลองให้คนอื่นช่วยดิ

(和訳：{否定的反応}(ʔɤ̀ɤ̀)、明日の発表を準備してる。別の人に頼んでみて。)

TM 26：เอ่อ คือกูไม่เก่งคณิตอะ ให้คนอื่นตรวจไปก่อนนะ

(和訳：{否定的反応}(ʔəə)、実は俺は数学が苦手だ。とりあえず、別の人に頼んでね。)

TF 8：กูไม่ว่าง มึงให้คนอื่นดูก่อนได้ป่ะ

(和訳：時間的に余裕がない。別の人に頼んでくれる？)

TF 33：ตอนนี้ยังไม่ได้หวะ กูกำลังท่องจำสคริปต์อยู่ ทำเองละกันนะ

(和訳：今は無理だよ。発表原稿を暗記している。自分でやってね。)

[理由の内容+付加説明]

TM 1：เอ่อ กูไม่ว่างอะ ต้องเตรียมนำเสนองานพรุ่งนี้

(和訳：{否定的反応}(ʔəə)、時間的に余裕がない。明日の発表を準備しなくちゃ。)

TM 23：ตอนนี้ไม่ได้มึง พรุ่งนี้กูมีพรีเซนต์ ยังไม่ได้เตรียมตัวเลย ถ้าทันเดี๋ยวดูให้นะ

(和訳：今は無理だよ。明日発表がある。まだ準備していない。準備ができたら、
後でチェックするね。)

TM 32：โทษว่ะมึง กูก็อยากช่วยนะ แต่พรุ่งนี้มีนำเสนอ แค่นี้กูก็จำเนื้อหาที่จะนำเสนอไม่ได้ละห่า

(和訳：ごめん、手伝いたいんだけど、明日発表がある。発表原稿を全然覚えていないよ。)

TM 37：อื่ม กูยังไม่ได้อ่านสคริปต์เลย พรุ่งนี้นำเสนองาน ไว้งานหน้าละกันนะมึง

(和訳：{否定的反応}(ʔɯ̀ɯm)、原稿はまだ読んでいない。明日、発表があるよ。
今度、手伝うよ。)

TF 17：ไม่ได้จริงๆอะ ต้องพรีเซ็นต์งานพรุ่งนี้ จำสคริปต์ยังไม่ได้ คืนนี้คงโต้รุ่งเลยแก ลองถามเพื่อนคนอื่นดูก่อนนะ

(和訳：どうしても無理だ。明日発表しなくちゃ。原稿を全然覚えてない。今夜は徹夜
になりそうなんだ。別の友達に聞いてね。)

TF 23：มึง ตอนนี้กูเตรียมตัวพรีเซนต์ เครียดมากเลย

(和訳：[呼びかけ](mɯŋ)、今発表を準備してる。いろいろ心配していることがある。)

TF 31：เฮ้ย วันนี้กูช่วยมึงไม่ได้จริงๆ พรุ่งนี้มีพรีเซนต์งาน ปวดหัวมาก

(和訳：[呼びかけの間投詞](hɤ̀ɤi)、今日はどうしても手伝えない。明日発表がある。
目が回るほど忙しい。)

TF 47：เอ่อ ไม่ได้หวะ พรุ่งนี้กูต้องเตรียมตัวนำเสนองาน ซ้อมพูดมา3รอบละ ยังไม่เป๊ะเลย

(和訳：{否定的反応}(ʔəə)、無理だよ。明日の発表を準備しなくちゃ。3 回練習しても、
発表がなかなかうまくいかないんだ。)

[理由の内容+付加説明]の回答を見ると、TT が相手に対して、理由に説得力を持たせるために「まだ準備していない」「発表原稿を全然覚えてない」「いろいろ心配する」「目が回るほど忙しい」「発表がなかなかうまくいかなかった」などの自分の困難な状況を相手に説明する回答が多く見受けられた。

⑤{積極的代案提示}⑥{消極的代案提示}⑦{条件提示}⑧{約束}について、⑤{積極的代案提示}の出現率は 1%、⑥{消極的代案提示}は 30%、⑦{条件提示}は 21%となっており、JJ の条件提示 2%と比べると使用が多い。⑧{約束}については 3%である。回答例は以下の通りである。

{積極的代案提示}

TM 33：พรุ่งนี้มีนำเสนองาน ยังไม่ได้เตรียมข้อมูล โทษที เดี๋ยวกูลองถามเพื่อนให้นะ

(和訳：明日発表があって、まだ準備していない。ごめん。
じゃあ、俺が友達に聞いてみるね。)

{消極的代案提示}

TM 46：มึง กูต้องพรีเซนต์งานพรุ่งนี้ ไปถามคนอื่นสิ

(和訳：[呼びかけ](mɯŋ)、明日発表をしなくちゃ。別の人に聞いて。)

TF 37：มึง วันพรุ่งนี้กูมีนำเสนองาน กังวลมากมาย มึงลองถามเพื่อนในห้องดูดิ

(和訳：[呼びかけ](mɯŋ)、明日発表がある。いろいろ心配していることがある。
他の同級生に聞いてみろ。)

{条件提示}：回答に見られた{条件提示}は依頼の内容を変更する条件と、時間的余裕の仮定に分類される。。

依頼の内容を変更する条件：宿題チェックの依頼に応じず、数学の問題の解き方について助言する条件を提示する。

TF 46：ขอโทษทีนะมึง กูยุ่งมากจริงๆ มึงลองทำเองก่อน ถ้าไม่ได้ตรงไหน ก็มาถามกู

(和訳：ごめん、今は大変忙しい。とりあえず、自分でやってみて、
できないところがあれば、私に聞いてね。)

TF 48：มึง กูมีพรีเซนต์อะ ยังทำไม่เสร็จเลย ลองทำเองดูก่อน ไม่ได้ตรงไหนเขียนโน้ตทิ้งไว้ เดี๋ยวกูตอบ

(和訳：[呼びかけ](mɯŋ)、明日発表があって、まだ準備ができていないんだ。
とりあえず、自分でやってみて。できないところがあれば、メモしておいてね。
後で私が答えるよ。)

時間的余裕の仮定

TM 16：ตอนนี้กูไม่ว่างอะ ต้องเตรียมตัวนำเสนอ แต่มึงส่งมาในเฟตบุคก่อนละกัน ถ้ากูมีเวลาว่างจะดูให้

(和訳：今、時間無いんだ、発表を準備しなくちゃ。とりあえず Fackbookで
宿題の写真を送って。時間的に余裕があれば、チェックしてあげるね。)

TM 22：เอ่อ พรุ่งนี้มีงานนำเสนอหน้าห้อง เอาไว้พรุ่งนี้เช้า ถ้ามีเวลาว่างจะช่วยนะ

(和訳：{否定的反応}(ʔəə)、明日発表があるんだ。
明日の朝、もし時間的に余裕があれば、チェックしてあげるね。)

TM 30：เฮ้ย พรุ่งนี้กูมีงานต้องนำเสนออะ อาจจะไปช่วยตรวจให้ไม่ได้ แต่ถ้ากูเตรียมงานเสร็จแล้ว จะไปช่วย

(和訳：[呼びかけの間投詞](hɤ́əi)、明日発表があって、チェックできないかも。
準備ができたら、手伝うね。)

TF 18：อืม พรุ่งนี้เค้ามีงานที่ต้องนำเสนออะ ต้องเตรียมข้อมูลก่อน พรุ่งนี้เช้าได้ป่าว

(和訳：{否定的反応}(ʔɯ̀ɯm)、明日発表があって、資料を準備しなくちゃ。
明日の朝でいい？)

{約束}

TM 25：โทษทีหวะ วันนี้ต้องเตรียมนำเสนองาน ถ้าครั้งหน้าเดี๋ยวกูช่วยนะ หาคนอื่นไปก่อน โทษที

(和訳：ごめん。今日、発表を準備しなくちゃ。今度、是非手伝うよ。
今回は別の人に頼んで、ごめん。)

TF 3：คือพรุ่งนี้กูมีนำเสนองาน โทษที กูช่วยมึงไม่ได้ ไว้ครั้งหน้าละกันนะ

(和訳：実は明日発表があって、ごめんね。手伝えない。今度、手伝うよ。)

最後に<付加表現>のカテゴリーについては、最も出現率が高いのが⑨{否定的反応}46%で、JJ の 8%に比べると大きな差がある。このうち、[間投詞]が 16%、[呼びかけ]が 30%である。次に、⑯{非難}11%、⑩{理解}と⑬{共感}それぞれ 3%、⑪{驚き}と⑫{情報確認}それぞれ 1%である。回答例は以下の通りである。

{否定的反応}

用いられた表現：「เอ่อ」(ʔəə̀)、「อืม」(ʔɯ̀ɯm)、「โอ๊ย」(ʔóoi)、「เอิ่ม」(ʔə̀əm)

TF 18：อืม พรุ่งนี้เค้ามีงานที่ต้องนำเสนออะ ต้องเตรียมข้อมูลก่อน พรุ่งนี้เช้าได้ป่าว

(和訳：{否定的反応}(ʔɯ̀ɯm)、明日発表がある。資料を準備しなくちゃ。
明日の朝でいい？)

TF 16：เอิ่ม วันนี้ไม่ได้อะ เราต้องนำเสนองานหน้าห้องอะ ขอโทษด้วยนะ

(和訳：{否定的反応}(ʔə̀əm)、今日は無理だよ。明日発表しなくちゃ。ごめんね。)

用いられた表現：呼びかけの間投詞 เฮ้ย/เห้ย (hə́əi)

TF 5：เฮ้ย กูอยากช่วยมึงนะ แต่พรุ่งนี้กูมีนำเสนองาน มึงลองไปถามคนอื่นละกัน

(和訳：[呼びかけの間投詞](hə́əi)、手伝いたいんだけど、明日発表がある。
別の人に頼んでね。)

用いられた表現：呼称詞「มึง(mɯŋ)」、「แก(kɛɛ)」、「เพื่อน(phɯ̂an)」

TF 42：มึง กูไม่ว่างหวะ มีงานต้องทำอะ โทษที

(和訳：[呼びかけ](mɯŋ)、時間的に余裕がないよ。授業の課題がある。ごめん。)

TF 9：แก เราไม่ว่างอะ มีงานต้องนำเสนอ ถ้าเราทำเสร็จเดี๋ยวช่วยนะ

(和訳：[呼びかけ](kɛɛ)、時間的に余裕がないよ。明日発表しなくちゃ。準備ができた後、
もし余裕があれば、伝うね。)

TF 30：เพื่อน ขอโทษที พรุ่งนี้เรามีพรีเซนต์งาน ยังเตรียมข้อมูลไม่เสร็จ คงช่วยแกไม่ได้อะ ลองเอาไปให้A ตรวจดิ มันเก่ง

(和訳：[呼びかけ](phɯ̂an)、ごめんね。明日、発表がある。まだ準備ができていない。
手伝えないだろう。じゃあ、A さんにお願いしてみる？数学がよくできるから。)

{非難}

TM 2：เอ่อ มาขออะไรตอนนี้เนี่ย มึงมาตอนกูไม่ว่างตลอด อยากช่วยนะมึง แต่กี่มีงานต้องทำ ยังไม่เสร็จเลย

(和訳：{否定的反応}(ʔəə̀)、今更頼みに来たの？俺が忙しい時に、いつも頼みに来るよね。
手伝いたいんだけど、授業の課題がある。まだできていない。)

TM 3：มึง ช่วงที่กูว่าง ทำไมมึงไม่มา ตอนนี้กูงานเยอะ ยุ่งมาก

(和訳：[呼びかけ](mɯŋ)、俺が余裕があった時に、なんで頼みに来なかったの？
今、授業の課題がたくさんある。大変忙しい。)

TF 11：คราวหลังถามให้เร็วกว่านี้ ตอนนี้ไม่ว่าง ต้องเตรียมนำเสนองานวันพรุ่งนี้ ยังไม่ได้เริ่มเลย

(和訳：今度は、もっと早く頼みに来てね。今、時間的に余裕がない。明日の発表の準備しなくちゃ。まだ準備を始めていない。)

TF 13：มึง ง่ายขนาดนี้ทำเองไม่ได้หรอ กูไม่ว่าง

(和訳：[呼びかけ](mɯŋ)、こんな簡単なもん、自分でできないの？今、忙しい。)

{理解}

用いられた表現：間投詞「เหรอ」(rɤ̌ə)「อ่อ」(ʔɔ̀ɔ)

TM 4：เหรอ กูไม่ว่าง ไปถามคนอื่นละกันนะ

(和訳：{理解}(rɤ̌ə)。今、忙しい。別の人に頼んでみろ。)

TM 15：อ่อ มึงมาตอนกูไม่ว่างตลอด กูเตรียมนำเสนองานอยู่

(和訳：{理解}(ʔɔ̀ɔ)。俺が忙しい時に、いつも頼みに来るよね。今、発表を準備している。)

{共感}

TM 32：โทษว่ะมึง กูก็อยากช่วยนะ แต่พรุ่งนี้มีนำเสนอ แค่นี้กูก็จำเนื้อหาที่จะนำเสนอไม่ได้ละห่า

(和訳：ごめん、手伝いたいんだけど、明日発表がある。発表原稿を全然覚えていないよ。)

{驚き}

用いられた表現：間投詞「โห」(hǒo)

TF 19：โห!! มาขอร้องไรตอนนี้ กูกำลังเตรียมงานอะ

(和訳：{驚き}(hǒo)! 今更頼みに来たの？今、発表を準備しているよ。)

{情報確認}

TF 45：วันนี้หรอ? คงไม่ได้หวะ กูมีคิวนำเสนองานพรุ่งนี้ งั้นมึงถ่ายรูปส่งมาในไลน์ละกัน ถ้ากูว่างจะดูให้

(和訳：今日？無理だろう。明日発表があるよ。じゃあ、Line で写真を送って、時間的に余裕があれば、チェックしてあげるね。)

5.7.2.2 場面 7：意味公式の出現順序のパターン(TT)

続いて、意味公式の出現順序のパターンを考察する。回答 に見られた意味公式の出現順序のパターンを表 51 に示す。

表 51　TT: 場面 7(親・同等・軽)の 意味公式の出現順序のパターン

冒頭の意味公式	{理由}が中間にあるパターン	出現率
{否定的反応}	{否定的反応(呼)}+{理由}+{消極的代案提示}	8%
	{否定的反応(呼)}+{理由}+{条件提示}	3%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{条件提示}	3%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{消極的代案提示}	2%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{結論}	2%
	{否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}+{結論}	2%
	{否定的反応(呼)}+{理由}+{結論}+{詫び}	1%
	{否定的反応(呼)}+{理由}+{行動指示}	1%
	{否定的反応(呼)}+{理由}+{非難}+{詫び}	1%
	{否定的反応(呼)}+{詫び}+{理由}+{詫び}	1%
	{否定的反応(呼)}+{詫び}+{理由}+{結論}+{消極的代案提示}	1%
	{否定的反応(呼)}+{共感}+{理由}+{消極的代案提示}	1%
	{否定的反応(呼)}+{理由}+{消極的代案提示}+{詫び}	1%
	{否定的反応(呼)}+{理由}+{消極的代案提示}+{条件提示}	1%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{約束}	1%
	{否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}+{詫び}	1%
	{否定的反応(間)}+{結論}+{理由}+{詫び}	1%
	{否定的反応(呼)}+{理由}+{詫び}	1%
	{否定的反応(呼)}+{理由}+{結論}+{条件提示}	1%
	小計	**33%**
{詫び}	{詫び}+{理由}+{消極的代案提示}	4%
	{詫び}+{理由}+{結論}	2%
	{詫び}+{理由}+{条件提示}	1%
	{詫び}+{理由}+{詫び}	1%
	{詫び}+{理由}+{行動指示}	1%
	{詫び}+{理由}+{約束}+{消極的代案提示}+{詫び}	1%
	小計	**10%**
{結論}	{結論}+{理由}+{条件提示}	1%
	{結論}+{理由}+{詫び}	1%
	{結論}+{理由}+{消極的代案提示}	1%
	{結論}+{理由}+{行動指示}	1%
	小計	**4%**
{理解}	{理解}+{理由}+{消極的代案提示}	1%
	小計	**1%**
{消極的代案提示}	{消極的代案提示}+{理由}+{詫び}	1%
	小計	**1%**
{情報確認}	{情報確認}+{結論}+{理由}+{条件提示}	1%
	小計	**1%**

合計		50%
冒頭の意味公式	{理由}が冒頭の意味公式であるパターン	出現率
{理由}	{理由}+{条件提示}	7%
	{理由}+{消極的代案提示}	4%
	{理由}+{詫び}	3%
	{理由}+{行動指示}	2%
	{理由}+{結論}	1%
	{理由}+{詫び}+{積極的代案提示}	1%
	{理由}+{詫び}+{条件提示}	1%
	{理由}+{詫び}+{結論}+{約束}	1%
	{理由}+{結論}+{消極的代案提示}	1%
	{理由}+{非難}+{詫び}	1%
	{理由}+{消極的代案提示}+{詫び}	1%
合計		23%
冒頭の意味公式	{理由}が最後の意味公式であるパターン	出現率
{否定的反応}	{否定的反応(呼)}+{理由}	5%
	{否定的反応(呼)}+{非難}+{理由}	2%
	{否定的反応(呼)}+{結論}+{理由}	1%
	{否定的反応(呼)}+{詫び}+{結論}+{理由}	1%
	{否定的反応(間)}+{理由}	1%
	{否定的反応(間)}+{非難}+{理由}	1%
	{否定的反応(間)}+{非難}+{共感}+{理由}	1%
	{否定的反応(間)}+{結論}+{理由}	1%
	小計	13%
{結論}	{結論}+{理由}	3%
	小計	3%
{非難}	{非難}+{理由}	2%
	小計	2%
{詫び}	{詫び}+{理由}	1%
	{詫び}+{共感}+{理由}	1%
	小計	2%
{驚き}	{驚き}+{非難}+{理由}	1%
	小計	1%
{条件提示}	{条件提示}+{理由}	1%
	小計	1%
{消極的代案提示}	{消極的代案提示}+{理由}	1%
	小計	1%
{理解}	{理解}+{非難}+{理由}	1%
	小計	1%
合計		24%
冒頭の意味公式	{理由}なしのパターン	出現率
{非難}	{非難}+{条件提示}	1%
	小計	1%
{結論}	{結論}+{消極的代案提示}+{詫び}	1%
	小計	1%

{理解}	{理解}+{行動指示}	1%
	小計	**1%**
合計		**3%**
冒頭の意味公式	**意味公式が一つしかないパターン**	**出現率**
	なし	0%
合計		**0%**
総合計		**100%**

意味公式の出現順序のパターンは、全部で 62 パターンに分類される。{理由}が中間にあるパターンは 32 パターンで、出現率が 50%、{理由}が最後の意味公式であるパターンは 16 パターンで、出現率が 24%、{理由}が冒頭の意味公式であるパターンは 11 パターンで、出現率が 23%、{理由}なしのパターンは 3 パターンで、出現率が 3%で、意味公式が一つしかないパターンは全く見られなかった。目上からの軽い依頼の場面(場面 3)と比べると、同等からの依頼の場面(62 パターン)のほうが、目上からの軽い依頼の場面(25 パターン)より、パターンのバリエーションが豊富である。

意味公式の出現順序のパターンのうち、最も出現率の高い上位 2 位のパターンは{否定的反応(呼)}+{理由}+{消極的代案提示}(8%)、続いて {理由}+{条件提示}(7%)である。全体的な傾向を見ると、出現順序の異なるパターンがいくつかあることが分かった。回答例は以下の通りである。

{否定的反応(呼)}+{理由}+{消極的代案提示}

TM 47：มึง ตอนนี้กูไม่ว่าง ต้องเตรียมข้อมูลพรีเซนต์วันพรุ่งนี้ ถ้ารีบให้คนอื่นช่วยก่อน

(和訳：[呼びかけ](mɯŋ)、今時間的に余裕がない。明日の発表を準備しなくちゃ。
急ぎなら、別の人に頼んで。)

{理由}+{条件提示}

TF 39：ไม่ว่างอะแก ขอเตรียมข้อมูลรายงานก่อนนะ พรุ่งนี้เช้าดูให้ดูปะ

(和訳：時間的に余裕がない。発表を準備しなくちゃ。明日の朝、チェックしてもいい？)

続いて、{理由}が中間にあるパターンについて、出現順序のパターンの前半部と後半部を表52に示す。

表 52　TT: 場面 7(親・同等・軽)の 意味公式の出現順序のパターンの前半部と後半部

出現順序のパターンの前半部	出現率	出現順序のパターンの後半部	出現率
{否定的反応}+{理由}… {否定的反応(呼)}+{理由}… {否定的反応(間)}+{理由}…	26% (18%) (8%)	…{理由}+{消極的代案提示}	17%
{詫び}+{理由}…	10%	…{理由}+{条件提示}	9%
{結論}+{理由}…	4%	…{理由}+{詫び}	7%
{否定的反応}+{詫び}+{理由}… {否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}…	3% (3%)	…{理由}+{結論}	6%
{否定的反応}+{詫び}+{理由}… {否定的反応(呼)}+{詫び}+{理由}…	2% (2%)	…{理由}+{行動指示}	3%
{否定的反応}+{共感}+{理由}… {否定的反応(呼)}+{共感}+{理由}…	1% (1%)	…{理由}+{消極的代案提示}＋{詫び}	1%
{否定的反応}+{結論}+{理由}… {否定的反応(間)}+{結論}+{理由}…	1% (1%)	…{理由}+{消極的代案提示}＋{条件提示}	1%
{情報確認}+{結論}+{理由}…	1%	…{理由}+{結論}+{条件提示}	1%
{消極的代案提示}+{理由}…	1%	…{理由}+{結論}+{詫び}	1%
{理解}+{理由}…	1%	…{理由}+{結論}+{消極的代案提示}	1%
		…{理由}+{約束}+{消極的代案提示}＋{詫び}	1%
		…{理由}+{約束}	1%
		…{理由}+{非難}+{詫び}	1%
合計	**50%**	**合計**	**50%**

最も出現率の高い意味公式の出現順序のパターンの前半部は{否定的反応}+{理由}…(26%)、後半部は...{理由}+{消極的代案提示} (17%)である。回答例は以下の通りである。

{否定的反応(呼)}+{理由}…

TM 46：มึง กูต้องพรีเซนต์งานพรุ่งนี้ ไปถามคนอื่นสิ

(和訳：[呼びかけ](mɯŋ)、明日発表しなくちゃ。別の人に聞いてみろ。)

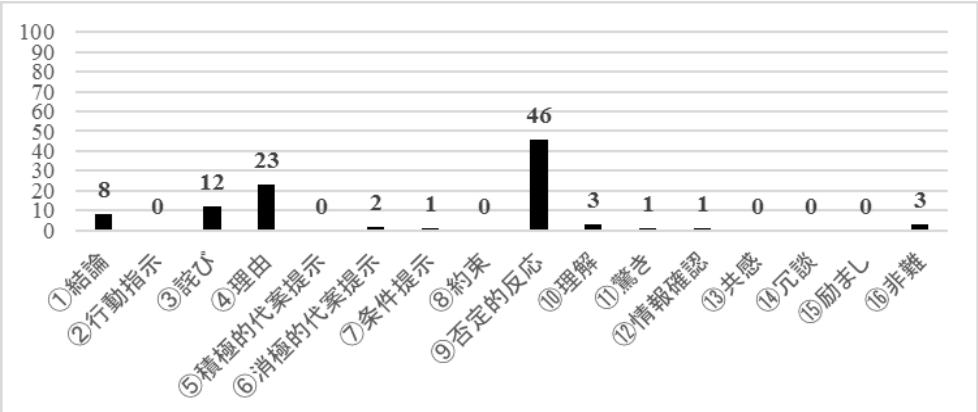
…{理由}+{消極的代案提示}

TM 14：ขอโทษนะมึง พอดีกูต้องอ่านนำเสนอวันพรุ่งนี้ มึงลองให้คนอื่นช่วยดูละกัน

(和訳：ごめん。ちょうど明日の発表の原稿を読まなくちゃ。別の人に頼んでみてね。)

5.7.2.3 場面 7：冒頭の意味公式(TT)

次に、冒頭の意味公式を考察する。冒頭に見られた意味公式は{結論}{詫び}{理由}{消極的代案提示}{条件提示}{否定的反応}{理解}{驚き}{情報確認}{非難}が用いられており、全部で 10 種類の意味公式が見られた。出現率を図 69 に示す。



〈直接的断り〉のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯
TT{否定的反応}46%　(間投詞 16%、呼びかけ 30%)

図 69　TT: 場面 6(疎・同等・重)の断りの冒頭の意味公式の出現率

TT が用いた冒頭の意味公式は、<付加表現>のカテゴリーに分類される⑨{否定的反応}(46%)の出現率が突出している。そのうち[間投詞]が 16%、[呼びかけ]が 30%である。続いて、<間接的断り>である④{理由}(23%)、③{詫び}(12%)である。他の意味公式は出現率が 10%以下である。まとめると、TT は{否定的反応}の使用が目立ち、特に[呼びかけ]の出現率が約 3 割である。以下は回答例である。

{否定的反応(間)}を冒頭の意味公式とする回答例

TF 27：เอ่อ ขอโทษที พรุ่งนี้มีพรีเซนต์อะ คงช่วยไม่ได้

(和訳：{否定的反応}(ʔəə)、ごめん。明日発表がある。手伝えないだろう。)

{否定的反応(呼)}を冒頭の意味公式とする回答例

TM 13：มึง พรุ่งนี้กูก็มีนำเสนองาน ให้คนอื่นตรวจแทนได้มั้ย

(和訳：[呼びかけ](mɯŋ)、明日俺も発表がある。別の人に当たってくれる？)

{理由}を冒頭の意味公式とする回答例

TM 41：พรุ่งนี้กูมีงานต้องนำเสนอ คงช่วยไม่ได้นะ

(和訳：明日、俺が発表しなくちゃ。手伝えないだろう。)

{詫び}を冒頭の意味公式とする回答例

TF 28：ขอโทษวะมึง พรุ่งนี้กูมีคิวนำเสนอ ต้องเตรียมข้อมูล โทษที

(和訳：ごめんね、明日発表がある。資料を準備しなくちゃ。ごめんね。)

{結論}を冒頭の意味公式とする回答例

TM 42：วันนี้คงไม่ได้ว่ะ ต้องเตรียมนำเสนองาน ไม่มีเวลาเลย โทษทีนะมึง

(和訳：今日は無理だよ。発表の準備をしなくちゃ。時間的に余裕が全くない。ごめんね。)

{理解}を冒頭の意味公式とする回答例

TM 4：เหรอ กูไม่ว่าง ไปถามคนอื่นละกันนะ

(和訳：{理解}(rǎə)。今、時間的に余裕がない。別の人に頼んでね。)

{非難}を冒頭の意味公式とする回答例

TF 10：ทำไมมาถามวันนี้เนี่ย พรุ่งนี้มีนำเสนองาน

(和訳：なんで今日依頼に来たの？明日、発表がある。)

{消極的代案提示}を冒頭の意味公式とする回答例

TM 9：มึงไปถามคนอื่นละกัน กูไม่ว่าง

(和訳：他の人に聞いて。今、時間的に余裕がない。)

{条件提示}を冒頭の意味公式とする回答例

TF 34：ขอเป็นพรุ่งนี้เช้าได้ปะ วันนั้นเค้าไม่ว่างอะ

(和訳：明日の朝、チェックしてもいい？今日は、時間的に余裕がない。)

{情報確認}を冒頭の意味公式とする回答例

TF 45：วันนี้หรอ? คงไม่ได้หวะ กูมีคิวนำเสนองานพรุ่งนี้ งั้นมึงถ่ายรูปส่งมาในไลน์ละกัน ถ้ากูว่างจะดูให้

(和訳：今日？無理だろう。明日発表があるん。じゃあ、Line で宿題の写真を送って。
時間的に余裕があれば、チェックしてあげるね。)

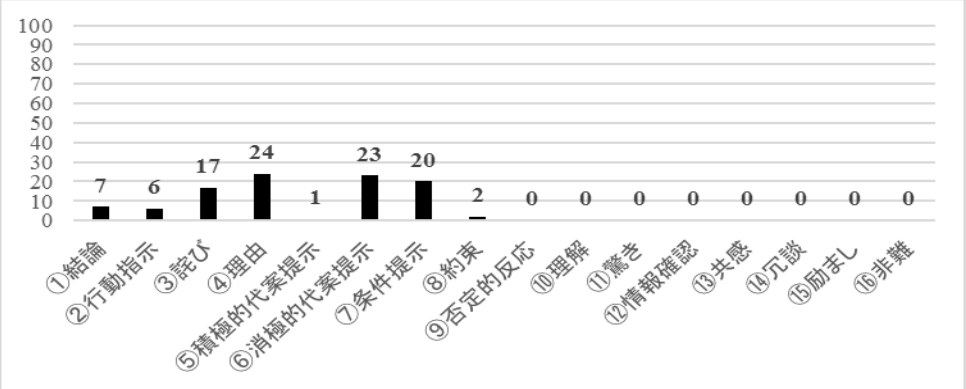
{驚き}を冒頭の意味公式とする回答例

TF 19：โห!! มาขอร้องไรตอนนี้ กูกำลังเตรียมงานอะ

(和訳：{驚き}(hǒo)! 今更何か頼みに来たの？私、発表の準備をしている。)

5.7.2.4 場面 7：最後の意味公式(TT)

次に、最後の意味公式を考察する。最後の意味公式は{結論}{行動指示}{詫び}{理由}{積極的代案提示}{消極的代案提示}{条件提示}{約束}が用いられており、全部で 8 種類の意味公式が見られた。出現率を図 70 に示す。



〈直接的断り〉のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯
{理由}24% (理由が最後の意味公式であるパターン 24%)

図 70　TT: 場面 7(親・同等・軽)の断りの最後の意味公式の出現率

TT が用いた最後の意味公式は出現率の高い順に④{理由}(24%)、続いて⑥{消極的代案提示}(23%)、⑦{条件提示}(20%)、③{詫び}(17%)という順である。この 4 種類で 8 割を超えるのに対して、①{結論}(7%)、②{行動指示}(6%)、⑧{約束}(2%)、⑤{積極的代案提示}(1%)は出現率が低い。この 3 種類を合わせて 2 割に過ぎない。全体的な傾向を見ると、TT は{詫び}{理由}{消極的代案提示}{条件提示}の 4 つの意味公式を同じぐらいの頻度で使用することが分かった。回答例は以下の通りである。

{結論}を最後の意味公式とする回答例

TM 28：เอ่อ กูต้องนำเสนองานวันพรุ่งนี้ ไม่สะดวกอะ

(和訳：{否定的反応}(ʔəə)、明日発表しなくちゃ。都合が悪いよ。)

{行動指示}を最後の意味公式とする回答例

TF 14：กูไม่ว่าง ทำเองละกันนะ

(和訳：時間的に余裕がない。自分でやってね。)

{詫び}を最後の意味公式とする回答例

TM 11：ไม่ได้อะแก ลองถามคนอื่นดูละกัน ขอโทษที

(和訳：無理だよ。別の人に聞いてね。ごめん。)

{理由}を最後の意味公式とする回答例

TM 32：โทษว่ะมึง กูก็อยากช่วยนะ แต่พรุ่งนี้มีนำเสนอ แค่นี้กูก็จำเนื้อหาที่จะนำเสนอไม่ได้ละห่า

(和訳：ごめん、手伝いたいんだけど、明日発表がある。発表原稿を全然覚えていないよ。)

{積極的代案提示}を最後の意味公式とする回答例

TM 33：พรุ่งนี้มีนำเสนองาน ยังไม่ได้เตรียมข้อมูล โทษที เดี๋ยวกูลองถามเพื่อนให้นะ

(和訳：明日発表があって、まだ準備していない。ごめん。
じゃあ、俺が友達に聞いてみるね。)

{消極的代案提示}を最後の意味公式とする回答例

TM 19：เอ่อ กูเตรียมนำเสนองานวันพรุ่งนี้อะ ลองให้คนอื่นช่วยดิ

(和訳：{否定的反応}(ʔəə)、明日の発表を準備してる。別の人に頼んでみて。)

{条件提示}を最後の意味公式とする回答例

TM 30：เฮ้ย พรุ่งนี้กูมีงานต้องนำเสนออะ อาจจะไปช่วยตรวจให้ไม่ได้ แต่ถ้ากูเตรียมงานเสร็จแล้ว จะไปช่วย

(和訳：[呼びかけの間投詞](hɤ̀əi)、明日発表があって、チェックできないかも。
準備ができたら、手伝うね。)

{約束}を最後の意味公式とする回答例

TF 3：คือพรุ่งนี้กูมีนำเสนองาน โทษที กูช่วยมึงไม่ได้ ไว้ครั้งหน้าละกันนะ

(和訳：明日発表があって、ごめんね。手伝えない。今度、手伝うよ。)

フォローアップインタビューにおいては、軽い依頼は重い依頼より断りにくいと考えられている傾向が見られた。というのも、「重い依頼は相手に大きな負担を感じさせるので、断られる可能性が高いが、軽い依頼は相手に大きな負担を感じさせないので、手伝ってくれる可能性が高い」と依頼者が思うからである。「宿題のチェックのような軽い依頼をされた人が頼み事に応じられない場合は、協力できないことで思いやりがない人だと思われる恐れがある」「どうしても協力できない場合、協力したい気持ちを表すために、自分が手伝えることを提示したり、別の人に頼むように助言をしたりするべきである」「何も提示しない場合は、相手との良好な関係を保つために、相手に配慮の気持ちが含まれる{詫び}で発話を終了させた方が丁寧な言い方である」ほかにも、「友達なら断りの最後に直接的断りを明言すると、依頼者の気持ちを傷つけるかもしれないが、理由を説明すれば、失礼にならないと思う」という意見があった。

5.7.2.5 場面 7：まとめ(TT)

場面 7 の親しい同等からの軽い依頼に対する断りの場面において、TT の使用した意味公式の傾向をまとめる。

(1) 意味公式の全体における出現率を見ると、出現率が 50%以上の意味公式は{理由}97%のみである。

(2) 意味公式の出現順序のパターンについては、{否定的反応}+{理由}+{消極的代案提示}は最も出現率が高い。そして、{理由}が中間にあるパターンのうち、最も出現率が高い前半部は{否定的反応}+{理由}…で、後半部は…{理由}+{消極的代案提示}である。

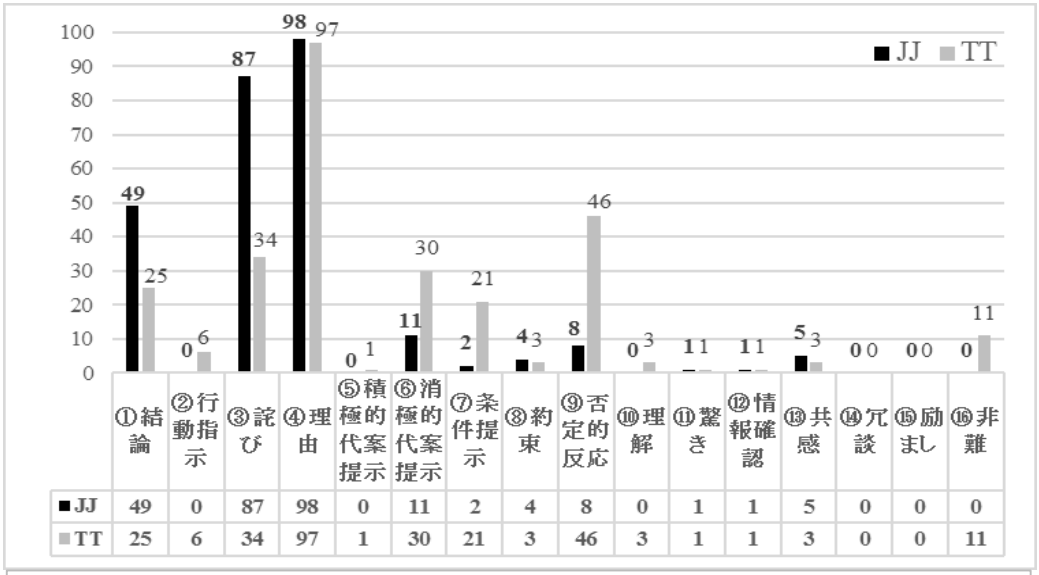
(3) 断りの冒頭の意味公式は、ほぼ半分の TT が{否定的反応}を使用している。

(4) 断りの最後の意味公式は、TT が{詫び}{理由}{消極的代案提示}{条件提示}の 4 つの意味公式を同程度の頻度で使用する。

5.7.3 場面 7：日本語母語話者とタイ語母語話者の断りの意味公式の比較

本項では、場面 7(親・同等・軽)での日本語母語話者とタイ語母語話者の断りにおける意味公式を比較する。

5.7.3.1 場面 7：JJ・TT の意味公式の出現率の比較 (JJ・TT)



〈直接的断り〉のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯

JJ{詫び}87%　(一回の詫び 67%、二回の詫び 20%)
TT{詫び}34% (一回の詫び 30%、二回の詫び 4%)
JJ{理由}98% (理由の内容 58%、理由の内容+付加説明 40%)
TT{理由}97% (理由の内容 46%、理由の内容+付加説明 51%)
JJ{否定的反応}8%　　(間投詞 8%、 呼びかけ 0%)
TT{否定的反応}46%　(間投詞 16%、呼びかけ 30%)

図 71　JJ・TT: 場面 7(親・同等・軽) の断りの意味公式の出現率

親しい友達からの軽い依頼を断る場面における JJ の出現率が高い順に④{理由}(98%)、③{詫び}(87%)、①{結論}(49%)、⑥{消極的代案提示}(11%)という順になっている。それ以外の意味公式の出現率は 10%以下である。一方、TT においては出現率が高い順に④{理由}(97%)、⑨{否定的反応}(46%)、③{詫び}(34%)、⑥{消極的代案提示}(30%)、①{結論}(25%)、⑦{条件提示}(21%)、⑯{非難}(11%)となっている。それ以外の意味公式の出現率は 10%以下である。

JJ と TT の間に意味公式の出現率に有意差があるかどうかカイ二乗検定を用いて検定した結果、有意差が見られた ($\chi 2(14)=106.22$, $p<.05$)。残差分析を行ったところ、有意差が見られたのは JJ の{結論}(Z=3.27)、{詫び}(Z=5.82)と、TT の{行動指示}(Z=2.39)、{消極的代案提示}(Z=2.89)、{条件提示}(Z=3.90)、{否定的反応}(Z=5.22)、{非難}(Z=3.25)である。

JJ と TT の相違点を以下の 6 点にまとめる。

(1) JJ は{結論}の出現率が 49%であるのに対して、TT は 25%と、2 割以上の差がある。JJ は直接的断りの傾向が見られることが明らかになった。

(2) JJ は{詫び}の出現率が高い(87%)。しかし、TT の出現率は 34%で、JJ の半分にも満たない。JJ は断りの前に、まず{詫び}を述べることが多い。JJ の意見では、「{詫び}は相手との良好な関係を維持したり、相手の気持ちを配慮したりするため」に用いるという。しかし、TT の意見では、「親しい友達なら、{詫び}を述べるのは距離を置くことになるため、必要がない」という。

(3) JJ と TT は双方とも{理由}の出現率が高いことが共通点であるが、説明の仕方に異なる点がある。JJ は[理由の内容]のみを述べる傾向が見られる。しかし、TT は[理由の内容]と[理由の内容+付加説明]の出現率が同程度である。さらに、理由の内容に加えて、理由を説明する場合、JJ は「発表の準備がある」という理由を述べてから、「時間がない」「忙しい」という詳しい説明をする。一方、TT は相手に理由を納得してもらえるように、自分が困った状況を説明する特徴がある。例えば、「まだ準備していない」「発表原稿を全然覚えてない」「いろいろ心配している」「頭が回るほど忙しい」「発表がなかなかうまくいかなかった」などである。

(4) JJ は{条件提示}(2%){消極的代案提示}(11%)の使用を控えている。しかし、TT は{条件提示}と{消極的代案提示}の出現率が 2-3 割である。{条件提示}の場合、物事の時間的順序は JJ には全く見られなかった。断っても、手伝いたい気持ちを表すために、TT は「余裕があったら、 手伝うね」のように約束のような物事の時間的順序を提示することが多く見られる。

(5) TT は{冗談}を言う特徴がある。内容を見ると、「ごはんをおごる」という冗談が多く見られる。「友達だから互いに助け合うのは当然なことである。しかし、翻訳のような重い依頼は、自分の時間と努力がかかる作業である。無料で手伝ってあげるのは大変でも、思いやりはお金で買えないので、友達から時給を頼むのはよくないことだ」と考える。「時給の代わりに「ごはん」や「お酒」をおごってもらうことを頼む。本当におごってもらいたい気持ちではなく、おごってもらったら、ありがたく感じる」と言う意見がある。一方、JJ の意見では、「翻訳の依頼は被依頼者の時間がかかる。アルバイトと同じように時給の支払いをしないと、失礼になると思った」という意見があった。時給の支払いで手伝うことについて JJ と TT の意見が違うことが明らかになった。

(6) TT は{非難}の出現率が 1 割であるが、JJ には全く見られなかった。

5.7.3.2 場面 7：意味公式の出現順序のパターンの比較 (JJ・TT)

次に、JJ と TT の意味公式の出現順序のパターンを比較する。

表 53　JJ・TT: 場面 7(親・同等・軽)の 意味公式の出現順序のパターン

{理由}が中間にあるパターン			
出現順序のパターンの前半部(JJ)	出現率	出現順序のパターンの前半部(TT)	出現率
*{詫び}+{理由}…	56%	**{否定的反応}+{理由}… ({否定的反応(呼)}+{理由}…) ({否定的反応(間)}+{理由}…)	26% (18%) (8%)
**{否定的反応}+{理由}… ({否定的反応(間)}+{理由}…)	5% (5%)	*{詫び}+{理由}…	10%
{共感}+{理由}…	3%	{結論}+{理由}…	4%
{驚き}+{理由}…	1%	{否定的反応}+{詫び}+{理由}… ({否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}…)	3% (3%)
{情報確認}+{理由}…	1%	{否定的反応}+{詫び}+{理由}… ({否定的反応(呼)}+{詫び}+{理由}…)	2% (2%)
{詫び}+{共感}+{理由}…	1%	{否定的反応}+{共感}+{理由}… ({否定的反応(呼)}+{共感}+{理由}…	1% (1%)
		{否定的反応}+{結論}+{理由}… ({否定的反応(間)}+{結論}+{理由}…)	1% (1%)
		{情報確認}+{結論}+{理由}…	1%
		{消極的代案提示}+{理由}…	1%
		{理解}+{理由}…	1%
合計	**67%**	合計	**50%**
出現順序のパターンの後半部(JJ)	出現率	出現順序のパターンの後半部(TT)	出現率
…{理由}+{結論}*	30%	…{理由}+{消極的代案提示}****	17%
…{理由}+{詫び}**	12%	…{理由}+{条件提示}******	9%
…{理由}+{結論}+{詫び}***	10%	…{理由}+{詫び}**	7%
…{理由}+{消極的代案提示}****	8%	…{理由}+{結論}*	6%
…{理由}+{結論}+{約束}	2%	…{理由}+{行動指示}	3%
…{理由}+{約束}*****	2%	…{理由}+{消極的代案提示}＋{詫び}	1%
…{理由}+{条件提示}******	2%	…{理由}+{消極的代案提示}＋{条件提示}	1%
…{理由}+{結論}+{消極的代案提示}*******	1%	…{理由}+{結論}+{条件提示}	1%
		…{理由}+{結論}+{詫び}***	1%
		…{理由}+{結論}+{消極的代案提示}*******	1%
		…{理由}+{約束}+{消極的代案提示}＋{詫び}	1%
		…{理由}+{約束}*****	1%
		…{理由}+{非難}+{詫び}	1%
合計	**67%**	合計	**50%**
{理由}が冒頭の意味公式であるパターン			
JJ	出現率	TT	出現率
{理由}+{詫び}*	6%	{理由}+{条件提示}	7%

{理由}+{結論}+{詫び}	3%	{理由}+{消極的代案提示}****	4%
{理由}+{結論}**	2%	{理由}+{詫び}*	3%
{理由}+{詫び}+{条件提示}***	1%	{理由}+{行動指示}	2%
{理由}+{消極的代案提示}****	1%	{理由}+{結論}**	1%
{理由}+{消極的代案提示}+{詫び}*****	1%	{理由}+{詫び}+{積極的代案提示}	1%
		{理由}+{詫び}+{条件提示}***	1%
		{理由}+{詫び}+{結論}+{約束}	1%
		{理由}+{結論}+{消極的代案提示}	1%
		{理由}+{非難}+{詫び}	1%
		{理由}+{消極的代案提示}+{詫び}*****	1%
合計	**14%**	合計	**23%**

{理由}が最後の意味公式であるパターン

JJ	出現率	TT	出現率
*{詫び}+{理由}	14%	{否定的反応}+{理由} ({否定的反応(呼)}+{理由}) ({否定的反応(間)}+{理由})	6% (5%) (1%)
{否定的反応}+{詫び}+{理由} ({否定的反応(間)}+{詫び}+{理由})	2% (2%)	{否定的反応(呼)}+{非難}+{理由} ({否定的反応(呼)}+{非難}+{理由}) ({否定的反応(間)}+{非難}+{理由})	3% (2%) (1%)
{共感}+{理由}	1%	{否定的反応}+{結論}+{理由} ({否定的反応(呼)}+{結論}+{理由}) ({否定的反応(間)}+{結論}+{理由})	2% (1%) (1%)
		{否定的反応}+{詫び}+{結論}+{理由} ({否定的反応(呼)}+{詫び}+{結論}+{理由})	1% (1%)
		{否定的反応}+{非難}+{共感} +{理由} ({否定的反応(間)}+{非難}+{共感}+{理由})	1% (1%)
		{結論}+{理由}	3%
		{非難}+{理由}	2%
		*{詫び}+{理由}	1%
		{詫び}+{共感}+{理由}	1%
		{驚き}+{非難}+{理由}	1%
		{条件提示}+{理由}	1%
		{消極的代案提示}+{理由}	1%
		{理解}+{非難}+{理由}	1%
合計	**17%**	合計	**24%**

{理由}なしのパターン

JJ	出現率	TT	出現率
{否定的反応}+{結論} {否定的反応(間)}+{結論})	1% (1%)	{非難}+{条件提示}	1%
{詫び}+{結論}	1%	{結論}+{消極的代案提示}+{詫び}	1%
		{理解}+{行動指示}	1%

合計	2%	合計	3%
意味公式が一つしかないパターン			
JJ	出現率	TT	出現率
なし	0%	なし	0%
合計	0%	合計	0%
総合計	100%	総合計	100%

まず、JJ の出現率の高い順に、{理由}が中間にあるパターンの出現率が 67%、続いて{理由}が最後の意味公式であるパターンの出現率が 17%、{理由}が冒頭の意味公式であるパターンの出現率が 14%、{理由}なしのパターンの出現率が 2%である。一方、TT は{理由}が中間にあるパターンの出現率が 50%、{理由}が最後の意味公式であるパターンの出現率が 24%、{理由}が冒頭の意味公式であるパターンの出現率が 23%、{理由}なしのパターンの出現率が 3%である。

JJ と TT の意味公式の出現順序のパターンの相違点を以下の 3 点にまとめる。

(1) JJ は{理由}が中間にあるパターンの出現率が 67%を超えるが、TT は 50%に過ぎない。{理由}が中間にあるパターン以外、TT は{理由}が冒頭の意味公式であるパターンの出現率が 23%で、{理由}が最後の意味公式であるパターンの出現率が 24%である。つまり、TT は{理由}が中間にあるパターンと、{理由}が最初と最後にあるパターンを合わせた出現率がほぼ 5 割ずつである。

(2) 出現順序のパターンの前半部を見ると、JJ は{詫び}+{理由}..の出現率が最も高い(56%)のに対して、TT は出現率がわずか 10%である。TT の出現率が最も高いパターンは{否定的反応} +{理由}…(26%)であるが、JJ は 5%に過ぎない。

(3) 出現順序のパターンの後半部について、JJ は…{理由}+{結論}の出現率が最も高い(30%)が、TT はわずか 6%である。TT は…{理由}+ {消極的代案提示}の出現率が最も高い(17%)が、JJ は 8%である。

5.7.3.3 場面 7：冒頭の意味公式の比較 (JJ・TT)

TT と JJ が用いた冒頭の意味公式の出現率を図 72 に示す。

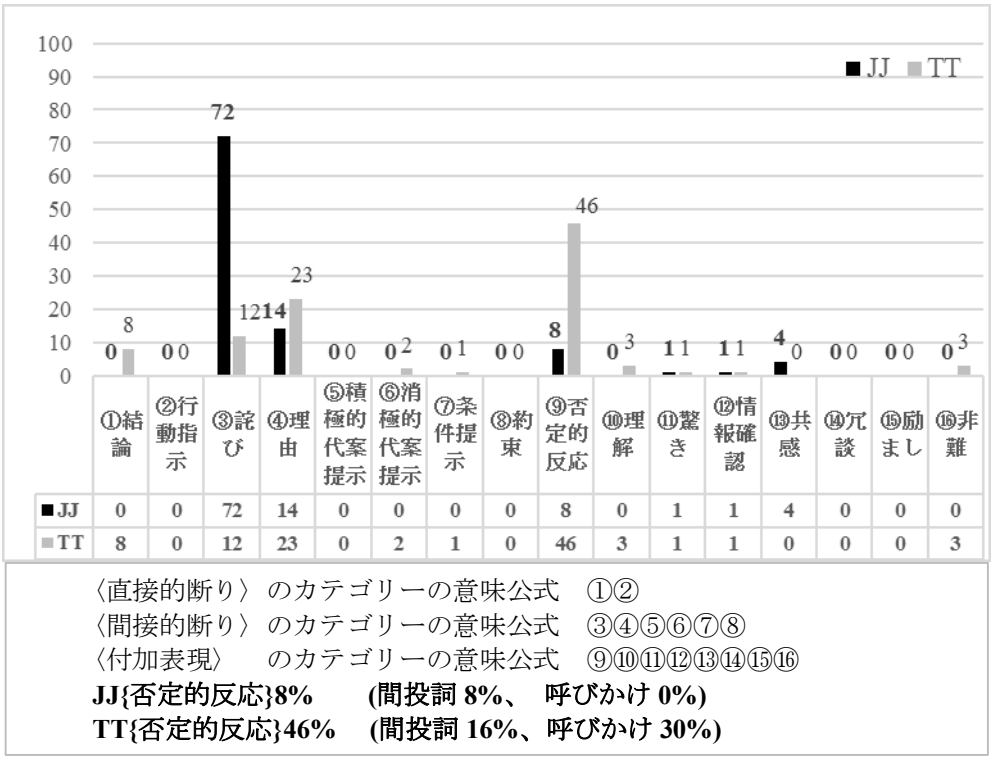


図 72 JJ・TT: 場面 7(親・同等・軽)の断りの冒頭の意味公式の出現率

JJ が用いた冒頭における意味公式は、<間接的断り>のカテゴリーに分類される③{詫び}の出現率が突出している(72%)。他の意味公式は出現率が低い。一方、TT は<付加表現>のカテゴリーに分類される⑨{否定的反応}(46%)の出現率が最も高く、続いて<間接的断り>である④{理由}(23%)、③{詫び}(12%)である。他の意味公式は出現率が低い。

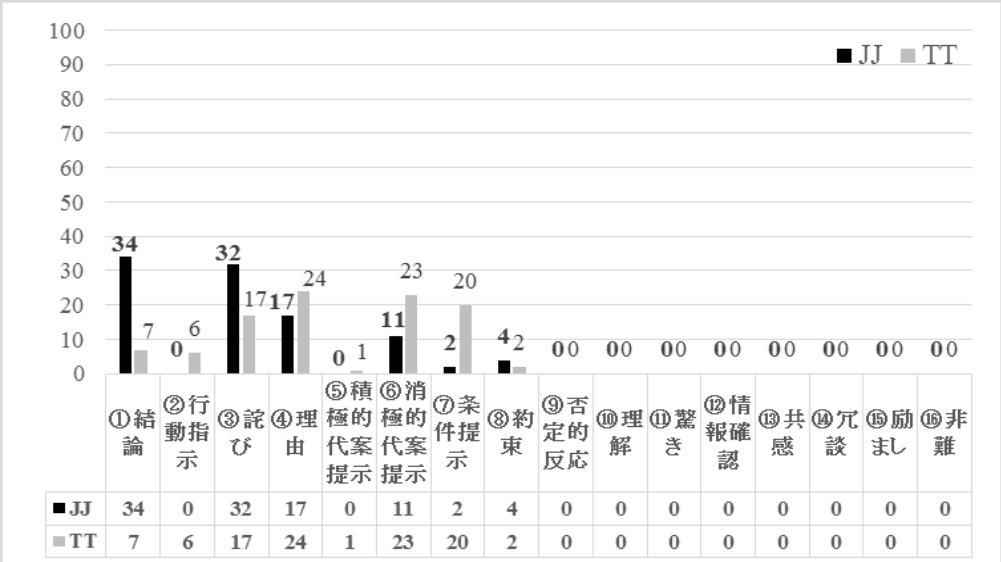
JJ と TT の相違点を以下の 2 点にまとめる。

(1) JJ は{詫び}の出現率が突出している(72%)。しかし、 TT は{否定的反応}の出現率が最も高い(46%)。{否定的反応}のうち、[呼びかけ]を使用する傾向が見られる。

(2) JJ は出現率が最も高い意味公式は{詫び}(72%)であるのに対して、TT は大幅に少ない(12%)。

5.7.3.4 場面 7：最後の意味公式の比較 (JJ・TT)

次に、最後の意味公式を考察する。出現率を図 73 に示す。



	①結論	②行動指示	③詫び	④理由	⑤積極的代案提示	⑥消極的代案提示	⑦条件提示	⑧約束	⑨否定的反応	⑩理解	⑪驚き	⑫情報確認	⑬共感	⑭冗談	⑮励まし	⑯非難
JJ	34	0	32	17	0	11	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0
TT	7	6	17	24	1	23	20	2	0	0	0	0	0	0	0	0

〈直接的断り〉のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯
JJ{理由}17%　(理由が最後の意味公式であるパターン 17%)
TT{理由}24% (理由が最後の意味公式であるパターン 24%)

図 73　JJ・TT: 場面 7(親・同等・軽)の断りの最後の意味公式の出現率

JJ が用いた最後の意味公式は、<直接的断り>である①{結論}(34%)の出現率が最も高く、続いて、<間接的断り>である③{詫び}(32%)、④{理由}(17%)、⑥{消極的代案提示}(11%)という順である。他の意味公式は出現率が低い。一方、TT が用いた最後の意味公式は出現率の高い順に④{理由}(24%)、続いて⑥{消極的代案提示}(23%)、⑦{条件提示}(20%)、③{詫び}(17%)である。他の意味公式は出現率が低い。

JJ と TT が用いた最後の意味公式の相違点を以下の 4 点にまとめる。

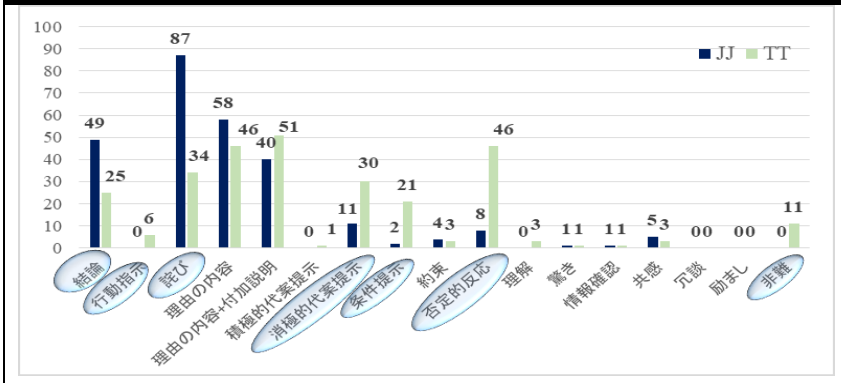
(1) JJ で最も出現率が高いのは{結論}(37%)であるが、TT はわずか 7%である。
(2) JJ のほうが TT に比べ{詫び}の出現率が二倍高いのに対して、{消極的代案提示}の出現率は 1/2 である。
(3) TT においては{条件提示}の出現率が三番目に高く 20%だが、JJ はわずか 2%である。
(4) JJ は{結論}{詫び}{理由}、TT は{理由}{消極的代案提示}{条件提示}{詫び}を使用する傾向が見られる。

{結論}の使用に関する JJ の意見を聞いたところ、「断りを明言しないと、相手に再依頼される可能性がある。」ほかにも、「中途半端に手伝いたくないから、最後まで手伝えそうにない場合は、最初から断ったほうがいい」という意見もあった。

しかし、TT の意見では、「{結論}を述べるのは、依頼者の気持ちを傷つけるかもしれないので、使用を控えるべきである」と思った人が多い。「宿題のチェックくらいの軽い依頼に応じられない場合は、思いやりがない人だと思われる恐れがある」「相手との良好な関係を保つため、自分が手伝えることを提示したり、別の人に頼むように助言をしたりするべきである」という意見も見られた。

5.7.3.5 場面 7：JJ と TT が用いた意味公式の使用のまとめ

意味公式の出現率

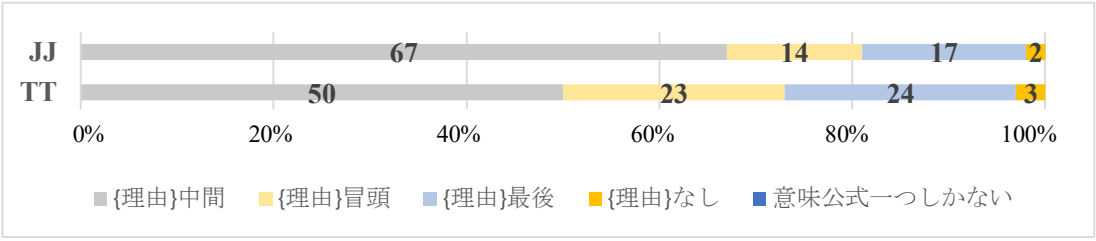


カイ二乗検定を用いて検定した結果、有意差が見られた（$\chi 2(14)=106.22$, $p<.05$）。

残差分析を行ったところ、有意差が見られたのは **JJ** の{結論}(Z=3.27)、{詫び}(Z=5.82)

TT の{行動指示}(Z=2.39)、{消極的代案提示}(Z=2.89)、{条件提示}(Z=3.90)、{否定的反応}(Z=5.22)、{非難}(Z=3.25)

意味公式の出現順序のパターン

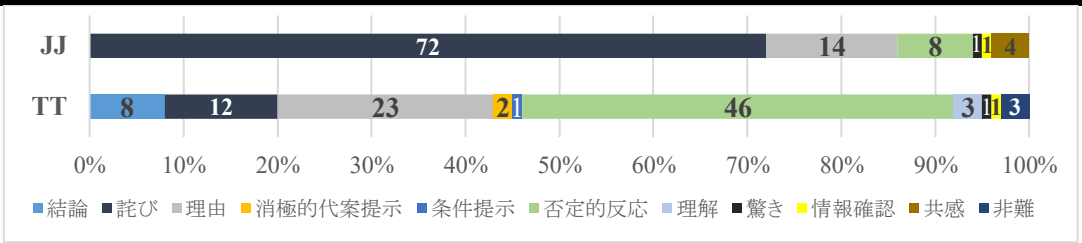


(1) **JJ** は{理由}が中間にあるパターンを使用する傾向が強い(67%)。しかし、**TT** のうち、当該パターンを使用したのは 50%であり、残りの TT に関しては{理由}が冒頭の意味公式であるパターンと、{理由}が最後の意味公式であるパターンを多く使用する傾向が見られる。

(2) 出現順序のパターンの前半部について、**JJ** は{詫び}+{理由}..、**TT** は{否定的反応}+{理由}..の出現率が最も高いという共通点が見られる。

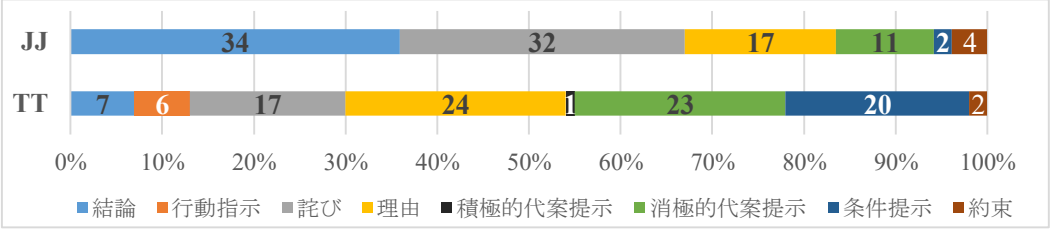
(3)出現順序のパターンの後半部について、**JJ** は…{理由}+{結論}、**TT** は…{理由}+{消極的代案提示}の出現率が最も高い。

冒頭の意味公式



JJ は{詫び}(72%)を使用する傾向が強い。一方、**TT** の半数は{否定的反応}(46%)を使用している。一方で、残りの半数はその他の意味公式を使用している。また、**JJ** と比較すると、**TT** のほうが冒頭の意味公式のバリエーションが多いことが分かった。

最後の意味公式



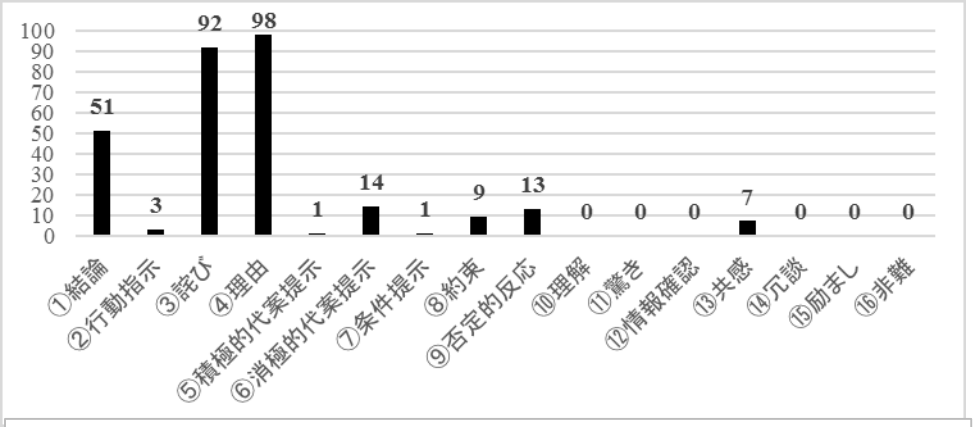
JJ は{結論}(34%)、{詫び}(32%)、{理由}(17%)の 3 つの意味公式を、**TT** は{理由}(24%)、{消極的代案提示}(23%)、{条件提示}(20%)、{詫び}(17%)の 4 つの意味公式を使用する傾向が見られる。

5.8 場面 8：親しくない同等からの軽い依頼

本節では、場面 8 で日本語母語話者(JJ)とタイ語母語話者(TT)が用いた意味公式の出現率を報告する。この場面は「親しくない同級生に数学の宿題をチェックすることを頼まれる」場面を設定した。

5.8.1 場面 8: 日本語母語話者の使用した意味公式

5.8.1.1 場面 8：意味公式の出現率(JJ)



〈直接的断り〉のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯
JJ{詫び}92%　(一回の詫び 79%、二回の詫び 13%)
JJ{理由}98% (理由の内容 56%、理由の内容+付加説明 42%)

図 74　JJ: 場面 8(疎・同等・軽)の断りの意味公式の出現率

親しくない同等からの軽い依頼を断る場面において、出現率が 50%以上の意味公式は、高い順に④{理由}(98%)、続いて③{詫び}(92%)、①{結論}(51%)である。このうち{結論}は<直接的断り>、その他は<間接的断り>のカテゴリーに分類される。

以下、分類したカテゴリーに従って個々の意味公式について具体的な説明を加える。<直接的断り>のカテゴリーに分類される①{結論}については、言語形式の違いにより JJ の{結論}の言い方は 4 つのパターンに分類される。

(1)(副詞+)イ・ナ形容詞(+終助詞)

用いられた表現：「無理です」「どうしても無理やわ」

JM 15：ごめんなさい、ちょっと忙しくて、無理です。別の人に頼んでくれませんか。

JM 45：ほんまにごめん、明日まじで忙しくて、どうしても無理やわ。

(2)動詞の可能形の否定形(+終助詞)

用いられた表現：「手伝うことができない」「協力できないです」「できません」
「チェックできないです」「応じることができません」

「見ることができないです」　「できひんわ」「行けへんわ」「手伝われへんわ」

JM 5：本当にごめん、できひんわ。

JM 28：俺も明日までにしないといけない課題があるので、手伝われへんわ。ごめん。

(3)動詞の可能形の否定形/イ・ナ形容詞(+モダリティ形式/終助詞)

用いられた表現：「手伝えないかも」「協力できそうにないです」

「手伝えそうにないです」「無理かも」「無理かな」

JM 11：すみません、本当に手伝いたいですが、明日ちょっと発表があります。

手伝えないかも。

JF 23：すみません、私も明日の発表の準備があるので、手伝えそうにないです。

(4) 副詞+動詞の可能形の否定形/イ・ナ形容詞 (+モダリティ形式/終助詞)

用いられた表現：「ちょっと難しいです」「ちょっと厳しい」「ちょっと無理です」

「ちょっと手伝えないんです」「ちょっとできないです」

「ちょっとチェックできそうにないです」

「ちょっと無理ですね」「ちょっと無理かなあ」「ちょっときついですね」

JM 8：すみません、明日発表があるので、ちょっと手伝えないんです。

JF 22：うーん、すみません、実は私明日発表があって、準備はまだできていません。

ちょっと手伝えないんです。

②{行動指示}の出現率は 3%である。回答例は以下の通りである。

JF 20：ごめんなさい、今日は発表の準備で疲れました。自分で頑張りましょう。

JF 25：手伝いだけど、明日の発表はヤバイなあ。自分で頑張ってください。

JF 40：ごめんなさい、今は結構忙しいので、自分で頑張ろう！

次に<間接的断り>のカテゴリーにおける出現率が二番目に高い③{詫び}の出現率は 92%で、そのうち一回の詫びが 79%、二回の詫びが 13%である。詫びの表現としては「申し訳ないけど」「すみません」「すまん」「すまんなー」「すいません」「ごめんなさい」「ごめん」「ごめんな」「ごめんね」「本当にごめん」「ほんまにごめん」「悪いけど」「ほんま悪いわ」が使われている。回答例は以下の通りである。

一回の詫び

JM 14：すまん、チェックする時間がないわ。

JM 40：悪いけど、明日の発表な準備があって、手伝えない。

JF 30：すみません、明日発表があるので時間がありません。

JF 45：ごめん、明日発表があって、お手伝いできそうにないです。

二回の詫び

JM 9： すまんなー。明日発表あるから、行けへんわ。ほんま悪いわ。
また、今度何かあったらゆって。

JM 24：ああ、申し訳ないんですけど、今忙しくて、時間がないんです。ごめんなさい。

JF 29：ごめん、今発表の準備が忙しい。別の人に頼んでみて。ごめんね。

続いて、最も出現率が高い意味公式、④{理由}の出現率は 98%で、そのうち[理由の内容]が 56%、[理由の内容+付加説明]が 42%である。回答例は以下の通りである。

[理由の内容]

JM 25：中間テストの勉強しなあかんから、無理だわあ。

JM 39：ごめん。俺もテストあるから、無理かな。

[理由の内容+付加説明]

JM 20：ああ、申し訳ないですが、僕明日の発表のために、準備しないといけないんで、
チェックする時間は取れてないです。

JM 37：うーん、明日の発表はめっちゃしんどい、時間とれないです。ごめんなさい。

JF 14： 明日発表があって、練習したいんですが、ごめんね。

JF 49：うーん、明日の発表のために、いろいろ準備しないといけなくて、余裕がないです。
ちょっときついですよね。

⑤{積極的代案提示}⑥{消極的代案}⑦{条件提示}⑧{約束}については、出現率が高い順に⑥{消極的代案提示}が 14%、⑧{約束}が 9%、⑤{積極的代案提示}と⑥{条件提示}それぞれが 1%である。以下は回答例である。

{消極的代案提示}

JM 10：今はちょっと忙しい、他の人に当たってみましょうか。

JM 21：ごめんなさい、自分も発表忙しいので、別の人に頼んでみて。

JM 49：ちょっと忙しいから、別の人に頼んでほしい。

JF 2： ごめんなさい、今日は発表の準備で忙しいです。チェックの時間がとれません。
別の人に聞いてくれませんか。

JF 11：ごめんなさい、ちょっと忙しくて、無理かな。他の人にお願いしてもらってもいい？

JF 39：ごめんね。明日の発表があるから、別の人に頼んでもいい？

{約束}

JM 6：ごめんね、明日の発表は大変だし、いろいろ準備しなくちゃ。
今度都合が良ければ、できる限り協力します。

JM 7：ごめん、いろいろ準備せんなんから、今度また。

JF 3： ごめんなさい、今はどうしてもやらないといけないことがあるんです。明日発表があるので、今度また何かあったら、その時は手伝うので、ごめんなさい。

JF 6： ああ、ごめんなさい、ちょっと忙しくて、時間無くて。
また今度、手伝える時は手伝います。

JF 9： 明日の発表があって、時間つくれなさそうです。ごめんなさい。
次の機会は絶対手伝います。

JF 50：ごめんなさい、プレゼンがあって、チェックする余裕がありません。
今度、何か分からないことがあったら、いつでも聞いてください。

{積極的代案提示}

JF 23：ごめんなさい、私あしたのプレゼンの資料の準備をするので、今日は本当に時間がないんです。私の友達を紹介するので、彼女に頼んでみてくれませんか。

{条件提示}：本調査に見られた{条件提示}は時間的余裕の仮定である。

JM 31：ごめん、明日発表あるから、無理です。明日終わったら後なら、できるけど。

<付加表現>のカテゴリーについては、最も出現率が高い順に⑨{否定的反応}(13%)、⑬{共感}(7%)である。回答例に用いられた表現は以下の通りである。

{否定的反応}

用いられた表現：「ああ」「いや」「うーん」

JM 13：ああ、すみません。今日は忙しくて、時間取れないんです。ちょっと無理です。

JF 16： いや、明日発表があって、準備で時間無いので、無理です。ごめんなさい。

JM 50 ：うーん、ちょっと時間無いわ。ごめんな。

{共感}

JM 27：ごめんなさい、本当に協力したいですが、明日の発表が迫っているので、
できないんです。

JM 35：ごめんなさい、協力してあげたいですが、明日の発表の準備をしなくてはならないので、できません。

JF 48：ごめん、明日発表があるから、手伝いたいんだけど、手伝うことができないです。

5.8.1.2 場面 8：意味公式の出現順序のパターン(JJ)

続いて、意味公式の出現順序のパターンを考察する。回答 に見られた意味公式の出現順序のパターンを表 54 に示す。

表 54　JJ: 場面 8(疎・同等・軽)の 意味公式の出現順序のパターン

冒頭の意味公式	{理由}が中間にあるパターン	出現率
{詫び}	{詫び}+{理由}+{結論}	22%
	{詫び}+{理由}+{結論}+{詫び}	5%
	{詫び}+{理由}+{消極的代案提示}	5%
	{詫び}+{理由}+{約束}	4%
	{詫び}+{共感}+{理由}+{結論}	3%
	{詫び}+{理由}+{結論}+{消極的代案提示}	3%
	{詫び}+{理由}+{詫び}	2%
	{詫び}+{理由}+{行動指示}	2%
	{詫び}+{理由}+{消極的代案提示}+{詫び}	2%
	{詫び}+{理由}+{積極的代案提示}	1%
	{詫び}+{理由}+{結論}+{詫び}+{約束}	1%
	{詫び}+{理由}+{結論}+{条件提示}	1%
	{詫び}+{理由}+{結論}+{約束}	1%
	{詫び}+{理由}+{共感}+{結論}	1%
	{詫び}+{理由}+{約束}+{詫び}	1%
	小計	**54%**
{否定的反応}	{否定的反応(間)}+{理由}+{詫び}	3%
	{否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}+{結論}	2%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{結論}	2%
	{否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}+{詫び}	1%
	{否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}+{約束}	1%
	{否定的反応(間)}+{共感}+{理由}+{詫び}+{結論}	1%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{結論}+{詫び}	1%
	小計	**11%**
{共感}	{共感}+{理由}+{行動指示}	1%
	小計	**1%**
合計		**66%**
冒頭の意味公式	**{理由}が冒頭の意味公式であるパターン**	**出現率**
{理由}	{理由}+{詫び}	7%
	{理由}+{結論}+{詫び}	3%
	{理由}+{消極的代案提示}	2%
	{理由}+{結論}	2%
	{理由}+{結論}+{消極的代案提示}	1%
	{理由}+{詫び}+{約束}	1%
	{理由}+{詫び}+{結論}+{詫び}	1%
	{理由}+{消極的代案提示}+{詫び}	1%
合計		**18%**

冒頭の意味公式	{理由}が最後の意味公式であるパターン	出現率
{詫び}	{詫び}+{理由}	12%
	小計	**12%**
{否定的反応}	{否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}	1%
	{否定的反応(間)}+{詫び}+{共感}+{理由}	1%
	小計	**2%**
合計		**14%**
冒頭の意味公式	**{理由}なしのパターン**	**出現率**
{否定的反応}	{詫び}+{結論}	2%
	小計	**2%**
合計		**2%**
冒頭の意味公式	**意味公式が一つしかないパターン**	**出現率**
	なし	0%
合計		**0%**
総合計		**100%**

意味公式の出現順序のパターンは、全部で 35 パターンに分類される。{理由}が中間にあるパターンは 23 パターンで、出現率は 66%、{理由}が冒頭の意味公式であるパターンは 8 パターンで、出現率は 18%、{理由}が冒頭の意味公式であるパターンは 3 パターンで、出現率は 14%、{理由}なしのパターンは 1 パターンで、出現率が 2%である。

意味公式の出現パターンのうち、最も出現率の高い上位 2 位のパターンは{詫び}+{理由} +{結論}(22%)、続いて{詫び}+{理由}(12%)である。回答例は以下の通りである。

{詫び}+{理由}+{結論}

JM 3:　すみません、明日発表があります。手伝うことができません。

{詫び}+{理由}

JF 1:　すみません、明日大事な発表があって、準備しないといけなくて。

続いて、{理由}が中間にあるパターンについて、出現順序のパターンの前半部と後半部を表 55 に示す。

表 55　JJ: 場面 8(疎・目上・軽)の 意味公式の出現順序のパターンの前半部と後半部

出現順序のパターンの前半部	出現率	出現順序のパターンの後半部	出現率
{詫び}+{理由}…	51%	…{理由}+{結論}	27%
{否定的反応}+{理由}… ({否定的反応(間)}+{理由}…)	6% (6%)	…{理由}+{詫び}	6%
{否定的反応}+{詫び}+{理由}… ({否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}…)	4% (4%)	…{理由}+{約束}	6%

{詫び}+{共感}+{理由}…	3%	…{理由}+{消極的代案提示}	5%
{共感}+{理由}…	1%	…{理由}+{行動指示}	4%
{否定的反応}+{共感}+{理由}… ({否定的反応(間)}+{共感}+{理由}…)	1% (1%)	…{理由}+{結論}+{条件提示}	4%
		…{理由}+{結論}+{詫び}	4%
		…{理由}+{結論}+{消極的代案提示}	2%
		…{理由}+{消極的代案提示}+{詫び}	2%
		…{理由}+{共感}+{結論}	1%
		…{理由}+{詫び}+{結論}	1%
		…{理由}+{結論}+{詫び}+{約束}	1%
		…{理由}+{結論}+{約束}	1%
		…{理由}+{約束}+{詫び}	1%
		…{理由}+{積極的代案提示}	1%
合計	**66%**	**合計**	**66%**

最も出現率の高い上位 2 位の前半部は{詫び}+{理由}…(51%)、続いて{否定的反応}+{理由}…(6%)である。そして、最も出現率の高い上位 2 位の後半部は...{理由}+{結論}(27%)、続いて、...{理由}+{詫び}と...{理由}+{約束}(それぞれ 6%)である。出現率を見ると、理由を説明してから{結論}を述べる傾向が強い。しかし、{行動指示}や{条件提示}や{積極的代案提示}を含んだパターンの出現率が低い。回答例は以下の通りである。

{詫び}+{理由}…

JF19：ごめん、明日発表あるから、時間無いねん。ごめん。

{否定的反応}+{理由}…

JF 49：うーん、明日の発表のために、いろいろ準備しないといけなくて、余裕がないです。
ちょっときついですよね。

…{理由}+{結論}

JM 34：ごめんなさい、あした発表があるから、ちょっと難しいです。

…{理由}+{詫び}

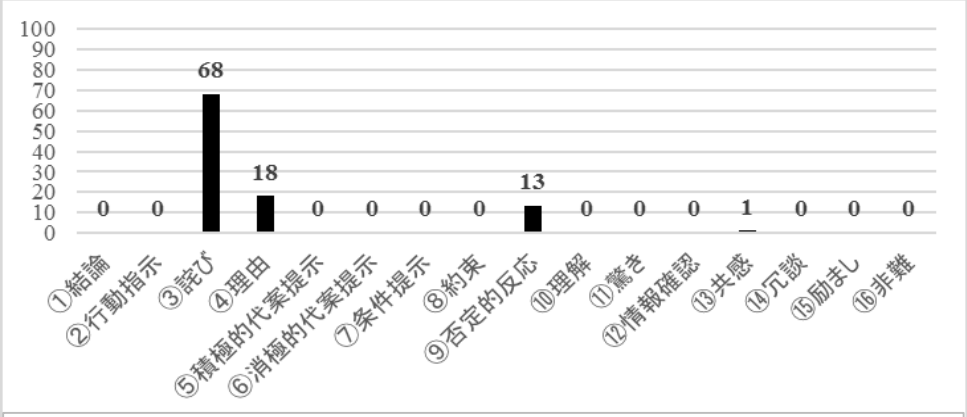
JF 28：ごめんなさい、今日はバタバタしてて、余裕なさそう。ごめんなさい。

…{理由}+{約束}

JF 12：すみません、今日は忙しくて、また今度、手伝えることがあったら、是非協力します。

5.8.1.3 場面 8：冒頭の意味公式(JJ)

次に、冒頭の意味公式を考察する。冒頭に見られた意味公式は{詫び}{理由}{否定的反応}{共感}が用いられており、全部で 4 種類の意味公式が見られた。出現率を図 75 に示す。



〈直接的断り〉のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯
JJ{否定的反応}13%　(間投詞 13%、呼びかけ 0%)

図 75　JJ: 場面 8(疎・同等・軽)の断りの冒頭の意味公式の出現率

JJ が用いた冒頭の意味公式は、③{詫び}(68%)の出現率が突出している。続いて、④{理由}(18%)、⑨{否定的反応}(13%)、⑬{共感}(1%)である。このうち{詫び}{理由}は{間接的断り}、その他は<付加表現>のカテゴリーに分類される。以下は本調査に見られた回答例である。

{詫び}を冒頭の意味公式とする回答例

JM 1：　すみません、明日発表があるので、時間ないんよ。

JF 27：　ごめんね。明日発表があって忙しいから、見ることができないです。

{理由}を冒頭の意味公式とする回答例

JM 25：ちょっと時間無いから、できないなあ。

JF 34：明日の発表の準備あるんよなー。ごめんね。

{否定的反応}を冒頭の意味公式とする回答例

JM 22：ああ、発表練習があるから、無理かな。

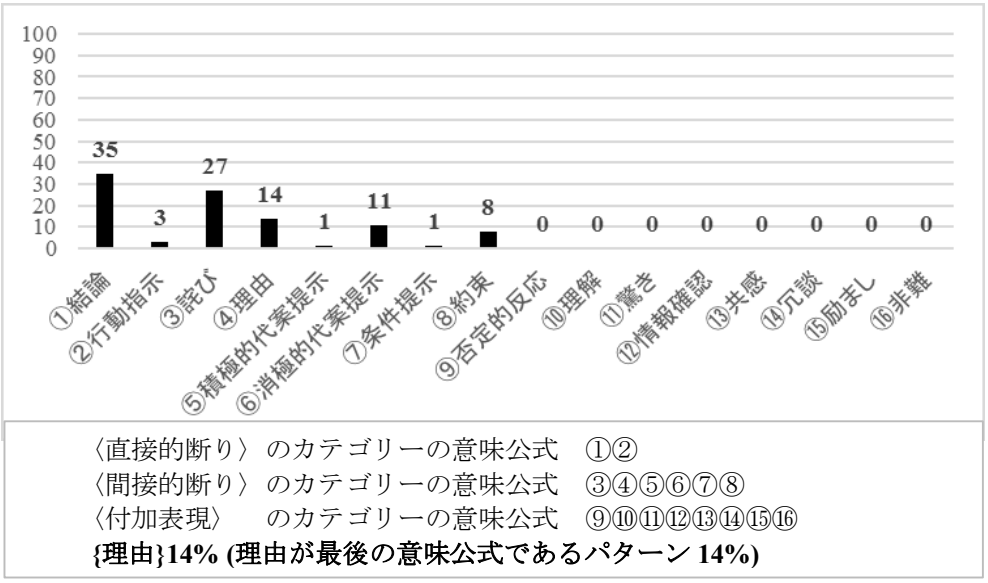
JF 47：うーん、明日発表があって忙しいです。本当にすみません。

{共感}を冒頭の意味公式とする回答例

JF 25：手伝いたいんだけど、明日の発表はヤバイなあ。自分で頑張ってください。

5.8.1.4 場面 8：最後の意味公式(JJ)

次に、最後の意味公式を考察する。最後の意味公式は{結論}{行動指示}{詫び}{理由}{積極的代案提示}{消極的代案提示}{条件提示}{約束}が用いられており、全部で 8 種類の意味公式が見られた。出現率を図 76 に示す。



〈直接的断り〉のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯
{理由}14% (理由が最後の意味公式であるパターン 14%)

図 76　JJ: 場面 8(疎・同等・軽)の断りの最後の意味公式の出現率

JJ が用いた最後の意味公式は出現率の高い順に①{結論}(35%)、③{詫び}(27%)、④{理由}(14%)、⑥{消極的代案提示}(11%)である。他の意味公式は出現率が 10%以下である。回答例は以下の通りである。

{結論}を最後の意味公式とする回答例

JM 11：すみません、本当に手伝いたいですが、明日ちょっと発表があります。
手伝えないかも。

{行動指示}を最後の意味公式とする回答例

JF 20：ごめんなさい、今日は発表の準備で疲れました。自分で頑張りましょう。

{詫び}を最後の意味公式とする回答例

JM 24：ああ、申し訳ないんですけど、今忙しくて、時間がないんです。ごめんなさい。

{理由}を最後の意味公式とする回答例

JM 20：ああ、申し訳ないですが、僕明日の発表のために、準備しないといけないんで、
チェックする時間は取れてないです。

{積極的代案提示}を最後の意味公式とする回答例

JF 23：ごめんなさい、私あしたのプレゼンの資料の準備をするので、今日は本当に時間がないんです。私の友達を紹介するので、彼女に頼んでみてくれませんか。

{消極的代案提示}を最後の意味公式とする回答例

JM 15：ごめんなさい、ちょっと忙しくて、無理です。別の人に頼んでくれませんか。

{条件提示}を最後の意味公式とする回答例

JM 31：ごめん、明日発表あるから、無理です。明日終わったら後なら、できるけど。

{約束}を最後の意味公式とする回答例

JM 6：ごめんね、明日の発表は大変だし、いろいろ準備しなくちゃ。
今度都合が良ければ、できる限り協力します。

5.8.1.5 場面 8：まとめ(JJ)

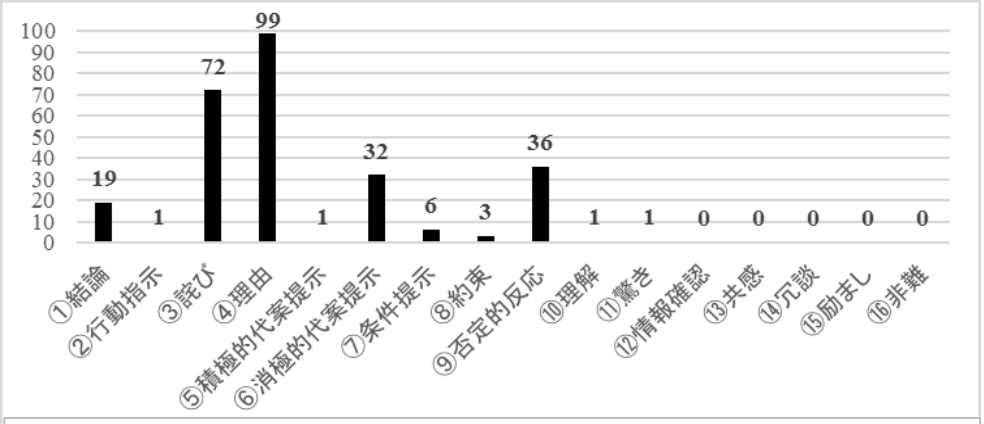
場面 8 の親しくない同等からの軽い依頼に対する断りの場面において、JJ の使用した意味公式の傾向をまとめる。

(1) 意味公式の全体における出現率のうち、出現率が 50%以上の意味公式は、高い順に{理由}(98%)、続いて{詫び}(92%)、{結論}(51%)である。
(2) 意味公式の出現順序のパターンについては、{詫び}+{理由}+{結論}が最も多用されるパターンである。そして、{理由}が中間にあるパターンのうち、最も出現率が高い前半部は{詫び}+{理由}…で、後半部は…{理由}+{結論}である。
(3) 断りの冒頭の意味公式は{詫び}の出現率が突出している。
(4) 断りの最後の意味公式は、{詫び}{結論}が多く使われている。

5.8.2 場面 8：タイ語母語話者の使用した意味公式

5.8.2.1 場面 8：意味公式の出現率(TT)

まず、意味公式の出現率を考察する。出現率を図 77 に示す。



〈直接的断り〉のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯
TT{詫び}72% (一回の詫び 66%、二回の詫び 6%)
TT{理由}99% (理由の内容 56%、理由の内容+付加説明 43%)
TT{否定的反応}36%　(間投詞 24%、呼びかけ 12%)

図 77　TT: 場面 8(疎・同等・軽)の断りの意味公式の出現率

親しくない同等からの軽い依頼を断る場面に、出現率が 50%以上の意味公式は、高い順に④{理由}(99%)、次に③{詫び}(72%)である。

以下、分類したカテゴリーに従って個々の意味公式について具体的な説明を加える。<直接的断り>のカテゴリーに分類される①{結論}の出現率は 19%であり、JJ の 51%と比べると使用がかなり少ない。言語形式の違いにより TT の{結論}の言い方は非断定的表現と断定的表現に分類される。

非断定的表現：動詞の前に、モダリティ形式「คง (khoŋ)」(だろう)、「อาจจะ (ʔàat ca)」(かもしれない) が付加される。

TF 4：ขอโทษนะ พรุ่งนี้เรามีพรีเซนต์งาน *คงช่วยไม่ได้จริงๆ
(和訳：ごめん、明日発表がある。どうしても手伝えないだろう。)
*คง (khoŋ だろう)、ช่วย(chûai 手伝う)、ไม่ได้(mâi dâi 不可能を表す否定詞)、
จริงๆ(ciŋ ciŋ どうしても(強調詞))

TF 24：โทษทีนะ *คงไม่ได้อะ พรุ่งนี้เรามีงานนำเสนอ ต้องเตรียมข้อมูล
(和訳：ごめん、無理だろう。明日発表がある。資料を準備しなくちゃ。)
*คง (khoŋ だろう)、ไม่ได้(mâi dâi 不可能を表す否定詞)、อะ(ʔa 文末詞)

TM 46：แก เค้าต้องพรีเซนต์งานพรุ่งนี้อะ *อาจจะช่วยตรวจไม่ได้ ขอโทษนะ

(和訳：[呼びかけ] (kɛɛ)、明日発表しなくちゃ。チェックできないかもしれない。ごめんね。)

* อาจจะ (ʔàat ca かもしれない)、ช่วย(chûai 手伝う)、ตรวจ(trùat チェックする)

ไม่ได้(mâi dâi 不可能を表す否定詞)

断定的表現：動詞に不可能を表す否定詞「...ไม่ได้」(...mâi dâi) (することができない) が付加される。ほかにも、「ไม่สะดวก (mâi sadùak)」(都合が悪い)も用いられる。

TF 3：ขอโทษนะ พอดีพรุ่งนี้เรานำเสนองาน *เลยช่วยไม่ได้อะ

(和訳：ごめんね。明日、ちょうど発表がある。だから、手伝えない。)

*เลย(ləəi だから)、ช่วย(chûai 手伝う)、ไม่ได้(mâi dâi 不可能を表す否定詞)、อะ(ʔa 文末詞)

TF 49：เอิ่ม โทษนะ *เราไม่สะดวกอะ เธอลองไปถามคนอื่นดูมั้ย

(和訳：{否定的反応}(ʔəəm)、ごめんね。都合が悪い。別の人に聞いてみようか。)

*เรา(raw 私)、ไม่(mâi 否定詞)、สะดวก (sadùak 都合がいい)、อะ(ʔa 文末詞)

②{行動指示}の出現率は 1%に過ぎない。回答例は以下の通りである。

TM15：เราไม่ว่างเลยตอนนี้ ลองทำเองดูละกันนะ

(和訳：今、時間的に余裕が全くない。自分でやってみてね。)

次に＜間接的断り＞のカテゴリーに分類される③{詫び}は 72%、そのうち一回の詫びが 66%、二回の詫びが 6%である。詫びの表現としては「ต้องขอโทษด้วยนะ」(tɔ̂ɔŋ khɔ̌ɔthôot dûai ná)「เราขอโทษด้วยนะ」(rao khɔ̌ɔthôot dûai ná)「ขอโทษนะ」(khɔ̌ɔthôot ná)「ขอโทษด้วยนะ」(khɔ̌ɔthôot dûai ná)「ขอโทษจริงๆ」(khɔ̌ɔ ciŋ ciŋ)「ขอโทษจริงๆนะ」(khɔ̌ɔ ciŋ ciŋ ná)「ขอโทษที」(khɔ̌ɔthôot thii)「โทษที」(thôot thii)「โทษทีนะ」(thôot thii ná)「โทษทีหวะ」(thôot thii wà)「โทษนะ」(thôot ná)が使われている。

また、詫びの言葉の後に、呼称詞「แก(kɛɛ)」「เธอ(thəə)」「เพื่อน(phûan)」(友達)が付く場合もある。例えば、「ขอโทษนะเพื่อน」(khɔ̌ɔthôot ná phûan)「โทษทีนะแก」(thôot thii ná kɛɛ) である。ほかにも、丁寧さを表す語尾「ครับ/ค่ะ」(khráp/ khá)」が付加される場合がある。例えば、「ขอโทษครับ」(khɔ̌ɔthôot khráp)　回答例は以下の通りである。

一回の詫び

TM 22：เอ่อ ขอโทษครับ พรุ่งนี้มีนำเสนองานครับ

(和訳：{否定的反応}(ʔɔ̀ɔ)、すみません。明日発表がある。)

TM 27：เอ่อ เรามีการบ้านเยอะมากเลย ขอโทษนะ

(和訳：{否定的反応}(ʔɔ̀ɔ)、僕は宿題がたくさんあるよ。ごめんね。)

二回の詫び

TM 37：ขอโทษนะแก เราต้องตรียมอ่านสคริปต์ที่ต้องพรีเซนต์วันพรุ่งนี้ ขอโทษทีนะ

(和訳：ごめん、明日の発表のため、発表原稿を暗記しなくちゃ。ごめんなさい。)

TF 46：ขอโทษนะแก เราต้องเตรียมข้อมูลนำเสนองานวันพรุ่งนี้ ขอโทษนะ

(和訳：ごめん、明日の発表のため、資料の準備をしなくちゃ。ごめんなさい。)

続いて、最も出現率が高い意味公式、④{理由}の出現率は 99%、そのうち[理由の内容]が 56%、[理由の内容+付加説明]が 43%である。回答例は以下の通りである。

[理由の内容]

TM13：เราไม่เก่งคณิตเลยอะ ให้คนอื่นช่วยละกันนะ

(和訳：僕は数学が全然できないよ。別の人に当たってみてね。)

TF3：ขอโทษนะ พอดีพรุ่งนี้เรานำเสนองาน เลยช่วยไม่ได้อะ

(和訳：ごめん。ちょうど明日発表がある。だから、手伝えない。)

[理由の内容+付加説明]

TM 23：โทษทีหวะ ตอนนี้ยุ่งมาก พรุ่งนี้มีส่งงาน

(和訳：ごめんね、今、大変忙しい。明日提出しないといけない授業の課題がある。)

TM 38：เค้ายุ่ง พรุ่งนี้มีนำเสนองาน กำลังรีบอยู่ ถ้ามีไรถามเราได้นะ

(和訳：忙しい。明日発表がある。準備を急いでいる。もし何か聞きたいことがあれば、いつでもいいよ。)

TM 42：โทษนะ ต้องเตรียมนำเสนอวันพรุ่งนี้ ยังไม่ซ้อมพูดไม่เสร็จเลย แกให้คนอื่นช่วยได้มั้ย ขอโทษนะ

(和訳：ごめん。明日の発表のため、いろいろ準備しなくちゃ。まだ発表の練習ができていない。別の人に当たってみてくれる？ごめんなさい。)

TF 9：แก คือเราไม่ว่างจริงๆ เราขอทำงานของเราก่อนนะ ขอโทษนะเพื่อน

(和訳：[呼びかけ](kɛɛ)、実は時間的に余裕が全くない・先に自分の授業の課題をやらせて。
ごめんなさい。)

TF 17：อ่า..ขอโทษนะ พรุ่งนี้เราต้องพรีเซนต์งานอะ ต้องจำข้อมูล ยุ่งมากเลย ลองถามเพื่อนเราก็ได้นะ

(和訳：{否定的反応}(ʔàa)、ごめんね。明日発表がある。発表原稿を暗記しなくちゃ。
大変忙しい。とりあえず、私の友達に聞いてみてもいいよ。)

TF 47：แก โทษที พรุ่งนี้มีนำเสนองาน ยังไม่ได้หาข้อมูลเลย คงช่วยไม่ได้อะ

(和訳：[呼びかけ](kɛɛ)、ごめん。明日発表がある。まだ資料を全然準備していない。
手伝えないだろう。)

回答例を見ると、TT が「発表がある」という理由に加えて、「余裕がない」「まだ練習ができていません」などのような理由を、相手に納得してもらうために述べることがある。さらに、TT が理由に加えて、「準備させて」「先に自分の授業の課題を済ませないといけない」「準備を急いでいる」のような相手に依頼して欲しくない気持ちが含まれている説明で発話を終了させる場合もある。

⑤{積極的代案提示}⑥{消極的代案提示}⑦{条件提示}⑧{約束}について、⑤{積極的代案提示}の出現率が 1%、⑥{消極的代案提示}32%、⑦{条件提示}6%、⑧{約束}3%である。

{積極的代案提示}

TM 6：คือพรุ่งนี้เรามีนำเสนองาน ไม่มีเวลาจริงๆ เอางี้เดี๋ยวเราหาคนช่วยเธอละกันนะ

(和訳：実は明日発表がある。時間的に余裕が全くない。じゃあ、私が手伝ってくれる人を
探してあげるね。)

{消極的代案提示}

TM 1：เรารีบทำงานอยู่อะ ขอโทษนะ ลองไปถามคนอื่นดู

(和訳：授業の課題で忙しい。ごめんなさい。じゃあ、別の人に聞いてみてね。)

TF 44：เอ่อ คือพรุ่งนี้เรามีนำเสนองาน ต้องซ้อมพูด หาคนอื่นช่วยแทนได้มั้ย

(和訳：{否定的反応}(ʔəə)、実は明日発表がある。練習しなくちゃ。
別の人にお願いしてもらえる？)

{条件提示}：回答に見られた{条件提示}は依頼の内容を変更する条件と、時間的余裕の仮定に分類される。。

依頼の内容を変更する条件：宿題チェックの依頼に応じず、数学の問題の解き方について助言する条件を提示する。

TM 10：มีพรีเซนต์งานพรุ่งนี้อะ โทษทีนะ แต่ถ้าไม่เข้าใจตรงไหน ถามได้นะ

(和訳：明日発表がある。ごめんね。できないところがあれば、私に聞いてね。)

時間的余裕の仮定

TM 30：เอ่อ คือเราต้องเตรียมตัวนำเสนองานพรุ่งนี้อะ ถ้าเสร็จงานของเรา จะไปช่วยดูนะ

(和訳：{否定的反応}(ʔəə)、実は明日の発表の準備をしなくちゃ。その後、もし時間的に余裕があれば、手伝うね。)

TM 32：เรามีพรีเซนต์งาน วันอื่นได้ปะ

(和訳：明日、発表がある。別の日にしてもらえる？)

{約束}

TF 18：เอ่อ...ต้องขอโทษด้วยนะ เรามีนำเสนองานในวันพรุ่งนี้อะ ถ้ามีโอกาสครั้งหน้า เราจะช่วยนะ

(和訳：{否定的反応}(ʔəə)、すみません。明日発表がある。次回、都合がよければ、手伝うね。)

最後に<付加表現>のカテゴリーについては、最も出現率が高い順に⑨{否定的反応}(37%)(うち、[間投詞]が 24%、[呼びかけ]が 12%)、⑩{理解}(3%)、⑬{共感}⑭{冗談}(それぞれ 1%)という順である。回答例は以下の通りである。

{否定的反応}

用いられた表現：間投詞「เอ่อ」(ʔəə)、「เอ่อคือ」(ʔəə khɯɯ)、「อืม」(ʔɯɯm)、「เอิ่ม」(ʔəəm)

TF 41：เอ่อ โทษทีนะ เราก็ไม่เก่งคณิตเหมือนกัน

(和訳：{否定的反応}(ʔəə)、ごめんね。私も数学が苦手なの。)

TF 23：อืม..เราต้องเตรียมตัวนำเสนองานอะ ไม่มีเวลาเลย ลองไปถามคนอื่นดูนะ

(和訳：{否定的反応}(ʔɯɯm)、発表の準備をしなくちゃ。時間的に余裕が全くがない。別の人に聞いてみてね。)

用いられた表現：呼称詞「แก(kɛɛ)」「เธอ(thəə)」

TF 7：แก คือเราไม่ว่างจริงๆ เราต้องเตรียมงานพรีเซนต์อะ ขอโทษนะแก

(和訳：[呼びかけ](kɛɛ)、実は時間的に余裕が全くない。発表の準備をしなくちゃ。ごめんなさい。)

TF 42：เธอ คือเรายังไม่ว่างอะ พรุ่งนี้ต้องนำเสนองาน โทษทีนะ

(和訳：[呼びかけ](thəə)、実は時間的に余裕がない。明日発表しなくちゃ。ごめんなさい。)

{理解}

用いられた表現：間投詞「งั้นเหรอ」(ŋán rə̌ə)

TF 34：งั้นหรอ ขอเป็นพรุ่งนี้ช่วงเช้าได้มั้ย พอดีเรามีนำเสนองาน

(和訳：{理解}(ŋán rə̌ə)、明日の朝、チェックしてもいい？ちょうど発表がある。)

{驚き}

用いられた表現：間投詞「จริงอะ」(ciŋ ʔa)

TF 10：จริงอะ งั้นลองถาม...ดูมั้ย อาจจะช่วยเธอได้ พอดีเราต้องเตรียมนำเสนองาน ขอโทษจริงๆนะ

(和訳：{驚き}(ciŋ ʔa)！○○さんに聞いてみたらどう？手伝ってくれるかもしれない。
ちょうど発表を準備しなくちゃ。本当にすみません。)

5.8.2.2 場面 8：意味公式の出現順序のパターン(TT)

続いて、意味公式の出現順序のパターンを考察する。タイ語母語話者の回答 に見られた意味公式の出現順序のパターンを表 56 に示す。

表 56　TT: 場面 8(疎・同等・軽)の 意味公式の出現順序のパターン

冒頭の意味公式	{理由}が中間にあるパターン	出現率
{否定的反応}	{否定的反応(呼)}+{理由}+{詫び}	7%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{消極的代案提示}	5%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{詫び}	4%
	{否定的反応(呼)}+{理由}+{消極的代案提示}	2%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{条件提示}	2%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{消極的代案提示}+{詫び}	1%
	{否定的反応(間)}+{理由}+{結論}+{詫び}	1%
	{否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}+{約束}	1%
	{否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}+{消極的代案提示}	1%
	{否定的反応(間)}+{詫び}+{結論}+{理由}+{詫び}	1%
	{否定的反応(呼)}+{理由}+{結論}+{詫び}	1%
	{否定的反応(呼)}+{結論}+{理由}+{詫び}	1%
	{否定的反応(呼)}+{詫び}+{理由}+{結論}	1%
	小計	**28%**

{詫び}	{詫び}+{理由}+{消極的代案提示}	7%
	{詫び}+{理由}+{詫び}	4%
	{詫び}+{理由}+{結論}	4%
	{詫び}+{理由}+{消極的代案提示}+{詫び}	1%
	{詫び}+{理由}+{約束}	1%
	{詫び}+{結論}+{理由}+{約束}	1%
	小計	**18%**
{驚き}	{驚き}+{消極的代案提示}+{理由}+{詫び}	1%
	小計	**1%**
合計		**47%**
冒頭の意味公式	**{理由}が冒頭の意味公式であるパターン**	**出現率**
{理由}	{理由}+{消極的代案提示}	9%
	{理由}+{詫び}	8%
	{理由}+{条件提示}	2%
	{理由}+{結論}	1%
	{理由}+{結論}+{詫び}	1%
	{理由}+{結論}+{消極的代案提示}	1%
	{理由}+{詫び}+{条件提示}	1%
	{理由}+{詫び}+{消極的代案提示}	1%
	{理由}+{詫び}+{消極的代案提示}+{結論}	1%
	{理由}+{消極的代案提示}+{詫び}	1%
	{理由}+{行動指示}	1%
	{理由}+{積極的代案提示}	1%
合計		**28%**
冒頭の意味公式	**{理由}が最後の意味公式であるパターン**	**出現率**
{詫び}	{詫び}+{理由}	12%
	{詫び}+{結論}+{理由}	4%
	小計	**16%**
{否定的反応}	{否定的反応(間)}+{理由}	4%
	{否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}	2%
	{否定的反応(間)}+{消極的代案提示}+{理由}	1%
	小計	**7%**
{理解}	{理解}+{条件提示}+{理由}	1%
	小計	**1%**
合計		**24%**
冒頭の意味公式	**{理由}なしのパターン**	**出現率**
{否定的反応}	{否定的反応(間)}+{詫び}+{結論}+{消極的代案提示}	1%
合計		**1%**
冒頭の意味公式	**意味公式が一つしかないパターン**	**出現率**
	なし	0%
合計		**0%**
総合計		**100%**

意味公式の出現順序のパターンは、全部で 39 パターンに分類される。{理由}が中間にあるパターンは 20 パターンで、出現率が 47%である。{理由}が冒頭の意味公式であるパターンは 12 パターンで、出現率が 28%である。{理由}が最後の意味公式であるパターンは 6 パターンで、出現率が 24%である。{理由}なしのパターンは 1 パターンで、出現率が 1%である。意味公式が一つしかないパターンは全く見られなかった。

意味公式の出現順序のパターンのうち、最も出現率の高い上位 2 位のパターンは{詫び} +{理由}(12%)、続いて{理由}+{消極的代案提示}(9%)である。回答例は以下の通りである。

{詫び}+{理由}

TM 25：โทษทีนะ พอดีเราไม่ว่าง ต้องเตรียมรายงานวันพรุ่งนี้

(和訳：ごめん、ちょうど時間的に余裕がない。明日の発表を準備しなくちゃ。)

{理由}+{消極的代案提示}

TF 36：คือเรามีนำเสนองานพรุ่งนี้เหมือนกัน ถ้ายังไงลองไปถามคนอื่นดูนะ

(和訳：実は、明日私も発表がある。じゃあ、別の人に聞いてみてね。)

続いて、{理由}が中間にあるパターンについて、出現順序のパターンの前半部と後半部を表 57 に示す。

表 57　TT: 場面 8(疎・同等・軽)の 意味公式の出現順序のパターンの前半部と後半部

出現順序のパターンの前半部	出現率	出現順序のパターンの後半部	出現率
{否定的反応}+{理由}… {否定的反応(間)}+{理由}… {否定的反応(呼)}+{理由}…	23% (13%) (10%)	…{理由}+{詫び}	18%
{詫び}+{理由}…	17%	…{理由}+{消極的代案提示}	15%
{否定的反応}+{詫び}+{理由}… {否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}… {否定的反応(呼)}+{詫び}+{理由}…	3% (2%) (1%)	…{理由}+{結論}	5%
{否定的反応}+{結論}+{理由}… {否定的反応(呼)}+{結論}+{理由}…	1% (1%)	…{理由}+{約束}	3%
{否定的反応}+{詫び}+{結論}}+{理由}… {否定的反応(間)}+{詫び}+{結論}}+{理由}…	1% (1%)	…{理由}+{条件提示}	2%
{驚き}+{消極的代案提示}+{理由}…	1%	…{理由}+{消極的代案提示＋{詫び}	2%
{詫び}+{結論}+{理由}…	1%	…{理由}+{結論}+{詫び}	2%
合計	**47%**	**合計**	**47%**

最も出現率の高い上位 2 位の前半部は{否定的反応}+{理由}…(23%)、続いて、{詫び}+{理由}…(17%)である。後半部は...{理由} +{詫び}(18%)、続いて...{理由}+{消極的代案提示}(15%)である。回答例は以下の通りである。

{否定的反応}+{理由}…

TM 2：เอ่อ เรากำลังทำการบ้านอยู่ ต้องส่งพรุ่งนี้เหมือนกัน ลองไปให้คนอื่นช่วยดูก่อนนะ

(和訳：{否定的反応}(ʔəə)、今、明日に出す宿題をやっている。別の人に頼んでみたらどう？)

{詫び}+{理由}…

TM 25：โทษทีนะ พอดีเราไม่ว่าง ต้องเตรียมรายงานวันพรุ่งนี้

(和訳：ごめん、ちょうど時間的に余裕が無い。明日の発表を準備しなくちゃ。)

…{理由}+{詫び}

TF 46：ขอโทษนะแก เราต้องเตรียมข้อมูลนำเสนองานวันพรุ่งนี้ ขอโทษนะ

(和訳：ごめん、明日の発表のために、資料を準備しなくちゃ。ごめんね。)

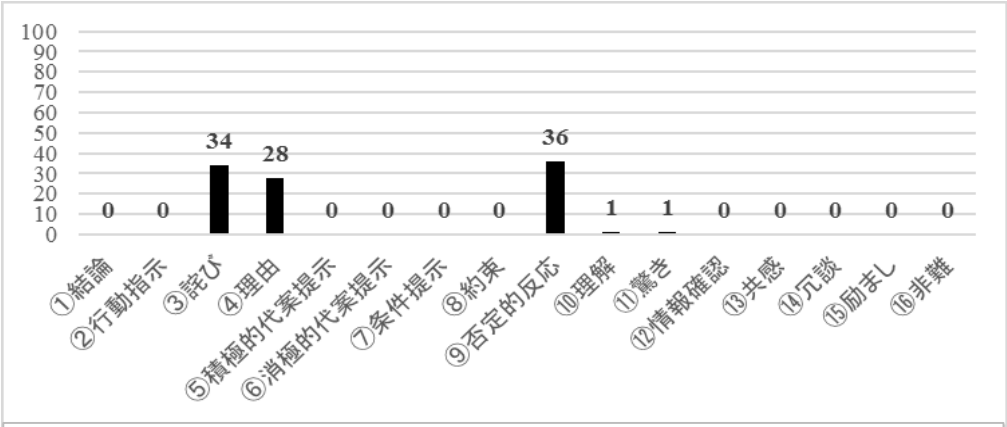
…{理由}+{消極的代案提示}

TF 1：ขอโทษนะแก ตอนนี้เราไม่ว่าง ลองให้คนอื่นตรวจให้นะ

(和訳：ごめん、今、時間的に余裕がない。別の人に頼んでみてね。)

5.8.2.3 場面 8：冒頭の意味公式(TT)

次に、冒頭の意味公式を考察する。冒頭に見られた意味公式は{詫び}{理由}{否定的反応}{理解}{驚き}が用いられており、全部で 5 種類の意味公式が見られた。出現率を図 78 に示す。



〈直接的断り〉 のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉 のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　 のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯
TT{否定的反応}36%　(間投詞 24%、呼びかけ 12%)

図 78　TT: 場面 8(疎・同等・軽)の断りの冒頭の意味公式の出現率

TT が用いた冒頭の意味公式の出現率が高いのは⑨{否定的反応}(36%)、続いて③{詫び}(34%)、④{理由}(28%)である。他の意味公式は出現率が低い。このうち{詫び}と{理由}は<間接的断り>、{否定的反応}は<付加表現>のカテゴリーに分類される。以下は本調査に見られた回答例である。

{詫び}を冒頭の意味公式とする回答例

TF 48：ขอโทษนะ เรามีพรีเซนต์งานอะ ยังเตรียมไม่เสร็จเลย

(和訳：ごめん、明日発表がある。まだ準備ができていない。)

{理由}を冒頭の意味公式とする回答例

TF 43：ไม่ว่างอะ ขอโทษนะ

(和訳：時間的に余裕がない。ごめんなさい。)

{否定的反応(間)}を冒頭の意味公式とする回答例

TM4：เอ่อ พอดีเรายังทำงานไม่เสร็จเลย โทษทีนะ

(和訳：{否定的反応}(ʔəə)、ちょうど授業の課題がまだできていない。ごめんね。)

{否定的反応(呼)}を冒頭の意味公式とする回答例

TM17：แก วันนี้เราต้องทำงาน ไม่ว่าง ขอโทษนะ

(和訳：[呼びかけ](kɛɛ)、今日は授業の課題をしなくちゃ。時間的に余裕がない。
ごめんね。)

{理解}を冒頭の意味公式とする回答例

TF 34：งั้นหรอ ขอเป็นพรุ่งนี้ช่วงเช้าได้มั้ย พอดีเรามีนำเสนองาน

(和訳：{理解}(ŋán rɔ̌ɔ)、明日の朝、チェックしてもいい？ちょうど発表がある。)

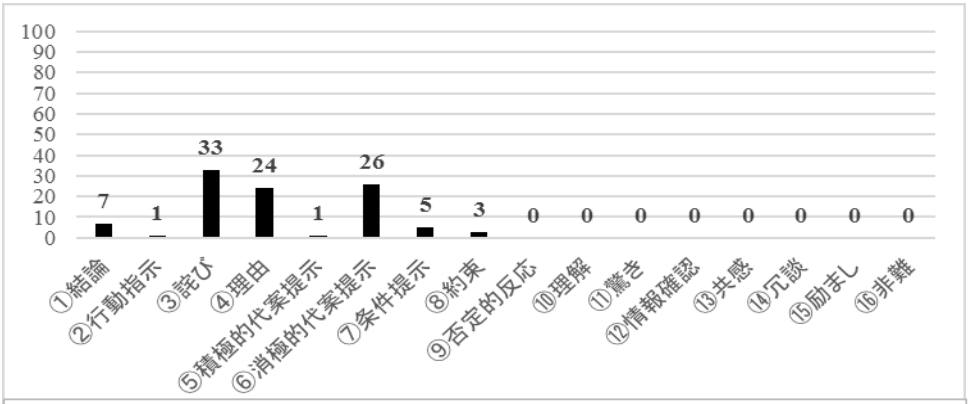
{驚き}を冒頭の意味公式とする回答例

TF 10：จริงอะ งั้นลองถาม...ดูมั้ย อาจจะช่วยเธอได้ พอดีเราต้องเตรียมนำเสนองาน ขอโทษจริงๆนะ

(和訳：{驚き}(ciŋ ʔa)！○○さんに聞いてみたらどう？手伝ってくれるかもしれない。
今日は、ちょうど発表を準備しなくちゃ。本当にごめんね。)

5.8.2.4 場面 8：最後の意味公式(TT)

次に、最後の意味公式を考察する。最後の意味公式は{結論}{行動指示}{詫び}{理由}{積極的代案提示}{消極的代案提示}{条件提示}{約束}が用いられており、全部で 8 種類の意味公式が見られた。出現率を図 79 に示す。



〈直接的断り〉のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯
{理由}24% (理由が最後の意味公式であるパターン 24%)

図 79　TT: 場面 8(疎・同等・軽)の断りの最後の意味公式の出現率

TT が用いた最後の意味公式は出現率の高い順に③{詫び}(33%)、続いて⑥{消極的代案提示}(26%)、④{理由}(24%)である。3 つの意味公式は<間接的断り>のカテゴリーに分類される。それ以外の意味公式の出現率が低い。出現率を見ると、TT が{消極的代案提示}{理由}{詫び}の 3 つの意味公式を使用する傾向が見られる。回答例は以下の通りである。

{結論}を最後の意味公式とする回答例

TF 4：ขอโทษนะ พรุ่งนี้เรามีพรีเซนต์งาน คงช่วยไม่ได้จริงๆ

(和訳：ごめん、明日発表がある。どうしても手伝えないだろう。)

{行動指示}を最後の意味公式とする回答例

TM15：เราไม่ว่างเลยตอนนี้ ลองทำเองดูละกันนะ

(和訳：今、時間的に余裕が全くない。自分でやってみてね。)

{詫び}を最後の意味公式とする回答例

TM 27：เอ่อ เรามีการบ้านเยอะมากเลย ขอโทษนะ

(和訳：{否定的反応}(ʔɔ̀ɔ)、僕は宿題がたくさんあるよ。ごめんね。)

{理由}を最後の意味公式とする回答例

TM 23：โทษทีหวะ ตอนนี้ยุ่งมาก พรุ่งนี้มีส่งงาน

(和訳：ごめんね、今、大変忙しい。明日提出しないといけない授業の課題がある。)

{積極的代案提示}を最後の意味公式とする回答例

TM 6：คือพรุ่งนี้เรามีนำเสนองาน ไม่มีเวลาจริงๆ เอางี้เดี๋ยวเราหาคนช่วยเธอละกันนะ

(和訳：実は明日発表がある。時間的に余裕が全くない。じゃあ、私が手伝ってくれる人を探してあげるね。)

{消極的代案提示}を最後の意味公式とする回答例

TM 1：เรารีบทำงานอยู่อะ ขอโทษนะ ลองไปถามคนอื่นดู

(和訳：授業の課題で忙しい。ごめんなさい。じゃあ、別の人に聞いてみてね。)

{条件提示}を最後の意味公式とする回答例

TM 32：เรามีพรีเซนต์งาน วันอื่นได้ปะ

(和訳：明日、発表がある。別の日にしてもらえる？)

{約束}を最後の意味公式とする回答例

TF 18：เอ่อ...ต้องขอโทษด้วยนะ เรามีนำเสนองานในวันพรุ่งนี้อะ ถ้ามีโอกาสครั้งหน้า เราจะช่วยนะ

(和訳：{否定的反応}(ʔɔ̀ɔ)、すみません。明日発表がある。次回、都合がよければ、手伝うね。)

5.8.2.5 場面 8：まとめ(TT)

場面 8 の親しくない同等からの軽い依頼に対する断りの場面において、TT の使用した意味公式の傾向をまとめる。

(1) 意味公式の全体における出現率のうち、出現率が 50%以上の意味公式は、高い順に{理由}(99%)、次に{詫び}(72%)である。

(2) 意味公式の出現順序のパターンについては、{詫び}+{理由}は最も多用されるパターンである。そして、{理由}が中間にあるパターンのうち、最も出現率が高い前半部は{否定的反応}+{理由}…続いて、{詫び}+{理由}…である。後半部は...{理由} +{詫び}、続いて...{理由}　+{消極的代案提示}である。

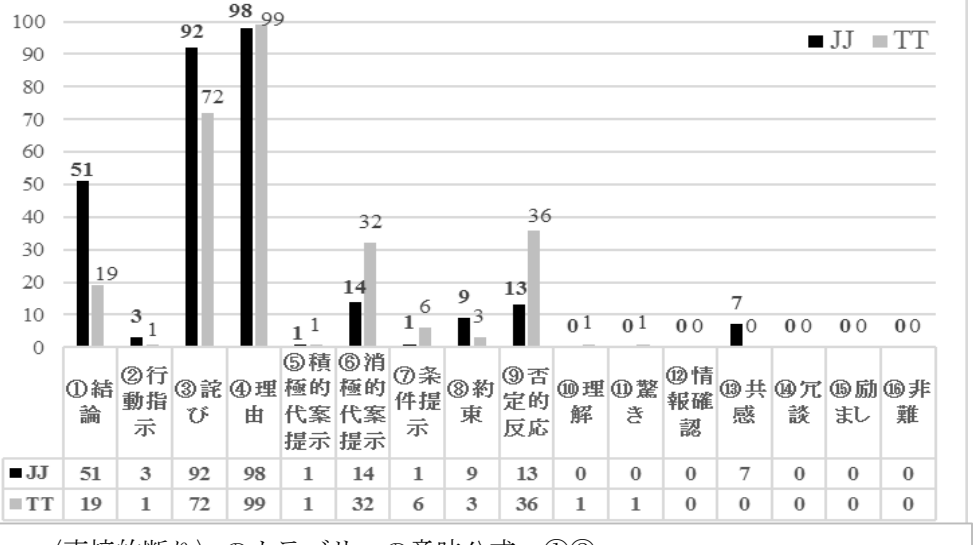
(3) 冒頭の意味公式は、{否定的反応}{詫び}{理由}の 3 つの意味公式が多く使われている。

(4) 最後の意味公式、{消極的代案提示}{理由}{詫び}の 3 つの意味公式が多く使われている。

5.8.3 場面 8：日本語母語話者とタイ語母語話者の断りの意味公式の比較

本項では、場面 8(疎・同等・軽)での日本語母語話者とタイ語母語話者の断りにおける意味公式を比較する。

5.8.3.1 場面 8：JJ・TT の意味公式の出現率の比較 (JJ・TT)



	①結論	②行動指示	③詫び	④理由	⑤積極的代案提示	⑥消極的代案提示	⑦条件提示	⑧約束	⑨否定的反応	⑩理解	⑪驚き	⑫情報確認	⑬共感	⑭冗談	⑮励まし	⑯非難
JJ	51	3	92	98	1	14	1	9	13	0	0	0	7	0	0	0
TT	19	1	72	99	1	32	6	3	36	1	1	0	0	0	0	0

〈直接的断り〉のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯

JJ{詫び}92%　(一回の詫び 79%、二回の詫び 13%)
TT{詫び}72% (一回の詫び 66%、二回の詫び 6%)
JJ{理由}98% (理由の内容 56%、理由の内容+付加説明 42%)
TT{理由}99% (理由の内容 56%、理由の内容+付加説明 43%)
JJ{否定的反応}13%　　(間投詞 13%、呼びかけ 0%)
TT{否定的反応}36%　　(間投詞 24%、呼びかけ 12%)

図 80　JJ・TT: 場面 8(疎・同等・軽)の断りの出現率

親しくない同等からの軽い依頼を断る場面において、JJ の出現率が 50%以上の意味公式は、高い順に④{理由} (98%)、③{詫び}(92%)、①{結論}(51%)である。一方、TT の出現率が 50%以上の意味公式は、④{理由}(99%)、③{詫び}(72%)である。

JJ と TT の間に意味公式の出現率に有意差があるかどうかカイ二乗検定を用いて検定した結果、有意差が見られた ($\chi 2(12)=50.96$, $p<.05$)。残差分析を行ったところ、有意差が見られたのは JJ の{結論}(Z=3.80)、{共感}(Z=2.57)と、TT の{消極的代案提示}(Z=2.99)、{否定的反応}(Z=3.67)である。

JJ と TT の共通点は、JJ と TT ともに{詫び}{理由}を多く使用し、理由の内容のみを言う点である。

相違点を以下の 2 点にまとめる。

(1) JJ は{結論}を多く使用している(51%)が、TT の 19%と比べると使用が多い。

(2) TT は JJ より{消極的代案提示}{否定的反応}を多く使用しており、JJ と TT の間には有意差が見られた。

5.8.3.2 場面 8：意味公式の出現順序のパターンの比較 (JJ・TT)

次に、JJ と TT の意味公式の出現順序のパターンを比較する。

表 58　JJ・TT: 場面 8(疎・目上・軽)の 意味公式の出現順序のパターン

{理由}が中間にあるパターン			
出現順序のパターンの前半部(JJ)	出現率	出現順序のパターンの前半部(TT)	出現率
*{詫び}+{理由}…	51%	**{否定的反応}+{理由}… {否定的反応(間)}+{理由}… {否定的反応(呼)}+{理由}…	23% (13%) (10%)
**{否定的反応}+{理由}… {否定的反応(間)}+{理由}…	6% (6%)	*{詫び}+{理由}…	17%
***{否定的反応}+{詫び}+{理由}… {否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}…	4% (4%)	***{否定的反応}+{詫び}+{理由}… {否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}… {否定的反応(呼)}+{詫び}+{理由}…	3% (2%) (1%)
{詫び}+{共感}+{理由}…	3%	{否定的反応}+{結論}+{理由}… {否定的反応(呼)}+{結論}+{理由}…	1% (1%)
{共感}+{理由}…	1%	{否定的反応}+{詫び}+{結論}}+{理由}… {否定的反応(間)}+{詫び}+{結論}+{理由}…	1% (1%)
{否定的反応}+{共感}+{理由}… {否定的反応(間)}+{共感}+{理由}…	1% (1%)	{驚き}+{消極的代案提示}+{理由}…	1%
		{詫び}+{結論}+{理由}…	1%
合計	**66%**	合計	**47%**
出現順序のパターンの後半部(JJ)	出現率	出現順序のパターンの後半部(TT)	出現率
…{理由}+{結論}*	27%	…{理由}+{詫び}**	18%
…{理由}+{詫び}**	6%	…{理由}+{消極的代案提示}	15%
…{理由}+{約束}***	6%	…{理由}+{結論}*	5%
…{理由}+{消極的代案提示}	5%	…{理由}+{約束}***	3%
…{理由}+{行動指示}	4%	…{理由}+{条件提示}	2%
…{理由}+{結論}+{条件提示}	4%	…{理由}+{消極的代案提示＋{詫び}*****	2%
…{理由}+{結論}+{詫び}****	4%	…{理由}+{結論}+{詫び}****	2%
…{理由}+{結論}+{消極的代案提示}	2%		
…{理由}+{消極的代案提示}+{詫び}*****	2%		
…{理由}+{共感}+{結論}	1%		
…{理由}+{詫び}+{結論}	1%		
…{理由}+{結論}+{詫び}+{約束}	1%		
…{理由}+{結論}+{約束}	1%		
…{理由}+{約束}+{詫び}	1%		
…{理由}+{積極的代案提示}	1%		
合計	**66%**	合計	**47%**

{理由}が冒頭の意味公式であるパターン			
JJ	**出現率**	**TT**	**出現率**
{理由}+{詫び}*	7%	{理由}+{消極的代案提示}***	9%
{理由}+{結論}+{詫び}**	3%	{理由}+{詫び}*	8%
{理由}+{消極的代案提示}***	2%	{理由}+{条件提示}	2%
{理由}+{結論}****	2%	{理由}+{結論}****	1%
{理由}+{結論}+{消極的代案提示}*****	1%	{理由}+{結論}+{詫び}**	1%
{理由}+{詫び}+{約束}	1%	{理由}+{結論}+{消極的代案提示}*****	1%
{理由}+{詫び}+{結論}+{詫び}	1%	{理由}+{詫び}+{条件提示}	1%
{理由}+{消極的代案提示}+{詫び}	1%	{理由}+{詫び}+{消極的代案提示}	1%
		{理由}+{詫び}+{消極的代案提示}+{結論}	1%
		{理由}+{消極的代案提示}+{詫び}	1%
		{理由}+{行動指示}	1%
		{理由}+{積極的代案提示}	1%
合計	**18%**	**合計**	**25%**
{理由}が最後の意味公式であるパターン			
JJ	**出現率**	**TT**	**出現率**
{詫び}+{理由}*	12%	{詫び}+{理由}*	12%
{否定的反応}+{詫び}+{理由}** {否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}	1% (1%)	{詫び}+{結論}+{理由}	4%
{否定的反応}+{詫び}+{共感} +{理由} {否定的反応(間)}+{詫び}+{共感} +{理由}	1% (1%)	{否定的反応}+{理由} {否定的反応(間)}+{理由}	4% (4%)
		{否定的反応}+{詫び}+{理由}** {否定的反応(間)}+{詫び}+{理由}	2% (2%)
		{否定的反応}+{消極的代案提示} +{理由} {否定的反応(間)}+{消極的代案提示} +{理由}	1% (1%)
		{理解}+{条件提示}+{理由}	1%
合計	**14%**	**合計**	**24%**
{理由}なしのパターン			
JJ	**出現率**	**TT**	**出現率**
{詫び}+{結論}	2%	{否定的反応}+{詫び}+{結論} +{消極的代案提示} {否定的反応(間)}+{詫び}+{結論} +{消極的代案提示}	1% (1%)
合計	**2%**	**合計**	**1%**
意味公式が一つしかないパターン			
JJ	**出現率**	**TT**	**出現率**
なし	0%	なし	0%
合計	**0%**	**合計**	**0%**
総合計	**100%**	**総合計**	**100%**

まず、JJ の出現率の高い順に、{理由}が中間にあるパターンの出現率が 66%、続いて{理由}が冒頭の意味公式であるパターンの出現率が 18%、{理由}が最後の意味公式であるパターンの出現

率が 14%、{理由}なしのパターンの出現率が 2%である。一方、TT は{理由}が中間にあるパターンの出現率が 47%、{理由}が冒頭の意味公式であるパターンの出現率が 28%、理由}が最後の意味公式であるパターンの出現率が 24%、{理由}なしのパターンの出現率が 1%である。

JJ と TT の意味公式の出現順序のパターンの相違点を以下の 3 点にまとめる。

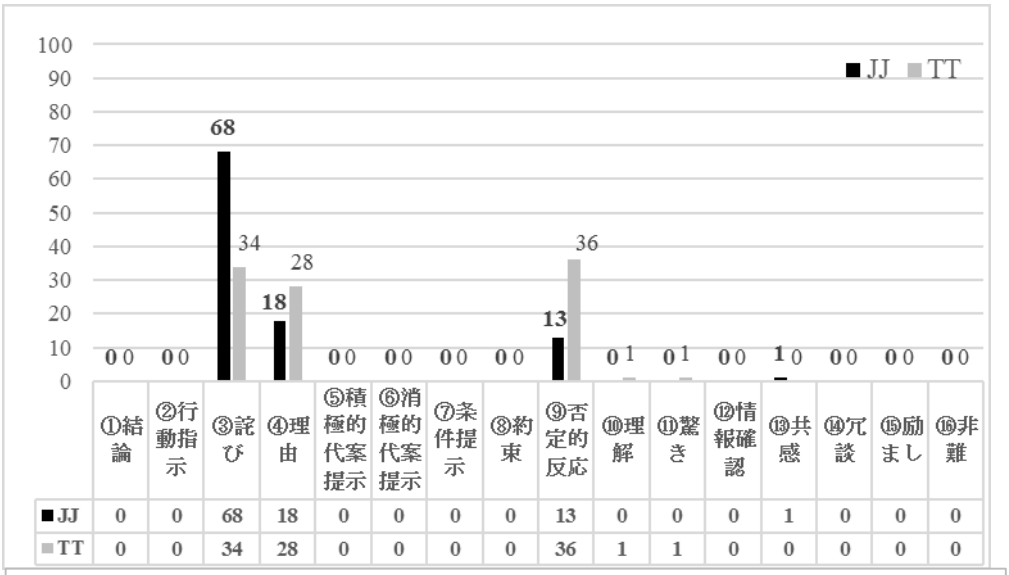
(1) JJ は{理由}が中間にあるパターンの出現率は 66%を超えるが、TT は 47%に過ぎない。{理由}が中間にあるパターン以外、TT は{理由}が冒頭の意味公式であるパターンの出現率が 28%で、{理由}が最後の意味公式であるパターンの出現率が 24%である。この 2 種類のパターンの出現率は 52%を占める。

(2) {理由}が中間にあるパターンのうち、出現順序のパターンの前半部を見ると、JJ においては{詫び}+{理由}…の出現率が最も高い(51%)のに対して、TT は 17%に過ぎない。一方、TT は{否定的反応}+{理由}…の出現率が最も高い(23%)のに対して、JJ はわずか 6%である。

(3) 出現順序のパターンの後半部を見ると、JJ は…{理由}+{結論}の出現率が最も高い(27%)のに対して、TT は出現率がわずか 5%である。TT の出現率が最も高いパターンは…{理由}+{詫び} (18%)、続いて…{理由}+{消極的代案提示} (15%)である。しかし、JJ は…{理由}+{詫び}の出現率がわずか 6%で、…{理由}+{消極的代案提示}の出現率もわずか 5%である。

5.8.3.3 場面 8：冒頭の意味公式の比較 (JJ・TT)

TT と JJ が用いた冒頭の意味公式の出現率を図 81 に示す。



〈直接的断り〉 のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉 のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯
JJ{否定的反応}13%　(間投詞 13%、呼びかけ 0%)
TT{否定的反応}36%　(間投詞 24%、呼びかけ 12%)

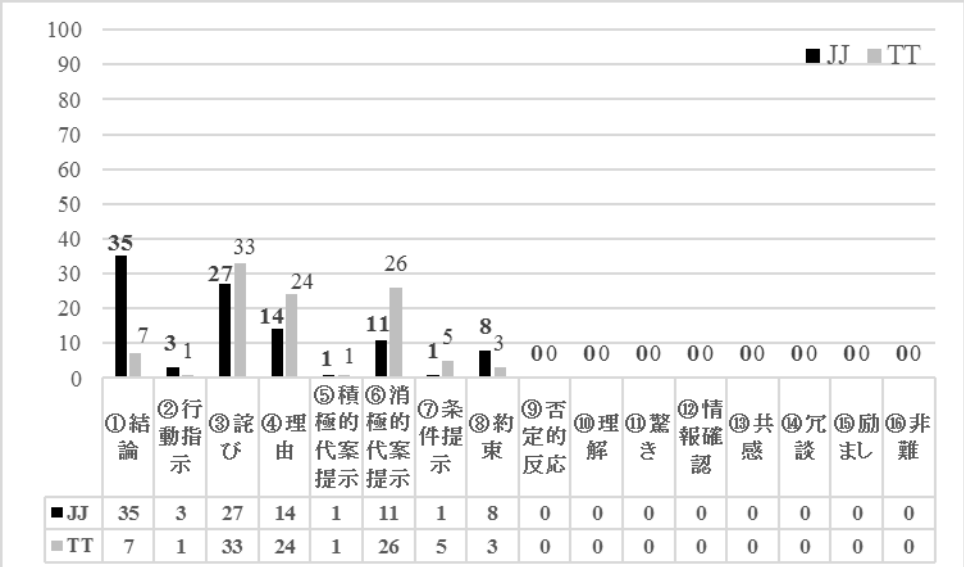
図 81　JJ・TT: 場面 8(疎・同等・軽)の断りの冒頭の意味公式の出現率

JJ が用いた冒頭の意味公式は出現率の高い順に③{詫び}(68%)、④{理由}(18%)、⑨{否定的反応}(13%)、⑫{共感}(1%)である。一方、TT が用いた冒頭の意味公式の出現率の高い順に⑨{否定的反応}(36%)、③{詫び}(34%)、④{理由}(28%)、⑩{理解}と⑪{驚き}(それぞれ 1%)である。

JJ と TT の相違点は、JJ は{詫び}の出現率が突出しており、使用の偏りが見られる一方で、TT は{詫び}{理由}{否定的反応}の 3 つの意味公式をほぼ同程度の頻度で使用している点である。

5.8.3.4 場面 8：最後の意味公式の比較 (JJ・TT)

次に、最後の意味公式を考察する。出現率を図 82 に示す。



〈直接的断り〉 のカテゴリーの意味公式　①②
〈間接的断り〉 のカテゴリーの意味公式　③④⑤⑥⑦⑧
〈付加表現〉　のカテゴリーの意味公式　⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯
JJ{理由}14%　(理由が最後の意味公式であるパターン 14%)
TT{理由}24% (理由が最後の意味公式であるパターン 24%)

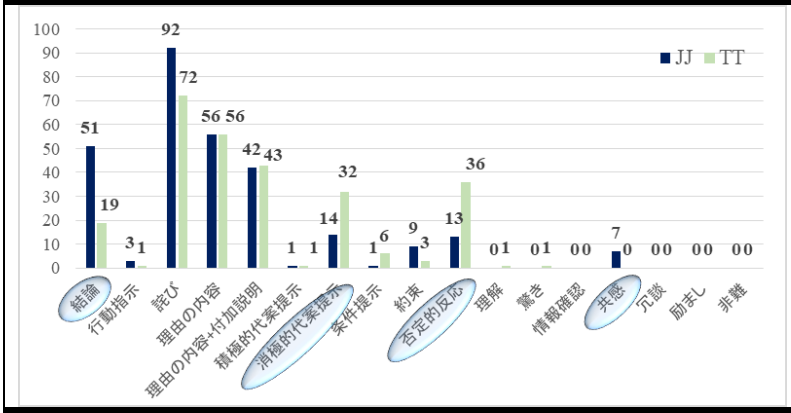
図 82　JJ・TT: 場面 8(疎・同等・軽)の断りの最後の意味公式の出現率

JJ が用いた意味公式の最も出現率が高いのは①{結論}(35%)、続いて③{詫び} (27%)、④{理由}(14%)、⑪{消極的代案提示}(11%)である。他の意味公式は出現率が 10%以下である。一方、TT が用いた最も出現率が高い意味公式は③{詫び}(33%)、続いて⑥{消極的代案提示}(26%)、④{理由}(24%)である。他の意味公式は出現率が 10%以下である。

JJ と TT の相違点は、JJ は{詫び}{結論}を多く使用しているのに対して、TT は{消極的代案提示}{理由}{詫び}の 3 つの意味公式を使用する傾向が見られる点である。

5.8.3.5 場面 8：JJ と TT が用いた意味公式の使用のまとめ

意味公式の出現率

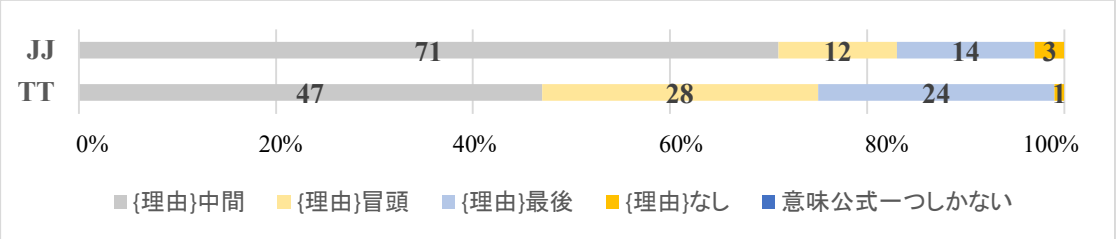


カイ二乗検定を用いて検定した結果、有意差が見られた（$\chi 2(12)=50.96, p<.05$）。

残差分析を行ったところ、有意差が見られたのは **JJ** の{結論}(Z=3.80)、{共感}(Z=2.57)

TT の{消極的代案提示}(Z=2.99)
{否定的反応}(Z=3.67)

意味公式の出現順序のパターン

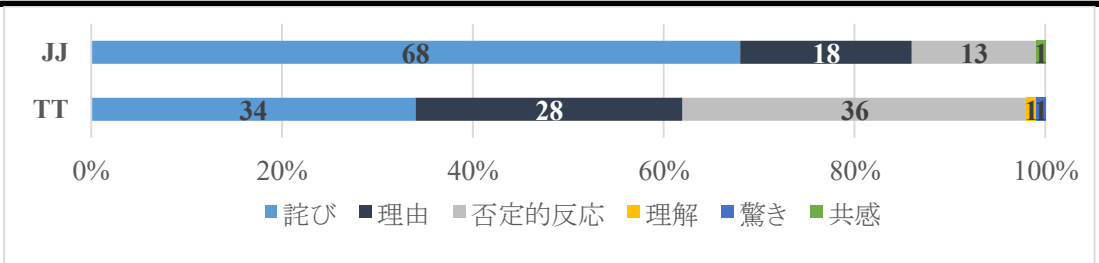


(1) **JJ** は{理由}が中間にあるパターンを使用する傾向が強い(7 割)。しかし、**TT** においてそのパターンを使用したのは 5 割弱であり、残りの TT については{理由}が冒頭の意味公式であるパターンと、{理由}が最後の意味公式であるパターンを多く使用する傾向が見られる。

(2) 出現順序のパターンの前半部について、**JJ** と **TT** にはともに{詫び}+{理由}…の出現率が最も高いという共通点が見られる。

(3)出現順序のパターンの後半部について、**JJ** は…{理由}+{結論}、**TT** は…{理由}+{詫び}の出現率が最も高い。

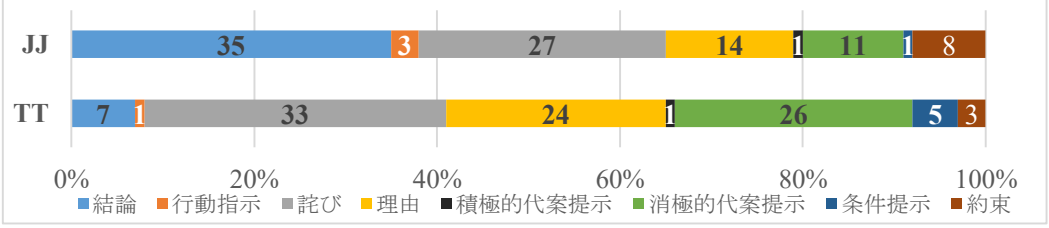
冒頭の意味公式



JJ は{詫び}(68%)を使用する傾向が強い。

一方、**TT** は{詫び}{理由}{否定的反応}の 3 つの意味公式をほぼ同程度の頻度で使用する傾向が見られる。

最後の意味公式



JJ は{結論}(35%)、{詫び}(27%)の 2 つの意味公式を、**TT** は{詫び}(33%)、{消極的代案提示}(26%)、{理由}(24%)の 3 つの意味公式を使用する傾向が見られる。

5.9 場面 1-8 における意味公式の使用のまとめ

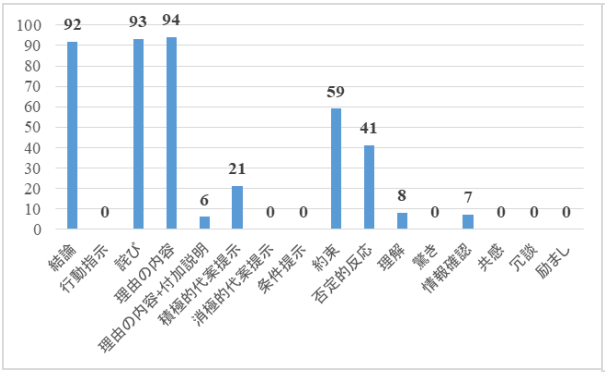
本節では、場面 1-8 において JJ と TT が用いた意味公式の出現率、意味公式意味公式の出現順序のパターン、冒頭の意味公式、最後の意味公式をまとめる。

5.9.1 場面 1-8：意味公式の出現率

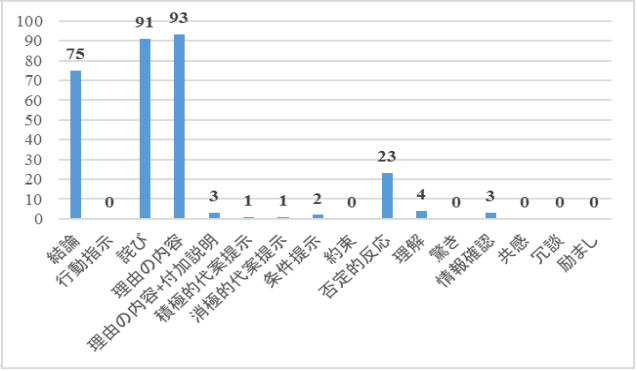
まず、場面 1-8 での JJ と TT の意味公式の出現率を比較する。なお、{理由}は[理由の内容]と[理由の内容+付加説明]を分け、グラフで出現率を現す。

5.9.1.1 場面 1-8：意味公式の出現率(JJ)

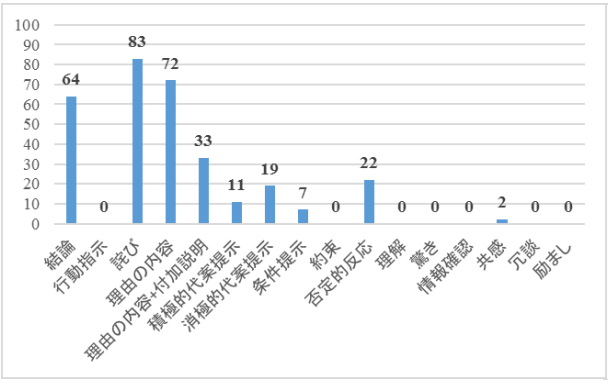
場面 1-8 での JJ の意味公式の出現率を以下の図に示す。



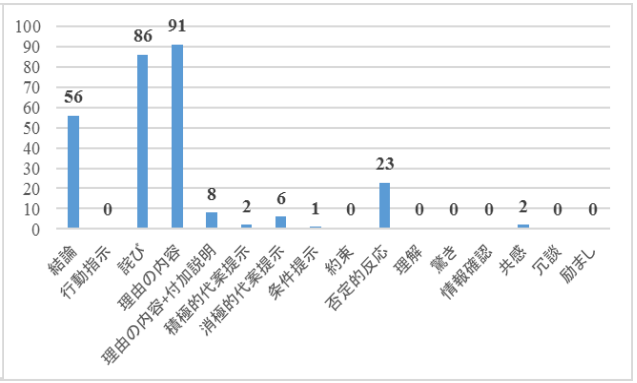
場面 1(親・目上・重)



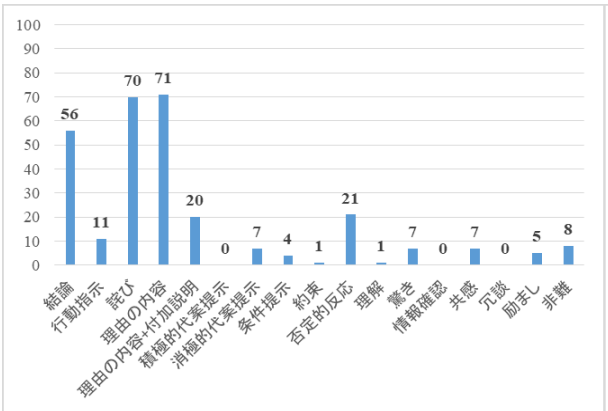
場面 2(疎・目上・重)



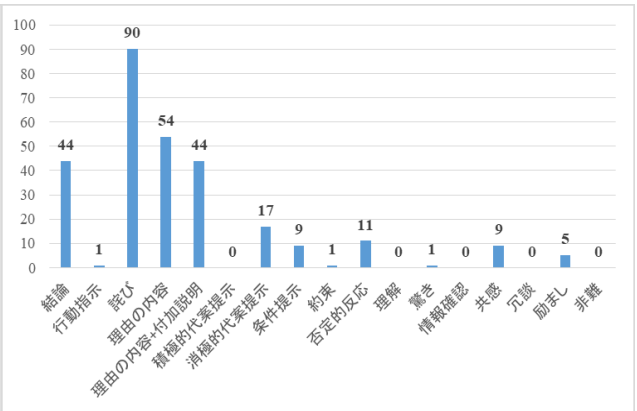
場面 3(親・目上・軽)



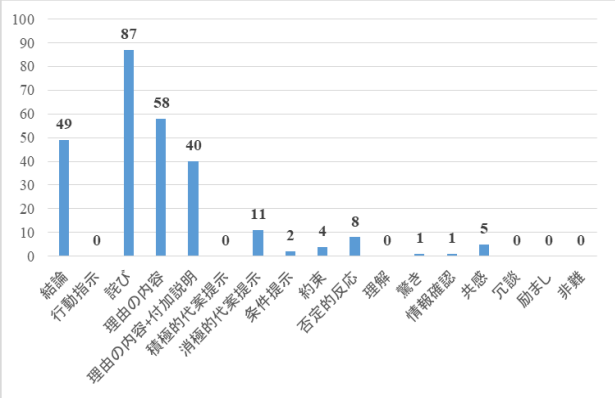
場面 4(疎・目上・軽)



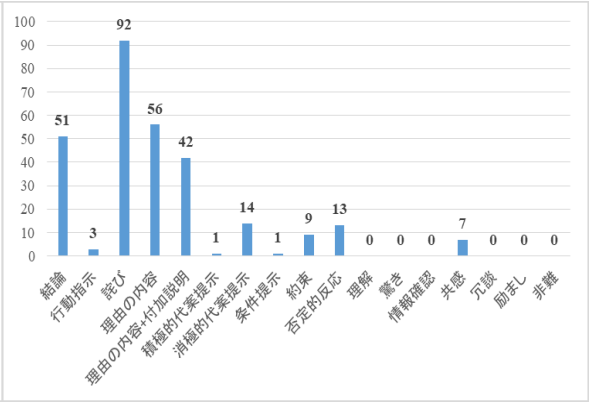
場面 5(親・同等・重)



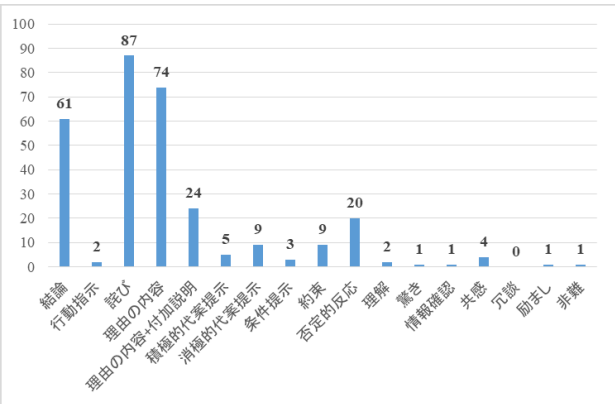
場面 6(疎・同等・重)



場面 7(親・同等・軽)



場面 8(疎・同等・軽)



合計

8 場面の合計で見ると、出現率が 50%以上の意味公式は、高い順に<間接的断り>の{理由}(98% 内訳：[理由の内容]74%、[理由の内容+付加説明]24%)、続いて{詫び} (87%)、次に<直接的断り>の{結論} (61%)となっている。<付加表現>の意味公式のうち、{否定的反応}の出現率が最も高い(20%)。以上の結果から、断りの際、JJ は{詫び}{理由}{結論}の 3 つの意味公式を多く使用することが分かった。

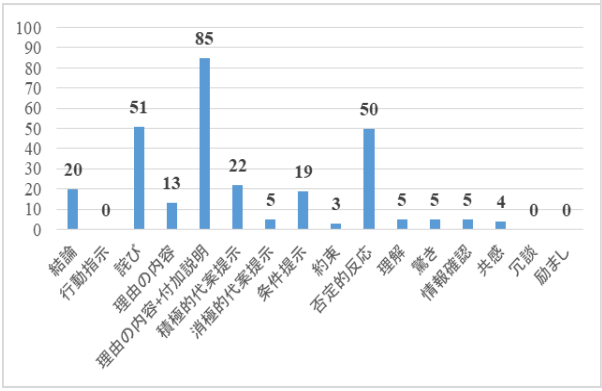
なお、それぞれの意味公式は、場面によって出現率が左右される。そこで、一つ一つの意味公式の出現の大まかな特徴を表 59 にまとめた。意味公式ごとに使用傾向が見られた要因については、第 6 章で詳細に考察する。

表 59　JJ が用いる意味公式の出現の特徴

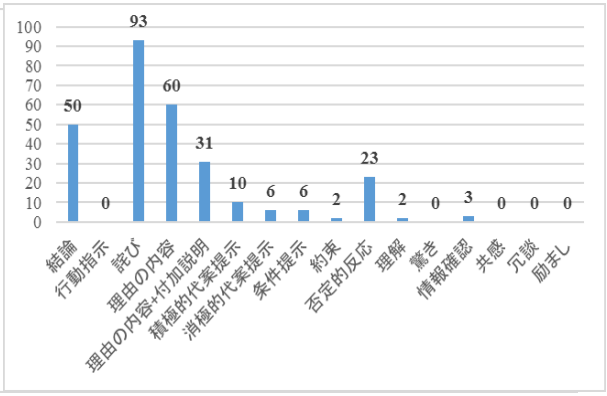
カテゴリー	意味公式	出現の大まかな特徴
直接的断り	結論	(1)目上からの依頼の場面(場面 1-4)では、出現率が 56-92%、同等からの依頼の場面(場面 5-8)では、出現率が 44-64%である。JJ については、同等より目上のほうが{結論}を多く使用する傾向が見られた。 (2)目上からの依頼の場面のうち、重い依頼(場面 1：92%、場面 2：75%)の出現率のほうが、軽い依頼 (場面 3：64%、場面 4：56%)の出現率よりも高かった。一方、同等からの依頼の場面では、ふたつの出現率が同程度である。
	行動指示	同等からの依頼の場面(場面 5,6,8)に見られた。場面 5(親・同等・重)では、出現率が 11%、場面 6(疎・同等・重)と場面 8(疎・同等・軽)では、出現率はわずか 1-3%である。つまり、親しい同等からの重い依頼の場面における出現率がもっとも高いと言える。
間接的断り	詫び	すべての場面において、出現率が 70%以上である。
	理由	すべての場面において、出現率が 90%以上である。また、JJ においては、[理由の内容]を使用する特徴が見られる。加えて、目上に対しての方が同等より[理由の内容]を多く使用する傾向がある。
	理由の内容	目上からの依頼の場面(場面 1-4)では、出現率が 72-94%、 同等からの依頼の場面(場面 5-8)では、出現率が 54-71%である。
	理由の内容+ 付加説明	目上からの依頼の場面(場面 1-4)では、出現率が 3-33%、 同等からの依頼の場面(場面 5-8)では、出現率が 20-44%である。
	積極的代案提示	親しい目上からの重い依頼の場面(場面 1：21%)と親しい目上からの軽い依頼の場面(場面 3：11%)を除いて、出現率がわずか 1-5%程度であり、ほとんど用いられない。
	消極的代案提示	場面 1,3,6 では、出現率が 2 割であるのに対して、他の場面では出現率が 1-14%である。
	条件提示	出現率はわずか 2-9%に過ぎず、ほとんど用いられない。
	約束	場面 1(親・目上・重)では、出現率が突出している(59%)のに対して、他の場面では、出現率がわずか 1-5%である。
付加表現	否定的反応	出現率は 8-41%である。場面 1(親・目上・重)では、他の場面と違い、出現率が 41%を超える。
	理解	すべての場面で、出現率は わずか 2-9%である。
	驚き	
	情報確認	
	共感	
	冗談	JJ においては全く見られなかった。
	励まし	同等からの重い依頼の場面(場面 5-6)にしか見られず、出現率が低い(5%)。
	非難	親しい同等からの重い依頼の場面(場面 5)にしか見られず、出現率が低い(8%)。

5.9.1.2 場面 1-8：意味公式の出現率(TT)

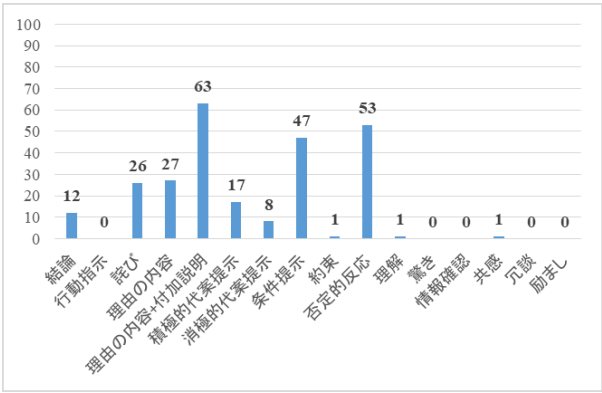
次に、場面 1-8 での TT の意味公式の出現率を以下の図に示す。



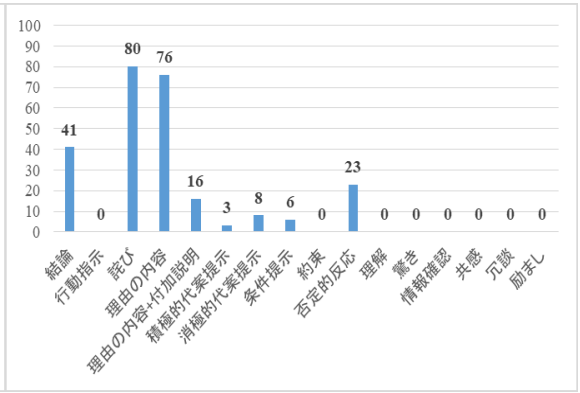
場面 1(親・目上・重)



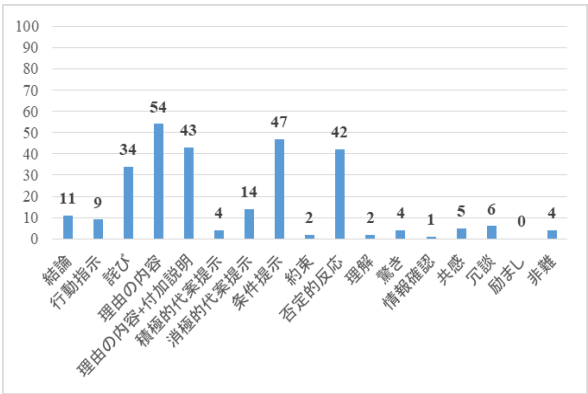
場面 2(疎・目上・重)



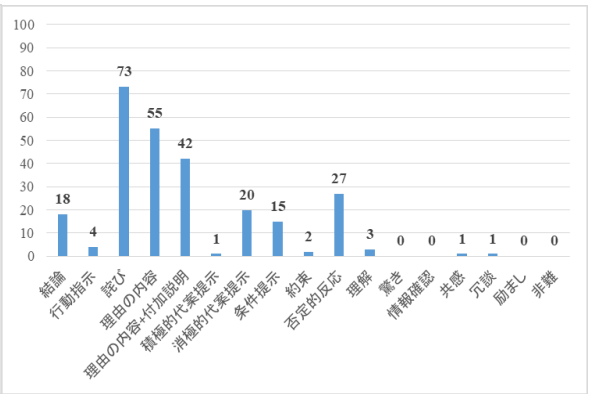
場面 3(親・目上・軽)



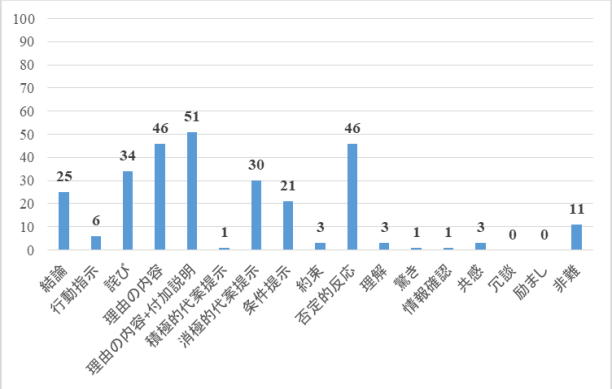
場面 4(疎・目上・軽)



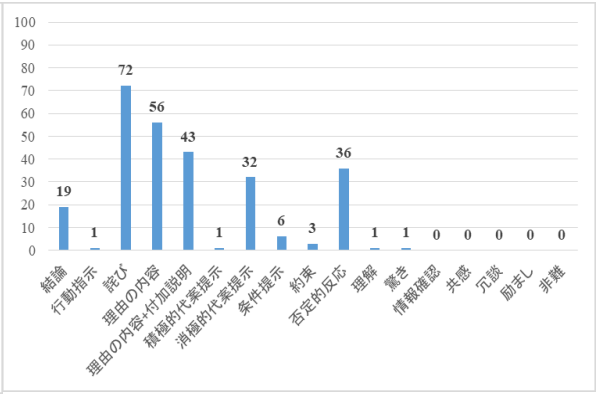
場面 5(親・同等・重)



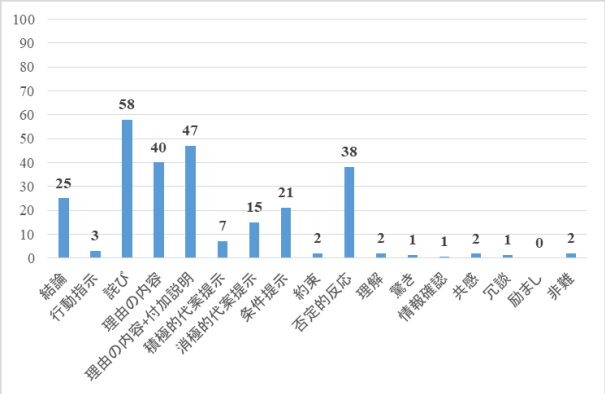
場面 6(疎・同等・重)



場面 7(親・同等・軽)



場面 8(疎・同等・軽)



合計

8 場面の合計で見ると、出現率が 50%以上の意味公式は、高い順に<間接的断り>の{理由}(87%){内訳：[理由の内容]40%、[理由の内容+付加説明]47%)、続いて{詫び}(58%)である。

また、次点で多く用いられている意味公式は<付加表現>の{否定的反応}(38%)である。全体的な傾向を見ると、TT は{詫び}、{理由}、{否定的反応}の 3 つの意味公式を多く使用しているが、出現率が 38-58%である。

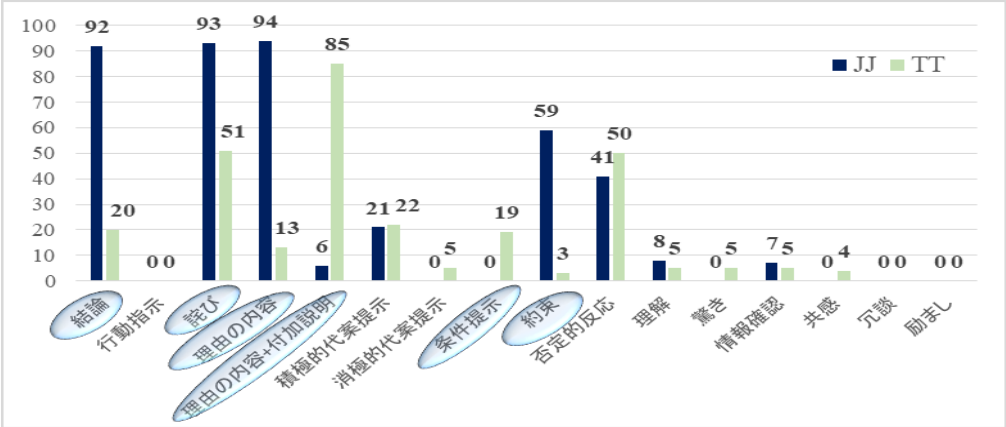
なお、それぞれの意味公式は、場面によって出現率が左右される。一つ一つの意味公式の出現の大まかな特徴を表 60 にまとめる。

表 60　TT が用いる意味公式の出現の特徴

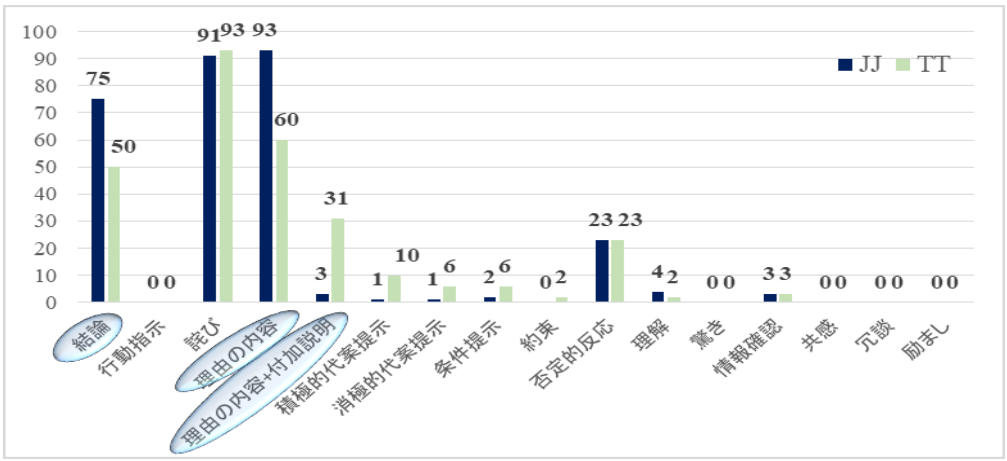
カテゴリー	意味公式	出現の大まかな特徴
直接的断り	結論	親しくない目上からの重い依頼の場面(場面 2：50%)と親しくない目上からの軽い依頼の場面(場面 4：41%)では、約半数の TT が{結論}を使用しているが、他の場面における出現率はわずか 11-25%である。
	行動指示	同等からの依頼の場面(場面 5-8)に見られたが、出現率が非常に低い(1-9%)。親しい同等においてのほうが、親しくない同等においてよりも出現率が少し高い。
間接的断り	詫び	出現率は 26-93%である。親疎関係によって出現率が左右される。TT は親しくない人に対してのほうが、親しい人に対してより{詫び}を多用する傾向が見られる。
	理由	すべての場面において、出現率が 90%以上である。TT は親疎関係と上下関係によって[理由の内容]と[理由の内容+付加説明]を使い分ける。
	理由の内容	出現率は 13-76%である。目上からの依頼の場面(場面 1-4)では、親しくない目上に対する場合の出現率が高い(場面 2：60%、場面 4：76%)。一方、親しい目上に対する場合の出現率は低い(場面 1：13%、場面 3：24%)。しかし、同等からの依頼の場面(場面 5-8)では、親しい同等に対する場合でも親しくない同等に対する場合でも出現率が同程度である。
	理由の内容+付加説明	出現率は 16-85%である。目上からの依頼の場面(場面 1-4)では、親しい目上に対する場合の出現率が高い(場面 1：85%、場面 3：63%)の一方、親しくない目上に対する出現率は低い(場面 2：31%、場面 4：16%)。しかし、同等からの依頼の場面(場面 5-8)においては、親しい同等に対する場合でも親しくない同等に対する場合でも出現率が同程度である。
	積極的代案提示	出現率が 1-22%である。親しい目上からの依頼の場面(場面 1：17%)(場面 3：22%)では、出現率が約 2 割であり、他の場面では出現率がわずか 1-10%である。
	消極的代案提示	出現率は 5-32%である。同等からの軽い場面(場面 7,8)では、出現率が 3 割程度であり、他の場面では出現率はわずか 4-20%である。
	条件提示	出現率が 6-47%である。親疎関係と依頼の負担度によって出現率が左右される。親しい目上からの軽い依頼の場面(場面 3)と親しい同等からの重い依頼の場面(場面 5)では、半数程度の TT が{条件提示}を使用する。他の場面では、出現率が低い(6-19%)。
	約束	すべての場面において、出現率はわずか 0-2%である。
付加表現	否定的反応	出現率は 23-53%である。親疎関係によって出現率が左右される。親しい人からの依頼の場面(場面 1,3,5,7)では、出現率が 42-53%である。親しくない人からの依頼の場面(場面 2,4,6,8)では、出現率が 23-36%である。
	理解	すべての場面において、出現率はわずか 0-5%である。
	驚き	
	情報確認	
	共感	
	冗談	同等からの重い依頼の場面(場面 5：6%)(場面 6：1%)にしか見られなかった。
	励まし	TT に全く見られなかった。
	非難	親しい同等からの依頼(場面 5：4%)(場面 7：11%)にしか見られなかった。

5.9.1.3 場面 1-8：意味公式の出現率の比較(JJ・TT)

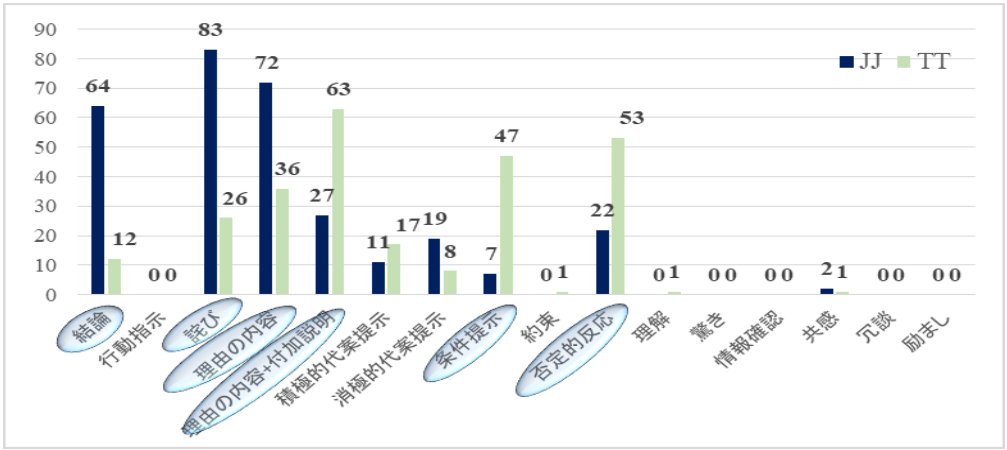
最後に、場面 1-8 での JJ と TT の意味公式の出現率を以下の図に示す。〇がついているのは、JJ と TT の間に有意差が見られた意味公式である。なお、有意差を見るのは各場面ごとのみであり、合計したものについては適用しない。



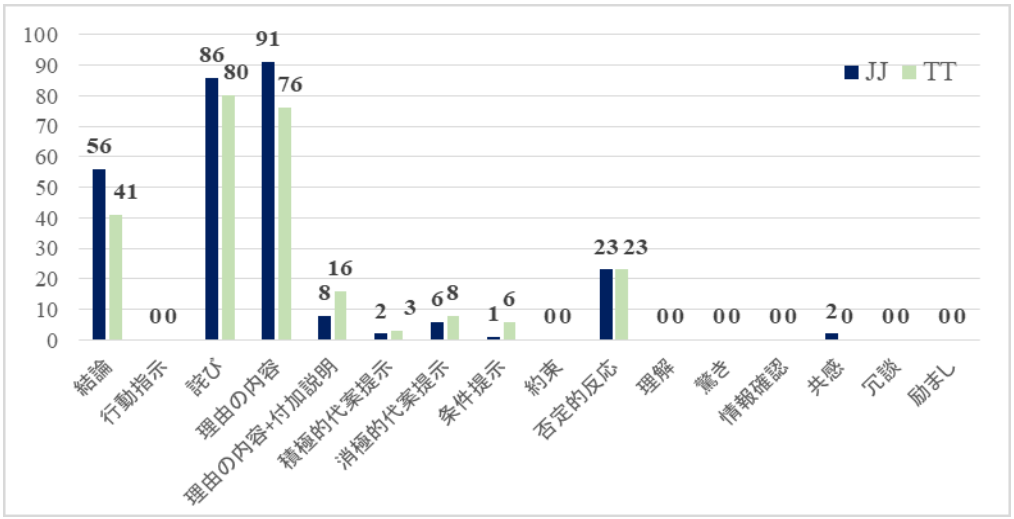
場面 1(親・目上・重)



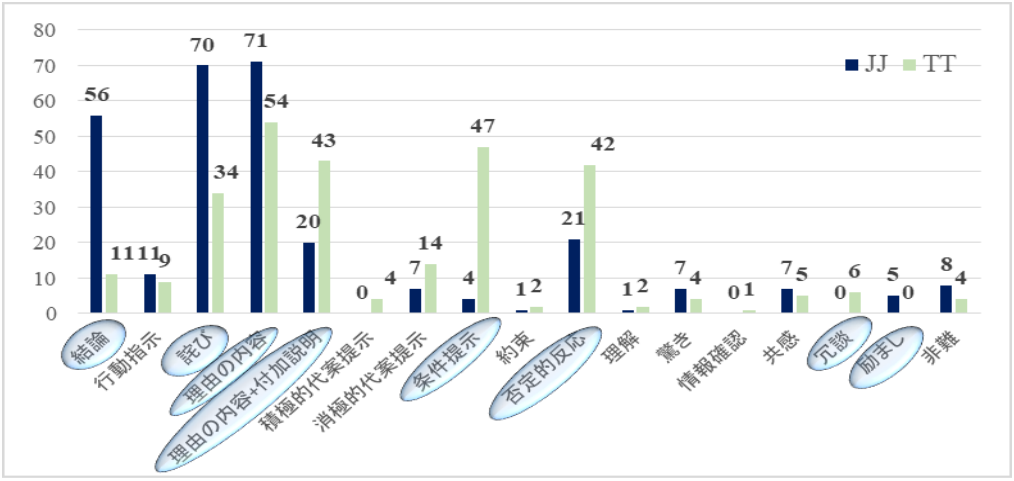
場面 2(疎・目上・重)



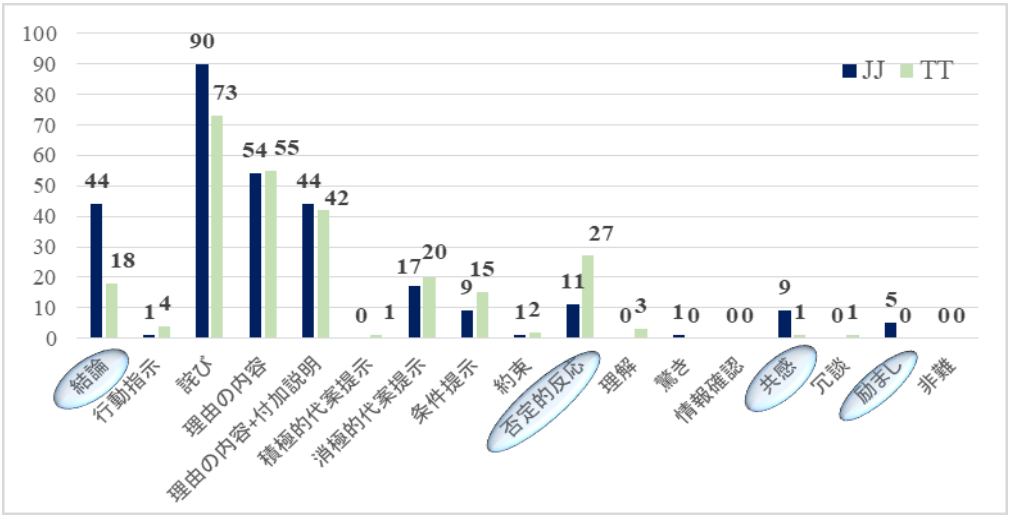
場面 3(親・目上・軽)



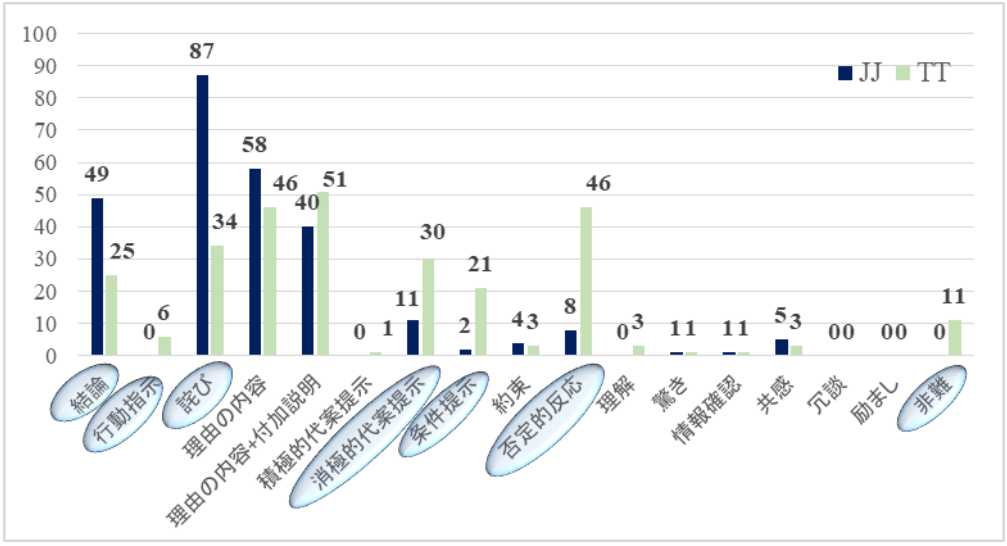
場面 4(疎・目上・軽)



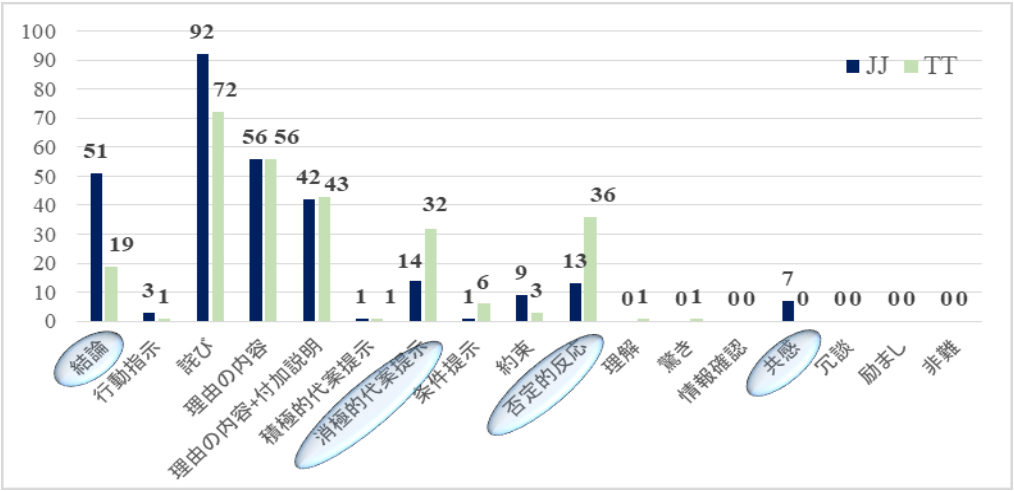
場面 5(親・同等・重)



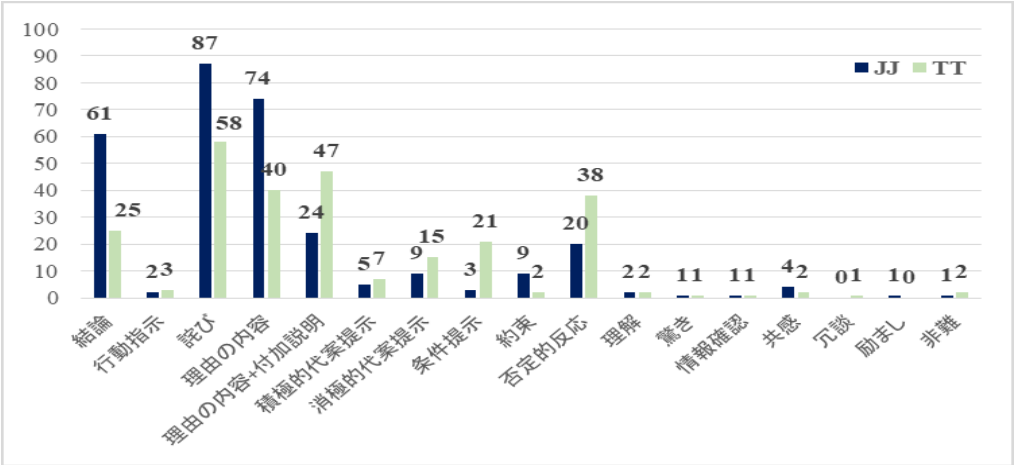
場面 6(疎・同等・重)



場面 7(親・同等・軽)



場面 8(疎・同等・軽)



合計

全体的な傾向を見ると、断りの際、JJ は{詫び}{理由[理由の内容]}{結論}の 3 つの意味公式を多く使用しており、それぞれの意味公式の出現率は 60%以上である。一方、TT は{詫び}{理由[理由の内容]}{理由[理由の内容+付加説明]}{否定的反応}の 4 つの意味公式を多く使用している。

JJ と TT の意味公式の出現率に有意差があるかどうかという点についてカイ二乗検定を行ったところ、場面 4(疎・目上・軽)を除く他の 7 場面において意味公式の出現率に有意差が見られた。具体的には、JJ は<直接的断り>の{結論}、<間接的断り>の{詫び}{理由[理由の内容]}{約束}と、<付加表現>の{共感}{励まし}を TT より有意に多く使用している。しかし、TT は<直接的断り>の{行動指示}、 <間接的断り>の{理由[理由の内容+付加説明]}{条件提示}{消極的代案提示}と、<付加表現>の{否定的反応}{非難}を JJ より有意に多く使用している。

JJ と TT が用いる意味公式の特徴を以下の表にまとめる。

表 61 JJ と TT が用いる意味公式の出現の特徴

カテゴリー	意味公式	出現の特徴
直接的断り	結論	**JJ** (1)目上からの依頼の場面(場面 1-4)では、出現率が 56-92%、同等からの依頼の場面(場面 5-8)では、出現率が 44-64%である。JJ は、同等に対してより目上に対するほうが{結論}を多く使用する傾向が分かった。 (2)目上からの依頼の場面のうち、重い依頼(場面 1：92%、場面 2：75%)の場合のほうが、軽い依頼の場合より(場面 3：64%、場面 4：56%)、出現率が高いことが明らかになった。同等からの依頼の場面では、重い依頼でも、軽い依頼でも、出現率が同程度である。
		TT 親しくない目上からの依頼の場面(場面 2：50%)と親しくない目上からの依頼の場面(場面 4：41%)では、約半数の TT が{結論}を使用するが、他の場面における出現率は 11-25%に過ぎない。
	行動指示	JJ と TT ともに、〔行動指示〕をほとんど使用しないという共通点が見られる。
間接的断り	詫び	**JJ** すべての場面において、出現率が 70%以上である。
		TT 出現率が 26-93%である。親疎関係によって出現率が左右される。TT は親しくない人のほうが、親しい人より{詫び}を多く使用する傾向が見られる。
	理由	すべての場面において、出現率が 90%以上である。
	理由の内容	**JJ** [理由の内容]を使用する特徴がある。だが、目上のほうが同等より[理由の内容]を多く使用する傾向が見られる。目上からの依頼の場面では 72-94%、同等からの依頼の場面では 54-71%である。
		TT 目上からの依頼の場面において、親しくない目上に対する場合には出現率が高い(場面 2：60%、場面 4：76%)のに対して、親しい目上に対する場合には出現率が低い(場面 1：13%、場面 3：24%)。しかし、同等からの依頼の場面では、親しい同等でも親しくない同等でも出現率が同程度である。

	理由の内容 +付加説明	**JJ** [理由の内容+付加説明]の出現率が低い。目上からの依頼の場面では 3-33%、同等からの依頼の場面では 20-44%である。
		TT 目上からの依頼の場面では、親しい目上に対する場合には出現率が高い(場面 1：85%、場面 3：63%)のに対して、親しくない目上に対する場合には出現率が低い(場面 2：31%、場面 4：16%)。しかし、同等からの依頼の場面では、親しい同等と親しくない同等、どちらと接する場合であっても出現率は同程度である。
	積極的代案提示	JJ と TT の間に、出現率に有意差が見られなかった。
	消極的代案提示	**JJ** 場面 1,3,6 では、出現率が 2 割であるのに対して、他の場面では出現率が 1-14%である。
		TT 出現率は 5-32%である。同等からの軽い依頼の場面(場面 7,8)では、出現率が 3 割であり、他の場面では出現率が 4-20%に過ぎない。
	条件提示	**JJ** 出現率は 2-9%に過ぎず、ほとんど用いられない。
		TT 出現率は 6-47%である。親疎関係と依頼の負担度によって出現率が左右される。親しい目上からの軽い依頼の場面(場面 3)と親しい同等からの重い依頼の場面(場面 5)では、約半数の TT が{条件提示}を使用する。他の場面における出現率は低い(6-19%)。
	約束	**JJ** 場面 1(親・目上・重)では出現率が突出している(59%)のに対して、他の場面では、出現率がわずか 1-5%である。
		TT すべての場面において、出現率がわずか 0-2%である。
付加表現	否定的反応	**JJ** 出現率が 8-41%である。場面 1 のみ(親・目上・重)では、他の場面と違い、出現率が 41%を超える。
		TT 出現率は 23-53%である。親疎関係によって出現率が左右される。親しい人のほうが、親しくない人より出現率が高い。
	理解	JJ と TT ともに、ほとんど使用していない。 出現率は 10%以下である。
	驚き	
	情報確認	
	共感	
	冗談	**JJ** 全く見られなかった。
		TT 同等からの重い依頼の場面(場面 5：6%)(場面 6：1%)にしか見られなかった。
	励まし	**JJ** 同等からの重い依頼の場面(場面 5-6)にしか見られず、出現率が低い(5%)。
		TT 全く見られなかった。
	非難	**JJ と TT、双方の**親しい同等からの重い依頼の場面に見られるが、出現率が低い。

5.9.2 場面 1-8：意味公式の出現順序のパターン

次に、場面 1-8 での JJ と TT の意味公式の出現順序のパターンをまとめ、比較する。

5.9.2.1 場面 1-8：意味公式の出現順序のパターン(JJ)

場面 1-8 での JJ の意味公式の出現順序のパターンを図 83 に示す。

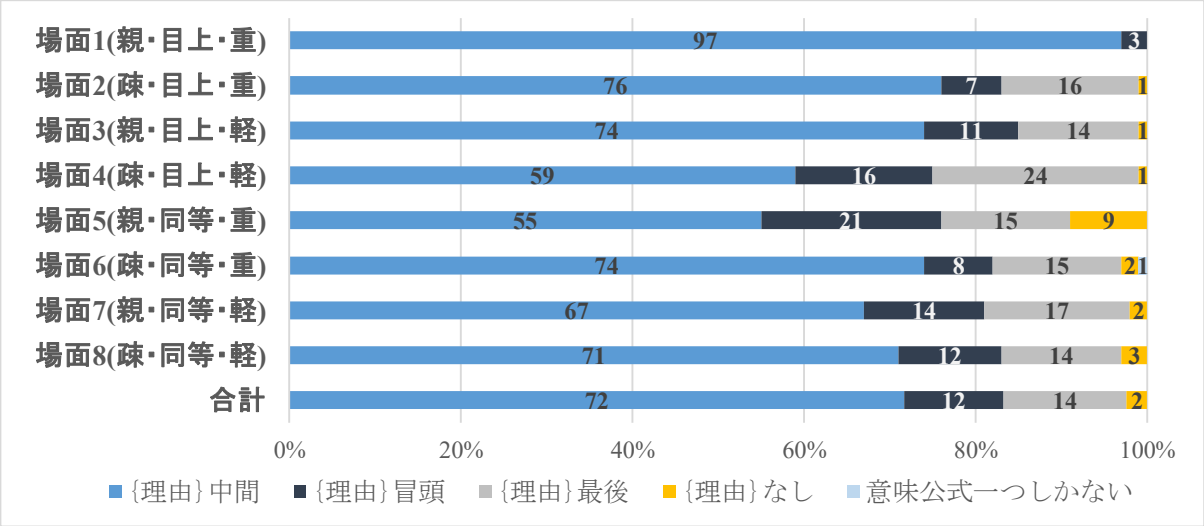


図 83　場面 1-8 での JJ の意味公式の出現順序のパターン

8 場面の合計で見ると、{理由}が中間にあるパターンの出現率が著しく高く(72%)、続いて{理由}が最後にあるパターン(14%)と、{理由}が冒頭にあるパターン(12%)が同程度である。一方、{理由}なしのパターンはほとんど使われていない(2%)。また、意味公式が一つしかないパターンの場合は、平均出現率は 0%であるが、場面 6 のみ出現率が 1%で、{理由}が使われている。

JJ の意味公式の出現順序のパターンの特徴を以下の 3 点にまとめる。

(1) すべての場面において、5 つのパターンの種類のうち、{理由}が中間にあるパターンの出現率が最も高い。中でも、場面 1 (親・目上・重)における出現率が最も高い(97%)。しかし、場面 4(疎・目上・軽)と、場面 5(親・同等・重)では、出現率が相対的に低いと言える(55-59%)。

(2) 同等からの依頼の場面(場面 5-8)よりも目上からの依頼の場面(場面 1-4)においての方が、{理由}が中間にあるパターンを多く使用している。ただし、場面 4(疎・目上・軽)では、{理由}が中間にあるパターンと、{理由}が冒頭にあるパターンの出現率が場面 5(親・同等・重)と同程度である。

(3) {理由}なしのパターンについて、場面 5(親・同等・重)では、出現率が 9%であるのに対して、他の場面では、出現率はわずか 0-3%である。

5.9.2.2 場面 1-8：意味公式の出現順序のパターン(TT)

次に、場面 1-8 での TT の意味公式の出現順序のパターンを図 84 に示す。

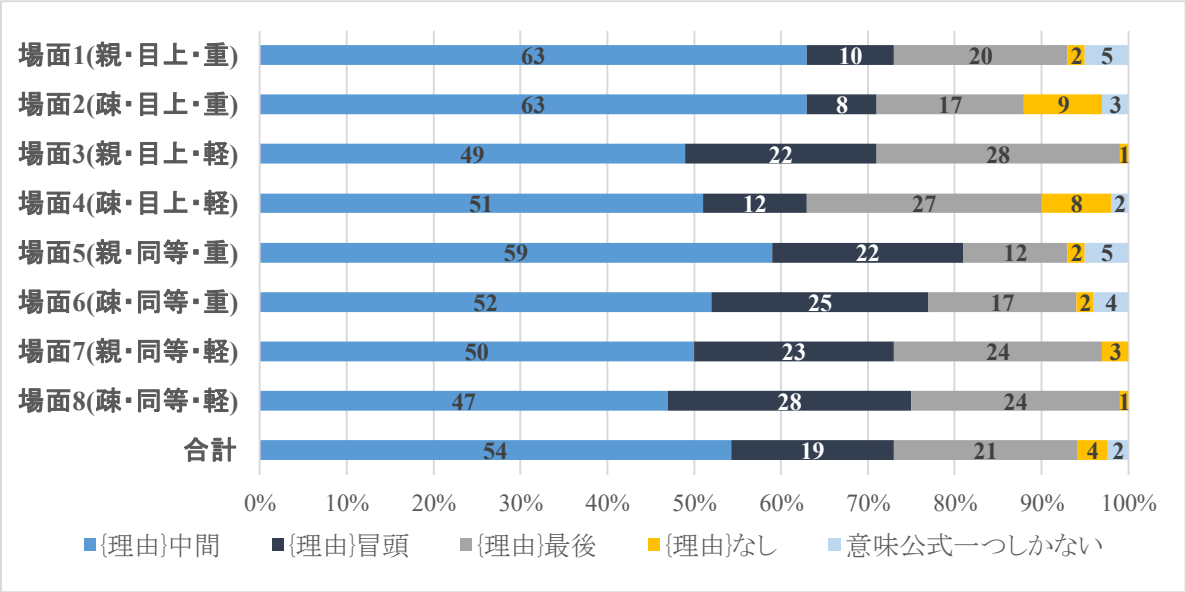


図 84　場面 1-8 での TT の意味公式の出現順序のパターン

8 場面の合計で見ると、{理由}が中間にあるパターンの出現率が最も高く(51%)、続いて{理由}が最後にあるパターン(21%)と、{理由}が冒頭にあるパターン(19%)である。一方、{理由}なしのパターン (4%)と、意味公式が一つしかないパターン(2%)はほとんど使われていない。

TT の意味公式の出現順序のパターンの特徴を以下の 3 点にまとめる。

(1) すべての場面において、{理由}が中間にあるパターンの出現率が 5-6 割であり、約半数の TT がそのパターンを使用することが分かった。

(2) {理由}が中間にあるパターンの出現率が約 5 割を占めている。そのほか、{理由}が冒頭にあるパターンと、{理由}が最後にあるパターンがそれぞれ約 2 割を占める。

(3) {理由}なしのパターンについて、場面 2(疎・目上・重)(9%)と場面 4(疎・同等・重)(8%)の出現率が 8-9%であるのに対して、他の場面における出現率は 1-4%に過ぎない。

5.9.2.3 場面 1-8：意味公式の出現順序のパターン(JJ・TT)

全体的な傾向を見ると、JJ と TT は{理由}が中間にあるパターンを最も多く使用しているという共通点が見られる。

一方、相違点は以下の 3 点である。

(1) JJ は、すべての場面において{理由}が中間にあるパターンの出現率が 6-9 割(8 場面合計のうち、7 割)であるのに対して、TT はわずか 5 割である。JJ と TT はともに{理由}が中間にあるパターンを最も多く使用しているが、具体的な数値を見ると JJ と TT の出現率に大きな差がある。

(2) {理由}なしのパターンについて言えば、JJ は同等からの依頼の場面(場面 5-8)の方が目上からの依頼の場面(場面 1-4)よりも、{理由}なしのパターンの出現率が高い。場面 5(親・同等・重)で出現率が 9%であるのに対して、他の場面では、出現率が 0-3%に過ぎない。一方、TT は場面 2(疎・目上・重)(9%)と場面 4(疎・同等・重)(8%)における出現率が 8-9%であるのに対して、他の場面における出現率は 1-4%に過ぎない。

(3) 意味公式が一つしかないパターンについて言えば、JJ は場面 6 のみその出現率が 1%で、{理由}が使われている。一方、TT は全 8 場面のうち、6 場面に出現しているのが特徴である。また、そこでは{理由}のほかに{条件提示}が使われている。全体的に見れば、JJ と TT はともに意味公式が一つしかないパターンをほとんど使用しないが、具体的な数値を見ると JJ と TT の出現率には差があると言える。

5.9.3 場面 1-8：冒頭の意味公式

次に、場面 1-8 での JJ と TT の冒頭の意味公式の特徴をまとめ、比較する。

5.9.3.1 場面 1-8：冒頭の意味公式(JJ)

場面 1-8 での JJ の冒頭の意味公式の出現率を図 85 に示す。

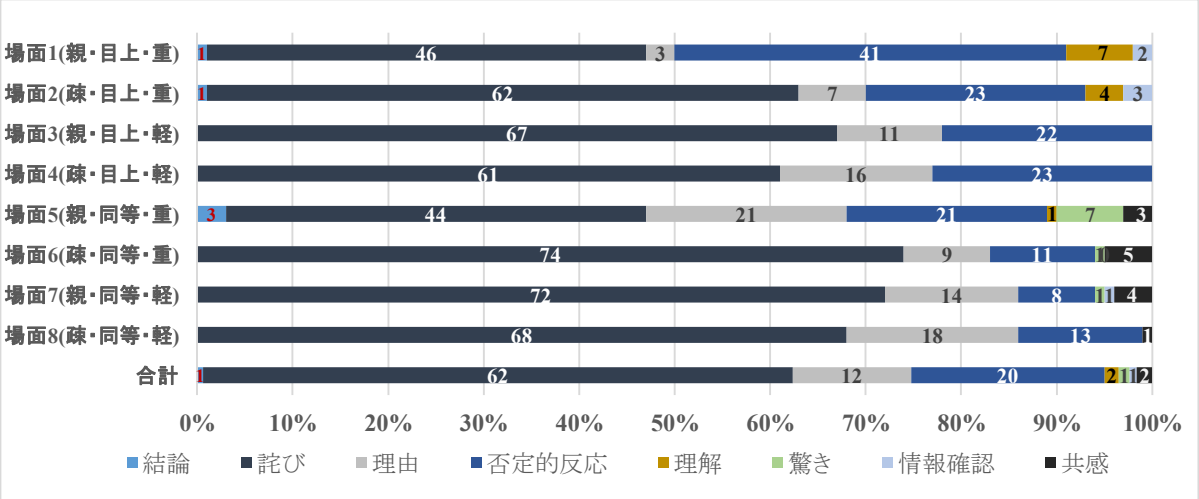


図 85　場面 1-8 での JJ の冒頭の意味公式の出現率

JJ が用いた冒頭の意味公式は、{結論}{詫び}{理由}{否定的反応}{理解}{驚き}{情報確認}{共感}の 8 種類の意味公式であった。全体的な傾向を見ると、JJ は{詫び}を使用する傾向が強いと言える(62%)。続いて、{否定的反応}(20%)、次に{理由}(12%)という順になっている。その他の出現率は 1-2%に過ぎない。上位 3 つの意味公式は{詫び}、{否定的反応}、{理由}である。

次に場面ごとに見てみよう。場面 1(親・目上・重)と場面 5(親・同・重)を除くと、60%以上の JJ は断りの際に{詫び}から発話する傾向が見られる。

一方で、場面 1 と場面 5 における{詫び}の出現率は 50%弱である。場面 1(親・目上・重)では、{詫び}(46%)のほかに、{否定的反応}(41%)が同程度の頻度で用いられている。具体的には、場面 5(親・同・重) では、約半数の JJ が{詫び}を使用しているほか、残りが{理由}と{否定的反応}の 2 つの意味公式で断りを開始している。つまり、親しい人からの重い依頼の場面では、意味公式の使用にバリエーションが見られることが分かった。結果から、親疎関係と依頼の負担度が冒頭の意味公式の使用に関係があるのではないかと考えられる。

回答例は以下のとおりである。

場面 1(親・目上・重) JF49：すみません{詫び}、その日は用事があって。申し訳ないです。
次の機会があれば、よろしくお願いします。

場面 5(親・同等・重) JM12：ああ{否定的反応}、ごめん{詫び}。俺もテストがあって、
時間無いわ。

5.9.3.2 場面 1-8：冒頭の意味公式(TT)

場面 1-8 での TT の冒頭の意味公式の出現率を図 86 に示す。

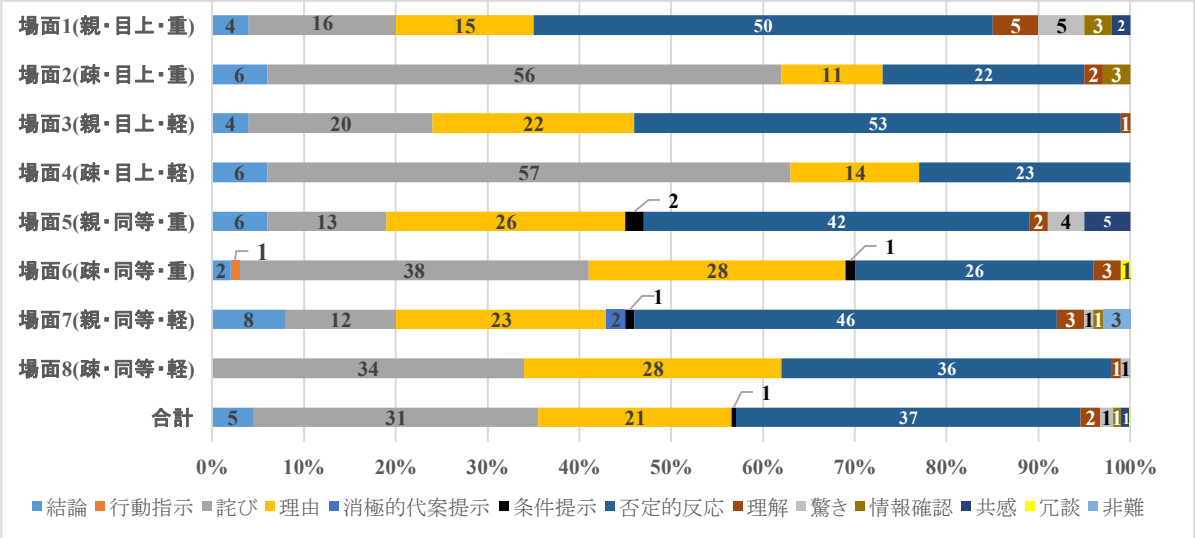


図 86　場面 1-8 での TT の冒頭の意味公式の出現率

TT が用いた冒頭の意味公式は、{結論}{行動指示}{詫び}{理由}{消極的代案提示}{条件提示}{否定的反応}{理解}{驚き}{情報確認}{共感}{冗談}{非難}の 13 種類であった。全体的な傾向を

見ると、TT は{否定的反応}(37%)と{詫び}(31%)の 2 つの意味公式を同じぐらいの頻度で使用している。続いて、{理由}(21%)である。その他の出現率はわずか 1-5%である。

次に、場面ごとの傾向について述べたい。まず、TT は親疎関係によって意味公式を使い分ける傾向が強い。親しい人からの依頼の場面(場面 1,3,5,7)では、4-5 割の TT は{否定的反応}を使用する傾向が見られ、その次に{理由}と{詫び}を多く使用している。

対して、親しくない人からの依頼の場面(場面 2,4,6)では、4-6 割の TT について{詫び}を使用する傾向が見られた。次点で、{否定的反応}と{理由}である。例外として、場面 8(親しくない人からの依頼の場面)では、{否定的反応}(37%)の出現率の方が{詫び}(31%)の出現率より高いが、わずか 6%の差である。

また、{行動指示}{消極的代案提示}{冗談}{非難}の 4 つの意味公式は、同等からの依頼の場面にしか見られなった。つまり、親疎関係のほかに、上下関係も意味公式の使用に関係があるのではないかと考えられる。

回答例は以下の通りである。

場面 1(親・目上・重) TM 3：จารย์ วันอาทิตย์ผมต้องไปทำธุระ เป็นกิจการยิ่งใหญ่เลยครับ แต่เดี๋ยวผมหาคนมาช่วยครับ

(和訳：[呼びかけ](caan)、日曜日は用事で外出しなければなりません。大事な用事です。それでは、手伝える人を探してみますね。)

場面 2(疎・目上・重) TF 32： ขอโทษค่ะ ไม่สะดวกจริงๆ

(和訳：すみません{詫び}、どうしても都合が悪いです。)

場面 6(疎・同等・重) TF 29：ลองแปลเองนะ เราก็ไม่ค่อยรู้ภาษาอังกฤษ

(和訳：自分で翻訳してみてね{行動指示}。私も英語が得意じゃないの。)

場面 7(親・同等・軽) TM 9：มึงไปถามคนอื่นละกัน กูไม่ว่าง

(和訳：他の人に聞いて{消極的代案提示}。時間的に余裕がない。)

場面 6(疎・同等・重) TM 8：เดี๋ยวๆเรารู้จักกันหรอ ล้อเล่น เอ่อ.. เราไม่ค่อยว่างอะ ทำเองละกันนะ

(和訳：知り合いだったっけ？冗談だよ{冗談}。{否定的反応}(ʔəə)、俺は時間的に余裕があまりない、自分で頑張ってね。)

場面 7(親・同等・軽) TF 10：ทำไมมาถามวันนี้เนี่ย พรุ่งนี้มีนำเสนองาน

(和訳：なぜ今日依頼に来たの？{非難}、明日、発表がある。)

5.9.3.3 場面 1-8：冒頭の意味公式(JJ・TT)

全体的な傾向を見ると、JJ と TT は{詫び}{理由}{否定的反応}の 3 つの意味公式を多く使用するという共通点が見られる。

相違点は、以下 2 点である。

(1) すべての場面において、JJ は{詫び}を多用する傾向が見られた。場面 1(親・目上・重)と場面 5(親・同・重)は 4-5 割、場面 2,3,4,5,7 は 6 割超である。一方、TT について言えば、親しくない人からの依頼の場面においては、{詫び}の出現率が最も高かった。一方、親しい人からの依頼の場面では、{否定的反応}の出現率が最も高い。結果から、親疎関係は TT の意味公式の使用に関係があると考えられる。

(2) JJ が用いる冒頭の意味公式は 8 種類であった。その最大の特徴として、{詫び}を述べる傾向が強いことが挙げられる。一方、TT が用いる冒頭の意味公式は 13 種類であった。断りの際、親疎関係によって、意味公式を使い分けていると考えられる。また、JJ に見られなかった{行動指示}{消極的代案提示}{冗談}{非難}の 4 つの意味公式は、同等からの依頼の場面にしか見られず、対等かそうでないかという上下関係もも意味公式の使用に関係していると考えられる。以上の結果から、JJ は冒頭の意味公式の使用のバリエーションが少ないのに対して、TT は豊富であるという特徴があることが明らかになった。

5.9.4 場面 1-8：最後の意味公式

最後に、場面 1-8 での JJ と TT の最後の意味公式の特徴をまとめ、比較する。

5.9.4.1 場面 1-8：最後の意味公式(JJ)

場面 1-8 での JJ の最後の意味公式の出現率を図 87 に示す。

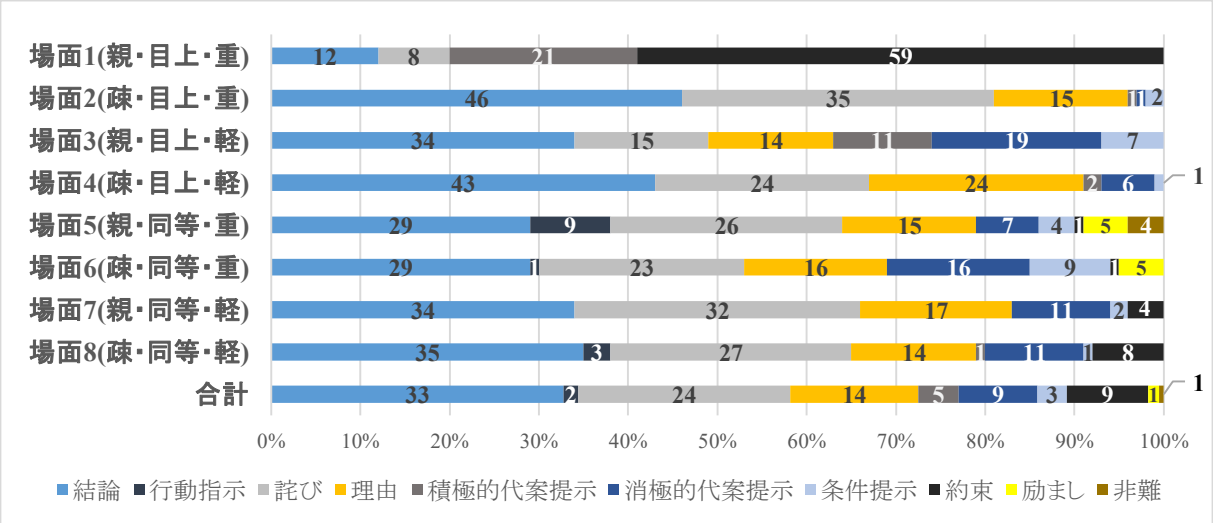


図 87　場面 1-8 での JJ の最後の意味公式の出現率

JJ が用いた最後の意味公式は、{結論}{行動指示}{詫び}{理由}{積極的代案提示}{消極的代案提示}{条件提示}{約束}{励まし}{非難}の 10 種類の意味公式であった。全体的な傾向を見ると、JJ は{結論}を最も多用する傾向が見られた。次点で{詫び}、そして{理由}という順になっている。その他の出現率はわずか 1-9%である。

次に場面ごとの意味公式の使用傾向を概観する。場面 1(親・目上・重)を除く場面 2-8 では、意味公式の使用は類似した傾向が見られる。29-46%の JJ は、{結論}で発話を終わらせる傾向が見られる。特に、場面 2(疎・目上・重)では、{結論}の出現率が 46%を超える。そして、次点で{結論}、{詫び}(15-32%)、{理由}(14-24%)という順である。また、{行動指示}{積極的代案提示}{消極的代案提示}{条件提示} {約束}{励まし}{非難}の 7 つの意味公式は、場面によって出現しない場合がある。ただし、{励まし}{非難}は同等からの依頼の場面にしか見られなかった。

場面 1(親・目上・重)は、他の場面と異なる特徴が見られた。すなわち、{約束}の出現率が突出している(59%)のに対して、{結論}の出現率が低い(12%)という特徴である。

回答例は以下の通りである。

場面 1(親・目上・重) JF5： 申し訳ないですが、その日は用事があるので、お断りします。次回、機会があれば、またお呼びください{約束}。

場面 5(親・同等・重) JM17：俺も中間テストはあるから、ちょっと無理やわ{結論}。

場面 6(疎・同等・重) JF49：すみません。中間テストがあります。もしどうしても分からないことがあったら、言ってね{条件提示}。

場面 8(疎・同等・軽) JM4：ごめんなさい、私も発表で忙しいので、別の人に頼んでみてください{消極的代案提示}。

場面 5(親・同等・重) JM16：ええ、自分でやろ！{行動指示}

場面 5(親・同等・重) JF8 ：んー、私も普通にテストあって、手伝えへん。お互いに頑張ろう！！{励まし}

場面 5(親・同等・重) JM44：へー、3-4 枚は人に頼む量じゃないよ！{非難}

5.9.4.2 場面 1-8：最後の意味公式(TT)

場面 1-8 での TT の最後の意味公式の出現率を図 88 に示す。

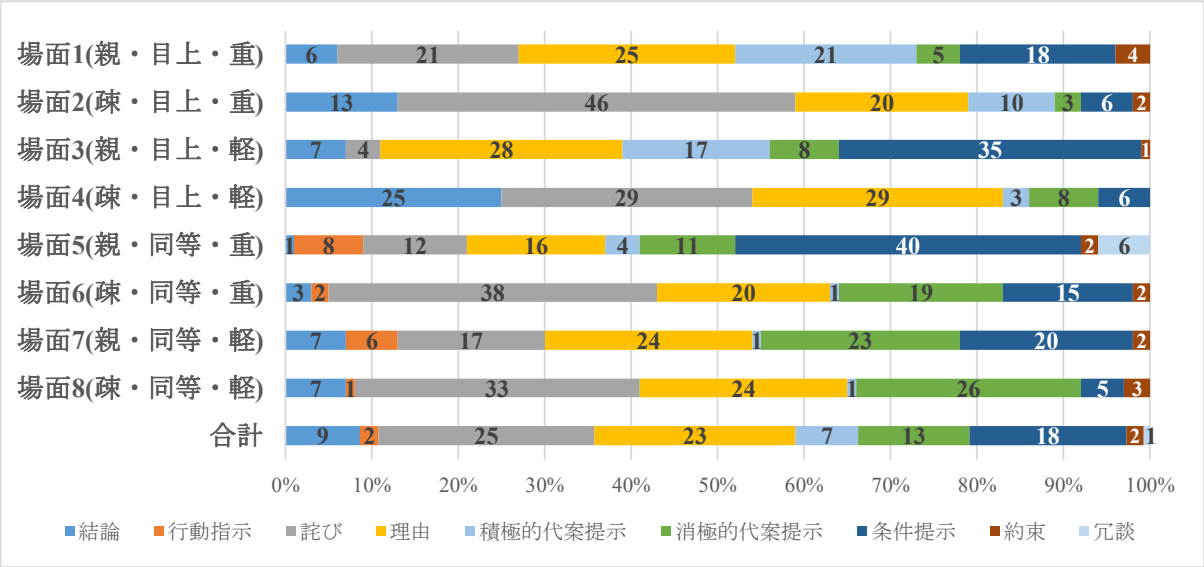


図 88　場面 1-8 での TT の最後の意味公式の出現率

TT が用いた最後の意味公式は、{結論}{行動指示}{詫び}{理由}{積極的代案提示}{消極的代案提示}{条件提示}{約束}{冗談}の 9 種類の意味公式であった。全体的な傾向を概観すると、TT は意味公式の使用にばらつきがある。すなわち、場面によって、各々の出現率は異なっていると言える。

次に、場面ごとの意味公式の使用傾向を概観する。

場面 1(親・目上・重)では、TT は{理由}{詫び}{積極的代案提示}{条件提示}の 4 つの意味公式うを使用する傾向が見られる。

場面 2(疎・目上・重)では、TT は{理由}を最も多く使用している。

場面 3(親・目上・軽)では、TT は{条件提示}{理由}を用いる傾向が見られる。

場面 4(疎・目上・軽)では、TT は{詫び}{理由}{結論}3 つの意味公式を同程度用いている。

場面 5(親・同等・重)では、TT は{条件提示}を最も多く使用している。

場面 6(疎・同等・重)では、TT は{詫び}を使用する傾向が見られる。

場面 7(親・同等・軽)では、TT は{理由}{消極的代案提示}{条件提示}{詫び}の 4 つの意味公式を使用する傾向が見られる。

場面 8(疎・同等・軽)では、TT は{詫び}{消極的代案提示}{理由}の 3 つの意味公式を使用する傾向が見られる。

{行動指示}{冗談}は同等からの依頼の場面にしか見られなかった。回答例は以下の通りである。

場面 1(親・目上・重)　TM 38：อ๋อครับ พอดีวันอาทิตย์มีติวสอบให้รุ่นน้องครับ นัดไว้แล้ว

(和訳：{理解}(ʔɔ̌ɔ khráp)。ちょうど、後輩にテスト勉強を教えることになっています。もう約束しています{理由}。

場面 3(親・目上・軽)　TM 31：ช่วงพักกลางวันผมมีคุยงานกับเพื่อนครับ เป็นช่วงเย็นได้มั้ยครับ

(和訳：昼休みに友達との打ち合わせがあります。夕方はいかがですか{条件提示}?

場面 4(疎・目上・軽)　TM 16：ต้องขอโทษด้วยนะครับ พอดีผมมีธุระครับ ไปไม่ได้จริงๆ

(和訳：申し訳ございません。ちょうど用事があります。どうしても行けません{結論}。)

場面 7(親・同等・軽)　TM 46：มึง กูต้องพรีเซ็นต์งานพรุ่งนี้ ไปถามคนอื่นสิ

(和訳：[呼びかけ](mɯŋ)、明日発表しなくちゃ、別の人に聞いて{消極的代案提示}。)

場面 8(疎・同等・軽)　TM 27：เอ่อ เรามีการบ้านเยอะมากเลย ขอโทษนะ

(和訳：{否定的反応}(ʔəə)、僕は宿題がたくさんある。ごめんね{詫び}。)

5.9.4.3 場面 1-8：最後の意味公式(JJ・TT)

JJ と TT が用いた最後の意味公式の相違点は以下 3 点である。

(1) JJ は{結論}を使用する特徴があるのに対して、{条件提示}と{消極的代案提示}をほとんど使用しない。一方、TT は{結論}をほとんど使用せず、JJ と比べると、その割合は非常に低い。しかし、{条件提示}と{消極的代案提示}は多く用いられ、すべての場面において、出現している。

(2) {励まし}{非難}は JJ、{冗談}は TT にしか見られなかった。

(3) 場面 1 を除いて、JJ は{結論}を使用する頻度が高いのに対して、TT は意味公式の使用にばらつきがあり、出現率が同程度である意味公式がいくつか存在する。結果から、JJ は最後の意味公式の使用のバリエーションが少ないのに対して、TT は豊富であると言える。

第六章

親疎関係、上下関係、依頼の負担度による分析

本章では、場面 1-8 における日本語母語話者とタイ語母語話者の親疎関係・上下関係・依頼の負担度、それぞれの要因による意味公式の出現率を比較する。最後に、3 つの要因によって意味公式の出現率に有意差が見られるかどうかを検討する。

6.1 親疎関係による分析

本節では、JJ と TT が親疎関係によって意味公式の出現率に有意差があるかどうかカイ二乗検定を行った結果を述べる。分析の対象を以下 4 項目に分類する。(1)場面 1(親・目上・重)と場面 2(疎・目上・重)、(2) 場面 3(親・目上・軽)と場面 4(疎・目上・軽)、(3) 場面 5(親・同等・重)と場面 6(疎・同等・重)、(4) 場面 7(親・同等・軽)と場面 8(疎・同等・軽)である。

6.1.1 場面 1(親・目上・重)と場面 2(疎・目上・重)

6.1.1.1 場面 1・2：日本語母語話者

図 89 は親しい目上、および親しくない目上からの重い依頼を断るという 2 つの場面において、JJ が用いた意味公式の出現率を比較するものである。

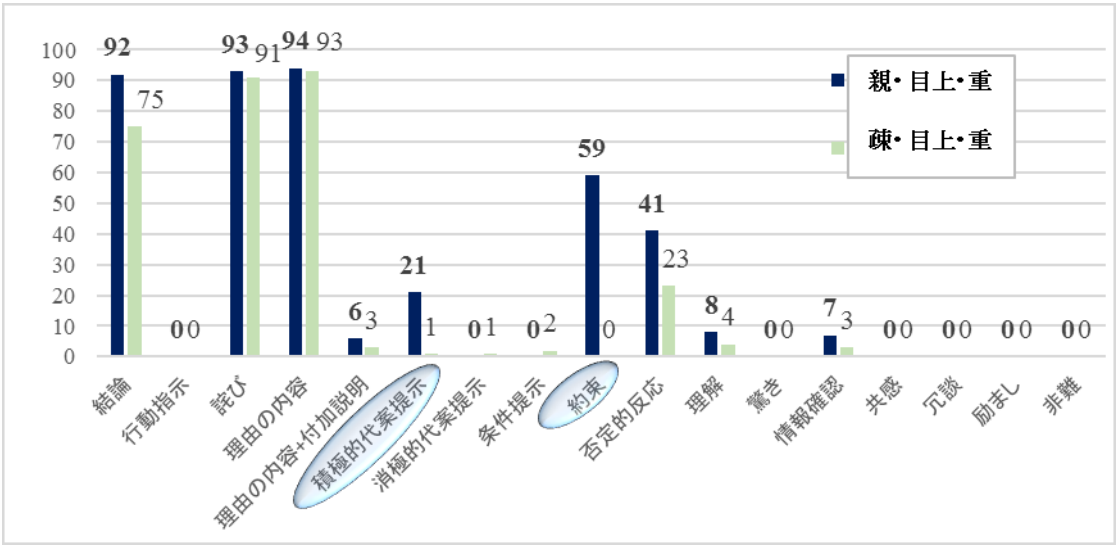


図 89　JJ：場面 1 と場面 2 における意味公式の比較

JJ が親しい目上からの重い依頼を断る場面における出現率が 50%以上の意味公式は[理由の内容](94%)、{詫び}(93%)、{結論}(92%)、{約束}(59%)であり、親しくない目上からの重い依頼を断る場面には、[理由の内容](93%)、{詫び}(91%)、{結論}(75%)である。親疎関係によって意味公式の出現率に有意差があるかどうかカイ二乗検定を用いて検定した結果、有意差が見られた

($\chi 2(10)=71.31, p<.05$)。残差分析を行ったところ、有意差が見られたのは親の{積極的代案提示}(Z=3.55)と、親の{約束}(Z=6.72)である。回答例は以下の通りである。

場面 1(**親**・目上・重)

JM 18：申し訳ないですが、日曜日はちょっと用事があります。

他の方に頼んでみますね{積極的代案提示}。

JF49：すみません、その日は用事があって、申し訳ないです。次の機会があれば、よろしくお願いします{約束}。

6.1.1.2 場面 1・2：タイ語母語話者

図 90 は親しい目上、および親しくない目上からの重い依頼を断るという 2 つの場面において、TT が用いた意味公式の出現率を比較するものである。

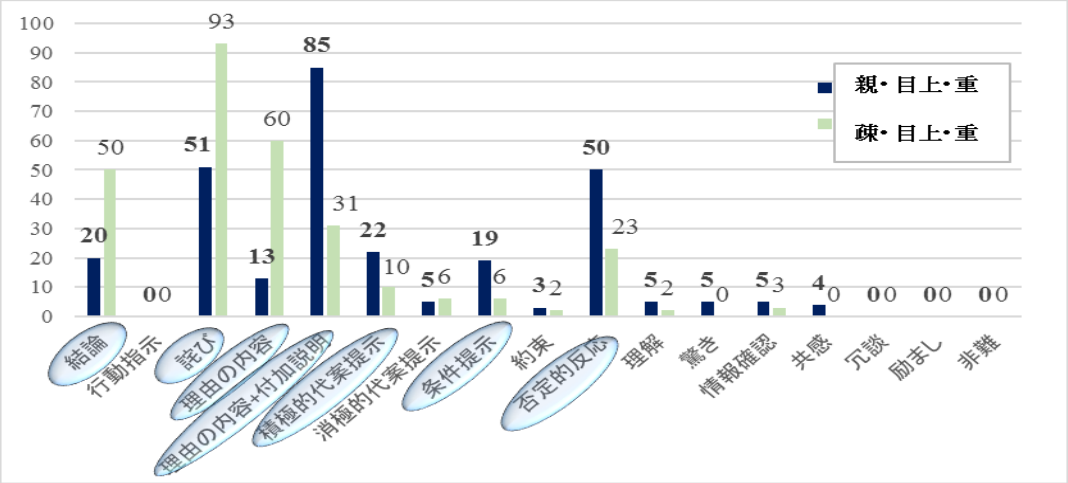


図 90　TT：場面 1 と場面 2 における意味公式の比較

TT が親しい目上からの重い依頼を断る場面における出現率が 50%以上の意味公式は[理由の内容+付加説明](85%)、{詫び}(51%)、{否定的反応}(50%)であり、親しくない目上からの重い依頼を断る場面には、{詫び} (93%)、[理由の内容](60%)、{結論}(50%)である。親疎関係によって意味公式の出現率に有意差があるかどうかカイ二乗検定を用いて検定した結果、有意差が見られた($\chi 2(13)=131.32, p<.05$)。残差分析を行ったところ、有意差が見られたのは親の[理由の内容+付加説明](Z=5.59)、{積極的代案提示}(Z=2.17)、{条件提示}(Z=2.65)、{否定的反応}(Z=3.36)と、疎の{結論}(Z=3.84)、{詫び}(Z=4.06)、[理由の内容](Z=5.90)である。回答例は以下の通りである。

場面 1(**親**・目上・重)

TM 10：เอ่อ ผมติดธุระครับ ต้องออกเดินทางตั้งแต่เช้า

(和訳：{否定的反応}(ʔəə)、用事があります。朝早く出かけなければなりません{理由の内容+付加説明}。)

TM 7：ไม่ว่างครับ วันอาทิตย์ติดธุระ ขอโทษด้วยครับ ยังไงผมจะลองถามเพื่อนคนอื่นให้นะครับ

(和訳：時間的に余裕がありません。日曜日は用事があります。すみません。
とりあえず、私が友達に聞いてみます{積極的代案提示}。)

TM 11：เอ่อ พอดีวันอาทิตย์มีนัดกับทางบ้านแล้วครับอาจารย์ เดี๋ยวผมมาช่วยวันอื่นนะครับ

(和訳：{否定的反応}(ʔɔ̀ɔ)、ちょうど今週の日曜日に家族と約束があります。それでは、
他の日に手伝わせていただきます{条件提示}。)

場面 2(**疎**・目上・重)

TF 47：ขอโทษค่ะอาจารย์ หนูอาจจะมาช่วยไม่ได้ค่ะ ติดธุระกับครอบครัว

(和訳：すみません{詫び}。準備の手伝いに来られないかもしれません{結論}。
家族と用事があります{理由内容}。)

6.1.2 場面 3(親・目上・軽)と場面 4(疎・目上・軽)

6.1.2.1 場面 3・4：日本語母語話者

図 91 は親しい目上、および親しくない目上からの軽い依頼を断るという 2 つの場面において、JJ が用いた意味公式の出現率を比較するものである。

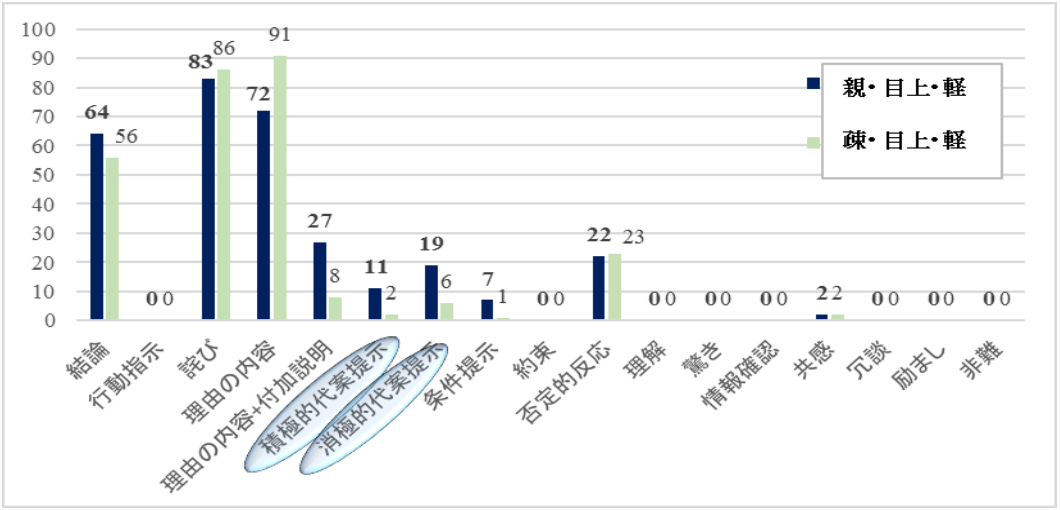


図 91　JJ：場面 3 と場面 4 における意味公式の比較

JJ が親しい目上からの軽い依頼を断る場面における出現率が 50%以上の意味公式は{詫び}(83%)、[理由の内容](72%)、{結論}(64%)であり、親しくない目上からの軽い依頼を断る場面には、[理由の内容](91%)、{詫び}(86%)、{結論}(56%)である。親疎関係によって意味公式の出現率に有意差があるかどうかカイ二乗検定を用いて検定した結果、有意差が見られた($\chi 2(10)=71.31$, $p<.05$)。残差分析を行ったところ、有意差が見られたのは親の{積極的代案提示}(Z=2.32)、{消極的代案提示}(Z=2.38)である。回答例は以下の通りである。

場面 3(**親**・目上・軽)　JM6：すいません、僕も授業があって、返しに行けないかも。

では、時間がある友達に聞いてみます{積極的代案提示}。

JM 8：すみませんが、午後は用事があるので、別の人に頼んでもらえませんか{消極的代案提示}？

6.1.2.2 場面 3・4：タイ語母語話者

図 92 は親しい目上、および親しくない目上からの軽い依頼を断るという 2 つの場面において、TT が用いた意味公式の出現率を比較するものである。

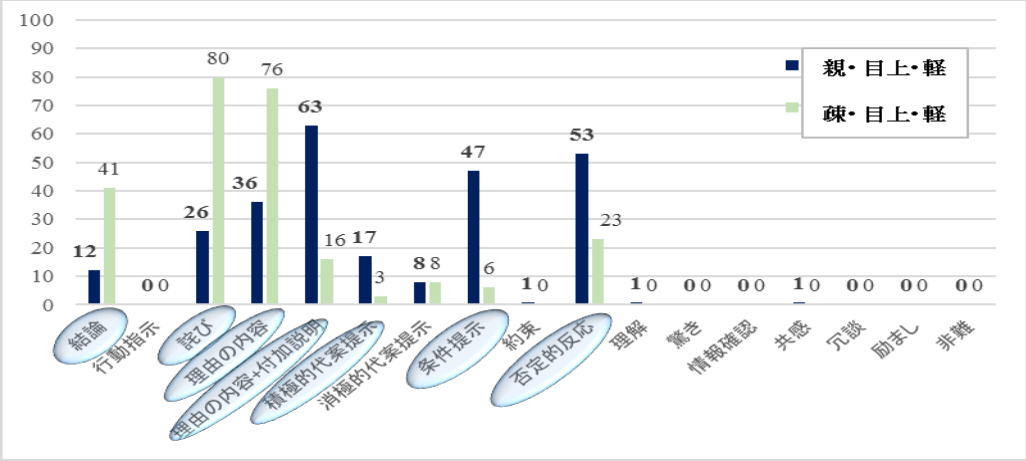


図 92　TT：場面 3 と場面 4 における意味公式の比較

TT が親しい目上からの軽い依頼を断る場面における出現率が 50%以上の意味公式は[理由の内容+付加説明](63%)、{否定的反応}(53%)であり、親しくない目上からの軽い依頼を断る場面には、{詫び}(80%)、[理由の内容](76%)である。親疎関係によって意味公式の出現率に有意差があるかどうかカイ二乗検定を用いて検定した結果、有意差が見られた($\chi 2(10)=141.78$, $p<.05$)。残差分析を行ったところ、有意差が見られたのは親の[理由の内容+付加説明](Z=5.52)、{積極的代案提示} (Z=3.08)、{条件提示} (Z=5.76)、{否定的反応}(Z=3.50)と、疎の{結論}(Z=4.38)、{詫び} (Z=6.15)、 [理由の内容](Z=4.54)である。

回答例は以下の通りである。

場面 3(**親**・目上・軽)

TM 14：เอ่อ ตอนเที่ยงผมต้องไปคุยงานกับเพื่อน ผมนัดพวกเขาไว้แล้ว คืนพรุ่งนี้ได้มั้ยครับ

(和訳：{否定的反応}(ʔəə)、午後は友達と打ち合わせに行かなければなりません。もう約束しています[理由の内容+付加説明]。明日返してもいいですか{条件提示}。)

TM 27：เที่ยงนี้มีงานที่ยังทำไม่เสร็จครับ เดี๋ยวผมเรียกคนอื่นพอมีเวลาว่างให้มาช่วยนะครับ

(和訳：昼休みはまだできていない授業の課題があります。では、時間的に余裕がありそうな友達を呼んできます{積極的代案提示}。)

場面 4(**疎**・目上・軽)

TM 4：ขอโทษครับ ตอนบ่ายผมจะทำการบ้านส่งวิชาภาษาอังกฤษ ไม่สะดวกอะครับ ขอโทษครับ

(和訳：すみません{詫び}。午後は英語の授業の宿題をする予定なんですが[理由の内容]、都合が悪いんです{結論}。すみません{詫び}。)

6.1.3 場面 5(親・同等・重)と場面 6(疎・同等・重)

6.1.3.1 場面 5・6：日本語母語話者

図 93 は親しい同等、および親しくない同等からの重い依頼を断るという 2 つの場面において、JJ が用いた意味公式の出現率を比較するものである。

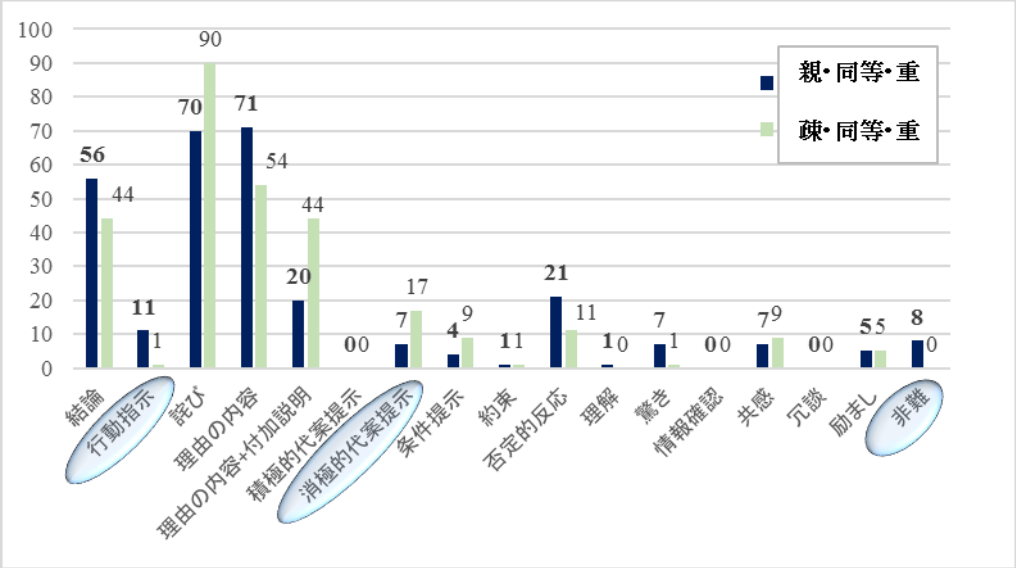


図 93　JJ：場面 5 と場面 6 における意味公式の比較

JJ が親しい同等からの重い依頼を断る場面における出現率が 50%以上の意味公式は[理由の内容](71%)、{詫び}(70%)、{結論}(56%)であり、親しくない同等からの重い依頼を断る場面には、{詫び}(90%)、[理由の内容](54%)である。親疎関係によって意味公式の出現率に有意差があるかどうかカイ二乗検定を用いて検定した結果、有意差が見られた($\chi 2(13)=46.53, p<.05$)。残差分析を行ったところ、有意差が見られたのは親の{行動指示} (Z=2.89)、{非難}(Z=2.83)と、疎の{消極的代案提示}(Z=2.11)である。回答例は以下の通りである。

場面 5(**親**・同等・重) TF 38：テストあるで、自分でやって{行動指示}、分量的にも人に頼める量じゃないやろ。それ時給発生するよ{非難}。

場面 6(**疎**・同等・重) TF 47：すみません、試験勉強で余裕がないので、他の人にお願いしてください{消極的代案提示}。

6.1.3.2 場面 5・6：タイ語母語話者

図 94 は親しい同等、および親しくない同等からの重い依頼を断る場面に、TT が用いた意味公式の出現率を比較するものである。

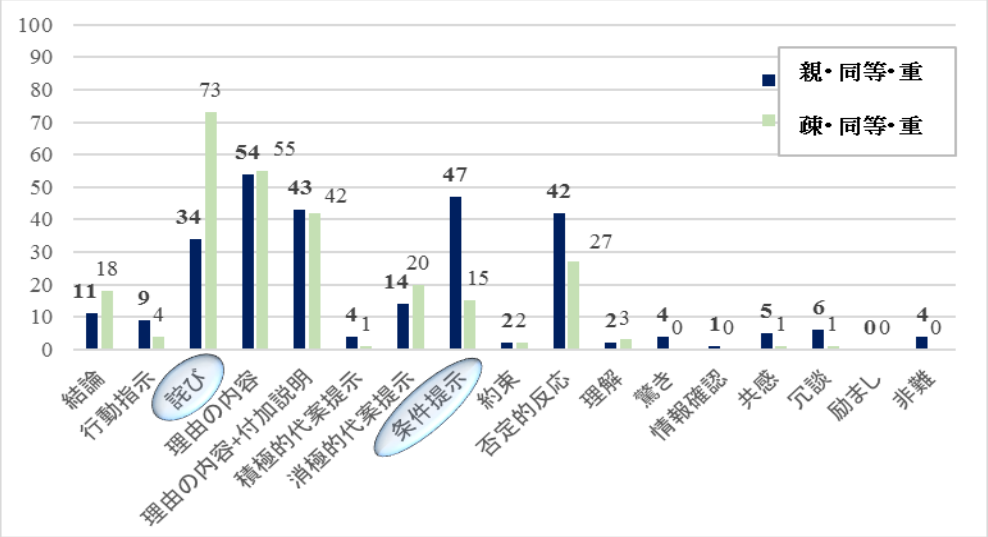


図 94　JJ：場面 5 と場面 6 における意味公式の比較

TT が親しい同等からの重い依頼を断る場面における出現率が 50%以上の意味公式は[理由の内容](54%)であり、親しくない同等からの重い依頼を断る場面には、{詫び}(73%)、[理由の内容](55%)である。親疎関係によって意味公式の出現率に有意差があるかどうかカイ二乗検定を用いて検定した結果、有意差が見られた($\chi 2(14)=55.25$, $p<.05$)。残差分析を行ったところ、有意差が見られたのは親の{条件提示}($Z=4.01$)と、疎の{詫び}($Z=4.64$)である。回答例は以下の通りである。

場面 5(**親**・同等・重) TF 49：หา อาทิตย์หน้าต้องสอบแล้ว งั้นกูช่วยแปล 2 บรรทัดละกัน

(和訳：{驚き}(hăa)、私、来週に試験を受けなくちゃ。
じゃあ、内容を2行翻訳するね{条件提示}。)

場面 6(**疎**・同等・重) TM 13：โทษทีนะ เราเองก็ไม่ค่อยเข้าใจเหมือนกัน ลองทำด้วยตนเองละกัน

(和訳：ごめん{詫び}、僕も分からない。自分でやってみてね。)

6.1.4 場面 7(親・同等・軽)と場面 8(疎・同等・軽)

6.1.4.1 場面 7・8：日本語母語話者

図 95 は親しい同等、および親しくない同等からの軽い依頼を断るという 2 つの場面において、JJ が用いた意味公式の出現率を比較するものである。

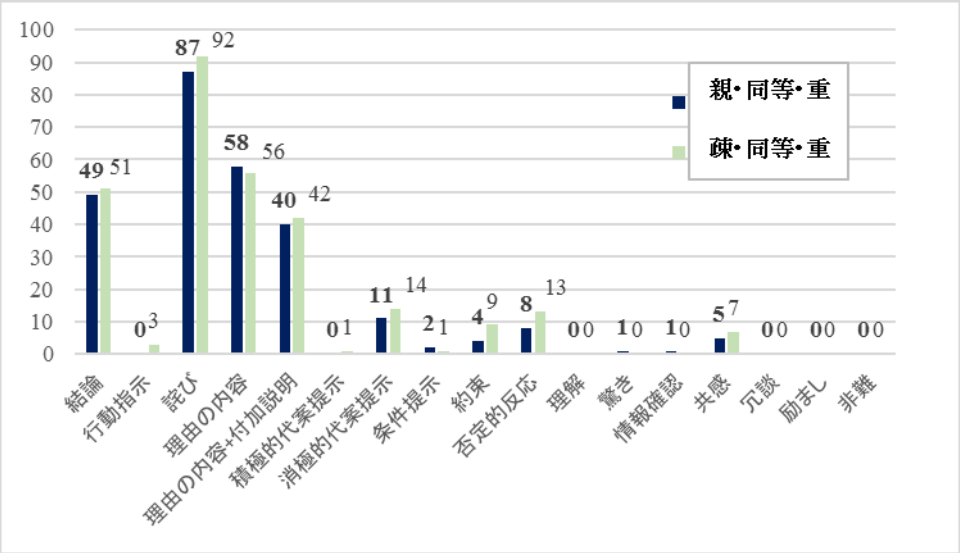


図 95　JJ：場面 7 と場面 8 における意味公式の比較

JJ が親しい同等からの重い依頼を断る場面における出現率が 50%以上の意味公式は{詫び}(87%)、[理由の内容](58%)であり、親しくない同等からの重い依頼を断る場面には、{詫び}(92%)、[理由の内容](56%)、{結論}(51%)である。親疎関係によって意味公式の出現率に有意差があるかどうかカイ二乗検定を用いて検定した結果、有意差は見られなかった($\chi 2(12)=9.46$, n.s.)。

6.1.4.2 場面 7・8 タイ語母語話者

図 96 は親しい同等、および親しくない同等からの軽い依頼を断るという 2 つの場面において、TT が用いた意味公式の出現率を比較するものである。

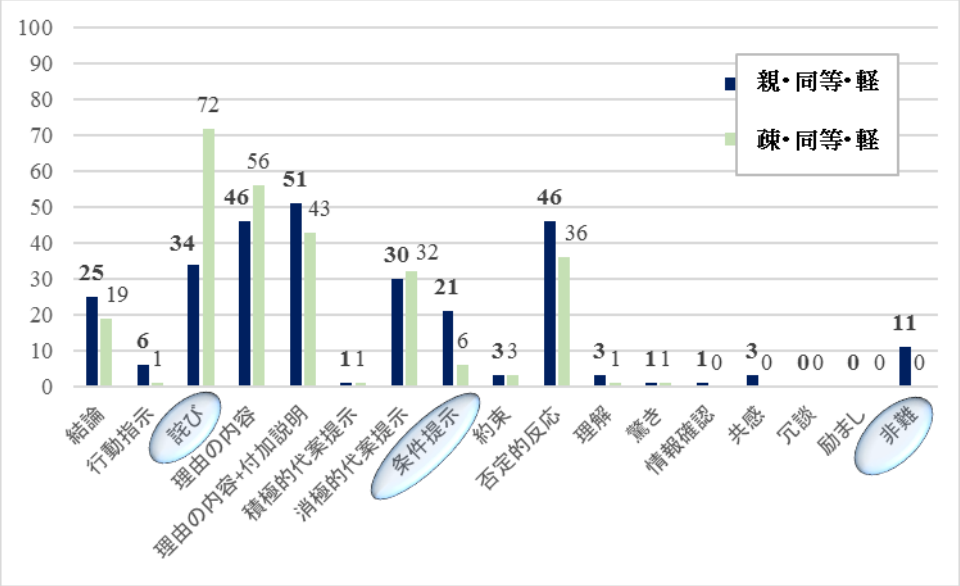


図 96　TT：場面 7 と場面 8 における意味公式の比較

TT が親しい同等からの重い依頼を断る場面における出現率が 50%以上の意味公式は[理由の内容+付加説明](51%)であり、親しくない同等からの重い依頼を断る場面には、{詫び}(72%)、[理由の内容](56%)である。親疎関係によって意味公式の出現率に有意差があるかどうかカイ二乗検定を用いて検定した結果、有意差が見られた($\chi 2(14)=45.09$, $p<.05$)。残差分析を行ったところ、有意差が見られたのは親の{条件提示} ($Z=2.85$)、{非難}($Z=3.28$)と、疎の{詫び} ($Z=4.33$)である。

回答例は以下の通りである。

場面 7(**親**・同等・軽)

TF 48：มึง กูมีพรีเซนต์อะ ยังทำไม่เสร็จเลย ลองทำเองดูก่อน ไม่ได้ตรงไหนเขียนโน้ตทิ้งไว้ เดี๋ยวกูตอบ

(和訳：[呼びかけ](muŋ)、明日発表がある。まだ準備ができていない。
とりあえず、自分でやってみて、できないところがあれば、メモしておいてね。後で私が答えるよ{条件提示}。)

TM 3：มึง ช่วงที่กูว่าง ทำไมมึงไม่มา ตอนนี้กูงานเยอะ ยุ่งมาก

(和訳：[呼びかけ](muŋ)、俺が余裕があった時に、なんで頼みに来なかったの{非難}？
今、授業の課題がたくさんある。大変忙しいよ。)

場面 8(**疎**・同等・軽)

TM 40：ขอโทษนะ พรุ่งนี้กูมีนำเสนองาน ลองให้คนอื่นช่วยดูนะ

(和訳：ごめん{詫び}。明日、俺は発表がある。別の人に頼んでみてね。)

6.1.5 親疎関係による分析のまとめ

6.1.5.1 親疎関係による分析のまとめ：日本語母語話者

図 89,91,93,95 で見てきた親疎関係によって出現率に有意差が見られた意味公式を表 62 にまとめる。

表 62　JJ：親疎関係によって有意差が見られた意味公式

場面	親のほうが疎より有意に多く用いられる意味公式	疎のほうが親より有意に多く用いられる意味公式
場面 1(親・目上・重)	{積極的代案提示} {約束}	なし
場面 2(疎・目上・重)		
場面 3(親・目上・軽)	{積極的代案提示} {消極的代案提示}	なし
場面 4(疎・目上・軽)		
場面 5(親・同等・重)	{行動指示} {非難}	{消極的代案提示}
場面 6(疎・同等・重)		
場面 7(親・同等・軽)	有意差が見られなかった	有意差が見られなかった
場面 8(疎・同等・軽)		

6.1.5.2 親疎関係による分析のまとめ：タイ語母語話者

図 90,92,94,96 で見てきた親疎関係によって出現率に有意差が見られた意味公式を表 63 にまとめる。

表 63　TT：親疎関係によって有意差が見られた意味公式

場面	親のほうが疎より有意に多く用いられる意味公式	疎のほうが親より有意に多く用いられる意味公式
場面 1(親・目上・重)	[理由の内容+付加説明] {積極的代案提示} {条件提示} {否定的反応}	{結論} {詫び} [理由の内容]
場面 2(疎・目上・重)		
場面 3(親・目上・軽)	[理由の内容+付加説明] {積極的代案提示} {条件提示} {否定的反応}	{結論} {詫び} [理由の内容]
場面 4(疎・目上・軽)		
場面 5(親・同等・重)	{条件提示}	{詫び}
場面 6(疎・同等・重)		
場面 7(親・同等・軽)	{条件提示} {非難}	{詫び}
場面 8(疎・同等・軽)		

6.1.5.3 親疎関係による分析のまとめ：日本語母語話者とタイ語母語話者の比較

JJ は、8 場面 4 組のうち、6 場面 3 組には親疎関係によって意味公式の出現率に有意差が見られる。しかし、場面 7(親・同等・軽)と場面 8(疎・同等・軽)には有意差が見られなかった。

{約束(場面 1 のみ)}{積極的代案提示}{行動指示(場面 5 のみ)}{非難(場面 5 のみ)}は親しい相手に有意に多く使われている。

例①：場面 1　JM16　ああ、ちょっと用事があって、申し訳ないです。

(**親**・目上・重)　今度の機会があれば、お手伝いさせていただきます{約束}。

例②：場面 5　JM9　いや、自分の課題やねんから自分でやれ{行動指示}、

(**親**・同等・重)　俺がいつでも暇だと思ったら、大間違いやぞ{非難}。

最後に、{消極的代案提示}は場面によって親しい相手にも、親しくない相手にも、多く使われているので、親疎関係による違いがあるとは言えない。

例③：場面 3　JM8　すみませんが、午後は用事があるので、

(**親**・目上・軽)　別の人に頼んでもらえませんか{消極的代案提示}？

例④：場面 4　JM 36 午後の約束に遅れてしまうので、ごめんなさい。

(**疎**・目上・軽)　別の人を当たってくれると嬉しいです{消極的代案提示}。

一方、TT は親しい相手に対しては{積極的代案提示}{条件提示}{否定的反応}[理由の内容+付加説明]{非難}を、親しくない相手に対しては{結論}{詫び}[理由の内容]を多く使用している。目上からの依頼(重い依頼の場面 1,2 と軽い依頼の場面 3,4)において、親疎関係による有意差が見られた意味公式が全く同じである。また、同等からの依頼の場面(重い依頼の場面 5,6 と軽い依頼の場面 7,8)において、{非難}以外、親しい相手に{条件提示}、親しくない相手に{詫び}が有意に多く使われている。ただし、親疎関係によって[理由の内容][理由の内容+付加説明]{結論}の 3 つの意味公式の出現率に有意差が見られたのは、目上からの依頼の場面のみである。同等からの依頼の場面には、親疎関係による有意差が見られなかった。最後に、{非難}は同等からの依頼にしか見られず、親しい相手に有意に多く使われている。

例⑤：場面 5　TM2　มึง กูมีสอบอาทิตย์หน้าอะ ต้องอ่านหนังสือก่อนนะ ขอโทษด้วย มึงแปลไปก่อน

(**親**・同等・重)　เดี๋ยวกูมาดูให้อีกที

(和訳：{否定的反応[呼びかけ]}(mɯŋ)、来週試験がある。テスト勉強しなくちゃ[理由の内容+付加説明]、ごめん。とりあえず、自分で翻訳して、後で俺がチェックする{条件提示}。)

例⑥：場面 2 TM 27　　ขอโทษครับ วันนั้นไปไม่ได้ครับ เพราะต้องไปทานข้าวกับที่บ้าน

(**疎**・目上・重)　　(和訳：すみません。その日は行けません{結論}。家族と食事に行かなければならないからです。)

JJ と TT の共通点としては、JJ と TT ともに、親しい相手に対しては{積極的代案提示}{非難}を有意に多く使用していることである。全体的な傾向を見ると、JJ より TT のほうが親疎関係によって意味公式の出現率に有意差が多く見られることが分かった。

6.2 上下関係による分析

本節では、JJ と TT が上下関係によって意味公式の出現率に有意差があるかどうかカイ二乗検定を行った結果を述べる。分析の対象を以下 4 項目に分類する。(1)場面 1(親・目上・重)と場面 5(親・同等・重)、(2) 場面 2(疎・目上・重)と場面 6(疎・同等・重)、(3) 場面 3(親・目上・軽)と場面 7(親・同等・軽)、(4) 場面 4(疎・目上・軽)と場面 8(疎・同等・軽)である。

6.2.1 場面 1(親・目上・重)と場面 5(親・同等・重)

6.2.1.1 場面 1・5：日本語母語話者

図 97 は親しい目上、および親しい同等からの重い依頼を断るという 2 つの場面において、JJ が用いた意味公式の出現率を比較するものである。

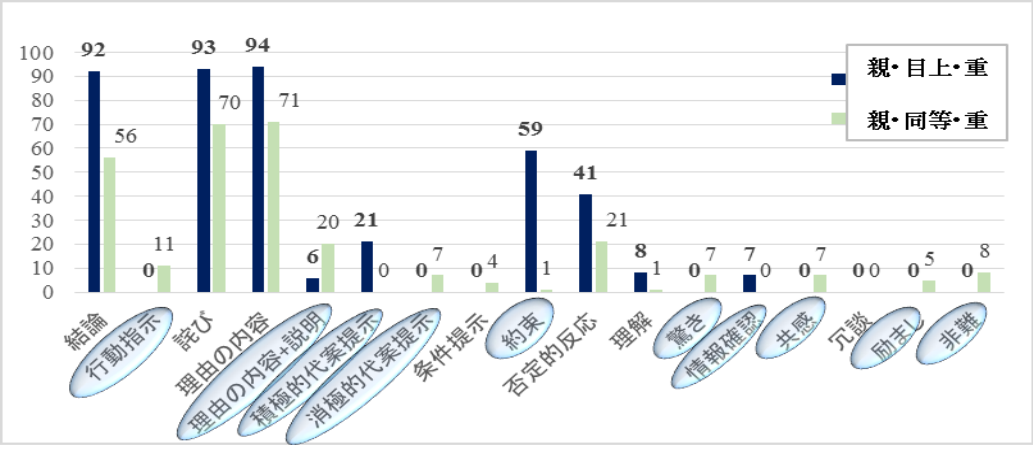


図 97　JJ：場面 1 と場面 5 における意味公式の比較

JJ が親しい目上からの重い依頼を断る場面における出現率が 50%以上の意味公式は[理由の内容](94%)、{詫び}(93%)、{結論}(92%)、{約束}(59%)であり、親しい同等からの重い依頼を断る場面には、[理由の内容](71%)、{詫び}(70%)、{結論}(56%)である。上下関係によって意味公式の出現率に有意差があるかどうかカイ二乗検定を用いて検定した結果、有意差が見られた($\chi 2(14) = 138.64, p<.05$)。残差分析を行ったところ、有意差が見られたのは目上の{積極的代案提示}(Z=3.80)、{約束}(Z=6.35)、{情報確認}(Z=2.17)と、同等の{行動指示}(Z=4.08)、[理由の内容+付加説明](Z=3.90)、{消極的代案提示}(Z=3.24)、{驚き}(Z=3.24)、{共感}(Z=3.24)、{励まし}(Z=2.74)、{非難}(Z=3.47)である。回答例は以下の通りである。

場面 1(親・目上・重)

JM 18：申し訳ないですが、日曜日はちょっと用事があります。

他の方に頼んでみますね{積極的代案提示}。

JF41：日曜日ですか{情報確認}？ちょっと先約がありまして、申し訳ございません。

今度お手伝いできることがあれば、おっしゃってください{約束}。

場面 5(親・**同等**・重)

JF 13：うーん、テスト勉強しないといけない。余裕のある時間がないわ{理由の内容+付加説明}。ごめんね。

JM8：へー{驚き}、俺は来週のテストあるんで、他の人に当たってくれる{消極的代案提示}？

JF38：テストあるで、自分でやって{行動指示}、分量的にも人に頼める量じゃないやろ。それ時給発生するよ{非難}。

JF8：んー、ほんまに手伝いたいやけど{共感}、私も普通にテストあって、手伝えへん。お互いに頑張ろう{励まし}！！

6.2.1.2 場面 1・5：タイ語母語話者

図 98 は親しい目上、および親しい同等からの重い依頼を断る場面に、TT が用いた意味公式の出現率を比較するものである。

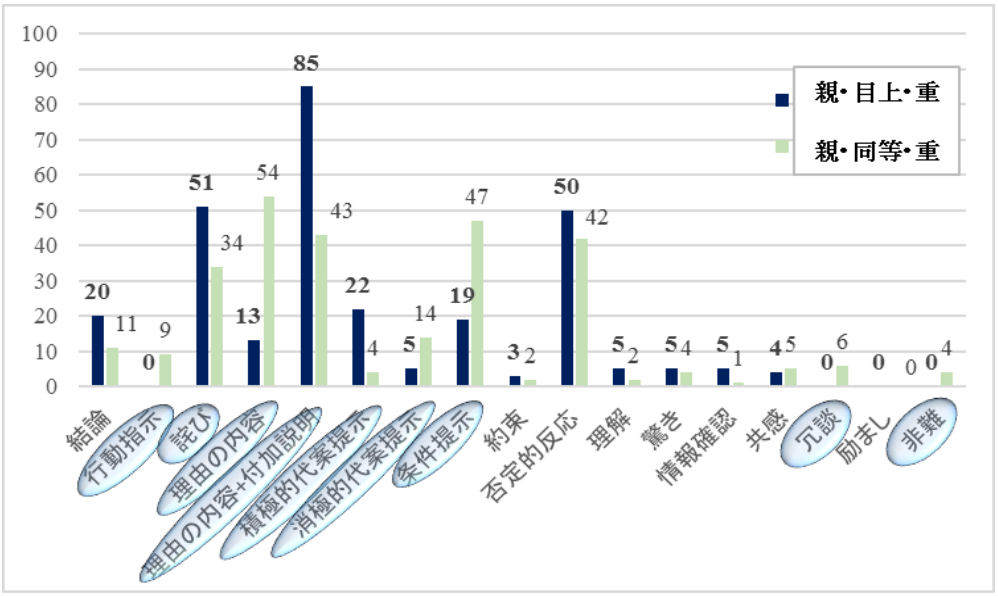


図 98　TT：場面 1 と場面 5 における意味公式の比較

TT が親しい目上からの重い依頼を断る場面における出現率が 50%以上の意味公式は[理由の内容+付加説明](85%)、{詫び}(51%)、{否定的反応}(50%)であり、親しい同等からの重い依頼を断る場面には、[理由の内容](54%)である。上下関係によって意味公式の出現率に有意差があるかどうかカイ二乗検定を用いて検定した結果、有意差が見られた($\chi 2(14)=97.39, p<.05$)。残差分析を行ったところ、有意差が見られたのは目上の{詫び}(Z=1.89)、[理由の内容+付加説明](Z=4.08)、{積極的代案提示}(Z=3.55)と、同等の{行動指示}(Z=3.05)、[理由の内容] (Z=5.43)、{消極的代案提示}(Z=2.14)、{条件提示} (Z=3.76)、{冗談}(Z=2.48)、{非難}(Z=2.02)である。回答例は以下の通りである。

場面 1(親・**目上**・重)

TM 7：ไม่ว่างครับ วันอาทิตย์ติดธุระ ขอโทษด้วยครับ ยังไงผมจะลองถามเพื่อนคนอื่นให้นะครับ

(和訳：時間的に余裕がありません。日曜日は用事があります[理由の内容+付加説明]。すみません{詫び}。とりあえず、私が友達に聞いてみます{積極的代案提示}。)

場面 5(親・**同等**・重)

TF 23：ไม่ได้หวะ พอดีเราต้องอ่านหนังสือสอบกลางภาค ทำเองละกันนะ

(和訳：無理だよ。ちょうどテスト勉強しなくちゃ[理由の内容]。自分で翻訳してね{行動指示}。)

TF 7：คิดว่ากูว่างมากใช่ปะ กูมีสอบอาทิตย์หน้า งั้นมึงไปถามคนอื่นละกัน

(和訳：いつも暇だと思う{非難}？来週に試験がある[理由の内容]。だから、別の人に聞いて{消極的代案提示}。)

TM 15：ช่วงนี้กูไม่ค่อยว่าง มีสอบอาทิตย์หน้าเหมือนกัน ขอแปลหน้าเดียวละกันนะ เลี้ยงข้าวกูด้วย

(和訳：今は時間的に余裕があまりない。来週に、俺も試験があるよ。じゃあ、1 ページ翻訳してあげるね{条件提示}。できたら、ご飯をおごってくれ{冗談}。)

6.2.2 場面 2(疎・目上・重)と場面 6(疎・同等・重)

6.2.2.1 場面 2・6：日本語母語話者

図 99 は親しくない目上、および親しくない同等からの重い依頼を断るという 2 つの場面において、JJ が用いた意味公式の出現率を比較するものである。

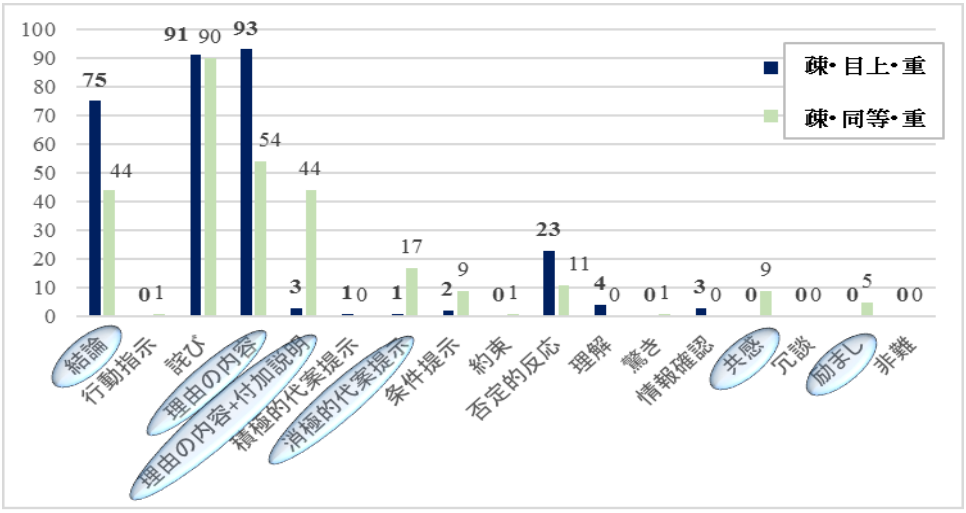


図 99　JJ：場面 2 と場面 6 における意味公式の比較

JJ が親しくない目上からの重い依頼を断る場面における出現率が 50%以上の意味公式は[理由の内容] (93%)、{詫び}(91%)、{結論}(75%)であり、親しくない同等からの重い依頼を断る場面には{詫び}(90%)、[理由の内容](54%)である。上下関係によって意味公式の出現率に有意差があ

るかどうかカイ二乗検定を用いて検定した結果、有意差が見られた($\chi 2(14)=101.96$, $p<.05$)。残差分析を行ったところ、有意差が見られたのは目上の{結論}(Z=2.97)、[理由の内容] (Z=3.48)と、同等の[理由の内容+付加説明](Z=6.36)、{消極的代案提示} (Z=3.90)、{共感}(Z=3.07)、{励まし}(Z=2.28)である。回答例は以下の通りである。

場面 2(疎・**目上**・重)

TM 7：すみませんが、日曜日は予定があるので[理由の内容]、厳しいです{結論}。

場面 6(疎・**同等**・重)

TF48：ごめんなさい、私もテストが迫ってて、勉強しなくちゃいけないのよ{理由の内容+説明}。互いに頑張ろう{励まし}！

TM33：協力してあげたいのは山々ですが{共感}、テスト勉強しないといけないんです。別の人に頼んでくれませんか{消極的代案提示}？

6.2.2.2 場面 2・6：タイ語母語話者

図 100 は親しくない目上、および親しくない同等からの重い依頼を断るという 2 つの場面において、TT が用いた意味公式の出現率を比較するものである。

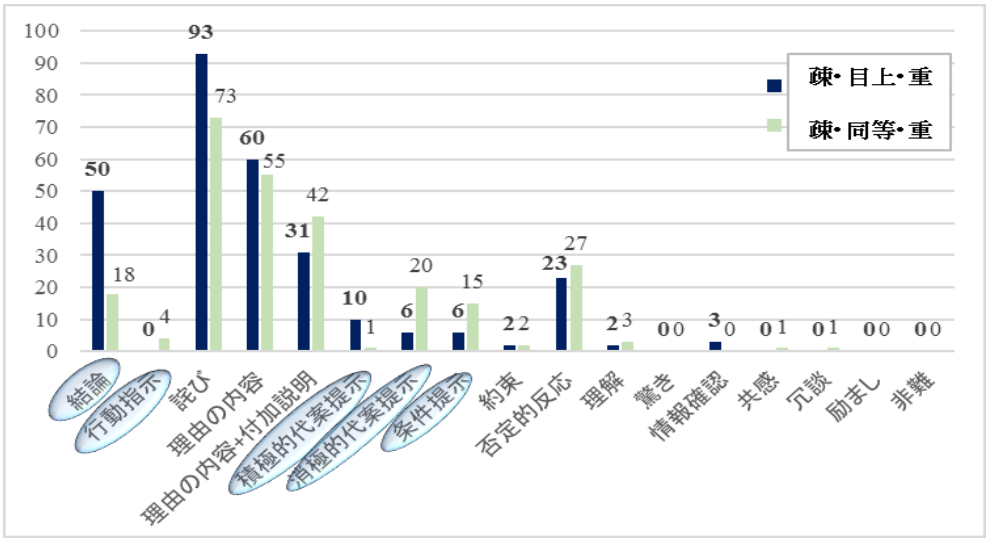


図 100　TT：場面 2 と場面 6 における意味公式の比較

TT が親しくない目上からの重い依頼を断る場面における出現率が 50%以上の意味公式は{詫び}(93%)、[理由の内容](60%)、{結論}(50%)であり、親しくない同等からの重い依頼を断る場面には、{詫び}(73%)、[理由の内容](55%)である。上下関係によって意味公式の出現率に有意差があるかどうかカイ二乗検定を用いて検定した結果、有意差が見られた($\chi 2(13)=46.66$, $p<.05$)。残差分析を行ったところ、有意差が見られたのは目上の{結論}(Z=3.76)、{積極的代案提示}

(Z=2.59)と、同等の{行動指示}(Z=2.09)、{消極的代案提示} (Z=3.04)、{条件提示}(Z=2.20)である。回答例は以下の通りである。

場面 2(疎・**目上**・重)

TF32：ขอโทษค่ะ ไม่สะดวกจริงๆ

(和訳：すみません、どうしても都合が悪いです{結論}。

TM 3：ขอโทษครับ พอดีวันนั้นผมมีธุระ แต่เดี๋ยวผมจะถามเพื่อนๆให้นะครับ

(和訳：すみません。その日はちょうど用事があります。では、僕が友達に聞いてみますね{積極的代案提示}。)

場面 6(疎・**同等**・重)

TF 29：ลองแปลเองนะ เราก็ไม่ค่อยรู้ภาษาอังกฤษ

(和訳：自分で翻訳してみてね{行動指示}。私も英語があまりできないの。)

TM 24：ไม่ว่างอะช่วงนี้ มีสอบด้วย ต้องอ่านหนังสือ หาคนอื่นแทนละกันเนาะ โทษที

(和訳：最近、時間的に余裕があまりない。テストがある。テスト勉強しなくちゃ。他の人に頼んでね{消極的代案 提示}。ごめん。)

TM 10：อาทิตย์หน้ามีสอบอะ ยังไม่ได้อ่านเลย โทษทีนะ แต่ถ้าอันไหนไม่เข้าใจ มาถามเราได้นะ

(和訳：来週テストがあるけど、まだ勉強をはじめてない。ごめんね。分からないことがあれば、僕に聞いてくれてもいいよ{条件提示}。)

6.2.3 場面 3(親・目上・軽)と場面 7(親・同等・軽)

6.2.3.1 場面 3・7：日本語母語話者

図 101 は親しい目上、および親しい同等からの軽い依頼を断るという 2 つの場面において、JJ が用いた意味公式の出現率を比較するものである。

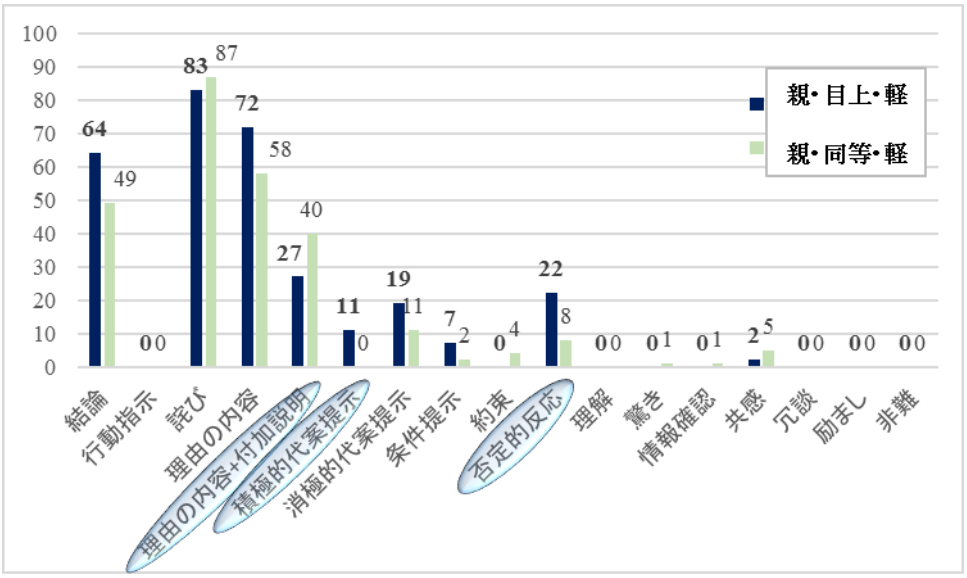


図 101　JJ：場面 3 と場面 7 における意味公式の比較

JJ が親しい目上からの軽い依頼を断る場面に、出現率が 50%以上の意味公式は{詫び}(83%)、[理由の内容](72%)、{結論}(64%)であり、親しい同等からの軽い依頼を断る場面には、{詫び}(87%)、[理由の内容](58%)である。上下関係によって意味公式の出現率に有意差があるかどうかカイ二乗検定を用いて検定した結果、有意差が見られた($\chi 2(11)=33.08$, $p<.05$)。残差分析を行ったところ、有意差が見られたのは目上の{積極的代案提示}(Z=3.11)、{否定的反応}(Z=2.22)と、同等の[理由の内容+付加説明](Z=2.31)である。回答例は以下の通りである。

場面 3(親・**目上**・軽)

TF16：ああ{否定的反応}、午後は用事あるんですよ。どうしても抜けられそうにないので、誰かほかに行けそうな人探してみましょうか{積極的代案提示}？

場面 7(親・**同等**・軽)

TM18：ごめん、俺も明日発表があるから、見る時間無いわ[理由の内容+付加説明]。

6.2.3.2 場面 3・7：タイ語母語話者

図 102 は親しい目上、および親しい同等からの軽い依頼を断る場面に、TT が用いた意味公式の出現率を比較するものである。

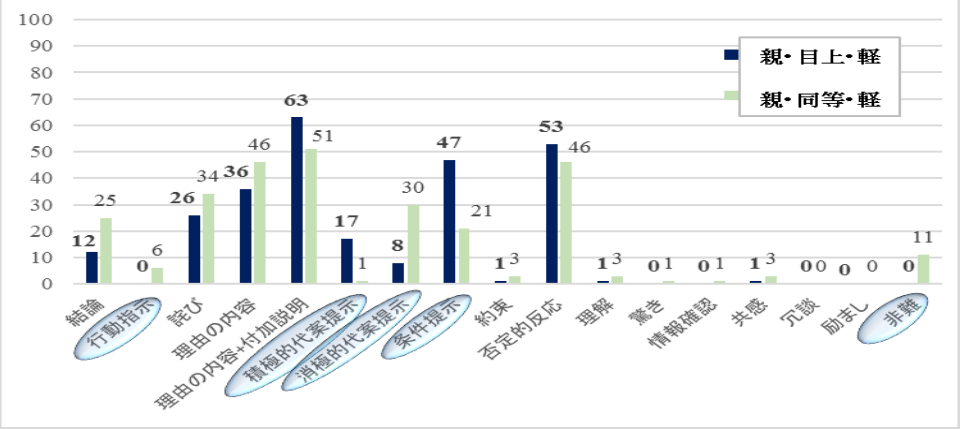


図 102　TT：場面 3 と場面 7 における意味公式の比較

TT が親しい目上からの軽い依頼を断る場面における出現率が 50%以上の意味公式は[理由の内容+付加説明](63%)、{否定的反応}(53%)であり、親しい同等からの軽い依頼を断る場面には、[理由の内容+付加説明](51%)である。上下関係によって意味公式の出現率に有意差があるかどうかカイ二乗検定を用いて検定した結果、有意差が見られた($\chi 2(14)=67.04$, $p<.05$)。残差分析を行ったところ、有意差が見られたのは目上の{積極的代案提示}(Z=3.97)、{条件提示}(Z=3.64)と、同等の{行動指示} (Z=2.38)、{消極的代案提示}(Z=3.50)、{非難}(Z=3.24)である。回答例は以下の通りである。

場面 3(親・**目上**・軽)

TM 27：เที่ยงนี้มีงานที่ยังทำไม่เสร็จครับ เดี๋ยวผมเรียกคนอื่นพอมีเวลาว่างให้มาช่วยนะครับ

(和訳：昼休みはまだできていない授業の課題があります。では、時間的に余裕がありそうな友達を呼んできます{積極的代案提示}。)

TM 31：ช่วงพักกลางวันผมมีคุยงานกับเพื่อนครับ เป็นช่วงเย็นได้มั้ยครับ

(和訳：昼休みに友達との打ち合わせがあります。夕方はいかがですか{条件提示}？)

場面 7(親・**同等**・軽)

TF 14：กูไม่ว่าง ทำเองละกันนะ

(和訳：時間的に余裕がない。自分で頑張ってね{行動指示}。)

TM 46：มึง กูต้องพรีเซนต์งานพรุ่งนี้ ไปถามคนอื่นสิ

(和訳：[呼びかけ](muŋ)、明日発表しなくちゃ。別の人に聞いて{消極的代案提示}。)

TF 13：มึง ง่ายขนาดนี้ทำเองไม่ได้หรอ กูไม่ว่าง

(和訳：[呼びかけ](muŋ)、こんな簡単なもん、自分でできないの{非難}？今、時間的に余裕がない。)

6.2.4 場面 4(疎・目上・軽)と場面 8(疎・同等・軽)

6.2.4.1 場面 4・8：日本語母語話者

図 103 は親しくない目上、および親しくない同等からの軽い依頼を断るという 2 つの場面において、JJ が用いた意味公式の出現率を比較するものである。

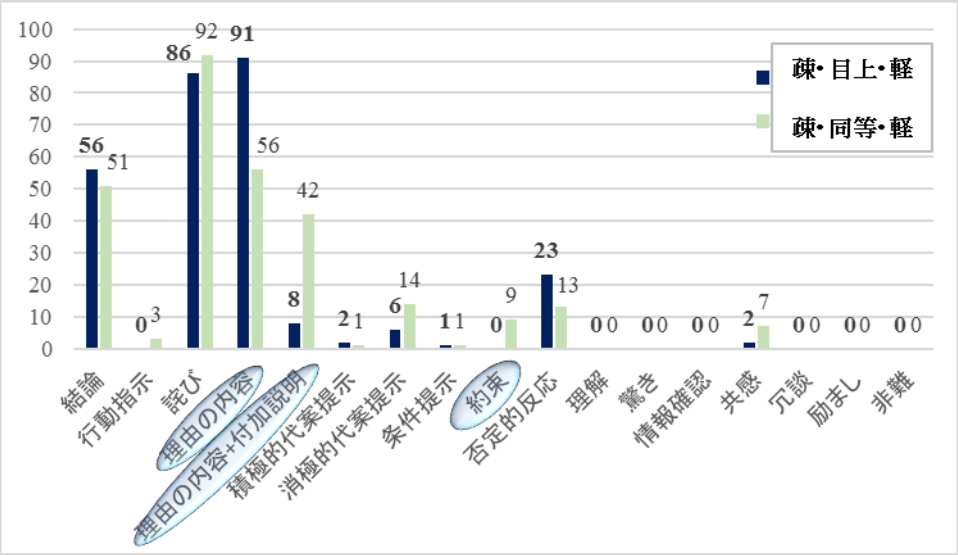


図 103　JJ：場面 4 と場面 8 における意味公式の比較

JJ が親しくない目上からの軽い依頼を断る場面における出現率が 50%以上の意味公式は[理由の内容](91%)、{詫び}(86%)、{結論}(56%)であり、親しくない同等からの軽い依頼を断る場面には、{詫び}(92%)、[理由の内容](56%)、{結論}(51%)である。上下関係によって意味公式の出現率に有意差があるかどうかカイ二乗検定を用いて検定した結果、有意差が見られた($\chi 2(10)=56.66$, $p<.05$)。残差分析を行ったところ、有意差が見られたのは目上の[理由の内容](Z=3.70)と、同等の[理由の内容+付加説明](Z=4.85)、{約束}(Z=2.95)である。回答例は以下の通りである。

場面 4(疎・**目上**・軽)

JM 12：すみません。僕は用事で[理由の内容]、行けそうにないです。

場面 8(疎・**同等**・軽)

JF 14：明日発表があって、練習したいんですが[理由の内容+付加説明]、ごめんね。

JM 6：ごめんね、明日の発表は大変だし、いろいろ準備しなくちゃ。
今度都合が良ければ、できる限り協力します{約束}。

6.2.4.2 場面 4・8：タイ語母語話者

図 104 は親しくない目上、および親しくない同等からの軽い依頼を断るという２つの場面において、TT が用いた意味公式の出現率を比較するものである。

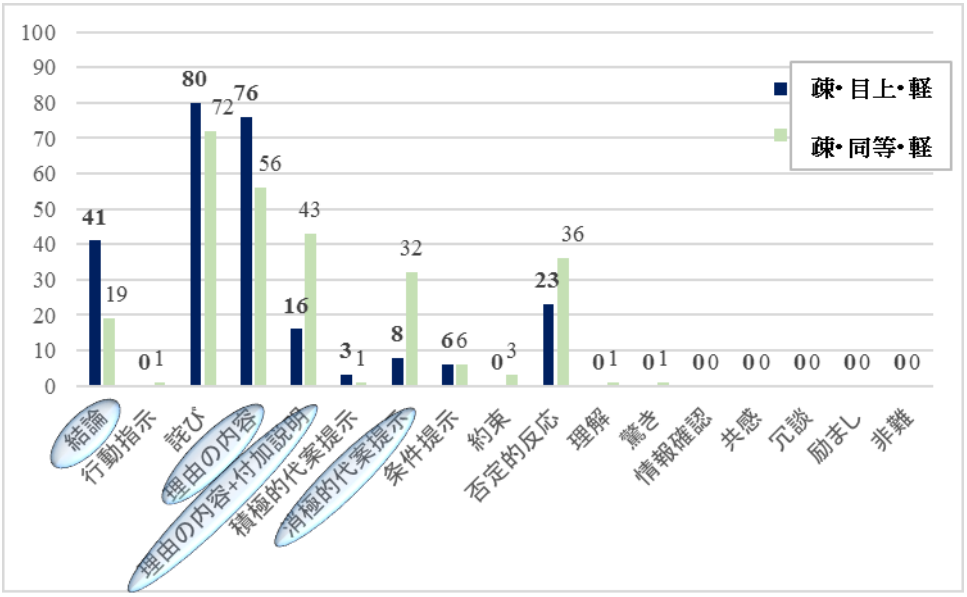


図 104　TT：場面 4 と場面 8 における意味公式の比較

TT が親しくない目上からの軽い依頼を断る場面における出現率が 50%以上の意味公式は{詫び}(80%)、[理由の内容](76%)であり、親しくない同等からの軽い依頼を断る場面には、{詫び}(72%)、[理由の内容](56%)である。上下関係によって意味公式の出現率に有意差があるかどうかカイ二乗検定を用いて検定した結果、有意差が見られた($\chi 2(11)=47.57$, $p<.05$)。残差分析を行ったところ、有意差が見られたのは目上の{結論}(Z=3.30)、[理由の内容](Z=2.47)と、同等の[理由の内容+付加説明](Z=3.45)、{消極的代案提示}(Z=3.72)である。回答例は以下の通りである。

場面 4(疎・**目上**・軽)

TM 6：เอ่อ　ไม่สะดวกเลยครับ　ผมต้องไปคุยเกี่ยวกับรายงานกลุ่มกับเพื่อน

(和訳：{否定的反応}(ʔəə)、どうしても都合が悪いです{結論}。午後は授業のレポートについて友達との打ち合わせに行かなければならない[理由の内容]。)

場面 8(疎・**同等**・軽)

TF 44：เอ่อ พรุ่งนี้เรามีนำเสนองาน ต้องซ้อมพูด　หาคนอื่นช่วยแทนได้มั้ย

(和訳：{否定的反応}(ʔəə)、明日発表がある。練習しなくちゃ[理由の内容+付加説明]。他の人にお願いしてもらえる{消極的代案提示}？)

6.2.5 上下関係による分析のまとめ

6.2.5.1 上下関係による分析のまとめ：日本語母語話者

図 97,99,101,103 で見てきた上下関係によって出現率に有意差が見られた意味公式を表 64 にまとめる。

表 64　JJ：上下関係によって有意差が見られた意味公式

場面	目上のほうが同等より有意に多く用いられる意味公式	同等のほうが目上より有意に多く用いられる意味公式
場面 1(親・目上・重) 場面 5(親・同等・重)	{積極的代案提示} {約束} {情報確認}	{行動指示} [理由の内容+付加説明] {消極的代案提示} {驚き}{共感}{非難}{励まし}
場面 2(疎・目上・重) 場面 6(疎・同等・重)	{結論} [理由の内容]	[理由の内容+付加説明] {消極的代案提示} {共感}{励まし}
場面 3(親・目上・軽) 場面 7(親・同等・軽)	{積極的代案提示} {否定的反応}	[理由の内容+付加説明]
場面 4(疎・目上・軽) 場面 8(疎・同等・軽)	[理由の内容]	[理由の内容+付加説明] {約束}

6.2.5.2 上下関係による分析のまとめ：タイ語母語話者

図 98,100,102,104 で見てきた上下関係によって出現率に有意差が見られた意味公式を表 65 にまとめる。

表 65　TT：上下関係によって有意差が見られた意味公式

場面	目上のほうが同等より有意に多く用いられる意味公式	同等のほうが目上より有意に多く用いられる意味公式
場面 1(親・目上・重) 場面 5(親・同等・重)	{詫び} [理由の内容+付加説明] {積極的代案提示}	{行動指示} [理由の内容] {消極的代案提示} {条件提示} {冗談}{非難}
場面 2(疎・目上・重) 場面 6(疎・同等・重)	{結論} {積極的代案提示}	{行動指示} {消極的代案提示} {条件提示}
場面 3(親・目上・軽) 場面 7(親・同等・軽)	{積極的代案提示} {条件提示}	{行動指示} {消極的代案提示} {非難}
場面 4(疎・目上・軽) 場面 8(疎・同等・軽)	{結論} [理由の内容]	[理由の内容+付加説明] {消極的代案提示}

6.2.5.3 上下関係による分析のまとめ：日本語母語話者とタイ語母語話者の比較

JJ はすべての場面において、上下関係による意味公式の出現率に有意差が見られた。{積極的代案提示}[理由の内容]{情報確認(場面 1 のみ)}{結論(場面 1 のみ)}{否定的反応(場面 1 のみ)}は、目上に対しては有意に多く使われているのに対して、{行動指示}[理由の内容+付加説明]{行動指示}{消極的代案提示}{驚き(場面 5 のみ)}{共感}{励まし}{非難}が同等に対して有意に多く使われている。最後に、{約束}については、目上(場面 1)にも、同等(場面 8)にも、有意に多く使われているが、出現率を見ると、目上(59%)のほうが同等(9%)より出現率が圧倒的に多いという結果になった。

例①：場面 1　JM44　　えー、日曜日はちょっと先約が入ってしまって[理由の内容]、行けない
(親・**目上**・重)　　んです。申し訳ないです。友達に頼んでみますね{積極的代案提示}。

例②：場面 5　JM44　ごめん、自分も中間テストがある、勉強せんといけんのよー[理由の内容
(親・**同等**・重)　　+付加説明]。お互いがんばろう！！{励まし}

一方、TT は{結論}{積極的代案提示}{詫び(場面 1 のみ)}を目上に対して有意に多く使用している。{消極的代案提示}{行動指示}{冗談}{非難}は JJ と同じように同等に対して有意に多く使われている。なお、[理由の内容][理由の内容+付加説明]{条件提示}については目上にも、同等にも、有意に多く使われているので、上下関係による違いがあるとは言えない。

例③：場面 2　TM9　　ต้องขอโทษด้วยครับ เนื่องจากมีธุระกับทางบ้าน จึงไม่สามารถมาช่วยได้
(疎・**目上**・重)　　เดี๋ยวจะลองติดต่อเพื่อนให้มาช่วยงานครับ
(和訳：申し訳ございません。家族と用事があるから、手伝いに行けないんです{結論}。じゃあ、手伝いに行けるか友達に聞いてみますね{積極的代案提示}。)

例④：場面 5　TF7　　*อีดอก คิดว่ากูว่างมากใช่ปะ กูมีสอบอาทิตย์หน้า งั้นมึงไปถามคนอื่นละกัน
(親・**同等**・重)　　(和訳：[呼びかけ](ʔii dɔ̀ɔk)、いつも暇だと思う？{非難}。来週に試験がある。別の人に聞いて{消極的代案提示}。)
*อีดอก (ʔii dɔ̀ɔk 売春婦(俗語の呼びかけ))

JJ と TT の共通点は、JJ と TT ともに、目上と同等で使われる意味公式が異なっている。すなわち、いずれも上下関係が意味公式の使用に影響を与えると言える。

6.3 依頼の負担度による分析

本節では、JJ と TT が依頼の負担度によって意味公式の出現率に有意差があるかどうかカイ二乗検定を行った結果を述べる。分析の対象を以下 4 項目に分類する。(1)場面 1(親・目上・重)と場面 3(親・目上・軽)、(2) 場面 2(疎・目上・重)と場面 4(疎・目上・軽)、(3) 場面 5(親・同等・重)と場面 7(親・同等・軽)、(4) 場面 6(疎・同等・重)と場面 8(疎・同等・軽)である。

6.3.1 場面 1(親・目上・重)と場面 3(親・目上・軽)

6.3.1.1 場面 1・3：日本語母語話者

図 105 は親しい目上からの重い依頼、および親しい目上からの軽い依頼を断るという 2 つの場面において、JJ が用いた意味公式の出現率を比較するものである。

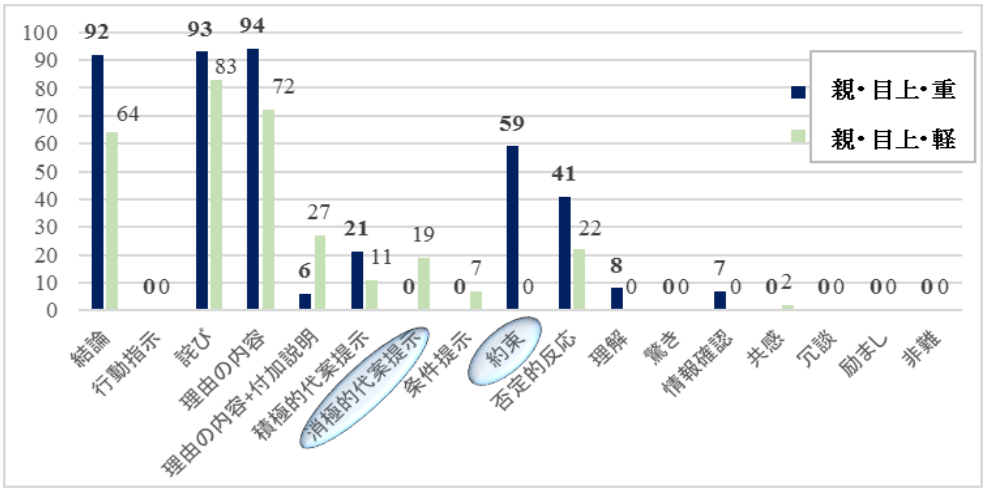


図 105　JJ：場面 1 と場面 3 における意味公式の比較

JJ が親しい目上からの重い依頼を断る場面における出現率が 50%以上の意味公式は[理由の内容](94%)、{詫び}(93%)、{結論}(92%)、{約束}(59%)であり、親しい目上からの軽い依頼を断る場面には、{詫び}(83%)、[理由の内容](72%)、{結論}(64%)である。依頼の負担度によって意味公式の出現率に有意差があるかどうかカイ二乗検定を用いて検定した結果、有意差が見られた($\chi 2(11)=117.76$, $p<.05$)。残差分析を行ったところ、有意差が見られたのは重い依頼の{約束}($Z=6.84$)と、軽い依頼の{消極的代案提示}($Z=5.17$)である。回答例は以下の通りである。

場面 1(親・目上・**重**)

JM 27：すみません、その日は約束があります。手伝いに行けません。

今度またお願いします{約束}。

場面 3(親・目上・**軽**)

JM 17： すみません。約束あるので、行けないです。別の人に頼んでほしいです{消極的代案提示}。

6.3.1.2 場面 1・3：タイ語母語話者

図 106 は親しい目上からの重い依頼、および親しい目上からの軽い依頼を断るという 2 つの場面において、TT が用いた意味公式の出現率を比較するものである。

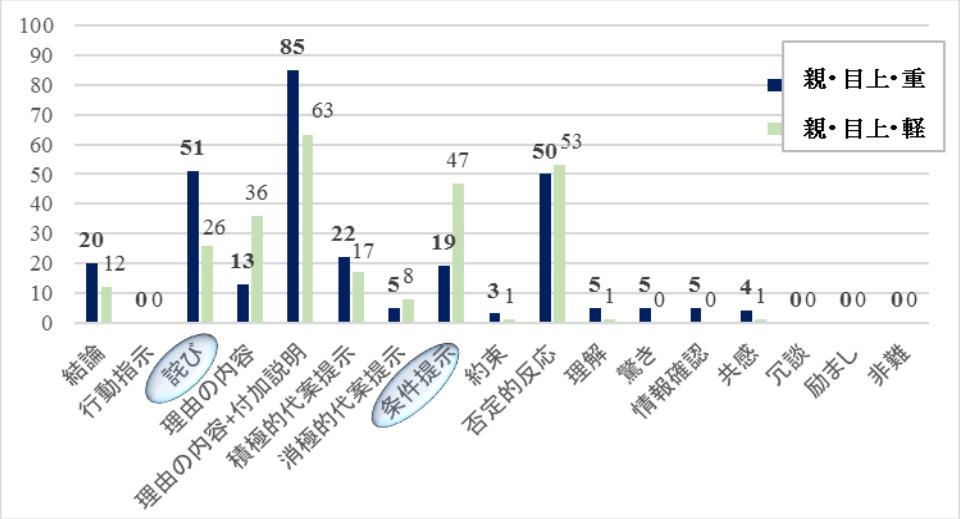


図 106　TT：場面 1 と場面 3 における意味公式の比較

TT が親しい目上からの重い依頼を断る場面における出現率が 50%以上の意味公式は[理由の内容+付加説明](85%)、{詫び}(51%)、{否定的反応}(50%)であり、親しい目上からの軽い依頼を断る場面には、[理由の内容+付加説明](63%)、{否定的反応}(53%)である。依頼の負担度によって意味公式の出現率に有意差があるかどうかカイ二乗検定を用いて検定した結果、有意差が見られた($\chi 2(12)=52.15, p<.05$)。残差分析を行ったところ、有意差が見られたのは重い依頼の{詫び}($Z=2.69$)と、軽い依頼の{条件提示} ($Z=4.02$)である。回答例は以下の通りである。

場面 1(親・目上・**重**)

TF 41：ขอโทษนะคะ หนูต้องอ่านหนังสือเตรียมตัวสอบค่ะ หนูกลัวทำข้อสอบไม่ได้ ขอโทษจริงๆค่ะ

(和訳：すみませんが{詫び}、テスト勉強をしなければなりません。試験のことが心配です。本当にすみません{詫び}。)

場面 3(親・目上・**軽**)

TM 31：ช่วงพักกลางวันผมมีคุยงานกับเพื่อนครับ เป็นช่วงเย็นได้มั้ยครับ

(和訳：昼休みに友達との打ち合わせがあります。夕方はいかがですか{条件提示}？)

6.3.2 場面 2(疎・目上・重)と場面 4(疎・目上・軽)

6.3.2.1 場面 2・4：日本語母語話者

図 107 は親しくない目上からの重い依頼、および親しくない目上からの軽い依頼を断るという 2 つの場面において、JJ が用いた意味公式の出現率を比較するものである。

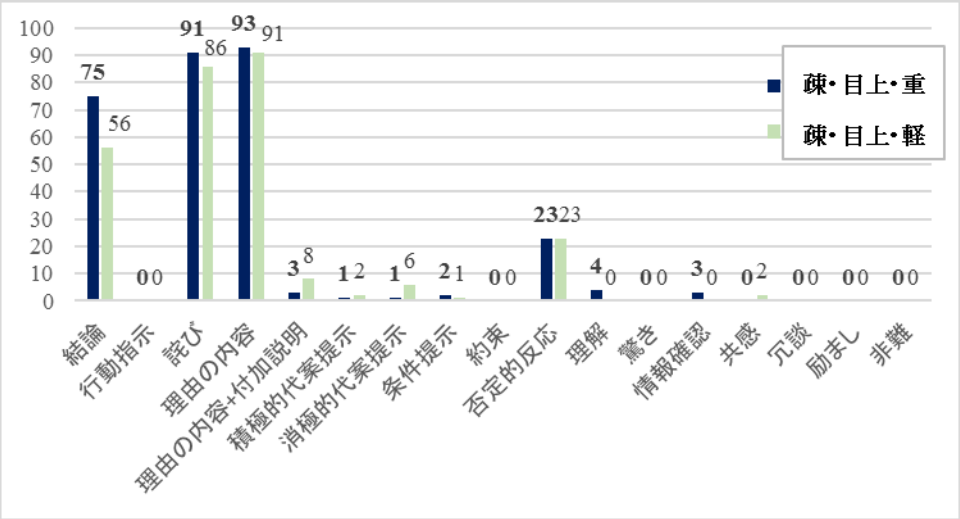


図 107　JJ：場面 2 と場面 4 における意味公式の比較

JJ が親しくない目上からの重い依頼を断る場面における出現率が 50%以上の意味公式は[理由の内容](93%)、{詫び}(91%)、{結論}(75%)であり、親しくない目上からの軽い依頼を断る場面には、[理由の内容](91%)、{詫び}(86%)、{結論}(56%)である。依頼の負担度によって意味公式の出現率に有意差があるかどうかカイ二乗検定を用いて検定した結果、有意差は見られなかった($\chi 2(10)=17.68$, n.s.)。

6.3.2.2 場面 2・4：タイ語母語話者

図 108 は親しくない目上からの重い依頼、および親しくない目上からの軽い依頼を断るという 2 つの場面において、TT が用いた意味公式の出現率を比較するものである。

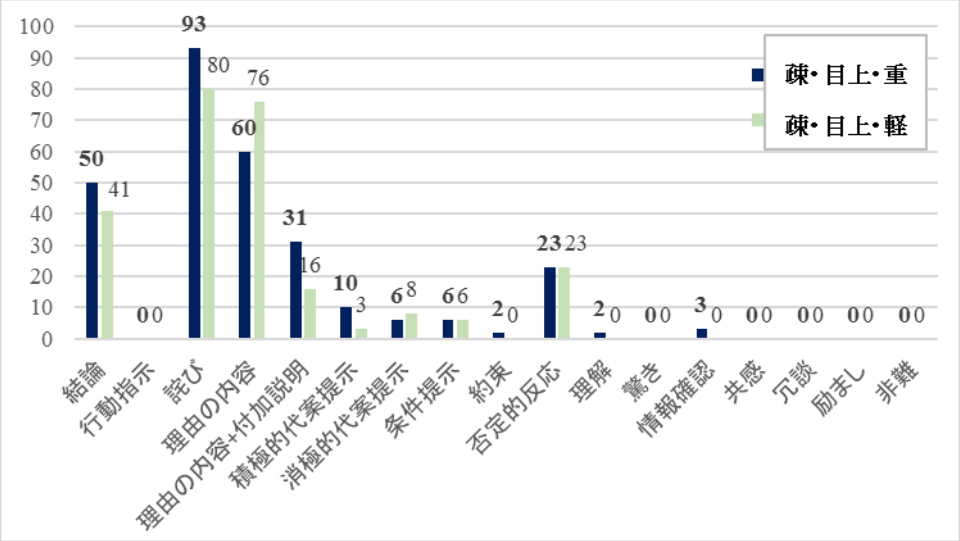


図 108　TT：場面 2 と場面 4 における意味公式の比較

TT が親しくない目上からの重い依頼を断る場面における出現率が 50%以上の意味公式は{詫び}(93%)、[理由の内容](60%)、{結論}(50%)であり、親しくない目上からの軽い依頼を断る場面には、{詫び}(80%)、[理由の内容](76%)である。依頼の負担度によって意味公式の出現率に有意差があるかどうかカイ二乗検定を用いて検定した結果、有意差は見られなかった($\chi 2(10)=17.63$, n.s.)。

6.3.3 場面 5(親・同等・重)と場面 7(親・同等・軽)

6.3.3.1 場面 5・7：日本語母語話者

図 109 は親しい同等からの重い依頼、および親しい同等からの軽い依頼を断るという 2 つの場面において、JJ が用いた意味公式の出現率を比較するものである。

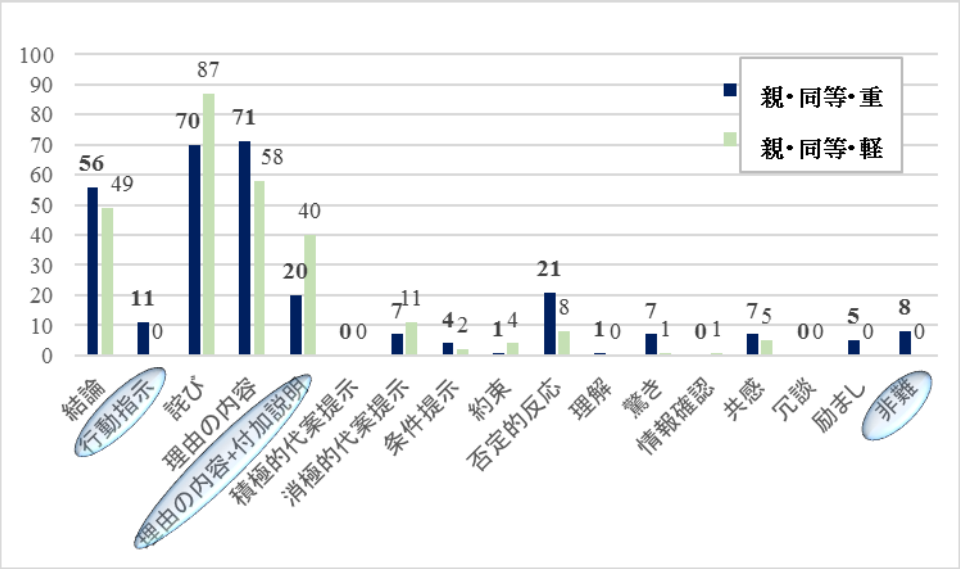


図 109　JJ：場面 5 と場面 7 における意味公式の比較

JJ が親しい同等からの重い依頼を断る場面における出現率が 50%以上の意味公式は[理由の内容](71%)、{詫び}(70%)、{結論}(56%)であり、親しい同等からの軽い依頼を断る場面には、{詫び}(87%)、[理由の内容](58%)である。依頼の負担度によって意味公式の出現率に有意差があるかどうかカイ二乗検定を用いて検定した結果、有意差が見られた($\chi 2(14)=49.43$, $p<.05$)。残差分析を行ったところ、有意差が見られたのは重い依頼の{行動指示} ($Z=3.21$)、{非難}($Z=2.73$)と、軽い依頼の[理由の内容+付加説明]($Z=3.07$)である。回答例は以下の通りである。

場面 5(親・同等・**重**)

JF 15：中間テストで忙しい。無理！自分の力で頑張って{行動指示}！

JF 34：へえ、俺はいつも時間に余裕があるわけではないよ{非難}。

場面 7(親・同等・**軽**)

JM 34：ごめん、明日の発表の準備しないといけなくて、ちょっと時間取れないわ[理由の内容+付加説明]。

6.3.3.2 場面 5・7：タイ語母語話者

図 110 は親しい同等からの重い依頼、および親しい同等からの軽い依頼を断るという 2 つの場面において、TT が用いた意味公式の出現率を比較するものである。

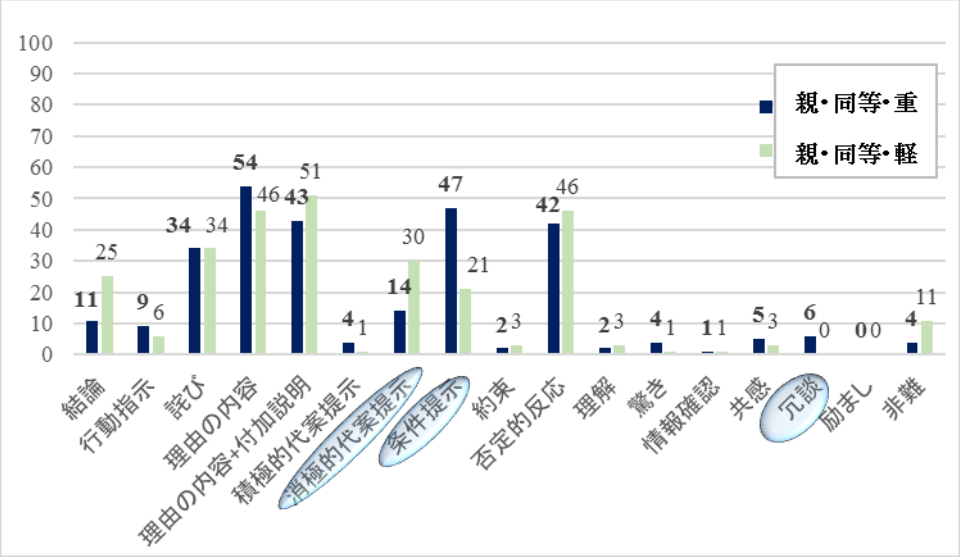


図 110　TT：場面 5 と場面 7 における意味公式の比較

TT が親しい同等からの重い依頼を断る場面における出現率が 50%以上の意味公式は[理由の内容](54%)であり、親しい同等からの軽い依頼を断る場面には、[理由の内容+付加説明](51%)である。依頼の負担度によって意味公式の出現率に有意差があるかどうかカイ二乗検定を用いて検定した結果、有意差が見られた($\chi 2(14)=37.07$, $p<.05$)。残差分析を行ったところ、有意差が見られたのは重い依頼の{条件提示} (Z=3.39)、{冗談}(Z=2.46)と、軽い依頼の{消極的代案提示} (Z=2.52)である。回答例は以下の通りである。

場面 5(親・同等・**重**)

TM 11：เอ่อ กูมีสอบอาทิตย์หน้า ช่วยแปลสัก1หน้าก็ได้ แปลเสร็จเลี้ยงเหล้ากูด้วย

(和訳：{否定的反応}(ʔəəə)、来週、俺は試験がある。じゃあ、1 ページぐらいしてあげる{条件提示}できたら、お酒をおごってくれ{冗談}。)

場面 7(親・同等・**軽**)

TM 46：มึง กูต้องพรีเซนต์งานพรุ่งนี้ ไปถามคนอื่นสิ

(和訳：[呼びかけ](mɯŋ)、明日発表しなくちゃ。別の人に聞いて{消極的代案提示}。)

6.3.4 場面 6(疎・同等・重)と場面 8(疎・同等・軽)

6.3.3.1 場面 6・8：日本語母語話者

図 111 は親しくない同等からの重い依頼、および親しくない同等からの軽い依頼を断るという 2 つの場面において、JJ が用いた意味公式の出現率を比較するものである。

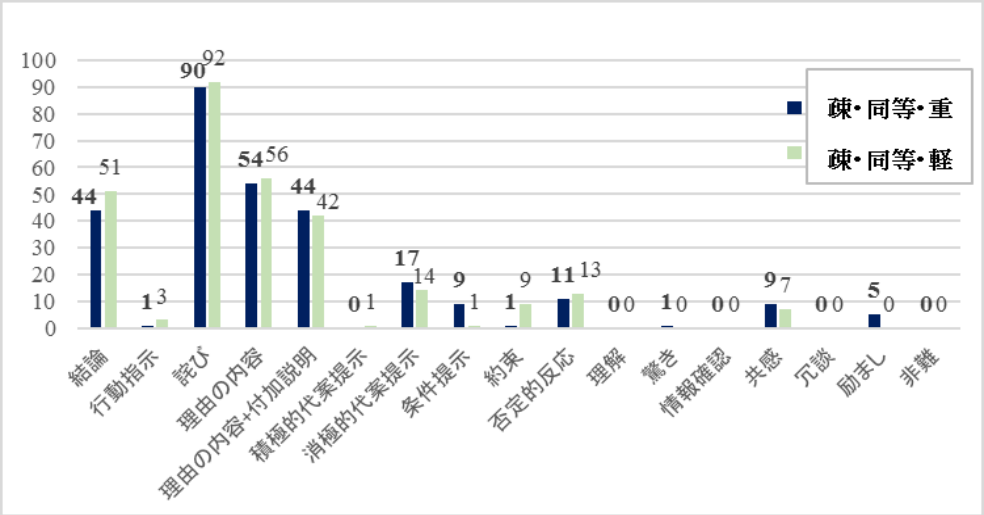


図 111　JJ：場面 6 と場面 8 における意味公式の比較

JJ が親しくない同等からの重い依頼を断る場面における出現率が 50%以上の意味公式は{詫び}(90%)、[理由の内容](54%)である。親しくない同等からの軽い依頼を断る場面には、{詫び}(92%)、[理由の内容](56%)、{結論}(51%)である。依頼の負担度によって意味公式の出現率に有意差があるかどうかカイ二乗検定を用いて検定した結果、有意差は見られなかった($\chi 2(12)=17.01$, n.s.)。

6.3.3.2 場面 6・8：タイ語母語話者

図 112 は親しくない同等からの重い依頼、および親しくない同等からの軽い依頼を断るという 2 つの場面において、TT が用いた意味公式の出現率を比較するものである。

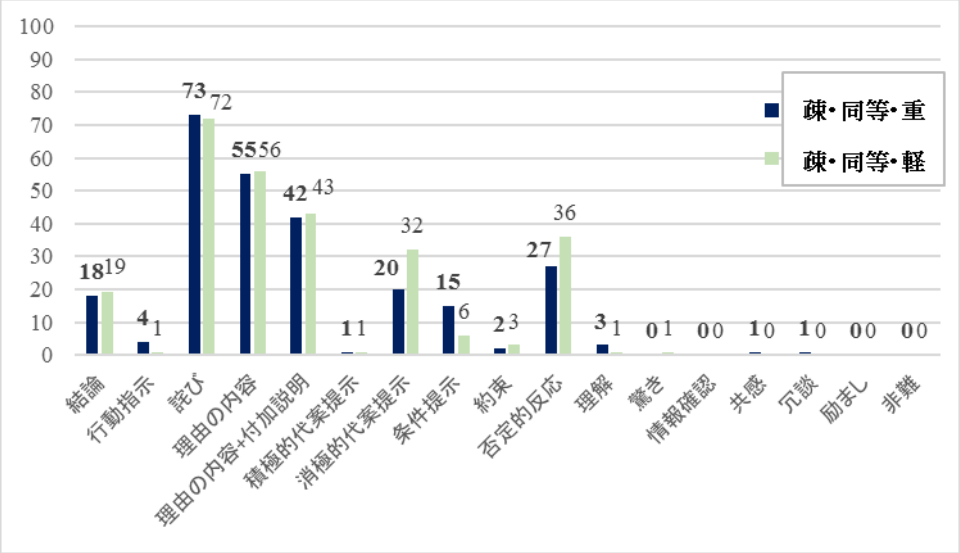


図 112　TT：場面 6 と場面 8 における意味公式の比較

TT が親しい同等からの重い依頼を断る場面における出現率が 50%以上の意味公式は{詫び} (73%)、[理由の内容](55%)であり、親しい同等からの軽い依頼を断る場面には、{詫び} (72%)、[理由の内容](56%)である。依頼の負担度によって意味公式の出現率に有意差があるかどうかカイ二乗検定を用いて検定した結果、有意差は見られなかった($\chi 2(13)=13.81$, n.s.)。

6.3.5 依頼の負担度による分析のまとめ

6.3.5.1 依頼の負担度による分析のまとめ：日本語母語話者

図 105,107,109,111 で見てきた依頼の負担度によって出現率に有意差が見られた意味公式を表 66 にまとめる。

表 66　JJ：依頼の負担度によって有意差が見られた意味公式

場面	重い依頼のほうが軽い依頼より有意に多く用いられる意味公式	軽い依頼のほうが重い依頼より有意に多く用いられる意味公式
場面 1(親・目上・重) 場面 3(親・目上・軽)	{約束}	{消極的代案提示}
場面 2(疎・目上・重) 場面 4(疎・目上・軽)	有意差が見られなかった	有意差が見られなかった
場面 5(親・同等・重) 場面 7(親・同等・軽)	{行動指示} {非難}	[理由の内容+付加説明]
場面 6(疎・同等・重) 場面 8(疎・同等・軽)	有意差が見られなかった	有意差が見られなかった

6.3.5.2 依頼の負担度による分析のまとめ：タイ語母語話者

図 106,108,110,112 で見てきた依頼の負担度によって出現率に有意差が見られた意味公式を表 67 にまとめる。

表 67　TT：依頼の負担度によって有意差が見られた意味公式

場面	重い依頼のほうが軽い依頼より有意に多く用いられる意味公式	軽い依頼のほうが重い依頼より有意に多く用いられる意味公式
場面 1(親・目上・重) 場面 3(親・目上・軽)	{詫び}	{条件提示}
場面 2(疎・目上・重) 場面 4(疎・目上・軽)	有意差が見られなかった	有意差が見られなかった
場面 5(親・同等・重) 場面 7(親・同等・軽)	{条件提示} {冗談}	{消極的代案提示}
場面 6(疎・同等・重) 場面 8(疎・同等・軽)	有意差が見られなかった	有意差が見られなかった

6.3.5.3 依頼の負担度による分析のまとめ：日本語母語話者とタイ語母語話者の比較

JJ と TT ともに、親しくない相手からの依頼の場面(場面 2, 4, 6, 8)では、意味公式の出現率について、依頼の負担度による有意差は見られなかった。JJ と TT の特徴は以下の通りである。まず、JJ は重い依頼場面では、{約束}(場面 1)、{行動指示}(場面 5)、{非難}(場面 5)の出現率に有意差が見られた。軽い依頼では、{消極的代案提示}(場面 3)、[理由の内容+付加説明](場面 7) の出現率に有意差が見られた。

例①：場面 1　JF5　　申し訳ないですが、その日は用事があるので、お断りします。
(親・目上・**重**)　次回、機会があれば、またお呼びください{約束}。

例②：場面 5　JM30　　ごめん。俺も来週テストがあるんだ。自分で頑張ってくれる？{行動指示}
(親・同等・**重**)

例③：場面 7　JF 12　　明日、発表があって、資料はまだできてない{理由の内容+付加説明}。
(親・同等・**軽**)　ごめんね。

一方、TT は重い依頼の場面では{詫び}{冗談}、軽い依頼の場面では{消極的代案提示}の出現率に有意差が見られた。

例④：場面 5　TM50　โทษที กูมีสอบหวะ ขอแปลคริ่งหน้าได้ปะ เลี้ยงข้าวกูด้วย
(親・同等・**重**)　(和訳：ごめん{詫び}。試験がある。1 ページの半分だけ翻訳してもいい？できたら、ご飯をおごってくれ{冗談}。)

例⑤：場面 7　TF40　ขอโทษนะ พอดีเราจะสอบแล้ว ต้องอ่านหนังสืออะ เธอลองถามคนอื่นดูนะ
(親・同等・**軽**)　(和訳：ごめん、ちょうど試験期間が近づいている。テスト勉強しなくちゃ。別の人に聞いてみてね{消極的代案提示}。)

なお、{条件提示}の場合は、親しい目上からの軽い依頼(場面 3)と、親しい同等からの重い依頼(場面 5)の場面で依頼の負担度によって出現率に有意差が見られた。さらに、親しい相手の場合しか有意差が見られないため、依頼の負担度、親疎関係と上下関係の 3 つの要因が{条件提示}の出現率の有意差に影響を与えるのではないかと考えられる。

全体的な傾向を見ると、JJ と TT ともに、依頼の負担度によって意味公式の出現率に有意差があまり見られなかったことが分かった。

6.4 親疎関係・上下関係・依頼の負担度による分析のまとめ

カイ二乗検定および残差分析を行った結果から、JJ と TT の意味公式の使用の特徴を以下の表にまとめる。

<table>
<tr><th colspan="2">親疎関係</th></tr>
<tr><th>JJ</th><th>TT</th></tr>
<tr><td>(1) 8 場面 4 組のうち、1 組 (場面 7,8)には親疎関係によって意味公式の出現率に有意差が見られなかった。
(2) 親疎関係によって出現率に有意差が見られた意味公式が{積極的代案提示}{約束}{消極的代案提示}{行動指示}{非難}の全部で 5 種類の意味公式である。

(3)出現率に有意差が見られなかった場面があることと、出現率に有意差が見られた意味公式の数が少ないことから、親疎関係によって意味公式の出現率に有意差があまり見られなかったことが明らかになった。</td><td>(1) 8 場面 4 組のうち、すべての組には親疎関係によって意味公式の出現率に有意差が見られる。
(2) 親疎関係によって出現率に有意差が見られた意味公式が[理由の内容][理由の内容+付加説明]{積極的代案提示}{条件提示}{否定的反応}{非難}{詫び}の全部で 7 種類である。 {積極的代案提示}{非難}以外、親疎関係による有意差が見られた TT の意味公式は JJ と異なる意味公式である。
(3) JJ より TT のほうが親疎関係によって意味公式の出現率に有意差が多く見られることが分かった。</td></tr>
<tr><th colspan="2">上下関係</th></tr>
<tr><th>JJ</th><th>TT</th></tr>
<tr><td colspan="2">JJ と TT の共通点は以下の 3 点である。
(1) すべての 8 場面 4 組において、上下関係によって意味公式の出現率に有意差が見られた。
(2)目上より、同等のほうが出現率に有意差が見られる意味公式の数が多く見られる。
(3) JJ と TT ともに、目上と同等で使われる意味公式が異なっている。すなわち、いずれも上下関係が意味公式の使用に影響を与えると言える。</td></tr>
<tr><th colspan="2">依頼の負担度</th></tr>
<tr><th>JJ</th><th>TT</th></tr>
<tr><td colspan="2">JJ と TT の共通点は以下の 2 点である。
(1)親しくない目上からの依頼の場面(場面 2,4)と親しくない同等からの依頼の場面(場面 6,8)において、依頼の負担度によって意味公式の出現率に有意差が見られなかった。
(2)全体的な傾向を見ると、JJ と TT ともに、依頼の負担度によって意味公式の出現率に有意差があまり見られなかったことが分かった。</td></tr>
</table>

第七章

意味公式ごとの分析

第五章では、言語形式と意味公式の内容に関する結果を述べたが、本章では、その点に関してさらに詳細に分析する。16 種類の意味公式のうち、JJ と TT の断りの特徴を表す 10 種類の意味公式、すなわち<直接的断り>の意味公式{結論}{行動指示}{理由}、<間接的断り>の意味公式{詫び}{積極的代案提示}{条件提示}、<付加表現>の意味公式{否定的反応[呼びかけ]}{冗談}{励まし}{非難}を本分析の対象とする[15]。分析については、{結論}{行動指示}{詫び}{励まし}は言語形式の観点から、{積極的代案提示}{条件提示}{否定的反応[呼びかけ]}{冗談}{非難}は内容の観点から、{理由}は言語形式と内容の観点から分析した。

以下、各意味公式について詳細に見ていく。

7.1{結論}

{結論}の意味公式は言語形式のみを分析した。

7.1.1{結論}：日本語母語話者

分析にあたっては、用いられた表現を品詞ごとに、「動詞」「形容詞」「言いさし」の 3 つのグループに分類し、それぞれを活用形と共起する表現、およびそれらの出現順序によって分類した。分類したそれぞれのタイプの出現数と出現率を表 68 にまとめる。

[15] <間接的断り>の意味公式{消極的代案提示}{約束}と、<付加表現>の意味公式{共感}{情報確認}{理解}{驚き}の 6 つの意味公式は言語形式分析と内容分析の対象にしない。というのは、{消極的代案提示}{約束}の 2 つの意味公式は、タイ語、日本語それぞれの言語において、対応する意味があり、内容の観点から分析してみると、両言語の相違が見られないからである。また、{共感}{情報確認}{理解}{驚き}の 4 つの意味公式はすべての場面において出現率が低い(10%以下)ため、言語形式のバリエーションが見られず、上下関係、親疎関係によって言語形式の使い分けが異なるかどうか、討論できないからである。したがって、以上の 6 つの意味公式が分析の対象にならないのである。

表 68　JJ:{結論}出現数と出現率のまとめ

動詞	出現数	出現率
(副詞+)動詞+可能+否定形(+モダリティ形式)(+接続助詞) (+終助詞)	**241**	**49.4%**
(1)辞書形+ことができない	23	4.7%
(2)辞書形+ことができない+モダリティ形式	1	0.2%
(3)辞書形+ことができない+接続助詞	1	0.2%
(4)辞書形+ことができない+終助詞	1	0.2%
(5)可能形の否定形	134	27.5%
(6)可能形の否定形+モダリティ形式	33	6.6%
(7)可能形の否定形+接続助詞	1	0.2%
(8)可能形の否定形+終助詞	19	3.9%
(9)副詞+可能形の否定形	15	3.1%
(10)副詞+可能形の否定形+終助詞	2	0.4%
(11)謙譲語の辞書形+ことができない	2	0.4%
(12)謙譲語の可能形+かねます	1	0.2%
(13)謙譲語の可能形の否定形	1	0.2%
(14)謙譲語の可能形の否定形+接続助詞	8	1.6%
(副詞+)動詞+可能+モダリティ形式+否定形+(終助詞)	**48**	**11.2%**
(15)辞書形+ことができそうにない	3	0.6%
(16)可能形+そうにない	37	7.6%
(17)可能形+そうにない+終助詞	1	0.2%
(18)副詞+可能形+そうにない	4	0.8%
(19)謙譲語の可能形の辞書形+そうにない	3	0.6%
断りを表す意味の動詞	**7**	**1.4%**
(20)断りを表す意味の動詞	7	1.4%
小計	**296**	**60.8%**
形容詞	**出現数**	**出現率**
(副詞+)形容詞(+モダリティ形式)(+接続助詞) (+終助詞)	**190**	**39%**
(21)イ・ナ形容詞	42	8.6%
(22)イ・ナ形容詞+接続助詞	32	6.6%
(23)イ・ナ形容詞+終助詞	4	0.8%
(24)イ・ナ形容詞+モダリティ形式	12	2.5%
(25)副詞+イ・ナ形容詞	37	7.6%
(26)副詞+イ・ナ形容詞+終助詞	25	5.1%
(27)副詞+イ・ナ形容詞+モダリティ形式	8	1.6%
(28)副詞+イ・ナ形容詞+モダリティ形式 +終助詞	1	0.2%
(29)副詞+イ・ナ形容詞+接続助詞	29	6%
小計	**190**	**39.0%**
言いさし	**出現数**	**出現率**
言いさし	**1**	**0.2%**
小計	**1**	**0.2%**
合計	**487**	**100.0%**

注：( )の部分は現れない場合がある。

①動詞　出現率が 60.8%である。表現の構成要素の順番と、動詞の意味を基準として 3 つのグループに分類した。

1) (副詞+)動詞+可能+否定形(+モダリティ形式)(+接続助詞) (+終助詞)

　最も出現率の高いグループである(49.4%)。全部で 11 パターンに分類される。最も多く使用されているパターンは、(5)可能形の否定形(27.7%)である。例：「手伝いに行けません」「依頼に応じられないです」「力になれません」である。

2) (副詞+)動詞+可能+モダリティ形式+否定形+(終助詞)

　このグループは、動詞の可能形にモダリティ形式表現「そうにない」が付くグループである。出現率は 11.2%である。全部で 5 パターンに分類される。最も多く使用されているパターンは、(16)可能形+そうにない(7.6%)である。例：「手伝いに行けそうにない」「協力できそうにない」「参加できそうにない」である。

3) 断りを表す意味の動詞

　出現率は 1.4%である。使われる動詞は「断る」と「控える」である。

②形容詞　出現率は 39%である。最も多く使用されているパターンは、(21)イ・ナ形容詞(13.8%)である。例：「難しいです」「厳しい」である。

③言いさし　出現率はわずか 0.2%である。

出現率を見ると、日本語母語話者が動詞で直接に断る傾向が見られる。一方、言いさしはほとんど使われないことが分かった。

また、場面別の出現数を表 69-73 に示す。本調査には方言（関西弁）の使用も見られる(下線を引いた部分が該当の箇所である)。なお、関西弁の文法説明については、岡本・氏原(2006) の『聞いておぼえる関西(大阪)弁入門』を参考に、文法に対する解説を加える。

表 69　JJ:{結論}場面別の出現数(動詞：(副詞+)動詞+可能+否定形(+モダリティ形式)(+接続助詞) (+終助詞))

副詞	動詞	可能	否定形	モダリティ形式	接続助詞	終助詞	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計
(1)辞書形+ことができない							**10**	**3**	**1**	**1**	**0**	**3**	**0**	**5**	**23**
	準備に行く	ことができ	ません				3								**3**
	行く	ことができ	ません				2			1					**3**
	準備を手伝う	ことができ	ないです				1								**1**
	手伝う	ことができ	ません				4	3				1		2	**10**
	手伝う	ことができ	ないんです									2		1	**3**
	本を返す	ことができ	ません						1						**1**
	見る	ことができ	ないです											1	**1**
	(依頼に)応じる	ことができ	ません											1	**1**
(2)辞書形+ことができない+モダリティ形式													**1**		**1**
	手伝う	ことができ	ない	かも									1		**1**
(3)辞書形+ことができない+接続助詞							**1**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**1**
	手伝いに行く	ことができ	ないです		が		1								**1**
(4)辞書形+ことができない+終助詞							**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**1**	**0**	**1**
	見る	ことができ	ない			よ							1		**1**
(5)可能形の否定形							**23**	**35**	**13**	**22**	**7**	**15**	**7**	**12**	**134**
	手伝いに行け		ません				4	4							**8**
	(本を)返しに行け		ません						1	4					**5**
	(本を)返しに行け		ないんです						2						**2**
	行け		ません				3	8	2	6		1			**20**
	行け		ないです				9	12	6	7					**34**
	行け		ないんです				2		1						**3**
	手伝ってあげられ		ない										4		**4**
	手伝え		ません					3				3			**6**
	手伝え		ない										1	2	**3**

①－場面 1(親・目上・重)　②－場面 2(疎・目上・重)　③－場面 3(親・目上・軽)　④－場面 4(疎・目上・軽)
⑤－場面 5(親・同等・重)　⑥－場面 6(疎・同等・重)　⑦－場面 7(親・同等・軽)　⑧－場面 8(疎・同等・軽)

副詞	動詞	可能	否定形	モダリティ形式	接続助詞	終助詞	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計
	*手伝え		へん								4				**4**
	準備に参加でき		ません				1	3							**4**
	参加でき		ません					1							**1**
	参加でき		ないです				1								**1**
	協力でき		ません									1			**1**
	協力でき		ないんです									1		1	**2**
	チェックでき		ないです											1	**1**
	でき		ません				1			2		2		4	**9**
	でき		ない									1	1	1	**3**
	でき		ないです				1	1	1	2	2	1		1	**9**
	でき		ないんです					1		1		1		2	**5**
	でけ		へん								1	1			**2**
	依頼に応じられ		ないです									1			**1**
	依頼に応じられ		ない										1		**1**
	力になれ		ません				1					1			**2**
	お役に立て		ません									1			**1**
(6)可能形の否定形+モダリティ形式							**9**	**1**	**8**	**1**	**3**	**0**	**9**	**1**	**32**
	返しに行け		ない	かもしれません					1						**1**
	手伝いに行け		なさ	そうです			1								**1**
	手伝いに行け		ない	かもしれません			2								**2**
	行け		なさ	そうです			3	1	2						**6**
	行け		ない	と思います					3	1					**4**
	行け		ない	かもしれません			2		2						**4**

①－場面 1(親・目上・重)　②－場面 2(疎・目上・重)　③－場面 3(親・目上・軽)　④－場面 4(疎・目上・軽)
⑤－場面 5(親・同等・重)　⑥－場面 6(疎・同等・重)　⑦－場面 7(親・同等・軽)　⑧－場面 8(疎・同等・軽)

*下線部は方言の表現である。
(1)関西弁の可能の否定形は、①「可能の形」+へん、②「受け身の形」+へんである。
①「可能の形」+へん　　例：手伝えない（標準語）　　手伝えへん　（関西弁）
②「受け身の形」+へん　　例：手伝えない（標準語）　　手伝われへん（関西弁）大阪方面が使われる形式である。
(2)「できない」の場合は、「できひん」「でけへん」「できやん」である。
(3)終助詞の「な」は、共通語の「ね」、「や」「わ」は標準語の「よ」と同じように使う。
例：手伝えないよ（標準語）　手伝われへんわ（関西弁）、　できないよ（標準語）　　できひんわ（関西弁）

副詞	動詞	可能	否定形	モダリティ形式	接続助詞	終助詞	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計
	手伝え		ない	可能性があります			1								**1**
	手伝え		なさ	そう									2		**2**
	手伝え		ない	かも									4	1	**5**
	チェックでき		ない	かも									2		**2**
	力添えでき		ない	かも							1				**1**
	協力でき		ない	かも									1		**1**
	でき		ない	かも							1				**1**
	でき		やん	かも							1				**1**
(7)可能形の否定形+接続助詞							**23**	**35**	**13**	**23**	**7**	**15**	**7**	**12**	**135**
	行け		ないんです		が					1					**1**
(8)可能形の否定形+終助詞							**0**	**0**	**1**	**0**	**4**	**4**	**7**	**3**	**19**
	行け		へん			わ								1	**1**
	手伝え		ない			わ					2		3		**5**
	手伝え		ない			よ							1		**1**
	手伝え		へん			わ							1		**1**
	手伝われ		へん			わ						1		1	**2**
	でき		ないです			ね			1						**1**
	でき		ない			よ					1		1		**2**
	でき		ない			や						1	1		**2**
	でき		ひん			わ					1	1		1	**3**
	でけ		へん			わ						1			**1**
(9)副詞+可能形の否定形							**1**	**0**	**2**	**1**	**0**	**3**	**1**	**7**	**15**
ちょっと	行け		ないです						1	1					**2**
ほんまに	行け		ないんです				1								**1**
ちょっと	手伝え		ないです									2		4	**6**
ちょっと	手伝え		ない										1		**1**
ちょっと	でき		ません											1	**1**
ちょっと	でき		ないんです						1			1		2	**4**

①－場面 1(親・目上・重)　②－場面 2(疎・目上・重)　③－場面 3(親・目上・軽)　④－場面 4(疎・目上・軽)
⑤－場面 5(親・同等・重)　⑥－場面 6(疎・同等・重)　⑦－場面 7(親・同等・軽)　⑧－場面 8(疎・同等・軽)

(4) 関西弁の「ほんまに」は、標準語の「本当に」である。

副詞	動詞	可能	否定形	モダリティ形式	接続助詞	終助詞	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計
(10)副詞+可能形の否定形+終助詞							**0**	**0**	**0**	**0**	**2**	**0**	**0**	**0**	**2**
全然	でき		ない			よ					1				**1**
ちょっと	でき		ない			な					1				**1**
(11)謙譲語の辞書形+ことができない							**1**	**1**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**2**
	お手伝いする	ことができ	ません				1	1							**2**
(12)謙譲語の可能形+かねます							**1**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**1**
	お手伝い	でき	かねます				1								**1**
(13)謙譲語の可能形の否定形							**7**	**1**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**8**
	お手伝いでき		ません				3	1							**4**
	お手伝いでき		ないです				2								**2**
	お力添えでき		ません				2								**2**
(14)謙譲語の可能形の否定形+接続助詞							**0**	**0**	**0**	**1**	**0**	**0**	**0**	**0**	**1**
	お力添えでき		ないのです		が					1					**1**

①－場面 1(親・目上・重)　②－場面 2(疎・目上・重)　③－場面 3(親・目上・軽)　④－場面 4(疎・目上・軽)
⑤－場面 5(親・同等・重)　⑥－場面 6(疎・同等・重)　⑦－場面 7(親・同等・軽)　⑧－場面 8(疎・同等・軽)

表 70　JJ:{結論}場面別の出現数(動詞：(副詞+)動詞+可能+モダリティ形式+否定形+(終助詞))

副詞	動詞	可能	モダリティ形式	否定形	終助詞	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計
(15)辞書形+ことができそうにない						**1**	**0**	**1**	**0**	**0**	**0**	**1**	**0**	**3**
	返しに行く	ことができ	そうに	ないです				1						**1**
	手伝う	ことができ	そうに	ないです		1						1		**2**
(16)可能形+そうにない						**14**	**8**	**8**	**1**	**1**	**2**	**1**	**2**	**37**
	手伝いに行け		そうに	ないです		8	3							**11**
	準備に行け		そうに	ないです		1								**1**
	返しに行け		そうに	ないです				3						**3**
	行け		そうに	ないです		3	3	5	1					**12**
	手伝え		そうに	ありません			1							**1**
	手伝え		そうに	ないです		1				1	1	1	1	**5**
	準備に参加でき		そうに	ないです		1								**1**
	参加でき		そうに	ないです			1							**1**
	協力でき		そうに	ないです							1		1	**2**
(17)可能形+そうにない+終助詞												**1**		**1**
	そのお願いは聞け		そうに	ない	かな							1		**1**
(18)副詞+可能形+そうにない						**0**	**1**	**1**					**2**	**4**
ちょっと	行け		そうに	ないです			1	1						**2**
ちょっと	チェックでき		そうに	ないです									1	**1**
ちょっと	でき		そうに	ないです									1	**1**
(19)謙譲語の可能形の辞書形+そうにない						**1**	**1**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**1**	**3**
	お手伝いでき		そうに	ないです		1	1						1	**3**

①－場面 1(親・目上・重)　②－場面 2(疎・目上・重)　③－場面 3(親・目上・軽)　④－場面 4(疎・目上・軽)
⑤－場面 5(親・同等・重)　⑥－場面 6(疎・同等・重)　⑦－場面 7(親・同等・軽)　⑧－場面 8(疎・同等・軽)

表 71　JJ:{結論}場面別の出現数(動詞：断りを表す意味の動詞)

断りを表す意味の動詞	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計
(20)断りを表す意味の動詞	**3**	**3**	**0**	**0**	**0**	**1**	**0**	**0**	**7**
お断りします	1	1				1			**3**
断らせていただきます	1	1							**2**
今回は控えさせていただけませんか	1								**1**
今回は控えさせていただけないでしょうか		1							**1**

表 72　JJ:{結論}場面別の出現数(形容詞)

副詞	形容詞	モダリティ形式	接続助詞	終助詞	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計
(21)イ・ナ形容詞					**6**	**7**	**7**	**7**	**7**	**2**	**6**	**0**	**42**
	大変です						2						2
	きついです							1					1
	厳しい								1				1
	厳しいです				4	6	2	5					17
	難しい									2			7
	難しいです				2		3						5
	無理								4		1		5
	無理っぽい										1		1
	無理や								2		4		6
	無理やねん					1							1
	無理なんです							1					1

①－場面 1(親・目上・重)　②－場面 2(疎・目上・重)　③－場面 3(親・目上・軽)　④－場面 4(疎・目上・軽)
⑤－場面 5(親・同等・重)　⑥－場面 6(疎・同等・重)　⑦－場面 7(親・同等・軽)　⑧－場面 8(疎・同等・軽)

(5)標準語の文末表現「～だ」「～のだ」は関西弁では「～や」「～やねん」になる。

例）：無理だ（標準語）　無理や（関西弁）、無理なのだ（標準語）　無理やねん（関西弁）

副詞	形容詞	モダリティ形式	接続助詞	終助詞	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計
(22)イ・ナ形容詞+接続助詞					**7**	**6**	**6**	**8**	**1**	**1**	**0**	**3**	**32**
	難しいです		けど					1					1
	無理です		けど		7	6	6	7	1	1		3	31
(23)イ・ナ形容詞+終助詞					**0**	**1**	**0**	**0**	**3**	**0**	**0**	**0**	**4**
	きつい			なあ					1				1
	厳しい			かな					1				1
	厳しいんだ			よね					1				1
	厳しいです			ね		1							1
(24)イ・ナ形容詞+モダリティ形式					**2**	**1**	**2**	**2**	**0**	**1**	**3**	**1**	**12**
	厳しい	かも					2						2
	難し	そうです				1							1
	難しい	と思います			1								1
	難しい	かも									1		1
	無理	かも										1	1
	無理	そう									2		2
	無理	そうです			1			2		1			4
(25)副詞+イ・ナ形容詞					**2**	**5**	**6**	**9**	**4**	**3**	**1**	**7**	**37**
ちょっと	きついです						1						1
ちょっと	厳しい					2				2			4
ちょっと	厳しいです								1			1	2
少し	厳しいです						1	1					2
ちょっと	難しい									1	1		2
ちょっと	難しいです				2	2		4				2	10
少し	難しいです						1						1
ちょっと	無理								3				3
ちょっと	無理です					1	3	4				4	12

①－場面 1(親・目上・重)　②－場面 2(疎・目上・重)　③－場面 3(親・目上・軽)　④－場面 4(疎・目上・軽)
⑤－場面 5(親・同等・重)　⑥－場面 6(疎・同等・重)　⑦－場面 7(親・同等・軽)　⑧－場面 8(疎・同等・軽)

副詞	形容詞	モダリティ形式	接続助詞	終助詞	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計
(26)副詞+イ・ナ形容詞+終助詞					**2**	**1**	**3**	**0**	**8**	**4**	**3**	**4**	**25**
ちょっと	きついです			ね	1								1
ちょっと	きついです			よね								1	1
ちょっと	きつい			わ						2	1		3
少し	きつい			なあ					1				1
ちょっと	厳しい			かな			1		1	1			3
ちょっと	厳しい			わ					1	1			2
ちょっと	厳しい			よね							1		1
ちょっと	厳しいです			ね	1	1							2
ちょっと	難しい			かな			1						1
ちょっと	無理			かな					2		1	1	4
ちょっと	無理や			わ					2				2
ちょっと	無理だ			なあ					1				1
ちょっと	無理です			ね			1					1	2
どうしても	無理や			わ								1	1
(27)副詞+イ・ナ形容詞+モダリティ形式					**0**	**2**	**4**	**2**	**0**	**0**	**0**	**0**	**8**
ちょっと	厳しい	と思います					1						1
ちょっと	難しい	かも					1						1
ちょっと	無理	そうです				1	1	2					4
少し	無理	そうです				1	1						2
(28)副詞+イ・ナ形容詞+モダリティ形式+終助詞					**0**	**0**	**0**	**1**	**0**	**0**	**0**	**0**	**1**
ちょっと	厳し	そうです		ね				1					1

①－場面 1(親・目上・重)　②－場面 2(疎・目上・重)　③－場面 3(親・目上・軽)　④－場面 4(疎・目上・軽)
⑤－場面 5(親・同等・重)　⑥－場面 6(疎・同等・重)　⑦－場面 7(親・同等・軽)　⑧－場面 8(疎・同等・軽)

副詞	形容詞	モダリティ形式	接続助詞	終助詞	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計
(29)副詞+イ・ナ形容詞+接続助詞					**3**	**6**	**1**	**5**	**1**	**7**	**1**	**5**	**29**
ちょっと	きついです		けど			2		1		1			4
ちょっと	きついんです		けど			1		2		1		1	5
ちょっと	厳しいんです		けど		1			1		2		1	5
ちょっと	難しいんです		けど			1	1		1		1		4
ちょっと	難しいんです		が		2			1		2		1	6
ちょっと	無理なんです		が			2				1		2	5

①－場面 1(親・目上・重)　②－場面 2(疎・目上・重)　③－場面 3(親・目上・軽)　④－場面 4(疎・目上・軽)
⑤－場面 5(親・同等・重)　⑥－場面 6(疎・同等・重)　⑦－場面 7(親・同等・軽)　⑧－場面 8(疎・同等・軽)

表 73　場面別の出現数(言いさし)

言いさし	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計
言いさし	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**1**	**0**	**0**	**1**
今回はちょっと						1			1

以上で見てきた日本語母語話者の{結論}の言語形式の特徴を以下の表にまとめる。

表 74　JJ:{結論}の言語形式の特徴のまとめ

副詞	①不可能のことを強調する副詞：「全然」、「どうしても」、関西弁「ほんまに」(本当に)。 それらの副詞は動詞か形容詞の前に付けられる。
	②語気を軽減するする副詞：「ちょっと」、「少し」である。「ちょっと」は動詞か形容詞の前に、「少し」は形容詞の前に付けられる。
動詞	①具体的な動作を表す動詞は：「準備に行く」「手伝いに行く」「準備を手伝う」「手伝ってあげられる」「行く」「本を返す」「見る」「チェックする」「する」
	②手伝いの意味を表す動詞：「力添えする」「役に立つ」「力になる」
	③断りの意味を表す動詞：「断る」「控える」 言語形式は動詞の謙譲語+「～させていただきます/ませんか」が使われている。 例：「お断りします」「控えさせていただきます」「控えさせていただけませんか」である。
	④依頼を受け入れることを表す動詞：「依頼に応じる」「お願いを聞く」
形容詞	①イ形容詞「きつい」「難しい」「厳しい」 ②ナ形容詞「大変だ」「無理だ」 同等と会話する場合によっては「だ」が省略されることもある。 ③ナ形容詞+っぽい「無理っぽい」
可能	①「動詞+ことができ」 例：行くことができ、目上や親しくない同等に対してよく使われる。
	②「動詞の可能形」 例：参加でき、上下関係、親疎関係を問わず頻繁に使われる。
否定形	①目上や親しくない同等と会話する場合：「～ません」「～ないです」「～ないのです」「～ないんです」「動詞の連用形+かねます」 特に、「～ないです」は目上・同等にかかわらず多く使われている。
	②同等と会話する場合は：「ない」、関西弁「へん」「ひん」「やん」
モダリティ形式	①動詞の辞書形の否定形+「～かも」「～かもしれない」「～かもしれません」「～可能性があります」「～と思います」「～そうです」
	②動詞の連用形+「～そうにない」「～そうにないです」「～そうにありません」
接続助詞	①動詞の可能形の否定形+「～ですが」「～のですが」「～んですが」「～ですけど」「～んですけど」
	②イ・ナ形容詞+「～ですが」「～のですが」「～んですが」「～ですけど」「～んですけど」
終助詞	終助詞は、同等からの依頼に対する断りの場面にしか使われない。 ①断定を表す終助詞：「よ」「ね」「な」「なー」 関西弁「わ」「や」「やわ」「やな」
	②語気を軽減する終助詞：「かな」
言いさし	「名詞+は+ちょっと」 例：今回はちょっと

また、場面ごとの出現数を考察したことにより、親疎関係と依頼の負担度による言語形式の使い分けが明確に見られなかったが、日本語母語話者は目上か同等かによって{結論}の言語形式の使い分けが見られる。その特徴を表 75 にまとめる。表に記載の言語形式は、目上か同等かによってはっきりと使い分けられるもののみである。

表 75　目上・同等による言語形式の使い分け

相手	言語形式	特徴のまとめ
目上	(1)辞書形+ことができない 例:「依頼に応じることができません」 (11)謙譲語の辞書形+ことができない 例:「お手伝いにすることができません」 (12)謙譲語の可能形+かねます 例:「お手伝いできかねます」 (13)謙譲語の可能形の否定形 例:「お手伝いできません」 (15)辞書形+ことができそうにない 例:「手伝うことができそうにないです」 (16)可能形+そうにない 例:「手伝えそうにないです」 (18)副詞+可能形+そうにない 例:「ちょっと行けそうにないです」 (19)謙譲語の可能形の辞書形+そうにない 例:「お手伝いできそうにないです」 (20)断りを表す意味の動詞 例:「断らせていただきます」	目上に対して多く使われている言語形式は以下のようにまとめられる。 ①「動詞の辞書形+ことができない」 ②「動詞+かねます」 ③「動詞+そうにない」 ④　謙譲語 ⑤　断りを表す意味の動詞 ⑥　終助詞がほとんど使われない。
同等	(8)可能形の否定形+終助詞 例:「できないですね」 (22)イ・ナ形容詞+終助詞 例:「厳しいですね」 (26)副詞+イ・ナ形容詞+終助詞 例:「ちょっと無理やわ」	同等に対して使われている言語形式は以下のようにまとめられる。 ①可能形の否定形が頻繁に使われている。 ②標準語の終助詞と方言の終助詞が多く使われていることが特徴である。

なお、今回は DCT でデータを収集したため、{結論}については、実際の言語使用と異なっている可能性がある。今後は発話データを収集するなどして、さらに分析する必要がある。

7.1.2{結論}：タイ語母語話者

タイ語は動詞の活用がない言語である。断りの際、形容詞を用いることができず、動詞しか使えない。意味と動詞の性質によって動詞が 3 つのグループに分類される。それぞれの動詞の出現率を以下の表 76 に示す。

表 76　TT:{結論}動詞別の出現数と出現率のまとめ

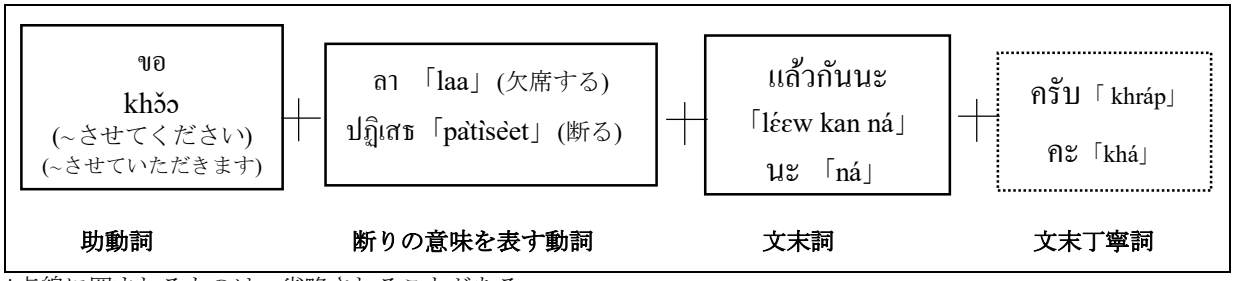
動詞	出現数(回)	出現率
断りの意味を表す動詞	2	1.1%
動作動詞	84	47.7%
状態動詞	90	51.2%
合計	**176**	**100%**

結果は、ポイントの高い順に、状態動詞が 51.2%、動作動詞が 47.7%、断りの意味を表す動詞が 1.1%である。

次に、それぞれの動詞は断りの際に共起する表現が異なるので、以下で詳しく説明する。

①断りの意味を表す動詞

断りの表現のパターンは以下の通りである。



*点線に囲まれるものは、省略されることがある。

断りの意味を表す動詞のパターンは「助動詞+ 断りの意味を表す動詞+文末詞+文末丁寧詞」である。この断りのパターンは丁寧である一方、強く聞こえるという性質を持つ。目上・親しくない同等に対して使われる。

1)助動詞：ขอ「khɔɔ」(～させてください、～させていただきます)は相手に、許可をもらいたい時や、相手の依頼や誘いに応じられないという意思表示を伝える時にも、使われるものである。発話の際に、丁寧さを付加するため、動詞の前に ขอ「khɔɔ」をつける。

2) 断りの意味を表す動詞：ลา 「laa」(欠席する、控える)、ปฏิเสธ「patìsèet」(断る) が使われている。それらの動詞は、依頼に応じられないことが強く伝わるものである。

3)文末詞：แล้วกันนะ 「lɛ́ɛw kan ná」、นะ「ná」は、聞き手の依頼や条件や提案などに対して、話し手が決めたことを相手に伝える。「そうしましょう」「ね」という意味の文末詞である。

4)文末丁寧詞：ครับ「 khráp」คะ「khá」は、目上、親しくない人、公式の場面において使われる。「 khráp」は男性用、「khá」は女性用言葉である。友人同士と会話する場合は、省略されることがある。

回答は以下の通りである。なお、括弧の中の和訳は、タイ語から直訳したものである。

回答例：**ขอลานะคะ** 「欠席させていただきます」

ขอ(khɔɔ ～させていただきます)、 ลา(laa 欠席する)、 นะ(ná文末詞)、คะ(khá文末丁寧詞)

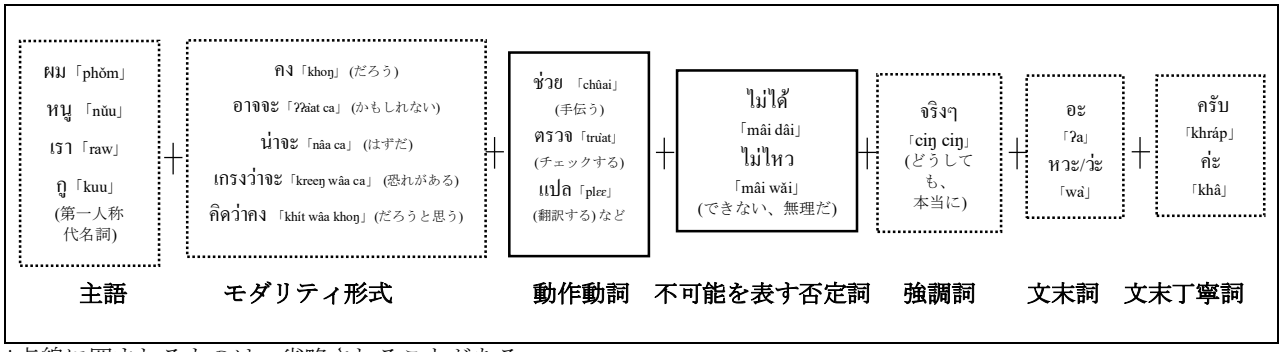
回答例：**ขอปฏิเสธแล้วกันนะ** 「断らせてください」

ขอ(khɔɔ～させてください)、ปฏิเสธ (patìsèet 断る)、แล้วกันนะ(léɛw kan ná ね)

②動作動詞

断りの表現のパターンは 2 つに分類した。

2.1「主語+モダリティ形式+動作動詞+不可能を表す否定詞+強調詞+文末詞+文末丁寧詞」(否定詞が動詞に後続する)



*点線に囲まれるものは、省略されることがある。

1)主語：ผม「phŏm」(私(男性))、หนู「nŭu」(私(女性)) は目上に対して、เรา「raw」(私、私たち)は、親疎関係に関わらず同等に対して、กู「kuu」(私 (男性、女性))は親しい同等のみに対して使われる第一人称代名詞である。親疎関係と上下関係によって言葉が使い分けられる。

2)モダリティ形式：不可能を非断定化し、語気を軽減するためのものである。助動詞として動詞の前に付く。不可能なことを断定的に言う場合は、省略されることができる。

3)動作動詞：ช่วย 「chûai」(手伝う)、มาช่วย「maa chûai」(手伝いに来る)、ไปช่วย「pai chûai」(手伝いに行く)、ตรวจ「trùat」(チェックする)、ตรวจให้「trùat hâi」(チェックしてあげる)、แปล「plɛɛ」(翻訳する)、แปลให้「plɛɛ hâi」(翻訳してあげる)が使われている。

4)不可能を表す否定詞：ไม่ได้「mâi dâai」、ไม่ไหว「mâi wăi」が使われている。「mâi dâai」は「できない、無理だ」という意味である。一方、「mâi wăi」は「頼まれた量が多すぎたり、難しすぎたり、体力的、能力的に対応できない」という意味である。)

5)強調詞： จริงๆ 「ciŋ ciŋ」 (どうしても、本当に)は不可能を強調する言葉である。

6)文末詞：อะ「ʔa」、หวะ/ว่ะ「wà」は依頼に応じられないことに対して残念な気持ちを表し、同等に多く使われている。なお、หวะ/ว่ะ「wà」は男性が親しい同等に対して使っている。

7)文末丁寧詞：ครับ「 khráp」(男性用言葉)、ค่ะ「khâ」(女性用言葉)

回答例：**กูช่วยไม่ได้จริงๆหวะ**「俺は行けないかもしれません」

กู (kuu 俺(友人同士に対して使われる))、ช่วย(chûai 手伝う)、
ไม่ได้(mâi dâi 不可能を表す否定詞) จริงๆ (ciŋ ciŋ 誠に、本当に)、หวะ(wa̰ 文末詞)

回答例：**ผมคงไปไม่ได้ครับ**「私は行けないだろう」

ผม(phŏm 私(男性))、คง(khoŋ だろう)、ไป(pai 行く)、ไม่ได้(mâi dâi 不可能を表す否定詞)
ครับ(khráp 男性の文末丁寧詞)

回答例：**อาจจะช่วยตรวจให้ไม่ได้**「チェックしてあげられないかもしれない」

อาจจะ (ʔa̰at ca かもしれない)、 ช่วยตรวจให้(chûai trùat hâi チェックしてあげる)、
ไม่ได้(mâi dâai できない、無理だ)

回答例： **น่าจะช่วยไม่ได้อะ**「手伝えないはずだ」

น่าจะ(nâa ca はずだ)、ช่วย(chûai 手伝う)、ไม่ได้(mâi dâi 不可能を表す否定詞)、 อะ(ʔa 文末詞)

回答例： **เกรงว่าจะมาช่วยงานไม่ได้**「手伝いに来られない恐れがあります」

เกรงว่าจะ(kreeŋ wâa ca 恐れがある)、มาช่วยงาน((maa chûai ŋaan 手伝いに来る)、
ไม่ได้(mâi dâi 不可能を表す否定詞)

回答例： **ผมคิดว่าคงไปไม่ได้ครับ**「私は行けないだろうと思う」

ผม(phŏm 私(男性))、คิดว่าคง(khít wâa khoŋ だろうと思う)、ไป(pai 行く)、
ไม่ได้(mâi dâi 不可能を表す否定詞)、ครับ(khráp 男性の文末丁寧詞)

会話の文脈が明確である場合は、主語と動作動詞が省略されることがある。以下の回答例においては、「チェックすること」が省略される。

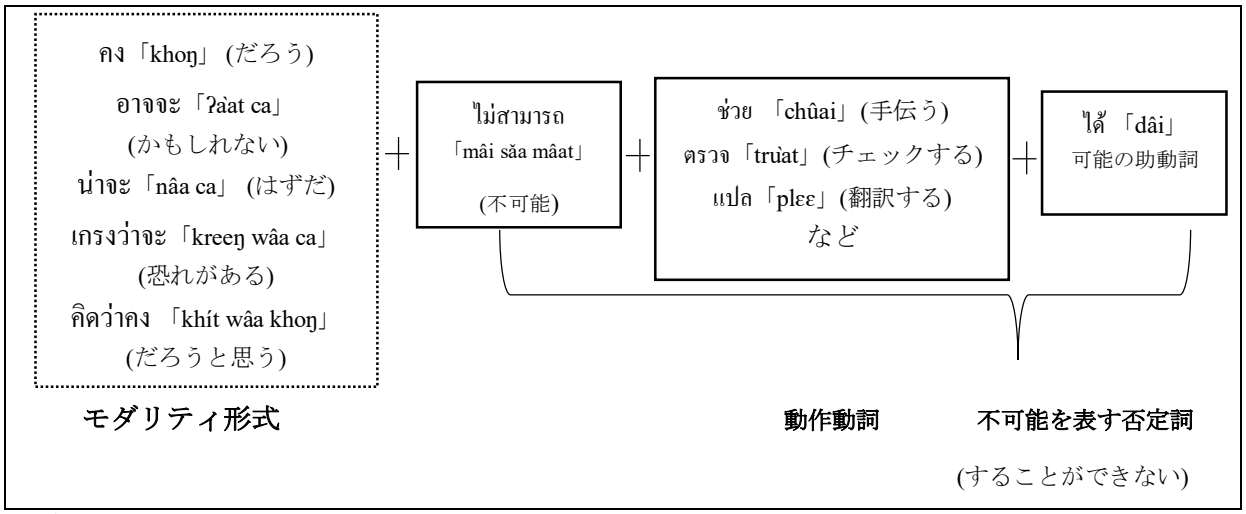
回答例：**วันนี้คงไม่ได้ว่ะ**「今日は無理だろう」

วันนี้(wan níi 今日)、คง(khoŋ だろう)、ไม่ได้(mâi dâai)、ว่ะ(wa̰ 文末詞)

回答例：**3,4 หน้าไม่ไหว**「3-4 枚は無理だ」

3,4 หน้า(săam sìi nâa 3,4 枚)、ไม่ไหว(mâi wăi 無理(体力的、能力的に対応できない))

2.2「モダリティ形式+動作動詞+不可能を表す否定詞」(動詞が否定詞の間にある)



*点線に囲まれるものは、省略されることがある。

このパターンは、不可能を表す否定詞 ไม่สามารถ...ได้「mâi săa mâat… dâi」(～することができない)が使われている。「mâi săa mâat」と「dâi」の間には、動作動詞が入る。パターン 2.1 に比べて、このパターンのほうが、フォーマルな表現なので、書き言葉としても使われている。

回答例：**ไม่สามารถมาช่วยได้**「手伝いに来ることができません」

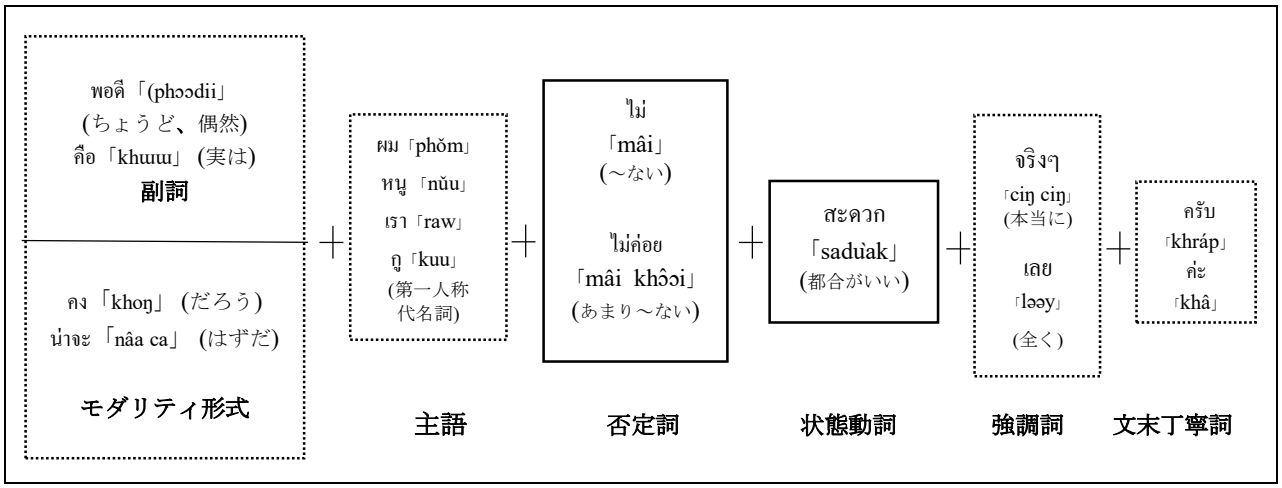
ไม่สามารถ...ได้(mâi săa mâat… dâi することができない)、มาช่วย(maa chûai 手伝いに来る)

回答例：**คงไม่สามารถมาช่วยได้**「手伝いに来ることができないだろう」

คง(khoŋ だろう)、ไม่สามารถ...ได้(mâi săa mâat… dâi することができない)、
มาช่วย(maa chûai 手伝いに来る)

③状態動詞

断りのパターンは以下の通りである。



*点線に囲まれるものは、省略されることがある。

断りの意味を表す動詞の断りのパターンは「(副詞)(モダリティ形式)+ 主語+否定詞+状態動詞+強調詞+文末丁寧詞」である。このパターンは、状態に焦点を当てる。発話の際、副詞かモダリティ形式かいずれかを一つ選ぶか、あるいはこれらを省略することもできる。いずれも、語気を軽減するものである。

1)副詞：พอดี 「(phɔɔdii」(ちょうど、偶然)は理由を説明する時に使われる副詞で、文頭に付く。副詞が付くことにより、断りがより柔らかく聞こえる。คือ 「khɯɯ」(実は)は依頼や申し出に対する断り、言い訳、反対意見、意見主張の前置きとしての機能を果たしている。

偶然にやむを得ない出来事が起こったのだから仕方がないというニュアンスを内在している。

2)モダリティ形式：คง「khoŋ」 (だろう) 、น่าจะ「nâa ca」(はずだ)は語気を軽減する機能を果たしている。モダリティ形式は คง「khoŋ」、น่าจะ「nâa ca」以外の表現には、อาจจะ「ʔàat ca」(かもしれない)、เกรงว่าจะ「kreeŋ wâa ca」(恐れがある)、คิดว่าคง 「khít wâa khoŋ」(だろうと思う)もある。動作動詞の場合は、すべてのものが使えるが、状態動詞の場合に用いられる助動詞は、「khoŋ」「nâa ca」2 つの助動詞に限られる。発話の際、副詞か助動詞かいずれか一つを選ばなければならない。

3)主語：ผม「phŏm」(私(男性))、หนู「nŭu」(私(女性)) は目上に対して、เรา「phŏm」(私、私たち)は、親疎関係に関わらず同等に対して、กู「kuu」(私、俺 (男性、女性))は親しい同等のみに対して使われる第一人称代名詞である。話し手との親疎関係と上下関係によって言葉が使い分けられる。

4)否定詞：ไม่「mâi」(ない)は否定の接頭詞である。**ไม่ค่อย**「mâi khɔ̂ɔi」(あまり～ない)は語気を軽減する否定詞は **ไม่ค่อย**「mâi khɔ̂ɔi」(あまり～ない)である。

5)状態動詞：สะดวก 「sadùak」(都合がいい)

6)強調詞： จริงๆ 「ciŋ ciŋ」 (本当に)、เลย 「ləəy」 (全く)は不可能を強調する言葉である。

7)文末丁寧詞：ครับ「 khráp」(男性用言葉)、ค่ะ「khâ」(女性用言葉)

回答は以下の通りである。なお、括弧の中の和訳は、タイ語から直訳したものである。

回答例：**พอดีผมไม่สะดวก**　「私はちょうど都合が悪いです」

พอดี(phɔɔdii ちょうど)、 ผม(phŏm 私(男性))、ไม่(mâi 否定詞)、สะดวก(sadùak 都合がいい)

回答例：**คือหนูไม่สะดวกค่ะ** 「実は私は都合が悪いです」

คือ(khɯɯ 実は)、หนู(nŭu 私(女性))、ไม่(mâi 否定詞)、สะดวก(sadùak 都合がいい)、
ค่ะ(khâ 女性の文末丁寧詞)

回答例：**คือเราไม่สะดวกเลย**　実は私は全く都合が悪いです」

คือ(khɯɯ 実は)、เรา(raw 私)、ไม่(mâi 否定詞)、สะดวก(sadùak 都合がいい)、เลย (ləəy 全然)

回答例：**คงไม่สะดวกอะ** 「都合が悪いだろう」

คง(khoŋ だろう)、ไม่(mâi 否定詞)、สะดวก(sadùak 都合がいい) 、อะ(ʔa 文末詞)、

回答例：**น่าจะไม่สะดวก**「都合が悪いはずだ」

น่าจะ(nâa ca はずだ)、ไม่(mâi 否定詞)、สะดวก(sadùak 都合がいい)

回答例：**ไม่สะดวกครับ** 「都合が悪いです」

ไม่(mâi 否定詞)、สะดวก(sadùak 都合がいい)、ครับ(khráp 男性の文末丁寧詞)

回答例：**ไม่ค่อยสะดวกครับ** 「都合があまりよくないです」　ไม่ค่อย(mâi khɔ̂ɔi あまり～ない)、สะดวก(sadùak 都合がいい)、ครับ(khráp 男性の文末丁寧詞)

回答例：**ไม่สะดวกจริงๆค่ะ**「どうしても都合が悪いです」

ไม่(mâi 否定詞)、สะดวก (sadùak 都合がいい)、 จริงๆ(ciŋ ciŋ 本当に(強調詞)、
ค่ะ(khâ 女性の文末丁寧詞)

表 77　TT:{結論}場面別の出現数と出現率

{結論}			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計
断りの意味を表す動詞			**1**					**1**			**2** (1.1%)
～させていただく	動詞	文末詞									
khɔ̌ɔ	laa (失礼する)	ná	1								1
khɔ̌ɔ	pàtìsèet (断る)	lɛ́ɛw kan ná						1			1
動作動詞			**9**	**20**	**1**	**6**	**10**	**7**	**19**	**12**	**84** (47.7%)
モダリティ形式	**動詞**	**否定詞**	**6**	**8**	**1**	**2**	**10**	**7**	**19**	**12**	**65** (36.9%)
khoŋ (だろう)	maa chûai (手伝いに来る) chûai (手伝う) truàt hâi (チェックしてあげる) plɛɛ hâi (翻訳してあげる)	mâi dâai	2	7	0	2	4	4	10	11	40
ʔàat ca (かもしれない)				1					1	1	3
nâa ca (はずだ)			1								1
kreeŋ wâa ca (恐れがある)			1								1
khít wâa khoŋ (だろうと思う)			2								2
	*動詞が省略される	mâi dâai			1		5	3	7		16
		mâi wǎi					1		1		2
不可能	**動詞**	**可能の助動詞**	**3**	**12**		**4**					**19** (10.8%)
mâi sǎa mâat	maa chûai (手伝いに来る) chûai (手伝う)	dâi	3	12		4					19
状態動詞			**6**	**25**	**8**	**33**		**9**	**3**	**6**	**90** (51.2%)
モダリティ形式副詞	**否定詞**	**動詞**									
khoŋ (だろう)	mâi	sadùak (都合がいい)		1		2		6			9
nâa ca (はずだ)	mâi				1						1
(phɔɔdii (ちょうど)	mâi		1								1
khuuu (実は)	mâi		2	1		1					4
	mâi		3	23	7	29		2	3	6	73
		mâi khɔ̂ɔi				1		1			2
合計			**16**	**45**	**9**	**39**	**10**	**17**	**22**	**18**	**176** (100%)

①－場面 1(親･目上･重)　②－場面 2(疎･目上･重)　③－場面 3(親･目上･軽)　④－場面 4(疎･目上･軽)

⑤－場面 5(親･同等･重)　⑥－場面 6(疎･同等･重)　⑦－場面 7(親･同等･軽)　⑧－場面 8(疎･同等･軽)

表 77 示すように、言語形式の特徴を以下の 6 点にまとめる。

(1) 全体的な傾向を見ると、タイ語母語話者は状態動詞(51.2%)、および動作動詞(47.7%)の双方をよく使用する傾向が見られる。動作動詞の場合は、否定詞が動詞に後続するパターン(36.9%)が多く用いられている。

(2) 最も出現数が高いパターンは、ไม่สะดวก(mâi saduàk　都合が悪い)(73 回)、続いて、คง ...ไม่ได้(khoŋ… mâi dâai できないだろう) (40 回)である。

(3) 動作動詞は、否定詞が動詞に後続するパターン(動詞+否定詞 mâi dâai)が目上・同等を問わず多く使われているのに対して、動詞が省略されるパターンは同等に、動詞が否定詞の間にあるパターン(mâi săa mâat… dâi)は目上に対して使われる傾向が見られる。

(4) 状態動詞は、目上か同等かを問わず、多く使われている。

(5) 断りの意味を表す動詞はほとんど使われず(1.1%)、目上と、親しくない同等からの場面にしか出現しない。

(6) モダリティ形式のうち、คง(khoŋ だろう)が最も頻繁に使われている。

7.2{行動指示}

{行動指示}の意味公式は言語形式のみを分析した。

7.2.1{行動指示}：日本語母語話者

{行動指示}を動詞の活用形によって、「テ形」「意向形」「命令形」「テ形+くれる」「否定形+義務の表現」の 5 つのグループに分類した。場面別の出現数と出現率を以下の表に示す。

表 78　JJ：{行動指示}場面別の出現数と出現率

{行動指示}	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計
テ形	**0**	**0**	**0**	**0**	**4**	**1**	**0**	**0**	**5 (33.3%)**
自分で頑張ってね					2	1			**3**
自分の力で頑張って					1				**1**
自分でやって					1				**1**
意向形	**0**	**0**	**0**	**0**	**2**	**0**	**0**	**2**	**4 (26.7%)**
自分の課題は自分でやろう					2				**2**
自分で頑張ろう								1	**1**
自分で頑張りましょう								1	**1**
命令形	**0**	**0**	**0**	**0**	**1**	**0**	**0**	**0**	**1 (6.7%)**
自分の課題やねんから、自分でやれ (自分の課題なんだから、自分でやれ)					1				**1**
テ形+くれる	**0**	**0**	**0**	**0**	**2**	**0**	**0**	**1**	**3 (20%)**
自分で頑張ってくれる？								1	**1**
自分で頑張ってくれ					1				**1**
自分で頑張ってください					1				**1**
否定形+義務の表現	**0**	**0**	**0**	**0**	**2**	**0**	**0**	**0**	**2 (13.3%)**
課題はなるべく自分の力でやらなあかんで (課題はなるべく自分の力でやらないとだめだよ)					1				**1**
自分でやらなあかんやろ (自分でやらないとだめだろ)					1				**1**
合計	**0**	**0**	**0**	**0**	**11**	**1**	**0**	**3**	**15 (100%)**

①－場面 1(親・目上・重)　②－場面 2(疎・目上・重)　③－場面 3(親・目上・軽)　④－場面 4(疎・目上・軽)

⑤－場面 5(親・同等・重)　⑥－場面 6(疎・同等・重)　⑦－場面 7(親・同等・軽)　⑧－場面 8(疎・同等・軽)

{行動指示}は同等からの依頼の場面に見られる意味公式である。この意味公式については、場面 5(親しい友達)における出現数が一番多い(11 回)。一方、場面 6-8 における出現数は少ない(0-3 回)。出現率の高い順に語形を並べると、「テ形」33.3%、「意向形」26.7%、「テ形+くれる」20%、「否定形+義務の表現」13.3%、「命令形」6.7%という順である。

言語形式ごとの特徴を以下の 5 点にまとめる。

(1) 「テ形」

親しい同等に対しての方が、親しくない同等に対してよりも多く使われている。親しくない同等に対する場合は、終助詞「ね」(例：自分で頑張ってね)が付けられる傾向が見られる。

(2) 「意向形」

親しい同等からの場面と、親しくない同等からの場面における出現数(2 回)は同程度である。

(3) 「命令形」

親しい同等からの場面にしか使われず、出現数は 1 回のみである。{行動指示}の前に、発話者が「自分の課題なんだから」と相手の依頼を非常識だと非難することにより、命令がより強く聞こえるという特徴がある。

(4) 「テ形+くれる」

親疎関係に関わらず用いられる。疑問文「～てくれる？」は親しくない同等に対して用いられる一方で、強い命令文「～てくれ」「～てください」は親しい同等に対して用いられる。

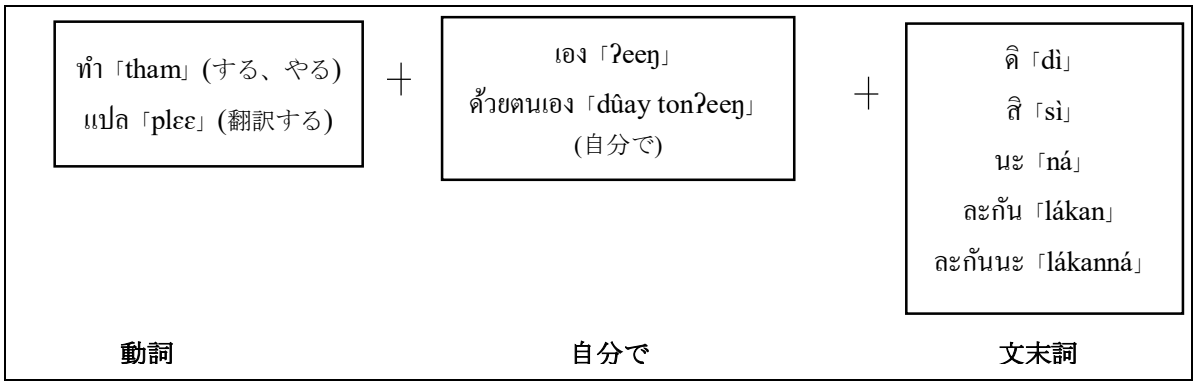
(5) 「否定形+義務の表現」

親しい同等に対して用いられる。命令が強く聞こえるように、義務の表現の後に「よ」、「やろ(だろ)」が付く。

7.2.2{行動指示}：タイ語母語話者

タイ語は動詞の活用形がないため、動詞と文末詞で命令の意味を表す。{行動指示}は試行を勧める表現の有無によって 2 つのパターンに分類される。

(1)試行を勧める表現がない命令文



タイ語の命令文の構造は、「動詞+自分で+文末詞」である。文末に ดิ「dì」、สิ「sì」, นะ「ná」、 ละกัน「lákan」、ละกันนะ「lákanná」が付加され、日本語の「ね」「そうしましょう」という意味である。「dí」「sí」は依頼されることに不満が含まれ、命令が強く聞こえる文末詞であり、親しい相手によく使われている。対照的に「ná」,「lákan」,「lákanná」が命令の強さを軽減し、柔らかく聞こえる文末詞である。以下は親しい同等(場面 5)からの依頼の場面の回答例である。

回答例：**แปลเองดิ**「自分で翻訳しろ」

แปล(plɛɛ 翻訳する)、เอง(ʔeeŋ 自分で)、ดิ(dì 文末詞)

回答例：**ทำเองสิ**「自分でやれ」

ทำ(tham やる)、เอง(ʔeeŋ 自分で)、สิ(sì 文末詞)

回答例：**ทำเองละกันนะ**「自分でやってね」

ทำ(tham やる)、เอง(ʔeeŋ 自分で)、ละกันนะ (lákanná 文末詞)

なお、動詞の前に主語がある場合もある。

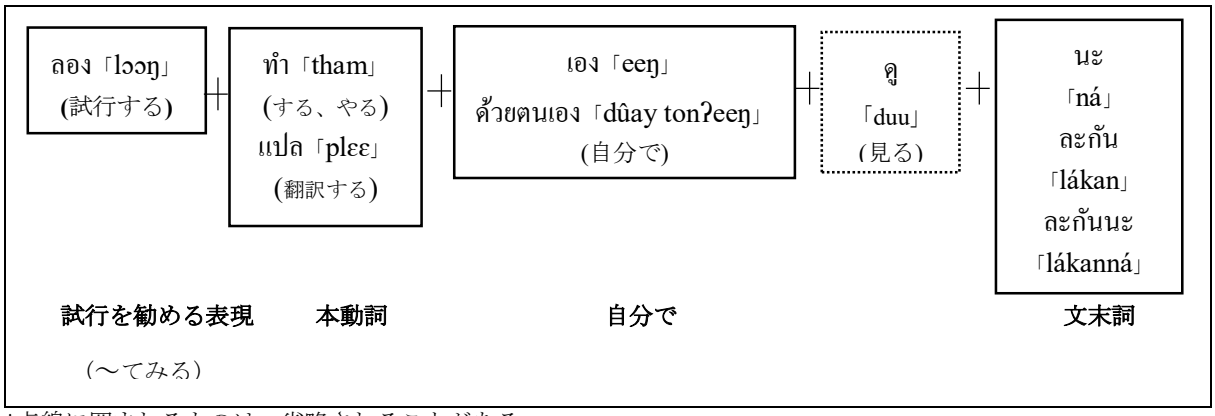
回答例：**มึงแปลเองนะ**「君が自分で翻訳してね」

มึง(mɯŋ 友人同士に対して使われる二人称代名詞)、แปล(plɛɛ 翻訳する)、เอง(ʔeeŋ 自分で)、นะ(ná 文末詞)

回答例：**มึงทำเองละกัน**「君が自分でやってね」

มึง(mɯŋ 友人同士に対して使われる二人称代名詞)、ทำ(tham やる)、เอง(ʔeeŋ 自分で)、ละกัน(lákan 文末詞)

(2)試行を勧める表現がある命令文



*点線に囲まれるものは、省略されることがある。

試行を勧める表現の構造は「lɔɔŋ」+本動詞+自分で+「duu」+文末詞」である。場合によっては、「duu」が省略されることがある。試行を勧める表現「lɔɔŋ duu」を使うことにより、命令の強さが軽減される。使われる文末詞は、「dì」「sì」ではなく、「ná」「lákan」「lákanná」である。以下は親しくない同等(場面 6,8)からの依頼の場面の回答例である。

回答例：**ลองทำด้วยตนเองละกัน**　「自分でやってみてね」

ลอง(lɔɔŋ 試行する)、ทำ(tham やる)、ด้วยตนเอง(dûay tonʔeeŋ 自分で)、ละกัน(lá kan　文末詞)

回答例：**ลองแปลเองนะ**「自分で翻訳してみてね」

ลอง(lɔɔŋ 試行する)、แปล(plɛɛ 翻訳する)、เอง(ʔeeŋ 自分で)、นะ(ná文末詞)

回答例：**ลองทำเองดูละกันนะ**「自分でやってみてね」

ลอง(lɔɔŋ 試行する)、ทำ(tham やる)、เอง(ʔeeŋ 自分で)、ดู(duu 見る)、ละกันนะ(lákanná　文末詞)

表 79　TT：{行動指示}場面別の出現数と出現率

{行動指示}	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計
試行を勧める表現がない命令文	0	0	0	0	**9**	**1**	**5**	0	**15 (78.9%)**
回答例 (มึง)แปล/ทำเองดิ (mɯŋ)plɛɛ/tham ʔeeŋ di) (お前/あなたが)自分で翻訳しろ (お前/あなたが)自分でやろ									
試行を勧める表現がある命令文	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**3**	**0**	**1**	**4 (21.1%)**
回答例 ลองทำเองดูนะ lɔɔŋ tham ʔeeŋ duu ná ลองทำด้วยตนเองละกัน lɔɔŋ tham dŭai tonʔeeŋ lákan 自分でやってみてね									
合計	**0**	**0**	**0**	**0**	**9**	**4**	**5**	**1**	**19 (100%)**

①－場面 1(親･目上･重)　②－場面 2(疎･目上･重)　③－場面 3(親･目上･軽)　④－場面 4(疎･目上･軽)

⑤－場面 5(親･同等･重)　⑥－場面 6(疎･同等･重)　⑦－場面 7(親･同等･軽)　⑧－場面 8(疎･同等･軽)

出現率を見ると、試行を勧める表現がない命令文が多く使われているが(78.9%)、親疎関係によって試行を勧める表現が現れる。ここでは、親しい同等(場面 5,7) に対しては試行を勧める表現がない命令文を、親しくない同等(場面 6,8) に対しては試行を勧める表現がある命令文を使用する傾向が分かった。また、TT の{行動指示}の特徴は、親しい相手に直接的に命令することと、親しくない相手に試行を勧める表現を使うことである。

7.3{理由}の言語形式の分析

7.3.1{理由(言語形式)}：日本語母語話者

7.3.1.1{理由(言語形式)}：[理由の内容](JJ)

本項では、[理由の内容]の言語形式を分析する。述語の品詞を基準として、動詞、形容詞、名詞の 3 つのグループに分類した。それぞれの出現数と出現率を表 80 にまとめる。

表 80 JJ:[理由の内容]品詞別の出現数と出現率のまとめ

動詞	出現数(回)	出現率
マス形	**88**	**15.0%**
(1)マス形	56	9.5%
(2)副詞+マス形	23	3.9%
(3)マス形+ので	7	1.2%
(4)副詞+マス形+ので	2	0.3%
辞書形	**243**	**41.3%**
(5)辞書形	2	0.3%
(6)辞書形+終助詞	2	0.3%
(7)辞書形+から	54	9.2%
(8)辞書形+ので	108	18.4%
(9)副詞+辞書形+ので	13	2.2%
(10)辞書形+んで	28	4.8%
(11)副詞+辞書形+んで	3	0.5%
(12)辞書形+んです	1	0.2%
(13)辞書形+んです+接続助詞	12	2.0%
(14)辞書形+んです+終助詞	5	0.9%
(15)辞書形+んだ	1	0.2%
(16)辞書形+んだ+接続助詞	1	0.2%
(17)辞書形+んだ+終助詞	3	0.5%
(18)辞書形+ん+終助詞	2	0.3%
(19)副詞+辞書形+んですけど	2	0.3%
(20)辞書形+ため	2	0.3%
(21)辞書形+けど	1	0.2%
(22)辞書形+方言	3	0.5%
マス形の否定形	**1**	**0.2%**
(23)マス形の否定形	1	0.2%
辞書形の否定形	**29**	**4.9%**
(24)副詞+可能動詞の否定形	2	0.3%
(25)可能動詞の否定形+終助詞	2	0.3%
(26)可能動詞の否定形+ので	1	0.2%
(27)義務の表現(方言も含む)	24	4.1%
タイ形	8	1.4**%**
(28)タイ形+から	8	1.4%
連用形	**3**	**0.5%**
(29)連用形	**1**	**0.2%**
(30)連用形+そうなんで	**1**	**0.2%**
(31)可能動詞の連用形+そうにないんだ	**1**	**0.2%**
テ形	**123**	**20.9%**
(32)テ形	111	18.9%
(33)副詞+テ形	12	2.0%
小計	**495**	**84.2%**

形容詞	出現数(回)	出現率
(34)形容詞	12	2.0%
(35)形容詞+終助詞	6	1.0%
(36)副詞+形容詞	8	1.4%
(37)副詞+形容詞+終助詞	2	0.3%
(38)形容詞+ので	16	2.7%
(39)副詞+形容詞+ので	1	0.2%
(40)形容詞のテ形	8	1.4%
(41)副詞+形容詞のテ形	3	0.5%
(42)形容詞+から	12	2.0%
(43)副詞+形容詞+から	4	0.7%
(44)形容詞+んだ	3	0.5%
(45)形容詞+んだ+終助詞	1	0.2%
(46)形容詞+方言	2	0.3%
小計	**78**	**13.3%**
名詞	**出現数(回)**	**出現率**
(47)名詞	2	0.3%
(48)名詞+なので	1	0.2%
(49)名詞+だから	5	0.9%
(50)名詞+のため	1	0.2%
(51)名詞+なんですけど	1	0.2%
(52)名詞+で	5	0.9%
小計	**15**	**2.6%**
合計	**588**	**100%**

結果を参照すると、最も多く使われている品詞は動詞(84.2%)である。そのうち、「辞書形」の出現率が最も高く、特に「辞書形+ので」の出現率が約 2 割(18.4%)を占めている。続いて、形容詞の出現率が二番目に高い(13.3%)。形容詞の中で最も出現率の高い形式は、「形容詞+ので」である(2.7%)。一方で、名詞の出現率は 2.6%にとどまった。詳細は以下の通りである。

①動詞

動詞は、活用形によって「マス形」「辞書形」「マス形の否定形」「辞書形の否定形」「タイ形」「連用形」「テ形」の 7 つの形式に分類される。以下においては、それぞれの形式について個別に論じていく。

1) 「マス形」の出現率は 15.0%である。また、「マス形」の出現率は全形式の中で最も高い。
2) 「辞書形」7 つの形式のうち、最も多用されているのは「辞書形」である (41.3%)。そのうち、「辞書形+ので」の出現率が最も高い(18.4%)。これには、「～んで」「～んだ」「～んです」などの様々なバリエーションが見られる。また、「辞書形+から」の出現率は二番目に高い(9.2%)が、逆に、「辞書形+ため」(0.3%)と「辞書形+けど」(0.2%)はほとんど使われていない。

3) 「マス形の否定形」の出現率はわずか 0.2%である。

4) 「辞書形の否定形」は出現率が 4.9%である。そのうち、最も出現率が高いのは「義務の表現(方言も含む)」である (4.1%)。

5) 「タイ形」の出現率は 1.4%である。

6) 「連用形」の出現率はわずか 0.5%である。

7) 「テ形」動詞の 7 つの形式のうち、出現率は二番目に高い(20.9%)。

②形容詞 出現率が高い順に、「形容詞+ので」(2.7%)、「形容詞」と「形容詞+から」(それぞれ 2%)である。

③名詞 最も出現率が高いパターンは「名詞+だから」と「名詞+で」(それぞれ 0.9%)で、続いて「名詞+から」(0.7%)である。

全体的な傾向を見ると、理由を説明する際に、「テ形」が用いられるほか、述語に接続助詞「ので」「んで」が付くパターンがいくつかある。「テ形」、「ので」「んで」の出現率に着目すると、「テ形」の合計出現率が 23.7%、「ので」「んで」の出現率が 31.6%、合計 55.3%である(表 81 参照)。結果から、日本語母語話者は、理由を説明する際に「テ形」「ので」「んで」を用いる傾向が窺える。

表 81 JJ:[理由の内容]の「テ形」、「ので」「んで」の出現数と出現率のまとめ

「テ形」	出現数(回)	出現率
(32)テ形	111	18.9%
(33)副詞+テ形	12	2.0%
(40)形容詞のテ形	8	1.4%
(41)副詞+形容詞のテ形	3	0.5%
(52)名詞+で	5	0.9%
小計	**139**	**23.7%**
「ので」「んで」	**出現数(回)**	**出現率**
(3)マス形+ので	7	1.2%
(4)副詞+マス形+ので	2	0.3%
(8)辞書形+ので	108	18.4%
(9)副詞+辞書形+ので	13	2.2%
(10)辞書形+んで	28	4.8%
(11)副詞+辞書形+んで	3	0.5%
(26)可能動詞の否定形+ので	1	0.2%
(27)義務の表現(方言も含む)	4	0.7%
否定形+ないといけないので	(2)	(0.3%)
否定形+なくてはならないので	(1)	(0.2%)
否定形+なければならないので	(1)	(0.2%)
(30)連用形+そうなんで	1	0.2%
(38)形容詞+ので	16	2.7%
(39)副詞+形容詞+ので	1	0.2%
(48)名詞+なので	1	0.2%
小計	**181**	**31.6%**
合計	**185**	**55.3%**

場面別の出現数を表 82-84 に示す。

表 82　JJ:[理由の内容]場面別の出現数(動詞)

動詞		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計
マス形		**22**	**32**	**7**	**15**	**0**	**6**	**0**	**6**	**88**
(1)マス形		**11**	**16**	**6**	**12**		**6**		**5**	**56**
マス形	場面 1JM3 和歌山：申し訳ないですが、日曜日は約束があります。力になれません。次回、機会があれば、お手伝いさせてください。	11	16	6	12		6		5	56
(2)副詞+マス形		**8**	**13**	**1**	**0**	**0**	**0**	**0**	**1**	**23**
少し+マス形	場面 1JM37 青森：申し訳ございません。その日は少し用事があります。手伝いに行けそうにないです。次回何かお力になれることがあったら、お手伝いいたします。	1	1							2
実は+マス形	場面 1JM2 福岡：申し訳ないですが、実は日曜日は用事があります。準備に行くことができません。	2								2
ちょっと+マス形	場面 1JM18 福岡：申しわけないですが、日曜日はちょっと用事があります。他の方に頼んでみますね。	5	12	1					1	19
(3)マス形+ので		**2**	**2**	**0**	**3**	**0**	**0**	**0**	**0**	**7**
マス形+ので	場面 1JM48 富山：申しわけないですが、他の予定が入っておりますので、手伝いに行けません。次回、都合がよければ、お手伝いさせてくだい。	2	2		3					7
(4)副詞+マス形+ので		**1**	**1**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**2**
あいにく+マス形+ので	場面 1JM17 大阪：すみません、日曜日はあいにく試合がありますので、行くことができません。今度、機会があれば、手伝います。	1	1							2

①－場面 1(親･目上･重)　②－場面 2(疎･目上･重)　③－場面 3(親･目上･軽)　④－場面 4(疎･目上･軽)

⑤－場面 5(親･同等･重)　⑥－場面 6(疎･同等･重)　⑦－場面 7(親･同等･軽)　⑧－場面 8(疎･同等･軽)

動詞		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計
辞書形		**36**	**32**	**42**	**42**	**27**	**22**	**18**	**24**	**243**
(5)辞書形		**0**	**0**	**0**	**0**	**2**	**0**	**0**	**0**	**2**
辞書形	場面 5JF10 東京:ごめん。無理！私もテストある。他を当たってみて。					2				2
(6)辞書形+終助詞		**0**	**0**	**0**	**0**	**1**	**0**	**1**	**0**	**2**
辞書形+終助詞「わ」	場面 5JM29 石川:ごめん、俺も中間テストがあるわ。無理かなあ。					1				1
辞書形+終助詞「よ」	場面 7JM13 福山:ごめん、俺も明日発表があるよ。							1		1
(7)辞書形+から		**0**	**0**	**0**	**4**	**17**	**11**	**12**	**10**	**54**
辞書形+から	場面 4JM21 東京:ああ、約束があるから。無理です。				4	17	11	12	10	54
(8)辞書形+ので		**22**	**22**	**22**	**21**	**2**	**10**	**1**	**8**	**108**
辞書形+ので	場面 1JF15 愛媛：すみません、日曜日は予定があるので、できません。次の機会、私にできることがあれば、言ってください。	22	22	22	21	2	10	1	8	108
(9)副詞+辞書形+ので		**7**	**3**	**2**	**0**	**0**	**0**	**0**	**1**	**13**
少し+辞書形+ので	場面 8JF15 愛媛:すみません、今日は少し用事があるので、できません。今度何かお手伝いできることがあれば、絶対手伝います。								1	1
あいにく+辞書形+ので	場面 1JM29 石川：ああ、本当に申し訳ございません。その日はあいにく用事があるので、手伝いに行けません。今度、機会があれば、ご協力させていただきます。	1								1
ちょっと+辞書形+ので	場面 2JF18 岡山：ああ、すみません。その日はちょっと予定があるので、行けそうにないです。今度お手伝いできることがあれば、是非ご協力させていただきます。。	6	3	2						11

動詞		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計
(10)辞書形+んで		**2**	**4**	**7**	**12**	**2**	**0**	**1**	**0**	**28**
辞書形+んで	場面 1JM42 大阪:すいません。日曜日は予定があるんで、無理なんですが。すいません。また今度なんかあったら時はよろしくお願いします。	2	4	7	12	2		1		28
(11)副詞+辞書形+んで		**2**	**0**	**0**	**1**	**0**	**0**	**0**	**0**	**3**
実は+辞書形+んで	場面 4JF1 広島:実は午後、約束があるんで、無理なんですけど。				1					1
ちょっと+辞書形+んで	場面 1JM26 奈良:すいません、ちょっと日曜日は予定があるんで、手伝えそうにないです。ごめんなさい。次の機会、ご協力させてください。	2								2
(12)辞書形+んです		**1**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**1**
辞書形+んです	場面 1JF48 大阪:ああ、すみません。日曜日は予定があるんです。ごめんなさい。次回、機会があれば、是非お手伝いさせていただきます。	1								1
(13)辞書形+んです+接続助詞		**0**	**1**	**7**	**3**	**0**	**0**	**0**	**1**	**12**
辞書形+んですが	場面 2JF14 山口:ごめんけど、日曜日予定入れちゃってるんですが、		1	7	3				1	12
(14)辞書形+んです+終助詞		**0**	**0**	**4**	**1**	**0**	**0**	**0**	**0**	**5**
辞書形+んですよ	場面 3JF26 大阪:すみません。午後は授業あるんですよー。だから少し厳しいです。他の人探していただけませんか？			2						2
辞書形+んですよね	場面 3JF19 広島:ちょっと。。。用事あるんですよね。すいません。			2	1					3
(15)辞書形+んだ		**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**1**	**1**
辞書形+んだ	場面 8JM36 石川:こっちもプレゼンがあるんだ。今回はごめんね。								1	1
(16)辞書形+んだ+接続助詞		**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**1**	**0**	**1**
辞書形+んだけど	場面 7JM12 大阪:ごめんね、明日は大変な発表があるんだけど、ちょっと難しい。							1		1

動詞		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計
(17)辞書形+んだ+終助詞		**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**2**	**0**	**2**
辞書形+んだよねー	場面 7JF34 宮崎:うーん、明日の発表の準備あるんだよねー。手伝うことができないかも。							2		2
(18)辞書形+ん+終助詞		**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**3**	**3**
辞書形+んよ	場面 8JF47 福井:うーん、手伝いたいけど。明日発表あるんよ。ごめん、手伝えない。								3	3
(19)副詞+辞書形+んですけど		**2**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**2**
ちょっと+辞書形+んですけど	場面 1JF46 三重:すみません、ちょっと先約があるんですけど。日曜日にはお手伝いできかねます。本当に申し訳ないです。	2								2
(20)辞書形+ため		**0**	**2**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**2**
辞書形+ため	場面 2JF28 島根:すみません。その日は予定が入っているため、厳しいです。すみません。		2							2
(21)辞書形+けど		**0**	**0**	**0**	**0**	**1**	**0**	**0**	**0**	**1**
辞書形+けど	場面 5JM7 石川:ごめん。来週テストあるけど。					1				1
(22)辞書形+方言		**0**	**0**	**0**	**0**	**2**	**1**	**0**	**0**	**3**
辞書形+し	場面 5JF1 広島:うーん、中間テストがあるし、3-4 枚は少しキツイなあ。頑張ってね。					2				2
辞書形+けん	場面 6JM7 石川:うーん、ちょっときついわ。ごめん、来週テストあるけん。						1			1
マス形の否定形		**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**1**	**1**
(23)マス形の否定形	場面 1JF31 山口:ごめんなさい、今日は時間がありません。								**1**	**1**
辞書形の否定形		**0**	**0**	**0**	**0**	**11**	**5**	**7**	**3**	**29**
(24)副詞+可能動詞の否定形		**0**	**0**	**0**	**0**	**2**	**0**	**0**	**0**	**2**
ちょっと+可能動詞の否定形	場面 5JF22 千葉:無理！！私の英語はちょっとできない。すまんね。					2				2

動詞		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計
(25)可能動詞の否定形+終助詞		**0**	**0**	**0**	**0**	**1**	**0**	**1**	**0**	**2**
可能動詞の否定形+終助詞「よ」	場面 5JF14 山口:ごめん、英語はできないよ。					1				1
可能動詞の否定形+終助詞「わ」	場面 7JM41 大分:ごめん、今時間取れないわ。他の人に当たってみて。							1		1
(26)可能動詞の否定形+ので		**0**	**0**	**0**	**0**	**1**	**0**	**0**	**0**	**1**
可能動詞の否定形+ので	場面 5JM14 広島:僕も英語が出来ないので、お力添えできないのですが、					1				1
(27)義務の表現 (方言も含む)		**0**	**0**	**0**	**0**	**7**	**5**	**6**	**3**	**24**
否定形+ないと	場面 7JM46 宮城:ごめん、今日はプレゼンの準備をしないと							1		1
否定形+ないといけない	場面 6JM19 広島:ごめんなさい。来週の中間テストの勉強をしないといけない。						1	1		2
否定形+ないといけないので	場面 7JF17 広島:ごめん、明日の発表をよく準備しないといけないので、手伝えないかも。							1	1	2
否定形+なくてはならないので	場面 8JM35 佐賀:ごめんなさい、協力してあげたいですが、明日の発表の準備をしなくてはならないので、できません。								1	1
否定形+なければならないので	場面 6JM35 佐賀:ごめんなさい。協力して力になりたいですが、来週の中間テストの勉強をしなければならないので、できません。						1			1
否定形+ないといけないんです	場面 6JM33 広島:協力してあげたいのは山々ですが、テスト勉強しないといけないんです。						1			1
否定形+なくちゃいけないんです	場面 6JM23 福井:ごめんなさい、来週の中間テストのために来週は自分の勉強に集中しなくちゃいけないんです。全部を翻訳する余裕はないんですが、あなたの訳を推敲することはできそうですが、それはどうですか？						1			1
否定形+ないといけないから	場面 5JM38 大阪:ごめん、俺もテスト勉強しないといけないから、無理やわ。他のやつに聞いてみてくれ。					1				1
否定形+なあかんから	場面 5JM35 佐賀:ほんとごめん。協力したいけど、中間テストの勉強しなあかんから、無理や。					2		1		3
否定形+ないといかんから	場面 7JM25 愛知:ごめん、明日の発表の準備しないといかんから、無理っぽい。							1		1

動詞		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計
否定形+ないかんから	場面 7JM25 愛知:まじか、俺明日の発表の準備せないかんから、無理や。							1		1
否定形+ないとだから	場面 5JM46 宮城:中間テスト対策しないとだから、ごめんなさい。					1				1
否定形+ないとやばいから	場面 7JM44 鳥取:手伝いたいだけど、俺も発表の準備をしないとやばいから、手伝えない。							1		1
否定形+せんなんから	場面 7JM7 石川:ごめん、いろいろ準備せんなんから、今度また。								1	1
否定形+なあかんし	場面 6JM9 大阪：んー、手伝いたいのは山々やねんけど。中間の勉強せなあかんし、でけへんわ。ごめん。						1			1
否定形+なあかんのよね	場面 6JF34 宮崎:手伝いたいんやけど、試験勉強せなあかんのよね。					1	1			2
否定形+なあかんねん	場面 5JF19 大阪:ああ、ごめん。私もテスト勉強しなあかんねん。					1				1
否定形+せんといけん	場面 5JM33 広島：ごめん。テスト勉強せんといけん。					1				1
否定形+せんなんやろ	場面 7JM7 石川:ごめん、明日の発表、いろいろ準備せんなんやろ。きついわ。ごめん。							1		1
タイ形		**0**	**0**	**0**	**0**	**6**	**1**	**1**	**0**	**8**
(28)タイ形+から	場面 5JM41 大分:ごめん。俺もテスト勉強したいから、ちょっと無理。					6	1	1		8
連用形		**1**	**0**	**1**	**0**	**1**	**0**	**0**	**0**	**3**
(29)連用形	場面 1JF39 広島:申し訳ありませんが、その日は先約があり、行くことができません。また、機会があればお手伝いさせてください。	1								1
(30)連用形+そうなんで	場面 3JM43 兵庫:すいません。約束に時間に遅刻しそうなんで、ちょっと難しいんです。			1						1
(31)可能動詞の連用形 +そうにないんだ	場面 5JF6 沖縄:時間あまり取れそうにないんだ。ごめんね。					1				1

動詞		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計
テ形		**34**	**28**	**18**	**24**	**12**	**2**	**3**	**2**	**123**
(32)テ形		**27**	**24**	**18**	**24**	**11**	**2**	**3**	**2**	**111**
テ形	場面1JM13福井:申しわけないですが、その日は予定が入ってて、手伝いに行けそうにないです。	17	18	17	23	11	2	3	2	93
	場面1JF23千葉県:本当に申し訳ないのですが、その日は用事は入っておりまして、お手伝いできそうにないです。すみません。	8	5	1						14
	場面1JF41熊本:日曜日ですか？ちょっと先約がありまして、申し訳ございません。今度お手伝いできることがあれば、おっしゃってください。	2	1		1					4
(33)副詞+テ形		**7**	**4**	**0**	**0**	**1**	**0**	**0**	**0**	**12**
ちょっと+テ形	場面1JM28兵庫:ああ、すみません。ちょっと日曜日は予定があって、厳しいです。では、余裕がある友達に聞いてみます。	7	4							11
実は+テ形	場面5JF33大阪:ごめん、手伝ってあげたいけど、実はテストがあって、ちょっとできないなあ。					1				1

表 83　JJ:[理由の内容]場面別の出現数(形容詞)

形容詞		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計
(34)形容詞		**0**	**0**	**1**	**3**	**1**	**1**	**6**	**0**	**12**
形容詞	場面 7JF15 愛媛:ごめん、今時間ない。もしどうしても分からないことがあったら、言って！							4		4
	場面4JM4愛知:手伝いたいだけど、来週のテストは大変だ。					1	1	2		4
	場面4JF11広島:すみません。行く時間がないです。他の一回生に聞いてみますね。			1	3					4
(35)形容詞+終助詞		**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**4**	**2**	**6**
形容詞+終助詞「わ」	場面 7JM47 大阪:残念、時間無いわ。手伝えないかも。							2	1	3
形容詞+終助詞「よ」	場面 7JM29 石川:悪いな！時間ないよ。手伝ってあげられない。ごめんね。							1		1
形容詞+終助詞「なあ」	場面 7JF25 岡山:手伝いたいだけど、明日の発表はやばいなあ。							1	1	2
(36)副詞+形容詞		**0**	**0**	**0**	**0**	**4**	**0**	**1**	**3**	**8**
ほんとう+形容詞	場面 7JM10 広島:ごめん、明日の発表がほんとう忙しい。無理や。							1	1	2
ちょっと+形容詞	場面 8JF4:ご兵庫めん、ちょっと忙しい。					4			2	6
(37)副詞+形容詞+終助詞		**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**1**	**0**	**1**	**2**
ちょっと+形容詞+終助詞「わ」	場面 8JM47 大阪:うーん、ちょっと時間無いわ。ごめんな。								1	1
ちょっと+形容詞+終助詞「なあ」	場面 6JF35 佐賀:すいません、来週の中間テストはちょっとやばいなあ。本当にすいません。						1			1
(38)形容詞+ので		**0**	**1**	**0**	**3**	**0**	**8**	**0**	**4**	**16**
形容詞+ので	場面 4JF46 三重:すいません。時間がないので、ちょっと無理そうです。ごめんなさい。				3		4		1	8
	場面 2JM36 石川：ごめんなさい。忙しいので。無理です。		1				4		3	8
(39)副詞+形容詞+ので		**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**1**	**1**
ちょっと+形容詞+ので	場面 8JM32 福山:すみません、ちょっと忙しいので。								1	1

形容詞		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計
(40)形容詞のテ形		**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**1**	**2**	**5**	**8**
形容詞のテ形	場面 7JF4 兵庫:ああ、ごめん、今時間なくて。							1		1
	場面 6JF43 大阪:ごめんなさい、今、忙しくて、手伝えないです。						1	1	5	7
(41)副詞+形容詞のテ形		**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**1**	**2**	**3**
ちょっと+形容詞のテ形	場面 8JF11 広島:ごめんなさい、ちょっと忙しくて、無理かな。他の人にお願いしてもらってもいい？							1	2	3
(42)形容詞+から		**0**	**0**	**0**	**0**	**5**	**2**	**5**	**0**	**12**
形容詞+から	場面 6JF38 岐阜:時間がないから、できない。もしまず自分で訳したら、後でチェックはできるよ。						1			1
	場面7JF45奈良:ごめん、明日の発表は大変だがら、手伝えないなあ。							1		1
	場面5JF4兵庫:ごめん、自分も忙しいから、手伝えへん。ごめんな。					5	1	4		10
(43)副詞+形容詞+から		**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**1**	**1**	**2**	**4**
ちょっと+形容詞+から	場面 8JM25 愛知:ちょっと時間無いから、できないなあ。								1	1
	場面 7JM33 広島:ごめん、ちょっと忙しいから、別の人に頼んで。						1	1	1	3
(44)形容詞+んだ		**0**	**0**	**0**	**0**	**1**	**1**	**1**	**0**	**3**
形容詞+んだ	場面 7JF11 広島:ごめん、本当に時間がないんだ。また今度頼んで。							1		1
	場面 5JF35 佐賀:ごめん。僕も忙しいんだ。					1	1			2
(45)形容詞+んだ+終助詞		**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**1**	**0**	**0**	**1**
形容詞+んだよ	場面 6JM14 広島:最近忙しいんだよ。ごめん。						1			1
(46)形容詞+方言		**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**2**	**0**	**2**
形容詞+ねん	場面 7JM24 兵庫:ごめん、時間無いねん。無理やわ。							2		2

表 84　JJ:[理由の内容]場面別の出現数(名詞)

名詞		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計
(47)名詞	場面 3JF20 島根:ごめんなさい。午後は用事です。	**0**	**0**	**2**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**2**
(48)名詞+なので	場面 6JM37 青森:すいません、テスト前なので、難しいですね。ごめん。	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**1**	**0**	**0**	**1**
(49)名詞+だから	場面 5JF37 兵庫:ごめん、中間前だから厳しい。○○に言ってみ？	**0**	**0**	**0**	**0**	**1**		**4**	**0**	**5**
(50)名詞+のため	場面 4JF7 岐阜:ごめんなさい。約束のため、本の返しは行けません。	**0**	**0**		**1**	**0**	**0**	**0**	**0**	**1**
(51)名詞+なんですけど	場面 3JM20 大阪:すみません。午後は打ち合わせなんですけど、返しに行けそうにないです。	**0**	**0**	**1**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**1**
(52)名詞+で	場面 4JF23 大分:すみません。午後は約束で、本の返しに行くのは難しいです。申し訳ないんです。	**1**	**0**	**0**	**3**	**1**	**0**	**0**	**0**	**5**

7.3.1.2{理由(言語形式)}：[理由の内容+付加説明](JJ)

本項では、[理由の内容+付加説明]の構造を分析していく。[理由の内容+付加説明]とは、依頼に応じられない理由を述べることに加えて、その理由に関してさらに具体的な説明も付加されることである。これは、理由の内容の部分と、付加説明の部分の 2 つで構成される。

[理由の内容+付加説明]には、以下の回答例①②のように、まず理由の内容を述べてから、次に付加説明を述べる構造が多く見られる。前文は理由の内容の部分で、後文は付加説明の部分である。

回答例①：ああ、すみません。日曜日はバイトがあって、どうしても休めないです。
[理由の内容] [付加説明]

回答例②：ごめんね、明日発表の準備があるから、時間無いよ。ちょっと手伝えない。
[理由の内容] [付加説明]

逆に回答例③のように、まず付加説明を先に述べてから、その後理由の内容を述べる構造もある。前文は付加説明の部分で、後文は理由の内容の部分である。

回答例③：今時間ないねん。明日発表あるから、ほんまにごめん。
[付加説明] [理由の内容]

前文と後文の言語形式にバリエーションが多いため、構造の分析の対象を前文に絞り、その述語の品詞(動詞、形容詞、名詞)と文型を基準にして分析を行う。出現数と出現率を表 85 にまとめる。

表 85　JJ:[理由の内容+付加説明]品詞別の出現数と出現率のまとめ

動詞	出現数(回)	出現率
マス形	**5**	**2.6%**
(1)マス形	5	**2.6%**
辞書形	**40**	**21%**
(2)辞書形	1	0.5%
(3)辞書形+ので	18	9.5%
(4)辞書形+んで	1	0.5%
(5)辞書形+から	14	7.4%
(6)辞書形+んです	1	0.5%
(7)辞書形+んです+終助詞	1	0.5%
(8)辞書形+方言	4	2.1%
辞書形の否定形	**9**	**4.7%**
(9)否定形のテ形	1	0.5%
(10)否定形+義務の表現(方言も含む)	8	4.2%
連用形	**3**	**1.6%**
(11)連用形	3	1.6%
テ形	**75**	**39.5%**
(12)テ形	75	**39.5%**
小計	**132**	**69.5%**
形容詞	**出現数(回)**	**出現率**
(13)形容詞	4	2.1%
(14)副詞+形容詞+終助詞	1	0.5%
(15)形容詞+ので	1	0.5%
(16)形容詞のテ形	4	2.1%
(17)形容詞+方言	2	1%
小計	**12**	**6.3%**
名詞	**出現数(回)**	**出現率**
(18)名詞+なんですが	2	1%
(19)名詞+なんですけど	1	0.5%
(20)名詞+で	39	20.5%
(21)名詞+だから	2	1%
(22)名詞+方言	2	1%
小計	**46**	**24.2%**
合計	**190**	**100%**

結果から、最も多く使われている前文の述語の品詞が動詞(69.5%)である。そのうち、「テ形」の出現率が最も高い(39.5%)。続いて、名詞の出現率が二番目に高く(24.2%)、名詞に関する形式のうち、「名詞+で」の出現率が最も高い(20.5%)。一方で、形容詞の出現率は 6.3%に過ぎない。

また、動詞、形容詞、名詞の「テ形」の出現率に着目すると、以下の表 86 に示すように出現率が 64.7%を超えることが分かった。

表 86　JJ:[理由の内容+付加説明]の「テ形」の出現数と出現率のまとめ

「テ形」	出現数(回)	出現率
(9)否定形のテ形	1	0.5%
(10)否定形+義務の表現(方言も含む)	4	2.0%
否定形+ないといけなくて、ちょっと+可能動詞の否定形+終助詞	(1)	(0.5%)
否定形+ないといけなくて、形容詞	(1)	(0.5%)
否定形+ないといけなくて、形容詞+そう	(2)	(1%)
(12)テ形	75	39.5%
(16)形容詞のテ形	4	2.1%
(20)名詞+で	39	20.6%
合計	**123**	**64.7%**

表 87　JJ:[理由の内容+付加説明]場面別の出現数(動詞)

動詞		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計
マス形		**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**3**	**0**	**2**	**5**
(1)マス形		**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**3**	**0**	**2**	**5**
マス形、ちょっと+形容詞	場面 6JF40 三重：ごめんなさい、来週テストがあります。ちょっと忙しいです。チェックならできますよ。						1			1
マス形、形容詞	場面 8JM23 福井：ごめんなさい、明日発表があります。準備が忙しいです。								1	1
	場面 8JM2 福岡：ごめんなさい、明日発表があります。だから、時間ないです。								1	1
マス形、否定形+んです	場面 6JF21 香川：すいません、来週テストがあります。手伝う余裕がないんです。本当にすみません。						2			2
辞書形		**0**	**0**	**9**	**3**	**2**	**12**	**8**	**6**	**40**
(2)辞書形		**0**	**0**	**0**	**0**	**1**	**0**	**0**	**0**	**1**
辞書形、否定形+せんといけんのよ	場面 5JF18 岡山：ごめん、自分も中間テストがある、勉強せんといけんのよー。お互いがんばろう！！					1				1
(3)辞書形+ので		**0**	**0**	**8**	**2**	**0**	**2**	**2**	**4**	**18**
辞書形+ので、否定形	場面 8JF13 福井:ごめんなさい、明日発表があるので、手伝う時間がとれません。ちょっと無理です。								1	1
辞書形+ので、否定形+です	場面 4JF39 広島：申し訳ありませんが、午後は先約があるので、間に合わないです。			3	1					4
辞書形+ので、否定形+かも	場面 3JM44 鳥取：すみません。午後は用事があるので、間に合わないかも。夕方、本を取りに行って、返してもいいですか？			1						1
辞書形+ので、マス形の否定形	場面 8JF30 広島：すみません、明日発表があるので、時間がありません。								1	1
辞書形+ので、否定形+ないとやばい	場面 7JM19 広島：ごめんね、明日発表があるので、いろいろ準備しないとやばい。							1		1
辞書形+ので、形容詞	場面 8JF41 熊本：明日、発表があるので、めっちゃ大変です。ごめんな。								1	1

①－場面 1(親･目上･重)　②－場面 2(疎･目上･重)　③－場面 3(親･目上･軽)　④－場面 4(疎･目上･軽)

⑤－場面 5(親･同等･重)　⑥－場面 6(疎･同等･重)　⑦－場面 7(親･同等･軽)　⑧－場面 8(疎･同等･軽)

動詞		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計
辞書形+ので、形容詞+そうです	場面 4JF47 福井：すいません。これから打ち合わせがあるので、時間がなさそうです。			1	1		1			3
辞書形+ので、形容詞+んです	場面 6JM16 長崎：すみません。私も中間テストがあるので、時間がないんです。別の人に頼んでください。			2			1			3
辞書形+ので、形容詞+んよ	場面 8JM1 愛知：すみません、明日発表があるので、時間ないんよ。								1	1
辞書形+ので、否定形+なあかん	場面 7JM11 京都：ごめんやけど、明日発表があるので、いろいろ準備せなあかん。ごめんね。							1		1
辞書形+ので、可能動詞の連用形+そうにないです	場面 3JF23 大分：すみません。遅刻できない約束があるので、時間が取れそうにないです。返しに行けません。			1						1
(4)辞書形+んで		**0**	**0**	**0**	**1**	**0**	**0**	**0**	**0**	**1**
辞書形+んで、マス形	場面 4JM26 奈良：約束あるんで、急いでいます。行けなさそうです。すいません。				1					1
(5)辞書形+から		**0**	**0**	**0**	**0**	**1**	**9**	**3**	**1**	**14**
辞書形+から、マス形の否定形	場面 6JF17 広島：すみません、中間テストがあるから、手伝う時間がありません。お役に立てず、すみません。						1			1
辞書形+から、否定形+終助詞	場面 5JF32 鳥取：ごめん、来週テストがあるから、時間取れないわ。					1				1
辞書形+から、否定形+ないといけない	場面 6JM34 滋賀：すみません、来週テストがあるから、勉強しないといけない。別の人に頼んでくれますか。						2			2
辞書形+から、形容詞+んだ+終助詞	場面 6JM14 広島：実は中間テストがあるから、忙しいんだよね。						1			1
辞書形+から、形容詞+終助詞	場面 7JM15 熊本：ごめんね、明日発表の準備があるから、時間無いよ。ちょっと手伝えない。							1		1
	場面 7JM18 福岡：ごめん、俺も明日発表があるから、見る時間無いわ。							1		1

動詞		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計
辞書形+から、形容詞+ねん	場面 8JF19 大阪：ごめん、明日発表あるから、時間無いねん。ごめん。								1	1
	場面 6JF19 大阪：うわー、ごめん。私も中間あるから、やばいねん。ごめん。頑張って。						1			1
辞書形+から、形容詞+ねんけど	場面 7JM9 大阪：えー、俺明日発表あるから、忙しいねんけど。まあ、また今度テスト終わった後に教えたるわ。							1		1
辞書形+から、ちょっと+形容詞	場面 6JM15 熊本：ごめんなさい。手伝いたいだけど、俺も中間テストがあるから、ちょっと忙しい。						1			1
辞書形+から、否定形+せんといけんのよ	場面 6JM47 大阪：えっと、ごめん。来週、中間あるから、勉強せんといけんのよ。						1			1
辞書形+から、タイ形	場面 6JF2 福岡：ごめん、テストがあるから、その勉強をしたいです。ごめんなさい。						1			1
辞書形+から、可能動詞の連用形+そうにないです	場面 6JF36 大阪：ごめんなさい、私も中間テストがあるから、時間が作れそうにないです。						1			1
(6)辞書形+んです		**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**1**	**1**
辞書形+んです、辞書形+ので	場面 8JF3 大阪：ごめんなさい、今はどうしてもやらないといけないことがあるんです。明日発表があるので、今度また何かあったら、その時は手伝うので、ごめんなさい。								1	1
(7)辞書形+んです+終助詞		**0**	**0**	**1**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**1**
辞書形+んですよ、どうしても+連用形+そうにないんですが	場面 3JF16 鹿児島：ああ、午後は用事あるんですよ。どうしても抜けられそうにないが、誰かほかに行けそうな人探してみましょうか？			1						1

動詞		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計
(8)辞書形+方言		**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**1**	**3**	**0**	**4**
辞書形+し、ちょっと+形容詞+終助詞	場面 7JF24 京都：ごめん、明日発表あるし、ちょっと時間ないわ。							1		1
辞書形+し、形容詞+んだ	場面 7JM38 大阪：ごめん、明日大事な発表があるし、今その準備で忙しいんだ。とりあえず、他の子にも聞いてみて。							1		1
辞書形+し、否定形+ないとやばいから	場面 6JM10 広島：ごめん、来週テストあるし、勉強しないとやばいから、ちょっと手伝えないです。						1			1
辞書形+けん、形容詞+んよ	場面 7JF30 広島：ごめん、うちも明日発表あるけん、時間ないんよ。ほんまごめん。							1		1
辞書形の否定形		**0**	**0**	**0**	**0**	**1**	**1**	**4**	**3**	**9**
(9)否定形のテ形		**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**1**	**0**	**1**
否定形のテ形、連用形+そうやから	場面 7JF42 兵庫：ごめん、明日の発表の準備全然終わってなくて、中途半端になっちゃいそうやから、他の人にお願いしてもらってもいい？							1		1
(10)否定形+義務の表現(方言も含む)		**0**	**0**	**0**	**0**	**1**	**1**	**3**	**3**	**8**
否定形+ないといけない、形容詞+終助詞	場面 5JF13 福井：うーん、テスト勉強しないといけない。時間に余裕がないわ。ごめんね。					1				1
否定形+なあかんから、否定形+終助詞	場面 7JM20 大阪：ごめん、発表準備せなあかんから、あんまり時間取れてないわ。申し訳ない。							1		1
否定形+ないといけなくて、ちょっと+可能動詞の否定形+終助詞	場面 7JM34 滋賀：ごめん、明日の発表の準備しないといけなくて、ちょっと時間取れないわ。							1		1

動詞		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計
否定形+ないといけなくて、形容詞	場面 8JF49 大分：うーん、明日の発表のために、いろいろ準備しないといけなくて、余裕がないです。ちょっときついですよね。								1	1
否定形+ないといけなくて、形容詞+そう	場面 8JF28 島根：ごめんなさい、今日は発表を準備しないといけなくて、余裕なさそう。ごめんなさい。						1		1	2
否定形+ないといけないんで、可能動詞の否定形+です	場面 8JM20 大阪：ああ、申し訳ないですが、僕明日の発表のために、準備しないといけないんで、チェックする時間は取れてないです。								1	1
否定形+せんといけんから、形容詞+んよ	場面 7JF18 岡山：明日の発表の準備せんといけんから、そこまで時間ないんよ。ほんまごめんな。							1		1
連用形		**1**	**1**	**0**	**0**	**0**	**1**	**0**	**0**	**3**
(11)連用形		**1**	**1**	**0**	**0**	**0**	**1**	**0**	**0**	**3**
連用形、否定形+ので	場面 1JM14 広島：ああ、日曜日は部活の試合があり、都合が合わないので、今回は控えさせていただけないでしょうか。	1	1							2
連用形、タイ形+ので	場面 6JM17 大阪：すみません。来週テストがあり、自分も勉強したいので、行けません。						1			1
テ形		**5**	**2**	**15**	**4**	**13**	**14**	**11**	**11**	**75**
(12)テ形		**5**	**2**	**15**	**4**	**13**	**14**	**11**	**11**	**75**
テ形、辞書形	場面 6JM37 青森：すみません、私もテストが迫ってて、困る。自分で頑張ってね。						1			1
テ形、辞書形+んで	場面 3JM25 愛知：えーと、この後約束があって、間に合わなくなっちゃうんで。			1						1
テ形、マス形の否定形	場面 4JM41 大分:すみません。約束があって、本の返しの時間がありません。				3		1		2	6
テ形、可能動詞の否定形+終助詞	場面 7JF41 熊本：今日は手が放れないことがいっぱいあって、時間取れないわ。本当にごめんね。							1		1

動詞		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計
テ形、否定形+から	場面 7JF23 大分：ごめん、明日プレゼンがあって、まだ準備できてないから、今日はほんとに手伝えなさそう。ごめんよ。							1		1
テ形、どうしても+可能動詞の否定形+です	場面 1JM1 愛知：ああ、すみません。日曜日はバイトがあって、どうしても休めないです。	1	1							2
テ形、ちょっと+可能動詞の否定形+んです	場面 1JF3 大阪：えー、その日バイト入れちゃってて、ちょっと抜けれないんです。すみません。今度何かあったら手伝わせてください。	1								1
テ形、否定形+そうなんですが	場面 3JF10 東京：すみません。午後は用事があって本を取りに行く時間がとれなさそうなんですが、別の人に頼んでみますね。			2						2
テ形、可能動詞の否定形+そうです	場面 8JF9 京都：明日の発表があって、時間つくれなさそうです。ごめんなさい。次の機会は絶対手伝います。						1		1	2
テ形、否定形+ないといけないんだ	場面 6JM38 大阪：ごめん、来週テストがあって、勉強しないといけないんだ。だから他の人を当たってみて。ごめん。						1			1
テ形、否定形+ないとあかんねん	場面 6JF12 滋賀：来週中間テストがあって、よく勉強しないとあかんねん。すみません。						1			1
テ形、否定形+ないとやばいんだ	場面 6JF42 兵庫：ごめんね、実は来週中間テストがあって、しっかり勉強しないとやばいんだ。今度テストがない時に、できる限り協力するね。						1			1
テ形、否定形+ないとちょっと危ないんよ	場面 5JF12:テストあってさ、今、勉強しないとちょっと危ないんよ。					1				1
テ形、どうしても+可能動詞の否定形+ので	場面 1JF44 大阪：えーと、日曜日はアルバイトがあって、どうしても休めないので、行けません。ごめんなさい。次の機会、またお願いします。	1								1

動詞		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計
テ形、否定形+ないといけなくて	場面 8JF1 広島：すみません、明日大事な発表があって、準備しないといけなくて。								1	1
テ形、否定形+ないと	場面 5JM13 福井：ごめん、俺もテストがあって、しっかり勉強しないと。					3				3
テ形、否定形+ないと死にそう	場面 5JM2 福岡：いや、俺もテストがあって、よくテスト勉強しないと死にそう。ごめんね。					1				1
テ形、否定形+ないとやばいねん	場面 5JM43 兵庫：ごめん！来週テストあって、その勉強しないとやばいねん。					1				1
テ形、否定形+せんといけんのよ	場面 5JF30 広島：いや、うち来週中間テストあって、勉強せんといけんのよー、ごめん！					1				1
テ形、否定形+ないといけない	場面 6JM18 福岡：ごめん。来週テストがあって、勉強しないといけない。できなかったことがあれば、いつでも聞いてください。						1			1
テ形、タイ形+から	場面 6JM28 兵庫：ごめん、来週テストがあって、その勉強したいから、手伝われへんわ。ごめんな。						2			2
テ形、タイ形+んよ	場面 7JF50 福岡：本当にごめん、明日発表があって、練習したいんよ。							1		1
テ形、タイ形+ですが	場面 8JF14 山口：明日発表があって、練習したいですが、ごめんね。								1	1
テ形、可能動詞の連用形+そうにないです	場面 6JF44 大阪：すみません、私はテストが控えてて、時間取れそうにないです。ごめんなさい。						1			1
	場面 3JF18 岡山：すいません。用事があって、本を取りに行けそうにないです。すいません。			2						2
テ形、形容詞	場面 3JM15 熊本：ああ、午後は約束があって、返しに行く時間がないです。他の方に頼んでいただけませんか？			5	1					6
	場面 8JF47 福井：うーん、明日発表があって忙しいです。本当にすみません。								1	1
	場面 5JF50 福岡：ごめん、テストあって時間ない！					1		2		3
テ形、形容詞+終助詞	場面 5JF42 兵庫：えー、うちも中間あって、時間無いわ。ごめん。					3				3
	場面 6JF40 三重：ごめん、私もテストがあって、手伝う時間がないよ。別の人に当たってみてください。						1			1

動詞		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計
テ形、形容詞+かも	場面 7JF8 大阪：明日か？私も発表あって、今日の夜はかなりやばいかも。ごめん。							1		1
テ形、形容詞+ねん	場面 7JF19 大阪：ごめん、私明日発表あって、やばいねん。ほんまにごめん。							1		1
テ形、形容詞+から	場面 8JF37 兵庫：ごめん、私今プレゼン作ってて、時間ないから。他の人に言ってみて。ごめん。								1	1
テ形、形容詞+ので	場面 7JF9 京都：あした発表があって、今余裕がないので、手伝えなさそう。ごめんなさい。			3				1	1	5
テ形、形容詞のテ形	場面 5JF23 大分：本当にごめんけど、私、来週厳しめの中間テストがあって、時間的に余裕がなくて、手伝えそうにない！！ごめんよ！					1				1
テ形、形容詞+んだ	場面 5JM50 奈良：ごめん、僕も中間テストがあって、忙しいんだ。手伝えへん。					1	1			2
	場面 8JF42 兵庫：ごめんね。明日発表があって、その準備が大変なんだ。だから無理かも。ごめんね。								1	1
テ形、形容詞+んです	場面 6JF30 広島：ごめんなさい、来週中間テストがあって、時間がないんです。	2					1			3
テ形、形容詞+んですが	場面 2JM49 大阪：すいませんが、日曜日に先約があって、時間がないんですが、申しわけないです。		1							1
テ形、形容詞+から	場面 8JF27 大阪：ごめんね。明日発表があって忙しいから、見ることができないです。							3	1	4
テ形、名詞	場面 3JF3 大阪：えーと、午後は用事があって、急ぎです。ごめんなさい。			2						2
テ形、名詞+で	場面 6JF3 大阪：それはすごく手伝いたいんですけど、来週にテストがあって、その勉強で今いっぱいいっぱいで、今回はちょっと、ごめんなさい。						1			1
テ形、名詞+なんだ	場面 8JM38 大阪：ごめん、明日大事なプレゼンテーションがあって、今はその準備中なんだ。だから今はできないの。ごめんね。								1	1

表 88　JJ:[理由の内容+付加説明]場面別の出現数(形容詞)

形容詞		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計
(13)形容詞		**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**1**	**2**	**1**	**4**
形容詞、形容詞	場面 6JF20 島根：ごめんなさい。テストがひどいです。手伝う時間がないです。少しチェックならいいけど。						1			1
形容詞、可能動詞の否定形	場面 7JM37 青森：ごめん、明日の発表はめっちゃしんどい。時間取れない。ごめんね。							2		2
形容詞、可能形の否定形+です	場面 8JM37 青森：うーん、明日の発表はめっちゃしんどい、時間取れないです。ごめんなさい。								1	1
(14)副詞+形容詞+終助詞		**0**	**0**	**0**	**0**	**1**	**0**	**0**	**0**	**1**
ちょっと+形容詞+終助詞、タイ形	場面 5JM27 和歌山：そうか。ちょっと時間無いなあ。俺もテスト勉強したい。ごめんね。					1				1
(15)形容詞+ので		**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**1**	**0**	**1**
形容詞+ので、形容詞+終助詞	場面 7JF32 鳥取：ごめん、明日の発表は本当に大変なので、手伝う時間がないよ。ごめん。							1		1
(16)形容詞のテ形		**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**3**	**0**	**1**	**4**
形容詞のテ形、否定形+なくちゃいけないので	場面 6JF22 千葉：わー、ごめんなさい。中間が思ったより大変で、勉強しなくちゃいけないので、〇日以降ならいいんですけど。						2			2
形容詞のテ形、形容詞のテ形	場面 8JF6 沖縄：ああ、ごめんなさい、発表で、時間無くて。また今度、手伝える時は手伝います。								1	1
形容詞のテ形、名詞+なので	場面 6JM20 大阪：ごめんなさい。僕も中間テストが近くて、テスト勉強で一杯なので、すみません。						1			1
(17)形容詞+方言		**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**1**	**1**	**2**
形容詞+し、否定形+なくちゃ	場面 8JM6 大分：ごめんね、明日の発表は大変だし、いろいろ準備しなくちゃ。今度都合が良ければ、できる限り協力します。								1	1
形容詞+ねん、辞書形+から	場面 7JF3 大阪：ごめん、今時間ないねん。明日発表あるから、ほんまにごめん。							1		1

表 89　JJ:[理由の内容+付加説明]場面別の出現数(名詞)

名詞		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計
(18)名詞+なんですが		**0**	**0**	**1**	**0**	**0**	**1**	**0**	**0**	**2**
名詞+なんですが、マス形	場面 3JF46 三重：ごめんなさい、約束なんですが、急いでいます。ちょっと無理です。			1						1
名詞+なんですが、可能動詞の連用形 +そうになくて	場面 6JF6 沖縄：ああ、ごめんなさい、テスト勉強なんですが、時間とれそうになくて、手伝えません。ごめんなさい。						1			1
(19)名詞+なんですけど		**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**1**	**0**	**0**	**1**
名詞+なんですけど、否定形+なければなりません	場面 6JM12 大阪：ごめん。来週テストなんですけど、勉強しなければなりません。ちょっと難しい。						1			1
(20)名詞+で		**0**	**0**	**2**	**1**	**2**	**5**	**12**	**17**	**39**
名詞+で、可能動詞の否定形+んです	場面 8JM41 三重：ああ、すみません。今日は発表の準備で、時間取れないんです。ちょっと無理です。								1	1
名詞+で、辞書形+ので	場面 8JF10 東京：すみません、私も発表の準備で忙しくしているので、他を当たってください。								1	1
名詞+で、マス形の否定形	場面 8JF41 熊本：ごめん、明日の発表で、時間取れません。								3	3
名詞+で、連用形+そうだから	場面 7JM30 岐阜：ごめん、手伝いたい気持ちは山々だけど、明日の発表で死にそうだから、手伝えないよ。							1		1
名詞+で、ちょっと+可能の否定形(へん)	場面 4JF16 鹿児島：午後は約束で、ちょっと抜けられへん。無理そうです。すみません。				1					1
名詞+で、形容詞	場面 5JM6 大分：難しいなあ。俺もテストで、時間がない。ごめんね。					1				1
	場面 8JM30 岐阜：ごめんなさい、明日の発表で忙しいです。ちょっと無理かなあ。								3	3
	場面 8JF7 岐阜：今日は発表の準備で、時間がないです。ごめんなさい。			2					2	4
名詞+で、形容詞+んです	場面 8JF23 大分：ごめんなさい、私、プレゼンの資料の準備で、今日は本当に時間がないんです。私の友達を紹介するので、彼 JF に頼んでみてくれませんか。						1		1	2

名詞		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計
名詞+で、形容詞+んです	場面 8JM24 兵庫：ああ、申し訳ないんですけど、今発表の練習で、余裕がないんです。ごめんなさい。								1	1
名詞+で、形容詞+んよ	場面 7JM1 愛知：ごめん、俺も明日発表の準備で、時間無いんよ。							1		1
名詞+で、形容詞+ので	場面 8JM43 兵庫：すいません、明日の発表の準備で忙しいので、ちょっとできません。						1		3	4
名詞+で、形容詞+から	場面 8JF46 三重：ごめん、今プレゼンの資料作りで、余裕がないから、ちょっと無理ですね。						2	6	1	9
	場面 5JM48 富山：ごめん。テスト勉強で忙しいから、無理やわ。					1				1
	場面 7JF36 大阪：明日発表の準備で忙しいやから、他の子を当たってもらってもいい？ごめんね。							1		1
名詞+で、形容詞のテ形	場面 6JF24 京都：ああ、申し訳ないんですけど。中間テストの勉強で忙しくて、力になれず、ごめんなさい。						1			1
	場面 8JF8 大阪：すみません、私は明日の発表の準備で時間が無くて。							1	1	2
名詞+で、形容詞+終助詞	場面 7JF2 福岡：ごめん、今日は発表の準備で、時間無いわ。							2		2
(21)名詞+だから		**0**	**0**	**0**	**0**	**1**	**0**	**1**	**0**	**2**
名詞+だから、形容詞+んだよね	場面 7JF43 大阪：発表の準備だから、余裕ないんだよね。ごめんね。							1		1
名詞+だから、ちょっと+形容詞+から	場面 8JF16 鹿児島：来週中間だから、ちょっと余裕ないから。					1				1
(22)名詞+方言		**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**2**	**0**	**0**	**2**
名詞+やから、形容詞+終助詞	場面 6JM31 宮崎：ああ、来週テストやから、そんな時間無いわ。						1			1
名詞+し、否定形+せなだめなんで	場面 6JM43 兵庫：ごめんなさい。来週テストだし、その勉強せなダメなんで、ちょっと手伝えないです。						1			1

日本語母語話者の{理由}の特徴を表 90 にまとめる。

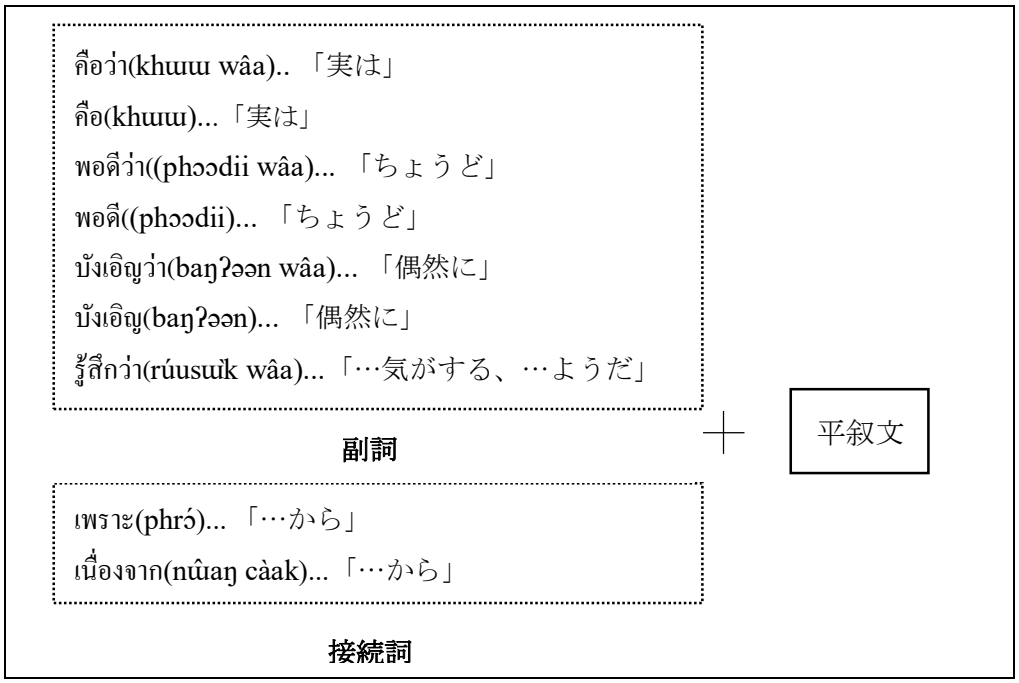
表 90　JJ:{理由}品詞別の特徴のまとめ

副詞	①理由を説明する際に使われる副詞：「実は」
	②不可能のことを強調する副詞：「本当に」「どうしても」「全然」
	③断りを和らげる副詞：「ちょっと」「少し」
	④残念な気持ちを表す副詞：「あいにく」
動詞	活用形によって、動詞が「マス形」「辞書形」「マス形の否定形」「辞書形の否定形」「タイ形」「連用形」「テ形」の 7 つの形式に分類される。
	本動詞「(用事/約束/先約が)ある」、「(予定/用事が)入る」、「(発表の準備/勉強)をする」、「英語ができる」、「時間が取れない」、「時間が作れない」、「困る」、「急ぐ」、「抜けられない」が使われている。
	補助動詞「〜てしまう」(口語：〜ちゃう)、「〜ている」、「〜ております」が使われている。動詞「(予定/用事が)入る」と一緒に使われることが多く見られる。
形容詞	①イ形容詞「(時間/余裕が)ない」「忙しい」「(テストが)ひどい・しんどい」「やばい」 ②ナ形容詞「大変だ」
名詞	「バイト」「約束」「予定」「先約」「用事」「打ち合わせ」「急ぎ」「発表」「発表の準備」「発表の練習」「プレゼンの資料作り」「テスト」「テスト前」「」
モダリティ形式	①形容詞/否定形+「かも」例：やばいかも、間に合わないかも ②動詞の連用形+「〜そうです」「〜そうなんだ」「〜そうなんで」「〜そうにないんだ」「〜そうなんですが」「〜やろ(だろう)」
接続助詞	①動詞+「〜けど」 ③名詞/辞書形+「〜ので」「〜んで」「〜から」「〜ため」
	方言の接続助詞の使用も見られる。 「〜し」(近畿地方、中国地方)、「〜けん」(中部地方)、「〜やから」(近畿地方)
ノダ文	①ノダ文「んだ」「んです」 ②ノダ文+接続詞「んだけど」「〜んですが」「んですけど」 ②ノダ文+終助詞「〜んだよね」「〜んですよ」「〜んですよね」
義務の表現	標準語の以外にも方言(特に関西弁)の使用が見られる。 「ないと」　「ないといけない」「ないといけないので」　「なくてはならないので」「 なければならないので」「ないといけないんです」「 なくちゃいけないんです」「ないといけないから」「ないと死にそうだ」　「ないとあかんから」「ないとやばい」 「ないかんから」「なあかんから」「 ないとだから」「 ないとやばいから」「なあかんし」 「なあかんよね」「なあかんのよね」「なあかんねん」「せんといけん」「せんなんから」 「せんなんやろ」「せんといけんのよー」「せなだめなんで」「せなあかんから」「ないとちょっと危ないんよ」
終助詞	①同等からの依頼に対する断りの場面に見られる終助詞 「ね」「よ」「わ」「なあ」「よなー」「よね」「よねー」
	②目上からの依頼に対する断りの場面に見られる終助詞 「よね」「よー」

7.3.2{理由(言語形式)}：タイ語母語話者

7.3.2.1{理由(言語形式)}：[理由の内容](TT)

理由の説明の形式は副詞や接続詞の有無によって「平叙文」、「副詞+平叙文」、「接続詞+平叙文」の 3 つのパターンに分類される。理由の説明の形式を以下の図に示す。



*点線に囲まれるまれるものは、現れないことがある。

(1)「平叙文」　タイ語は日本語と違って、「から」「ので」「ため」のような理由説明の接続詞を使わずに、平叙文で理由を説明することが特徴である。また、回答例を見ると、タイ語母語話者は助動詞「ต้อง(tɔ̂ŋ)」(～なければならない)を頻繁に使用している特徴が見られるので、

1.1 本動詞のみ、1.2 助動詞+本動詞の 2 つのパターンに下位分類する。以下に提示したものは、タイ語からの直訳である。

1.1 本動詞のみ

場面 2 TF 47：ขอโทษค่ะอาจารย์ หนูมาไม่ได้ค่ะ *ติดธุระกับครอบครัว

(和訳：すみません、手伝いに来られないんです。家族と用事があります。)

*ติดธุระ(tìt thúʔrá? 用事がある)、กับ(kàp と)、ครอบครัว(khrɔ̂ɔpkhrua 家族)

1.2 助動詞+本動詞

助動詞「ต้อง(tɔ̂ŋ)」(～なければならない)の後ろに、本動詞が後続する。

場面 2 TM 4：วันอาทิตย์หรอครับ *ผมต้องไปเยี่ยมญาติกับครอบครัว อาจารย์ลองถามคนอื่นดูนะครับ ผมต้องขอโทษด้วยครับ

(和訳：日曜日ですか？家族と親戚を訪問しなければなりません。

他の友達に聞いてみてもらえませんか？申し訳ございません。)

*ผม(phǒm 私(男性))、ต้อง(tôŋ～なければならない)、ไปเยี่ยมญาติ(pai yîam yâat 親戚を訪問する)、กับ(kàp と)、ครอบครัว(khrɔ̂ɔpkhrua 家族)

(2)「副詞+平叙文」このパターンは平叙文の文頭に副詞が付くパターンである。機能によって、①「理由説明の副詞」②「語気を軽減する副詞」の 2 つのグループに分類することができる。

①「理由説明の副詞」

คือว่า(khɯɯ wâa) คือ(khɯɯ)、すなわち「実は」は、都合が悪い状況を説明する際使われている。

②「語気を軽減する副詞」

พอดีว่า(phɔ́ɔdii wâa) พอดี(phɔ́ɔdii) 「ちょうど」、บังเอิญว่า(baŋʔɔ̀ɔn wâa) บังเอิญ(baŋʔɔ̀ɔn)

「偶然に」といった副詞は、動作と時間の関係を表す。これからする予定と依頼されたことのタイミングがぴったり重なり、余裕がないことに残念な気持ちが含まれている。

2.1คือว่า(khɯɯ wâa)+平叙文(本動詞のみ)

場面 2 TM 17：อาจารย์ครับ ผมคงไปช่วยงานไม่ได้ *คือว่าผมมีธุระกับทางบ้านอะครับ ขอโทษด้วยครับ

(和訳：[呼びかけ](ʔaa caan khráp)、準備の手伝いに行けないかもしれないんですが、実は家族と用事があります。すみません。)

*คือว่า(khɯɯ wâa 実は)、ผม(phǒm 私(男性))、มีธุระ(mii thúʔráʔ 用事がある)、กับ(kàp と)ทางบ้าน(thaaŋ bâan 家族)、อะครับ(ʔà khráp 文末丁寧詞(男性))

2.2คือว่า(khɯɯ wâa)+平叙文(助動詞+本動詞)

場面 1 TM 49：เอ่อ *คือว่าวันอาทิตย์นี้ต้องไปธุระกับทางบ้านอะครับ เกรงว่าจะมาช่วยงานไม่ได้

(和訳：否定的反応(ʔəə)、実は今週の日曜日は家族と用事で外出しなければなりません。手伝いに来られない恐れがあります。)

*คือว่า(khɯɯ wâa 実は)、วันอาทิตย์นี้(wan ʔaathít níi 今週の日曜日)、ต้อง(tôŋ～なければならない)、ไปธุระ(pay thúʔráʔ 用事で外出する)、อะครับ(ʔà khráp 文末丁寧詞(男性))

2.3คือ(khɯɯ)+平叙文(本動詞のみ)

場面 3 TM 40：*คือผมมีธุระด่วนครับ งั้นเดี๋ยวผมจะลองถามเพื่อนคนอื่นให้นะครับ

(和訳：実は私は急用があります。では、他の人に聞いてみますね。

*คือ(khɯɯ 実は)、ผม(phǒm 私(男性))、มีธุระด่วน(mii thúʔráʔ dùan 急用がある)、ครับ(khráp 文末丁寧詞(男性))

2.4คือ(khɯɯ)+平叙文(助動詞+本動詞)

場面 8 TM 30：เอ่อ *คือเราต้องเตรียมตัวนำเสนองานพรุ่งนี้อะ ถ้าเสร็จงานของเรา จะไปช่วยดูนะ

(和訳：{否定的反応}(ʔɔ̀ɔ)、実は明日の発表の準備をしなければならないんだ。
できたら、手伝うね。)

*คือ(khɯɯ 実は) 、เรา(raw 私)、ต้อง(tɔ̂ŋ～なければならない)、เตรียมตัว(triam tua 準備する) 、นำเสนองาน(nam sanŏə ŋaan 発表) 、พรุ่งนี้(phrûŋníi 明日) 、อะ(ʔa 文末詞)

2.5พอดีว่า(phɔɔdii wâa)+ 平叙文(本動詞のみ)

場面 6 TF 37：เอ่อ *พอดีว่าวันอาทิตย์หน้าเรามีสอบมิดเทอมอะ ขอโทษนะ

(和訳：{否定的反応}(ʔɔ̀ɔ)、来週はちょうど中間テストがある。ごめんね。)

*พอดีว่า(phɔɔdii wâa ちょうど) 、เรา(raw 私)、มี(mii ある)、
สอบมิดเทอม(sɔ̀ɔp mít thəəm 中間テスト)、อะ(ʔa 文末詞)

2.6พอดีว่า(phɔɔdii wâa)+ 平叙文(助動詞+本動詞)

場面 1 TF 50：อาจารย์ *พอดีว่าอาทิตย์นี้หนูต้องไปเยี่ยมญาติผู้ใหญ่กับทางบ้านอะค่ะ เป็นวันอื่นได้มั้ย

(和訳：[呼びかけ](ʔaa caan)、今週の日曜日ちょうど家族と親戚を訪問しなければなりません。他の日にお手伝いできますか。)

*พอดีว่า(phɔɔdii wâa ちょうど) 、อาทิตย์นี้(ʔaathít níi 今週の日曜日)、หนู(nŭu 私(女性))、
ต้อง(tɔ̂ŋ～なければならない)、 ไปเยี่ยม(pai yîam 訪問する) 、ญาติผู้ใหญ่(yâat phûuyày 親戚)、
กับ(kàp と)、ทางบ้าน(thaaŋ bâan 家族)、อะค่ะ(ʔà khâ 女性の文末丁寧詞)

2.7พอดี((phɔɔdii)+ 平叙文(本動詞のみ)

場面 5 TF 24：*พอดีมีสอบหวะ ขอโทษทีนะ

(和訳：ちょうどテストがあるよ。ごめんね。)

*พอดี(phɔɔdii ちょうど) 、มี(mii ある)、สอบ(sɔ̀ɔp テスト)、หวะ(wa友人同士に対して使われる文末詞)

2.8พอดี((phɔɔdii) + 平叙文(助動詞+本動詞)

場面 2 TM 34：*พอดีวันอาทิตย์นี้ ต้องไปช่วยญาติขนของครับ ขอโทษนะครับ

(和訳：ちょうど今週の日曜日には、親戚の引っ越しを手伝いに行かなければなりません。
すみません。)

*พอดี(phɔɔdii ちょうど)、วันอาทิตย์นี้(wan ʔaathit níi 今週の日曜に)、ต้อง(tɔ̂ŋ～なければならない)、ไปช่วย(pai chûai 手伝いに行く)、ญาติ(yâat 親戚) 、ขนของ(khŏn khɔ̌ɔŋ 引っ越し)、ครับ(khráp 文末丁寧詞(男性))

2.9บังเอิญว่า(baŋʔəən wâa)+ 平叙文(助動詞+本動詞)

場面 1 TM 31：ขอโทษนะครับอาจารย์ *บังเอิญว่าวันอาทิตย์ผมต้องไปซื้อเฟอร์นิเจอร์ตกแต่งบ้าน

(和訳：すみません、偶然に日曜日に家具を買いに行かなければなりません。

*บังเอิญว่า(baŋʔəən wâa 偶然に)、วันอาทิตย์(wan ʔaathít 日曜日)、ผม(phǒm 私(男性))、ต้อง(tôŋ～なければならない)、ไปซื้อ(pai súɯ̌ɯ 買いに行く)、เฟอร์นิเจอร์ตกแต่งบ้าน (fəənicə̂ə tòktɛ̀ɛŋbaan 家具)

なお、บังเอิญว่า(baŋʔəən wâa)+ 平叙文(+本動詞のみ)は、自然会話に出てくる可能性があるが、本調査では、見られなかった。

2.10บังเอิญ(baŋʔəən)+ 平叙文(本動詞のみ)

場面 4 TM 31：ขอโทษนะครับ *บังเอิญตอนบ่ายผมมีนัดคุยงานกับเพื่อนครับ อาจารย์ลองถามคนอื่นดูนะครับ

(和訳：すみません。午後は偶然に友達と打ち合わせがあります。他の方に聞いてみてください。)

*บังเอิญ(baŋʔəən 偶然に)、ตอนบ่าย(tɔɔn bàai 午後)、ผม(phǒm 私(男性))、มี(mii ある)、นัดคุยงาน(nát khuy ŋaan 打ち合わせ) 、กับ(kàp と) 、เพื่อน(phûan 友達)、ครับ(khráp 文末丁寧詞)

なお、บังเอิญ(baŋʔəən wâa)+ 平叙文(助動詞+本動詞)は、自然会話に出てくる可能性があるが、本調査では、見られなかった。

2.11รู้สึกว่า(rúusɯ̌k wâa) 平叙文(助動詞+本動詞)

รู้สึกว่า(rúusɯ̌k wâa)「…気がする」は、話し手がすることの予定をよく覚えていない時に使われている。ほかにも、予定を覚えているが、意図を薄めるために、わざとはっきりとしない表現を使用する場合もある。回答を見ると、รู้สึกว่า(rúusɯ̌k wâa)は 1 回しか出現しておらず、助動詞 จะ(cà ～だろう(推量の助動詞))が共起して用いられている。

場面 1 TF 24：วันอาทิตย์นี้หรอคะ *รู้สึกว่าหนูจะติดธุระค่ะ คงไม่สามารถมาช่วยได้ ขอโทษด้วยนะคะ

(和訳：日曜日ですか？用事があるだろうと気がします。手伝いに行けないかもしれません。すみません。)

*รู้สึกว่า (rúusɯ̌k wâa 気がする)、หนู(nǔu 私(女性))、จะ(ca ～だろう(推量の助動詞))、ติดธุระ(tìt thúʔráʔ用事がある)、ค่ะ(khâ 女性の文末丁寧詞)

(3)「接続詞+平叙文」　接続詞 เพราะ(phrɔ́)、เนื่องจาก(nɯ̂aŋ càak)「…から」は原因と結果を述べる際に使われている。書き言葉なので、日常会話より書簡やメールにおいてのほうが頻繁に出現している。前文と後文の因果関係を説明するもので、まず{結論}(結果の部分)を言ってから、次に{理由}(原因の部分)を説明する順序である。

3.1เพราะ(phrɔ́)+平叙文(本動詞のみ)

場面 2 TM 37：ขอโทษครับ　วันนั้นไปไม่ได้ครับ ***เพราะ**มีธุระกับที่บ้าน

(和訳：すみません。その日は行けないんです。家族と用事がある**から**。)

{結論}(結果の部分)　{理由}(原因の部分)

*เพราะ(phrɔ́から)、มีธุระ(mii thúʔráʔ用事がある)、กับ(kàp と)、ที่บ้าน(thîi bâan 家族)

3.2เพราะ(phrɔ́)+平叙文(助動詞+本動詞)

場面 1 TM 12：วันอาทิตย์นี้หรอครับ ผมไม่สะดวกครับ ***เพราะ**ผม**ต้อง**พาพ่อแม่ไปโรงพยาบาล

(和訳：日曜日ですか？都合が悪いです。両親を病院へ連れて行か**なければならない**から。)

*เพราะ(phrɔ́から)、ผม(phǒm 私(男性))、ต้อง(tôŋ～なければならない)、พา(phaa 連れる)、พ่อแม่(phɔ̂ɔ mêɛ 両親)、ไป(pay 行く)、โรงพยาบาล(rooŋ phayabaan 病院)

3.3เนื่องจาก(nɯ̂aŋ càak) +平叙文(本動詞のみ)

場面 1 TF 37：ขอโทษค่ะ หนูไม่สามารถมาช่วยงานได้ค่ะ ***เนื่องจาก**มีธุระกับครอบครัวค่ะ

(和訳：すみません。手伝いに行くことができません。家族と用事がある**から**。)

{結論}(結果の部分)　{理由}(原因の部分)

*เนื่องจาก(nɯ̂aŋ càak から)、มีธุระ(mii thúʔráʔ用事がある)、กับ(kàp と)、ครอบครัว(khrɔ̂ɔpkhrua 家族)、ค่ะ(khâ 女性の文末丁寧詞)

表 91　TT:[理由の内容]場面別の出現数と出現率

[理由の内容]	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計
「平叙文」	**3**	**22**	**11**	**42**	**39**	**36**	**42**	**39**	**234 (59.1%)**
本動詞のみ	2	5	5	12	17	12	14	16	83 (21%)
助動詞+本動詞	1	17	6	30	22	24	28	23	151 (38.1%)
「副詞+平叙文」	**9**	**24**	**24**	**34**	**15**	**19**	**4**	**17**	**146 (36.9%)**
คือว่า(khɯɯ wâa)... +平叙文(本動詞のみ) 「実は...」	1	1	3	1	0	0	1	0	7 (1.8%)
คือว่า(khɯɯ wâa)... +平叙文(助動詞+本動詞) 「実は...」	1	0	2	0	0	0	0	0	3 (0.8%)
คือ(khɯɯ)... +平叙文(本動詞のみ) 「実は...」	0	3	3	3	1	2	1	5	18 (4.5%)
คือ(khɯɯ)... +平叙文(助動詞+本動詞) 「実は...」	2	1	7	5	0	3	0	3	21 (5.3%)
พอดีว่า(phɔɔdii wâa).. +平叙文(本動詞のみ) 「ちょうど...」	0	0	0	0	0	5	0	0	5 (1.3%)
พอดีว่า(phɔɔdii wâa).. +平叙文(助動詞+本動詞) 「ちょうど...」	1	0	0	0	0	0	0	0	1 (0.3%)
พอดี(phɔɔdii)... +平叙文(本動詞のみ) 「ちょうど...」	1	7	3	9	5	3	1	5	34 (8.6%)
พอดี(phɔɔdii)... +平叙文(助動詞+本動詞) 「ちょうど...」	1	12	6	15	9	5	1	4	53 (13.4%)
บังเอิญว่า(baŋʔəən wâa)... +平叙文(助動詞+本動詞) 「偶然に...」	2	0	0	0	0	0	0	0	2 (0.5%)
บังเอิญ(baŋʔəən)... +平叙文(本動詞のみ) 「偶然に...」	0	0	0	1	0	0	0	0	1 (0.3%)
รู้สึกว่า(rúusɯ̀k wâa)... +平叙文(助動詞+本動詞) 「...気がする」	1	0	0	0	0	0	0	0	1 (0.3%)
「接続詞+平叙文」	**1**	**14**	**1**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**16 (4%)**
เพราะ(phrɔ́)... +平叙文(本動詞のみ) 「...から」	0	3	1	0	0	0	0	0	4 (1%)
เพราะ(phrɔ́)... +平叙文(助動詞+本動詞) 「...から」	2	1	0	0	0	0	0	0	3 (0.8%)
เนื่องจาก(nɯ̂aŋ càak)... +平叙文(本動詞のみ) 「...から」	1	8	0	0	0	0	0	0	9 (2.2%)
合計	**13**	**60**	**36**	**76**	**54**	**55**	**46**	**56**	**396 (100%)**

①－場面 1(親・目上・重)　②－場面 2(疎・目上・重)　③－場面 3(親・目上・軽)　④－場面 4(疎・目上・軽)

⑤－場面 5(親・同等・重)　⑥－場面 6(疎・同等・重)　⑦－場面 7(親・同等・軽)　⑧－場面 8(疎・同等・軽)

まず、「平叙文」の出現率が最も高く(59.1%)、そのうち「助動詞+本動詞」が最も用いられている(38.1%)。次に、「副詞+平叙文」の出現率が二番目に高く(36.9%)、そのうち、出現率が高い順に副詞 พอดี(phɔɔdii)、พอดีว่า(phɔɔdii wâa) 「ちょうど」 (出現率合計 23.6%)、続いて、คือ (khɯɯ) 「実は」(出現率合計 12.4%)となっている。逆に、副詞 บังเอิญว่า(baŋʔəən wâa)、บังเอิญ (baŋʔəən)「偶然に」(出現率合計 0.8%)と、รู้สึกว่า(rúusɯ̀k wâa)「…気がする」(0.3%)はほとんど用いられていない。また、「接続詞+平叙文」の出現率がわずか 4%で、目上からの依頼の場面のみ(場面 1-4)に出現した。

TT の[理由の内容]における特徴を以下の 3 点にまとめる。

(1) タイ語母語話者は「平叙文」で理由を説明することが多く、一方、接続詞をほとんど使わない傾向が見られる。

(2) 助動詞「ต้อง(tɔ̂ŋ)」(～なければならない)などの義務を表す表現で理由を説明する特徴がある(出現率合計 59.2%)。

(3) 理由を説明する際に、副詞 พอดี(phɔɔdii)、พอดีว่า(phɔɔdii wâa) 「ちょうど」が頻繁に共起する。

7.2.2.2{理由(言語形式)}：[理由の内容+付加説明](TT)

[理由の内容+付加説明]の言語形式が平叙文＋平叙文、副詞+平叙文+平叙文、平叙文+副詞+平叙文、副詞+平叙文+副詞+平叙文、接続詞+平叙文+平叙文、平叙文+接続詞+平叙文、副詞+平叙文+接続詞+平叙文の７パターンに分類される。

(1) 平叙文＋平叙文

1.1 平叙文(本動詞のみ)＋平叙文(本動詞のみ)

場面 6 TF6：เราขอโทษ เราไม่ว่างเลย อาทิตย์หน้าเรามีสอบอะ ขอโทษจริงๆ

(和訳：ごめんなさい、時間に余裕が全くない。来週テストがある。本当にごめん。)

1.2 平叙文(助動詞+本動詞)＋平叙文(本動詞のみ)

場面 5 TF43：เอ่อ ไม่ได้หวะมึง กูต้องอ่านหนังสือ อาทิตย์หน้าสอบละมึง

(和訳：{否定的反応}(ʔəə)、無理だよ。テスト勉強しなければならない。来週、テストがある。)

1.3 平叙文(本動詞のみ)＋平叙文(助動詞+本動詞)

場面 1 TM36：ขอโทษครับจารย์ ผมไม่ว่างครับ ต้องไปธุระกับทางบ้าน แต่เดี๋ยวผมจะขอความร่วมมือจากเพื่อนๆให้นะครับ

(和訳：すみません、時間的に余裕がないんです。家族と用事で外出しなければなりません。では、友達に聞いてみますね。)

(2) 副詞+平叙文+平叙文

副詞 พอดีว่า(phɔɔdii wâa)、พอดี(phɔɔdii) 「ちょうど」

2.1 副詞(phɔɔdii wâa)+平叙文(本動詞のみ)＋平叙文(助動詞+本動詞)

場面 6 TM 48：พอดีว่าตอนนี้ยังไม่ว่างอะแก ต้องทบทวนบทเรียน ถ้าอ่านเสร็จเดี๋ยวไปช่วยแปลทีหลังได้มั้ย

(和訳：今、ちょうど時間がないんだ。テスト勉強しなければならない。勉強が終わってから、手伝ってもいいかな？)

2.2 副詞(phɔɔdii)+平叙文(本動詞のみ)＋平叙文(助動詞+本動詞)

場面 8 TM 25：โทษทีนะ พอดีเราไม่ว่าง ต้องเตรียมรายงานวันพรุ่งนี้

(和訳：ごめん、ちょうど時間がないんだ。明日の発表を準備しなければならない。)

副詞 คือว่า(khɯɯ wâa)、คือ(khɯɯ)「実は」

2.3 **副詞(khɯɯ wâa)+平叙文(本動詞のみ)** +**平叙文(助動詞+本動詞)**

場面 6 TM 49：เอ่อ...คือว่าอาทิตย์หน้าเรามีสอบกลางภาคอะ เราต้องอ่านหนังสือก่อน ขอโทษด้วยนะ ทำเองก่อน เดี๋ยวเราตรวจให้นะ

(和訳：{否定的反応}(ʔàə)、実は来週テストがあります。私がテスト勉強しなければなりません。ごめんね。とりあえず、自分でやってみて、後で私がチェックします。)

2.4 **副詞(khɯɯ)+平叙文(本動詞のみ)** + **平叙文(本動詞のみ)**

場面 4 TF17：คือตอนกลางวันมีนัดคุยงานกับเพื่อนค่ะ งานด่วนมากๆเลย ขอโทษค่ะ

(和訳：実は昼休みに友達と打ち合わせがあります。急用なんですが。すみません。)

2.5 **副詞(khɯɯ)+平叙文(本動詞のみ)** + **平叙文(助動詞+本動詞)**

場面 6 TM 47：ขอโทษนะแก คือเราไม่ว่าง ต้องอ่านหนังสือ แกไปให้คนอื่นช่วยแปลก่อนก็ได้นะ

(和訳：すみません、実は時間に余裕がありません。テスト勉強しなければなりません。別の人に頼んでね。)

(3) **平叙文**+**副詞+平叙文**

副詞 พอดี(phɔɔdii) 「ちょうど」

3.1 **平叙文(本動詞のみ)**+**副詞(phɔɔdii)+平叙文(本動詞のみ)**

場面 1 TM20： เอ่อ ไม่ว่างครับ พอดีผมมีธุระทั้งวันเลย ขอโทษจริงๆ จะลองถามคนอื่นให้นะครับ

(和訳：{否定的反応}(ʔàə)、時間に余裕がありません。ちょうど一日中用事があります。本当にすみません。じゃあ、僕が他の人に聞いてみますね。)

3.2 **平叙文(助動詞+本動詞)**+**副詞(phɔɔdii)+平叙文(本動詞のみ)**

場面 6 TF1： โทษที อาทิตย์นี้ต้องอ่านหนังสือ พอดีวันอาทิตย์หน้าเรามีสอบ

(和訳：ごめん。今週は勉強しなければなりません。ちょうど来週テストがあります。)

(4) **副詞+平叙文**+**副詞+平叙文**

副詞 คือว่า(khɯɯ wâa)「実は」 、พอดี(phɔɔdii) 「ちょうど」

4.1 **副詞(khɯɯ wâa)+平叙文(本動詞のみ)** +**副詞(phɔɔdii)+平叙文(本動詞のみ)**

場面 1 TM16：เอ่อ คือว่าวันอาทิตย์นี้ผมไม่ค่อยว่างอะครับ พอดีมีธุระกับทางบ้าน

(和訳：{否定的反応}(ʔàə)、実は今週の日曜日は時間に余裕があまりないんです。ちょうど家族と用事があります。

4.2 副詞(khɯɯ wâa)+平叙文(本動詞のみ) +副詞(phɔɔdii)+ 平叙文(助動詞+本動詞)

場面 1 TF 45：คือว่าวันอาทิตย์หนูไม่ว่างค่ะ พอดีต้องพายายไปทำบุญที่วัด ขอโทษจริงๆค่ะ
แต่ถ้าเป็นวันอื่นหนูมาช่วยได้นะคะ

(和訳：実は日曜日は時間がありません。ちょうどおばあさんをお寺へ徳を積みに連れて行かなければなりません。本当にすみません。他の日なら、手伝いに行けます。)

副詞 คือ(khɯɯ)「実は」、副詞 พอดี(phɔɔdii) 「ちょうど」

4.3 副詞(khɯɯ)+平叙文(本動詞のみ) +副詞(phɔɔdii)+ 平叙文(本動詞のみ)

場面 1 TM 14：เอ่อ คือช่วงนี้ไม่ว่างครับ พอดีมีธุระกับทางบ้านครับ ต้องขอโทษด้วยจริงๆครับ

(和訳：{否定的反応}(ʔɤ̀ɤ̀)、実は最近は時間に余裕がありません。ちょうど家族と用事があります。本当に申し訳ございません。

(5) 接続詞+平叙文+平叙文

接続詞 เพราะ(phrɔ́)「から」

5.1 接続詞(phrɔ́)+平叙文(本動詞のみ)+ 平叙文(助動詞+本動詞)

場面 6 TF34 ：คงไม่ได้อะ เพราะช่วงนี้ติดสอบเก็บคะแนน ต้องทบทวนบทเรียน เดี๋ยวเราให้เบอร์ไว้
ถ้าไม่ได้จริงๆ ติดต่อมาถามได้ตลอดนะ

(和訳：無理だろうね。テストがあるから、勉強しなければなりません。
じゃあ、私の電話番号を教えます。翻訳ができないところがあれば、
私にいつでも連絡してもいいです。)

(6) 平叙文+接続詞+平叙文

接続詞 เพราะ(phrɔ́)「…から」

6.1 平叙文(本動詞のみ)+ 接続詞(phrɔ́)+平叙文(本動詞のみ)

場面 5 TM39：ไม่ว่างอะมึง เพราะอาทิตย์หน้ามีสอบกลางภาคแล้ว

(和訳：時間に余裕がない。来週、テストがあるから。)

(7) 副詞+平叙文+接続詞+平叙文

副詞 พอดี(phɔɔdii) 「ちょうど」、接続詞 เนื่องจาก(nɯ̂aŋ càak)、เพราะ(phrɔ́)「…から」

7.1 副詞(phɔɔdii)+平叙文(本動詞のみ)+接続詞(nɯ̂aŋ càak)+平叙文(本動詞のみ)

場面 6 TM25：โทษทีนะ พอดีเราไม่มีเวลาพอ เนื่องจากเราใกล้สอบแล้วอะ

(和訳：ごめんね、今、ちょうど時間に余裕がありません。試験期間が近づいているから。)

7.2 副詞(phɔɔdii)+ 平叙文(助動詞+本動詞)+接続詞(phrɔ́)+平叙文(本動詞のみ)

場面 6　TM40：　พอดีเราต้องทบทวนบทเรียน เพราะมีสอบ ขอโทษนะ

(和訳：ちょうど勉強しなければなりません。テストがあるから。ごめんね。

副詞 คือ(khɯɯ)「実は」、接続詞 เพราะ(phrɔ́)「…から」

7.3 副詞(khɯɯ)+平叙文(本動詞のみ) +接続詞(phrɔ́)+平叙文(助動詞+本動詞)

場面 1 TM47 ：ขอโทษครับ คือผมไม่ว่างเลย เพราะต้องเตรียมเอกสารนำเสนอวันจันทร์ อาจารย์ลองถามเพื่อนคนอื่นดูนะครับ

(和訳：すみません。実は時間に余裕が全くありません。月曜日の発表のレジュメを準備しなければならないから。別の人に聞いてもらえませんか。)

TT の{理由}[理由の内容+付加説明]の場面別の出現数と出現率を次頁の表 92 に示す。結果を参照すると、平叙文+平叙文(66%)の出現率が最も高く、そのうち平叙文(本動詞のみ)+平叙文(助動詞+本動詞)が最も多く用いられている(36.4%)。続いて、副詞が付く平叙文の出現率が二番目に高く(出現率合計 32.1%)、そのうち、副詞+平叙文+平叙文の出現率が最も高い(22.2%)。一方で、接続詞が付く平叙文はほとんど用いられていない(出現率合計 1.6%)。

表 92　TT:[理由の内容+付加説明]場面別の出現数と出現率

[理由の内容+付加説明]	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計
平叙文＋平叙文	**59**	**15**	**42**	**5**	**36**	**20**	**45**	**25**	**247 (66%)**
平叙文(本動詞のみ)＋平叙文(本動詞のみ)	7	5	8	2	2	4	2	2	32 (8.6%)
平叙文(助動詞+本動詞)＋平叙文(本動詞のみ)	14	6	13	2	15	9	11	9	79 (21%)
平叙文(本動詞のみ)＋平叙文(助動詞+本動詞)	38	4	21	1	19	7	32	14	136 (36.4%)
副詞+平叙文+平叙文	**9**	**10**	**9**	**10**	**6**	**16**	**6**	**17**	**83 (22.2%)**
副詞(phɔɔdii wâa)+平叙文(本動詞のみ)＋平叙文(助動詞+本動詞)	0	0	0	0	0	1	0	0	1 (0.3%)
副詞(phɔɔdii)+平叙文(本動詞のみ)＋平叙文(助動詞+本動詞)	6	4	7	8	4	8	2	9	48 (12.8%)
副詞(khɯɯ wâa)+平叙文(本動詞のみ)＋平叙文(助動詞+本動詞)	1	1	2	1	0	1	1	0	7 (1.9%)
副詞(khɯɯ)+平叙文(本動詞のみ)＋平叙文(本動詞のみ)	0	2	0	0	0	1	1	0	4 (1.1%)
副詞(khɯɯ)+平叙文(本動詞のみ)＋平叙文(助動詞+本動詞)	2	3	0	1	2	5	2	8	23 (6.1%)
平叙文+副詞+平叙文	**12**	**3**	**5**	**1**	**0**	**3**	**0**	**0**	**24 (6.4%)**
平叙文(本動詞のみ)＋副詞((phɔɔdii)+平叙文(本動詞のみ)	4	1	2	0	0	1	0	0	8 (2.1%)
平叙文(助動詞+本動詞)＋副詞((phɔɔdii)+平叙文(本動詞のみ)	8	2	3	1	0	2	0	0	16 (4.3%)
副詞+平叙文+副詞+平叙文	**4**	**3**	**5**	**0**	**0**	**0**	**0**	**1**	**13 (3.5%)**
副詞(khɯɯ wâa)+平叙文(本動詞のみ)＋副詞(phɔɔdii)+平叙文(本動詞のみ)	1	2	2	0	0	0	0	1	6 (1.6%)
副詞(khɯɯ wâa)+平叙文(本動詞のみ) ＋副詞(phɔɔdii)+ 平叙文(助動詞+本動詞)	1	0	2	0	0	0	0	0	3 (0.8%)
副詞(khɯɯ)+平叙文(本動詞のみ)＋副詞(phɔɔdii)+ 平叙文(本動詞のみ)	2	1	1	0	0	0	0	0	4 (1.1%)
接続詞+平叙文+平叙文	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**1**	**0**	**0**	**1 (0.3%)**
接続詞(phrɔ́)+平叙文(本動詞のみ)＋平叙文(助動詞+本動詞)	0	0	0	0	0	1	0	0	1 (0.3%)
平叙文+接続詞+平叙文	**0**	**0**	**2**	**0**	**1**	**0**	**0**	**0**	**3 (0.8%)**
平叙文(本動詞のみ)＋接続詞(phrɔ́)+平叙文(本動詞のみ)	0	0	2	0	1	0	0	0	3 (0.8%)
副詞+平叙文+接続詞+平叙文	**1**	**0**	**0**	**0**	**0**	**2**	**0**	**0**	**3 (0.8%)**
副詞(phɔɔdii)+平叙文(本動詞のみ) ＋接続詞(nûaŋ càak)+平叙文(本動詞のみ)	0	0	0	0	0	1	0	0	1 (0.3%)
副詞(phɔɔdii)+ 平叙文(助動詞+本動詞) ＋接続詞(nûaŋ càak)+平叙文(本動詞のみ)	0	0	0	0	0	1	0	0	1 (0.3%)
副詞(khɯɯ)+平叙文(本動詞のみ)＋接続詞(phrɔ́)+平叙文(助動詞+本動詞)	1	0	0	0	0	0	0	0	1 (0.3%)
合計	**85**	**31**	**63**	**16**	**43**	**42**	**51**	**43**	**374 (100%)**

①－場面 1(親・目上・重)　②－場面 2(疎・目上・重)　③－場面 3(親・目上・軽)　④－場面 4(疎・目上・軽)

⑤－場面 5(親・同等・重)　⑥－場面 6(疎・同等・重)　⑦－場面 7(親・同等・軽)　⑧－場面 8(疎・同等・軽)

7.4{理由}の内容の分析

本項では、日本語母語話者とタイ語母語話者の理由の内容を分析していく。理由説明の内容を分析するに当たり、[理由の内容]と[理由の内容+付加説明]に分け、それぞれについて詳しく見ていく。

まず、[理由の内容]については「自分に関係がある理由」と「自分と家族に関係がある理由」に分け、それぞれ下位分類として「明確な理由」(=どんな用事、約束があるか具体的に述べること)、と「不明確な理由」(=どんな用事、約束があるか具体的に示さずに「約束/用事がある」「時間がない」「忙しい」のような理由を述べること)という項目を設けた。分類ごとの両言語の回答例は以下の通りである。

理由の内容

1.自分に関係がある理由

1.1 明確な理由

回答例：日曜日はアルバイトがあって、行けないんです。ごめんなさい。

回答例：すみません。午後は授業の打ち合わせなんですけど、返しに行けそうにないです。

1.2 不明確な理由

回答例：そうですか？その日はちょっと用事があるので、手伝いに行けません。

回答例：ちょっと時間ないので、無理です。ごめんなさい。

2.自分と家族に関係がある理由

2.1 明確な理由

回答例：เอ่อ ผมต้องไปเที่ยวกับครอบครัวอะครับ ถ้าว่างจะมาช่วยนะครับ
(和訳：{否定的反応}(ʔɔ̀ɔ)、家族と旅行に行かなければなりません。もし、時間的に余裕があれば、手伝いに来ます。)

2.2 不明確な理由

回答例：คือว่าวันอาทิตย์นี้หนูไม่สะดวกนะคะ ต้องไปทำธุระกับแม่ เอาเป็นหลังเลิกเรียนได้ไหมคะ
(和訳：実は日曜日は都合が悪いです。母と用事で外出しなければなりません。よければ、授業が終わった後の時間はよろしいですか？)

また、[理由の内容+付加説明]については、「自分」「自分と家族」の下位分類として「明確」「不明確」に分け、さらにそれぞれの説明部分による下位分類として、説明の内容によって以下の 3 項目を設けた。

(1) 「理由の大切さを強調するという説明」(=断る原因となった事柄の重要さを強調したり、目標を達成するためにこれから何をしなければならないか予定を述べたりすること)
(2) 「時間的に都合が悪いという説明」(=余裕がないことや、都合が合わないことを述べる)
(3) 「心理的に負担であるという説明」(=話し手の心理的に困っている状況や、負の感情を述べる)

分類ごとの回答例は以下の通りである。

理由の内容+付加説明

1.自分に関係がある理由

1.1 明確な理由

1.1.1 理由の大切さを強調するという説明

回答例：ああ、すみません。日曜日はバイトがあって[理由の内容]、どうしても休めないです[付加説明]。

回答例：ごめんね、明日発表があるので[理由の内容]、いろいろ準備しないとやばい[付加説明]。

1.1.2 時間的に都合が悪いという説明

回答例：ああ、日曜日は部活の試合があり[理由の内容]、都合が合わないので[付加説明]、すみません。

回答例：ごめんなさい、来週テストがあります[理由の内容]。ちょっと忙しいです[付加説明]。チェックならできますよ。

回答例：ごめん、明日の発表の準備しないといけなくて[理由の内容]、ちょっと時間取れないわ[付加説明]。

1.1.3 心理的に負担であるという説明

回答例：明日、発表があるので[理由の内容]、めっちゃ大変です[付加説明]。ごめんな。

回答例：ขอโทษนะคะอาจารย์ หนูมีนัดติวหนังสือกับเพื่อนคะ หนูเรียนไม่ค่อยรู้เรื่องเลยค่ะ ขอโทษจริงๆนะคะ

(和訳：すみません 、友達とテスト勉強の約束があります[理由の内容]。勉強があまりできていません。[付加説明]、本当にすみません。)

回答例：โทษนะ ต้องเตรียมนำเสนอวันพรุ่งนี้ ยังไม่ซ้อมพูดไม่เสร็จเลย แกให้คนอื่นช่วยดีกว่า ขอโทษนะ

(和訳：ごめん。明日の発表のため、いろいろ準備しなくちゃならない[理由の内容]。まだ発表の練習ができていなくて[付加説明]。他の人に当たってみてくれる？ごめんなさい。)

1.2 不明確な理由

1.2.1 理由の大切さを強調するという説明

回答例：ああ、午後は用事あるんで[理由の内容]、どうしても抜けられそうにないんですが[付加説明]、誰かほかに行けそうな人探してみましょうか？

1.2.2 時間的に都合が悪いという説明

回答例：すみません。午後も用事があって[理由の内容]、時間がないです[付加説明]。

1.2.3 心理的に負担であるという説明：*本調査では見られなかった*

2.自分と家族に関係がある理由

2.1 明確な理由

2.1.1 理由の大切さを強調するという説明　*本調査では見られなかった*

2.1.2 時間的に都合が悪いという説明

回答例：ขอโทษจารย์ ไปช่วยไม่ได้จริงๆครับ ผมมีนัดกินข้าวกับทางบ้าน ไม่ว่างครับ

(和訳：すみません 、どうしても手伝いに行けないんです。実は家族と外食の約束があります[理由の内容]。時間がないんです[付加説明]。)

2.1.3 心理的に負担であるという説明　*本調査では見られなかった*

2.2 不明確な理由

2.2.1 理由の大切さを強調するという説明

回答例：ขอโทษนะคะอาจารย์ พอดีว่าอาทิตย์หนูมีนัดกับที่บ้านแล้วอะค่ะ ไม่ไปไม่ได้

(和訳：すみません 、ちょうど家族と用事があって[理由の内容]、行かないといけません[付加説明]。)

2.2.2 時間的に都合が悪いという説明

回答例：เอ่อ คือหนูไม่ว่างค่ะ พอดีมีธุระกับครอบครัวค่ะ

(和訳：{否定的反応}(ʔəə) 、実は時間がないんです[付加説明]。ちょうど家族と用事があります[理由の内容]。)

2.2.3 心理的に負担であるという説明　*本調査に見られなった*

次に、場面 1-8 における[理由の内容]と[理由の内容+付加説明]の出現数を見ていく。

7.4.1 場面 1-8 における[理由の内容]と[理由の内容+付加説明]の全体的な傾向

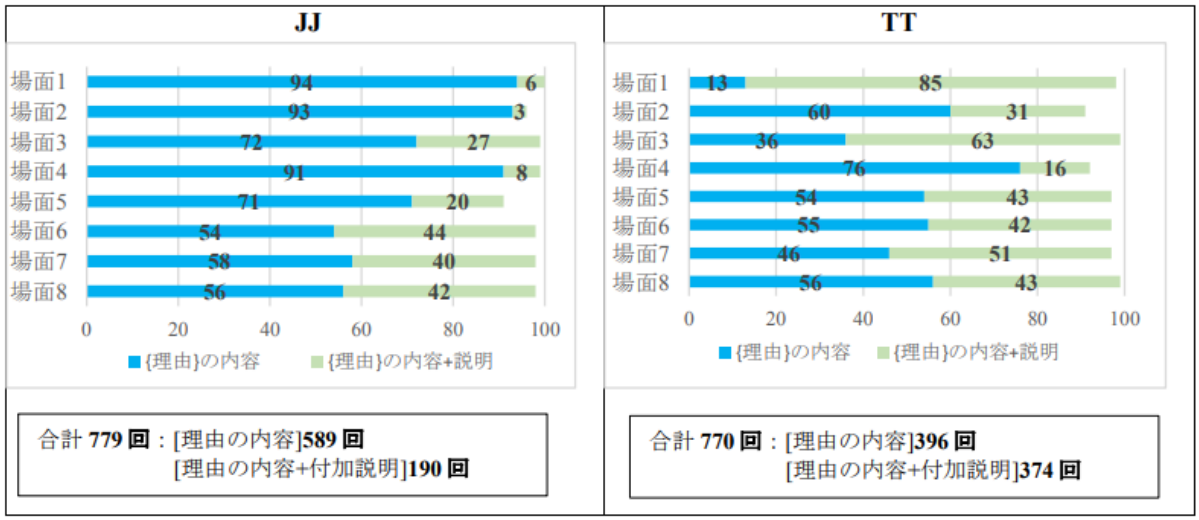


図 113　JJ と TT の[理由の内容]と[理由の内容+付加説明]の出現数

結果を参照すると、JJ は[理由の内容]のみを述べる強い傾向が見られる。すべての場面において[理由の内容]の出現数は 50 回以上であるが、上下関係によって出現数が左右される。目上からの依頼の場面(場面 1-4)では、出現数が非常に高い(72-93 回)のに対して、同等からの依頼の場面(場面 5-8)では、出現数がそれほど高くない(54-71 回)。

TT は JJ と違って、[理由の内容](396 回)と[理由の内容+付加説明](374 回)の出現数に大きな差が見られなかったが、上下関係や親疎関係によって出現数が左右される傾向が見られた。目上からの依頼の場面(場面 1-4)では、親しい目上なら(場面 1：85 回、場面 3：63 回)[理由の内容+付加説明]を、親しくない目上なら(場面 2：60 回、場面 4：76 回)[理由の内容]のみを述べる傾向が見られる。一方、同等からの依頼の場面(場面 5-8)では、[理由の内容]と[理由の内容+付加説明]の出現数はほぼ同程度である。

次に、[理由の内容]と[理由の内容+付加説明]の詳細を見ていく。下位分類ごとの出現数と出現数を表 93 に示す。

表 93　[理由の内容]と[理由の内容+付加説明]の下位分類ごとの出現数と出現率

理由の内容	JJ		TT	
	出現数	出現率	出現数	出現率
自分に関係がある理由	**589**	**75.6%**	**357**	**46.4%**
明確な理由	232	29.8%	252	32.7%
不明確な理由	357	45.8%	105	13.7%
自分と家族に関係がある理由	**0**	**0%**	**39**	**5.1%**
明確な理由	0	0%	18	2.4%
不明確な理由	0	0%	21	2.7%
小計	**589**	**75.6%**	**396**	**51.5%**
理由の内容+付加説明	**出現数**	**出現率**	**出現数**	**出現率**
自分に関係がある理由	**190**	**24.4%**	**328**	**42.5%**
明確な理由	**158**	**20.3%**	**318**	**41.2%**
理由の大切さを強調するという説明	40	5.1%	144	18.8%
時間的に都合が悪いという説明	104	13.4%	84	10.8%
心理的に負担であるという説明	14	1.8%	90	11.6%
不明確な理由	**32**	**4.1%**	**10**	**1.3%**
理由の大切さを強調するという説明	4	0.5%	0	0%
時間的に都合が悪いという説明	28	3.6%	10	1.3%
心理的に負担であるという説明	0	0%	0	0%
自分と家族に関係がある理由	**0**	**0%**	**46**	**6%**
明確な理由	**0**	**0%**	**37**	**4.9%**
理由の大切さを強調するという説明	0	0%	0	0%
時間的に都合が悪いという説明	0	0%	37	4.9%
心理的に負担であるという説明	0	0%	0	0%
不明確な理由	**0**	**0%**	**9**	**1.1%**
理由の大切さを強調するという説明	0	0%	5	0.6%
時間的に都合が悪いという説明	0	0%	4	0.5%
心理的に負担であるという説明	0	0%	0	0%
小計	**190**	**24.4%**	**374**	**48.5%**
合計	**779**	**100%**	**770**	**100%**

表 88 に示すように、JJ は自分に関係がある理由の出現率が[理由の内容]と[理由の内容+付加説明]を合わせて 100%である。また、[理由の内容]　(75.6%)を述べる強い傾向が見られ、そのうち、不明確な理由の出現率が高く(45.8%)、明確な理由を述べる場合の出現率の方が低い(29.8%)。また、[理由の内容+付加説明](24.4%)の場合、時間的に都合が悪いという明確な理由を説明する割合が最も高い(13.4%)。一方で、心理的に負担であるという説明はほとんど述べられない(1.8%)。

しかし、TT は JJ と違って、自分に関係がある理由以外にも、自分と家族に関係がある理由も述べる傾向が見られる。一方で、[理由の内容](51.5%)と[理由の内容+付加説明](48.5%)の出現率には大きな差が見られなかった。

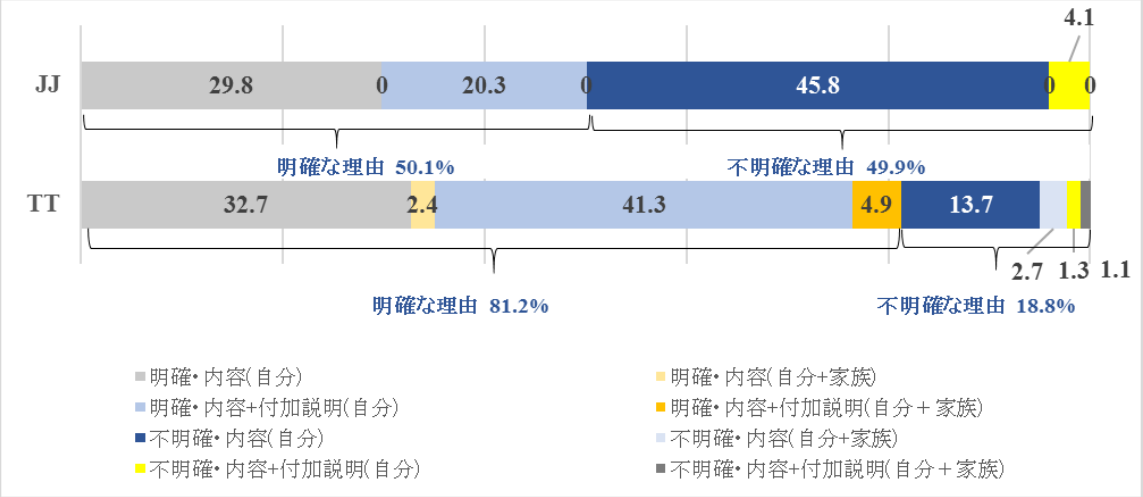
また、[理由の内容](51.5%)のうち、自分に関係がある理由(明確な理由)の出現率が最も高く(32.7%)、自分に関係がある理由(不明確な理由)の出現率は 13.7%に過ぎない。[理由の内容+付加説明](48.5%)のうち、自分に関係がある理由(明確な理由)の出現率は 42.6%であり、そのうち、明確な理由の大切さを強調するという説明の出現率が最も高く(18.8%)、時間的に都合が悪いという説明(10.9%)と、心理的に負担であるという説明(11.6%)の出現率がぞれぞれ 1 割である。

JJ と TT の相違点を以下の 4 点にまとめる。

(1) JJ は[理由の内容]のみを述べる強い傾向がある。しかし、TT は[理由の内容]と[理由の内容+付加説明]の出現率に大きな差が見られなかった。

(2) JJ は自分に関係がある理由のみを述べるのに対して、TT は自分以外にも自分と家族に関係がある理由を述べる。

(3) 以下の図 114 に示すように、JJ は明確な理由(出現率合計 50.1%と、不明確な理由(出現率合計 49.9%)の出現率が同程度である。しかし、TT は明確な理由の出現率(出現率合計 81.2%)のほうが、不明確な理由(出現率合計 18.8%)の出現率よりも著しく高い。

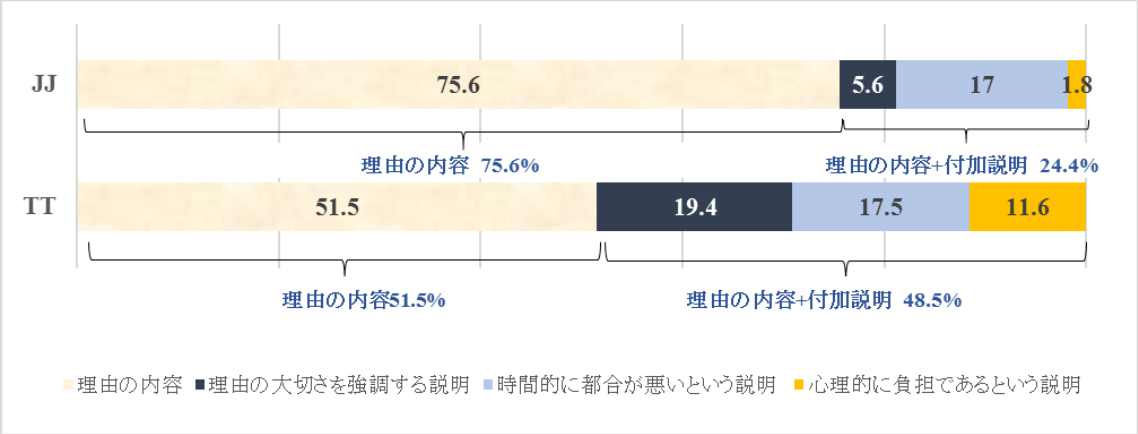


JJ	明確な理由 50.1%				不明確な理由 49.9%			
	内容 (自分) 29.8%	内容 (自分+家族) 0%	内容+説明 (自分) 20.3%	内容+説明 (自分＋家族) 0%	内容 (自分) 45.8%	内容 (自分+家族) 0%	内容+説明 (自分) 4.1%	内容+説明 (自分＋家族) 0%
TT	**明確な理由 81.2%**				**不明確な理由 18.8%**			
	内容 (自分) 32.7%	内容 (自分+家族) 2.4%	内容+説明 (自分) 41.3%	内容+説明 (自分＋家族) 4.9%	内容 (自分) 13.7%	内容 (自分+家族) 2.7%	内容+説明 (自分) 1.3%	内容+説明 (自分＋家族) 1.1%

図 114　JJ と TT の明確な理由と不明確な理由の出現率の比較

(4)以下の図 115 に示すように、[理由+付加説明]の場合、JJ においては時間的に都合が悪いという説明の出現率が突出している(出現率合計 17%)。しかし、理由の大切さを強調するという説明(出現率合計 5.6%)と心理的に負担であるという説明(出現率合計 1.8%)はほとんど述べられない。

一方で TT においては、理由の大切さを強調するという説明(出現率合計 19.4%)と、時間的に都合が悪いという説明の出現率(出現率合計 17.5%)が高い(出現率合計 19.4%)。また、心理的に負担であるという説明の出現率は約 1 割(出現率合計 11.6%)である。



JJ	理由の内容 75.6%	理由の内容+付加説明 24.4%											
		理由の大切さを強調するという説明 5.6%				時間的に都合が悪いという説明 17%				心理的に負担であるという説明 1.8%			
		明確 自分 5.1%	明確 +家族 0%	不明確 自分 0.5%	不明確 +家族 0%	明確 自分 13.4%	明確 +家族 0%	不明確 自分 3.6%	不明確 +家族 0%	明確 自分 1.8%	明確 +家族 0%	不明確 自分 0%	不明確 +家族 0%
TT	理由の内容 51.5%	理由の内容+付加説明 48.5%											
		理由の大切さを強調するという説明 19.4%				時間的に都合が悪いという説明 17.5%				心理的に負担であるという説明 11.6%			
		明確 自分 18.8%	明確 +家族 0%	不明確 自分 0%	不明確 +家族 0.6%	明確 自分 10.8%	明確 +家族 4.9%	不明確 自分 1.3%	不明確 +家族 0.5%	明確 自分 11.6%	明確 +家族 0%	不明確 自分 0%	不明確 +家族 0%

図 115　JJ と TT の[理由の内容+付加説明]の出現率の比較

7.4.2[理由の内容]の具体的な回答(場面 1-4)

次に、場面 1-4(目上からの依頼の場面)における JJ と TT の[理由の内容]の具体的な回答を参照したい。場面 1-2 は親しい教員、あるいは 2-3 回程度挨拶したことがある程度の親しくない学科の教員に、日曜日にオープンキャンパスの準備をすることを頼まれるという場面で、断りの理由は明示していない。場面 3-4 は「昼休みに部屋へ本を取りに来て、図書館に返却してほしい」と教員から依頼される場面で、断りの理由については「昼休み、友達との打ち合わせがあります」と明示している。

表 94　日本語母語話者(JJ)：場面 1-4 における[理由の内容]の具体的な回答

理由の内容					
	場面 1 目上・親・重	場面 2 目上・疎・重	場面 3 目上・親・軽	場面 4 目上・疎・軽	合計 (回)
自分に関係する理由	**94**	**93**	**72**	**91**	**350**
明確な理由	**3**	**4**	**22**	**5**	**34**
部活がある	3	3			6
バイトがある		1			1
(授業の課題について) 打ち合わせがある			15	4	19
授業がある			7	1	8
不明確な理由	**91**	**89**	**50**	**86**	**316**
用事/約束/先約がある	91	89	48	82	310
時間がない/忙しい			2	4	6
自分と家族に関係する理由	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
明確な理由	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
不明確な理由	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**

場面 1-4 では、JJ は自分に関係する理由(不明確な理由)を述べる傾向がある。また、場面 3-4 においては、DCT に断りの理由が明確に明示してあっても、不明確な理由を述べる結果が多いことが明らかになった。明確な理由を述べる場合、「(1)部活」「(2)バイト」「(3)打ち合わせ」「(4)授業」が理由として取り上げられている。

回答例は以下の通りである。

(1)ああ、日曜日は部活の試合があるので、今回は控えさせていただけないでしょうか。

(2)えーと、日曜日はアルバイトがあって、行けないんです。ごめんなさい。次の機会、
またお願いします。

(3)すみません。午後は打ち合わせなんですけど、返しに行けそうにないです。

(4)本当にすみません。授業があるので、ちょっと難しいです。明日、返してもいいですか？

次に、TT の[理由の内容]の具体的な回答を見ていく。

表 95　タイ語母語話者(TT)：場面 1-4 における[理由の内容]の具体的な回答

理由の内容					
	場面 1 目上・親・重	場面 2 目上・疎・重	場面 3 目上・親・軽	場面 4 目上・疎・軽	合計 (回)
自分に関係する理由	**2**	**33**	**36**	**75**	**146**
明確な理由	**2**	**0**	**27**	**51**	**80**
市役所で手続きを実行する	0	0	1	0	**1**
宿題が(山のように)たくさんある	1	0	0	0	**1**
塾でテストがある	1	0	0	0	**1**
(授業の課題について) 打ち合わせがある	0	0	20	46	**66**
別の科目のテストがある	0	0	1	0	**1**
英語のレポートを書く	0	0	2	0	**2**
英語の宿題をする	0	0	0	1	**1**
発表がある	0	0	2	2	**4**
午後、授業がある	0	0	1	0	**1**
午後、テスト勉強の約束がある	0	0	0	2	**2**
不明確な理由	**0**	**33**	**9**	**24**	**66**
用事/約束/先約がある	0	27	6	24	**57**
時間がない/忙しい	0	6	3	0	**9**
自分と家族に関係する理由	**11**	**27**		**1**	**39**
明確な理由	**11**	**6**	**0**	**1**	**18**
家族の自営業の仕事を手伝う	1	1	0	0	2
両親を病院に連れて行く	1	1	0	0	2
病気になったうちの猫を病院へ 連れて行く	1	0	0	0	1
弟/妹と動物園へ遊びに行く	1	0	0	0	1
家族と海外に行く	1	0	0	0	**1**
田舎の親戚を訪問する	2	2	0	0	**4**
家族と食事する	1	0	0	0	**1**
葬式に参加する	1	0	0	0	**1**
新築儀礼に参加する	1	0	0	0	**1**
おばあさんの見舞いに病院へ行く	0	1	0	1	**2**
親戚の引っ越しを手伝う	0	1	0	0	**1**
家族と家具を買いに行く	1	**0**	0	0	**1**
不明確な理由	**0**	**21**	**0**	**0**	**21**
家族と用事がある	0	21	0	0	21

TT は JJ と違い、どこで何をするかについて、主に学業のことを具体的に説明する特徴がある。例えば、「(1)宿題がたくさんある」「(2)塾でテストがある」「(3)英語のレポートを書く」「(4)英語の宿題をする」「(5)テスト勉強の約束がある」などである。

回答例は以下の通りである。

(1)จารย์ น่าจะไม่ได้ครับ งานผมกองเป็นภูเขาเลย

(和訳：[呼びかけ] (caan)、無理はずです。宿題が山のようにたくさんあります。)

(2)เอ่อ ที่ติวเตอร์มีสอบปลายภาคพอดี ต้องขอโทษด้วย เดี๋ยวผมลองติดต่อเพื่อนที่ว่างให้นะครับ

(和訳：{否定的反応}(ʔəə)、ちょうど塾でテストがあります。申し訳ございません。
じゃあ、私が時間に余裕がある友達に聞いてみますね。)

(3)จารย์ หนูต้องเขียนรายงานวิชาภาษาอังกฤษส่งอะค่ะ เดี๋ยวหนูไปถามเพื่อนคนอื่นนะคะ

(和訳：[呼びかけ] (caan)、英語のレポートを書かなければなりません。じゃあ、友達に聞いてみますね。)

(4)เฮ๋ อาทิตย์หรอครับ ต้องทำการบ้านวิชาภาษาอังกฤษ

(和訳：{驚き}(ʔěe)　日曜日ですか？英語の宿題をしなければなりません。)

(5)เอ่อ หนูอยากช่วยนะคะ แต่หนูมีนัดติวสอบ

(和訳：{否定的反応}(ʔàə)、手伝いたいんですけど、午後、テスト勉強の約束があります。)

自分と家族に関係がある理由については、家族内の活動を理由として取り上げる傾向が見られた。例えば、「(6)食事」「(7)親戚の訪問」「(8)儀式への参加」「(9)買い物」「(10)見舞い」「(11)旅行」などである。回答例は以下の通りである。

(6)ขอโทษจารย์ ไปไม่ได้จริงๆครับ ผมมีนัดกินข้าวกับทางบ้าน

(和訳：すみません、どうしても行けないんです。家族と食事の約束があります。)

(7)วันอาทิตย์นี้คงไม่ได้ค่ะ หนูต้องไปเยี่ยมญาติต่างจังหวัดกับที่บ้านทั้งวันเลย ขอโทษด้วยนะคะ

(和訳：今週の日曜日は無理でしょう。一日中、田舎の親戚を訪問しなければなりません。すみません。)

(8)อาจารย์ ขอโทษครับ ผมต้องไปงานศพกับที่บ้าน คราวหน้าเดี๋ยวผมช่วยครับ

(和訳：[呼びかけ] (ʔaa caan)、すみません。家族と葬式に参加しなければなりません。今度、またよろしくお願いします。)

(9)พอดีวันอาทิตย์นี้มีนัดจะไปซื้อเฟอร์นิเจอร์กับที่บ้านค่ะ ขอโทษด้วยนะคะ

(和訳：ちょうど今週の日曜日に家族と家具を買いに行く約束があります。すみません。)

(10)เอ่อ ผมต้องไปเยี่ยมยายที่โรงพยาบาล ขอโทษนะครับ

(和訳：{否定的反応}(ʔàə)、おばあさんの見舞いに病院へ行かなければなりません。すみません。)

(11)พอดีวันอาทิตย์ทางครอบครัวจะไปเที่ยวต่างประเทศค่ะ ขอโทษด้วยนะคะ

(和訳：ちょうど日曜日に家族と海外旅行へ行きます。すみません。)

7.4.3[理由の内容+付加説明]の具体的な回答(場面 1-4)

次に、JJ と TT の[理由の内容+付加説明]の具体的な回答を見ていく。

表 96　日本語母語話者(JJ)：場面 1-4 における[理由の内容+付加説明]の具体的な回答

理由の内容+付加説明						
		場面 1 目上・親・重	場面 2 目上・疎・重	場面 3 目上・親・軽	場面 4 目上・疎・軽	合計 (回)
自分に関係する理由		**6**	**3**	**27**	**8**	**44**
明確な理由		**6**	**3**	**2**	**1**	**12**
理由の大切さを強調するという説明		**3**	**2**	**2**	**1**	**8**
理由 説明	バイトがある どうしても休めない	3	2	0	0	**5**
理由 説明	打ち合わせがある 急ぎだ	0	0	2	1	**3**
時間的に都合が悪いという説明		**3**	**1**	**0**	**0**	**4**
理由 説明	部活がある 都合が合わない	3	1	0	0	**4**
心理的に負担であるという説明		**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
自分と家族に関係する理由		**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
不明確な理由				**25**	**7**	**32**
理由の大切さを強調するという説明		**0**	**0**	**3**	**1**	**4**
理由 説明	用事/約束がある どうしても抜けられそうにない	0	0	3	1	**4**
時間的に都合が悪いという説明		**0**	**0**	**22**	**6**	**28**
理由 説明	用事/約束がある					
	間に合わない			4		**4**
	時間がない/時間が取れない	0	0	18	6	**24**
心理的に負担であるという説明		**0**	**0**	**0**	**0**	**0**

明確な理由を述べる場合は、理由の大切さを強調するという説明の出現数が最も多い(8 回)のに対して、不明確な理由を述べる場合は、時間的に都合が悪いという説明の出現数が最も多い(28 回)。一方、心理的に負担であるという説明は全く出現しない。

時間的に都合が悪いという説明の回答例は以下の通りである。

(1)えーと、日曜日はアルバイトがあって、どうしても休めないので、行けません。ごめんなさい。次の機会、またお願いします。

(2) 午後は約束で、ちょっと抜けられそうにないんです。無理そうです。すみません。

(3)ああ、午後は打ち合わせがあって、急ぎなんですが、誰かほかに行けそうな人探してみましょうか？

(4)ああ、日曜日は部活の試合があり、都合が合わないので、今回は控えさせていただけないでしょうか。

表 97　タイ語母語話者(TT)：場面 1-4 における[理由の内容+付加説明]の具体的な回答

理由の内容+付加説明						
		場面 1 目上・親・重	場面 2 目上・疎・重	場面 3 目上・親・軽	場面 4 目上・疎・軽	合計 (回)
自分に関係する理由		**50**	**20**	**63**	**16**	**149**
明確な理由		**48**	**17**	**63**	**16**	**144**
理由の大切さを強調するという説明		**22**	**8**	**41**	**13**	**84**
理由 説明	後輩にテスト勉強を教える もう約束してある	13	0	0	0	**13**
理由 説明	塾で勉強する 今回はテストがある	4	3	0	0	**7**
理由 説明	たくさんの宿題がある 急いでやらないといけない	5	5	0	0	**10**
理由	授業の課題について打ち合わせがある					
説明	打ち合わせをキャンセルできない	0	0	3	2	**5**
	友達がもう 30 分待っている	0	0	4		**4**
	友達が食堂で待っている	0	0	2	2	**4**
	明日、提出する	0	0	0	2	**2**
	明日、発表する	0	0	6	0	**6**
	行かないと、課題が完成できない	0	0	8	1	**9**
	行かないと、何をやるか分からなくなる	0	0	5		**5**
	急いでいる	0	0	7	5	**12**
	急いで授業の課題をやらないといけない	0	0	6	0	**6**
理由 説明	これからレポートを印刷に行く 明日、提出する	0	0	0	1	**1**
時間的に都合が悪いという説明		**12**	**4**	**22**	**3**	**41**
理由	月曜日の発表を準備している	3	0	0	0	3
	塾で勉強する	9	4	0	0	13
	友達と打ち合わせがある	0	0	20	1	21
説明	時間がない					
理由 説明	友達と打ち合わせがある 長い時間がかかりそうだ	0	0	2	2	4
心理的に負担であるという説明		**14**	**5**			**19**
理由 説明	友達とテスト勉強の約束がある 勉強があまりできていない	8	5	0	0	**13**
理由 説明	テスト勉強をする 試験に合格できるかどうか心配する	6	0	0	0	**6**
不明確な理由		**2**	**3**	**0**	**0**	**5**
理由の大切さを強調するという説明		**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
時間的に都合が悪いという説明		**2**	**3**	**0**	**0**	**5**
理由 説明	用事/約束がある 時間がない	2	3	0	0	5
心理的に負担であるという説明		**0**	**0**	**0**	**0**	**0**

自分と家族に関係する理由		**35**	**11**	**0**	**0**	**46**
明確な理由		**30**	**7**	**0**	**0**	**37**
理由の大切さを強調するという説明		**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
時間的に都合が悪いという説明		**30**	**7**	**0**	**0**	**37**
理由	家族と外食する	3	0	0	0	3
	田舎の親戚を訪問する	9	0	0	0	9
	お母さんと市場で食べ物を売る	3	2	0	0	5
	おばあさんの見舞いに病院へ行く	1	0	0	0	1
	両親を病院に連れて行く	5	0	0	0	5
	おばあさんをお寺に徳を積みに連れて行く	2	2	0	0	4
	お母さんと市場へ買い物に行く	3	3	0	0	6
	家族と旅行に行く	4	0	0	0	4
説明	時間がない					
心理的に負担であるという説明		**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
不明確な理由		**5**	**4**	**0**	**0**	**9**
理由の大切さを強調するという説明		**3**	**2**	**0**	**0**	**5**
理由	家族と用事/約束がある					
説明	とても大事な用事である	1	0	0	0	**1**
	どうしても行かないといけない	1	1	0	0	**2**
	キャンセルできない	1	1	0	0	**2**
時間的に都合が悪いという説明		**2**	**2**	**0**	**0**	**4**
理由 説明	家族と用事/約束がある 時間がない	2	2	0	0	4
心理的に負担であるという説明		**0**	**0**	**0**	**0**	**0**

TT は、自分に関することだけでなく、自分と家族に関する理由を述べる傾向がある。また、付加説明のバリエーションが豊富である。中でも、理由の大切さを強調するという説明と時間的に都合が悪いという説明の出現率が高い。また、心理的に負担であるという説明の中では、学業に対する不安が述べられることが多い。

理由の大切さを強調するという説明の回答例は以下の通りである。

(1)ขอโทษนะคะ คือกลางวันนี้มีนัดคุยงานกับเพื่อน เลื่อนไม่ได้ด้วย คงเอาไปคืนให้ไม่ได้ค่ะ

(和訳：すみません、実は授業の課題について友達と打ち合わせがあって、その予定をキャンセルできません。本を返しに行けないと思います。)

(2)ขอโทษค่ะ พอดีช่วงพักกลางวันหนูต้องไปคุยงานกับเพื่อน เดี๋ยวเข้าใจงานไม่ตรงกัน

(和訳：すみません。ちょうど授業の課題について友達と打ち合わせに行かなければなりません。行かないと、何をやるか分からなくなります。)

(3)ขอโทษครับ พอดีตอนเที่ยงผมต้องไปคุยงานกับเพื่อนครับ ต้องส่งงานภายในสัปดาห์นี้ครับ

(和訳：すみません。昼休みは友達と打ち合わせに行かなければなりません。今週までにレポートを出さなければならないんです。)

(4)ขอโทษครับ พอดีตอนกลางวันต้องไปปริ้นท์งาน ต้องส่งภายในวันพรุ่งนี้ ไม่สะดวกจริงๆครับ

(和訳：すみません。ちょうど昼休みは宿題の印刷に行かなければなりません。明日までに提出する予定なんです。どうしても都合が悪いです。)

(5)ขอโทษนะคะ หนูต้องอ่านหนังสือเตรียมตัวสอบค่ะ หนูกลัวทำข้อสอบไม่ได้ หนูขอโทษจริงๆค่ะ
(和訳：すみません。テスト勉強をしなければなりません。試験に合格できるかどうか心配なんです。本当にすみません。)

7.4.4[理由の内容]の具体的な回答(場面 5-8)

次に、場面 5-8(同等からの依頼の場面)における JJ と TT の[理由の内容]の具体的な回答を参照する。場面 5-6 は親しい友達、あるいは親しくない同級生に、「3,4 枚ぐらいの英語の文章を一緒に日本語/タイ語に翻訳してほしい」と頼まれるという場面で、断りの理由は「来週、中間試験がある」ことである。場面 7-8 は親しい友達、あるいは親しくない同級生に、宿題をチェックすることを頼まれるという場面で、断りの理由は「明日、発表がある」ことである。

表 98　日本語母語話者(JJ)：場面 5-8 における[理由の内容]の具体的な回答

理由の内容					
	場面 5 **同等・親・重**	**場面 6** **同等・疎・重**	**場面 7** **同等・親・軽**	**場面 8** **同等・疎・軽**	**合計** **(回)**
自分に関係する理由	**71**	**54**	**58**	**56**	**239**
明確な理由	**69**	**46**	**44**	**39**	**198**
テストがある	66	46			**112**
英語が苦手だ	3				**3**
発表がある			44	39	**83**
不明確な理由	**2**	**8**	**14**	**17**	**41**
用事/約束/先約がある			1	1	**2**
時間がない/忙しい	2	8	13	16	**39**
自分と家族に関係する理由	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
明確な理由	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
不明確	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**

場面 5-8 では、JJ は自分に関係する理由(明確な理由)を述べる傾向が見られる。回答例は以下の通りである。

(1)ごめん。無理！私もテストある。他を当たってみて。
(2) 無理！！私の英語はちょっとできない。すまんねー
(3) こっちもプレゼンがあるんだ。今回はごめんね。

表 99　タイ語母語話者(TT)：場面 5-8 における[理由の内容]の具体的な回答

理由の内容					
	場面 5 **同等・親・重**	**場面 6** **同等・疎・重**	**場面 7** **同等・親・軽**	**場面 8** **同等・疎・軽**	**合計** **(回)**
自分に関係する理由	**54**	**55**	**46**	**56**	**211**
明確な理由	**51**	**41**	**36**	**44**	**172**
宿題が(山のように)たくさんある	5			2	**7**
まだ宿題を全然やっていない	4	3		2	**9**
明日、宿題を出す			2		**2**
発表がある			28	30	**58**
発表の原稿を頑張って暗記している			1		**1**
まだ、発表の原稿を書いていない				1	**1**
来週、テストがある	24	21			**45**
来週の試験のため、勉強する	13	11			**24**
英語が苦手だ	5	6			**11**
数学が苦手だ			5	9	**14**
不明確な理由	**3**	**14**	**10**	**12**	**39**
時間がない/忙しい	3	14	10	12	**39**
自分と家族に関係する理由	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
明確な理由	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
不明確な理由	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**

TT は JJ と違い、「テスト/発表がある」「英語/数学が苦手だ」といった理由のほかに、自分が困っている状態や相手に迷惑されたくないことを理由として具体的に説明することもある。

回答例は以下の通りである。

(1)โทษทีนะ เรายังไม่ได้ทำการบ้านซักวิชาเลย ลองให้คนอื่นดูละกันนะ

(和訳：ごめん。まだ宿題を全然やっていないんだ。他の人に、聞いてみてね。)

(2)โทษที เรายังไม่ได้เขียนสคริปต์นำเสนอของวันพรุ่งนี้เลยอะ

(和訳：ごめん。明日の発表の原稿をまだ書いていないんだ。)

7.4.5[理由の内容+付加説明]の具体的な回答(場面 5-8)

次に、JJ と TT の[理由の内容+付加説明]の具体的な回答を見ていく。

表 100　日本語母語話者(JJ)：場面 5-8 における[理由の内容+付加説明]の具体的な回答

理由の内容+付加説明						
		場面 5 同等・親・重	場面 6 同等・疎・重	場面 7 同等・親・軽	場面 8 同等・疎・軽	合計 (回)
自分に関係する理由		**20**	**44**	**40**	**42**	**146**
明確な理由		**20**	**44**	**40**	**42**	**146**
理由の大切さを強調するという説明		**7**	**16**	**3**	**6**	**32**
理由	テストがある					**0**
説明	しっかり勉強しないといけない	5	12			**17**
	勉強しないと死にそう	2	4			**6**
理由	発表がある					**0**
説明	いろいろ準備しないといけない			1	4	**5**
	発表を練習したい			2	2	**4**
時間的に都合が悪いという説明		**13**	**25**	**29**	**33**	**100**
理由	テストがある					0
説明	時間がない	6	14			**20**
	忙しい	7	11			**18**
理由	発表がある					**0**
説明	余裕がない			12	9	**21**
	時間がない			8	14	**22**
	忙しい			9	10	**19**
心理的に負担であるという説明			**3**	**8**	**3**	**14**
理由	テストがある					
説明	困る		1			**1**
	全然テスト勉強を始めていない		2			**2**
理由	発表がある					
説明	死にそうだ			2		**2**
	めっちゃ大変だ				2	**2**
	まだ準備できていない			4	1	**5**
	今日の夜はかなりやばいかも			2		**2**

[理由の内容+付加説明]の場合、時間的に都合が悪いという説明の出現数が最も多いのに対して、心理的に負担であるという説明については全く出現しない。

回答例は以下の通りである。

(1)ああ、申し訳ないですが、僕明日の発表のために、準備しないといけないんで、チェックする時間は取れないです。

(2)いや、俺もテストがあって、よくテスト勉強しないと死にそう。ごめんね。

(3)明日か？私も発表あって、今日の夜はかなりやばいかも。ごめん。

表 101　タイ語母語話者(TT)：場面 5-8 における[理由の内容+付加説明]の具体的な回答

理由の内容+付加説明						
		場面 5 同等・親・重	場面 6 同等・疎・重	場面 7 同等・親・軽	場面 8 同等・疎・軽	合計 (名)
自分に関係する理由		**43**	**42**	**51**	**43**	**179**
明確な理由		**43**	**40**	**51**	**40**	**174**
理由の大切さを強調するという説明		**24**	**15**	**10**	**11**	**60**
理由	たくさんの宿題がある					**0**
説明	急いでやらないといけない		2		1	**3**
理由	テストがある					**0**
説明	テスト勉強をしないといけない	11	8			**19**
	テスト勉強をやらせる	10	4			**14**
	しっかり勉強しないと、やばい	2				**2**
	成績が悪かったら、やばい	1	1			**2**
理由	発表がある					**0**
説明	準備をさせる			3	6	**9**
	今日中、急いでやらないといけない			5	2	**7**
	先生は採点が難しい			2	2	**4**
時間的に都合が悪いという説明		**9**	**10**	**17**	**7**	**43**
理由	月曜日の発表を準備している			17	7	**24**
	テストがある	9	7			**16**
	レポートを書いている		1			**1**
	たくさんの宿題がある		2			**2**
説明	時間がない					**0**
心理的に負担であるという説明		**10**	**15**	**24**	**22**	**71**
理由	友達とテスト勉強の約束がある					**0**
説明	勉強があまりできていない	3	2			**5**
理由	テスト勉強をする					**0**
説明	試験に合格できるかどうか心配する					**0**
	先回のテストの成績が悪かった		2			**2**
	まだテスト勉強を始めていない	4	5			**9**
	読むことが多くて、復習に間に合うかどうか心配する	3	4			**7**
	勉強したことがよく分からない		1			**1**
	今回のテストが大変難しい		1			**1**
理由	発表がある					**0**
説明	然準備ができていない			11	9	**20**
	まだ、発表の資料を作っていない			1	1	**2**
	まだ、発表を練習していない			2	4	**6**

	まだ、原稿を書いていない			3	1	**4**
	まだ、原稿を読んでいない			3	3	**6**
	発表を 3 回練習しても、なかなか原稿を覚えられない			1	1	**2**
	大変心配している			3	3	**6**
不明確な理由		**0**	**2**	**0**	**3**	**5**
理由の大切さを強調するという説明		**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
時間的に都合が悪いという説明			**2**		**3**	**5**
理由	用事/約束がある					**0**
説明	時間がない		2		3	**5**
心理的に負担であるという説明		**0**	**0**	**0**	**0**	**0**

TT は JJ と違い、心理的に負担であるという説明の出現数が最も多い。回答例は以下の通りである。

(1) โทษนะ ต้องเตรียมนำเสนอวันพรุ่งนี้ ยังไม่ซ้อมพูดไม่เสร็จเลย แกให้คนอื่นช่วยดีกว่า ขอโทษนะ
(和訳：ごめん。明日の発表のため、いろいろ準備しなければなりません。まだ発表の練習ができていなくて。他の人に当たってみてくれる？ごめんなさい。)

(2) เอ่อ ไม่ได้หวะ พรุ่งนี้กูต้องเตรียมตัวนำเสนองาน ซ้อมพูดมา3รอบละ ยังไม่เป๊ะเลย
(和訳：{否定的反応}(ʔəə)、無理だよ。明日発表のために準備しなければなれないんだ。今、3 回練習しても、発表がなかなかうまくいかないんだ。)

(3) ขอโทษนะมึง กูมีสอบอาทิตย์หน้า มันเยอะมาก กลัวอ่านไม่ทัน
(和訳：ごめん。来週試験がある。読む内容が多くて、急がないと間に合わないんじゃないかって心配しているんだ。)

7.4.6 まとめ

JJ と TT の理由の述べ方の特徴を以下 6 点にまとめる。

(1) JJ は[理由の内容]のみを述べる強い傾向が見られるのに対して、TT は上下関係と親疎関係によって[理由の内容]と [理由の内容+付加説明]出現数が左右される。TT においては、目上からの依頼の場面においては、親しい目上に対する場合には [理由の内容+付加説明]を、親しくない目上に対する場合には [理由の内容]のみを述べる傾向が見られる。一方、同等からの依頼の場面では、[理由の内容]と[理由の内容+付加説明]の出現数が同程度である。

(2) JJ は自分に関係がある理由のみを述べるのに対して、TT は自分以外にも家族に関係がある理由を述べる場合もある。

(3) JJ は明確な理由と、不明確な理由の出現率が同程度である。しかし、TT においては、不明確な理由より、明確な理由のほうが出現率が著しく高い。

(4) [理由+付加説明]の場合、目上であるか同等であるかに関わらず、JJ は「時間的に都合が悪い」という説明を述べる強い傾向が見られ、心理的に負担であるという説明をするケースが少ない。しかし、TT は理由の大切さを強調するという説明、時間的に都合が悪いという説明、心理的に負担であるという説明という３つの種類の説明をいずれも多用することが分かった。目上からの依頼の場面では、理由の大切さを強調するという説明と、時間的に都合が悪いという説明を、同等からの依頼の場面では、理由の大切さを強調するという説明と、心理的に負担であるという説明を述べる傾向が見られる。

(5) 目上からの依頼の場面では、JJ においては自分に関係する理由(不明確な理由)を述べるケースが多く見られる。特筆すべきなのは、DCT に断りの理由が明確に明示してあっても、不明確な理由を述べる結果が多く見られたことである。しかし、TT は JJ と違い、どこで何をするか（主に学業のこと）を具体的に説明する特徴がある。

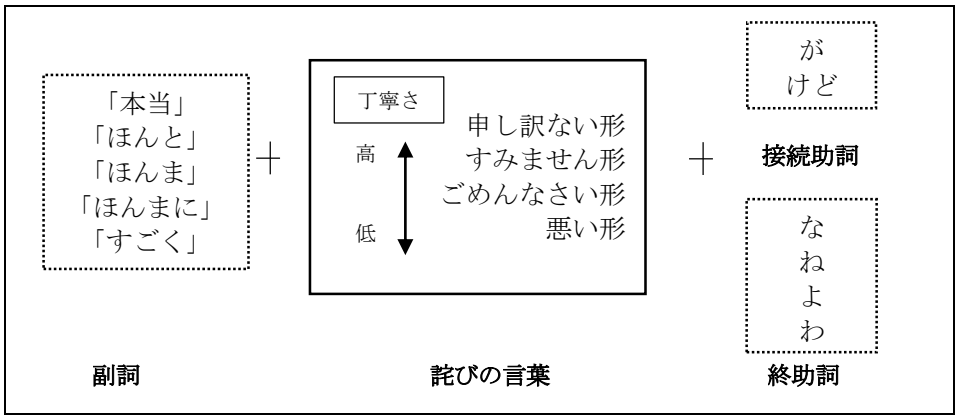
(6) 同等からの依頼の場面では、JJ も TT も自分に関係する理由(明確な理由)を述べることが共通点である。しかし、TT のほうが理由をより具体的に説明する特徴が見られ、自分が困っている状態にあり、相手に迷惑をかけられたくないことを理由として説明することもある。

7.5{詫び}

{詫び}の意味公式については、その言語形式のみを分析した。

7.5.1{詫び}：日本語母語話者

日本語の{詫び}表現の構造は以下に示す。



*点線に囲まれるものは、省略されることがある。

日本語の{詫び}表現は以下の 4 つの要素で構成される。

(1)副詞　副詞の中で多く使われているのは、「本当に」である。同等に詫びる場合は、「すごく」「ほんと」のほかにも、関西弁の「ほんまに」「ほんま」の使用も見られる。

(2)詫びの言葉　この要素については、「すみません形」「ごめんなさい形」「申し訳ない形」「悪い形」という 4 つのグループに分類する。

(3)接続助詞　詫びの言葉に「が」「けど」が付く場合もある。

(4)終助詞　「な」「ね」「よ」「わ」が使われる。

場面ごとの出現数と出現率を表 102 に示す。

表 102　JJ{詫び}：場面別の出現数と出現率

{詫び}				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計
副詞	詫びの言葉	接続助詞	終助詞									
申し訳ない形												
	申し訳ない									2		**2**
	申し訳ないです			7	4		3					**14**
	申し訳ないです	が		1	7		4				1	**13**
本当に	申し訳ないです			4			1					**5**
すごく	申し訳ないです	が		1								**1**
	申し訳ないんです				1		1					**2**
ほんまに	申し訳ないんです	けど		1								**1**
	申し訳ないのです	が			1							**1**
本当に	申し訳ないのです	が		3								**3**
	申し訳ありません			1	3							**4**
	申し訳ありません	が		3	3		1					**7**
	申し訳ございません			10	5							**15**
本当に	申し訳ございません			2								**2**
小計				**33**	**24**	**0**	**10**	**0**	**0**	**2**	**1**	**70 (8.8%)**
すみません形												
	すみません			51	59	41	52	4	28		21	**256**
	すみません	が		2	3	3	2		1		1	**12**
本当に	すみません			7	2		2		2		1	**14**
	すいません			9	11	15	17	1	7		3	**63**
	すいません	が		1								**1**
ほんまに	すいません			1	1							**2**
	すんません					2						**2**
	すんまへん					1		1		1		**3**
	すまへん	けど						1				**1**
ほんまに	すんまへん						1	1				**2**
	すまん									1	1	**2**
	すまん	けど								1		**1**
	すまん		な								1	**1**
	すまん		ね					1				**1**
小計				**71**	**76**	**62**	**74**	**9**	**38**	**3**	**28**	**361 (42.5%)**

*下線部は方言(関西弁)の表現である。

①－場面 1(親･目上･重)　②－場面 2(疎･目上･重)　③－場面 3(親･目上･軽)　④－場面 4(疎･目上･軽)

⑤－場面 5(親･同等･重)　⑥－場面 6(疎･同等･重)　⑦－場面 7(親･同等･軽)　⑧－場面 8(疎･同等･軽)

副詞	詫びの言葉	接続助詞	終助詞	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計
ごめんなさい												
	ごめん				2	3		42	18	63	20	**148**
	ごめん	けど			1							**1**
	ごめん		な					3	3	4	4	**14**
	ごめん		ね					14	3	21	13	**51**
	ごめん		よ					1		1		**2**
ほんと	ごめん							1				**1**
本当に	ごめん										1	**1**
本当に	ごめん		ね					2	1	4		**7**
ほんま	ごめん									1		**1**
ほんまに	ごめん							1	1	2	1	**5**
ほんま	ごめん		な					1	1	1		**3**
	ごめんや	けど							1	1		**2**
	ごめんなさい			7	7	23	12	1	40	2	35	**127**
本当に	ごめんなさい					1						**1**
小計				**7**	**10**	**27**	**12**	**66**	**68**	**100**	**74**	**364 (45.6%)**
悪い形												
	悪い		な							2		**2**
	悪い	けど									1	**1**
ほんま	悪い		わ								1	**1**
小計				**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**2**	**2**	**4 (0.5%)**
合計				**111**	**110**	**89**	**96**	**75**	**106**	**107**	**105**	**799 (100%)**

*下線部は方言(関西弁)の表現である。

①－場面 1(親･目上･重)　②－場面 2(疎･目上･重)　③－場面 3(親･目上･軽)　④－場面 4(疎･目上･軽)

⑤－場面 5(親･同等･重)　⑥－場面 6(疎･同等･重)　⑦－場面 7(親･同等･軽)　⑧－場面 8(疎･同等･軽)

結果は、出現率の高い順に「ごめんなさい形」45.6%、「すみません形」42.5%、「申し訳ない形」8.8%、「悪い形」0.5%となっている。このように、「すみません形」「ごめんなさい形」は、両方が頻繁に使われていることが分かった。

{詫び}の特徴を以下の 2 点にまとめる。

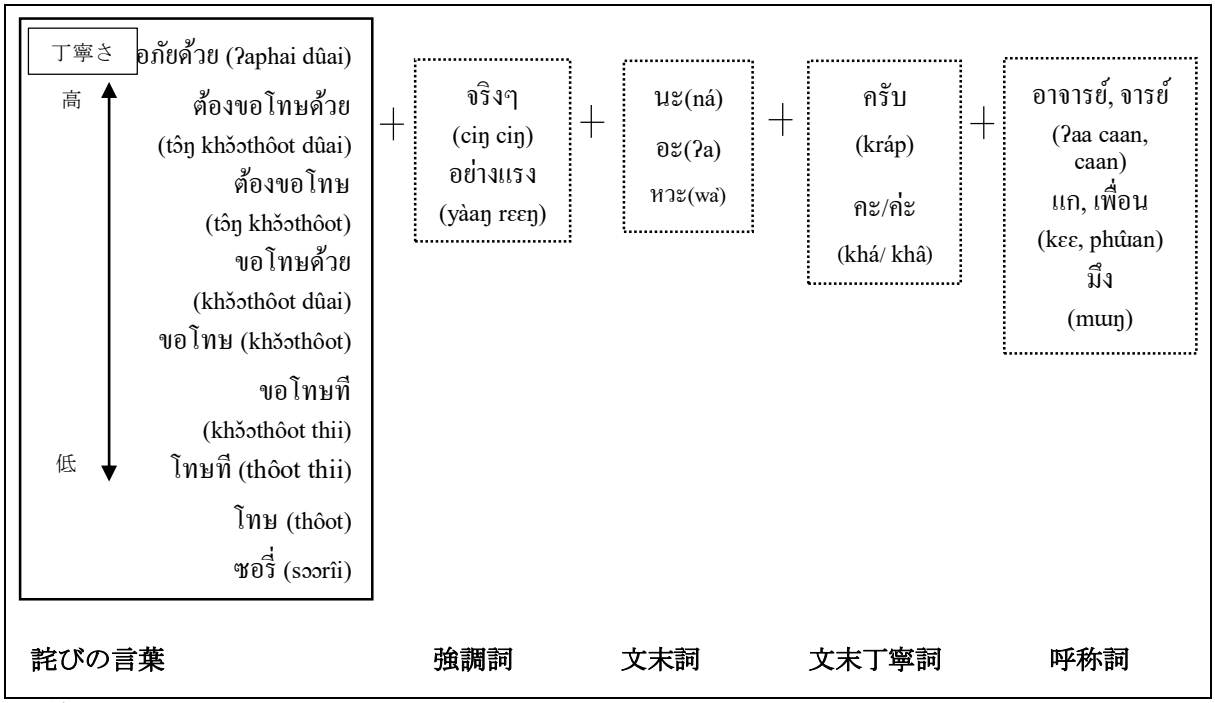
(1) 目上に詫びる場合は、「すみません形」が一番多く使われ、次に、「申し訳ない形」が多く使われる。「すみません形」のうち、「すみません」が一番出現数が高い。

(2) 同等に詫びる場合は、「ごめんなさい形」が一番多く使われている。これは、親疎関係によって使い分けられる。親しい同等の場合は「ごめん」「ごめんね」が多く使われている。一方、親しくない同等の場合は「ごめんなさい」を使う傾向が強いことが示された。

「悪い形」はほとんど使われていない。そして、「ごめん」と「悪い」の後に終助詞を付けることもある。例えば、「ごめんね」「ごめんよ」「ごめんな」「悪いな」である。

7.5.2{詫び}：タイ語母語話者

タイ語の{詫び}表現の構造は以下に示す。



*点線に囲まれた部分は省略されることがある。

タイ語の{詫び}表現は以下の 5 つの要素で構成される。

(1)詫びの言葉　タイ語の詫びの言葉は「ขอโทษ(khɔ̌ɔthôot)」(詫びる)で、動詞として使われる。また、「khɔ̌ɔthôot」から、様々な言葉が派生し、上下関係、親疎関係によって言葉遣いが使い分けられる場合がある。目上・同等のいずれもに使える言葉は「ขอโทษ(khɔ̌ɔthôot)、ขอโทษที (khɔ̌ɔthôot thii)、「 ขอโทษด้วย (khɔ̌ɔthôot dûai)、 ต้องขอโทษ(tôŋ khɔ̌ɔthôot)、 ต้องขอโทษด้วย(tôŋ khɔ̌ɔthôot dûai)」である。一方、目上に対して用いられるのは「อภัยด้วย」(ʔaphai dûai)である。なお、「อภัยด้วย」(ʔaphai dûai)は丁寧さが高い詫びの言葉で、目上に対する断りの時のほかに、相手に迷惑をかけたり、困らせたり、謝りを sɔɔrîi してしまったりする時にも、上下関係を問わず使われるものである。親しい目上と同等に対する言葉は「ขอโทษที」(khɔ̌ɔthôot thii)」である。同等に対してのみ用いられる言葉は「ซอรี่」(sɔɔrîi)、「โทษที」(thôot thii)である。

(2)強調詞　日本語の副詞(本当)と同じように謝りの程度を強調する機能を果たす。頻繁に使われる言葉は「จริงๆ (ciŋ ciŋ) 」(誠に、本当に)である。また、友人同士の場合は若者言葉である「อย่างแรง(yàaŋ rɛɛŋ)」(大変)も使われる。強調詞の位置は詫びの言葉に後続する。

(3)文末詞　詫びの文末詞は、話し手の謝罪の気持ちや残念な気持ちを表す機能を果たす。「นะ(ná) 」は目上にも、同等にも用いられ、日本語の終助詞「ね」に似た機能を持つ。一方、「อะ(ʔa)」「หวะ(wà)」は、相手と親しみや残念な気持ちが含まれ、同等にしか使われない。

(4)文末丁寧詞　目上や親しくない同等や、公式な場面に使われるものである。「ครับ(khráp)」は男性用、「คะ/ค่ะ(khá/ khâ)」は女性用の文末丁寧詞である。

(5)呼称詞　目上には「อาจารย์、จารย์(ʔaa caan, caan) 」(先生)である。同等には二人称「แก、เพื่อน(kɛɛ, phûan) 」である。親しい同等には「มึง(mɯŋ)」も使われる。

それぞれの場面における{詫び}表現の出現数を以下の表に示す。

表 103　TT{詫び}：場面別の出現数と出現率

詫びの言葉	強調詞	文末詞	文末丁寧詞	呼称詞	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計
ʔaphai dûai			kráp/ khâ	ʔaa caan			1						**1**
tôŋ khɔ̌ɔthôot dûai			kráp/ khâ		1	5		1					**7**
tôŋ khɔ̌ɔthôot dûai			kráp/ khâ	ʔaa caan	1	3		1					**5**
tôŋ khɔ̌ɔthôot dûai		ná								1		1	**2**
tôŋ khɔ̌ɔthôot dûai		ná		kɛɛ								1	**1**
tôŋ khɔ̌ɔthôot dûai		ná	kráp/ khá			1		4					**5**
tôŋ khɔ̌ɔthôot dûai	ciŋ ciŋ		kráp/ khâ		1								**1**
tôŋ khɔ̌ɔthôot	ciŋ ciŋ		kráp/ khâ		4	8		4					**16**
tôŋ khɔ̌ɔthôot	ciŋ ciŋ		kráp/ khâ	ʔaa caan				2					**2**
khɔ̌ɔthôot dûai						1	1		2	7	1	1	**13**
khɔ̌ɔthôot dûai			kráp/ khâ		5	7		7					**19**
khɔ̌ɔthôot dûai			kráp/ khâ	ʔaa caan				3					**3**
khɔ̌ɔthôot dûai		ná							1	10	1	6	**18**
khɔ̌ɔthôot dûai		ná	kráp/ khá		3	12		12					**27**
khɔ̌ɔthôot dûai		ná	kráp/ khá	ʔaa caan			1						**1**
khɔ̌ɔthôot dûai		ná		kɛɛ								2	**2**
khɔ̌ɔthôot dûai	ciŋ ciŋ		kráp/ khâ			2							**2**
khɔ̌ɔthôot dûai	ciŋ ciŋ									2			**2**
khɔ̌ɔthôot				caan	1								**1**
khɔ̌ɔthôot			kráp/ khâ		10	30	11	22				1	**74**
khɔ̌ɔthôot			kráp/ khâ	ʔaa caan	4	4	5	8					**21**
khɔ̌ɔthôot		ná							1	32	3	32	**68**
khɔ̌ɔthôot		ná	kráp/ khá		11	16	5	14					**46**
khɔ̌ɔthôot		ná		kɛɛ					2	5	3	5	**15**
khɔ̌ɔthôot	ciŋ ciŋ					2				3	1	4	**10**
khɔ̌ɔthôot	ciŋ ciŋ		kráp/ khâ		7	7	1	6					**21**
khɔ̌ɔthôot	ciŋ ciŋ		kráp/ khâ	ʔaa caan		4		2					**6**
khɔ̌ɔthôot	ciŋ ciŋ	ná	kráp/ khá	ʔaa caan		2							**2**
khɔ̌ɔthôot		à							1				**1**
khɔ̌ɔthôot		wà							2				**2**
khɔ̌ɔthôot thii					1				1		5	2	**9**
khɔ̌ɔthôot thii			kráp/ khâ			1							**1**
khɔ̌ɔthôot thii			kráp/ khâ	ʔaa caan	1	1	1	3					**6**
khɔ̌ɔthôot thii		ná							2	5	1	1	**9**
khɔ̌ɔthôot thii		ná	kráp/ khá			1		1					**2**
khɔ̌ɔthôot thii		ná		kɛɛ						1	1	1	**3**
khɔ̌ɔthôot thii		ná	kráp/ khá	ʔaa caan	1	5		3					**9**
thôot thii									4	5	7	4	**20**
thôot thii		ná							5	11	3	12	**31**
thôot thii		ná		kɛɛ					2		1	1	**4**
thôot thii				kɛɛ					1		1		**2**
thôot thii		wà							5		6	3	**14**
thôot thii		wà		mɯŋ					3	3	1		**7**
thôot			kráp/ khâ	caan	1								**1**
thôot		ná										1	**1**
thôot		ná		phûan					1		2		**3**
thôot		wà		kɛɛ							1		**1**
sɔɔrîi									1				**1**
sɔɔrîi		ná								1			**1**
sɔɔrîi	yà̀an rɛɛŋ								1				**1**
合計					**52**	**112**	**26**	**93**	**35**	**86**	**38**	**78**	**520**

表 104　TT の{詫び}の言葉別の出現数

詫びの言葉	出現数(回)	出現率
aphai dûai	1	0.2%
tôŋ khɔ̌ɔthôot dûai	21	4.0%
tôŋ khɔ̌ɔthôot	18	3.5%
khɔ̌ɔthôot dûai	87	16.7%
khɔ̌ɔthôot	267	51.3%
khɔ̌ɔthôot thii	39	7.5%
thôot thii	78	15.0%
thôot	6	1.2%
sɔɔrîi	3	0.6%
合計	**520**	**100%**

結果は、出現率の高い順に「khɔ̌ɔthôot 」51.3%、次に「khɔ̌ɔthôot dûai」と「thôot thii」となっており、「khɔ̌ɔthôot dûai」と「thôot thii」それぞれの割合は 15%程度である。なお、それ以外のものは 10%以下という結果になった。「khɔ̌ɔthôot 」の出現率が最も高いのは、相手の年齢を問わず、頻繁に使われている言葉であるためだと考えられる。一方、「aphai dûai」「thôot」「sɔɔrîi」は限られた相手にしか使えないので、出現率が低いのである。

タイ語の{詫び}の特徴を以下の 4 点にまとめる。

(1) 相手と話し手の話し方によって、強調詞、文末詞、文末丁寧詞、呼称詞が省略されることがあるが、構造を見ると、詫びの言葉、文末詞、呼称詞 3 つの要素が多く出現し、{詫び}の必須な要素であることが分かった。

(2) 目上に詫びる際には、「khɔ̌ɔthôot +文末丁寧詞」が用いられる頻度が最も高い。ほかにも、「khɔ̌ɔthôot +文末詞+文末丁寧詞」「khɔ̌ɔthôot +文末丁寧詞+呼称詞」パターンも多く使われている。

(3) 同等に詫びる際には、「khɔ̌ɔthôot +文末詞」が用いられる頻度が最も高い。また、親しい同等に対する場合は、「sɔɔrîi」「thôot thii」が使われる。

(4) {詫び}表現は上下関係、親疎関係によって言葉遣いの使い分けがある。

7.6{積極的代案提示}

{積極的代案提示}の意味公式については、その内容のみを分析した。

7.6.1{積極的代案提示}：日本語母語話者

{積極的代案提示}は内容によって、「第三者に手伝いの協力を依頼する」「第三者に手伝いを代行させる」「第三者を依頼者に紹介する」の 3 グループに分類される。意味公式の出現順序のパターンを見ると、{積極的代案提示}が最後の意味公式であることが多く見られる。

回答例は以下の通りである。

場面 3 JM 13：ああ、午後は予定が立て込んでいる。ちょっと行けそうにないです。
すみません。<u>他の人に当たってみましょうか？</u>

場面 8 JF 23：ごめんなさい、私、明日のプレゼンの資料の準備をするので、今日は本当に時間がないんです。<u>私の友達を紹介するので、彼女に頼んでみてくれませんか</u>。

場面別の出現数と出現率を以下の表に示す。

表 105　JJ{積極的代案提示}：場面別の出現数と出現率

{積極的代案提示}	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計
第三者に手伝いの協力を依頼すること	**21**	**1**	**11**	**2**	**0**	**0**	**0**	**0**	**35 (97.2%)**
回答例 (1)余裕がある人に訪ねてみますね。 (2)手伝いに行ける人を見つけときましょうか？ (3)別の人に頼んでみますね。 (4)誰かほかに行けそうな人探してみましょうか。 (5)友達に協力をお願いしてみますね。 (6)余裕がある人に頼んでみます。 (7)手伝いに行ける人に聞いてみましょうか。 (8)別の人に頼んでみましょうか。									
第三者に手伝いを代行させる									**0 (0%)**
第三者を依頼者に紹介すること								**1**	**1 (2.8%)**
回答例 私の友達を紹介するので、彼女に頼んでみてくれませんか。									
合計	**21**	**1**	**11**	**2**	**0**	**0**	**0**	**1**	**36 (100%)**

①－場面 1(親･目上･重)　②－場面 2(疎･目上･重)　③－場面 3(親･目上･軽)　④－場面 4(疎･目上･軽)

⑤－場面 5(親･同等･重)　⑥－場面 6(疎･同等･重)　⑦－場面 7(親･同等･軽)　⑧－場面 8(疎･同等･軽)

結果はポイントの高い順に「第三者に手伝いの協力を依頼する」(97.2%)、「第三者を依頼者に紹介する」(2.8%)、「第三者に手伝いを代行させる」(0%)となっている。

最も出現率が高い「第三者に手伝いの協力を依頼する」を場面ごとに見ると、JJ は目上からの依頼の場面(場面 1-4)にしか、代案を提示しないことが分かった。一方、「第三者を依頼者に紹介する」は親しくない同級生からの軽い依頼の場面(場面 8)に、1 回にしか見られなかった。

親疎関係が代案の提示に関わるかどうかという傾向を見ると、親しい目上(場面 1：21 回、場面 3：11 回)には、親しくない目上(場面 2：1 回、場面 4：2 回)と比較して、代案を提示する強い傾向が見られる。さらに、親しい目上からの重い依頼(場面 1：21 回)は、軽い依頼(場面 3：11 回)に比べ、代案を提示する内容の出現数が 2 倍にも登った。

なお、代案を提示する際には、JJ が以下の 3 つの表現を多く使っている。

(1)「～てみる」：「～てみます」「～てみますね」「よかったら～てみましょうか」などの様々なバリエーションが見られる。

(2)「～ておく」：「～ておきましょうか」「～ときましょうか」である。

(3)「～くれる」：「～てくれませんか」である。

7.6.2{積極的代案提示}：タイ語母語話者

JJ と同じように、TT の意味公式の出現順序のパターンを見ると、{積極的代案提示}が最後の意味公式であるパターンが多く見られる。

回答例は以下の通りである。

場面 4 TF 44： ช่วงพักกลางวันหนูไม่สะดวกค่ะ เดี๋ยวหนูหาคนอื่นมาช่วยแทนได้ไหมคะ

(和訳：昼休みはちょっと無理そうです。よかったら、手伝える人を探しておきましょうか。)

場面 6 TM 28：ขอโทษนะครับ เดี๋ยวผมจะลองหาคนช่วยนะครับ

(和訳：ごめんなさい。とりあえず、私が手伝えそうな人を探してみますね。)

場面別の出現数と出現率を以下の表に示す。

表 106　TT{積極的代案提示}：場面別の出現数と出現率

{積極的代案提示}	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計
第三者に手伝いの協力を依頼する	**22**	**10**	**9**	**1**	**3**	**1**	**1**	**1**	**48 (81.4%)**
回答例 (1)เดี๋ยวผมหาคนที่ว่างมาช่วยแทนผมครับ (余裕がある人を探してみます。) (2)เดี๋ยวจะลองถามเพื่อนให้นะครับว่ามีใครว่างบ้าง (誰かほかに行けそうな人を聞いてみますね。) (3)เดี๋ยวผมลองติดต่อเพื่อนที่ว่างให้มาช่วยงาน (手伝いに来るように、友達に連絡してみますね。) (4)เดี๋ยวผมจะขอความร่วมมือจากเพื่อนๆให้นะครับ (友達に協力を頼んでおきますね。)									

①－場面 1(親・目上・重)　②－場面 2(疎・目上・重)　③－場面 3(親・目上・軽)　④－場面 4(疎・目上・軽)

⑤－場面 5(親・同等・重)　⑥－場面 6(疎・同等・重)　⑦－場面 7(親・同等・軽)　⑧－場面 8(疎・同等・軽)

{積極的代案提示}	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計
第三者に手伝いを代行させる	**0**	**0**	**8**	**2**	**0**	**0**	**0**	**0**	**10 (16.9%)**
回答例 (1)เดี๋ยวผมให้เพื่อนอีกคนที่ว่างไปแทนนะครับ (僕の代わりに、余裕がある別の友達に行ってもらいます。) (2)เดี๋ยวผมให้…ไปช่วยนะครับ ตอนนี้กำลังว่างพอดี (私の代わりに、○○さんに行ってもらいますね。ちょうど暇らしいです。)									
第三者を依頼者に紹介する					**1**				**1 (1.7%)**
回答例 เดี๋ยวเราแนะนำเพื่อนอีกคนให้ละกัน (別の友達を紹介するね。)									
合計	**22**	**10**	**17**	**3**	**4**	**1**	**1**	**1**	**59 (100%)**

①－場面 1(親・目上・重)　②－場面 2(疎・目上・重)　③－場面 3(親・目上・軽)　④－場面 4(疎・目上・軽)

⑤－場面 5(親・同等・重)　⑥－場面 6(疎・同等・重)　⑦－場面 7(親・同等・軽)　⑧－場面 8(疎・同等・軽)

{積極的代案提示}の内容別の結果は、ポイントの高い順に「第三者に手伝いの協力を依頼する」（81.4%）、「第三者に手伝いを代行させる」（16.9%）、「第三者を依頼者に紹介する」（1.7%）となっている。

「第三者に手伝いの協力を依頼する」を場面ごとに見ると、目上と同等を比較した場合、目上に対して代案を提示する出現数が高いことが分かった。また、親しい目上に対する場合(場面 1：22 回、場面 3：9 回)のほうが、親しくない目上に対する場合(場面 2：10 回、場面 4：1 回)より、かつ重い依頼の場合のほうが軽い依頼の場合より、代案を提示する強い傾向が見られる。

次に、「第三者に手伝いを代行させる」の出現率は 16.9%で、目上からの軽い依頼にしか見られなかった。親しい目上(8 回)のほうが、親しくない目上(2 回)より、出現数が高い。

最後に、「第三者を依頼者に紹介する」は、親しい友達からの重い依頼に 1 回しか見られなかった。

ここでわかるのは、親しい目上からの依頼があった場面は、代案の内容が「第三者に手伝いの協力を依頼する」のみである。しかし、親しい目上からの軽い依頼の場面は、「第三者に手伝いの協力を依頼する」のみならず、「第三者に手伝いを代行させる」場合もある。

なお、TT の回答を見ると、すべての文に「เดี๋ยว」(dĭaw)が出現していることが見られる。それは、「じゃあ、それでは、とりあえず、よかったら」という意味で、依頼を断った後、代案の話題に入る時に用いられる接続詞である。回答例は以下の通りである。

場面 4 TF 44： ช่วงพักกลางวันหนูไม่สะดวกค่ะ เดี๋ยวหนูหาคนอื่นมาช่วยแทนได้ไหมคะ

(和訳：昼休みはちょっと無理そうです。よかったら、手伝いの人を探しておきましょうか。)

場面 6 TM 28：ขอโทษนะครับ เดี๋ยวผมจะลองหาคนช่วยนะครับ

(和訳：ごめんなさい。とりあえず、私が手伝えそうな人を探してみるね。)

7.6.3{積極的代案提示}：日本語母語話者とタイ語母語話者の比較

表 107 JJ・TT{積極的代案提示}の出現数と出現率の比較

{積極的代案提示}	JJ 出現数(出現率)	TT 出現数(出現率)
第三者に手伝いの協力を依頼する	35(97.2%)	48(81.4%)
第三者に手伝いを代行させる	0(0%)	10(16.9%)
第三者を依頼者に紹介する	1(2.8%)	1(1.7%)
合計	**36(100%)**	**59(100%)**

JJ と TT の代案を内容別に参照した結果、JJ と TT はともに「第三者に手伝いの協力を依頼する」の出現率が 80%以上であることが明らかになった。また、親しい目上に対してのほうが、親しくない目上に対してより、かつ重い依頼の場合のほうが軽い依頼の場合より、代案を提示する強い傾向が見られることが共通点である。加えて、JJ と TT はともに、「第三者を依頼者に紹介する」代案を提示した出現率が低い。

JJ と TT で大きく異なるのは、「第三者に手伝いを代行させる」代案に関してである。この提案は JJ には全く見られなかったのに対して、TT においては 2 割近く提示されていた。軽い依頼の場面において、TT は「第三者に手伝いの協力を依頼する」ほかに、「第三者に手伝いを代行させる」代案を提示する場合もある。

JJ の視点から考えると、本人の都合を聞かずに、勝手に手伝いを代行させることはプライベートを侵害する恐れがあるかもしれない。しかし、インタビューによると、TT の意見では、目上からの軽い依頼のほうが、重い依頼より断りにくいと感じたという。都合により手伝いに行けなくても、協力したい気持ちを表すことや、相手を安心させるために、TT が手伝いに行けそうな人に手伝いを代行させる代案を提示する。また、本の返却は時間がかからない頼みごとなので、余裕があると思われる人には都合を聞かなくても、きっと手伝いに行けるはずだと思うので、他人のプライベートを侵害することにはつながらないという意見があった。

7.7 {条件提示}

{条件提示}の意味公式については、その内容のみを分析した。

7.7.1{条件提示}：日本語母語話者

{条件提示}を、内容によって、「日時変更」「時間的余裕の仮定」「手当の要求」「依頼の内容変更」の 4 グループに分類した。意味公式の出現順序のパターンを見ると、{条件提示}が最後の意味公式であるパターンが多い。回答例は以下の通りである。

場面 6 JF　22：わー、ごめんなさい。中間が思ったより大変で、勉強しなくちゃいけないので、
　　○○日以降ならいいんですけど。
場面 8 JM 31：ごめん、明日発表あるから、無理です。明日終わったら後なら、できるけど。

それぞれの場面における{条件提示}の内容別の出現数と出現率を以下の表に示す。

表 108　JJ{条件提示}：場面別の出現数と出現率

{条件提示}	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計
日時変更	**0**	**2**	**7**	**1**	**0**	**1**	**0**	**0**	**11 (40.7%)**
回答例 (1)お手伝いは他の日にお願いできませんか？ (2)月曜日から金曜日までの間だったら、空いていますけど。 (3)明日・夕方返してもいいですか。 (4)他の時間なら、行くことができますが (5)○○日以降ならいいんですけど									
時間的余裕の仮定	**0**	**0**	**0**	**0**	**1**	**0**	**0**	**1**	**2 (7.4%)**
回答例 (1)暇なったら、手伝うわ (2)時間があれば、手伝うわ									
手当の要求									**0 (0%)**
依頼の内容変更	**0**	**0**	**0**	**0**	**3**	**8**	**2**	**1**	**14 (51.9%)**
チェックする・推敲する 回答例 (1)チェックならできるけど (2)もしまず自分で訳したら、 　後でチェックはできるよ。 (3)あなたの訳を推敲することはできそうですが、それはどうですか？					2	4			

①－場面 1(親･目上･重)　②－場面 2(疎･目上･重)　③－場面 3(親･目上･軽)　④－場面 4(疎･目上･軽)

⑤－場面 5(親･同等･重)　⑥－場面 6(疎･同等･重)　⑦－場面 7(親･同等･軽)　⑧－場面 8(疎･同等･軽)

{条件提示}	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計
できないことについて助言する 回答例 (1)分からないところは聞いてくれたら、 できる限り協力する。 (2)できなかったら、言って。 (3)できなかったことがあれば、いつでも 聞いてください。					1	4	2		
合計	**0**	**2**	**7**	**1**	**4**	**9**	**2**	**1**	**26 (100%)**

①－場面 1(親･目上･重)　②－場面 2(疎･目上･重)　③－場面 3(親･目上･軽)　④－場面 4(疎･目上･軽)

⑤－場面 5(親･同等･重)　⑥－場面 6(疎･同等･重)　⑦－場面 7(親･同等･軽)　⑧－場面 8(疎･同等･軽)

結果は、ポイントの高い順に「依頼の内容変更」(51.9%)、「日時変更」(40.7%)、「時間的余裕の仮定」(7.4%)、「手当の要求」(0%)となっている。JJ に見られた特徴を、以下の通りにまとめる。

(1) 「日時変更」の出現総数は 11 回で、中でも親しい目上からの軽い依頼(場面 3：本の返却の場面)における出現数が最も多い(7 回)。

(2) 「時間的余裕の仮定」は出現数がわずか 2 回で、同等からの依頼の場面に見られる。

(3) 「依頼の内容変更」は翻訳の変わりにチェックや助言を提示することである。出現総数は 14 回である。同等からの依頼の場面に見られ、親しくない同等における出現数が最も多い(8 回)。

なお、条件を提示する際には、以下の表現が多く使われている。

(1)「～お願いできませんか」例：お手伝いは他の日にお願いできませんか？

(2)条件節「(動詞/名詞)～たら、～なら」+主節「動詞の可能形/形容詞+が、けど」

例：月曜日から金曜日までの間だったら、空いていますけど。

チェックなら、できるけど。

他の時間なら、行くことができますが

○○日以降なら、いいんですけど

(3)条件節「(動詞) ～たら、～ば」+主節「動詞の辞書形」

例：分からないところは聞いてくれたら、できる限り協力する。

時間があれば、手伝うわ

(4)「(条件提示の文)～が」+「～どうですか、～よろしいですか」

例：あなたの訳を推敲することはできそうですが、それはどうですか。

手伝いできそうな人を頼んでみますが、よろしいですか。

(5)「(よかったら)～てもいいですか」

例：明日/夕方返してもいいですか。

7.7.2{条件提示}：タイ語母語話者

JJ と同じように、意味公式の出現順序のパターンを見ると、{条件提示}で発話を終了させることが多く見られる。回答例は以下の通りである。

TM 34：คือ... กูต้องอ่านหนังสือสอบหวะ งั้นลองแปลเองก่อน ตรงไหนไม่ได้เดี๋ยวกูบอกมึง

(和訳：{否定的反応}(khɯɯ)、試験勉強するんだ。まずは自分で翻訳してみて。
もしできない部分があったら、俺が教える。)

TF 49：หา อาทิตย์หน้าต้องสอบแล้ว งั้นกูช่วยแปล 2 บรรทัดละกัน

(和訳：{驚き}(hăa)、私、来週に試験があるんだ。では、内容を2行翻訳するね。)

場面別の出現数と出現率を以下の表に示す。

表 109　TT{条件提示}：場面別の出現数と出現率

{条件提示}	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計
日時変更	**16**	**6**	**46**	**6**	**0**	**0**	**3**	**2**	**79 (47.3%)**
回答例 (1)มาช่วยวันธรรมดา/พรุ่งนี้/บ่าย/ตอนนี้ได้มั้ย (平日/明日/午後、手伝いに行ってもいいですか。) (2)ถ้าเตรียมงานนำเสนอเสร็จ ค่อยเช็คได้มั้ย (発表の準備が終わったら、チェックしてもいいですか。)									
時間的余裕の仮定	**2**	**0**	**1**	**0**	**8**	**1**	**14**	**1**	**27 (16.2%)**
回答例 (1)ถ้าว่างจะมาช่วยนะครับ (余裕があれば、手伝いに来ます。) (2)ถ้าเตรียมนำเสนอเสร็จ มีเวลาเหลือ จะช่วยนะ (発表の準備が終わった後、もし余裕があれば、手伝うよ。) (3)ถ้าเสร็จทัน จะช่วยทำที่ช่วยได้ งั้นแกถ่ายรูปส่งมาในไลน์/เฟตก่อนละกันนะ (テスト勉強/発表の準備がはやく終わったら、できる限り手伝う。とりあえず、写真を撮って、Line/Facebook で私に送っておいてね。)									
手当の要求	**1**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**1 (0.6%)**
回答例 ถ้าอาจารย์มีเบี้ยเลี้ยงให้ ผมยินดีมาช่วยครับ (手当の支給があれば、喜んで手伝いに行きます。)									

①－場面 1(親･目上･重)　②－場面 2(疎･目上･重)　③－場面 3(親･目上･軽)　④－場面 4(疎･目上･軽)

⑤－場面 5(親･同等･重)　⑥－場面 6(疎･同等･重)　⑦－場面 7(親･同等･軽)　⑧－場面 8(疎･同等･軽)

{条件提示}	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計
依頼の内容変更	**0**	**0**	**0**	**0**	**39**	**14**	**4**	**3**	**60 (35.9%)**
チェックする ทำเองก่อน เดี๋ยวเช็คให้ (まず自分でやって、後で私がチェックする。)					12	3	1		16
できないことについて助言する (1)แปลเองก่อน ตรงไหนไม่ได้เดี๋ยวบอก (自分で翻訳してみて。できないところがあれば、助言する。) (2)แปลเองก่อน ถ้าไม่ได้ถามในไลน์ เฟตบุค (自分で翻訳して。できないところがあれば、Line か Facebook で私に聞いてね。) (3)แปลเองก่อน ถ้าไม่ได้เขียนโน้ตทิ้งไว้ (自分で翻訳して。できないところがあれば、メモを書いといてね。)					11	10	2	3	26
頼む量を交渉する ถูขอแปล 2 บรรทัด/ครึ่งหน้า/หนึ่งนึงละกัน (2 行/1 枚の半分/1 枚を翻訳させるね。)					12				12
電子辞書を貸す เดี๋ยวเราให้ยืมท๊อกกิ้งดิก (電子辞書を貸すね。)					1				1
やり方を教える (1)ใช้google translate อันไหนแปลกๆ เดี๋ยวตรวจให้ (google translate を使ってみろ、おかしい言葉が出たら、俺がチェックしてあげる。) (2)หาศัพท์ทิ้งไว้ ตรงไหนไม่ได้ค่อยถาม (まず、単語の意味を調べておいて、分からないところがあれば、私に聞いてね。) (3)หาในเน็ตก่อน หาไม่ได้แล้วค่อยมาให้กูดู (まず、インターネットで調べてくれる。見つからなかったら、私に見せてね。)					3	1	1		5
合計	**19**	**6**	**47**	**6**	**47**	**15**	**21**	**6**	**167 (100%)**

①－場面 1(親・目上・重)　②－場面 2(疎・目上・重)　③－場面 3(親・目上・軽)　④－場面 4(疎・目上・軽)

⑤－場面 5(親・同等・重)　⑥－場面 6(疎・同等・重)　⑦－場面 7(親・同等・軽)　⑧－場面 8(疎・同等・軽)

結果は、ポイントの高い順に「日時変更」(47.3%)、「依頼の内容変更」(35.9%)、「時間的余裕の仮定」(16.2%)、「手当の要求」(0.6%)となっている。TT に見られた特徴を、以下の通りにまとめる。

(1) 「日時変更」は出現数が 79 回で、目上からの依頼の場面においてのほうが、同等からの依頼における場面より、出現数が高い。また、TT は親しい目上からの軽い依頼の場面に「日時変更」を提示する傾向が強い。

(2) 「時間的余裕の仮定」は出現数が 27 回で、依頼の内容が重いか軽いかに関わらず、親しい同等からの依頼の場面に多く見られる。このような条件提示においては、発話時の状況に反する条件を立てることで、依頼に応じたいという気持ちを表すが、実際に応じられる可能性が低いことも多く、儀礼的な表現として使われることも珍しくない。例(3)のように、手伝えるかどうか分からないのに、とりあえず Line、facebook で送ってもらってほしいと依頼者に指示する場合も見られる。

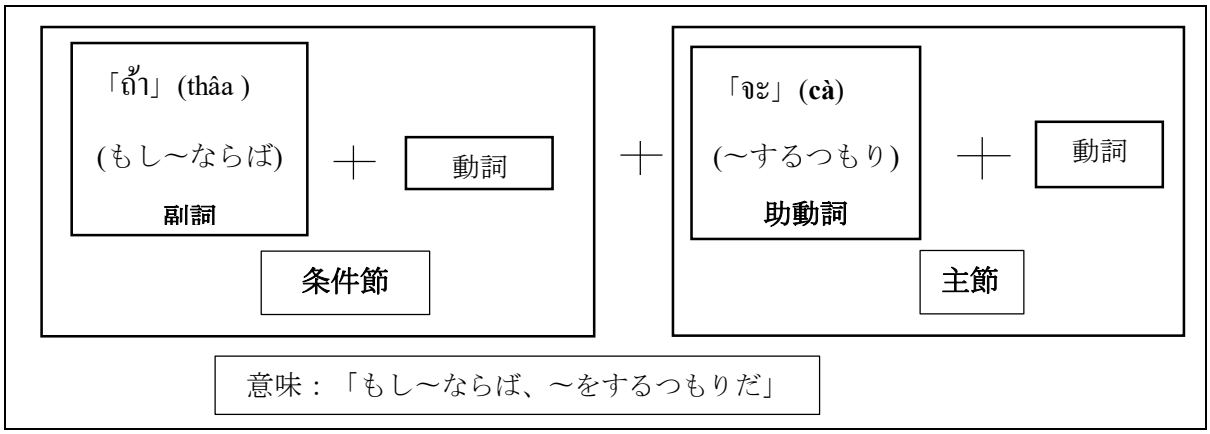
(3) 「手当の要求」は目上からの重い依頼の場面において出現しているものの、その数はわずか 1 回である。教員が学生に重い依頼をした場合、お礼として、物や手当を与えるのが一般的である。

逆に、学生が教員に手当を要求することは失礼に値する場合が多いので、非常に親しい教員に冗談のような条件を提示する時しか用いられないと考えられる。

(4) 「依頼の内容変更」は出現数が 60 回で、同等からの重い依頼の場面に多く見られる。依頼の内容変更には、チェックや助言を行うほか、チェックなどを行う分量について交渉することや、辞書を貸すことや、やり方を教えることも含まれる。親しい友達なら、翻訳のチェック、助言、頼む量の交渉の 3 つの条件のうちの 1 つを提示する傾向が強い。一方、親しくない同級生なら、助言のみを行うケースが多いことが分かった。

なお、条件を提示する際に、多く使われている 2 つのパターンを以下の通りにまとめる。

(1) 副詞「ถ้า」(thâa) :「もし～ならば」という意味で、文の構造は以下の通りである。



この文型は、立てた条件が成立したら、次にする未来の行為を表現する文型である。「時間的余裕の仮定」によく使われている。

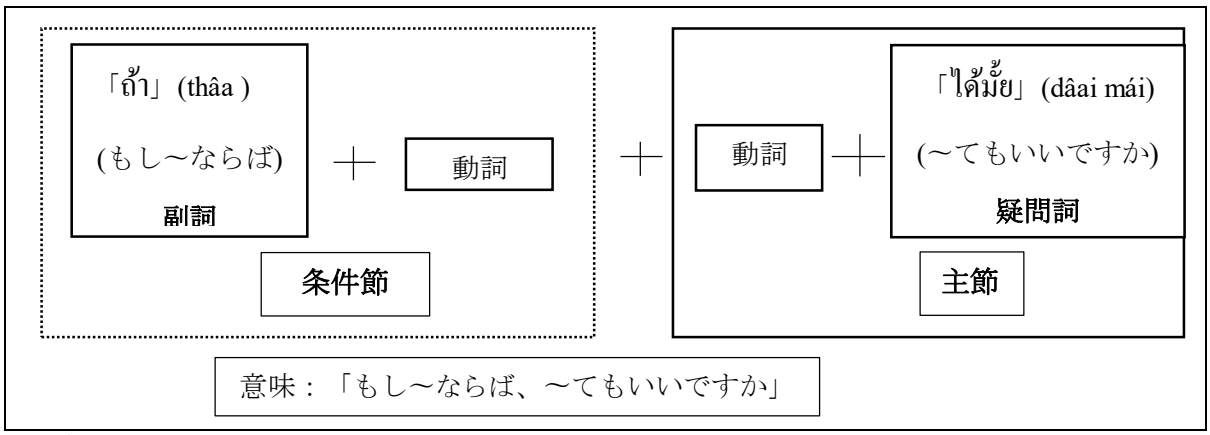
場面 1 TM 32：เอ่อ ผมต้องไปเที่ยวกับครอบครัวอะครับ *ถ้าว่างจะมาช่วยนะครับ

(和訳：{否定的反応}(ʔɔ̀ɔ)、ちょっと家族と旅行の予定があります。もし余裕があれば、手伝いに来ます。)

*ถ้า(thâa もし～ならば)、 ว่าง(wâaŋ 余裕)、จะ(cà～するつもり)、

มาช่วย(maa chûai 手伝いに来る)、นะครับ(ná khráp 文末詞)

(2) 副詞「ถ้า」(thâa)..「ได้มั้ย」(dâai mái)：「もし～ならば、～てもいいですか」という意味である。



*点線に囲まれるものは、省略されることがある。

この文型は、断る側が自分ができる条件を相手に提案する文型である。「日時変更」などの交渉の時に、多く使われている。場合によっては、条件節がないこともある。

回答例は以下の通りである。

場面 8 TM 34：เอ่อ คือเราต้องเตรียมตัวนำเสนองานพรุ่งนี้อะ *ถ้าเตรียมงานนำเสนอเสร็จ ค่อยเช็คได้มั้ย

(和訳：{否定的反応}(ʔɔ̀ɔ)、明日の発表の準備をしないといけないんだけど。発表の準備が終わってからチェックしてもいいですか。)

*ถ้า(thâa もし～ならば)、 เตรียม(triam 準備する)、งานนำเสนอ(ŋaan nam sanŏɔ 発表)、

เสร็จ(sèt 終わる)、ค่อย(khɔ̂y それから)、เช็ค(chék チェックする)、

ได้มั้ย(dâai mái～てもいいですか)

場面 3 TF 30：อาจารย์ *คืนหนังสือพรุ่งนี้ได้มั้ยคะ หนูมีนัดกับเพื่อนตอนกลางวัน ต้องคุยงาน

(和訳：[呼びかけ](ʔaa caan)、明日(本を)返してもいいですか？　昼休みは友達と打ち合わせがあるんです。)

*คืน(khɯɯn 返す)、หนังสือ(năŋsŭɯ 本) 、พรุ่งนี้(phrûŋ níi 明日) 、ได้มั้ย(dâai mái～てもいいですか)、คะ(khá 文末丁寧詞)

7.7.3{条件提示}：日本語母語話者とタイ語母語話者の比較

表 110　JJ・TT{条件提示}：出現数と出現率の比較

{条件提示}	JJ 出現数(出現率)	TT 出現数(出現率)
日時変更	11(40.7%)	79(47.3%)
時間的余裕の仮定	2(7.4%)	27(16.2%)
手当の要求	0(0%)	1(0.6%)
依頼の内容変更	14(51.9%)	60(35.9%)
合計	**26(100%)**	**167(100%)**

以上のことから、JJ と TT ともに、「日時変更」と「依頼の内容変更」の出現率が高いことが分かった。相違点を以下の 5 点にまとめる。

(1) JJ と TT を比較すると、JJ の{条件提示}の出現数はわずか 27 回であるのに対して、TT は 167 回を超えている。TT における出現数は、JJ の約 6 倍にも上る。

(2) 「時間的余裕の仮定」について、JJ(7.4%)と TT(16.2%)の割合に大きな差は見られなかった。具体的に言えば、JJ は出現数がわずか 2 回であるのに対して、TT は約 30 回である。TT は依頼された際、手伝う余裕がない場合であってもはっきり断るのを避けるため、実現の可能性が低い条件を提示することが特徴である。

(3) 「依頼の内容変更」の場合は、チェックしたり助言したりする行動が JJ にも TT にも見られる。しかし、TT においてはチェックする量を減らすよう交渉したり、辞書を貸す・やり方を教えるなどの内容を提示したりする場合もあり、条件のバリエーションが多いことが分かった。依頼に完全には応じられない場合であっても、できるだけ自分が手伝える方法を提示することが TT の特徴の一つである。

(4) JJ においては親疎関係が条件提示の内容の選択に影響を与えないのに対して、TT においては大きな影響が見られた。親しい友達なら、翻訳のチェック、助言、頼む量の交渉の 3 つの条件のうちの 1 つを提示する傾向が強い。一方、親しくない同級生なら、助言するケースが多いことが分かった。

(5) JJ においては「手当の要求」が全く見られなかったが、TT においては 1 回のみ出現している。わずかな相違点でも、その結果から、JJ と TT の文化に違いが垣間見える。

7.8{否定的反応 [呼びかけ]}

{否定的反応[呼びかけ]}の意味公式については、内容のみを分析した。

タイ語語母語話者

[呼びかけ]は TT にしか見られない意味公式である。断りの際、甘えたような声で相手を呼ぶこと TT の特徴である。タイ語の呼称詞は相手の社会的地位、職業などの上下関係や、相手との親疎関係によって使い分けられる。なお、これらの呼称詞は断りに限らず、他の場面(雑談など)にも用いられるものである。回答例に見られる呼称詞は以下の通りである。

表 111　TT[呼びかけ]：場面別の出現数

[呼びかけ]	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計
目上に対する呼称詞									
อาจารย์(ครับ/ค่ะ) ʔaa caan (kráp/khá) 先生	21	7	22	4					**54**
目上に対する呼称詞 ***親しい教員のみ**									
จารย์ (ครับ/ค่ะ) caan (kráp/khá) 先生	4		2						**6**
同等に対する呼称詞									
แก kɛɛ 二人称代名詞					1	3	1	7	**12**
เธอ thəə 二人称代名詞								4	**4**
เพื่อน phɯ̂an 友達							1		**1**
同等に対する呼称詞 ***親しい同等のみ**									
มึง mɯŋ 二人称代名詞					11		23	1	**35**
อีสัตว์ ʔii sàt 動物					1				**1**
อีดอก ʔii dɔ̀ɔk 花(比喩的意味：売春婦)					1				**1**
อีหอย ʔii hɔ̌i 貝(比喩的意味：女の性器)					1				1
同等に対する間投詞									
เห้ย/เฮ้ย hɤ́ɤi					7	2	5		**14**
เห้ย/เฮ้ย (แก/มึง) hɤ́ɤi(kɛɛ/mɯŋ)					2				**2**
合計	**25**	**7**	**24**	**4**	**24**	**5**	**30**	**12**	**131**

①－場面 1(親・目上・重)　②－場面 2(疎・目上・重)　③－場面 3(親・目上・軽)　④－場面 4(疎・目上・軽)

⑤－場面 5(親・同等・重)　⑥－場面 6(疎・同等・重)　⑦－場面 7(親・同等・軽)　⑧－場面 8(疎・同等・軽)

①目上に対する呼称詞

TF 3：อาจารย์คะ คือหนูมีธุระต้องกลับต่างจังหวัด ขอโทษจริงๆนะคะ

(和訳：[先生](ʔaa caan khá)、実は、用事で帰郷しなければなりません。本当にすみません。)

TM 1：จารย์ ผมมีพรีเซนต์งานตอนบ่าย งั้นเดี๋ยวผมหาคนมาแทนนะครับ

(和訳：[先生](caan)、午後は発表があります。よかったら、私の代わりに、手伝いに行ける友達を探します。)

อาจารย์ (ʔaa caan)は「先生」という意味の普通名詞である。文末丁寧詞「kráp/khá」が後続することにより、丁寧な印象を与える呼称詞となる。また、親しい教員の場合は、文末丁寧詞を省略することもできる。出現数を見ると、TT が親しい教員からの依頼の場面(場面 1：21 回、場面 3：22 回)においてのほうが、親しくない教員(場面 2：7 回、場面 4：4 回)においてより、[呼びかけ]の出現数が多い。

จารย์ (caan)も「先生」という意味である。普通名詞 อาจารย์ (ʔaa caan) の省略形であり、話し言葉として使われている。「ʔaa caan」より「caan」のほうが、親しみが深く感じられる。親しい教員に対して使われる呼称詞である。文末丁寧詞「kráp/khá」が後続することにより、丁寧な表現となる。「caan」は親しい教員からの依頼の場面(場面 1,3)にしか見られなかった。ただ、「caan」と「ʔaa caan」とを比較すると、どれほど親しくても、「ʔaa caan」のほうが頻繁に使われている。

②同等に対する呼称詞

TF 9：แก เราไม่ว่างอะ มีงานต้องนำเสนอ ถ้าเราทำเสร็จเดี๋ยวช่วยนะ

(和訳：[二人称代名詞](kɛɛ)、余裕はなくて、明日発表がある。準備ができたら、手伝うね。)

TF 42：เธอ คือเรายังไม่ว่างอะ พรุ่งนี้ต้องนำเสนองาน โทษทีนะ

(和訳：[二人称代名詞] (thəə)、忙しくて、明日発表があるんだ。ごめんなさい。)

TF 30：เพื่อน ขอโทษที พรุ่งนี้เรามีพรีเซนต์งาน ยังเตรียมข้อมูลไม่เสร็จ คงช่วยแกไม่ได้อะ

(和訳：[二人称代名詞] (phûan)、ごめん。明日、発表があるんで、まだ資料の準備ができていないから、手伝えないんだ。)

TM 5：มึง อาทิตย์หน้าหรอ กูมีสอบกลางภาคพอดี กูคงไม่ว่างช่วยแปลอะ

(和訳：[二人称代名詞] (mɯŋ)、来週？俺は試験があるんだ。翻訳する時間がないかも。)

แก (kɛɛ)、เธอ (thəə)、เพื่อน (phûan)は二人称代名詞である。「kɛɛ」は性別を問わず、友人同士また親しくない同級生に対して使われる言葉である。「thəə」は親しくない同等の人に対して、主に女性が使う。回答を見ると、「thəə」は親しくない同級生からの依頼の場面(場面 8)にしか見られなかった。「phûan」は「友達」という意味である。これは相手との同等関係を表す言葉で、親疎関係を表さない中立的意味を持つ。回答を見ると、「phûan」は親しい友達からの依頼の場面(場面 7)にただ 1 名のみが用いており、断りの呼びかけとしては、ほとんど使われていなかった。

มึง (mɯŋ)は、性別を問わず(主に男性が使う)、近しい人同士(対等以下の人)に対して使われる言葉である。友人同士の会話では、「mɯŋ」を使うと、親しみが深く感じられる。しかし、会話の場に目上がいる場合は、失礼に聞こえるため、絶対に使ってはならないという制約もある。出現数を見ると、「mɯŋ」は親しい友達からの依頼の場面(場面 5,7)に多く見られ、親しくない同級生からの依頼の場面(場面 8)においては 1 回しか出現しない。

TF 22：อีสัตว์ กูต้องอ่านหนังสือ อาทิตย์หน้ามีสอบ มึงก็ใช้อากู๋ช่วยแปลไปก่อนละกัน ซอรี่อย่างแรง

(和訳：[蔑称語] (ʔii sàt)、試験勉強しないといけないよ。来週に試験があるから。グーグルを使って翻訳してね。本当にごめん。

TF 6：อีดอก ไม่ว่างอะมึง กูมีสอบ ต้องอ่านหนังสือ ไว้อ่านเสร็จกูค่อยช่วยมึงแปลบางส่วนละกันนะ

(和訳：[蔑称語] (ʔii dɔ̀ɔk)、時間無いよ。試験があって、勉強するんだ。勉強が終わったら、少し翻訳するよ。)

TF 23：อีหอย ตอนนี้กูเตรียมตัวพรีเซนต์ เครียดมากเลย

(和訳：[蔑称語](ʔii hǒi)、今、発表を準備している。大変心配なんだ。)

อีสัตว์ (ʔii sàt)、อีดอก (ʔii dɔ̀ɔk)、อีหอย (ʔii hǒi) は、親しい女性同士が使う蔑称語である。驚き、断り、不満の時に使われる語である。「ii」は女性を卑下する時の二人称の接頭辞で、「ii」の後に、「sàt(動物)」「dɔ̀ɔk(花)」「hǒi(貝)」を組み合わせて使う。「ii sàt」は、「畜生」という意味である。「ii dɔ̀ɔk」は、「売春婦」という意味である。「dɔ̀ɔk」の文字通りの意味は「花」であるが、比喩的意味は「売春婦」を示す。「ii hǒi」は、「女の性器」という意味である。「hǒi」を直訳すると「貝」であるが、比喩的意味において用いられる場合は「女の性器」を示す。

③同等に対する間投詞

TM 7：เฮ้ย โทษทีหวะ อาทิตย์หน้ากูมีสอบกลางภาคพอดี ขออ่านหนังสือก่อนนะ

(和訳：[間投詞](hə̀əi)、ごめん。俺も来週に試験あるんだ。試験勉強させてもらう。)

เห้ย/เฮ้ย (hə̀əi)は同等以下の人に対して、人が来るように呼びかける時、けんかを売る時、驚き、断りなどの様々な場面に使われる。人が来るように呼びかける時、けんかを売る時、高くて短い声で相手を呼ぶ。驚きや断りの際は、低くて長い声で相手を呼ぶ。「hə̀əi」の後に、友人同士で使われる二人称代名詞「kɛɛ/mɯŋ」が後続する場合がある。それぞれの場面の出現数を見ると、親しい友達からの依頼の場面(場面 5：9 名、場面 7：5 名)において「hə̀əi」を使う回答者は 14 名であるのに対して、親しくない同級生からの依頼の場面(場面 6：2 名)においては、わずか 2 名である。

以上の結果から、親しい相手に対して TT は[呼びかけ]を使う傾向があることが分かった。

7.9{冗談}

{冗談}の意味公式については、内容のみを分析した。

タイ語語母語話者

{冗談}は内容によって、「依頼者と被依頼者の関係性に関する冗談」「依頼者と被依頼者の逆転に関する冗談」「手当の要求に関する冗談」の 3 つのグループに分類される。8 つの場面における出現数はわずか 7 回であるが、そこにはタイ文化が反映されていると言える。

表 112　TT{冗談}：場面別の出現数と出現率

{冗談}	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計
依頼者と被依頼者の関係性に関する冗談						**1**			**1 (14.3%)**
回答例 เดี๋ยวๆเรารู้จักกันตอนไหน ล้อเล่น (知り合いだったっけ？冗談だよ。)									
依頼者と被依頼者の逆転に関する冗談					**1**				**1 (14.3%)**
回答例 เสร็จแล้วบอกกูด้วย กูจะลอก (翻訳ができたら、俺に見せてね。コピーするわ。)									
手当の要求に関する冗談					**5**				**5 (71.4%)**
回答例 เสร็จแล้วเลี้ยงข้าวกูด้วย (翻訳ができたら、お酒をおごってね。)					4				4
เสร็จแล้วเลี้ยงเหล้ากูด้วย (翻訳ができたら、ご飯をおごってね。)					1				1
合計					**6**	**1**			**7 (100%)**

①－場面 1(親･目上･重)　②－場面 2(疎･目上･重)　③－場面 3(親･目上･軽)　④－場面 4(疎･目上･軽)

⑤－場面 5(親･同等･重)　⑥－場面 6(疎･同等･重)　⑦－場面 7(親･同等･軽)　⑧－場面 8(疎･同等･軽)

TT に見られた特徴を、以下の通りにまとめる。

(1)「依頼者と被依頼者の関係性に関する冗談」については、場面 6(親しくない同級生からの依頼)において 1 度出現しているのみである。このような冗談は、親しくない人なのに、重い依頼をされたことにびっくりしたことによる、非難気味の気持ちが含まれる冗談である。親しくない相手を非難することは人間関係を損ねる恐れがあるため、直接的に非難するのではなく、ふざけた調子で間接的に避難する。回答例は以下の通りである。

TM 8：เดี๋ยวๆเรารู้จักกันหรอ ล้อเล่น เอ่อเราไม่ค่อยว่างอะ ทำเองละกันนะ

(和訳：知り合いだったっけ？冗談だよ。俺は余裕がないから、自分で頑張ってね。)

話し手が、まず{冗談}を切り出し、その後断りの{理由}を説明してから、{行動指示}で発話を終了させる。

(2)「依頼者と被依頼者の関係性に関する冗談」は、場面 5(親しい友達からの依頼)において、1 回のみ出現している。以下の回答例は翻訳の依頼の場面である。

TM 24：กูอ่านไม่ออกเหมือนกันหวะ มึงแปลเองนะ ถ้าเสร็จแล้วบอกด้วย กูจะลอก

(和訳：俺にもわからない。自分でやってくれ。出来たら、見せてね。コピーするから。)

回答者が、最初に断りの{理由}を説明してから、相手に{行動指示}を伝える。最後に、{冗談}で発話を終了させる。頼まれた人が、逆に頼む人になってしまうことのような冗談は、おかしく聞こえるかもしれないが、タイ人の友人同士の会話においてはたまに起こり得る場面である。

(3)「手当の要求に関する冗談」は、場面 5(親しい友達からの依頼)にしか見られなかった。内容を見ると「ごはん」「お酒」をおごることを要求することが分かった。依頼時に、依頼者が被依頼者に手当を申し出ることが一般的であるが、この場面は逆に被依頼者が依頼者に手当を要求する。TT の意見では、翻訳のような重い依頼は、自分の時間を取られる作業である。しかし、友達に時給を要求するのが失礼なことだと思うので、時給の代わりに、「ごはん」や「お酒」をおごってくれるように頼む。とはいえ、半分は冗談で、友達だからこそ、おごってもらわなくても、手伝うつもりがある。あくまでも、もしおごってもらえたら、ありがたく感じるという程度である。回答例は以下の通りである。

TM 8：เหรอมึง พอดีกูมีสอบว่ะ ต้องอ่านหนังสือ กูขอแปลหน้านึงนะ เสร็จแล้วเลี้ยงข้าวกูด้วย

(和訳：{理解}(rɤ̌ə mɯŋ)。でも、ちょうど試験があって、試験勉強しなくちゃ。1 ページ翻訳してあげるね。できたら、ご飯をおごってくれ。)

TM 11：เอ่อ กูมีสอบอาทิตย์หน้า ช่วยแปลสัก1หน้าก็ได้ แปลเสร็จเลี้ยงเหล้ากูด้วย

(和訳：{否定的反応}(ʔəə)、俺は試験がある。じゃあ、1 ページぐらいしてあげる。できたら、お酒をおごってくれ。)

「手当の要求に関する冗談」の特徴としては、回答例のように、まず被依頼者が断りの{理由}を説明してから、自分ができる条件を提示することである。また、{冗談}で発話を終了させることである。ただし、{冗談}を言う際には、必ず条件を提示することが必要である。

全体的な傾向を見ると、TT は重い依頼の際に{冗談}を用いるという特徴が明らかになった。

7.10{励まし}

{励まし}の意味公式については、言語形式のみを分析した。

日本語母語話者

{励まし}は同等からの重い依頼の場面にしか見られない意味公式である。動詞「頑張る」を使い、活用によって「テ形」と「意向形」が使い分けられる。

表 113　JJ{励まし}：場面別の出現数と出現率

{励まし}	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計
テ形	**0**	**0**	**0**	**0**	**1**	**1**	**0**	**0**	**2 (20%)**
頑張ってね					1	1			**2**
意向形	**0**	**0**	**0**	**0**	**4**	**4**	**0**	**0**	**8 (80%)**
お互いに頑張ろう					2	1			**3**
一緒に頑張ろう					1	2			**3**
一緒に頑張りましょう					1	1			**2**
合計					**5**	**5**			**10 (100%)**

①－場面 1(親･目上･重)　②－場面 2(疎･目上･重)　③－場面 3(親･目上･軽)　④－場面 4(疎･目上･軽)

⑤－場面 5(親･同等･重)　⑥－場面 6(疎･同等･重)　⑦－場面 7(親･同等･軽)　⑧－場面 8(疎･同等･軽)

結果から、「テ形」の出現率は 20%に過ぎないが、「意向形」の出現率は 80%を超えることが明らかになった。付言しておくと、「テ形」の場合は動詞に終助詞「ね」が後続する。この場合の動作主は、聞き手(断られる側)である。

一方、「意向形」の場合は、動詞に「お互いに」「一緒に」が付加される。この場合の動作主は、話し手(断る側)と聞き手(断られる側)である。意向形を使うことにより、困った状況に陥っている人は聞き手だけでなく、頼みごとをされた話し手も同じような状況であることがわかる。意味公式の出現順序のパターンを見ると、{励まし}は発話を終了させるものとして用いられている。回答例は以下の通りである。

JF25:　ああ、私も中間テストがあるから、手伝えないわ。一緒に頑張ろう!

上述の回答例は、依頼を引き受けない{理由}を説明してから、はっきり{結論}を述べるものである。その際、相手との良好な関係を維持するため、発話の最後に{励まし}を用いる。しかし、関係維持が期待される反面、{励まし}が冷たく響くこともあるだろう。

7.11{非難}

{非難}の意味公式については、内容のみを分析した。

7.11.1{非難}：日本語母語話者

本研究では、{非難}を内容によって、「時間を取られることに対する非難」「頼む量が多すぎることに対する非難」「依頼者の能力に対する非難」の 3 つのグループに分類する。JJ の回答を表 114 に示す。

表 114　JJ{非難}：場面別の出現数と出現率

{非難}	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計
時間を取られることに対する非難					**2**				**2 (25%)**
回答例 俺はいつも暇な時間があるんじゃないよ。					1				1
俺がいつでも暇でと思ったら、大間違いやぞ。					1				1
頼む量が多すぎることに対する非難					**6**				**6 (75%)**
回答例 (1) 3-4 枚は人に頼む量じゃないよ。 (2) 3-4 枚は多すぎるんじゃない。 (3) 3-4 枚はひどいなあ。 (4)分量的にも頼める量じゃないやろ。それ時給発生するよ。									
依頼者の能力に対する非難									**0 (0%)**
合計					**8**				**8 (100%)**

①－場面 1(親･目上･重)　②－場面 2(疎･目上･重)　③－場面 3(親･目上･軽)　④－場面 4(疎･目上･軽)

⑤－場面 5(親･同等･重)　⑥－場面 6(疎･同等･重)　⑦－場面 7(親･同等･軽)　⑧－場面 8(疎･同等･軽)

{非難}は親しい同等からの依頼の場面にしか見られず、出現数も 8 回と少なかった。結果は、ポイントの高い順に「頼む量が多すぎることに対する非難」75%、「時間を取られることに対する非難」25%、「依頼者の能力に対する非難」0%となっている。

JJ に見られた特徴を、以下の通りにまとめる。

(1)「時間を取られることに対する非難」は被依頼者の都合を理解していないという非難で、出現率が 25%である。

(2)「頼む量が多すぎることに対する非難」は最も出現率が高い(75%)。非難の内容を見ると「多すぎるんじゃない」のような、被依頼者が対応できないという意図を伝えるものも含まれる。ほかにも、「3-4 枚は人に頼む量じゃないよ」のような非難は、分量だけでなく、依頼者の非常識さを非難することもある。さらに、頼む量が多すぎることに対し、「時給発生」を求めて非難する場合もある。

7.11.2{非難}：タイ語母語話者

表 115　TT{非難}：場面別の出現数と出現率

{非難}	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計
時間を取られることに対する非難					**3**		**8**		**11 (73.3%)**
回答例 กูไม่ได้ว่างตลอดเวลา (俺はいつも暇な時間があるんじゃないよ。) คิดว่ากูว่างมากใช่ปะ (いつも暇があると思う？) แกน่าจะบอกล่วงหน้า (もっと早く頼みに来たらよかったのに。) คราวหลังถามให้เร็วกว่านี้ (今度、もっと早く頼みに来てね。) มีงานตอนที่กูไม่ว่างตลอด (忙しい時に、いつも頼みにくるよね。) มาขออะไรตอนนี้เนี่ย /มาขอร้องไรตอนนี้ (今更何か頼みに来たの？) ช่วงที่กูว่าง ทำไมมึงไม่มา (俺が余裕があった時に、なんで頼みに来なかったの？) ทำไมมาถามวันนี้เนี่ย (なぜ今日頼みに来たの？)									
頼む量が多すぎることに対する非難					**1**				**1 (6.7%)**
回答例 3-4หน้าเยอะไปนะ (3-4 枚は多すぎる。)					1				1
依頼者の能力に対する非難							**3**		**3 (20%)**
回答例 ง่ายขนาดนี้ทำเองไม่ได้เหรอ (こんなに簡単なもん、自分でできないの？)							3		3
合計					**4**		**11**		**15 (100%)**

①－場面 1(親･目上･重)　②－場面 2(疎･目上･重)　③－場面 3(親･目上･軽)　④－場面 4(疎･目上･軽)

⑤－場面 5(親･同等･重)　⑥－場面 6(疎･同等･重)　⑦－場面 7(親･同等･軽)　⑧－場面 8(疎･同等･軽)

回答を場面別に見ると、{非難}は親しい友達からの重い依頼にしか見られなかった。結果は、ポイントの高い順に「時間を取られることに対する非難」73.3%、「依頼者の能力に対する非難」20%、「頼む量が多すぎることに対する非難」6.7%となっている。

TT に見られた特徴を、以下の通りにまとめる。

(1)「時間を取られることに対する非難」の出現率は 73.3%である。非難の内容を見ると、「なんで今日頼みに来たの」のような頼み事の時間的な適切性に対する非難だけでなく、「もっと早く頼みに来たらよかったのに」「今度、もっと早く頼みに来てね」などの過去や、将来の時間の条件を立てて非難する場合もある。そのような条件は、被依頼者が発話時には対応できないが、過去、将来のある時間なら依頼を受けられる可能性があるということを示すものである。すなわち、こういった発話には、非難と言っても、依頼に応じたい気持ちが内包されていると言える。

(2)「頼む量が多すぎることに対する非難」の出現率は 6.7%で、出現数はわずか 1 回である。

(3)「依頼者の能力に対する非難」は親しい友達からの軽い依頼の場面に見られ、出現数が 3 回である。

全体的な傾向を見ると、TT が「時間」のことに焦点を当て、依頼者の行動を非難する傾向が強いことが明らかになった。

7.11.3{非難}：日本語母語話者とタイ語母語話者の比較

表 116　JJ・TT{非難}：出現数と出現率の比較

{非難}	JJ 出現数(出現率)	TT 出現数(出現率)
時間を取られることに対する非難	2(25%)	11(73.3%)
頼む量が多すぎることに対する非難	6(75%)	1(6.7%)
依頼者の能力に対する非難	0(0%)	3(20%)
合計	**8(100%)**	**15(100%)**

JJ と TT の{非難}の内容を比較すると、相違点を以下の 3 点にまとめる。

(1) JJ は「頼む量が多すぎることに対する非難」の割合が最も高い(75%)のに対して、TT はその割合が最も低い(6.7%)。
(2) JJ は「時間を取られることに対する非難」の割合が最も低い(25%)。それに対して、TT はその割合が最も高い(73.3%)。
(3) 「能力」に対する非難は、TT にしか見られなかった。

ここで分かるのは、JJ は頼む量に焦点を当てて非難する傾向が強い。分量自体のみならず、他人に重い負担をかけていることまでを非難することもある。 反対に、TT は頼む時間の適切性を非難する傾向が強い。すなわち、頼む量が多かろうと少なかろうと、都合がいい時に頼まれたら、依頼に応じ得る可能性があるということである。以上のことから、JJ と TT が{非難}の対象が異なることが明らかになった。

7.12 意味公式ごとの分析のまとめ

日本語母語話者とタイ語母語話者が用いる意味公式の特徴を表 117 にまとめる。

表 117 日本語母語話者とタイ語母語話者が用いる意味公式の特徴

意味公式	日本語母語話者	タイ語母語話者
{結論}	①動詞、形容詞、言いさしのうち、動詞が最も頻繁に使われている。 ②「可能形の否定形(+接続助詞)」の出現率が最も高い。一方、言いさしの出現率が非常に低い。 ③目上、同等によって言語形式の使い分けが見られる。	①状態動詞、動作動詞、断りの意味を表す動詞のうち、状態動詞が最も頻繁に使われている。 ②パターン「モダリティ形式+状態動詞+否定詞」の出現率が最も高い。 ③モダリティ形式を多く使用する特徴が見られる。
{理由}(言語形式)	理由の内容　動詞が最も頻繁に使われている。そのうち、「辞書形+ので」の出現率が最も高い。「テ形」も多く使われている。 理由の内容+付加説明　最も多く使われている前文の述語の品詞が動詞であり、「テ形」の出現率が最も高い。	①前文と後文も「平叙文」が最も頻繁に使われている。次に「副詞+平叙文」の出現率が二番目に高い。 ②理由と原因を表す接続詞が会話の中にほとんど出現していない。
{理由}(内容)	①[理由の内容]のみを述べる傾向が強い(すべての場面において出現数が 50 回以上)。場面ごとに見ると、上下関係によって出現数が左右される。 ②[理由の内容]の場合、 不明確な理由を述べる特徴が窺がえる。 ③[理由+付加説明]の場合、時間的に都合が悪いという説明の出現率は最も高いのに対して、心理的に負担であるという説明はほとんど述べられない。	①[理由の内容]と[理由の内容+付加説明]の出現数には大きな差が見られなかったが、上下関係と親疎関係によって出現数が左右される。 ②[理由の内容]の場合、明確な理由 を述べることが多く、自分と家族に関係がある理由も述べる特徴が窺がえる。 ③目上からの依頼の場面では、理由の大切さを強調するという説明と、時間的に都合が悪いという説明を、同等からの依頼の場面では、理由の大切さを強調するという説明と、心理的に負担であるという説明を述べる傾向が見られる。
{行動指示}	「テ形」「意向形」「テ形+くれる」は親疎関係に関わらず使われるのに対して、「命令形」「否定形+義務の表現」は親しい相手にのみ使われている。	親しくない相手に対して「試行を勧める表現」が使われる傾向が見られる。
{詫び}	目上に対して「すみません形」、同等に対して「ごめんなさい形」が頻繁に使われている。	相手によって、詫びの言葉、強調詞、文末詞、文末丁寧詞、呼称詞にバリエーションが見られる。
{積極的代案提示}	「第三者に手伝いの協力を依頼する」の出現率が最も高い。	JJ と同じく、「第三者に手伝いの協力を依頼する」の出現率が最も高い。さらに、「第三者に手伝いを代行させる」ことを代案として提示した人もいる。
{条件提示}	「日時変更」「依頼の内容変更」の出現率が高い。	JJ と同じような傾向が見られるが、TT のほうが具体的な条件提示が見られる。
{否定的反応} [呼びかけ]		上下関係、親疎関係によって、呼称詞と間投詞が変わる。
{冗談}		「手当の要求に関する冗談」の出現率が最も高い。ただし、これは親しい友達からの重い依頼の場面にしか見られなった。
{励まし}	「意向形」が最も多く使われている。また、動詞の前に「お互いに」「一緒に」が付加されることが多い。	
{非難}	「頼む量が多すぎることに対する非難」の出現率が最も高い。	「時間を取られることに対する非難」の出現率が最も高い。

第八章

おわりに

本章では、日タイ母語話者における意味公式の出現順序のパターンのまとめ、日タイ母語話者が用いる意味公式の共通点と相違点のまとめ、仮説の検証の結果、文化差の観点による考察、「依頼」と「断り」の概念の捉え方、日本語教育への示唆、今後の課題に関して述べる。

8.1 日タイ母語話者における意味公式の出現順序のパターンのまとめ

調査の結果では、両母語話者における意味公式の出現順序のパターンにバリエーションの多様性があることが窺える。そのため、パターンをまとめるには、5 種類の意味公式の出現順序のパターン({理由}が中間にあるパターン、{理由}が冒頭の意味公式であるパターン 、{理由} が最後の意味公式であるパターン、{理由}なしのパターン、意味公式が一つしかないパターン)のうち、最も多く使われている{理由}が中間にあるパターンに絞り、意味公式をパターン化する。両母語話者における意味公式の出現順序のパターンを次頁に示す。

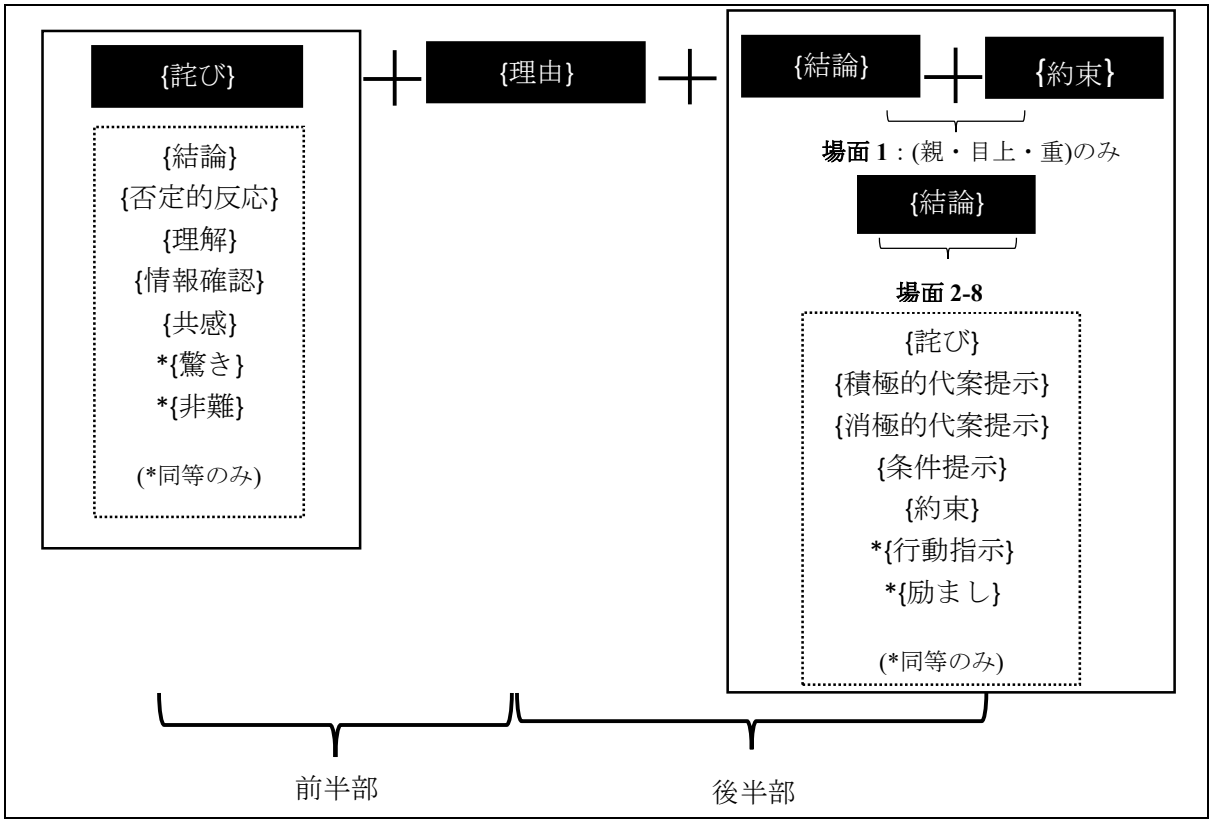


図 116　日本語母語話者における意味公式の出現順序のパターン

場面 1(親・目上・重)においては、JJ の最も多く使われている意味公式の出現順序のパターンは{詫び}+{理由}+{結論}+{約束}である。しかし、場面 2-8 においては、最も多く使われている意味公式の出現順序のパターンは{詫び}+{理由}+{結論}である。

意味公式の出現順序のパターンの前半部について、すべての場面において、{詫び}+{理由}…は最も多く使われている。ほかにも、点線に囲まれる意味公式(主に付加表現のカテゴリーに分類される意味公式)が{理由}の前に出現するパターンもある。例えば、{否定的反応}+{理由}…、{理解}+{理由}…、{驚き}+{理由}…などである。しかし、それらの意味公式のパターンの出現順序のパターンは{詫び}+{理由}…ほど、多く使われていない。また、{理由}の前に複数の意味公式が出現するパターンもある。例えば、{否定的反応}+{詫び}+{理由}…、{否定的反応}+{共感}+{理由}…、{理解}+{詫び}+{理由}…などである。なお、{驚き}と{非難}は同等からの依頼の場面にしか出現しない。

意味公式の出現順序のパターンの後半部について、場面 1 においては、他の場面と違って....{理由}+{結論}+{約束}が最も多く使われている。それに対して、場面 2-8 においては、…{理由}+{結論}である。ほかにも、{理由}の後に点線に囲まれる意味公式が出現するパターンも、複数の意味公式が出現するパターンもある。例えば、…{理由}+{消極的代案提示}+{詫び}、…{理由}+{結論}+{詫び}、...{理由}+{詫び}などである。なお、{行動指示}と{励まし}は同等からの依頼の場面にしか出現しない。

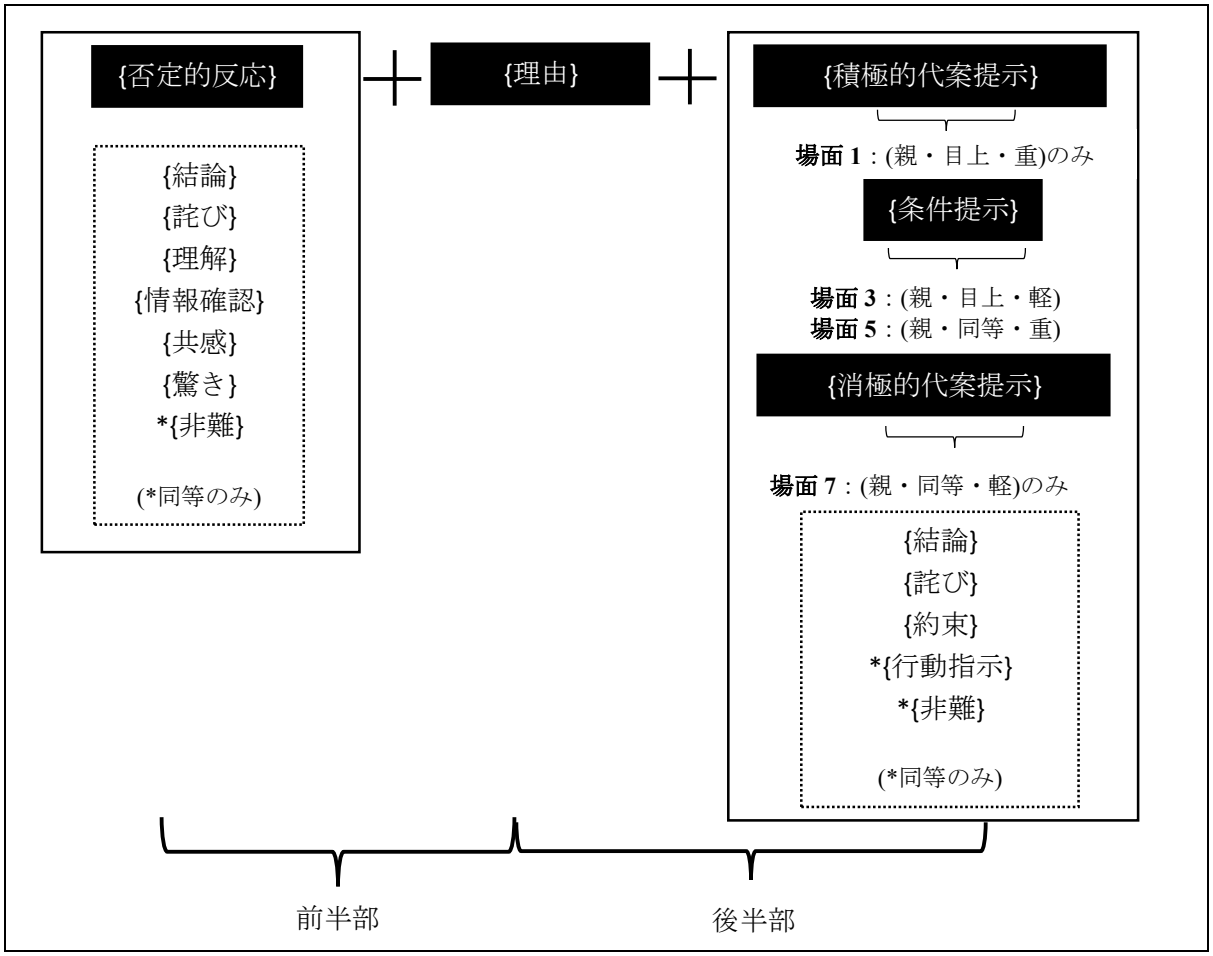


図 117　タイ語母語話者における意味公式の出現順序のパターン(親)

TT は JJ と違って、親疎関係によって意味公式の出現順序のパターンが異なる。親しい相手の場合、場面 1(親・目上・重)においては、最も多く使われている意味公式の出現順序のパターンは{否定的反応}+{理由}+{積極的代案提示}で、場面 3(親・目上・軽)と場面 5(親・同等・重)においては{否定的反応}+{理由}+{条件提示}で、場面 7(親・目上・軽)においては{否定的反応}+{理由}+{消極的代案提示}である。

意味公式の出現順序のパターンの前半部について、{否定的反応}+{理由}…は最も多く使われている。ほかにも、JJ と同じように{理由}の前に点線に囲まれる意味公式(主に付加表現のカテゴリーに分類される意味公式)が出現するパターンも、複数の意味公式が出現するパターンもある。例えば、{結論}+{理由}…、{情報確認}+{詫び}+{理由}…、{驚き}+{理由}…、{否定的反応}+{非難}+{理由}…などである。

意味公式の出現順序のパターンの後半部について、…{理由}+{積極的代案提示}、…{理由}+{条件提示}、…{理由}+{消極的代案提示}はそれぞれの場面において多く使われている。親しい相手からの依頼なら、断りを明言せずに、その代わり自分ができる条件を提示したり、手伝えそうな人を探したり、相手に手伝えそうな人を探すように勧めたりすることが TT の特徴である。ほかにも、{理由}の後に点線に囲まれる意味公式が出現するパターンも、複数の意味公式

が出現するパターンもある。例えば、…{理由}+{消極的代案提示}+{詫び}、…{理由}+{詫び}などである。

次に、親しくない相手からの依頼の場合、意味公式の出現順序のパターンを以下の図に示す。

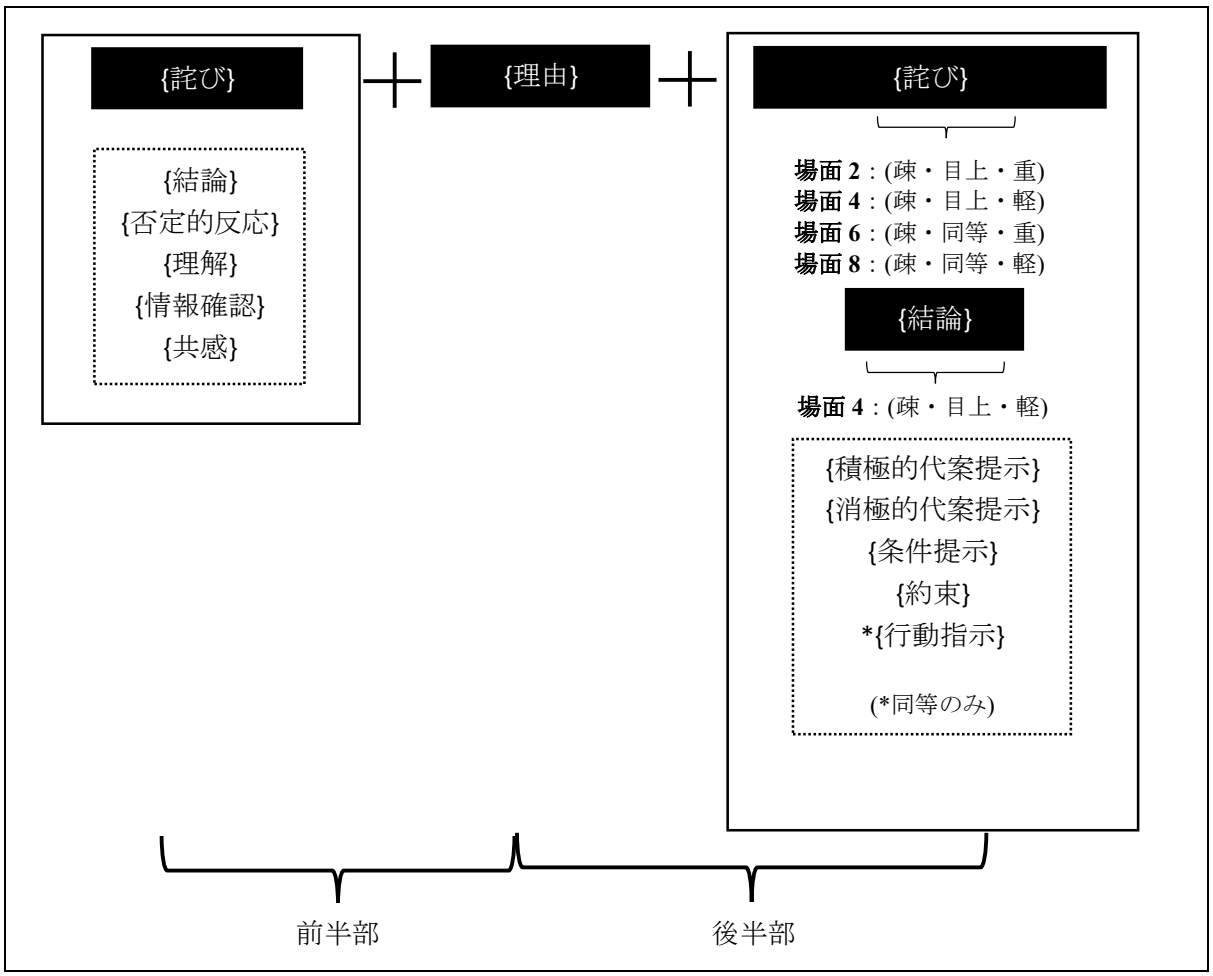


図 118　タイ語母語話者における意味公式の出現順序のパターン(疎)

親しくない相手の場合、場面 2, 6, 8 においては、最も多く使われている意味公式の出現順序のパターンは{詫び}+{理由}+{詫び}である。しかし、場面 4(疎・目上・軽)においては、{詫び}+{理由}+{詫び}と{詫び}+{理由}+{結論}は双方とも最も多く使われている。

意味公式の出現順序のパターンの前半部について、{詫び}+{理由}…は最も多く使われている。ほかにも、{理由}の前に点線に囲まれる意味公式が出現するパターンも、複数の意味公式が出現するパターンもある。例えば、{結論}+{理由}…、{否定的反応}+{詫び}+{理由}…などである。

意味公式の出現順序のパターンの後半部について、…{理由}+{詫び}はそれぞれの場面において最も多く使われている。なお、…{理由}+{結論}は、場面 4(疎・目上・軽)において…{理由}+{詫び}とともに最も多く使われているといっても、JJ よりも使用がかなり少ない。ほかに

も、{理由}の後に点線に囲まれる意味公式が出現するパターンも、複数の意味公式が出現するパターンもある。例えば、…{理由}+{消極的代案提示}、…{理由}+{結論}+{詫び}である。

意味公式の出現順序のパターンを見ると、JJ はパターンの複雑さが低いのに対して、TT はパターンの複雑さが高いことが明らかになった。

次の項目では、日タイ母語話者が用いる意味公式の共通点と相違点のまとめについて述べる。

8.2 日タイ母語話者における意味公式の使用の共通点と相違点

本研究で明らかになった JJ と TT が用いる意味公式の共通点と相違点を、以下の表にまとめる。なお、意味公式の出現率については「意味公式の使用」の項目に、意味公式の出現順序のパターン、冒頭の意味公式、最後の意味公式については「意味公式の構造」の項目にまとめる。

表 118　JJ と TT が用いる意味公式の使用と意味公式の構造の共通点

意味公式の使用の共通点
(1) 目上より、同等の方が出現率に有意差が見られる意味公式の数が多く見られる。JJ・TT は双方ともに目上と同等で使われる意味公式が異なっている。すなわち、いずれも上下関係が意味公式の使用に影響を与えると言える。
(2) 全体的な傾向を見ると、JJ と TT ともに、依頼の負担度による意味公式の出現率の有意差があまり見られなかった。
(3) すべての場面において、{否定的反応}を除き、<付加表現>のカテゴリーの意味公式の出現率が低い(10%)。
(4) {行動指示}{非難}は親しい同等に対して使われる。
(5) {積極的代案提示}は親しい目上に、{消極的代案提示}は親疎関係にかかわらず同等に対して使われる。
意味公式の構造の共通点
(1) 全体的な傾向を見ると、JJ と TT はともに、5 つのパターンのうち、{理由}が中間にあるパターンを最も多く使用している。
(2) 冒頭の意味公式について、JJ と TT は{詫び}{理由}{否定的反応}の 3 つの意味公式を使用する傾向が強いという共通点が見られる。
(3) JJ と TT ともに、目上より同等の方が意味公式の出現順序のパターンの数が多く、意味公式の組み合わせも複雑である。つまり、目上の依頼を断る際は限られた意味公式とパターンを使うのに対して、同等の依頼を断る際は相手の親疎関係に応じて意味公式とパターンを様々なバリエーションで使用できることが分かった。

表 119　JJ と TT が用いる意味公式の使用と意味公式の構造の相違点

意味公式の使用の相違点
(1) 親疎関係による意味公式の出現率に有意差があるのかどうか統計を行った結果によれば、出現率に有意差が見られなかった場面があることと、出現率に有意差が見られた意味公式の数が少ないことから、JJ は、親疎関係によって意味公式の出現率に有意差があまり見られなかったことが明らかになった。しかし、TT の方が JJ よりも親疎関係による意味公式の出現率に有意差が多く見られることが分かった。
(2) すべての場面において 50%以上の JJ が{結論}を使用しているのに対して、TT は JJ よりも{結論}の使用がかなり少ない(50%以下)。
(3) すべての場面において、70%以上の JJ は{詫び}を使用しているのに対して、カイニ乗検定を行った結果によれば、TT については親疎関係によって{詫び}の出現率が左右されることが分かった。TT は親しくない人に対するほうが、親しい人より{詫び}を多く使用している傾向が見られる。
(4) JJ と TT ともに、{理由}を多く使用するという共通点がある。しかし、理由の述べ方に大きな違いがある。JJ は[理由の内容]のみを述べる強い傾向が見られる。TT は JJ と違って、[理由の内容]と[理由の内容+付加説明]の出現数が同程度見られるが、上下関係と親疎関係によって出現率が左右される。目上からの依頼の場面(場面 1-4)では、親しい目上なら [理由の内容+付加説明]を、親しくない目上なら [理由の内容]のみを述べる傾向が見られる。一方、同等からの依頼の場面では、[理由の内容]と[理由の内容+付加説明]の出現数が同程度である。
(5) 内容の観点からみると、JJ は自分に関係がある理由のみを述べるのに対して、TT は自分以外にも自分と家族に関係がある理由を述べる。また、JJ は明確な理由と、不明確な理由の出現率が同程度である。しかし、TT においては明確な理由の出現率が不明確な理由と比較すると著しく高い。[理由+付加説明]の場合、JJ については「時間的に都合が悪いという説明」の出現率が突出しているのに対して、「理由の大切さを強調するという説明」や、「心理的に負担であるという説明」はほとんど述べられない。一方、TT は「理由の大切さを強調するという説明」、および「心理的に負担であるという説明」が多く述べられる傾向にある。{積極的代案提示}について、JJ と TT で出現率が大きく異なる代案は、「第三者に手伝いを代行させる」というものである。これは、JJ においては全く見られなかったのに対して、TT においては軽い依頼の場面で２割近く出現していた。
(6) JJ はほとんど{条件提示}を使用しないのに対して、TT は親しい相手に{条件提示}を多く使用している。内容の観点からみると、TT の{条件提示}の内容には多様性があると言え

る。また、親疎関係、上下関係、依頼の負担度の 3 つの要因によって{条件提示}の内容と出現率が変わることが明らかになった。

(7) {否定的反応}について、JJ と TT で大きく異なる点は、間投詞以外、TT が呼びかけで否定的反応を表すことである。親しい相手には{否定的反応}を多く使用している。しかし、親しくない相手には{否定的反応}をあまり使用せず、代わりに{詫び}を多く使用する。結果から、親疎関係によって TT の{否定的反応}の出現率が変わる傾向が見られた。

(8) {冗談}は TT にしか見られない意味公式である。親しい同等に対して使われる傾向がある。「手当の要求」に関する冗談が最も出現率が高い。

(9) {励まし}は JJ にしか見られない意味公式である。親疎関係にかかわらず使われる。

(10) {非難}は親しい同等に対して使われる。JJ と TT の相違点は、{非難}の対象が異なることである。JJ は頼む量に焦点を当てて非難する傾向が強い。分量自体のみならず、他人に重い負担をかけることに対してまでも頼む人を非難することがある。 反対に、TT は頼む時間の適切性に対して非難する傾向が強い。

意味公式の構造の相違点

(1) JJ と TT は 5 つのパターンの種類のうち、{理由}が中間にあるパターンを最も多く使用しているという共通点が見られるが、JJ は、すべての場面において{理由}が中間にあるパターンの出現率が 6-9 割、8 場面の合計 7 割である。それに対して、半分の TT は{理由}が中間にあるパターンを使う。続いて、あと半分の TT は{理由}が冒頭の意味公式であるパターンか、{理由}が最後の意味公式であるパターンを使う。JJ と TT ともに{理由}が中間にあるパターンを最も多く使用しているといっても、JJ と TT の出現率に大きな差がある。

(2) JJ はすべての場面において、パターン{詫び}+{理由}+{結論}の出現率が高い。それに対して、TT は出現率が目立ったパターンがなかった。つまり、バラエティに富んでいたと言える。

(3) 冒頭の意味公式について、すべての場面において、JJ が{詫び}を多用する傾向が強い。しかし、TT は親疎関係によって、意味公式を使い分けている。親しい相手に{否定的反応}を、親しくない相手に{詫び}を使用する。また、JJ に見られなかった{行動指示}{消極的代案提示}{冗談}{非難}の 4 つの意味公式は、同等からの依頼の場面にしか見られず、対等な人間関係も意味公式の使用に関係していると考えられる。結果から、JJ は冒頭の意味公式のバリエーションが少ないのに対して、TT は豊富であるという特徴があることが明らかになった。

(4) 最後の意味公式について、JJ は{結論}を使用する特徴があるのに対して、{条件提示}と{消極的代案提示}をほとんど 使用しない。一方、TT は意味公式の使用にばらつきが見られる。場面によって、各々の出現率は異なっている。

(5) 意味公式の出現順序のパターンを見ると、場面 4(疎・目上・重)を除き、JJ(21-39 パターン)より TT(25-62 パターン)のほうが、意味公式の出現順序のパターンの数が多く見られる。特に、同等からの依頼の場面においては、TT のパターンの数が約 60 パターンも存在することが分かった。

(6) 出現順序のパターンの前半部を見ると、すべての場面において、JJ は{詫び}+{理由}…を最も多く使用しているのに対して、TT は親疎関係によってパターンの使い分けがある。親しい相手に{否定的反応}+{理由}…を、親しくない相手に{詫び}+{理由}…を使用していることが分かった。また、親しい相手に対してはパターンの多様性が見られる。

(7) 出現順序のパターンの後半部を見ると、すべての場面において、JJ は…{理由}+{結論}または…{理由}+{結論}+{他の意味公式{例：消極的代案提示、行動指示、約束など}}を最も多く使用しているのに対して、TT は親疎関係によってパターンのバリエーションが見られる。親しい相手に多く使われるパターンは…{理由}+{積極的代案提示}、…{理由}+{条件提示}で、親しくない相手に多く使われるパターンは…{理由}+{詫び}、…{理由}+{結論}、…{理由}+{消極的代案提示}である。

8.3 仮説の検証の結果

本節では、調査の結果が 4.5 節の仮説および先行研究と同じ結果であるかどうか検証していく。

意味公式の出現率

仮説(1) JJ は{結論}と{詫び}を多く使用しているのに対して、TT は{結論}と{詫び}をあまり使用しない。

→概ね支持された

ほぼすべての場面において、50%以上の JJ は{結論}を使用している。特に、目上からの依頼の場面(場面 1-4)においては、出現率が高い(56-92%)。ただし、同等からの依頼の場面(場面 5-8)においては、目上からの依頼の場面と比べて出現率がそれほど高くない(44-61%)。また、すべての場面において、{詫び}の出現率も高く(70-93%)。JJ が{詫び}を多く使用していることについてはグエン(2012)と同じような結果が得られた。

一方、TT については、すべての場面において{結論}の出現率が低く(12-50%)、JJ と比べて差が大きい。また、カイ二乗検定を行った結果、TT の親疎関係によって出現率が左右されることが分かった。親しい相手の場合は出現率が低い(場面 1：51%、場面 3：26%、場面 5：34%、場面 7：34%)のに対して、親しくない相手の場合は出現率が高い(場面 2：93%、場面 4：80%、場面 6：73%、場面 8：72%)。言い換えれば、親しい相手に{詫び}をほとんど使用せず、逆に、親しくない相手に{詫び}を多く使用している傾向が見られる。

仮説(2) JJ と TT は{理由}の説明の仕方が異なる。具体的には、JJ は[理由の内容]、 TT は[理由の内容+付加説明]を述べる傾向がそれぞれ見られる。

→支持されなかった

JJ と TT は、ともに{理由}を多く使用しているという共通点がある。しかし、理由の述べ方に大きな違いがある。JJ は[理由の内容]のみ(54-94%)を述べる強い傾向が見られる。また、それは目上からの依頼の場面(場面 1-4)においては、出現率が著しく高い(72-94%)。同等からの依頼の場面(場面 5-8)においては、目上と比べて出現率がそれほど高くない(54-71%)。

一方、TT は仮説とは違って、[理由の内容]が[理由の内容+付加説明]と同程度出現していた。つまり、[理由の内容+付加説明]のみを使用する傾向が見られなかった。カイ二乗検定を行った結果では、上下関係と親疎関係によって出現率が左右されることが分かった。目上からの依頼の場面(場面 1-4)では、親しい目上なら [理由の内容+付加説明](場面 1：85%、場面 3：63%)を、親しくない目上なら [理由の内容](場面 2：60%、場面 4：76%)のみを述べる傾向が見られる。一方、同等からの依頼の場面では、[理由の内容](場面 5：54%、場面 6：55%、場面 7：46%、場面 8：56%)と[理由の内容+付加説明](場面 5：43%、場面 6：42%、場面 7：51%、場面 8：43%)の出現率が同程度である。

仮説(3) JJ は{条件提示}をほとんど使用しないのに対して、TT は使用する傾向が強い。

➞支持された

すべての場面において、JJ はほとんど{条件提示}(0-9%)を使用しない傾向が見られる。また、内容の観点からみると、{条件提示}の内容に多様性が見られない。

しかし、TT においては親疎関係、上下関係、依頼の負担度の 3 つの要因によって{条件提示}の内容と出現率が変わることが明らかになった。具体的には、親しい目上からの軽い依頼(場面 3：47%)と、親しい同等からの重い依頼(場面 5：47%)の場面で、{条件提示}が多く使われている。なお、親しい目上からの依頼(場面 1：19%)の場面においては、場面 3 と場面 5 に比べて、{条件提示}の出現率が低い。ところが、{条件提示}以外にも{積極的代案提示}の出現率(22%)が同程度見られる。この 2 つの意味公式の出現率を合計すると、41%になる。すなわち、相手の依頼に応じられなくても、自分ができる条件や様々な代案を提示することが分かった。さらに、{条件提示}の内容の観点から見ると、JJ よりも TT の{条件提示}の内容の方が多様性があり、具体的な方法を提示する傾向が見られる。

意味公式の出現順序のパターン

仮説(4) JJ はすべての場面において、{詫び}+{理由}+{結論}のパターンを多く使用する。しかし、 TT は場面によっては多く使われるパターンが異なり、パターンのバリエーションが多い。

➞支持された

JJ については、ほぼすべての場面において、{詫び}+{理由}+{結論}パターンの出現率が高い。例外として、目上からの重い依頼(場面 1)の場面で、この場面においては{詫び}+{理由}+{結論}+{約束}パターンの出現率が高かった(29%)。出現順序パターンの前半部に着目すると、すべての場面において、JJ は{詫び}+{理由}…を最も多く使用している。その点は藤原(2004)と同じような結果が得られた。また、出現順序のパターンの後半部を見ると、すべての場面において、JJ は…{理由}+{結論}または…{理由}+{結論}+{他の意味公式{例：消極的代案提示、行動指示、約束など}}を最も多く使用している。

それに対して、TT は出現率が目立ったパターンがなかった。つまり、パターンのバラエティに富んでいたということである。その点は伊藤(2010)と同じような結果が得られた。また、TT は親疎関係によってパターンを使い分ける傾向がある。例えば、親しい相手に{否定的反応}+{理由}…を、親しくない相手に{否定的反応}+{理由}…を使用していることが分かった。また、親しい相手に対してはパターンの多様性が見られる。加えて、出現順序のパターンの後半部も、親疎関係によってパターンのバリエーションが見られる。親しい相手に多く使われるパターンは…{理由}+{積極的代案提示}、…{理由}+{条件提示}で、親しくない相手に多く使われるパターンは…{理由}+{詫び}、…{理由}+{結論}、…{理由}+{消極的代案提示}である。結果か

ら、TT は JJ より意味公式をより複雑に組み合わせて使用していると言える。その点は成田・成田(2010)と異なる結果になった。

(3)冒頭の意味公式

仮説(5) 冒頭の意味公式については、JJ は{詫び}、TT は{否定的反応}か{理由}を用いる頻度が高い。

→支持されなかった

全体的な傾向(すべての場面の合計)を見ると、JJ は{詫び}を使用する傾向が強い(62%)。続いて、{否定的反応}の割合は二番目に高い(20%)。次点で{理由}(12%)であり、その他の出現率は1-2%に過ぎない。

一方、TT は仮説とは違って、全体的な傾向を見ると、{否定的反応}(37%)と{詫び}(31%)の 2 つの意味公式を同じぐらいの頻度で使用する傾向が存在した。次点で、{理由}(21%)である。その他の出現率は 1-5%に過ぎない。場面ごとに見てみると、TT は親疎関係によって意味公式を使い分ける傾向が強い。例えば、親しい人からの依頼の場面(場面 1,3,5,7)では、4-5 割の TT は{否定的反応}を使用する傾向が見られ、次点で、{理由}と{詫び}を使用する傾向が見られた。それに対して、親しくない人からの依頼の場面(場面 2,4,6)では、4-6 割の TT は{詫び}を使用していた。

(4)最後の意味公式

仮説(6) 最後の意味公式について、JJ は{結論}、TT は{詫び}か{条件提示}を用いる頻度が高い。

→支持されなかった

全体的な傾向(すべての場面の合計)を見ると、JJ は{結論}(33%)を使用する頻度が高かった。続いて、{詫び}(24%)は二番目に高く、次点で{理由}(14%)である。その他の意味公式の出現率はわずか 1-9%である。とはいえ、{結論}が最も多く使われているといっても、{詫び}と出現率はほぼ同程度である。

一方、TT は仮説とは違って、意味公式の使用にばらつきが見られる。場面によって、各々の出現率は異なっている。親しい相手からの依頼(場面 1,3,5,7)の場面においては{条件提示}{積極的代案提示}、親しくない相手からの依頼(場面 2,4,6,8)の場面においては{詫び}が多く使われている。また、全体的な傾向(すべての場面の合計)を見ると、TT は{詫び}(25%)と{理由}(23%)を使用する傾向が見られた。次点で{条件提示}(18%)である。

(5)親疎関係、上下関係、依頼の負担度の 3 つの要因

仮説(7)JJ は上下関係、TT は親疎関係を強く意識し、それによって意味公式を使い分ける。

一方、依頼の負担度は上下関係と親疎関係に比べて意味公式の使用に強く影響を与えない。

→支持されなかった

まず、上下関係については、仮説とは違って、JJ と TT ともに、目上と同等で使われる意味公式が異なることから、いずれにおいても上下関係によって有意差が見られる意味公式が多数存在した。

次に、親疎関係については、出現率に有意差が見られなかった場面があることと、出現率に有意差が見られた意味公式の数が少ないことから、JJ は親疎関係によって意味公式の出現率に有意差があまり見られなかったことが明らかになった。しかし、比較的 TT の方が親疎関係による意味公式の出現率に有意差が見られた。

最後に、依頼の負担度については、全体的な傾向を見ると、出現率に有意差が見られなかった場面があることと、出現率に有意差が見られた意味公式の数が少ないことから、JJ と TT ともに、依頼の負担度によって意味公式の出現率に有意差があまり見られなかったことが分かった。

8.4 文化差の観点による考察

調査の結果から、JJ と TT は意味公式の使用とその構造には大きな違いが何点か存在することが明らかになった。それでは、なぜ両者が用いる意味公式に違いがあるのだろうか。本節では、15 種類の意味公式のうち、文化差によって JJ と TT の出現率に大きな差が見られたと考えられる８つの意味公式({結論}、{詫び}、{否定的反応}、{理由}、{積極的代案提示}、{条件提示}、{冗談}、{励まし})に対象を絞り、先行研究、フォローアップインタビューのデータ(JJ：24 名、TT：32 名)および筆者の経験に基づいて考察を行いたい。

(1){結論}

まず、結論について述べる。すべての場面において{結論}を多用することが JJ の特徴の一つである(50%以上)。手伝うことの依頼に対する断りの場面に限らず、申し出に対する断りの場面に調査の焦点を置いたルンティーラ(2004)、成田・成田(2010)の結果では、本研究と同様に JJ が直接的に断る傾向があることが明らかになった。すなわち、たとえ断りの場面が異なっていたとしても、JJ が直接的に断る傾向は強いと言える。それでは、なぜそのような傾向が見られるのだろうか。回答者のフォローアップインタビューから、背景にある理由を以下の 6 点にまとめたい。

(1) はっきりと断らなければ手伝いに行けるかどうかがはっきりとせず、相手に誤解される恐れがある。
(2) 直接的に断らなければ、再依頼される可能性がある。
(3) 自分の都合により手伝えない場合、ためらうよりも直接的に断った方が相手の時間を無駄にしないと考えられる。
(4) 無理をして相手を手伝うと、逆に自分が困るかもしれないので、直接的に断ったほうがいい。相手の気持ちを傷つける言い方であっても、理由を説明すれば、相手が自分の状況を理解してくれると思う。
(5) 自分の都合により、相手の意思に沿って手伝うことができないので、中途半端になってしまう。逆に相手に迷惑をかけるかもしれないし、手伝う気がないように見える可能性もあるので、最初からはっきりと断った方が互いのためになる。
(6) 断りより依頼のほうが相手のフェイスを侵害する行為と思うので、直接的に断っても怒られないと思う。

一方、JJ と比較すると、TT は{結論}をあまり使用しない傾向がある。その点はルンティーラ(2004)、成田・成田(2010)と同様の結果が得られた。言語形式の観点からみると、例えば、自分の動作から視点を遠ざけ、状況に視点を置く表現「都合が悪い」や、モダリティなどによって直接的断りを和らげる表現が頻繁に用いられていることが特徴である。つまり、TT が間接的に

断る傾向が強いことが窺える。この理由についても、回答者のフォローアップインタビューから背景にある理由を以下の 3 点にまとめる。

(1) 直接的断りは、相手の気持ちを傷つけてしまい、不愉快な気持ちにさせてしまう表現なので、はっきりと断らないほうがいい。

(2) 直接的断りは相手の面子を潰す行動であり、相手に「言葉遣いが悪い」「思いやりがない」といった心象を与えてしまう恐れがある。

(3) 直接的断りが相手との将来的な関係性に悪影響を与える恐れがあり、万が一自分が何か困ったことがあった時に相手が手伝ってくれないのではないかと心配する傾向がある。インタビューのデータを鑑みると、互いの面子が潰れないように言葉に十分に気をつけて発言することが TT の特徴だと言える。

とはいえ、本調査が紙面調査であった関係上、回答者が無意識に、あるいは意識的に述語がある直接的断り文(例：できません、手伝えない)を選択して書いた可能性がある。したがって、調査の結果においては、述語がある直接的断り文が多く見られるのに対して、言いさし文がほとんど見られなかった。断りは、相手の消極的フェイスを脅かす行為なので、それを軽減するために、実際の発話においては言いさしが頻繁に用いられる。証拠の一つとして、日本語学習者向けの教科書に、表現「名詞+はちょっと」がよく扱われている。述語まで述べずとも、言いさし文を発話することによって、相手の依頼には応じられないという発話の意図が捉えられる。ただ、DCT の結果と実際の発話に使われている表現が異なるといっても、発話者の意図から判断すれば、JJ は直接的な表現を用いて断る傾向が強いと考えられる。

(2){詫び}{否定的反応}

すべての場面において、JJ は{詫び}を多用する傾向がある。意味公式の出現順序のパターンを見ると、断りが{詫び}から始まるパターンが突出していることが分かった。{詫び}に関する回答者の意見を以下の 4 点にまとめる。

(1) 断りは相手にとって好ましくないことなので、依頼者と被依頼者の関係やその場の雰囲気が悪くならないように詫びる。

(2) 詫びは社会的マナーの一つであり、コミュニケーションにおいて必要不可欠である。親しい相手に対してなら自分の申し訳ない気持ちを伝えられるし、親しくない相手に対してなら、自分自身の礼儀正しい姿を見せることができる。また、断りの場面において、詫びなければマナーがない人だと思われてしまう恐れがある。

(3) 詫びは断りの際に必要なものである。理由の説明や直接的断り表現がなくても、詫びだけで断りの意図が相手に伝わる。

(4) 詫びは断りを和らげ、相手への配慮を表す機能を持つ。

なお、相手への感情を表す意味公式{否定的反応}は、{詫び}と比べて比較的出現率が低い。ただ、これも同じく紙面調査であったため、{否定的反応}が実際の言語使用と異なっている可能性がある。今後さらに発話データを収集するなどして、分析を進めていく必要がある。

一方、TT の意味公式の出現順序のパターンを見ると、親しい相手なら{否定的反応}、親しくない相手なら{詫び}で始まるパターンが多く見られる。{詫び}に関する回答者の意見を以下の 3 点にまとめる。

(1) 親しい相手に詫びることは、距離を置くことにつながると感じる。
(2) 詫びは、親しくなく、気を遣わなければならない人に対して用いる言葉である。親しい相手なら気を遣う必要はなく、理由を説明するだけで十分である。
(3) 上述した JJ と同じ意見で、詫びは発話者の社会的マナーを表し、礼儀正しい姿を見せるものである。

堀江(1993)が言及しているように、日本人とタイ人は異なる会話の原則に基づいて会話をしている。日本人は詫びの言葉を主に社会的エチケットとして用いており、人間関係を円滑に保つために必要不可欠である。しかし、タイ人は日本人のように簡単に詫びることはない。

タイ語母語話者である筆者の経験上、タイ語母語話者は自分のせいで相手に不利益が生じた際、それが自分の過失によるものだと認めた時に詫びるケースが多い。対して、何かを断ることは必ずしも相手に対して悪いことをしているわけではなく、自分の過失でもないので、言葉で詫びる必要がないと思う。

とはいえ、タイ語母語話者は日本語母語話者とは異なった方法で詫びているとも言える。タイ語の{否定的反応}は、間投詞のみならず、呼びかけも含まれている。タイ語母語話者は相手との親疎関係、上下関係によりそれらを使い分ける。それは、ためらいのほかに手伝えないことに対する申し訳ない気持ち、依頼に応じたい気持ちなどの様々な感情を表す。つまり、タイ語の{否定的反応}は日本語より、使用範囲が広いと思われる。すなわち、詫びの言葉を口に出さなくても、{否定的反応}で申し訳ない気持ちを表明することが可能である。

日本語母語話者とタイ語母語話者は詫びに対する考え方や言語行動が全く異なっているので、両者が接触する場面において、相手の真意を誤解してしまい、摩擦を起こす可能性も十分にあると考えられる。

(3){理由}

JJ は親疎関係と上下関係によって[理由の内容]と[理由の内容+付加説明]を使い分ける。目上からの依頼の場面においては、親疎関係に関わらず、[理由の内容]のほうが[理由の内容+付加説明]より多く用いられているのに対して、同等からの依頼の場面においては、親なら[理由の内容+付加説明]、疎なら[理由の内容]を述べることが特徴である。理由の述べ方に関するフォローアップインタビューのデータを以下の 5 点にまとめる。

(1) たとえ親しい相手であったとしても、目上に対して理由を詳しく説明すると、言い訳のように聞こえ、失礼な言い方になってしまう。
(2) 目上に対して、個人(特に家族のこと)を理由として説明することは好ましくない。簡潔に理由を述べたほうが適切である。
(3) 目上は自分より年齢が高く、経験を積んだ人である。ゆえに、どれほど親しかったとしても、距離感を大切にしなければならない。したがって、断りの際には表現に十分に気をつけ、決まったパターンで発話した方が丁寧である。
(4) 同等は目上と比べて、より親近感があるため、親疎関係に応じて様々なパターンで発話できる。
(5) 親しい同等に対しては、理由を詳しく説明することが重要である。というのは、相手に十分に理解してもらわないと、将来的な関係が崩れる恐れがあると思うからである。逆に、親しくない同等は、関係が薄いので、詳しい説明がなくても断りの意志が伝わる。

一方、TT は JJ と違い、親疎関係と上下関係による[理由の内容]と[理由の内容+付加説明]の使い分けが逆である。具体的に言えば、全体的な傾向を見ると、[理由の内容+付加説明]が TT の特徴であることが明らかになった。目上の場合、親なら[理由の内容+付加説明]、疎なら[理由の内容]のみを述べる。一方で、同等の場合は親疎関係に関わらず[理由の内容]と[理由の内容+付加説明]を使用する頻度がほぼ同程度である。理由の述べ方に関するフォローアップインタビューのデータを以下の 3 点にまとめる。

(1) 親しい目上からの依頼の場面において、理由を簡潔に述べると、断りの意志が伝わらず、相手にその理由を十分に理解してもらえない恐れがある。時には、その理由について、具体的な説明を要求されるケースもある。
(2) 親しい相手に不明確な理由を述べると、どんな用事があるか聞かれる可能性がある。親しいのに、なぜ理由を具体的に説明しないのか、もしくは何かを秘密にしているのではないかと思われてしまうため、相手を安心させるために詳しい説明を行うことが重要である。
(3) 同等の場合は、親でも疎でも、年齢に大きな差がないので、目上ほど表現に十分に気を使わなくてもいい。理由を簡潔に述べても、明確な理由であれば理解してくれると思う。

以上に述べたJJとTTの意見から、それぞれの文化における考え方によって、理由の述べ方に大きな違いがあると言える。そのうち、大きな違いの一つはプライベートに関することである。JJは自分のことのみを述べるのに対して、TTは親疎関係に関わらず、家族のことまで詳しく説明するという相違点が明らかになった。Hofstede & Minkov(2010)が提唱した権力格差の概念に基づいて考察すると、日本はタイと比べて個人主義が強い社会、内外の社会であるため、互いのプライベートを尊重することが重要視されていると思われる。また、タイ人と比較すると、日本人の考える目上という概念の方が限定的であると指摘する先行研究もある。例えば、日本人は自分の先生を目上の存在として真っ先に思い浮かべないと堀江(2000)が指摘している。日本人は、どれほど親しくても目上の存在とは距離を置かなければならないと思う傾向があるため、自分の先生を外の人として捉えている可能性がある。

しかし、タイは集団主義が強く、上下関係が認められる社会である。拡張家族を中心とする社会において生活しているタイ人は、集団(特に家族)の仲間を強く意識している。TTが「家族・親戚に関することや自分の勉強」を理由として取り上げるのは、「そのことがタイ人にとって十分正当な理由になり得るから」「家族や勉強に関係がある理由を説明すれば、相手が仕方ないと納得してくれる」という理由が存在するからだった。したがって、断りの場面において、家族のことに言及するのは決して珍しいことではない。また、中島(2012:38)は「タイの文化は言葉である。考えや気持ちをすべて言葉で表すのがタイのやりかたである。「以心伝心」はありえないので、詳細な部分まで説明が必要である。日本人は言葉より行動を重視するため、言葉で言わなくても行動を見せれば言いたいことが伝わるのだと考えているところがある」と述べている。断りの場面に限らず、謝罪の場面でも、謝罪せずに理由を明確に、かつ詳しく説明するのがタイ人のコミュニケーションスタイルなので、日本人と接触した際に、すれちがいや誤解を引き起こす要因となる可能性があると考えられる。

(4){積極的代案提示}{条件提示}

{積極的代案提示}{条件提示}は最後の意味公式として出現している。JJは親疎関係に関わらず2つの意味公式をあまり使用しない傾向がある(それぞれ0-21%)。しかし、TTについては親疎関係によって{積極的代案提示}{条件提示}の出現率に有意差が見られる。つまり、親しい相手のほうが親しくない相手より{積極的代案提示}{条件提示}を多く使用する傾向がある。なお、{条件提示}は親疎関係、上下関係、依頼の負担度の3つの要因が複雑に関わっている。

内容の観点から見ると、JJよりTTにおける代案の方が多種多様、かつ具体的である。その最大の特徴は、依頼に応じられない場合であっても別の方法を提示することである。また、TTは親しくない相手に、自分の連絡先(Line, Facebook)を教えることもある。それはJJには全く見られない傾向であった。

なぜ、多くのTTが代案や条件を提示するか、回答者のデータを以下の2点にまとめる。

(1) 依頼に応じられなくても、自分ができることを提示することは、すなわち思いやりを見せることであり、相手が自分にとって大切な人であることを明示することができる。すなわち、代案を提示することは相手との関係を保つ大切な役割を果たしていると言える。逆に、もし将来自分が何かで困っている際には、相手が手伝ってくれることを期待している。

(2) 互いに助け合うのは当たり前のことであると思う。頼まれたことが、自分の力や能力を超えていなければ、たとえ都合が悪くても、できる限り協力したい。

筆者の意見では、集団主義が強いタイ社会において、助け合いは人と人を結ぶ大切な役割を果たしている。互いに利益を授受すべきだというのは、タイ人の伝統的な考え方である。たとえば、「น้ำพึ่งเรือ เสือพึ่งป่า náam phûŋ rɯa sŭa phûŋ pàa (直訳：舟が川に頼る。虎が森に頼る)」(意味：魚心あれば水心あり)という諺がタイ社会の価値観をよく反映していると言えるだろう。タイ人は助け合いの重要性を小さい頃から教育される。したがって、依頼と助け合いは日常生活から切り離せないものとなっている。手伝うことの依頼に限らず、物の貸し出し(特に金銭)、買い物、代行などの様々な依頼がタイ社会において頻繁に起こっている。

さらに、仏教の思想がタイ人の考え方に影響を与えていると考えられる。中島(2012:23)によると、「タイ人は「業(カルム、行い)」を信じている。良い行いをすれば善徳が積まれ、悪い行いをすれば悪徳が積まれる。人の人生は貯金箱のようなもので、良いことをたくさんすると「ブン」がたくさん貯まっていくし、悪いことばかりすると「バーブ」がたくさん貯まっていくと考えられている。貯まった「ブン」も「バーブ」も因果応報の法則で結果が戻ってくる。現世に戻ってこない結果は来世に持ち越され、永遠にその貯金を使い果たすまで人間は輪廻すると考えられている」という。「ブン」を貯めるため、タイ人はお坊さんに食事や生活用品を捧げたり、鳥や魚を開放したり、お金を寄付したりしている。困った状況に陥る人を助けることも「ブン」を貯める方法の一つである。たとえ自分が困難な状況にあったとしても、自分が相手を助けたことによって相手が窮地を脱せられれば、「ブン」が貯まって自分も幸せになるとタイ人は考える。すなわち、タイ社会における依頼は迷惑をかける行為ではなく、人と人を結び付けるかすがいのひとつであると考えられる。

また、堀江(2000)によると「日本人はタイ人に比べて、「親友」の存在する集団の範囲が限られ、対人関係の距離の「遠さ」を認識している。一方、タイ人は「親友」の存在する集団の範囲が幅広く、気軽に何でも頼めると対人の距離の「近さ」を認識している。」と述べている。対人関係に対する認識の違いにより、JJ と TT の断り方が異なると考えられる。

(5){冗談}

{冗談}は TT にしか見られない意味公式で、{条件提示}の後に多く出現している。ここで注目していきたいのは、タイ社会における「食事などをおごること」の冗談である。

回答者のフォローアップインタビューによれば、「重い依頼は、自分の時間と努力がかかる作業である。無料で手伝ってあげるのは大変でも、思いやりはお金で買えないので、友達に時給を支払うよう頼むのはよくないことだと思う。そこで時給の代わりに「ごはん」や「お酒」をおごってもらうことを頼む」「本当におごってもらいたいわけではないが、おごってもらったらありがたく感じる」という意見がある。

ところで、タイにおける「おごり」は、上下関係、力関係に深く関わっている。中島(2012:90-93)が述べているように、男性が女性におごる、地位の高い者(年齢、職業など)が地位の低い者におごる、お金に余裕のある人がおごるという暗黙のルールがある。「おごり」行為には「力のある者がより力の小さい者(財力も含む)にごちそうする」という意味がある。しかし、おごる者は周囲に対して単に経済力を示すだけでなく、人と人を結び付けるという面もある。筆者の経験から言うと、「おごること」は相手に感謝の気持ちを表すことでもある。誰かに(特に親しい人に)手伝ってもらった時に、金銭を授受することが相手に不愉快な感情を抱かせてしまう恐れがあるので、その代わりに、食事、あるいはお酒や映画をおごるのが適切であると考える傾向がある。また、食事しながら、雑談することは親密な関係性の構築につながると考えられる。また、タイ人は喜んだ時に、周りの人(親戚や近所など)に食事をおごるのが一般的である。例えば、宝くじが当たった時や息子が大学を卒業した時などに、同じ村に住んでいる人たちに食事をおごることもある。食べ物をおごることを通じてめでたい気持ちを伝え、嬉しい経験をみんなに共有したいという深い意味が隠れていると考えられる。また相手が悲しくなった時にも、おいしい食べ物で悲しみを癒すために、食事に連れて行っておごることもある。本調査の結果および筆者の経験から、料理が人間関係を結びつける役割を果たす一方、タイ人の娯楽の価値観であると言える。その点は Koomin & Samakkarn(1979)の研究を支持している。

タイ社会における「おごり」は人間関係を保ち、日常生活に切り離せないものである。異なる文化圏の人から見ると、タイ人が優しい人だと思うかもしれないが、逆に、不愉快に思わせてしまうかもしれないこともある。「おごり」には様々な意味合いがあるので、誤解を招く原因にもなり得る。

(6){励まし}

{励まし}は JJ の同等からの重い依頼(場面 5,6)の場面にしか見られなかった。最後の意味公式として出現している。回答者のフォローアップインタビューから背景理由を以下の 3 点にまとめる。

(1) 社会的なエチケットとして励ましの言葉が使われている。

(2) 励ましの言葉で発話を終了したほうが、相手にいい印象を与えられる。

(3) 直接的断りの代わりに、励ましの言葉を通じて婉曲的に自分の困った状況を伝えたほうが柔らかく聞こえる。

フォローアップインタビューから、励ましが社会的なエチケットや会話上のマナーとして使われていることが示唆される。紙面調査が{励まし}は JJ にしか見られないという結果が得られたが、実際の発話においては TT にも見られる可能性があると思う。その点に関しては今後の課題としてさらに分析する必要がある。

8.5 日タイ語母語話者の「依頼」と「断り」の概念の捉え方

「依頼」「断り」について回答者の意見を聞いたところ、両母語話者の概念の捉え方が異なることが明らかになった。その点を以下の図にまとめる。

「依頼」

(1) 基本的に自分のことなら自分でやる。依頼は、他者に労力を費やさせ、相手の時間を奪う。相手を困らせる行為である。

(2) 自分の能力を超えたら、仕方がなく他の人に頼む。しかし、やむを得ず頼む時には、頼む量および頼みごとの内容、相手の都合を考えておくのが必要である。

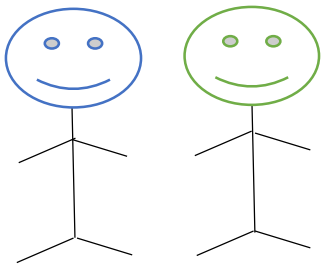
(3)どれほど親しくても何でも頼めるわけではない。特に、親しくない相手には軽い依頼でも絶対に頼まない。

(4)依頼は相手に借りを作るような行為である。依頼をした場合は、相手に恩を返さなければならない(何回も感謝すること、お礼として金銭を渡すこと、次回相手が困った時に助けてあげるなど)。

「断り」

(1) 何か別の用事がある場合、依頼に応じられなければ気軽に断れる。

(2) 依頼は他の人に労力や時間の迷惑をかける行為である。手伝えるかどうか相手に委ねる。都合により手伝ってくれない可能性があるという前提があるので、断りが直ちに人間関係を悪化させるわけではない。ただし、断り表現によっては相手を怒らせることもある。



日本語母語話者 タイ語母語話者

「依頼」

(1)助け合いは伝統的な考え方である。依頼は人と人を結びつけるような、日常生活から切り離せないものである。

(2)親しい相手(特に親しい友達)なら、やむを得ず頼む時にきっと手伝ってくれると思うので、頼む量および頼みごとの内容を考えなくてもいい。もし相手が依頼に応じられなければ、条件を提示したり別の方法を提示してくれると考える。依頼の内容についても後で交渉することができる。

(3)親しい相手なら、きっと手伝ってくれると思うので、何でも気軽に頼める。

(4)タイ社会において、依頼したり助け合ったりするのは当たり前のことである。特に、親しい間柄であれば、助け合いは義務に近い。また、依頼がなされた場合でも、絶対に恩を返すとは限らない。(お礼として、その場だけにおいて感謝すること、食事をおごる、次回相手が困った時に助けてあげることなどはある)

「断り」

(1) 断りは相手の面子を潰す行為である。断りがなされた場合は、相手に思いやりがない人だと思われてしまう恐れがあるので、できるだけ断らないようにする。やむを得ず断らなければならない場合は、直接的断りを避ける。

(2) 依頼と助け合いは当たり前のことである。特に親しい相手にならきっと手伝ってもらえるという前提があるので、断りによって人間関係が崩れる可能性がある。

8.6 日本語教育への示唆

本項では、日本語教科書において断りの項目がどのように扱われているかという点を考察し、その問題点を踏まえて、本調査の結果が日本語教育にどのように応用できるか検討していく。

8.6.1 教科書に扱われている依頼に対する断りの表現

まず、タイでの文法および会話の授業で使用されている 13 冊の教科書[16](タイ語で書かれた日本語初級教科書も含む)について、依頼に対する断りの項目が扱われているかどうかを以下の表にまとめる。

表 120　教科書における依頼に対する断りの項目の扱い

教科書名	扱っている	扱っていない
初級の教科書		
『日本語で話そう—初級日本語テキスト<1>』(1991)		×
『みんなの日本語初級 I 』(1998)		×
『新文化初級日本語』(2000)		×
『ภาษาญี่ปุ่น อากิโกะโตะโทะโมะดะจิ 2 日本語あきこと友だち 2[17]』 (2004)		×
『なめらか日本語会話』(2005)		×
『日本語初級①大地—メインテキスト』(2008)		×
『まるごと　日本のことばと文化　入門 A1(りかい)』(2013)		×
『絵で学ぶコミュニケーション—〈会社・生活編〉20 のトピック』(1997)		×
初級後半～上級		
『聞いて覚える話し方日本語生中継・初中級編 1』(2006)	○ (物の貸し借りの依頼)	
中級		
『ロールプレイで学ぶ会話(1)』(1987)	○ (手伝うことの依頼)	
『ロールプレイ玉手箱』(2010)		×
『中上級学習者のためのブラッシュアップ日本語会話』(2013)	○ (手伝うことの依頼)	
中級～上級		
『聞いて覚える話し方日本語生中継・中～上級編』(2004)	○ (手伝うことの依頼)	

[16] 断りの会話例が掲載されている教科書のみ選んだ。『ภาษาญี่ปุ่น อากิโกะโตะโทะโมะดะจิ 2 日本語あきこと友だち 2』と『みんなの日本語初級 I』はタイの学校で使われている教科書である。それ以外の教科書は、チェンマイの大学 3 校(チェンマイ大学、チェンマイラッチャパット大学、パーヤップ大学)で会話のメインテキスト、参考書として使われている。全国の大学で使われている教科書の調査を行うことが不可能であるため、本研究では、チェンマイの大学に絞り、教員の協力から情報を得た。

[17] 国際交流基金バンコク日本文化センターの共提で制作されたタイ語版の教科書である。大学日本語教員、高等学校、タイ教育省と日本語教員と国際交流基金の派遣専門家が作成に携わり、2004 年から学校に導入され始めた。メンテキストは計 6 巻である。日本語能力試験 N4 に達成する目指しである。

教科書を調査した結果、依頼に対する断りの項目が初級後半から学習者に導入されている。そのうち、手伝うことの依頼に対する断りも、物の貸し借りの依頼に対する断りも含まれる。手伝うことの依頼に対する断りの項目が扱われている教科書は少数に留まっていることが明らかになった。

以下に挙げられる教科書の会話例を通して、依頼に対する断りの項目がどのように扱われているか、発話機能を意味公式の観点から考察してみる。なお、四角で囲んだものは意味公式の分析の対象とする断り文である。

会話①『ロールプレイで学ぶ会話(1)』(p.117)

近所の人: 民族舞踊をなさるそうですが、タイ日友好の集まりでひろうしていただけませんか。もっとお互いの国のことについて知りたいと思いますので。	**依頼**
留学生: 申し訳ないんですが、その日は先約があるので、ちょっと・・・。	**断り**
{詫び} {理由} {結論}	

会話①は、近所の人が留学生にタイ日友好の集まりで民族舞踊を依頼することに対する断りの会話である。留学生が頼まれてら、はじめに「申し訳ないんですが」と謝り、次に「その日は先約があるので」と断りの理由を述べてから、最後に、言いさし文「ちょっと・・・」と断る。

会話例に出てくる断りの意味公式の出現順序のパターンは{詫び}+{理由}+{結論}である。ここでは、学習者に断りの文型「動詞の辞書形+ので」「ちょっと・・・」が導入される。

会話②『中上級学習者のためのブラッシュアップ日本語会話』(p.32)

先輩: 急なんだけど、あした引っ越し手伝ってくれない？	**依頼**
後輩: すみません、あしたは午後から試験があって、無理なんです。	**断り**
{詫び} {理由} {結論}	

会話②は、先輩が後輩に引っ越しの手伝いを依頼することに対する断りの会話である。後輩が頼まれてら、はじめに「すみません」と謝り、次に「あした午後から試験があって」と断りの理由を述べてから、最後に、「無理なんです」と明確に断る。

会話例に出てくる断りの意味公式の出現順序のパターンは{詫び}+{理由}+{結論}である。ここでは、学習者に断りの文型「動詞のテ形」「形容詞+んです」が導入される。

会話③『聞いて覚える話し方日本語生中継・初中級編 1』(別冊 p.4)

A: すみません、このプリンター、貸していただけますか。うちの、壊れてまして。	**依頼**
B: ごめんなさい。今使おうと思っていたところなんですよ。30 分後でもいいですか。	**断り+代案**
{詫び} {理由} {条件提示}	
A: ええ、もちろん。じゃ、また後で来ます。	**承諾+行為宣言**
B: はーい。	**理解**

会話③は、プリンターを貸すことに対する断りの会話である。はじめに、A が B にプリンターを貸すことを依頼する。頼まれた B が「ごめんなさい」と謝り、次に「今使おうと思ってい

たところなんですよ」と断りの理由を述べてから、「30 分後でもいいですか」と条件を提示する。最後に、A が B が提示した条件を承諾する。会話③は会話①②と違って、断りの後に代案と承諾の会話が続き、完全な断りの場面ではない。

会話例に出てくる断りの意味公式の出現順序のパターンは{詫び}+{理由}+{条件提示}である。ここでは、学習者に「平叙文で理由を説明すること」「～てもいいですか」が導入される。

なお、意味公式の出現順序のパターンを考察してみると、教科書の会話例に出てくるパターン{詫び}+{理由}+{結論}は、本調査の結果で JJ に多く使われているのと同じようなパターンであることが明らかになった。

教科書に掲載されている断りの会話例には、いくつかの問題点がある。以下の 3 点にまとめる。

(1) 教科書で依頼に対する断りがほとんど扱われていない。特に、手伝うことの依頼に対する断りの会話例が載っている教科書の数がごく少ない。

(2) 会話例には話し手と聞き手の関係が明確に書かれていないため、二人がどのような立場から会話しているか分からなくなり、相手に応じてどのように言葉を使い分けてよいか、学習者が混乱する可能性をはらんでいる。

(3) 教科書に載っている会話が、依頼と断りの本題しか取り上げられておらず、会話開始部と終了部が省略されているため、会話として自然さが不足しているという問題がある。まず、依頼の会話については、前置きや相手への依頼に関する情報を提供せずに、突然に依頼することが多く見られる。例として、会話①民族舞踊を依頼する場面は重い依頼なので、教科書のように突然に依頼することが不可能である。次に、断り表現が場面にふさわしくない点がある。会話①②では、「ちょっと…」「無理なんです」のような直接的断りで会話を終了させるものなので、相手に冷たい印象を与えるのではないかと思われる。断りがなされた後、良好な関係を保つように、どのような流れで会話するか学習者が困難に感じる可能性がある。

以上に述べたように教科書では、依頼に対する断りがほとんど扱われていないという結果が明らかになった。それに対して、誘いに対する断りはほぼ全ての教科書に会話例が掲載されている。その点に関しては次の項で詳述する。

8.6.2 教科書に扱われている誘いに対する断りの表現

各教科書を調査した結果、主に誘いに対する断りが導入されていることが窺える。初級の段階で学習者が誘いの文型も、断りの文型も同時に学ぶことが多く見られるので、断りといえば、誘いに対する断りのほうが、依頼に対する断りより学習者が馴染み深いのではないかと思われる。そこで、誘いに対する断りの項目がどのように扱われているか、以下の会話例を通して、詳しく考察していく。

会話④『みんなの日本語』(第 9 課 p.93)

ミラー: もしもし、ミラーです。	**呼びかけ**
木村:　ああ、ミラー、こんばんは。お元気ですか。	**応答+挨拶**
ミラー:　ええ、げんきです。	**挨拶**
あのう、木村さん、小澤征爾の　コンサート、いっしょに　いかがですか。	**誘い**
木村：　いいですね。いつですか。	**情報要求**
ミラー：来週の　金曜日の　晩です。	**情報提供**
木村：　金曜日ですか。　金曜日の　晩は　ちょっと・・・	**断り**
{理解/否定的反応}　{結論}	
ミラー：だめですか。	**確認要求**
木村：　ええ、友達と　約束が　ありますから、・・・。	**確認+説明**
{理由}	
ミラー：そうですか。　残念ですね。	**理解**
木村:　ええ。　また　今度　お願いします。	**関係修復**

会話④は、誘い(コンサートを見に行く)に対する断りの会話である。木村はミラーに誘われた後、すぐには断らず、コンサートについての情報を要求する。情報を聞いた後、木村がはじめに「金曜日ですか」と言ってから、言いさし文「金曜日の晩はちょっと・・・」と断る。ミラーが確認を要求した後、木村が「友達と約束がありますから」と断りの理由を述べる。

会話例に出てくる断りの意味公式の出現順序のパターンは{理解/否定的反応}+{結論}+{理由}である。ここでは、学習者に断りの文型「名詞+ですか」「名詞+はちょっと」「動詞のマス形+から」が導入される。

会話⑤『ภาษาญี่ปุ่น อากิโกะโตะโทะโมะดะจิ 2 日本語あきこと友だち 2』(第 8 課 p.88)

(誘いに対する断りの言葉入れ替え練習タスク)	
A:　日曜日に　いっしょに　買いものを　しませんか。	**誘い**
B:　買いものは　ちょっと・・・。	**断り**
もしくは日曜日は　ちょっと・・・。	
{結論}	
①土よう日　テニスをします　②金よう日　えいがを見ます	
③日よう日　海へ行きます　④今日　アイスクリームを食べます	

会話⑤は、誘いに対する断りの言葉入れ替え練習タスクである。誘いの発話に出てくる名詞の言葉を用いて、断りの際にその言葉を入れ替えることを学習者に練習させる。

会話例に出てくる断りの意味公式の出現順序のパターンは{結論}のみである。ここでは、断りの文型「名詞+はちょっと」が導入される。

会話⑥『日本語で話そう 1』(p.113)

A:	ジョンソンさん。　ちょっと　いっぱい　どうですか。	**誘い**
B:	すみません。　きょうは　ちょっと・・・。	**断り**
	{詫び}　{結論}	
	まだ　しごとが　ありますので。	
	{理由}	
A:	ああ、　そうですか。　じゃあ、　また　この　つぎ。	**関係修復**
B:	ええ。	**理解**

会話⑥は、誘い(飲み物を飲む)に対する断りの会話である。B が誘われた後、はじめに、「すみません」と謝り、言いさし文「きょうははちょっと・・・」と断る。最後に、「まだしごとがありますので」と断りの理由を述べる。

会話例に出てくる断りの意味公式の出現順序のパターンは{詫び}+{結論}+{理由}である。ここでは、学習者に断りの文型「名詞+はちょっと」「動詞のマス形+ので」が導入される。

会話例⑦『なめらか日本語会話』(p.131)

男 C	「今週の土曜日あたり、ゴルフなんかいかがですか」	**誘い**
男 D	「土曜日ですか。土曜日はちょっと・・・」	**断り**
	{理解/否定的反応}　{結論}	
男 C	「そうですか。じゃまた別の機会にでも・・・」	**関係修復**

会話例③は、誘い(ゴルフをやる)に対する断りの会話である。D が誘われた後、はじめに「土曜日ですか」と言ってから、言いさし文で「土曜日はちょっと・・・」と断る。

会話に出てくる断りの意味公式の出現順序のパターンは{理解/否定的反応}+{結論}である。ここでは、学習者に断りの文型「名詞+ですか」「名詞+はちょっと」が導入される。

各教科書を通して、明言はしないものの、言いさし文を用いて実質的には直接的に断ることが日本語の特徴であることが分かった。また、意味公式の出現順序のパターンを見ると、すべての会話例に{結論}が出現している。すなわち、これは断りの場面において必要な意味公式なのではないかと思われる。

問題点としては、教科書において、誘いに対する断りの表現として言いさし文「ちょっと…」「名詞+はちょっと」が導入されていることである。加えて、話し手と聞き手の人間関係や状況を重視することなく、相手の会話に出てくる言葉を単純に入れ替えて練習させるタスクもいくつか存在する。その結果、学習者がすべての断りの場面において、「ちょっと」を過剰に使ってしまう恐れがある。確かに、述語がある直接的断り文と比べて言いさし文のほうが柔らかく聞こえる傾向はあるが、場合によってはきつく聞こえる場合もある。例えば、会話⑦を例として取り上げよう。ゴルフに誘われた男 D が「土曜日ですか。土曜日はちょっと・・・」と断る。その後、男 C が「そうですか。じゃまた別の機会にでも・・・」と発話を終了させる。

親しい人なら、「ちょっと」という一言で断ったとしても人間関係に支障はないかもしれないが、親しくない人なら、理由を全く説明せずに「ちょっと」という一言で断るのが失礼に当たる場合もある。もちろん、言いさし文は述語がある直接的断り文より柔らかく聞こえるメリットがあるが、すべての断りの場面においてそれが適切な表現になるとは限らない。実際の会話においては、依頼・勧誘・申し出に対する断りにはそれぞれ違いがあるので、言いさし文を使うと、コミュニケーション上の丁寧さや自然さが不足する場合もある。特に、ビジネスなど公式の場面においては、丁寧さと明確な返事が要求されるため、言いさし文を用いることによって発話者が不当な評価や不利益を被る危険性が存在する。

また、手伝うことの依頼に対する断りと、誘いに対する断りの違いは、{詫び}と{理由}の出現である。意味公式の出現順序パターンを見ると、手伝うことの依頼に対する断りの会話例①②③において、{詫び}も{理由}も必ず出現していることが明らかになった。しかし、誘いに対する断りの会話例④⑤⑥⑦において、{詫び}または{理由}いずれか出現しない会話(会話例④)、および{詫び}と{理由}いずれも出現しない会話例もある(会話例⑤⑦)。依頼に対する断りは、誘いに対する断りより、人間関係が崩れやすい場面なので、相手に理由を説明することと、謝罪することが重要である。一回の頼み事に対して、誘いのやり方で、依頼の断りに応用すると、コミュニケーションの摩擦が生じる恐れがある。教科書では、誘いに対する断りの表現と、依頼に対する断りの表現が区別されていないので、学習者に教える際にその点に十分に気をつけるべきである。

8.6.3 会話指導への提案

本調査においては、日本語母語話者が言いさし文をあまり使用していないのに対して、述語がある直接的断り文を多く使用していることが明らかになった。しかし、本研究で調査対象としたすべての教科書の会話例において言いさし文は導入されているものの、述語がある直接的断り文は全く取り上げられていなかった。このような結果が見られた一因として、本研究における調査が紙面調査であったことが挙げられる。すなわち、紙面上の調査であったがゆえに言いさし文の出現率が著しく低かった可能性がある。とはいえ、教科書に見られる言いさし文を参照していくと、それらが実際のすべての場面において適切な表現になり得るのかという疑問が生じる。今回の調査によって、日本語母語話者が実際の場面において相手との上下関係、親疎関係によって言語形式を使い分けることが明らかになった。すなわち、その結果は教科書における会話例と実際の会話場面との間に大きな齟齬が生じていることを示唆している。例えば、日本語母語話者が実際に使っているモダリティ形式、動詞、形容詞、終助詞などの言語形式は教科書に紹介されていない。調査の結果に基づき、手伝うことの依頼に対する断りの会話指導を以下のように提案する。

日常会話のコミュニケーションにおける断りは多種多様である。自然に、かつ円滑にコミュニケーションできるように、学習者に断りの表現を教える際に言いさし文のみを過剰に一般化せず、相手との関係および内容を考えさせた上で、応用的に表現の使い分けを練習させることが重要である。本調査から得られた知見を参考に、日本語母語話者が実際に使っている表現と教科書に載っている表現の違いを説明すれば、学習者の言語運用能力の伸長につながると考えられる。具体的には、以下の 3 点を考慮して、指導することが必要であると思われる。

(1) 意味公式の出現順序のパターンについて、ほぼすべての場面において日本語母語話者は{詫び}+{理由}+{結論}を多用している。しかし、会話する相手によって言語形式が異なっていることが調査の結果から分かった。すなわち、断りのパターンに加えて、言語形式を同時に教えた方が良いと考えられる。

(2) 相手と良好な人間関係を保つように、発話を終了させる際に、日本語母語話者が{詫び}{約束}{消極的代案提示}{積極的代案提示}{条件提示}{励まし}を使っていることが明らかになった。特に{積極的代案提示}{条件提示}の表現には多様性が見られる。例：「〜お願いできませんか」「(よかったら)〜てもいいですか」「〜ておきましょうか」などである。代案や条件を提示する際に、どのような表現を使ったらいいか、本調査の結果を参考にすれば有益な知見が得られると考えられる。

(3) 教科書の会話例には、会話する人の関係性が明示されていないため、教科書に紹介する断りの表現がコミュニケーションをとる相手や場面に相応しい伝え方かどうか分からなくなる。すなわち、関連する項目を導入する際には、話し手と聞き手の関係を明確に設定することが重要であると考えられる。手伝うことの依頼を断る場面に限らず、日常生活で起こり得る断りの場面を紹介し、どんな相手にどんな表現を使うべきか学習者に考えさせる必要があると思う。

以上のことを踏まえ、各レベルの学習者に手伝うことに対する断りを指導するための会話として以下の会話例を提案したい。

初級

学習の目標　(1)理由が説明できること　(2)負担度が軽い依頼ができる　(3)依頼と承諾の会話ができること

指導の順番

(1)理由が説明できるように、肯定文と否定文を導入する。

文型：「(形容詞+です)、(～ます)、(～ことができません) (～なければなりません)など」

(2)理由説明の表現を導入する。

文型：「～から」、「～ので」、「～て」、「～ため」など

(3)依頼の表現を導入する。なお、相手と依頼の負担度によって表現の使用が異なるので、どんな時にどんな表現を使うべきか、それぞれの依頼の表現の違いは何か、教員がその点に関して説明することが重要である。

文型：「～てくれませんか」「～てくださいませんか」「～てもらえませんか」「～ていただけませんか」

(4)依頼と承諾の会話の展開を導入する。初級の段階では、まず、物の貸し借りのような会話の構造が単純である依頼の会話から導入を始める。次に、手伝うことの軽い依頼を導入する。その後、学習者にロールカードを配り、ペアで練習させる。(初級の段階では丁寧体を中心に導入すること)

****なお、重い依頼は軽い依頼より、会話の展開が長くなり、構造がより複雑なので、中級になってから導入したほうが得策である。**

本研究は、手伝うことの依頼に焦点を置くため、物の貸し借りの依頼は言及しない。以下、挙げられる会話例は筆者が作った手伝うことの依頼のモデル会話である。

場面①(同等の相手・軽い依頼)：A さんと B さんが、今週の土曜日に A さんの家で一緒にタイ料理を作る予定がある。A さんが B さんにタイの調味料を買うように依頼する場面
(A:タイの留学生、B:インドネシアの留学生)

A:　B さん、今週のタイ料理を作る予定なんだけど	**前置き**
B:　はい。	**受け入れ**
A:　B さんが、タイカレーが好きだと聞きましたが、今回はタイカレーを作りましょうか。	**提案**
B:　はい、いいですよ。ぜひ一緒に作ってみたいです。	**承諾**
A:　あのう、カレーの材料なんですけど、B さんの家の近くのスーパーでタイの調味料を売っているので、お願いなんですが、そこで買ってき**てもらえませんか。**	**依頼**
B:　はい、いいですよ。何を買っておきましょうか。	**承諾+質問**
A:　ありがとう。では、買い物のリストを明日渡しますね。お願いします。	**感謝+応答**

*□に囲まれる部分は指導ポイントの部分である。

場面②(目上の相手・軽い依頼)：日本に着たばかりの A さんが、日本語の先生に、家に届いた手紙の内容を簡単な日本語で説明するように依頼する場面　(A:留学生、B:日本人の日本語の先生)

A:　先生、すみません。ちょっとお願いがあるんですが、	**前置き**
B:　はい。	**受け入れ**
A:　あのう、おとどい市役所から手紙が届きましたが、手紙には難しい漢字がたくさんあるので、なんの手紙か分かりません。	**関連情報提供**
B:　そうですか。大変ですね。	**情報への評価**
A:　すみませんが、手紙の内容を簡単な日本語で説明し**ていただけませんか。**	**依頼**
B:　はい、いいですよ。	**依頼への承諾**
A:　すみません。よろしくお願いします。	**謝罪(関係修復)**

初級後半

学習の目標　軽い依頼に対して、失礼にならないように断れること。

指導の順番

軽い依頼に対する断りの際に、よく使われている意味公式、{理解}{否定的反応}{詫び}{理由}の表現を導入する。また、断りがなされた後、相手との関係を維持するために、どんな発話をすればいいか、その点に関しても導入することが重要である。

場面③(同等の相手・軽い依頼) : A さんと B さんが、今夜 C さんの家へパーティーに行く。パーティーの準備のために、A さんが B さんに一緒に買い物をするように依頼する。B さんが授業があるので、依頼を断る場面(A:タイの留学生、B:インドネシアの留学生)

A:　B さん、今夜のパーティーなんですけど。	**前置き**
B:　うん。	**受け入れ**
A:　飲み物はもう買いましたか。	**関連情報要求**
B:　はい、飲み物は全部買っておきましたよ。	**情報提供**
A:　ありがとう。食べ物はまだ買っていませんよね。	
午後 2 時ごろ、スーパーへ買いに行くので、一緒に行って**てくれませんか。**	**依頼**
B:　2 時ですか。うーん、すみません。午後から夕方まで授業があります。	**断り**
〔理解〕　〔否定的反応〕　〔詫び〕　　〔理由〕	
A:　そうですか。分かりました。	**理解**
B:　すみません。授業が終わったら、すぐに準備の手伝いに行きます。	**詫び+行為宣言(関係修復)**

中級

学習の目標　(1)相手と依頼の負担度によって依頼の表現が使い分けられること。
(2)より幅広い手伝うことの依頼に対して円滑に断れる。

指導の順番

(1)初級では、丁寧体を中心に導入するが、中級になってからは、普通体の導入を始める。学習者が普通体で軽い依頼できるように指導する。なお、依頼の表現が様々にあるので、どんな時にどんな表現を使うべきか、それぞれの依頼の表現の違いは何か、教員がその点に関して説明することが重要である。初級の会話より複雑な会話ができるように、練習させる。

文型：「～てくれる」「～てれない」「～てもらえる」「～てもらえない」

場面④(親しい同等の相手・軽い依頼)：A さんと B さんが、今週の土曜日に A さんの家で一緒にタイ料理を作る予定がある。A さんが B さんにタイの調味料を買うように依頼する場面
(A:タイの留学生、B:インドネシアの留学生)

A:　あのう、今週のタイ料理を作る予定なんだけど	**前置き**
B:　はい。	**受け入れ**
A:　タイカレーを食べてみたいって言ってたよね。今回はタイカレーを作ろうかな。どう？	**提案**
B:　いいよ。ぜひ一緒に作ってみよう。	**承諾**
A:　カレーの材料なんだけど、家の近くのスーパーではタイの調味料を売ってないんだ。	**関連情報提供**
B:　そうか、どうしよう？	**理解**
A:　僕は B さんの家の近くのスーパーでタイの調味料を買ったことがある。あそこでは、タイの物をたくさん売っているみたいだよ。	**関連情報提供**
B:　そうか。知らなかった。	**理解**
A:　悪いけど、そこで買ってき**てくれる？**	**依頼**
B:　うん、いいよ。何を買っとこうか。	**承諾+質問**
A:　ありがとう。買い物のリストを明日渡すね。	**感謝+応答**

(2)次に、重い依頼ができるように指導する。

場面⑤(目上の相手・重い依頼)：来年、日本に留学したい学生が先生に奨学金の出願書類をチェックするように依頼する場面

学生:　先生、すみません。ちょっとお願いしたいことがあるんですが。	**前置き**
先生:　はい。	**受け入れ**
学生:　実は今、大阪大学が交換留学生を募集しているんですが、	**関連情報提供**
先生:　いいですね。ぜひ応募してください。	**情報への評価**
学生:　来年、日本へ留学したいと思ったので、応募することにしました。月末までに、奨学金の出願書類を事務に出すことになりまして。	**関連情報提供**
先生:　そうですか。後 2 週間ですね。	**理解**
学生:　申し訳ないんですが、ご都合がよい時に、書類をチェックしていただけないでしょうか。	**依頼**
先生:　ああ、いいですよ。	**承諾**
チェックはいつまでにすればいいですか。	**質問**
学生:　枚数が結構多いので、時間がかかると思いますが、それでは、来週の週末までもよろしいでしょうか。	**応答**
先生:　はい、分かりました。チェックができたら、また連絡しますね。	**理解**
学生:　お忙しい中、大変申し訳ございません。よろしくお願いします。	**謝罪(関係修復)**

(3)断りの際に多く使われている意味公式、{結論}{積極的代案提示}{消極的代案提示}{条件提示}{約束}などの言語形式を導入する。どんな時にどんな表現を使うべきか、教員がその点に関して説明することが重要である。より幅広い手伝うことの依頼に対して円滑に断れるように、教員が親疎関係、上下関係、依頼の負担度などの様々な条件を設定して、学習者に練習をさせる。

{結論}の文型：「辞書形+ことができない+モダリティ形式」「イ・ナ形容詞+モダリティ形式」など
{積極的代案提示}の文型：「よかったら～てみましょうか」「～ておきましょうか」など
{消極的代案提示}の文型：「たら～どうですか」など
{条件提示}の文型：「～お願いできませんか」「(よかったら)～てもいいですか」「～どうですか、～よろしいですか」
「～たらどうですか」「～たら、～けど」
{約束}の文型：「次回、なにかご協力できることがあれば、お申し付けください。」
「また今度、なんかあったら、その時はよろしくお願いします」など

場面⑥(友人同士・軽い依頼)：A さんが英語の作文(500 文字ぐらい)を書いた。しかし、英語に自信がないので、英語がよくできる B さんにチェックしてもらいたい。B さんは、明日発表のために、いろいろ準備しなければならないので、依頼を断る。

A: ねえねえ、今、ちょっと時間いい。 前置き
B: うん。何？ 受け入れ
A: あのさあ、実は、英語の作文を書いたんだけど、 関連情報提供
B：うん。 受け入れ
A：難しくて、うまく書けたかどうか分からないんだ。 情報提供
B：それは大変だよね。 情報への評価
A：あのう、今日、時間があれば、作文をチェックし**てもらいたいんだけど**。 依頼
何とかお願いできないかなあ？
B: そうか。いつ出すの？ 情報要求
A: 明後日の 1 限 情報提供
B: 明後日？僕は、明日発表があるので、いろいろ準備しないといけなくて、 断り
{驚き} {理由}
A：そうか。じゃあ、しかたないね。 理解
B: うーん、ちょっとできそうにないかな。 断り
{結論}
A: 分かった。じゃあ、自分で頑張るよ。 理解
B: 手伝えなくてごめんね。今度、都合がよければ、手伝うね。 謝罪(関係修復)
{詫び} {約束}

場面⑦(友人同士・重い依頼)：A さんが英語のレポートを書いている。英語はあまりできないので、英語ができる B さんを一緒に文書を翻訳するように依頼する。B さんは中間テストがあるので、依頼を断る。

A：ねえねえ、今、ちょっと時間いい。 前置き
B：うん。何？ 受け入れ
A：あのさあ、実は、今英語のレポートを書いていて…資料は全部集めたんだけど、 関連情報提供
B：うん。 受け入れ
A：英語があまりできないから、来週までに完成できるかどうか本当に心配で…。 情報提供
B：それは大変だよね。 情報への評価
A：うーん、今日、時間があれば、いっしょに英語の文章を日本語に翻訳し**てもらえないかなあ** 依頼
と思って。
B：何枚ある？ 情報要求
A：3-4 枚ぐらいなんだけど、何とかお願いできないかなあ？ 依頼
B：3-4 枚! 僕もテストがあって、時間的に余裕がないんだ。 断り
{驚き} {理由}
A: そうか。明日でもいいんだけど・・・ 再依頼
B: うーん、ちょっと難しいなあ。とりあえず、自分でやって、 断り
{否定的反応} {結論} {条件提示}
分からないところがあったら、聞いてくれてもいいけど。どう？
A: 分かった。何かあったら、聞くね。 理解
B: 本当にごめんね。お互いに頑張ろう。 謝罪(関係修復)
{詫び} {励まし}

場面⑧(目上の相手・重い依頼)：先生が学生に日曜日にオープンキャンパスの準備を手伝うように依頼する。しかし、学生は都合が合わないので、依頼を断る。

先生：あのう、来週のオープンキャンパスのことなんですけど、　**前置き**

学生：はい。　**受け入れ**

先生：準備がまだできていなくて、学生さんの力を貸してもらいたいんですけど。　**依頼**

もし日曜日、何も予定がなければ準備を手伝って**てもらいたいんですが、大丈夫ですか。**

学生：申し訳ないんですが、日曜日はあいにく先約が入っておりまして、

{詫び}　{理由}

手伝いに行くことができそうにないんですけど。　**断り**

{結論}

先生：ああ、そうですか。　**理解**

学生：本当にすみません。次回、何かご協力できることがあれば、お手伝いさせていただきます。　**謝罪(関係修復)**

{詫び}}　{約束}

以上の会話から、手伝うことの依頼に対する断りは、誘いに対する断りと、申し出に対する断りは異なるので、一つのパターンをすべての場面に過剰に一般化すると、コミュニケーションの摩擦が生じることのみならず、学習者にも言語運用能力が不足する問題が発生する恐れがある。学習者に断り表現を指導する際に、それぞれの断りの場面の違いおよび会話の展開を説明することが重要である。

なお、タイ人日本語学習者に会話指導を行う際に、以下のように提案する。

(1) 断りの場面以外にも、様々な場面において日本語母語話者は謝罪する特徴が見られる。しかし、タイ語母語話者は、簡単に謝罪しない。日本人とは異なった方法で謝罪の気持ちを表すので、誤解を招く原因となり得る。ゆえに、関連する項目を導入する際には、日本人とタイ人の詫びに対する考え方の違いを教える必要がある。

(2) 日本語母語話者とタイ語母語話者が理由の述べ方に大きな相違点がある。もし、学習者がタイ式の理由の述べ方(明確な理由を具体的に説明すること、家族に関する理由を取り上げること)を母語から転移すれば、「無礼な人だ」という負の印象を与える可能性がある。ゆえに、関連する項目を導入する際には、理由の述べ方の違いを学習者に意識させる必要がある。また、教科書に載っている理由説明の表現は「～から」「～ので」「～ため」に限られているが、調査の結果では、日本語母語話者が使っている表現に多様性があることが示唆されている。その点を教えることによって、自然なコミュニケーションを行うことができると考えられる。

(3) 文化や考え方の違いが、断りの形式に影響を及ぼすという結果が本調査の結果から得られた。異なる文化の人たちが接触する場面には、常に誤解や摩擦が生じる可能性がつきまとう。特に、母語の概念から負の転移が起こる恐れがあるので、単なる言語知識だけではなく、両母語話者の断りと依頼の概念の捉え方、人間関係に対する認識も併せて教えることが極めて重要であると考えられる。授業を行う際には、本研究で得られた知見を利用して日本語母語話者が実際に使う様々な断り方を説明し、同じ 場面でもタイ語母語話者と日本語母語

話者の断り方が違うということを学習者に意識させれば、日本語母語話者の考え方の違いなどを理解することができ、異文化間コミュニケーションにおける誤解が減ることにつながると思われる。

8.7 今後の課題

本研究では、手伝うことの依頼に対する断りの場面において、上下関係、親疎関係、依頼の負担度の 3 つの要因によって、日本語母語話者とタイ語母語話者が用いる意味公式の使用の共通点と相違点を目的とした。調査の結果では、両言語の母語話者の間に相違点がいくつかあり、「依頼」と「断り」の概念の捉え方や文化の違いによりコミュニケーションスタイルが全く異なるという相違点が明らかになった。それらの相違点は、両言語の母語話者の接触場面での摩擦や誤解を招く一因となり得ると考えられる。

本調査の問題点の一つとしては、協力者の年齢が 18-23 歳に限られる点が挙げられる。また、日本語母語話者は主に近畿地方出身地であるため、年齢および出身地が回答に影響を与えるのではないかと考えられる。

異文化間コミュニケーションをより効果的なものとするために、今後の課題として、以下のような点が挙げられる。

(1) 本研究では、談話完成テストでデータを収集したため、調査に見られたデータが実際の会話と異なる可能性があることが否定できない。なお、付加表現のカテゴリーに分類される意味公式および{結論}の言いさしが本調査にほとんど見られなかったことについては、実際の会話には頻出する傾向があるだろう。紙面調査の影響で、その点を引き出せなかったという問題点がある。今後は、ロールプレイで会話データを収集し、ロールプレイによるデータと談話完成テストによるデータを比較し、結果を分析する必要がある。特に、{驚き}においては、発話者の声色によって発話機能が様々に異なり、さらに分析するには音声データが必要である。

(2) 本調査では、意味公式の観点からデータの分析を行ったが、その研究成果を日本語教育に応用するには、談話構造の観点からも分析する必要がある。そのため、日本語学習者を対象に会話がどのように展開されるか明らかにしたいと思う。

(3) 今後は、「手伝うことの依頼」に限らず、「誘いに対する断り」「物の貸し借りにたいする断り」などの様々な断りの場面を選び、用いられる意味公式および会話の展開にどのような違いがあるか、その点を研究していきたいと思う。

参考文献

日本語文献

相原まりこ(2008)「依頼表現の日中対照研究―相手に応じた表現選択」『言語情報科学』6, pp.1-18

庵功雄(2001)『新しい日本語学入門』スリーエーネットワーク

生駒知子・志村明彦(1993)「英語から日本語へのプラグマッティク・トランス ファー–断りという発話行為について」『日本語教育』79, pp.41‐52

石井敏(1997)『異文化コミュニケーション・ハンドブック』有斐閣選書

伊佐雅子(2007)『多文化社会と異文化コミュニケーション』 三修社

伊藤恵美子 (2002) 「マレー語母語話者の語用的能力と滞日期間の関係について– 勧誘に対する断り 行為に見られる工学系ブミプトラのポライトネス」『日本語 教育』115, pp.61‐70

伊藤恵美子(2006)「日本人は断り表現において丁寧さをどう判断しているか―長さと適切性からの分析―」『異文化コミュニケーション研究』18, pp.145－160 神田外語大学

伊藤恵美子(2009)「断りの発話を構成する発話の順序―ジャワ語・インドネシア語・マレーシア語・タイ語を勧誘場面で比較して―」『異文化コミュニケーション研究』21, pp.185-208.

伊藤恵美子(2010)「依頼場面に見られる断りの発話の特徴　―ジャワ語・インドネシア語・マレーシア語・タイ語を勧誘場面で比較して―」『留学生教育』15, pp.35-44.

今井千景(2007)『多文化社会と異文化コミュニケーション』 三修社

宇佐美まゆみ(2001)「談話のポライトネス―ポライトネスの談話理論構想―」『談話のポライトネス』pp.9-58 国立国語研究所

宇佐美洋・森篤嗣・吉田さち(2009)「『外国人が書いた日本語手紙文』に対する日本人の評価態度の多様性―質的手法によるケーススタディ―」『社会言語科学』第 12 巻第 1 号 pp.122-134

王源(2011)「『詫び』と『理由説明』から見た断り行動―日中対照―」『日本語教育研究』第 57 号 pp.83-93

太田一郎(2001)「パソコン・メールとケータイ・メール―『メールの型』からの分析―」『日本語学』第 20 号 pp.44-53

大橋まりこ (2006)「言語能力と語用論的能力―初級レベル英語学習者の「断り」から―『湘北紀要』 第 27 号 pp.53-67

元智恩(2003)「断りとして用いられた「ノダ」－ポライトネスの観点から－」『計量国語学』24(1) , pp.1-18

岡田安代・安藤美保(2011)「中国人と日本人の依頼の許容範囲」『愛知大学院教育実践総合センター紀要』4, pp.113-119

岡本牧子・氏原庸子 (2006)『聞いておぼえる関西(大阪)弁入門』真田信治(監修) ひつじ書房

尾崎喜光(2005)「依頼行動と感謝行動の<関係>に関する日韓対照」『社会言語科学』第 8 巻 第 1 号 pp106-119
尾崎喜光(2006)「第 5 章 依頼・勧めに対する断りにおける配慮の表現」『言語行動における「配慮」の諸相』国立国語研究所 pp.89-114
小野由美子・劉玉琴(1998)「日本語教科書における断り表現の取り扱い」『鳴門教育大学実技教育研究』8, pp.75－79
小山慎治・川島浩美(2001)「コミュニケーション能力の評価 : 評価者と尺度の文化的要因に関する実態調査」『異文化コミュニケーション研究』13, pp.15-29
蔡胤柱(2005)「日本語母語話者の E メールにおける断り―「待遇コミュニケーション」の観点から―」『早稲田大学日本語教育研究』7, pp.95-108
柏崎秀子(1993)「話しかけ行動の談話分析－依頼・要求表現の実際を中心に」『日本語教育』79，pp.53-63，日本語教育学会蒲谷宏（1995）「『〈言語=行為〉観』に基づく－『言語教育』についてー」『早稲田大学日本語研究教育センター紀要』7，pp.1-11，早稲田大学日本語研究教育センター
加藤好崇(2011)『異文化接触場面のインターアクション―日本語母語話者と日本語非母語話者のインターアクション規範―』 東海大学出版会
加納陸人・梅暁蓮(2002)「日中両言語におけるコミュニケーション・ギャップに ついての考察―断り表現を中心に」『言語と文化』15 , pp.19–41
カノックワン・ラオハブラナキット(1997)「日本語学習者に見られる断りの表現―日本語母語話者と比べて―」『世界の日本語教育』7, pp.97-112
蒲谷宏(2003)「『待遇コミュニケーション教育』の構想」『講座日本語教育』39, pp.1-28, 早稲田大学日本語研究教育センター
蒲谷宏・川口義一(2012)「特集緒言 「待遇コミュニケーション」の教育を考える (特集「待遇コミュニケーション」の教育を考える)」『早稲田日本語教育学 』11, 早稲田大学大学院日本語教育研究科
川口義一・蒲谷宏・坂本惠(2002)「待遇表現としての「誘い」」『早稲田大学日本語教育研究』創刊号早稲田大学大学院日本語教育研究科 pp21-30
菊池康人 (1997)『敬語』講談社
北尾健治・北尾 S キャスリーン(1988)「ポライトネス―人間関係を維持するコミュニケーション手段」『日本語学』第 7 巻 第 3 号 pp.52-63 明治書院
金潤淑(2005)「『依頼』に対する『断り』の理由の述べ方―日本語母語話者と韓国人日本語学習者の場合」『国際教育評論』第 2 号 pp.37-48
グエン イェン ティ ハイ(2012) 「依頼に対する断り談話 : 日本語母語話者とベトナム語母語話者との比較」『言語・地域文化研究』18, pp.181-192

グエン　ティ　ニューイー(2014)「依頼会話における談話構造に関する日越対照研究：依頼内容の負担度に着目して」『日本語・日本文化研究』24, pp.93-103

グエン　ティ　ニューイー(2017)『日本語とベトナム語の依頼場面における配慮―待遇コミュニケーションの観点から―』大阪大学言語文化研究科博士論文

熊井浩子(1993)「外国人の待遇行動の分析(2)－断り行為を中心にしてー」『静岡大学教養部研究報告』第 28 巻 第 2 号, pp.1-37

権英秀(2008)「断りの発話の分析方法 :フェイス複合現象の紹介」『現代社会文化研究』,43 pp.225-242

厳廷美(2004)「日本語と朝鮮語における依頼の仕方の対照研究－発話機能の観点から －」『言語と文化』7, pp.1-12，関西学院大学言語教育研究センター

越山泰子・飯島有美子(2016)「ベトナム人日本語学習者の依頼表現－文化的社会的特徴を踏まえてー」日本語教育国際研究会大会ポスター発表，関西国際大学

施信余(2006a) 「日本語における「依頼・断り」のコミュニケーションについて-日本人女子大学生同士の電話会話を分析対象に-」『早稲田大学日本語教育研究』 8, pp.51-62

施信余(2006b)「依頼・断り」のコミュニケーションについてー日本人同士と台湾人同 士による電話会話の分析からー」『待遇コミュニケーション研究』4，pp.17-32， 早稲田大学待遇コミュニケーション研究会

清水崇文(2009)『中間言語語用論概論―第二言語学習者の語用論的能力の使用・習得・教育―』スリーエーネットワーク

志村明彦(1995)「『断り』という発話行為における待遇表現としての省略の頻度・機能・構造に関する中間言語語用論研究」『慶應義塾大学日吉紀要 言語・文化・コミュニケ-ション』 第 15 号 pp.41-62

周升干(2012)「断る場面における理由の表現形式 : 中国の日本語学習者と日本語 母語話者を比較して」『言語文化学研究. 言語情報編』7, pp.27-44.

鈴木恵美子(2010)「中国人日本語学習者の断りの意味公式－中国国内学習者の場合－」『東北大学大学院国際文化研究科異文化間教育論講座』5, pp.73-82

関口剛司(2007)「日本語による依頼表現の一考察－日台異文化間コミュニケーションの視点からー」『龍華科技大學報』23，pp.99-117，龍華科技大學

高木美嘉(2003)「依頼に対する「受諾」と「断り」の方法」『早稲田大学日本語教育 研究』2, pp.137-149，早稲田大学大学院日本語教育研究科

高木美嘉(2004)「依頼の会話における「断り」の方法についてー待遇の観点からー」(国語学会 2003 年度秋季大会研究発表会発表要旨)『國語學』55(2), pp.122

高木美嘉(2009)『依頼の会話における「待遇ストラテジー」の研究－相互行為としての会話教育の理論と実践』早稲田大学出版部

高殿良博(2000)「日本語とインドネシア語における依頼表現の比較」『亜細亜大学国際関係紀要』9(1), pp.353-367 亜細亜大学
滝浦真人(2008a)『ポライトネス入門 Politeness』 研究社
滝浦真人(2008b)「ポライトネスから見た敬語，敬語から見たポライトネス―その語用論的相対性をめぐって―」『社会言語科学』第 11 巻第 1 号 , pp.23-38
竹本紗世(2011)「『言いわけ』にみる配慮の表現―『断り』談話にみる言いわけ―」『東京女子大学言語文化研究』20， pp.57－73
張穎(2004)「依頼会話の展開パターンに関する日中対照研究」『お茶の水大学言語文化と日本語教育』28, pp.8-14
陳臻渝(2007)「日本語会話における前置き表現」『言語文化学研究. 言語情報編』2, pp.99-115，大阪府立大学
津田早苗(1994)『談話分析とコミュニケーション』リーベル出版
津田早苗(1999)『談話分析と文化比較』リーベル出版
槌田和美(2003)「日本人学生と韓国人留学生における依頼の談話ストラテジー使い分けの分析－語用論的ポライトネスの側面から－」『小出記念日本語教育研究会論文集』11，pp.41-54，小出記念日本語教育研究会
中垣友江(2014)「日本語とスワヒリ語における「勧誘」会話の対照研究 ―昼ごはんの「勧誘の断り」の会話から―」『日本語・日本文化研究』24, pp.170-185
中島マリン(2012)『タイのしきたり』めこん
中道真木男・土井真美(1995)「日本語教育における依頼の扱い」『日本語学』14-11, pp.84-93，明治書院
成田昌子・成田高宏(2010)「「申し出の断り」表現における日本語・タイ語母語話者、およびタイ人日本語学習者の意味公式使用の相違」『小出記念日本語教育研究会』18, pp.23-39
西村史子(2007)「断りに用いられる言い訳の日英対照分析」『世界の日本語教育』17, pp.93-112
ネウストプニー，J. V.(1989)「日本人のコミュニケーション行動と日本語教育」『日 本語教育』67, pp.11-24，日本語教育学会
ネウストプニー, J.V.・宮崎里司(2002)『言語研究の方法―言語学・日本語学・日本語教育学に携わる人のために―』くろしお出版
野木園子(2010)「日本人の断り表現とラポールマネジメントに関する―考察」『二松学舎論集』第 53 号 pp.97-109
野田尚史(2005)『コミュニケーションのための日本語教育文法』くろしお出版
三井久美子(1997)「『依頼』のフレームの明示性について」『日本語・日本文化研究』7, pp.235-246，大阪外国語大学日本語講座
浜田昌子・成田高宏(2007)「タイ人日本語学習者の『申し出の断り』表現に見られる『マイペン

ライ』の絵―きょう―ポジティブ・ポライトネスの表明として―」『小出記念日本語教育研究会論文集』15, pp.77-82
林明子 (1999)「会話展開のためのストラテジー―「断り」と「詫び」の出現状況と会話展開上の機能―」『東京学芸大学紀要２部門』第 50 集 pp.175-188
藤浦五月(2007)「日本人と韓国人の『断り』行動比較」『比較文化研究』第 78 号 pp.1-10
藤森弘子(1995)「日本語学習者に見られる「弁明」意味公式の形式と使用―中国人・韓国人学習者の場合―」『日本語教育』87, pp.79-89
藤森弘子 (1996)「関係修復の観点からみた「断り」の意味内容―日本語母語話者と中国人日本語学習者の比較―」『大阪大学言語文化学』5, pp.5-17
藤原智栄美(2003)「日本人とインドネシア人の『断り』に関する分析」『日本語教育学会秋季大会予稿集』pp.77-82
藤原智栄美(2004)『日本語話者とインドネシア語話者の断りに関する研究』大阪大学大学院言語文化学専攻博士論文
藤巻和代(1996)「中国語話者と日本人の日本語による「誤解」―断りの表現を中心に―」『言語科学研究．神田外語大学大学院紀要』2, pp.143－156
プーンウォンプラサート　タニット(2017)「手伝うことについての重い依頼に対する「断り」の日タイ対照研究 : 親疎関係による分析」『日本語・日本文化研究』27, pp.170-182
堀江・インカピロム・プリヤー(1993)「「謝る」: 日・タイの謝ることばと行動の比較」『 国立国語研究所報告 105 研究報告集 14』国立研究所
堀江・インカピロム・プリヤー(1995)「依頼表現の対照研究―タイ語の依頼表現―」『日本語学』10 月号, pp.76-83
堀江・インカピロム・プリヤー(2000)『日本語と外国語との対照研究 VII『マイペンライ(2) : タイ人の言語行動を特徴づける言葉とその文化的背景についての考察　その 2』』国立研究所
堀口純子(1997)『日本語教育と会話分析』くろしお出版
水谷修(1994)「ビジネス日本語を考える―公的話ことばを求めて―」『日本語学』第 13 巻第 12 号 pp.14-20
三牧陽子(2013)『ポライトネスの談話分析―初対面コミュニケーションの姿としくみ―』くろしお出版
蒙韞(2008) 「中国日本語上級学習者の語用論的転移の―考察：依頼に対する断り発話のポライトネスの表し方から」『国際開発研究フォーラム』36, pp.241-254
蒙韞 (2009) 「中国人日本語上級学習者の語用論的特徴の一考察-依頼に対する断りパ ターンから―」『小出記念日本語教育研究会論文集』 17, pp.53-71
山内進(2003)『言語教育学入門―応用言語学を言語教育に活かす』大修館書店

山岡政紀(2012)『コミュニケーションと配慮表現―日本語語用論入門―』明治書院.
横山杉子(1993)「日本語における，『日本人の日本人に対する断り』と『日本人のアメリカ人に対する断り』の比較―社会言語学のレベルでのフォリナートーク―」『日本語教育』第 81 号 pp.141-151
吉井千明(2009)「断り表現―親しさの度合いに注目して―」『東京女子大学言語文化研究』18, pp.70－86 東京女子大学
吉田さち(2009)「韓国人日本語学習者のメール文における『断り』―日本語母語話者との比較を通じて―」『日本語学習者による言語運用とその評価をめぐる調査研究：「日本語能力の評価基準・項目の開発」成果報告書』第 129 号 pp.259-280
賴美麗(2004)『依頼における「お詫び・謝罪型」と「感謝型」の表現に関する考察－日本語母語話者と台湾人日本語学習者を中心に－』早稲田大学大学院日本語教育研究科修士論文
賴美麗(2005) 「依頼における「お詫び・謝罪型」表 現に関する考察–日本語母語話者と台湾人―日本語学習者を 対象に―」『早稲田大学日本語教育研究』6, pp.63-77
李海燕(2013)『断りの発話の日中対照研究』東北大学国際文化研究科博士論文
李宜真(2008)「依頼の言語行動に関する日中語対照研究－ポライトネスの観点から－」『東北大学高等教育開発推進センター紀要』3, pp.117-129，東北大学高等教育開発推進センター
ルンティーラ、ワンウィモン(2004) 「タイ人日本語学習者の『提案に対する断り』表現における語用論的転移：タイ語と日本語の発話パターンの比較から」『日本語教育』121, pp.46-55.
Leadkitlax, T.(2013) 「タイ人と日本人の「誘い」と依頼への「断り行為の意識」について」『国際交流基金バンコク日本文化センター日本語教育紀要』10, pp.97-106

英語文献

Austin, John L.(1962). *How to Do Things with Words*, Clarendon, Oxford
Bachman, L.F., & Palmer, A.S. (1996). *Language Testing in Practice: Designing and Developing Useful Language Tests*. Oxford etc.: OUP.
Beebe, L. M., Takahashi, T., and Uliss-Weltz, R. (1990). Pragmatic Transfer in ESL Refusals. IN: Scarcella, R. C., Andersen E. S., and Krashen S.D. (Eds.), *Developing Communicative Competence in a Second Language* (pp.55–73). Rowley, MA: Newbury House Publishers.
Brown, P.,and S.C.Levinson. (1987). *Politeness Some Universals in language usage*. Cambridge : Cambridge University Press.
Canále, M., & Swain, M.(1980) “Theoretical bases of communicative approaches to second language teaching and testing.” *Applied Languistics*, 1(1), pp.1-47.
Chomsky, N. (1965). *Aspects of the theory of syntax*. Cambridge : The MIT Press.

Embree, J. F. (1950). Thailand-A loosely structured social system. American Anthropologist, 52(April-June), pp.181-193.

Gass, S. M. & Houck, N. (1999). *Interlanguage Refusals : A cross-cultural study of Japanese-English*. Berlin: Mouton de Gruyter.

Goffman, E. (1967). *Interaction ritual: Essays on face–to–face behavior*. Garden City, NY: Anchor.

Hofstede, G. (2001). *Culture's consequences: Comparing values, behaviors, institutions, and organizations across nations*(2nded.). California: SAGE.

Hofstede, G.(2019)「*COUNTRY COMPARISON : Japan and Thailand*」、<https://www.hofstede-insights.com/country-comparison/japan,thailand/>2019 年 1 月 31 日アクセス.

Hofstede, G., Hofstede G. J. and Minkov M. (2010). *Cultures and Organizations: Software of the Mind, Intercultural Cooperation and Its Importance for Survival*,3rd ed., McGraw Hill, (岩井八郎・岩井紀子訳(2013)『多文化世界―違いを学び未来への道を探る 原書第 3 版』有斐閣)

Hymes, D. (1972). On Communicative Competence. In J. B. Pride and J. Holmes (Eds) , *Sociolinguisitcs*, 269-293. Harmondsworth: Penguin Books.

Rojjanaprapayon, W. (1997). *Communication patterns of Thai people in a non-Thai context*. Doctoral dissertation Perdue University.

Savignon, S. (1997).*Communicative competence: theory and classroom practice: texts and contexts in second language learning* (2nd ed.). New York: McGrwa-Hill.

タイ語文献

เต็มสิริ บุณยสิงห์, คุณหญิง. และ ธนรัชฏ์ ศิริสวัสดิ์ (2533). หน่วยที่ 2 เด็กกับผู้ใหญ่, **แนวคิดไทย**. นนทบุรี: มหาวิทยาลัยสุโขทัยธรรมาธิราช

(Bunyasing, T. and Sirisawat, T. (1990). Chapter2 Child and Adult: **THAI MIND**. Nonthaburi: Sukhothai Thammathirat Open University.)

พัทยา สายหนู(2533). หน่วยที่ 3 ญาติสนิทมิตรสหาย, **แนวคิดไทย**. นนทบุรี: มหาวิทยาลัยสุโขทัยธรรมาธิราช

(Saynu, P. (1990). Chapter3 Relatives and friends: **THAI MIND**. Nonthaburi: Sukhothai Thammathirat Open University.)

รัชนีกร เศรษโฐ. (2532). **โครงสร้างสังคมและวัฒนธรรมไทย.** กรุงเทพฯ:ไทยวัฒนาพานิช.

(Satetho, R.. (1989). **Thai Society and Culture**. Bangkok: Thai Wattana Panich.)

ฤทธิณัณฑ์ เชื้อทอง และ รุจิระ โรจนประภายนต์ (2559). "ค่านิยม อุดมการณ์และรูปแบบการสื่อสาร ที่แสดงถึงลักษณะทางวัฒนธรรมของคนไทย". **วารสารนิด้าภาษาและการสื่อสาร**. 21(29)

(Chuatong, R. and Rojanaprapayon, R. (2016). "Values, Ideologies, and Communication Patterns Indicated Thais' Culture". **NIDA Journal of Language and Communication**. 21(29))

วัฒนา วงศ์เกียรติรัตน์ และ จิตรา วีรบุรีนนท์. (2558). หน่วยที่ 8 ชุมชนชนบท, **สังคมและวัฒนธรรมไทย** (พิมพ์ครั้งที่4). นนทบุรี: มหาวิทยาลัยสุโขทัยธรรมาธิราช

(Wongkiatrat, W. and Veeraburinon, J. (2015). Chapter8 Rural Community: **THAI SOCIETY AND CULTURE** (4thEd.). Nonthaburi: Sukhothai Thammathirat Open University.)

แสงอรุณ กนกพงศ์ชัย. (2548). **วัฒนธรรมในสังคมไทย**.กรุงเทพฯ: จุฬาลงกรณ์มหาวิทยาลัย.

(Kanokpongchai, S.(2005). **Culture in Thai Society**. Bangkok: Chulalongkorn University.)

สุนทรี โคมิน และ สนิท สมัครการ (2522). **ค่านิยมและระบบค่านิยมไทย: เครื่องมือการสำรวจวัด**. รายงานการศึกษาสำนักวิจัย สถาบันบัณฑิตพัฒนบริหารศาสตร์

(Koomin, S. and Samakkarn, S. (1979). **Thai Cultural Value: Survey Research Methods**: Research Report's National Institute of Development Administration(NIDA) Research Center.)

อาภาภรณ์ เดชวิจารณ์กิจ. (2547). **การศึกษาเปรียบเทียบต่างกลวิธีขอร้องในภาษาญี่ปุ่นและไทย**. วิทยานิพนธ์ปริญญาอักษรศาสตรมหาบัณฑิต จุฬาลงกรณ์มหาวิทยาลัย.

(Dechvijankit, A. (2004). **A Contrastive Study of Request Strategied in Japanese and Thai.** Master's thesis, Chulalongkorn University.)

教科書・教材

岡崎志津子・小西正子・ 藤野篤子・松井治子・ 松永雅子(1987) 『ロールプレイで学ぶ会話(1)』凡人社

国際交流基金(2013)『まるごと　日本のことばと文化　入門 A1(りかい)』三修社

嶋田和子・酒井祥子・西部由佳(2010)『ロールプレイ玉手箱』ひつじ書房

清水崇文(2013)『中上級学習者のためのブラッシュアップ日本語会話』スリーエーネットワーク

椙本総子・宮谷敦美(2004)『聞いて覚える話し方日本語生中継・中～上級編』くろしお出版

スリーエーネットワーク(1998)『みんなの日本語初級 I 』スリーエーネットワーク

高柳和子・広瀬万里子(1991)『日本語で話そう―初級日本語テキスト<1>』ELEC

富阪容子(2005)『なめらか日本語会話』アルク

文化外国語専門学校(2000)『新文化初級日本語』文化外国語専門学校

松本久美子(1997)『絵で学ぶコミュニケーション―〈会社・生活編〉20 のトピック』凡人社

ボイクマン総子・宮谷敦美・小室リー郁子(2006)『聞いて覚える話し方日本語生中継・初中級編 1』くろしお出版

山崎佳子・佐々木 薫・高橋 美和子・町田 恵子・石井 怜子(2008)『日本語初級①大地―メインテキスト』スリーエーネットワーク

บุษบา บรรจงมณี, วันชัย สีลพัทธ์กุล, ทัศนีย์ เมธาพิสิฐ, ภารดี อึงขจรกุล, เบญจลักษณ์ สว่างเนตร, พัชนี ปิ่นท้วม, สุพรพันธ์ จิตรบรรเทา, ดวงใจ จงธนากร, นิภาพรรณ อดุลย์กิตติชัย, ประภา แสงทองสุข และ Aki Imaeda. (2547). **ภาษาญี่ปุ่น อากิโกะโตะโทะโมะดะจิ 2** 日本語　あきこと友だち **2.** คิโนะคูนิยะบุ๊คสโตร์

付録①　予備調査の談話完成テスト（日本語版）

はじめまして、言語文化研究科博士後期課程 1 年生、タニット(リー)と申します。現在、依頼に対する「断り表現」の日タイ対照研究をしています。談話完成テストとインタビューによってデータを集めようと考えています。ご協力を宜しくお願い致します。

説明

状況説明文と会話を読んで、依頼されたことに対して断るなら、あなたはどう言いますか。その際、相手との親疎関係・上下関係を十分に考慮しながら、断り文を書いてください。なお、実際の発話の時に「ああ」「うん」「ええ」などの相づちが現れるので、そのまま書いてください。一つの場面に親しい相手と親しくない相手に依頼されることがあるので、気をつけて下さい。

場面: 来週、大学でオープンキャンパスが行われます。さまざまな高校の教員や高校生など、数多くの方が参加します。そろそろイベントの日が近づいてきたため、先生からあなたに日曜日に準備するのを手伝ってくれないかと依頼されました。あなたは終日都合が悪いので、手伝いに行けません。その時、あなたはどう言いますか。

依頼者：いつもお世話になっている先生

先生：　あのう、来週のオープンキャンパスのことなんですけど、
　　ちょっと手伝ってもらいたいことがあるんですが、
あなた：はい、何でしょうか。
先生：　準備がまだできていなくて、学生さんの力を貸してもらいたいんですけど。
あなた：はい。
先生：　もし日曜日、何も予定がなければ準備を手伝ってもらいたいんですが、
　　大丈夫ですか。
あなた：

依頼者：あいさつ 2～3 回程度の親しくない学科の先生

あなた：

場面: あなたはバスケットボールサークルのメンバーです。午後、試合があるので、サークルの先輩があなたを昼間コンビニで飲み物を買っておくように依頼する。あなたは、午後の授業があります。買い物に行くと、授業に間に合えません。だから、依頼を断ります。
その時、あなたはどう言いますか。

依頼者：親しい先輩

先輩：　今日の午後 4 時に、バスケットボールの試合があるよね。ぜひ応援を忘れずに
あなた：ちょうど授業が終わったところ。ぜったい見に行くよ。
先輩：　みんなが応援に行くので、昼間コンビニでコーラでも飲み物を買っといて。
　　お願いします。
あなた：

依頼者：あいさつ 2～3 回程度の親しくない先輩

あなた：

場面: あなたの友達が英語のレポートを書いています。提出の締め切りは来週です。
ですが、友達は英語があまりできないので、英語がよくできるあなたに 3-4 枚ぐらいの英語の文章を日本語に翻訳してくれないかと依頼してきました。来週、あなたは中間テストがあります。テスト勉強しなければなりません。だから、依頼を断ります。その時、あなたはどう言いますか。

依頼者：親しい友達

友達：　あのう、ちょっと手伝ってほしいことがあるんだけど。
あなた：いいよ。
友達：　あのさあ、実は、今英語のレポートを書いていて…資料は全部集めたんだけど、
あなた：うん。
友達：　英語があまりできないから、来週までに完成できるかどうか本当に心配で…。
あなた：それは大変だよね。
友達：　うーん、今日、時間があれば、いっしょに英語の文章を日本語に翻訳してもらえないかなと思って。
あなた：何枚ある？
友達：　3-4 枚ぐらいなんだけど、何とかお願いできないかなあ？
あなた：

場面: あなたの留学生の友達が調査のアンケートを作っています。だが、日本語はあまりできないので、アンケートの英語の質問を日本語に翻訳してくれないかと依頼してきました。来週、あなたは中間テストがあります。受験勉強しなければなりません。だから、依頼を断ります。その時、あなたはどう言いますか。

依頼者：あいさつ 2～3 回程度の親しくない留学生の友達

友達：　あのう、ちょっと手伝ってほしいことがあるんですけど。
あなた：いいよ。
友達：　あのさ、実は調査のアンケートを作っているんですけど。
あなた：うん。
友達：　日本語があまりできないから、来週までに完成できるかどうか心配で・・・。
あなた：それは大変ですよね。
友達：　うーん、今日、時間があれば、いっしょに英語の質問を日本語に翻訳してもらえませんか。枚ぐらい書いてほしい。何とかお願いできる？
あなた：全部何枚ですか？
友達：　3-4 枚ぐらいなんですけど、何とかお願いできませんか？
あなた：

場面: あなたの親しい友達が数学を勉強しています。あした、宿題を出します。宿題にはできないことがあるので、数学がよくできるあなたをチェックするように依頼し　ます。明日あなたは発表があるので、いろいろ準備しなければなりません。だから、依頼を断ります。
その時、あなたはどう言いますか。

依頼者：親しい友達

友達：　ねえねえ、ちょっと手伝ってほしいことがあるんだけど。
あなた：いいよ。
友達：　数学の宿題、明日提出なんだけど、
あなた：うん。
友達：　ちょっとできないところがあって…。
　　今日、時間があったら、ちょっとチェックしてほしいんだけど、お願いしてもいい？
あなた：

場面: あなたの留学生の友達が日本語作文の授業を勉強しています。あした、作文(300 字ぐらい)の宿題を出します。書いた日本語が正しいかどうかあなたをチェックするように依頼します。明日あなたは発表があるので、いろいろ準備しなければなりません。だから、依頼を断ります。その時、あなたはどう言いますか。

依頼者：あいさつ 2～3 回程度の親しくない留学生の友達

友達：　あのう、ちょっと手伝ってもらいたいことがあるんですけど。
あなた：いいよ。
友達：　実は日本語作文を書いているんですけど、文法が正しいかどうか分かりません。
あなた：そうか。
友達：　明日の 1 限提出なんですけど、今日、時間があれば、ちょっとチェックしてもらえませんか。
あなた：

ご協力ありがとうございました
この調査に関する質問やご意見がありましたら、下記までご連絡ください。

****
POONVONGPRASERT　THANIT
大阪大学大学院言語文化研究科 日本語日本文化専攻 博士後期課程 1 年 pipthanit@gmail.com

付録① 予備調査の談話完成テスト（タイ語版）

แบบสอบถาม

กระผมนายธนิส พูนวงศ์ประเสริฐ นักศึกษาปริญญาเอกชั้นปีที่ 1 คณะภาษาและวัฒนธรรม มหาวิทยาลัยโอซาก้า กำลังทำวิจัยหัวข้อ “การเปรียบเทียบรูปแบบการปฏิเสธการขอความช่วยเหลือในภาษาไทยและภาษาญี่ปุ่น” ซึ่งเก็บข้อมูลด้วยแบบสอบถามชนิดเติมบทสนทนาให้สมบูรณ์ ขณะนี้กำลังดำเนินการสำรวจความคิดเห็นว่า ในแต่ละสถานการณ์ผู้ตอบมีรูปแบบการปฏิเสธการขอร้องแตกต่างกันหรือไม่ จึงใคร่ขอความอนุเคราะห์ สละเวลาในการตอบแบบสอบถาม

คำชี้แจง

จงอ่านสถานการณ์การขอร้องและบทสนทนา ซึ่งแต่ละสถานการณ์จะมีคู่สนทนาที่มีความสนิมสนมและไม่สนิทสนม ขอความช่วยเหลือจากคุณ แต่คุณไม่สะดวกจะให้ความช่วยเหลือ ในแต่ละสถานการณ์ คุณจะตอบปฏิเสธอย่างไหร่ จงเขียนข้อความที่ตนเองต้องการพูดปฏิเสธการขอร้องให้ตรงตามภาษาพูด โดยเลือกใช้สำนวน ให้เหมาะสม กับสถานภาพและระดับความสนิทสนมกับคู่สนทนา

สถานการณ์: อาทิตย์หน้า มหาวิทยาลัยจะจัดงานแนะนำสาขาวิชา(Open house) ซึ่งมีบุคลากรจากหลายสถาบันมาเข้าร่วม ตอนนี้ใกล้จะถึงวันงาน แต่การเตรียมงานยังไม่เรียบร้อย อาจารย์จึงขอร้องให้คุณมาช่วยเตรียมงาน ในวันอาทิตย์ คุณไม่สะดวกมาช่วยงาน ในสถานการณ์นี้ คุณจะตอบปฏิเสธอาจารย์ว่าอย่างไร

คู่สนทนา: อาจารย์ที่ปรึกษา(สนิทสนม)

อาจาย์: อาทิตย์หน้า ทางมหาวิทยาลัยจะจัดงาน Open house นะ ทราบข่าวยัง

คุณ: ครับ/ค่ะ ทราบข่าวประชาสัมพันธ์จากเว็บไซต์แล้วครับ/ค่ะ

อาจารย์: ตอนนี้ทางคณะเตรียมงานไปได้เยอะแล้ว แต่ยังเหลืองานบางส่วนที่ต้องขอแรงจากนักศึกษา

คุณ: ครับ/ค่ะ

อาจารย์: วันอาทิตย์นี้ว่างมั้ย ถ้าไม่มีธุระอะไร มาช่วยครูหน่อยได้มั้ย

คุณ:

คู่สนทนา: อาจารย์ที่สาขา เคยเห็นหน้า 2-3 ครั้ง ไม่เคยเรียนด้วย (ไม่สนิทสนม)

คุณ:

สถานการณ์: คุณเป็นนักศึกษาช่วยงานอาจารย์ ขณะที่คุณทำงานตามที่ได้รับมอบหมายอยู่ที่ภาควิชา เจ้าหน้าที่ประจำภาควิชาแจ้งว่าช่วงบ่ายจะมีประชุมของสาขาวิชา จึงขอร้องให้คุณแวะซื้อเครื่องดื่มและของว่างที่ร้านกาแฟใกล้ๆคณะในช่วงพักกลางวัน ซึ่งเป็นช่วงเวลาที่คนแน่นมาก คุณเกรงว่าจะเข้าเรียนในช่วงบ่ายไม่ทัน จึงตอบปฏิเสธ ในสถานการณ์นี้คุณจะตอบปฏิเสธว่าอย่างไร

คู่สนทนา: เจ้าหน้าที่ประจำภาควิชาที่ให้คำปรึกษาเป็นประจำ(สนิทสนม)

เจ้าหน้าที่: วันนี้ตอนเที่ยง น้องจะไปทานข้าวที่ไหนอะ

คุณ: โรงอาหารคณะครับ/ค่ะ

เจ้าหน้าที่: ประมาณบ่าย 3 จะมีประชุมของสาขาวิชา ต้องแจกเครื่องดื่มและของว่างด้วย

คุณ: ครับ/ค่ะ

เจ้าหน้าที่: พอดีตอนบ่ายโมงพี่ติดประชุม เลยออกไปซื้อไม่ได้
ขากลับ ช่วยแวะซื้อเครื่องดื่ม พวกกาแฟ โกโก้ที่ร้านกาแฟใกล้ ๆคณะ ให้พี่หน่อยได้มั้ย

คุณ:

คู่สนทนา: เจ้าหน้าที่ประจำภาควิชา เคยทักทายประมาณ 2-3 ครั้ง(ไม่สนิทสนม)

คุณ:

สถานการณ์: เพื่อนของคุณกำลังทำรายงานวิชาอังกฤษซึ่งมีกำหนดส่งอาทิตย์หน้า แต่เขาไม่เก่งภาษาอังกฤษ จึงขอร้องให้คุณสละเวลาช่วยกันแปลบทความภาษาอังกฤษเป็นภาษาไทยประมาณ 3-4 หน้า คุณมีทักษะภาษาอังกฤษดี สามารถให้ความช่วยเหลือเพื่อนได้ แต่อาทิตย์หน้าคุณมีสอบเก็บคะแนนกลางภาค ต้องทบทวนบทเรียน จึงตอบปฏิเสธเพื่อน ในสถานการณ์นี้คุณจะตอบปฏิเสธว่าอย่างไร

คู่สนทนา: เพื่อนสนิท

เพื่อน: เอ่อ ช่วงนี้แก/เธอ/มึงว่างมั้ยอะ มีเรื่องอยากให้ช่วยหน่อย

คุณ: เรื่องไรหรอ

เพื่อน: เอ่อคือตอนนี้กำลังทำรายงานวิชาอังกฤษอยู่อะ

คุณ: อื่ม

เพื่อน: แต่กู/เค้าอ่านบทความภาษาอังกฤษไม่รู้เรื่องเลย เครียดมาก อาทิตย์หน้ากำหนดส่งแล้วอะ

คุณ: อื่ม

เพื่อน: แก/เธอ/มึงพอจะมีเวลาว่างมั้ย มาช่วยกันแปลบทความภาษาอังกฤษเป็นภาษาไทยได้มั้ย

คุณ: กี่หน้าอะ

เพื่อน: สัก3-4หน้าอะ แก/เธอ/มึงพอจะช่วยได้มั้ย

คุณ:

คู่สนทนา: เพื่อนต่างคณะที่เคยทำงานงานกลุ่มวิชาภาษาอังกฤษด้วยกันในเทอมที่ผ่านมา
เคยทักทายประมาณ 2-3 ครั้ง(ไม่สนิท)

คุณ:

สถานการณ์: เพื่อนของคุณเรียนวิชาคณิตศาสตร์ ขอร้องให้คุณช่วยตรวจการบ้านซึ่งมีกำหนดส่งวันพรุ่งนี้ คุณเคยเรียนวิชานี้ในเทอมที่ผ่านมา สามารถให้ความช่วยเหลือเพื่อนได้ แต่ในวันพรุ่งนี้คุณมีคิวนำเสนองานในชั้นเรียน ต้องเตรียมข้อมูล จึงตอบปฏิเสธเพื่อน ในสถานการณ์นี้คุณจะตอบปฏิเสธว่าอย่างไร

คู่สนทนา: เพื่อนสนิท

เพื่อน: เอ่อ วันนี้แก/เธอ/มึงว่างป่าว มีเรื่องขอความช่วยเหลือหน่อย

คุณ: มีไรหรอ

เพื่อน: เราเพิ่งทำการบ้านวิชาคณิตเสร็จ ต้องส่งวันพรุ่งนี้แล้วอะ

คุณ: อื่ม

เพื่อน: คือเราไม่มั่นใจว่าทำถูกป่าว เอ่อ.. วันนี้ถ้ามีเวลา ช่วยตรวจให้เราหน่อยได้มั้ย

คุณ:

คู่สนทนา: เพื่อนต่างคณะที่เคยเรียนวิชาคณิตศาสตร์ในเทอมที่ผ่านมา เคยทักทายประมาณ 2-3ครั้ง(ไม่สนิทสนม)

คุณ:

ขอบพระคุณในความอนุเคราะห์

付録② 本備調査の談話完成テスト（日本語版）

はじめまして、大阪大学大学院言語文化研究科博士後期課程 1 年のタニット(リー)と申します。現在、依頼に対する「断り表現」の日タイ対照研究をしています。談話完成テストとインタビューをデータとして集め、研究しようと考えています。ご協力を宜しくお願い致します。

なお、ご記入の個人情報は研究の目的以外での使用はいたしません。個人情報は厳重に管理することを約束します。

学部_____ 年齢_____ 出身地_____性別 男・女 (〇で囲んでください)

連絡先_____(都合が良い方)

説明

以下の場面の状況説明と会話を読んで、依頼されたことに対して断るなら、あなたはどう言いますか。その際、相手との親疎関係・上下関係を十分に考慮しながら、断り文を書いてください。なお、実際の発話時に「ああ」「うん」「ええ」などの相づちが現れるのであれば、そのまま書いてください。一つの場面につき、親しい相手と親しくない相手に依頼される場合があるので、ご注意ください。

場面: 来週、大学でオープンキャンパスが行われます。さまざまな高校の教員や高校生など、数多くの方が参加します。そろそろイベントの日が近づいてきたため、先生からあなたに日曜日に準備するのを手伝ってくれないかと依頼されました。あなたは終日都合が悪いので、手伝いに行けません。その時、あなたはどう言いますか。

依頼者：いつもお世話になっている先生

先生： あのう、来週のオープンキャンパスのことなんですけど、
ちょっと手伝ってもらいたいことがあるんですが、

あなた：はい、何でしょうか。

先生： 準備がまだできていなくて、学生さんの力を貸してもらいたいんですけど。

あなた：はい。

先生： もし日曜日、何も予定がなければ準備を手伝ってもらいたいんですが、
大丈夫ですか。

あなた：

依頼者：あいさつ 2〜3 回程度の親しくない学科の先生

あなた：

場面: 1 限の授業が終わった後、あなたは先生に会いました。先生から、昼休みに先生の部屋へ本を取りに来て、図書館まで返却してくれないかと依頼されました。しかし、あなたは昼休み友達との打ち合わせがあります。午後も用事で外出します。だから、本の返却に行けません。その時、あなたはどう言いますか。

依頼者：いつもお世話になっている先生

先生：　あのう、○○さん。ちょっとお願いしたいことがあるんですが、いいですか？
あなた：はい。
先生：　実は今日までに図書館に返さなければならない本があります。5-6 冊ぐらいなんですが。
あなた：はい。
先生：　午後は用事があって、返しに行けないので、時間があったら、昼休みに私の部屋へ本を取りに来て、図書館に返しに行ってくれませんか？
あなた：

依頼者：あいさつ 2～3 回程度の親しくない学科の先生

あなた：

場面: あなたの友達/同級生は英語のレポートを書いています。提出の締め切りは来週です。ですが、友達/同級生は英語があまりできないので、英語がよくできるあなたに 3-4 枚ぐらいの英語の文章を日本語に翻訳してくれないかと依頼してきました。来週、あなたは中間テストがあります。テスト勉強しなければなりません。その時、あなたはどう言いますか。

依頼者：親しい友達

友達：　ねえねえ、今、ちょっと時間いい。
あなた：うん。何？
友達：　あのさあ、実は、今英語のレポートを書いていて…資料は全部集めたんだけど。
あなた：うん
友達：　英語があまりできないから、来週までに完成できるかどうか本当に心配で…。
あなた：それは大変だよね。
友達：　うーん、今日、時間があれば、いっしょに英語の文章を日本語に翻訳してもらえないかなあと思って。
あなた：何枚ある？
友達：　3-4 枚ぐらいなんだけど、何とかお願いできないかなあ？
あなた：

依頼者：あいさつ 2～3 回程度の親しくない同級生

同級生：すみません、ちょっと手伝ってもらいたいことがあるんですが。
あなた：何ですか？
同級生：あのさあ、実は、今英語のレポートを書いているんですが…資料は全部集めたんだけど。
あなた：うん。
同級生：英語があまりできないから、来週までに完成できるかどうか本当に心配で…。
あなた：それは大変ですね。
同級生：うーん、今日、時間があれば、いっしょに英語の文章を日本語に翻訳してもらいたいんですけど。
あなた：何枚ですか？
同級生：3-4 枚ぐらいなんですが、何とかお願いできないでしょうか？
あなた：

場面: あなたの友達/同級生が数学を勉強しています。明日、数学の宿題の提出日ですが、宿題で分からないところがあるので、数学がよくできるあなたにチェックしてくれないかと依頼してきました。明日あなたは発表があるので、いろいろ準備しなければなりません。その時、あなたはどう言いますか。

依頼者：親しい友達

友達：　ねえねえ、ちょっと手伝ってほしいことがあるんだけど。
あなた：いいよ。
友達：　数学の宿題、明日提出なんだけど、
あなた：うん。
友達：　ちょっとできないところがあって…。
　　今日、時間があったら、ちょっとチェックしてほしいんだけど、お願いしてもいい？
あなた：

依頼者：あいさつ 2～3 回程度の親しくない同級生

同級生：すみません、ちょっと手伝ってもらいたいことがあるんですが。
あなた：いいですよ。
同級生：数学の宿題、明日提出なんですが、
あなた：うん。
同級生：ちょっとできないところがあって…。
　　今日、時間があったら、ちょっとチェックしてもらいたいんですけど、
　　お願いしてもいいですか？
あなた：

ご協力ありがとうございました
この調査に関する質問やご意見がありましたら、下記までご連絡ください。

****
POONVONGPRASERT　THANIT
大阪大学大学院言語文化研究科 日本語日本文化専攻 博士後期課程 1 年 pipthanit@gmail.com

付録② 本備調査の談話完成テスト（タイ語版）

แบบสอบถาม

กระผมนายธนิส พูนวงศ์ประเสริฐ นักศึกษาปริญญาเอกชั้นปีที่ 1 คณะภาษาและวัฒนธรรม มหาวิทยาลัยโอซาก้า กำลังทำวิจัยหัวข้อ “การเปรียบเทียบรูปแบบการปฏิเสธการขอความช่วยเหลือในภาษาไทยและภาษาญี่ปุ่น” ซึ่งเก็บข้อมูลด้วยแบบสอบถามชนิดเติมบทสนทนาให้สมบูรณ์ จึงใคร่ขอความอนุเคราะห์ สละเวลาในการตอบแบบสอบถาม ข้อมูลส่วนตัวของท่านจะใช้สำหรับการวิจัยเท่านั้น และผู้วิจัยสัญญาว่า จะเก็บข้อมูลส่วนตัวของท่านไว้เป็นความลับ

คณะ_____อายุ_____ภูมิลำเนา(จังหวัด)_____เพศ_____

ช่องทางติดต่อเพื่อสอบถามข้อมูลเพิ่มเติม(เฉพาะท่านที่สะดวกในการให้ข้อมูล)_____

_____ _____

<u>คำชี้แจง</u>

จงอ่านสถานการณ์การขอร้องและบทสนทนาซึ่งแต่ละสถานการณ์จะมีคู่สนทนาที่มีความสนิมสนมและไม่สนิทสนม ขอความช่วยเหลือจากคุณ แต่คุณไม่สะดวกจะให้ความช่วยเหลือ ในแต่ละสถานการณ์ คุณจะตอบปฏิเสธบุคคลที่ขอความช่วยเหลืออย่างไหร่ <u>จงเขียนข้อความที่ตนเองต้องการพูดปฏิเสธการขอร้องให้ ตรงตามภาษาพูด โดยเลือกใช้สำนวนให้เหมาะสมกับสถานภาพ และระดับความสนิทสนมกับคู่สนทนา</u>

สถานการณ์:อาทิตย์หน้า มหาวิทยาลัยจะจัดงานแนะนำสาขาวิชา(Open house) ซึ่งมีบุคลากรจากหลายสถาบันมาเข้าร่วม ตอนนี้ใกล้จะถึงวันงาน แต่การเตรียมงานยังไม่เรียบร้อย อาจารย์จึงขอร้องให้คุณมาช่วยเตรียมงานในวันอาทิตย์ คุณไม่สะดวกมาช่วยงานเนื่องจากติดธุระทั้งวัน

<u>ในสถานการณ์นี้คุณจะตอบปฏิเสธว่าอย่างไร</u>

<u>คู่สนทนา: อาจารย์ที่ปรึกษา(สนิทสนม)</u>

อาจารย์: อาทิตย์หน้า ทางมหาวิทยาลัยจะจัดงาน Open house นะ ทราบข่าวยัง

คุณ: ครับ/ค่ะ ทราบข่าวประชาสัมพันธ์จากเว็บไซต์แล้วครับ/ค่ะ

อาจารย์: ตอนนี้ทางคณะเตรียมงานไปได้เยอะแล้ว แต่ยังเหลืองานบางส่วนที่ต้องขอแรงจากนักศึกษา

คุณ: ครับ/ค่ะ

อาจารย์: วันอาทิตย์นี้ว่างมั้ย ถ้าไม่มีธุระอะไร มาช่วยครูหน่อยได้มั้ย

คุณ:

<u>คู่สนทนา: อาจารย์ที่สาขา เคยเห็นหน้า 2-3 ครั้ง ไม่เคยเรียนด้วย (ไม่สนิทสนม)</u>

คุณ:

สถานการณ์:ช่วงเช้าหลังเลิกเรียน คุณพบอาจารย์โดยบังเอิญ อาจารย์ขอร้องให้คุณแวะมาเอาหนังสือที่ห้องอาจารย์ในช่วงพักกลางวัน แล้วเอาไปคืนห้องสมุด แต่ช่วงพักกลางวันคุณมีนัดคุยงานกับเพื่อน และช่วงบ่ายคุณมีธุระต้องออกไปข้างนอก ในสถานการณ์นี้คุณจะตอบปฏิเสธว่าอย่างไร

คู่สนทนา: อาจารย์ที่ปรึกษา(สนิทสนม)

อาจารย์: เอ่อ ครูมีเรื่องรบกวนนิดหน่อย ตอนนี้สะดวกคุยมั้ย

คุณ: ครับ/ค่ะ อาจารย์มีอะไรเหรอครับ/ค่ะ

อาจารย์: พอดีครูมีหนังสือประมาณ 5-6 เล่ม ต้องคืนห้องสมุดภายในวันนี้

คุณ: ครับ/ค่ะ

อาจารย์: ช่วงบ่ายครูมีธุระด่วน ไม่มีเวลา ช่วงพักกลางวัน รบกวนแวะมาเอาหนังสือแล้วคืนห้องสมุดให้ครูหน่อยได้มั้ย

คุณ:

คู่สนทนา: อาจารย์ที่สาขา เคยเห็นหน้า 2-3 ครั้ง ไม่เคยเรียนด้วย (ไม่สนิทสนม)

คุณ:

สถานการณ์:เพื่อนของคุณกำลังทำรายงานวิชาอังกฤษซึ่งมีกำหนดส่งอาทิตย์หน้า แต่เขาไม่เก่งภาษาอังกฤษ จึงขอร้องให้คุณสละเวลาช่วยกันแปลบทความภาษาอังกฤษเป็นภาษาไทยประมาณ 3-4 หน้า คุณมีทักษะภาษาอังกฤษดี สามารถให้ความช่วยเหลือเพื่อนได้ แต่อาทิตย์หน้าคุณมีสอบเก็บคะแนนกลางภาคต้องทบทวนบทเรียน จึงตอบปฏิเสธเพื่อน ในสถานการณ์นี้คุณจะตอบปฏิเสธว่าอย่างไร

คู่สนทนา: เพื่อนสนิท

เพื่อน: เอ่อ ช่วงนี้แก/เธอ/มึงว่างมั้ยอะ มีเรื่องอยากให้ช่วยหน่อย

คุณ: เรื่องไรหรอ

เพื่อน: เอ่อคือตอนนี้กำลังทำรายงานวิชาอังกฤษอยู่อะ

คุณ: อื่ม

เพื่อน: แต่กู/เค้าอ่านบทความภาษาอังกฤษไม่รู้เรื่องเลย เครียดมาก อาทิตย์หน้ากำหนดส่งแล้วอะ

คุณ: อื่ม

เพื่อน: เอ่อ แก/เธอ/มึง วันนี้พอจะมีเวลาว่างมั้ย มาช่วยกันแปลบทความภาษาอังกฤษเป็นภาษาไทยได้มั้ย

คุณ: กี่หน้าอะ

เพื่อน: สัก3-4หน้าอะ แก/เธอ/มึงพอจะช่วยได้มั้ย

คุณ:

คู่สนทนา: เพื่อนต่างคณะที่เคยทำงานงานกลุ่มวิชาภาษาอังกฤษด้วยกันในเทอมที่ผ่านมา(ไม่สนิท)

คุณ:

สถานการณ์:เพื่อนของคุณเรียนวิชาคณิตศาสตร์ ขอร้องให้คุณช่วยตรวจการบ้านซึ่งมีกำหนดส่งวันพรุ่งนี้ คุณเคยเรียนวิชานี้ในเทอมที่ผ่านมา สามารถให้ความช่วยเหลือเพื่อนได้ แต่ในวันพรุ่งนี้คุณมีคิวนำเสนองานในชั้นเรียน ต้องเตรียมข้อมูล จึงตอบปฏิเสธเพื่อน ในสถานการณ์นี้คุณจะตอบปฏิเสธว่าอย่างไร

คู่สนทนา: เพื่อนสนิท

เพื่อน: เอ่อ วันนี้แก/เธอ/มึงว่างป่าว มีเรื่องขอความช่วยเหลือหน่อย

คุณ: มีไรหรอ

เพื่อน: เราเพิ่งทำการบ้านวิชาคณิตเสร็จ ต้องส่งวันพรุ่งนี้แล้วอะ

คุณ: อื่ม

เพื่อน: คือเราไม่มั่นใจว่าทำถูกป่าว เอ่อ.. วันนี้ถ้ามีเวลา ช่วยตรวจให้เราหน่อยได้มั้ย

คุณ:

คู่สนทนา: เพื่อนต่างคณะที่เคยเรียนวิชาคณิตศาสตร์ในเทอมที่ผ่านมา(ไม่สนิทสนม)

คุณ:

ขอบพระคุณในความอนุเคราะห์

謝辞

本論文を執筆するにあたり、ご指導・ご協力くださった多くの方々に心よりお礼を申し上げます。

はじめに、熱心にご指導いただいた主指導教員の筒井佐代先生に、深く感謝の意を申し上げます。筒井先生にご指導いただくまで会話分析の世界を知らなかった研究者ですが、先生からいろいろ教えていただきました。先生にご教示いただいたのは論文執筆のことのみならず、自分の将来の研究にも役に立つようなことでした。論文執筆に行き詰まった時には、ご意見をいただいたり、分析方法についてご指導いただいたりしたおかげで、自分が書きたい論文が書けました。

副指導教員の今井忍先生、宮本マラシー先生にも心より感謝申し上げます。ゼミの発表で貴重なコメントやご意見を賜り、論文のチェックにお時間を割いていただきました。いつも相談に乗ってくださったおかげで、論文を進めることができました。

タイ国立行政開発大学院大学日本語コミュニケーション・日本文化研究科の後藤寛樹先生にも心から感謝の念を申し上げます。修士課程の時から長期間に渡って、多大なご指導を賜り、大阪大学の大学院生への道を導いていただきました。入学の手続き、指導教員の紹介などのことに関していろいろ相談に乗ってくださいました。先生の温かいご指導がなければ、進学できませんでした。

調査にあたっては、ラジャマンガラ・ラタナコーシン技術大学のパヌワット　キットケサチャローン先生にデータ回収のご協力をいただきました。また、ご多忙の中、積極的に調査にご参加くださった大阪大学の皆様、チェンマイ大学の皆様、ラジャマンガラ・ラタナコーシン技術大学の皆様にも心から感謝いたします。ご協力のおかげで、計画通りにデータ回収を行うことができました。また、皆様からいただいたご意見は本研究のデータ考察の際に大いに役立ちました。本論文で論じた内容が、日タイの相互理解への架け橋になれば幸いです。

また、書き方を指導してくださったことに加え、ごく限られた時間で、研究者の拙い日本語の博士論文を丁寧にチェックしてくださったチューターの金谷由美子さん、橋本凛さん、茶圓直人さんにも感謝の意を表します。

最後に、チェンマイ大学の先生方、タイ国立行政開発大学院大学日本語コミュニケーション・日本文化研究科の先生方、先輩後輩の方々、友人、生まれてから今まで支えてくださった家族にも大変お世話になりました。心から深く感謝いたします。